

有する。5013～5021は胴部に沈線で同様の文様を施すものであり、5022～5060は胴部に沈線と列点刺突で文様を描くものである。なお、これらの土器の多くには、地文に縄文を施している。

2種 押し引きによる沈線で文様を描く類。

4882～4906は押し引きによる沈線で文様が描かれるもので、4900～4903のように波状口縁となるものもある。4887は口舌部に縦位の押し引き沈線が施され、4885・4888～4892・4896の口舌部には押し引き沈線が巡る。4900・4901には隆帯による文様をもち、4882・4897～4902には三角状の印刻が施されている。4904～4906は平口縁で無文となる浅鉢形を呈するもので、口縁部の裏面に横位の押し引きによる沈線が巡り、4904には同様に沈線で文様が描かれる。

Ⅲ期Ⅱ群

37・4799・5096～5161が本群の土器であり、中期初頭の土器群に伴う縄文施文の土器である。

37は頸部が屈曲して口縁部が大きく開く器形となるもので、胴部には縦位回転による結節縄文が施されている。4799は平口縁となる大形の深鉢で、口舌部に刻みをもち、頸部に隆帯を巡らせ、口縁以下に縄文を施すものである。5096・5098～5128は胴部に縦位回転による結節縄文が施されているものであり、5097・5129～5137は結節縄文を横位に施したものである。5138～5147は胴部に縄文が施されるものであり、5142は縦位回転による。5146・5147は羽状縄文である。

また、5148～5161は中期初頭の土器の底部であり、縄文を施すものや、沈線で円形等の文様を施しているものもある。なお、5148の底面には網代痕を有している。

Ⅲ期Ⅲ群

5162～5182が本群の土器であり、中期中葉の土器群である。

5162は波状口縁となる波頂部が把手状となり、裏面にも隆帯等により文様をもつ。表面の波頂下には、曲線的な文様が沈線で描かれている。5163は平口縁となる口縁部に隆帯で楕円状の区画を行い、区画内に沈線を添わせる。5164は平口縁となる口縁部に沈線で文様を描くもので、口縁直下の沈線には交互に刺突をもつ。5165は平口縁で、無文となるもの。5166～5173は胴部に隆帯をもつもので、5166・5167は瘤状の突起をもち、沈線で文様を描くもの。5168～5173は横位に楕円状の隆帯をもち、鋸歯状の沈線を施すもの。5174・5175は鋸歯状の沈線を施すものであり、5174・5177～5182は横位の指頭による圧痕をもつものである。

Ⅲ期Ⅳ群

5183～5363が本群の土器であり、中期後半の土器群を一括した。

5183～5186は平口縁となる口縁部に隆帯で楕円状の文様区画を行い、区画内に沈線を添わせ、縄文を充填するもの。5187は平口縁となる口縁部に太い沈線で文様区画し、区画内に縄文を施すもの。5188～5196は波状口縁となるもので、口縁下に沈線で文様を描くもので、文様の区画内には縄文が施されている。5189には波頂下に隆帯をもち、5194～5196の波頂部には環状となる把手を有する。5197～5209は平口縁となる口縁下の幅狭な無文帯を横位の沈線で区画し、その下に縦位方向の文様を区画する。区画内には縄文が施される。5210～5237は平口縁となる口縁下の幅狭な無文帯を横位の隆帯で区画し、その下に縦位方向の文様を隆帯で区画する。区画内には縄文が施される。5238～5242は口縁下に縄文が施されているものであり、5243～5248は口縁下に隆帯を巡らせるもの。5251は口縁下に縦位の沈線を条線状に施すものであり、5252は口縁下の隆

第3章 検出された遺構と遺物

帯上に刺突をもつものである。

5253は胴部に沈線で渦巻き状の文様を描き、縄文を施すもの。5254～5264は胴部に沈線で懸垂文をもち、懸垂文で区画された内部に縄文を施すもの。5265～5305は胴部に沈線で曲線的ないしV字状等の文様を描き、区画された文様内に縄文を施すものである。5306～5344は胴部に隆帯で曲線的ないしV・U字状等の文様を描き、区画された文様内に縄文を施すものである。5345～5347は地文に縄文を施した胴部に、縦位の鋸歯状となる隆帯をもつもの。5348～5350は胴部に縦位の条線状の沈線を施すものであり、5351～5363は胴部に縄文のみを施したものである。なお、これらの土器に施文される縄文は、横位および縦位回転によるもの。

Ⅳ期

5364～5367が本群の土器であり、4点と少ないが、本遺跡で出土した晩期の資料である。

5364は口縁下に3条の沈線を巡らせ、以下は無文である。5365は口縁が有段状となるもので、有段上には突起をもつ。5366・5367は同一個体となるもので、口縁が有段上となり、頸部が無文帯で、胴部上半に沈線で工字文的な文様を描くもの。

E 区出土土器 (第296・297図)

Ⅱ期

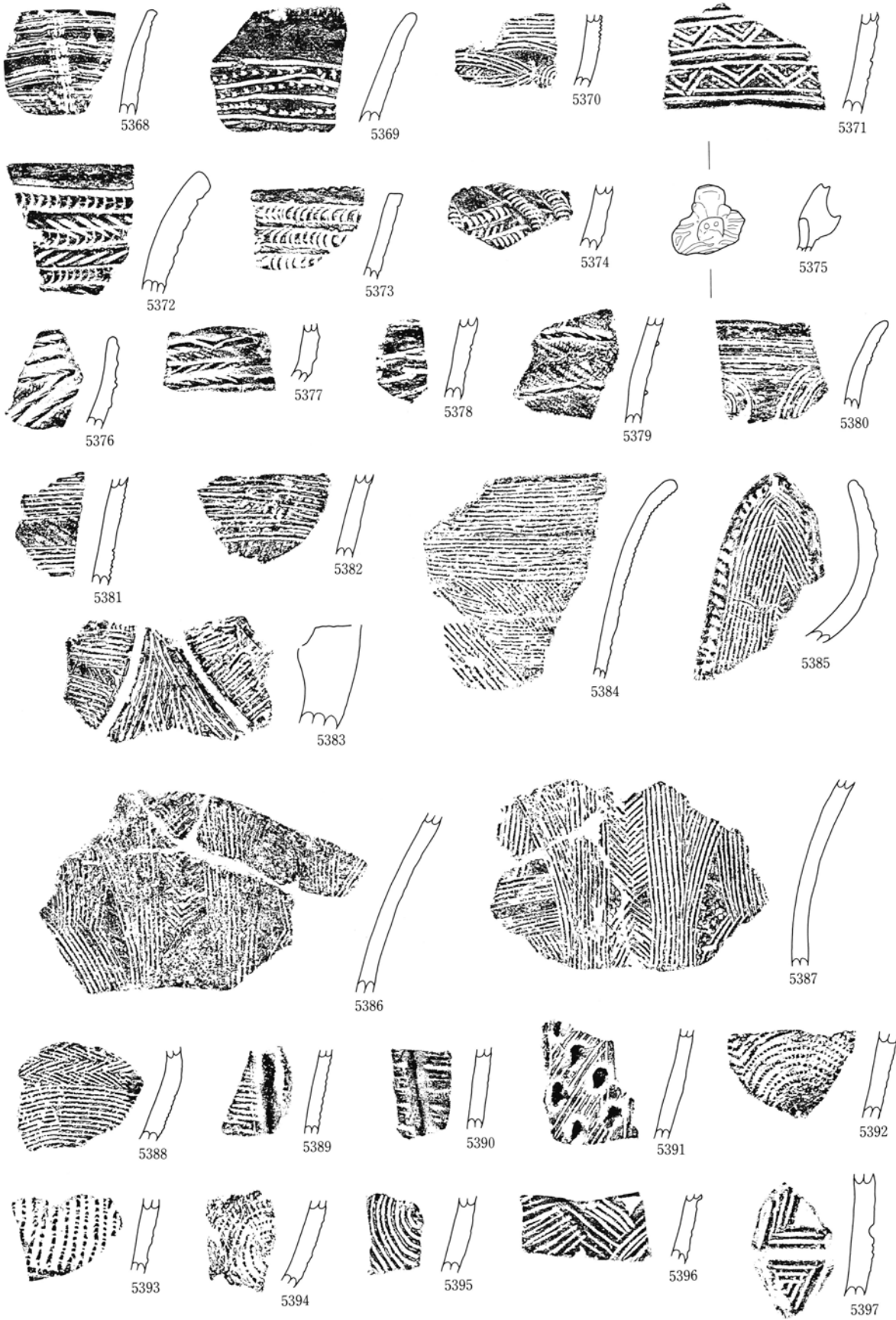
5368～5397は無繊維土器であり、Ⅵ～Ⅸ・ⅩⅥ群に属する土器である。

5368は口縁部に横位・縦位の沈線で文様を描くものであり、5369は口舌部に刻みをもち、口縁部に横位沈線を巡らせ、沈線間に列点状の刺突を施すもの。5370・5371は胴部に沈線で曲線的ないし鋸歯状の文様を描くもので、地文には縄文を施している。5372～5374は幅広の半裁竹管による連続爪形文で文様を施すもので、5372・5374の爪形文間には斜位の刺突をもつ。5375は口縁に付く獣面突起であり、5376～5379は刻みをもつ浮線文で文様を描き、地文に縄文を施す。5380～5382は集合沈線上の沈線で文様を描くものであり、5383～5388には集合沈線で文様を描く。5383・5385は波状口縁をなすものであり、5386・5387は矢羽根状沈線をもつ縦位区画を行い、区画内に弧状等の文様を描くものである。5388は横位の矢羽根状沈線と平行沈線を施すもの。5389・5390は地文に横位の沈線をもち、縦長の棒状貼付文をもつもの。5391は字文に縦位の矢羽根上等の沈線をもち、ボタン状貼付文を有するもの。5392～5394は結節浮線文による渦巻き状の文様を描くものであり、5395は同様の渦巻き状の文様を沈線で描くものである。5396・5397は太い沈線で文様区画し、三角印刻をもつと共に、単沈線を施すもの。

Ⅲ期

5398～5411が中期に属する土器であり、出土量は少ない。

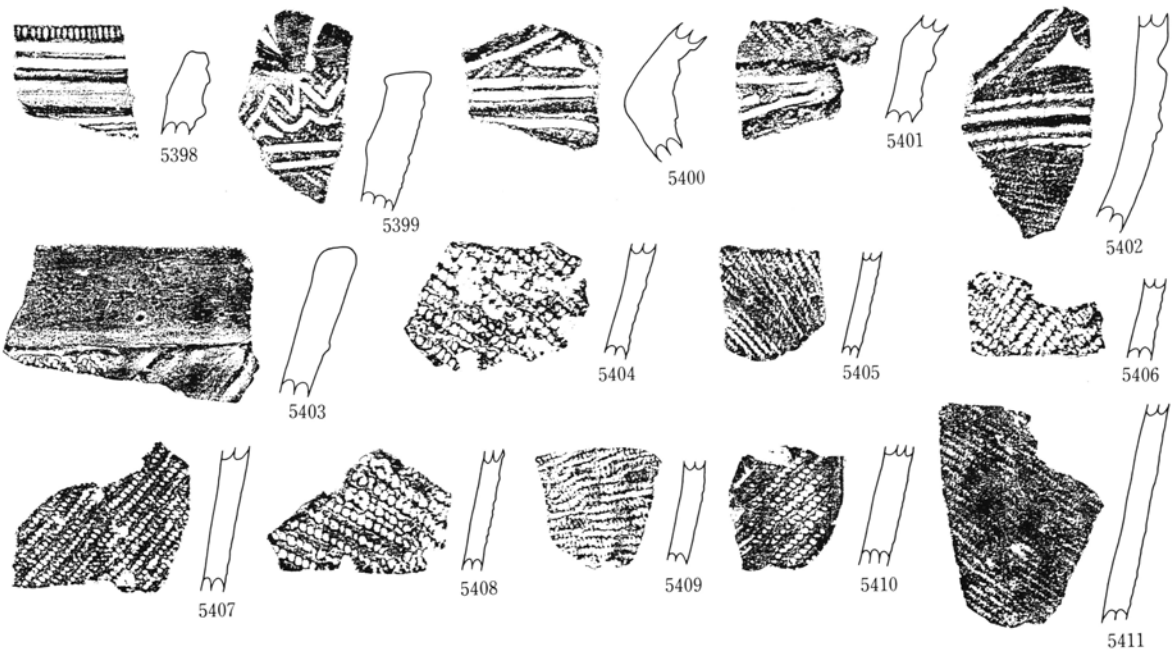
5398は平口縁となる口舌部に刻みをもち、口縁には隆線が施される。5399の口縁部には沈線で鋸歯状等の文様が描かれ、地文に縄文をもち、印刻文を有する。5400・5402は沈線ないし押し引き状の沈線で文様を描き、区画内に三叉状の印刻をもち、地文に縄文を施している。5401は隆帯による文様をもち、縄文を施すもの。5403は平口縁となる口縁下の幅狭な無文帯を横位の隆帯で区画し、その下に縦位方向の文様を隆帯で区画する。区画内には縄文が施されている。5404～5411は胴部に縄文のみを施したものである。なお、これらの土器に施文される縄文は、横位および縦位回転によるものである。



第296図 遺構外E区出土土器(1)

S=1/3

第3章 検出された遺構と遺物



第297図 遺構外E区出土土器(2)

S=1/3

石器

出土した石器は、遺物収納箱で350箱と膨大な量にのぼる。定型石器として認められるものだけでも数千点を数え、剥片類については未整理の状態である。従って、ここに掲載した石器については、その一部である。出土した石器の大部分は、C区の包含層中からのものであり、同区の明らかに時代の異なる住居跡から出土したものもこの中に含めている。黒曜石の剥片・チップ類がかなり多く出土しており、黒曜石製の石鏃を多く出土させている由縁とも考えられるが、石鏃以外にも細かい加工を加えたスクレイパーをも多く出土させている。打製石斧については、大形の石鏃状のものは弥生時代の項で扱い、ここでは比較的小形のを扱っているが、すべて縄文時代に伴うものと考え難いもの含まれている。凹石・多孔石については、かなりの出土量にのぼっており、多量に存在するこれらの器種の石器について、その使用目的ならびに当時の生活様相を再考する必要性を感じさせる。

石鏃 (第298～300図 表35)

出土した石鏃は、180点余を数える。使用される石材には、黒曜石が最も多く主体を占め、チャート等が僅かにみられる。また、無茎のものが主体を占め、有茎石鏃は148～152の5点である。これらの石鏃の中には、欠損しているものが多くみられ、その多くは使用に伴う欠損というよりは、製作途中に置ける欠損と考えられるものであり、併せて製作途中のものと考えられるものも含まれている。こうした欠損品や未製品、および大量に出土している黒曜石のフレイク・チップ類からすると、本遺跡内で石鏃製作が行われたことを示しているものと考えられる。

石錐 (第301図 表36)

出土した石錐は、18点である。使用される石材には、黒曜石が最も多く用いられ、チャート製のものが数点みられる。これらの形状には、摘み部を大きく残すものと、摘み部をあまり残さずに先端部加工を施すものがあり、16のように素材の剥片形状をとどめているものさえみられる。

石匙 (第302図 表37)

出土した石匙は、14点である。使用される石材には、黒曜石・チャート・黒色頁岩等が用いられ、4～11のような比較的小形のものは黒曜石が、大形のものには黒色頁岩が使用されている。これらの石匙には、縦型のものと同型のものと同型が存在し、片面ないし両面加工を施すものがある。また、3および6については、摘み部の抉入が弱いがこの類に含めた。

スクレイパー (第303～308図 表38)

ここに示したスクレイパーには、定型・不定形を問わずに、剥片の側縁部に調整加工を施したものを扱った。大きさ・形態等により、次のように分類できる。

I類 (第303・306図) 比較的小形のをこの類とする。用いられる石材には、黒曜石によるものが最も多く、チャートのものが僅かに加わり、石鏃の石材比率に類似する。使用される素材には、比較的小形の縦長剥片が用いられ、側縁部に裏面側から平坦剝離を連続的に施し、鋭利な刃部を作り出しているもの。また、64～70のように、鈍角な刃部を作り出しているものがある。さらに60～63のように、抉入状に調整加工を加えたものも存在する。

第3章 検出された遺構と遺物

Ⅱ類 (第304・305・307・308図) 大形のをこの類とする。用いられる石材には、黒色頁岩が主体となる。使用される素材には、やや大きめの縦長剥片ないしは横長剥片が用いられ、側縁部に片面あるいは両面から比較的平坦な剥離を連続的に施し、鋭利な刃部を作り出している。縦長剥片素材のものには、71～74が代表され、横長剥片素材のものには44・46・85・86が代表される。また横長剥片素材であっても、80のように縦長のスクレイパーとして調整加工を施しているものもある。

打製石斧 (第309～318図 表39)

出土した打製石斧は、400点以上を数えるが、ここに掲載したものは比較的残存状態の良い190点である。使用される石材には、硬質泥岩・珪質頁岩・細輝安山岩・粗輝安山岩・雲母石英片岩等があり、硬質泥岩の使用頻度が最も高く、ついで珪質頁岩である。これら打製石斧の形状には、短冊形・撥形、分銅形等のものがあるが、石材による形状差は認められない。また、剥片素材のものも多く認められるものの、片岩製のものには剥片素材は少なく、むしろ素材形状をあまり変えることなく周縁部への加工を施すものが目につく。

磨製石斧 (第319図 表40)

出土した磨製石斧は、15点と打製石斧に比べてかなり少ない。使用される石材には、変玄武岩である。素材となる石を荒割により形を整え、その後敲打により器体全体を調整し、さらに研磨により磨製石斧を完成させるという製作工程が窺える。このことは、5・8・12等に荒割段階の剥離痕が残され、1・2・8等に敲打痕を残しながらも研磨されていることから理解できよう。3は、刃部に再調整のための剥離を施しているものである。また14は、かなり大形の刃部の欠損品であり、その大きさの点で他とは異なり弥生時代のものの可能性もある。

石核 (第320・321図 表41 1～17)

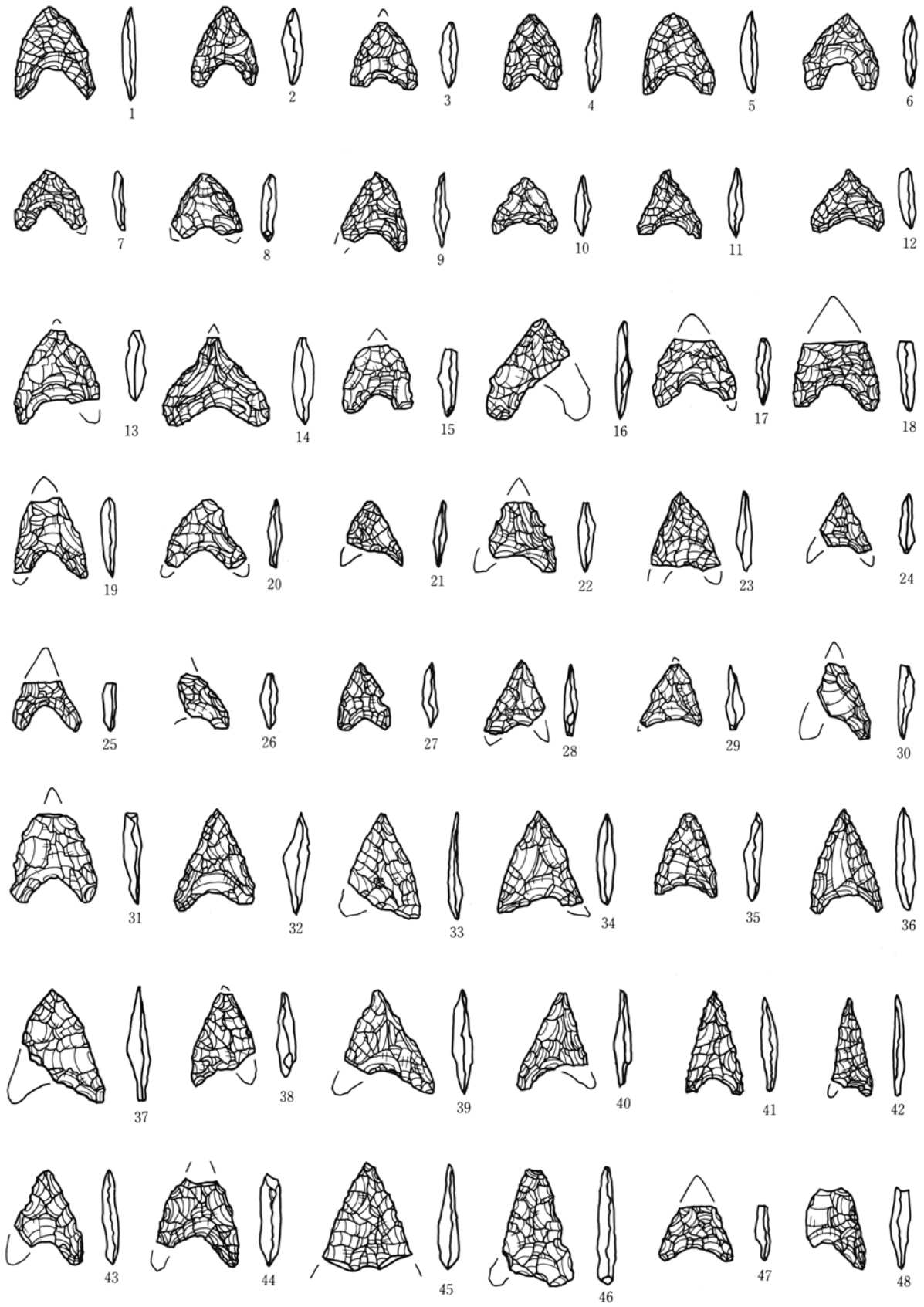
出土した石核は数多くあるが、ここに掲載するものは、その中の代表的なものである。1～12は、黒曜石によるものであり、13～17は黒色頁岩のものである。この黒曜石の石核は、その素材となる原石の大きさに規制されると考えられるが、表皮の除去を行いながら打面を転移させつつ剥片剥離を行う中で、マイクロブレイド的な小形の縦長剥片を作出していることが窺える。このことは、先の小形のスクレイパーとした第303図の資料からも理解でき、その結果の石核としてこれらの石核が存在するものと思われる。代表的なものとして、2・3・5・6が上げられよう。

原石 (第322図 表41 18～20)

ここに掲載した原石には、黒曜石のものを示した。いずれのものも拳大以下で、比較的小さめのものである。先の石核の中でも触れたように、本遺跡に持ち込まれる黒曜石の原石は小さいながらも、多くの剥片剥離がなされ、その使用頻度の高さを示している。

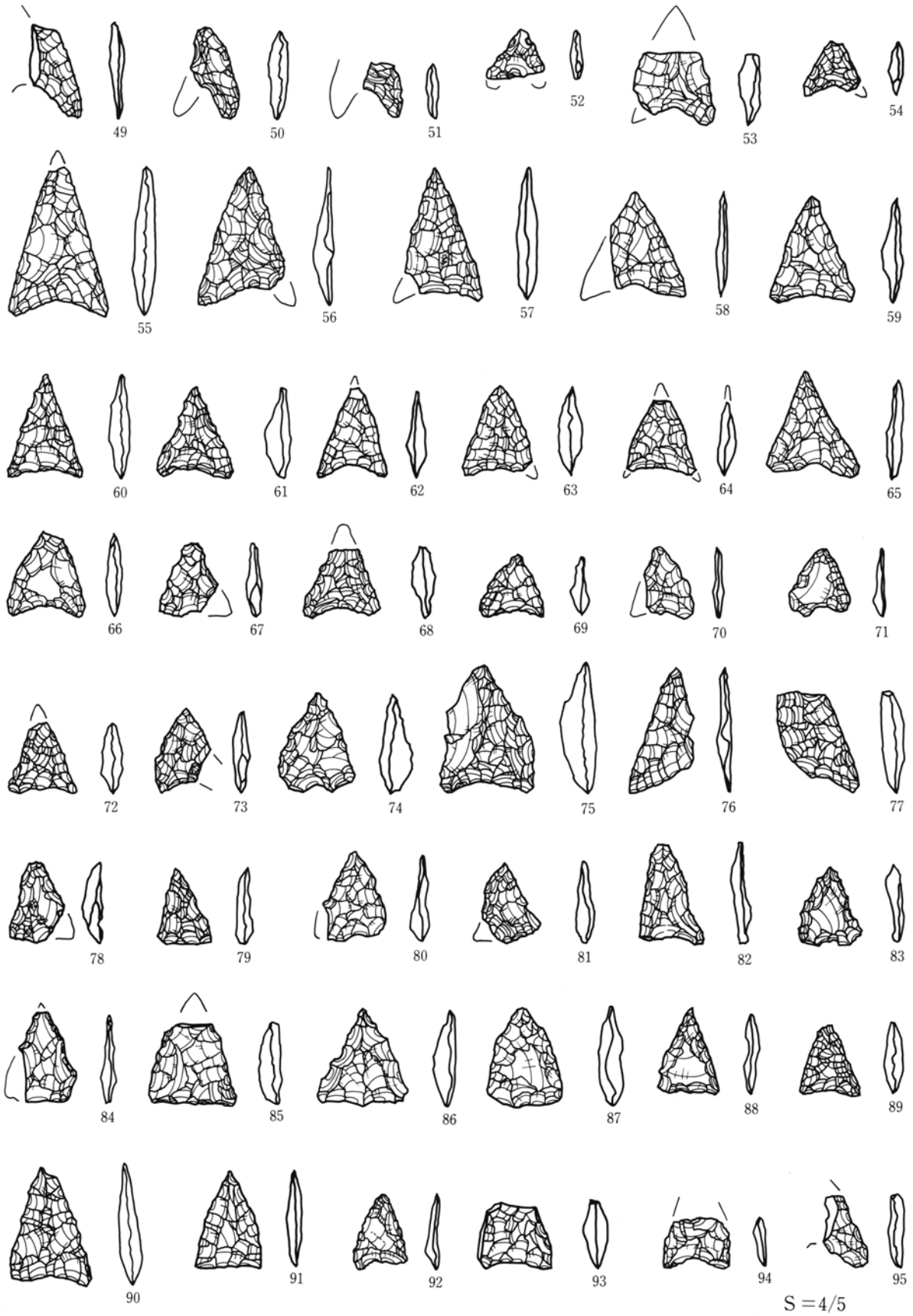
磨き石 (第323～329図 表42)

出土した磨き石は数多くあるが、ここではその内の155点を掲載した。ここで磨き石として扱ったものは、器体を磨くという点を優先させ、凹石としての機能を併せもつものをも含めた。使用される石材には、粗輝安山岩やデイサイト・変玄武岩・牛伏砂岩等が用いられ、中でも粗輝安山岩が最も多く用いられている。

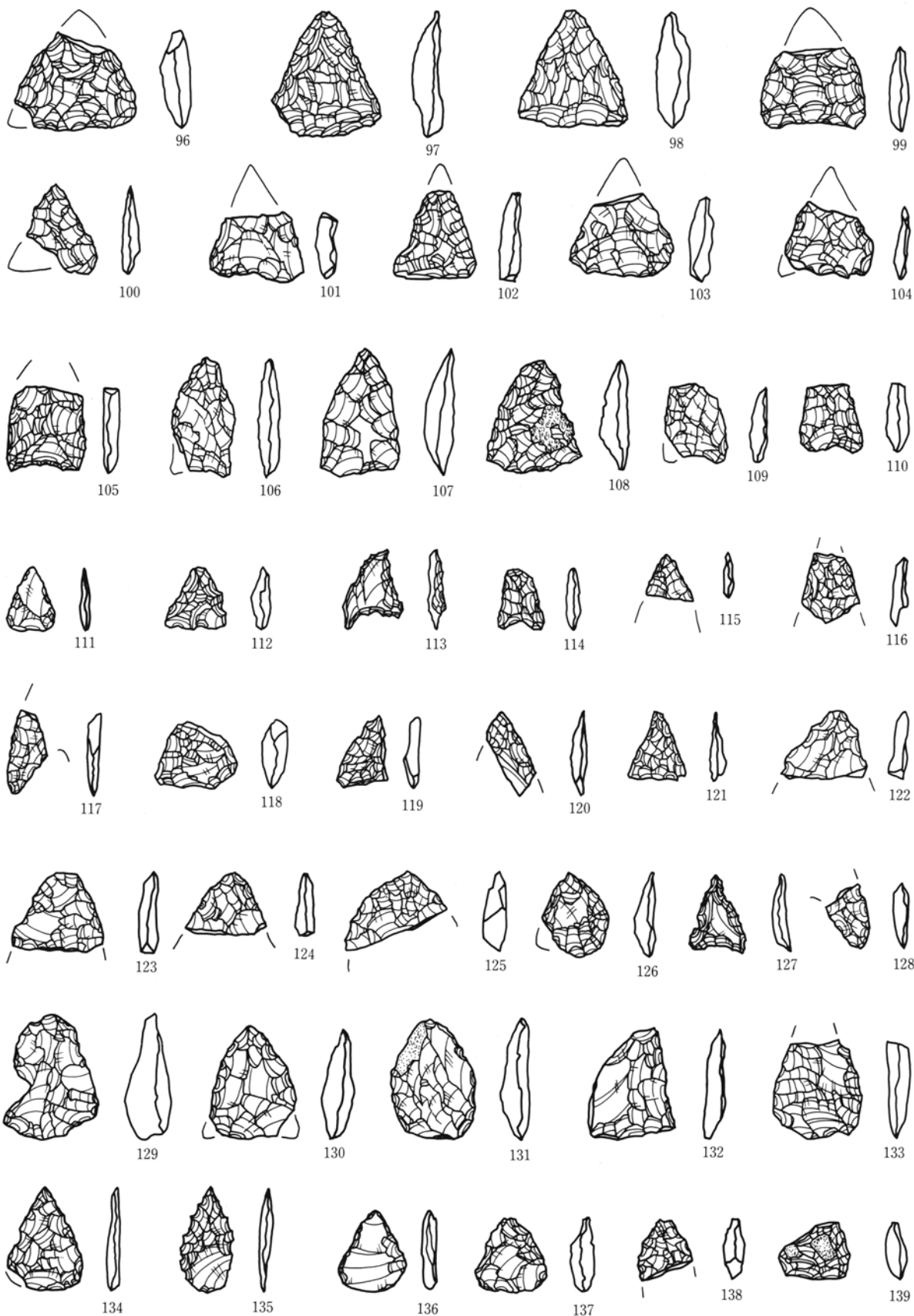


S=4/5

第298図 遺構外出土石器 石鏃(1)



第299図 遺構外出土石器 石鏃(2)



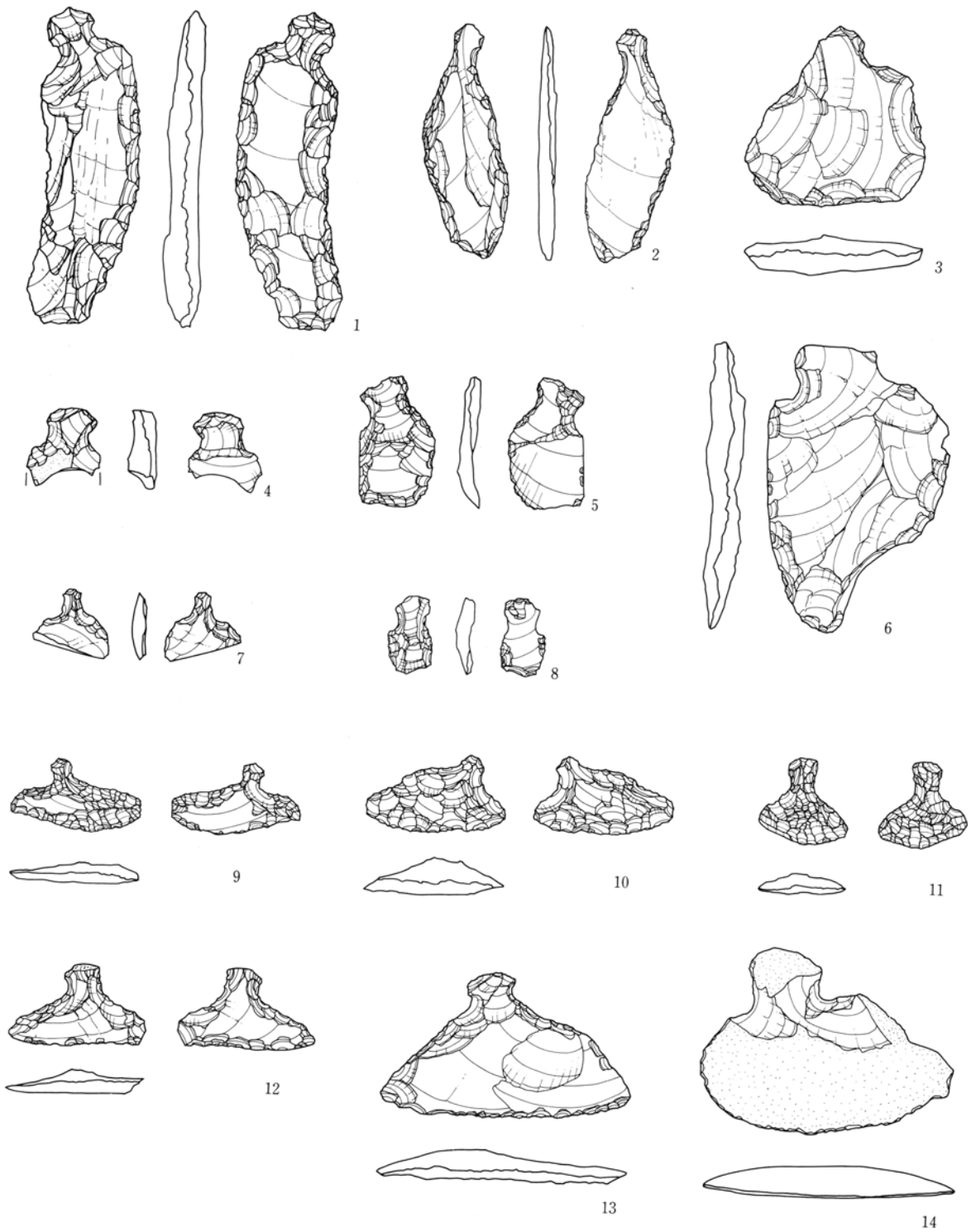
S=4/5

第300図 遺構外出土石器 石鏃(3)



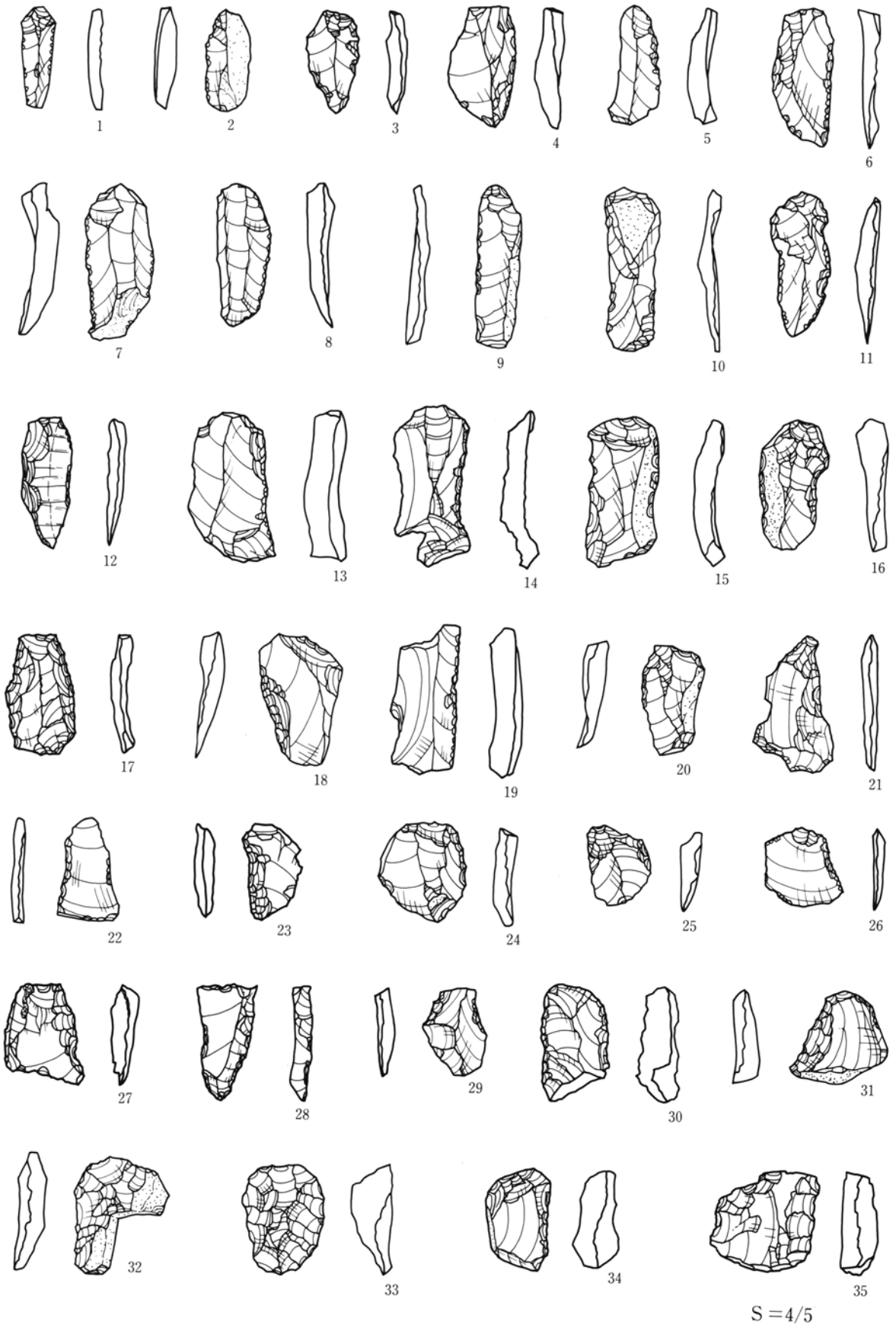
S=4/5

第301図 遺構外出土石器 石鏃・石錐



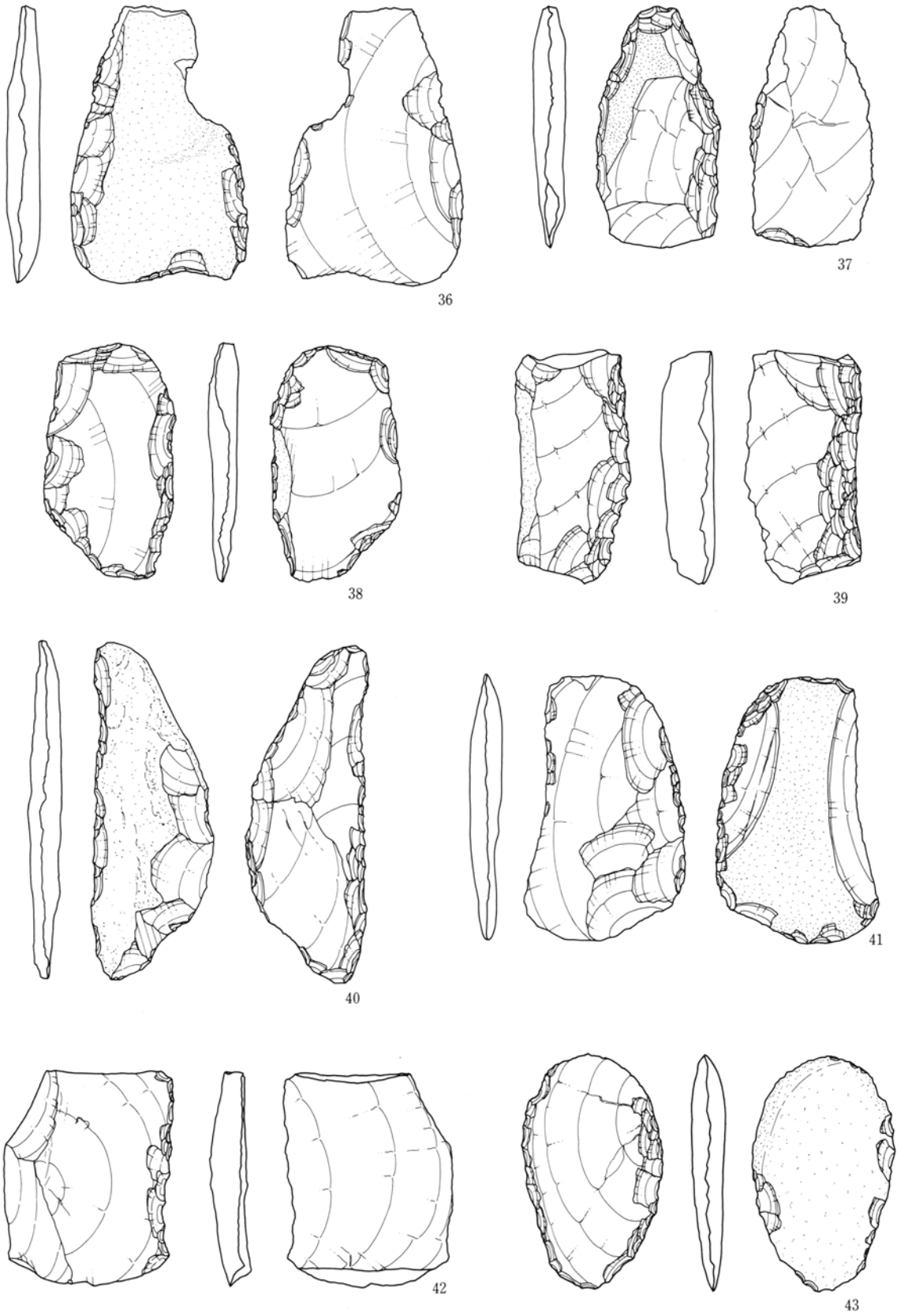
第302図 遺構外出土石器 石匙

S = 1/2



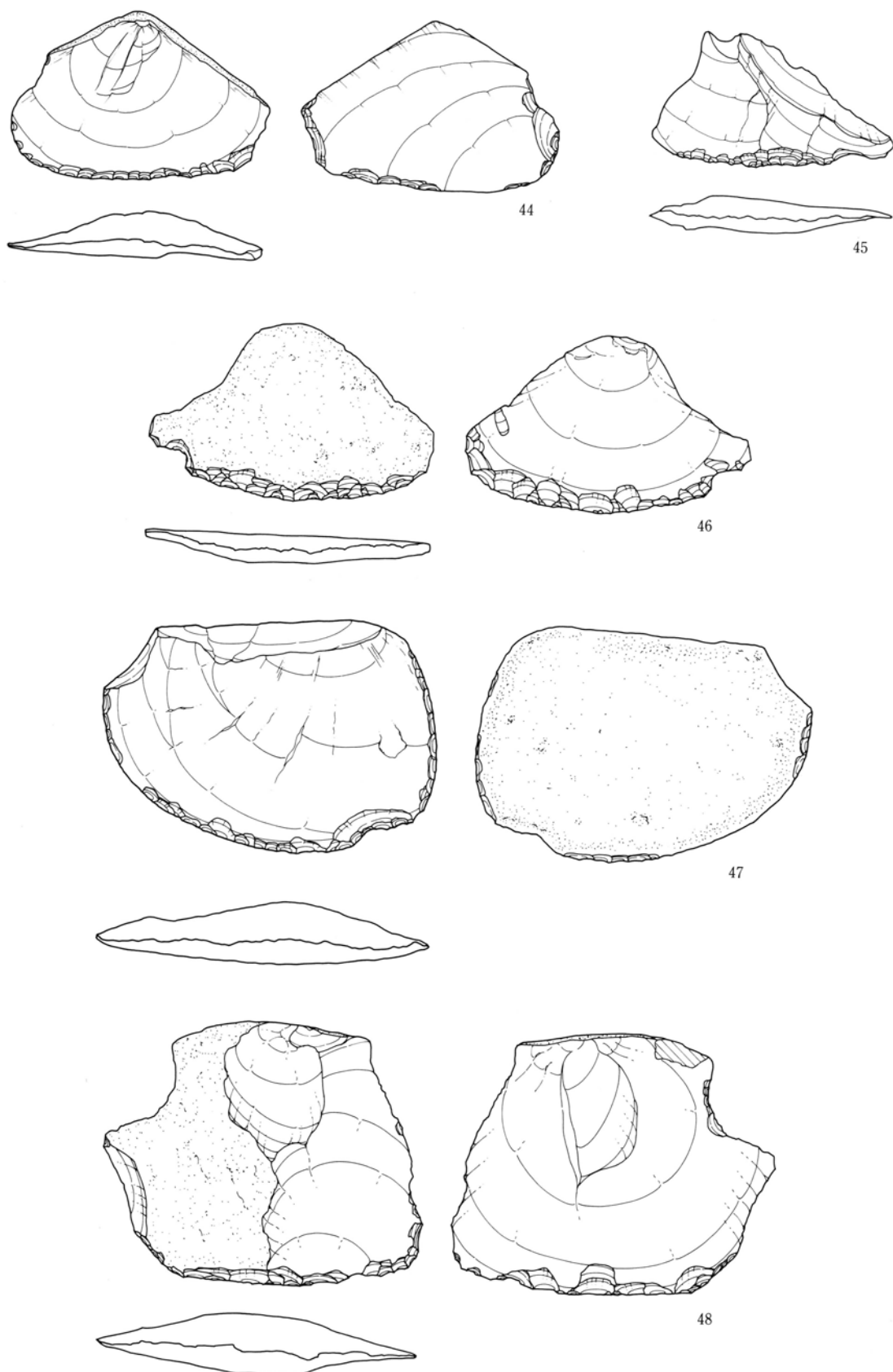
S=4/5

第303図 遺構外出土石器 スクレイパー (1)



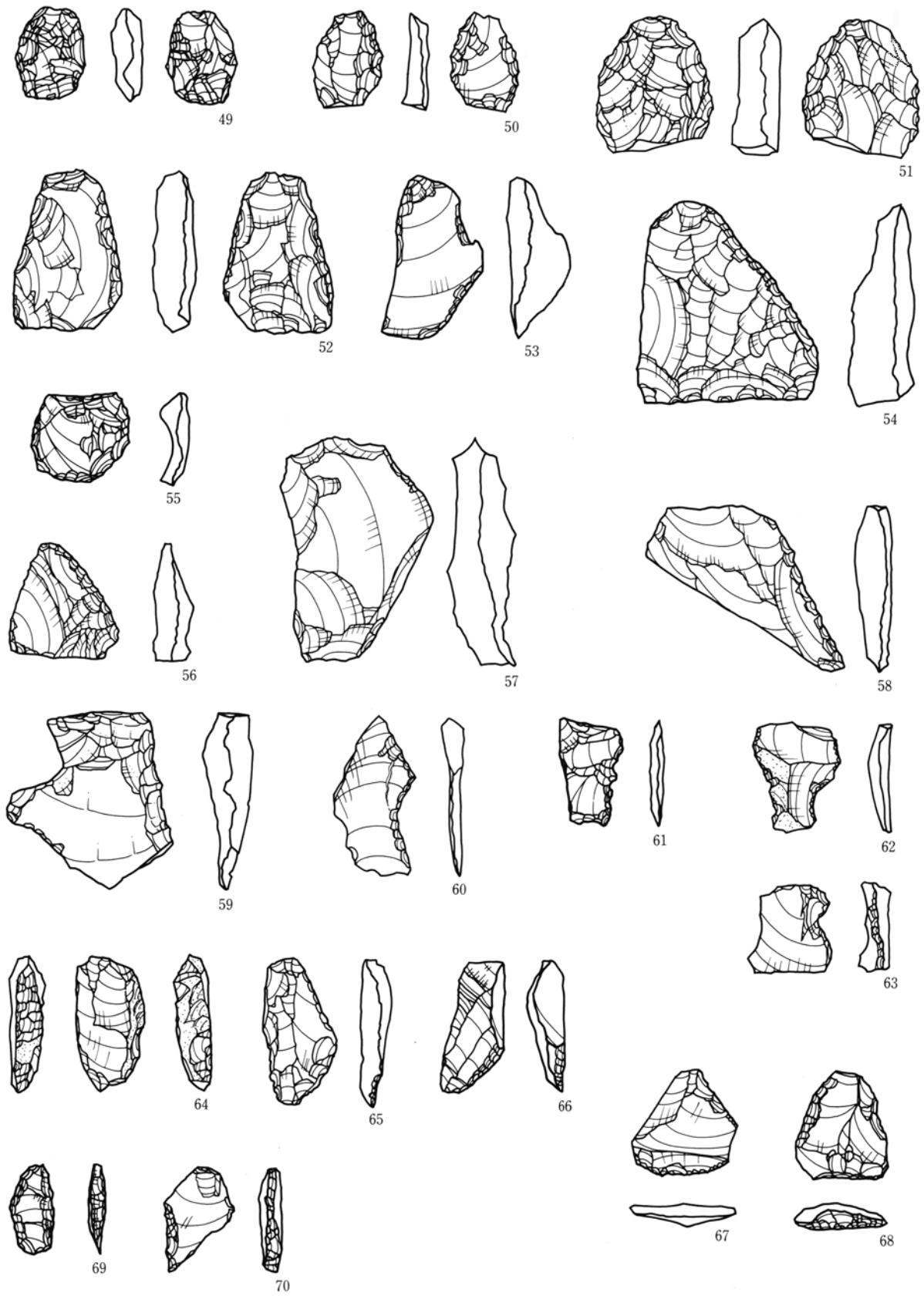
S=1/2

第304図 遺構外出土石器 スクレイパー (2)



第305図 遺構外出土石器 スクレイパー (3)

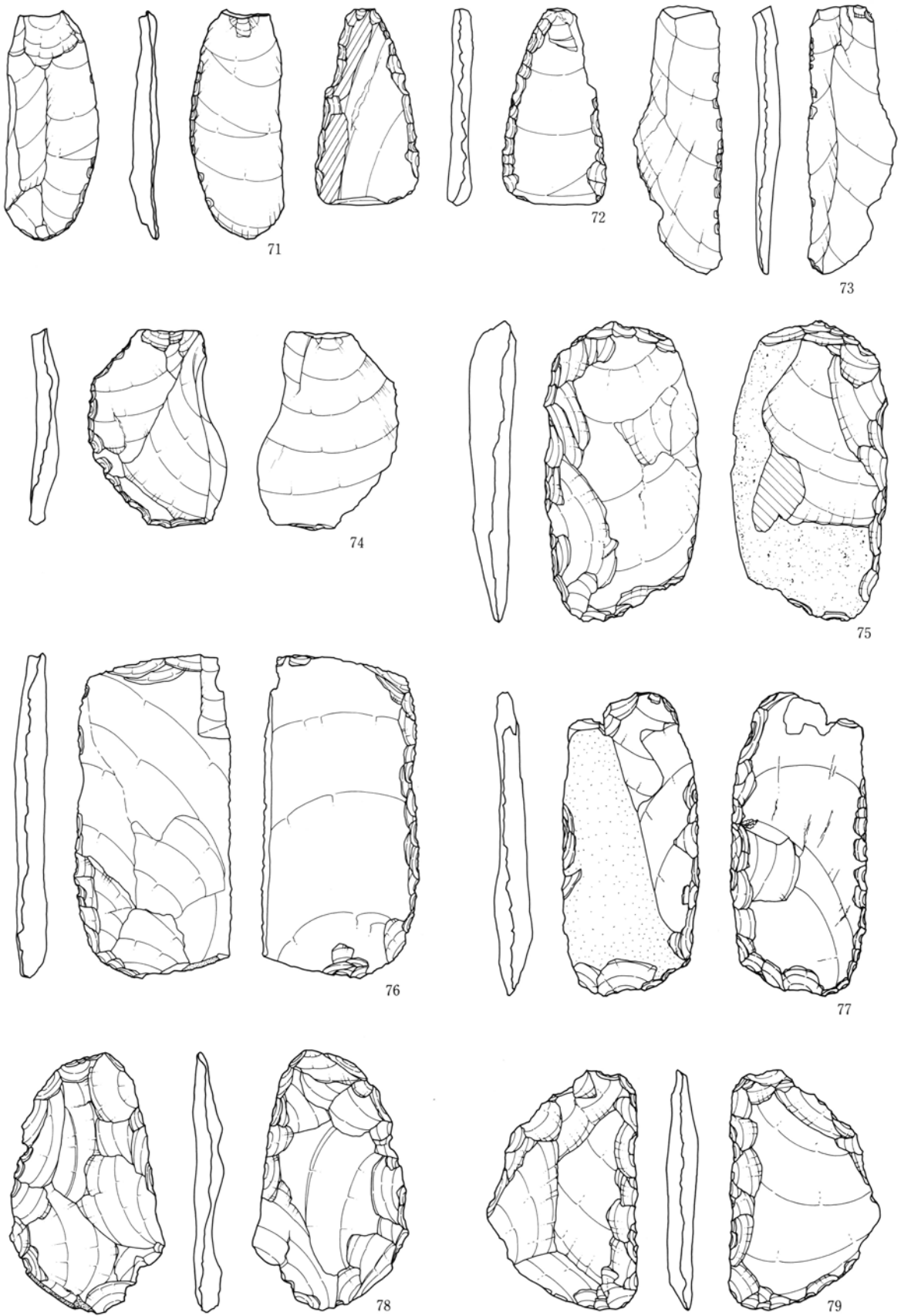
S=1/2



S=4/5

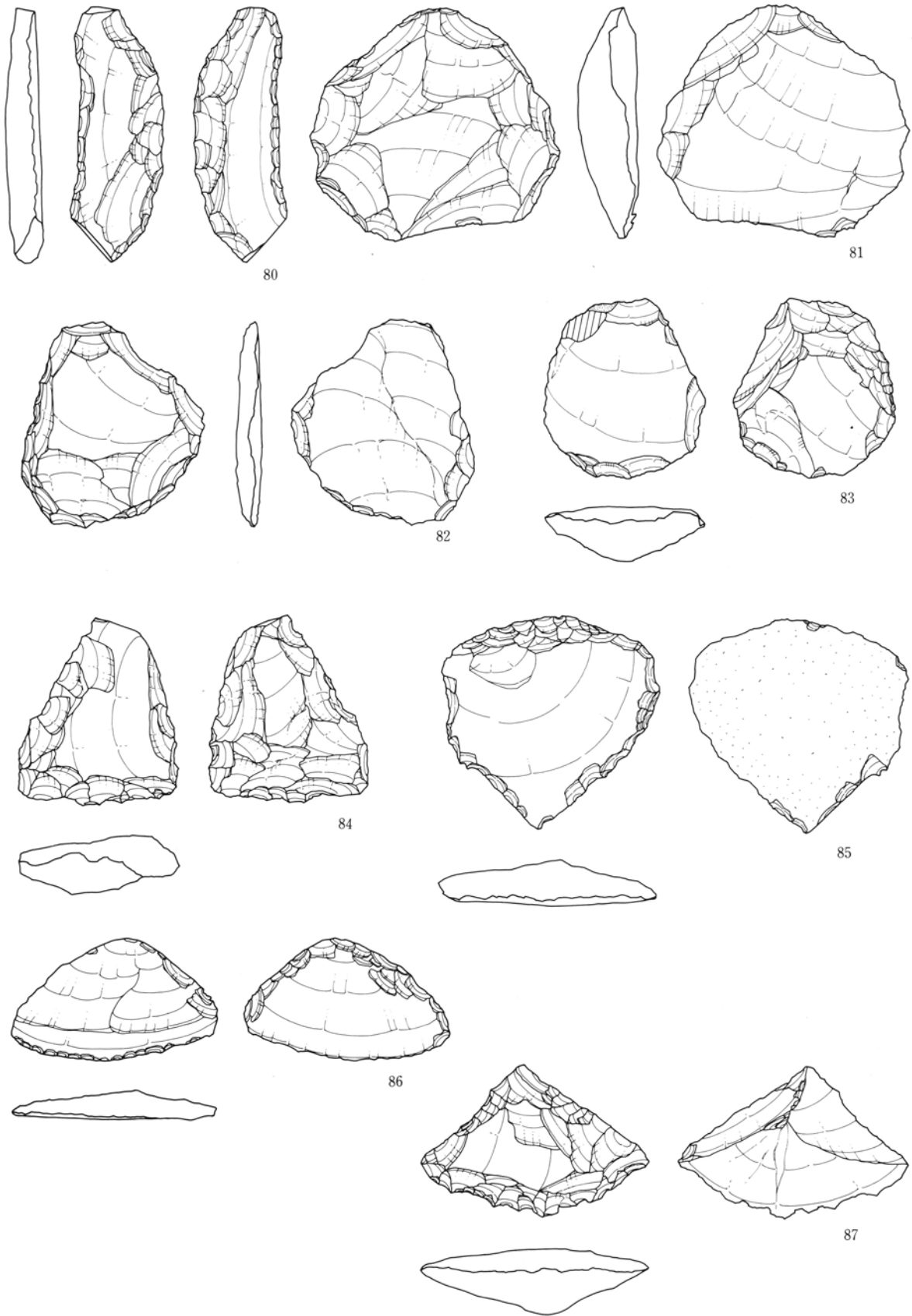
第306図 遺構外出土石器 スクレイパー (4)

第3章 検出された遺構と遺物



S=1/2

第307図 遺構外出土石器 スクレイパー (5)



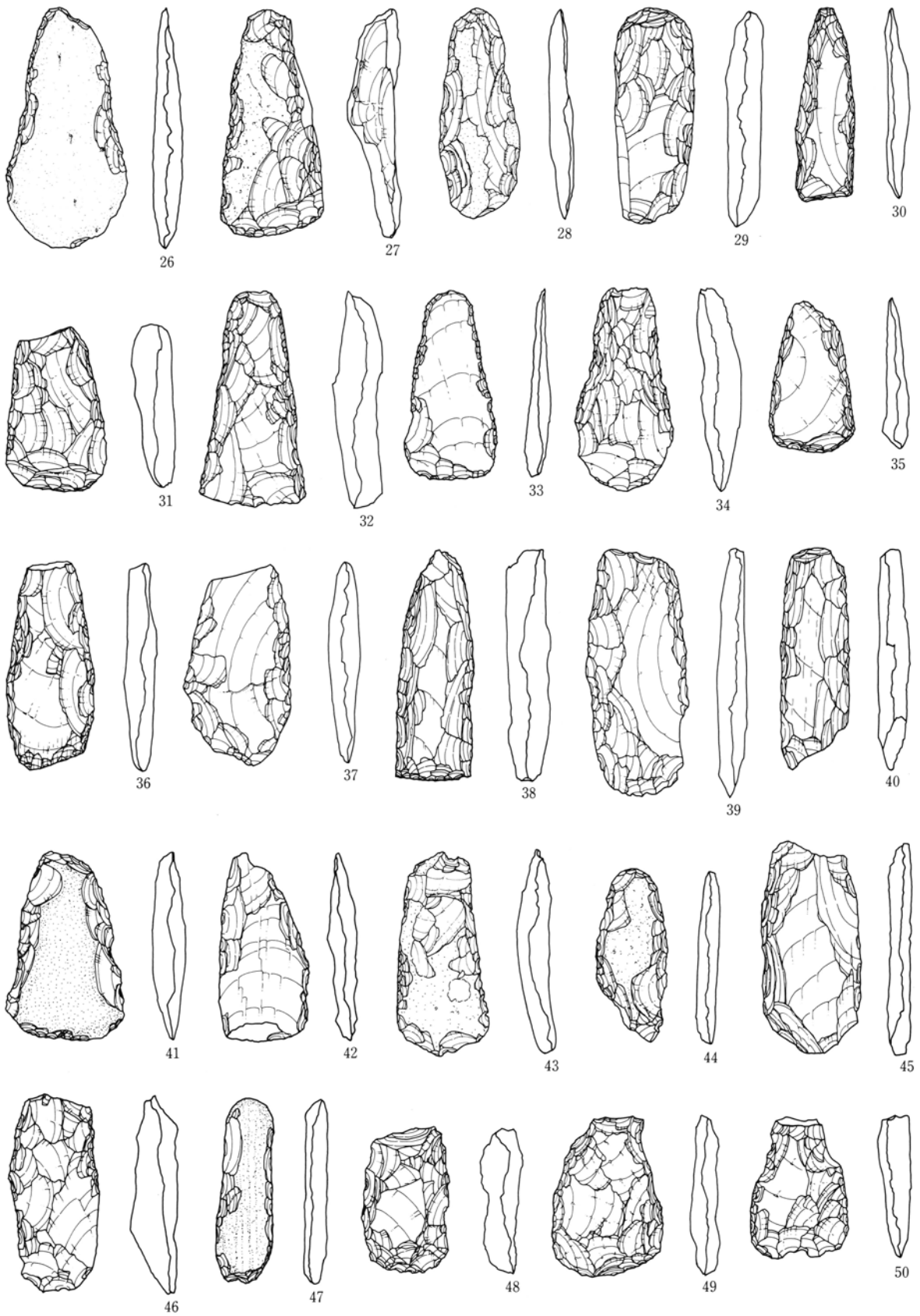
第308図 遺構外出土石器 スクレイパー (6)

S=1/2



S=1/3

第309図 遺構外出土石器 打製石斧 (1)

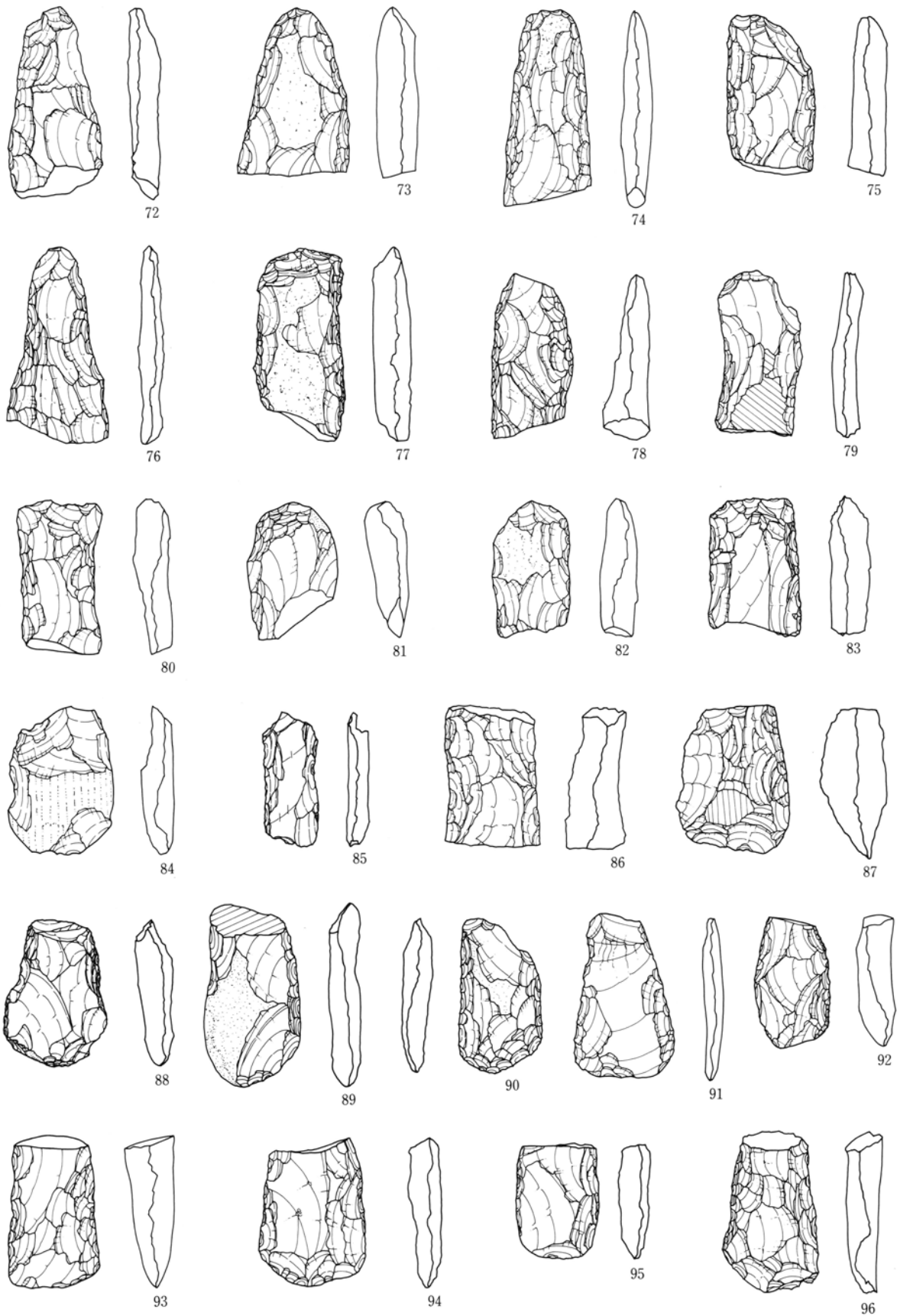


S = 1/3

第310図 遺構外出土石器 打製石斧(2)

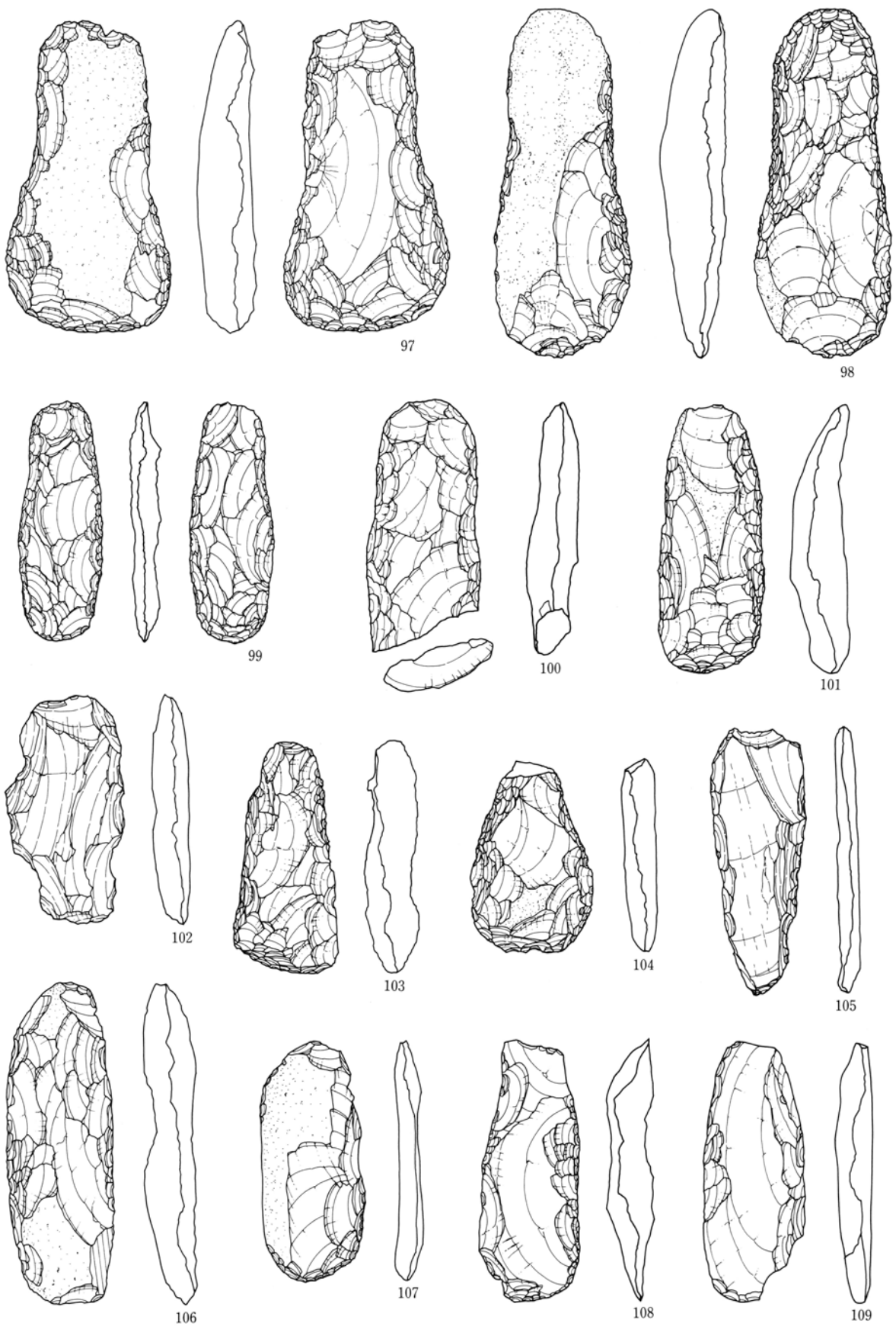


第311図 遺構外出土石器 打製石斧 (3)



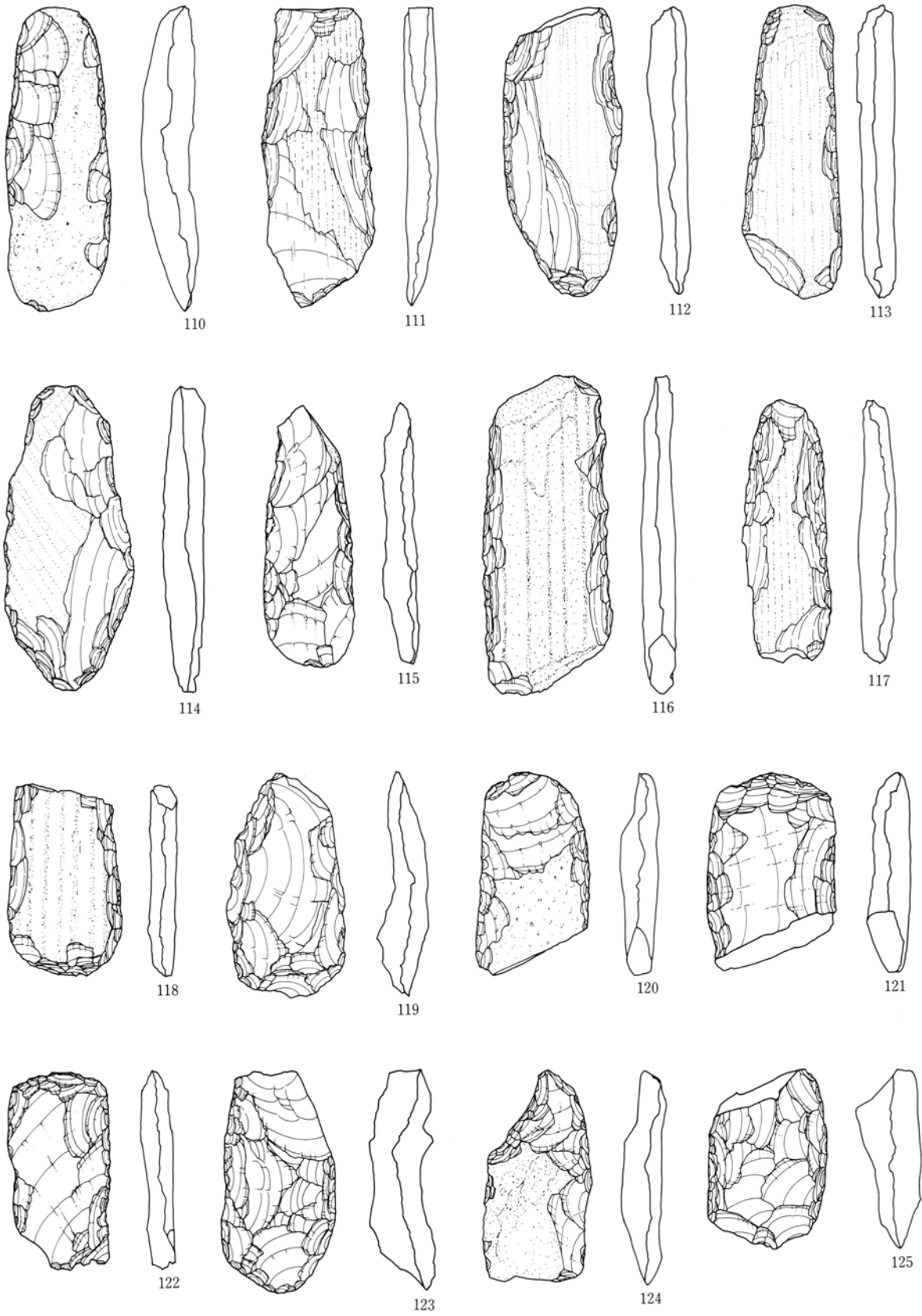
第312図 遺構外出土石器 打製石斧(4)

S=1/3



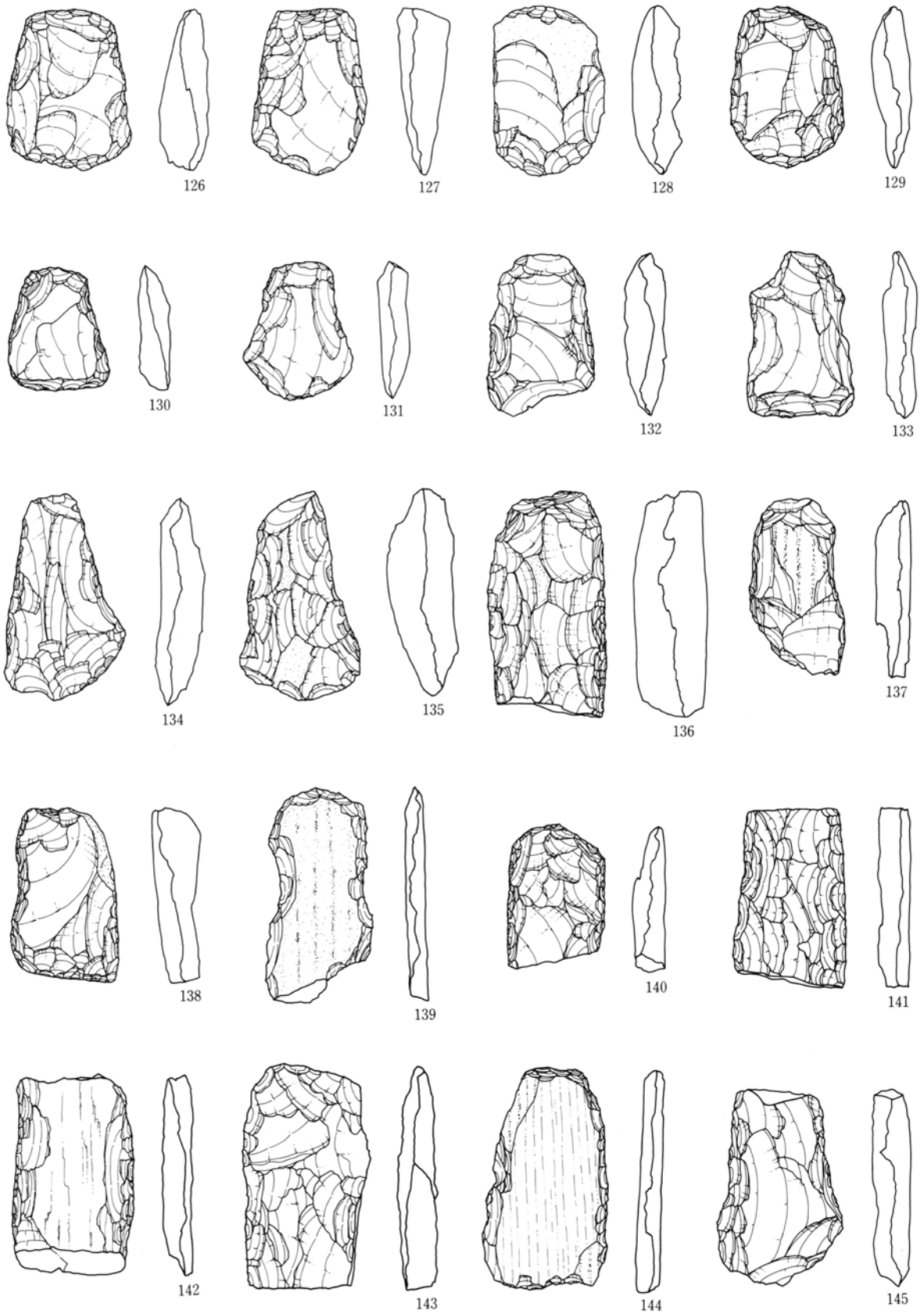
第313図 遺構外出土石器 打製石斧 (5)

S=1/3



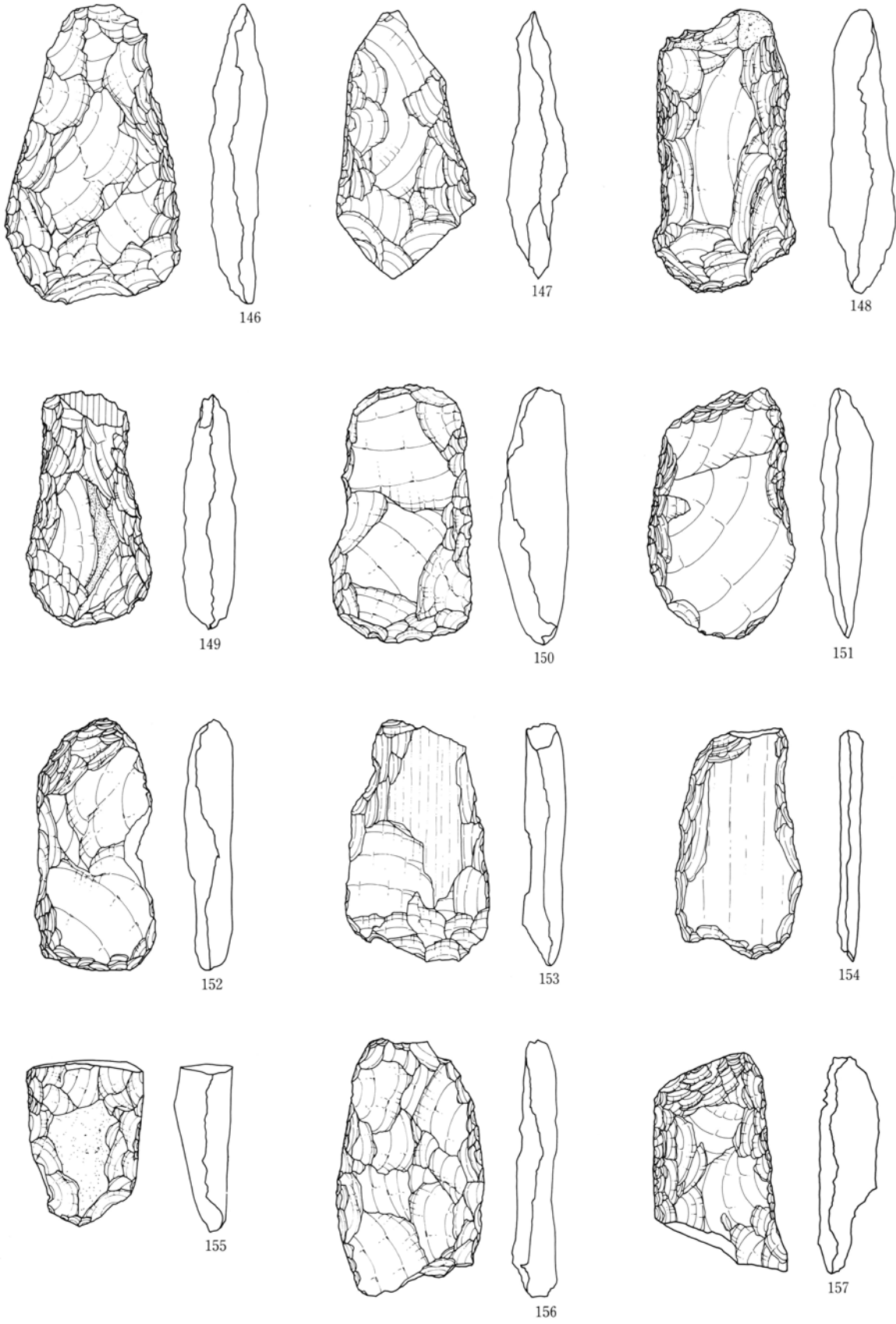
S=1/3

第314図 遺構外出土石器 打製石斧 (6)



S=1/3

第315図 遺構外出土石器 打製石斧(7)



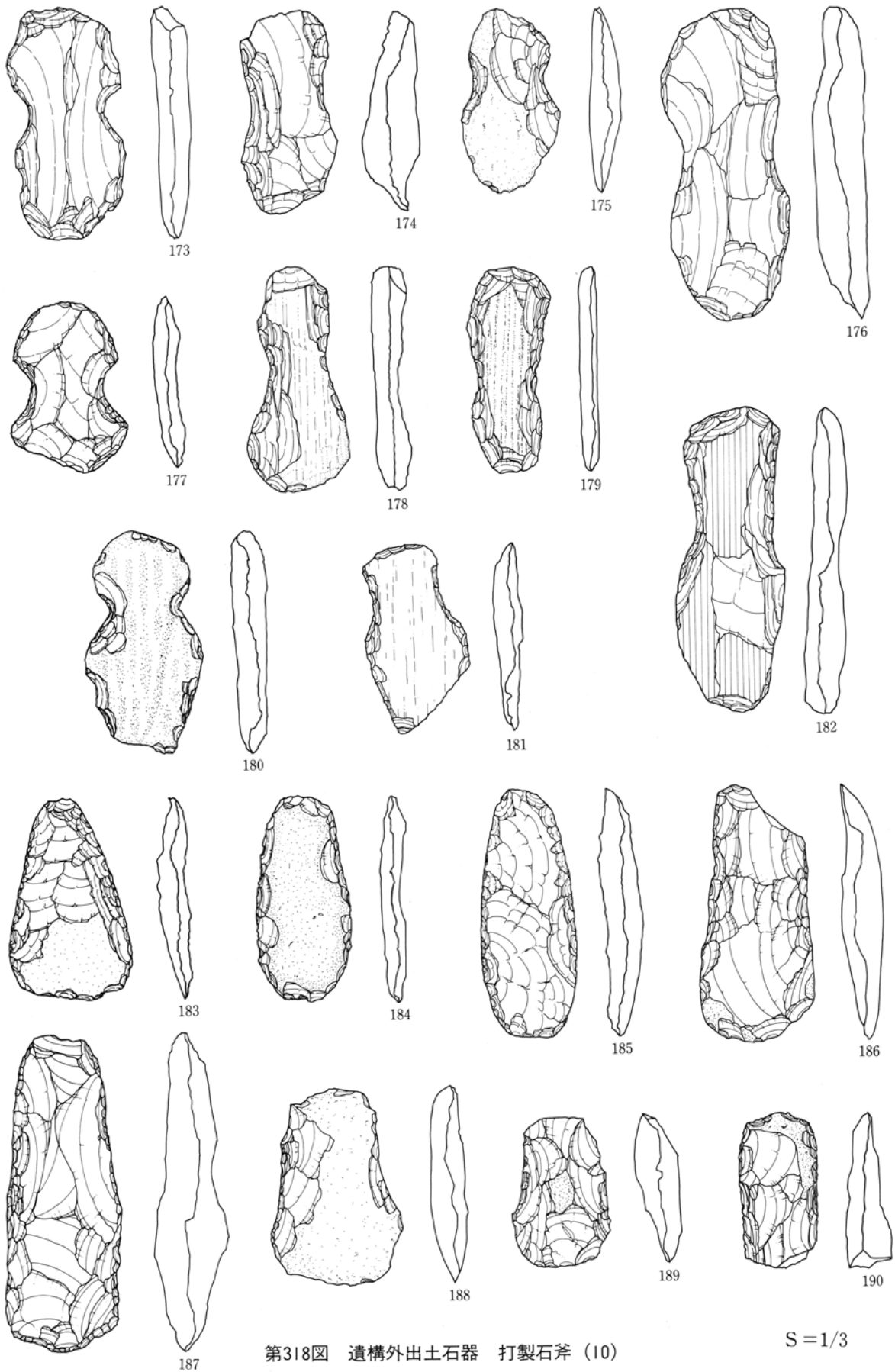
S = 1/3

第316図 遺構外出土石器 打製石斧 (8)



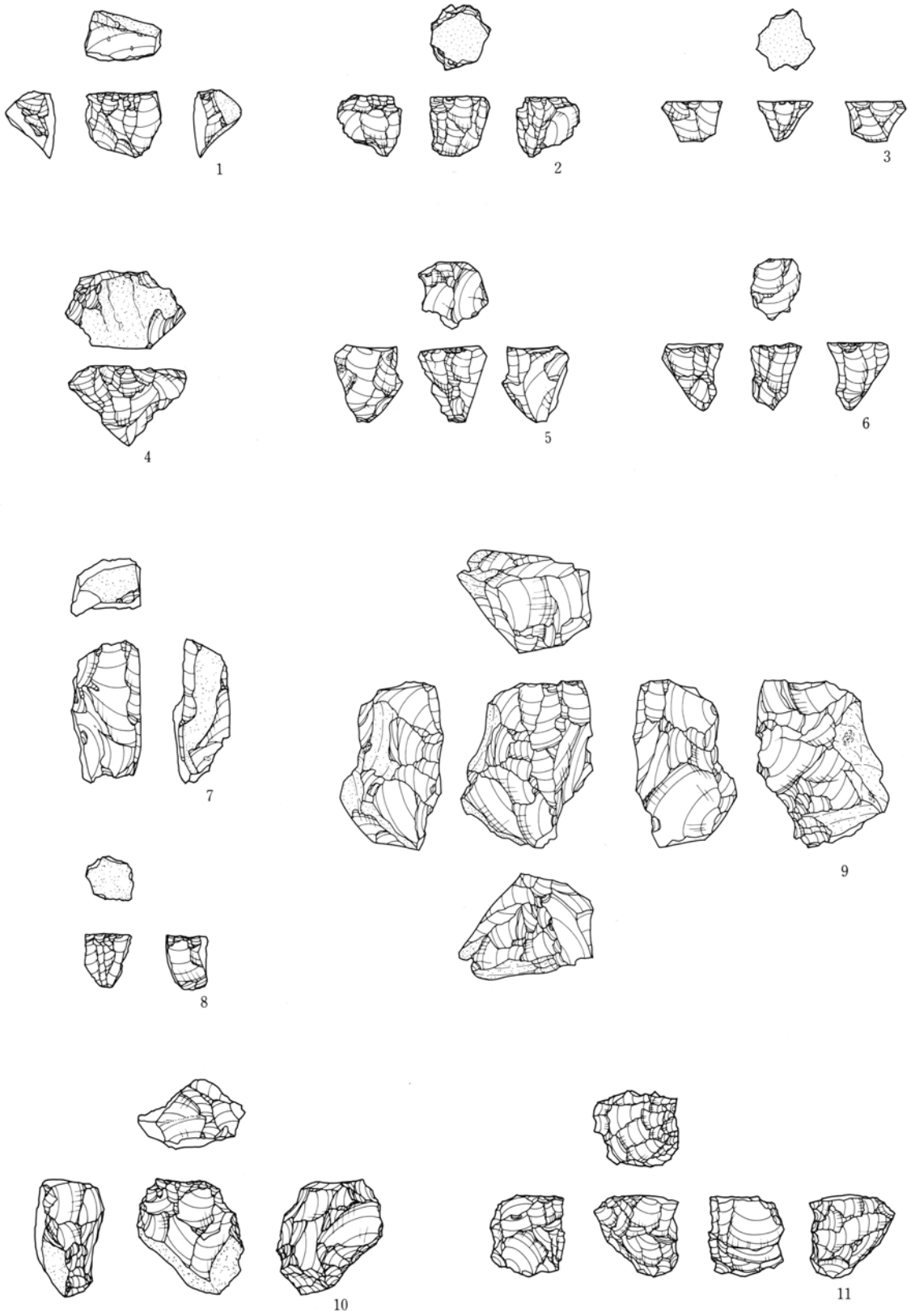
S=1/3

第317図 遺構外出土石器 打製石斧 (9)



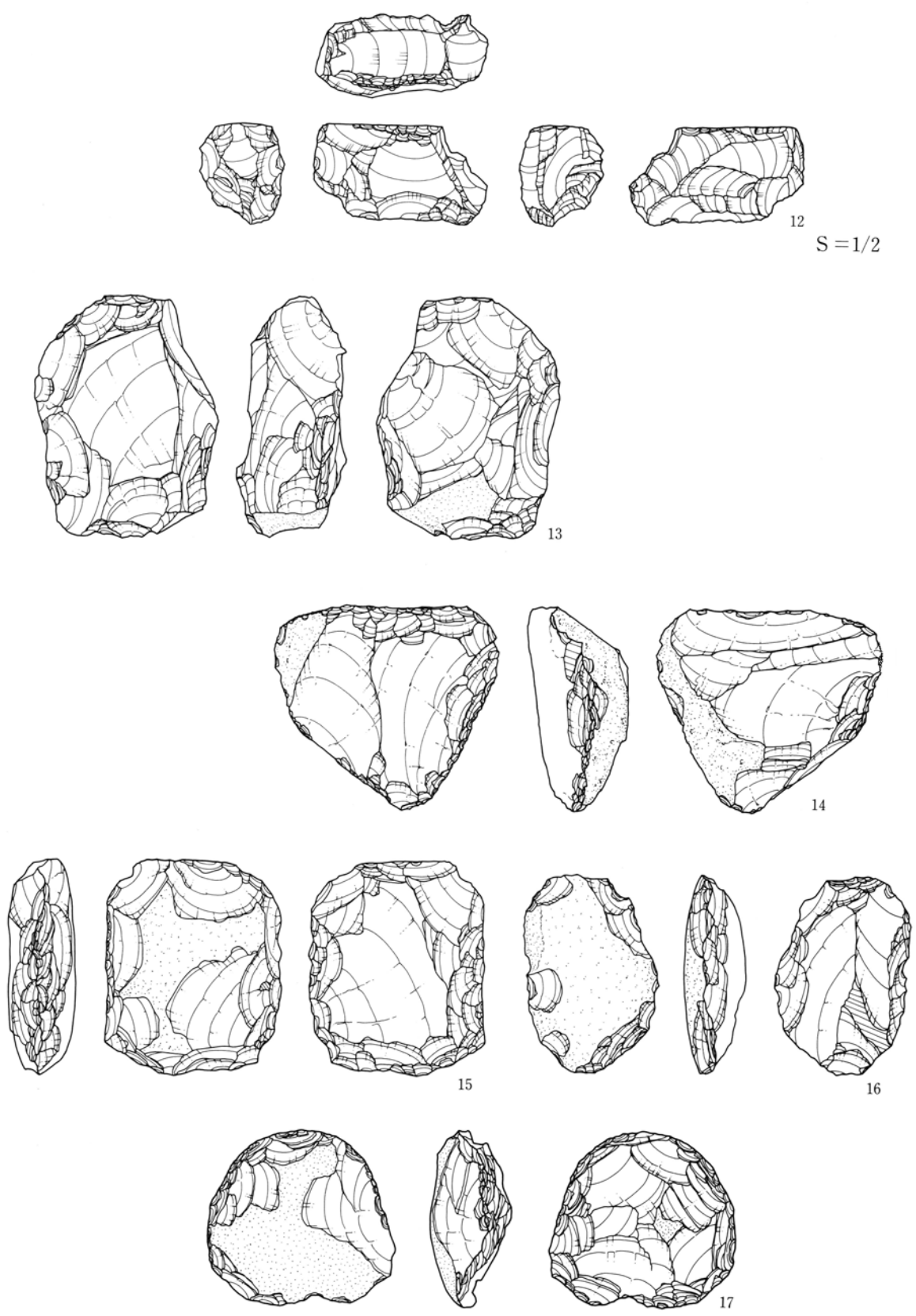


第319図 遺構外出土石器 磨製石斧



S=1/2

第320図 遺構外出土石器 石核(1)



12
S=1/2

13

14

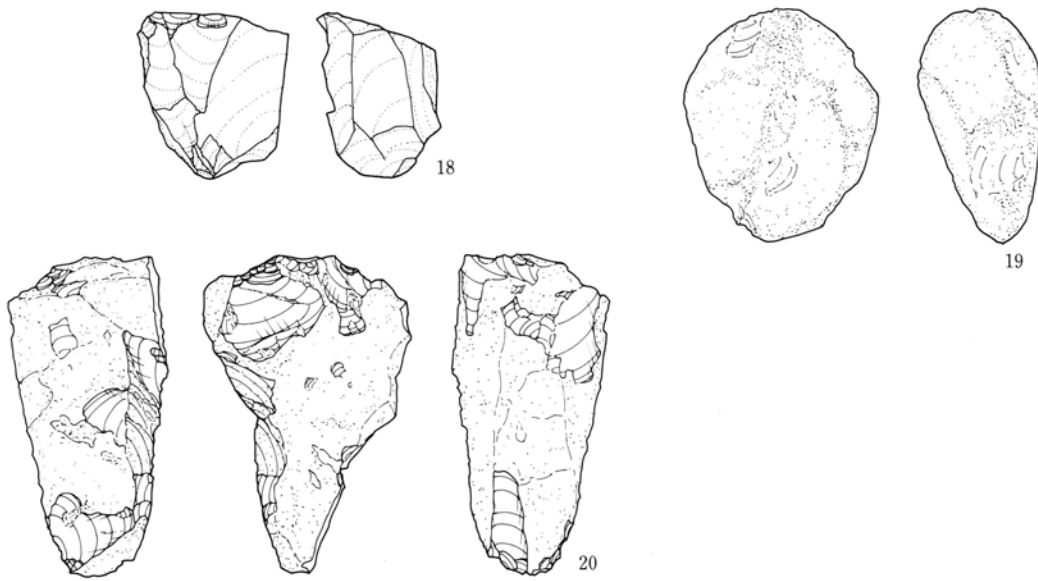
15

16

17

S=1/3

第321図 遺構外出土石器 石核(2)



S=1/2

第322図 遺構外出土石器 原石

これらは、その形状等から次のように分類される。

I類 (1～64) 器体全体を磨くだけのもの。その形状から、平面形および断面形が共に丸く球状を呈するものと、卵状ないしは楕円状を呈するものがある。いずれのものも、丁寧に磨かれている。

II類 (65～155) 器体を磨いた他に、凹状の孔を有するもので、孔のあり方から次のように分けられる。

A種 片面ないし両面に、凹孔を一つもつもの。65・69・112に代表され、卵状の磨き石に凹孔をもつものや、やや棒状に長い磨き石を施すものもある。また105・109のように、両側面を平坦に磨いたものを使用する例もある。さらに磨きの状態としては、形状の不整な106・107のように一部の面だけを磨くといった、I類ほど丁寧な磨きが施されていないものもある。

B種 片面ないし両面に、2つ以上の凹孔をもつもの。115・117・146・148に代表され、卵状の磨き石に凹孔をもつものや、137のようにやや棒状に長い磨き石を施すものもある。また129・136のように、両側面を平坦に磨いたものを使用する例や、133・147のように側面および上下面まで磨いているものもみられる。

C種 両面および側面にも、凹孔をもつもの。151～155の4点であるが、凹孔を有する表裏両面と側面が平坦に研磨されている。中には、151のように上下端をも平坦に研磨し、器体を方形に研磨整形するものもみられる。

凹石 (第330～373図 表43)

この凹石は、本遺跡で出土した石器の中にあつて最も量の多いもので、その数は1200点余を越えている。これらの石材には、牛伏砂岩、雲母石英片岩、緑色片岩、黒色片岩等が用いられ、最も多い石材には緑色片岩が、ついで黒色片岩、さらには地元産出の牛伏砂岩が使用されている。こうした凹石は、その凹孔のあり方から次のように分類される。片面ないし両面に、凹孔を一つもつものをI類、凹孔を二つもつものをII類、

第3章 検出された遺構と遺物

凹孔を三つ以上もつものをⅢ類。さらに、その形状から、それぞれ細分できる。なお、各類のC種とした棒状に長い素材の石材には、牛伏砂岩を使用する例はほとんど認められない。さらにⅣ類として、Ⅰ～Ⅲ類とは異なる表裏面以外の面にも凹孔を施すものをまとめた。

I類 (第330～347図) 表面ないしは表裏両面に凹孔を一つもつものを、この類とする。本類は、使用される石材に特色があり、他の類に比べ牛伏せ砂岩を使用する例が多くみられる。使用される素材の石の形状から次のように細分される。

A-1種 拳大ほどのやや偏平な石を素材とするもので、片面に凹孔を有する。1～28が、この種に分別され、凹孔は素材の中央にもつ。

A-2種 拳大ほどのやや偏平な石を素材とし、表裏両面に凹孔を有するもの。183～208がこの種に分別され、両面ともに素材の中央に孔をもつ。また194の表面には、2本の溝状の研磨痕があり、凹孔は研磨痕の後に施されている。

B-1種 素材となる石の大きさは様々で、片面に凹孔を有するもの。29～45・105～117のように偏平な大形の石を素材とするものや、46～104・118～129のように楕円状の偏平な石を素材とするものがあり、欠損しているものが多くみられる。また89・116については、一見他と同様に凹孔を施した後の欠損のようにみえるが、凹孔の施される位置が器体の中央にあること等から、むしろ素材となる石を割った後に凹孔を施したと考えられるものであり、74・85・86・90・109・124・126についてもその可能性をもつものである。

B-2種 素材となる石の大きさは様々で、不定型ないし楕円状のやや偏平なもので、表裏両面に凹孔を有するもの。209～291・293～310がこの種に分別され、228・243～245・254～256・261・265・283・287等は、先述した素材の石を割った後に凹孔を施したと考えられるものである。また235は、石錘状に器体の両端に剝離をもつものであり、212・300は側縁に剝離を施すものである。

C-1種 縦長でやや偏平ないしは棒状に長い石を素材とするもので、片面に凹孔を有する。130～182が、この種に分別され、凹孔を素材の中央にもつものと、136・200・149・158のように長軸上の端部寄りにもつものがある。

C-2種 縦長でやや偏平ないしは棒状に長い石を素材とするもので、表裏両面に凹孔を有する。292・311～352がこの種に分別され、凹孔を器体の中央にもつものと、312・316・321・322等のように長軸上の端部寄りにもつものがある。

Ⅱ類 (第348～362図) 表面ないしは表裏両面に凹孔を二つもつものを、この類とする。Ⅰ類に比べ、本類に使用される素材の石は、全体的に縦長のものを用いる傾向にあり、使用される素材の石の形状から、次のように細分される。

A-1種 拳大ほどのやや偏平な石を素材とするもので、片面に凹孔を有する。353～364が、この種に分別され、凹孔は素材の長軸上のほぼ中央にもつ。

A-2種 拳大ほどのやや楕円状の偏平な石を素材とし、表裏両面に凹孔を有するもの。442・446・447・450～455・457～463がこの種に分別され、両面ともに素材の長軸上のほぼ中央に孔をもつ。裏面に施される凹孔は、一つだけのものもある。

B-1種 素材となる石の大きさは様々で、片面に凹孔を有するもの。365～409が、この種に分別される。全体的な傾向としては、凹孔を素材の長軸上に施すことから、縦長となる石を素材としている。比較的偏平な形の石を素材とするものが多く、365・367・369・372・385のように長楕円状の石

を素材とするものや、402・403・407のように素材となる石を割った後に凹孔を施したと考えられるものもある。

B-2種 素材となる石の大きさは様々で、不定型ないし長楕円状のやや偏平なもので、表裏両面に凹孔を有するもの。439～441・443～445・448・449・456・464～567がこの種に分別される。439に代表されるような、大形の石を素材とするものや、443～445の様な縦長の石を素材とするものがあり、この種では後者のものが主体をなす傾向が強い。凹孔は、素材の長軸上のほぼ中央付近に施され、連続させているものもみられる。また、540は、素材の石を割った後に凹孔を施したものであり、519の側縁部には剝離を施している。なお、裏面の凹孔は、表面と同様に二つもつもの、一つだけ施されているものがある。

C-1種 棒状に縦長な石を素材とするもので、片面に凹孔を有する。410～433が、この種に分別される。凹孔を素材の長軸上の中央付近にもつものと、424のように長軸上の両端部寄りにもつもの、さらには417・419・432・433のように凹孔を連続させるものもある。

C-2種 縦長でやや偏平ないしは棒状に長い石を素材とするもので、表裏両面に凹孔を有する。568～642が、この種に分別され、本類の中では最も多い。先のB-2種でも触れたように、縦長の素材を用いる点で、B-2種としたものとの区別をし難いものが含まれる。大方のものは、凹孔を長軸上のほぼ中央にもつが、592・605のように長軸上の端部寄りに連続させて施しているものがある。なお、裏面の凹孔は、表面と同様に二つもつもの、一つだけ施されているものがある。

Ⅲ類(第363～372図) 表面ないしは表裏両面に凹孔を三つ以上もつものを、この類とする。本類としたものの中には、多孔石とした方がよいと考えられるものも一部に含まれているが、素材となる石の大きさから本類に含めた。使用される素材の石の形状から、次のように細分される。

A-1種 拳大ほどのやや偏平な楕円状の石を素材とするもので、片面に凹孔を有する。651・654がこの種に分別されるが、いずれも欠損品である。このA種とするものは、非常に少ない。

A-2種 A-1種と同様の大きさの素材を用いるものを想定したが、表裏両面に凹孔を有するものはみあたらない。

B-1種 素材となる石の大きさは様々で、片面に凹孔を有するもの。646～650・655のように偏平ないし不定型な大形の石を素材とするものや、644・645・652・653・656・657のように楕円状ないし縦長の偏平な石を素材とするものがあり、欠損しているものが多くみられる。大形の石を素材とするものの凹孔は、施される位置が不定であるのに対し、楕円状ないし縦長のものは長軸上に連なるように施される。また、657については、端部が欠損しているが、側縁に剝離が施されている。

B-2種 素材となる石の大きさは様々で、不定型ないし楕円状のやや偏平なもので、表裏両面に凹孔を有するもの。684～717がこの種に分別され、大形の不定型な石を素材とする684～686等や、長楕円状の690～694等のものがある。凹孔の施される位置は、長軸状の中央付近に連続させているものが多くみられる。また、素材の石を割った後に凹孔を施したともものには、700がある。裏面に施される凹孔の数は、様々である。

C-1種 縦長でやや偏平ないしは棒状に長い石を素材とするもので、片面に凹孔を有する。658～683が、この種に分別される。大方の凹孔の施される位置は、素材の長軸上にあるが、679のように単軸上に施されるものもある。また、この679は、素材の両端部を欠いた後に、凹孔を施したともものと考えられる資料である。

第3章 検出された遺構と遺物

C-2種 縦長でやや偏平ないしは棒状に長い石を素材とするもので、表裏両面に凹孔を有する。718～812がこの種に分別され、本Ⅲ類の中で最も量が多い。大方のものは、長軸上に凹孔をもち、器体の中央部に連続させるものと、長軸全体にバラつかせているものがある。中には、728等のように長軸上の端部寄りに連続してもつものもある。また、811の周縁部には、剝離が施されている。裏面に施される凹孔の数は、様々である。

Ⅳ類 (第372・373図) 表裏両面および側面にも凹孔をもつものを、この類とする。使用される素材の石の形状は、813のような拳大のものから縦長なもの(楕円も含む)、棒状のものが用いられ、偏平というよりは比較的肉厚なものが多い。また815・819のように、断面形が三角形を呈するものもある。器体に施される凹孔の数はまちまちで、表裏面に2個から3個のものが多い。表裏面と側面の3面に施されるものには、813・814・816～818・821～823・825があり、815・819は3面に施されてはいるが、素材の形状からすれば全面と言える。同様に4面に施されているものは、820・824・826～830である。なお、829については、棒状に長い素材の両端を欠いた後に、凹孔を施したものと考えられる。

多孔石 (第374～398図 表44)

本遺跡で出土した多孔石は、先の凹石に次ぎ、二番目に多い石器であり、その数は500点余を数える。これらの石材には、牛伏砂岩、緑色片岩、雲母石英片岩、黒色片岩等が用いられ、最も多い石材には牛伏砂岩が、ついで緑色片岩、さらには地元産出の牛伏砂岩が使用されている。このことは、牛伏砂岩という石材が、この種の石器として加工しやすいことが、使用頻度の高さに起因しているものと考えられる。

なお、ここに掲載したものは、出土したものの一部であり、破片を避けた比較的に遺存状態の良好なものを提示している。また、多孔石と石皿の両者の要素を併せもつものについては、石皿を優先させ、ここでは省いている。

これら多孔石は、1～3に代表されるようなかなり大形のものから、140・144・158・168に代表される比較的に小形のものまでと、その素材に用いられる石の大きさは様々であり、全体的には表裏面の平坦なものが主体を成す。凹孔は、14・83・98・117・123・125・130等のように片面だけに施されるものと、両面に施されるものとの両者がある。それぞれに施される凹孔は、面の全体に不規則に施され、1のように隙間なく密に施されているものから、3のように疎らに施されているものまで様々である。また、中には162のように、円形に連続させて施しているものもみられる。

石皿 (第399～407図 表45)

本遺跡で出土した石皿は、他の石器と同様に比較的多く、その数は67点を数える。これらの石材には、牛伏砂岩、粗輝安山岩、緑色片岩等が用いられ、最も多い石材には牛伏砂岩が、ついで粗輝安山岩、さらには地元産出の牛伏砂岩が使用されている。牛伏砂岩が使用されているものは、多孔石の要素を併せもつものに多く認められ、先にも触れたように、多孔石の用途としての加工しやすさに起因しているものと考えられる。なお、多孔石と石皿の両者の要素を併せもつものについては、石皿としてここで扱っている。

出土した石皿は、次のように多孔をもつⅠ類と、多孔をもたないⅡ類とに分類することができる。

Ⅰ類 (1～53) 多孔石の要素と、石皿の要素を併せもつものである。大形の比較的偏平な石を素材とし、両者の要素のあり方から、次のように細分できる。

A-1種 片面が石皿となるもので、片面に多孔をもつもの。14・15・18～20・22・23・30・33・34・36・

37・39～41・45・47・48・50・51が、この種に分別される。これらには、20・37等のように多孔を皿面と同じ面にもつものと、14・15・19・48のように皿面の反対面にもつものとの両者があり、同一面での皿と多孔の両者が共存する場合と、多孔を施した後に研磨による皿としての加工を施したものが存在する。多孔と皿の両者を併せもつ良好な例として、37が上げられる。大方のもの皿面は、緩い摺り鉢状に中央部がくぼめられるものであるが、34・39・40・51については、皿面の縁辺部が有段状に作り出されており、皿面が平坦に仕上げられている。

A-2種 片面が石皿となるもので、両面に多孔をもつもの。1・3・4・7・8・10～13・16・17・21・24～29・31・35・38・42～44・49・52・53が、この種に分別される。これらには、同一面での皿と多孔の両者が共存する場合と、多孔を施した後に研磨による皿としての加工を施したものが存在する。前者の多孔と皿の両者を併せもつ良好な例として、7・17が上げられ、後者の良好な例には1・3等が上げられる。また、4等のように、皿面の周縁のみに多孔が認められるものの内、皿部の研磨により多孔が消失したと考えられるものも存在する。大方のもの皿面は、浅い深い差はあるものの緩い摺り鉢状に中央部がくぼめられるものであるが、42・43については、皿面の縁辺部が有段状に作り出されており、皿面が平坦に仕上げられている。なお、13については、表裏両面に数条の溝が施されている。

B-1種 両面が石皿となるもので、片面に多孔をもつもの。6・9の2点が、この種に分別される。これらは、表面とした皿部が深く研磨されている面と、裏面とした皿と多孔の両者が共存する面からなる。多孔と研磨の関係については、A種ほど明瞭ではない。2点とも皿面は、表とした面が深く裏面が浅い状態で、緩い摺り鉢状に中央部がくぼめられるものである。

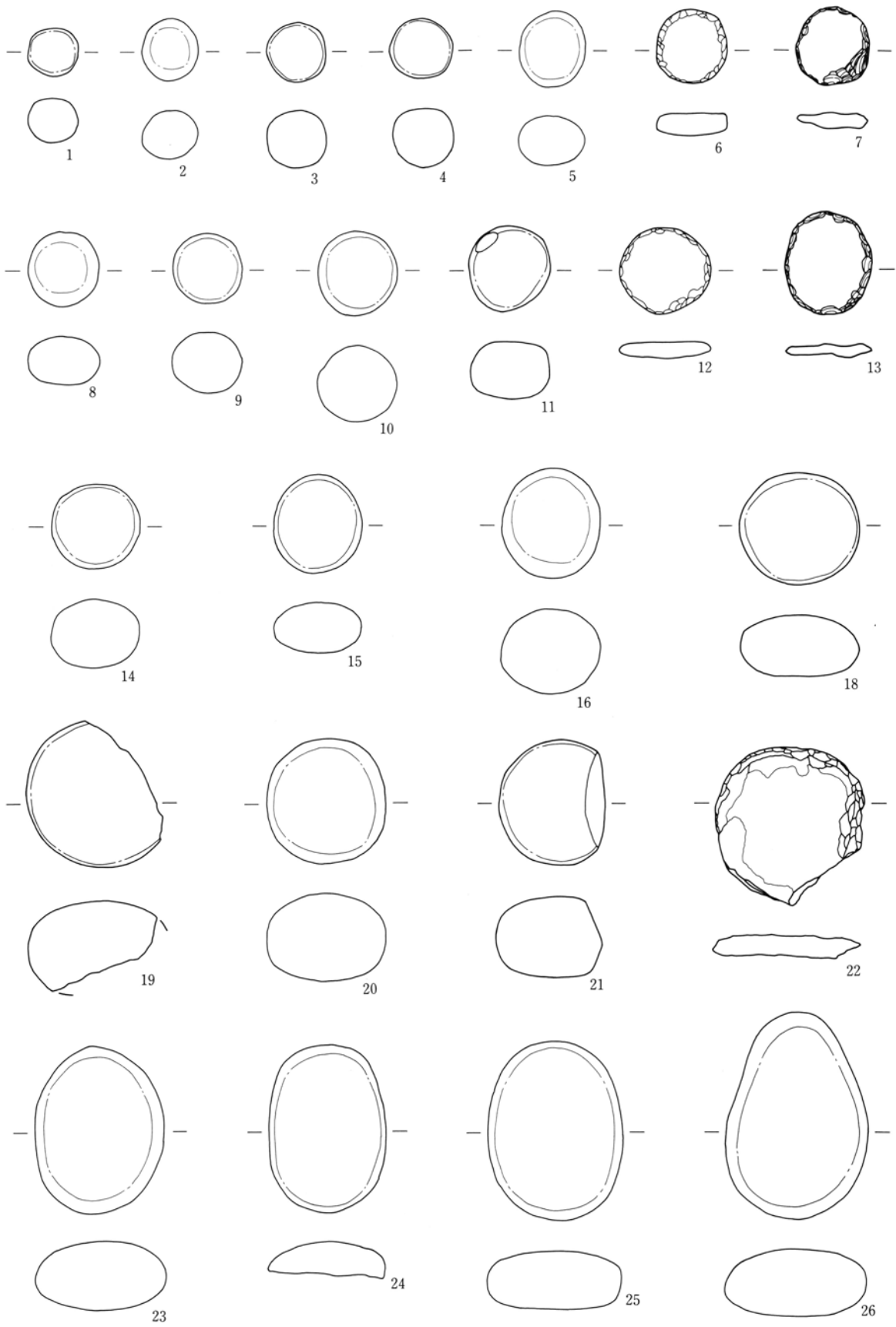
B-2種 両面が石皿となるもので、両面に多孔をもつもの。2・5・32・46の4点が、この種に分別される。これらには、皿と多孔の両者が共存する場合と、多孔を施した後に研磨による皿としての加工を施したものが存在する。前者の多孔と皿の両者を併せもつ良好な例として、46が上げられ、後者の良好な例には2が上げられる。また、5・32のように、皿面の周縁のみに多孔が認められるものは、皿部の研磨により多孔が消失したと考えられる。皿面の状態は、表とした面が深く裏面が浅いものや、両面ともに同程度のものがあり、緩い摺り鉢状に中央部がくぼめられるものである。

II類 (54～67) 石皿としての要素だけをもつものである。14点の全てが、片面のみに石皿としての加工を施しているものであり、67だけがミニチュア的な小形のものである。これらの中、56・62については皿面の縁辺部が有段状に作り出されており、皿面が平坦に仕上げられている。他のものは、緩い摺り鉢状に中央部がくぼめられるものである。小形の67は、縁辺部がコの字状に三方に作り出されている。なお、60・61・63・66には、表面ないし裏面に単独に凹孔をもっている。また、65の皿面は、部分的に浅く剥落しており、石皿のみの使用によるものとは考え難い点もある。

石棒 (第408図 表46)

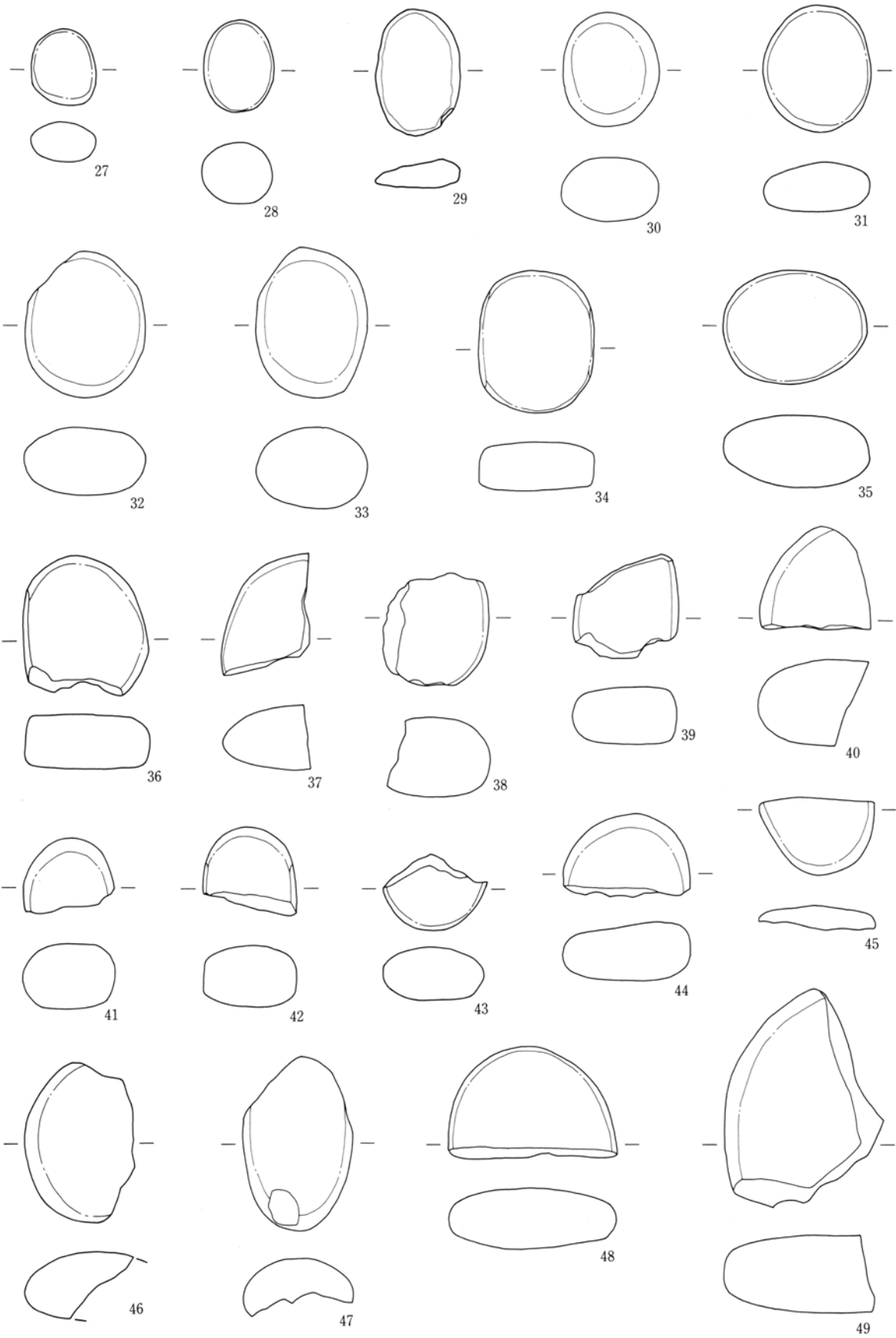
出土した石棒は、4点だけである。使用される石材は、1が緑色片岩、2・3がデイサイト、4が変質安山岩である。この内1は、ほぼ完形に近く、端部の一部が欠損するもので、両端部に丸い頭部をもち、中央部に最大径をもつ均整のとれた形状を呈している。2は有頭となる石棒の端部で、頭部形状は平となるものである。3・4は、石棒の胴部であり、両端部が欠損している。

第3章 検出された遺構と遺物



第323図 遺構外出土石器 磨石 (1)

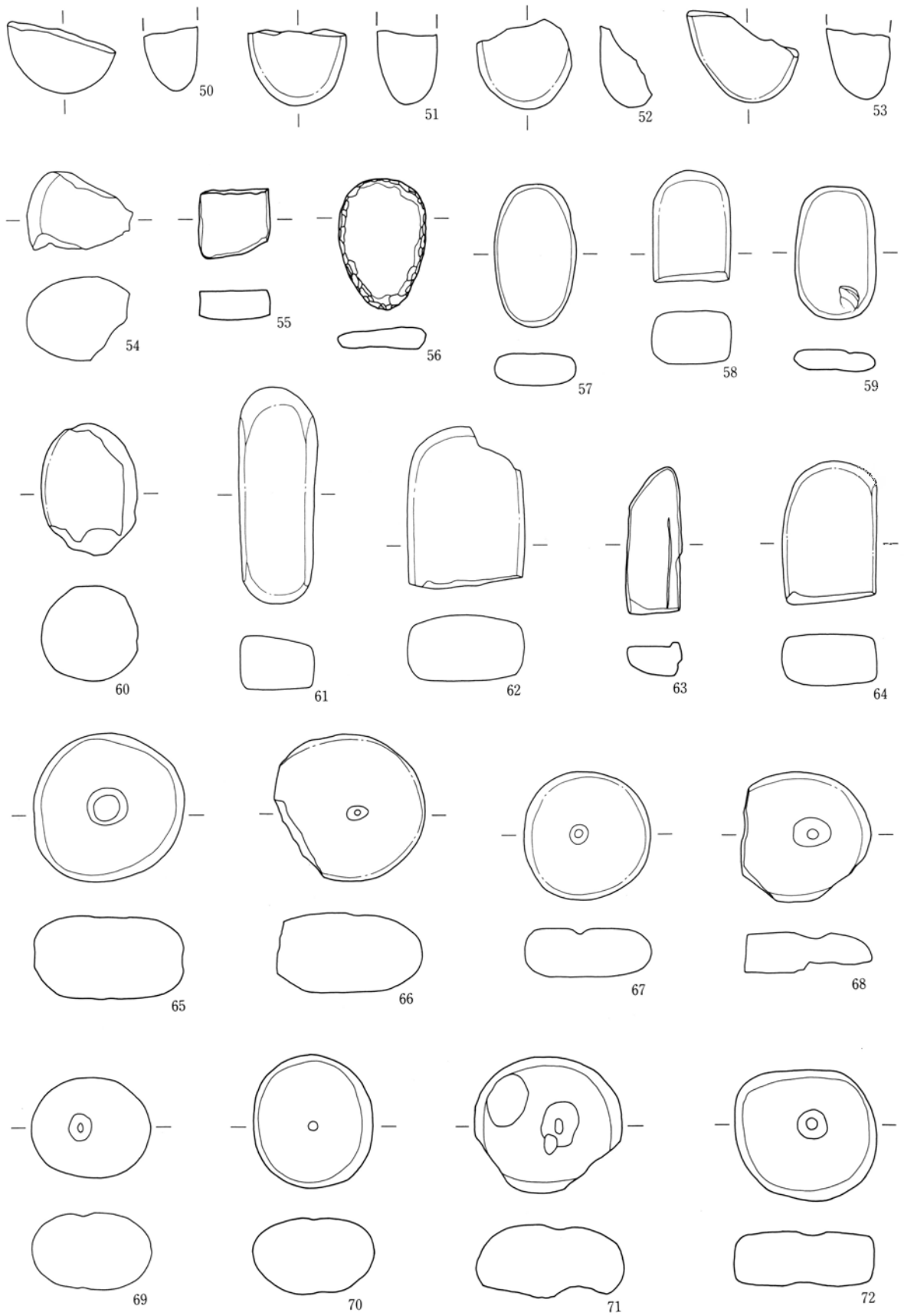
S = 1/4



第324図 遺構外出土石器 磨石(2)

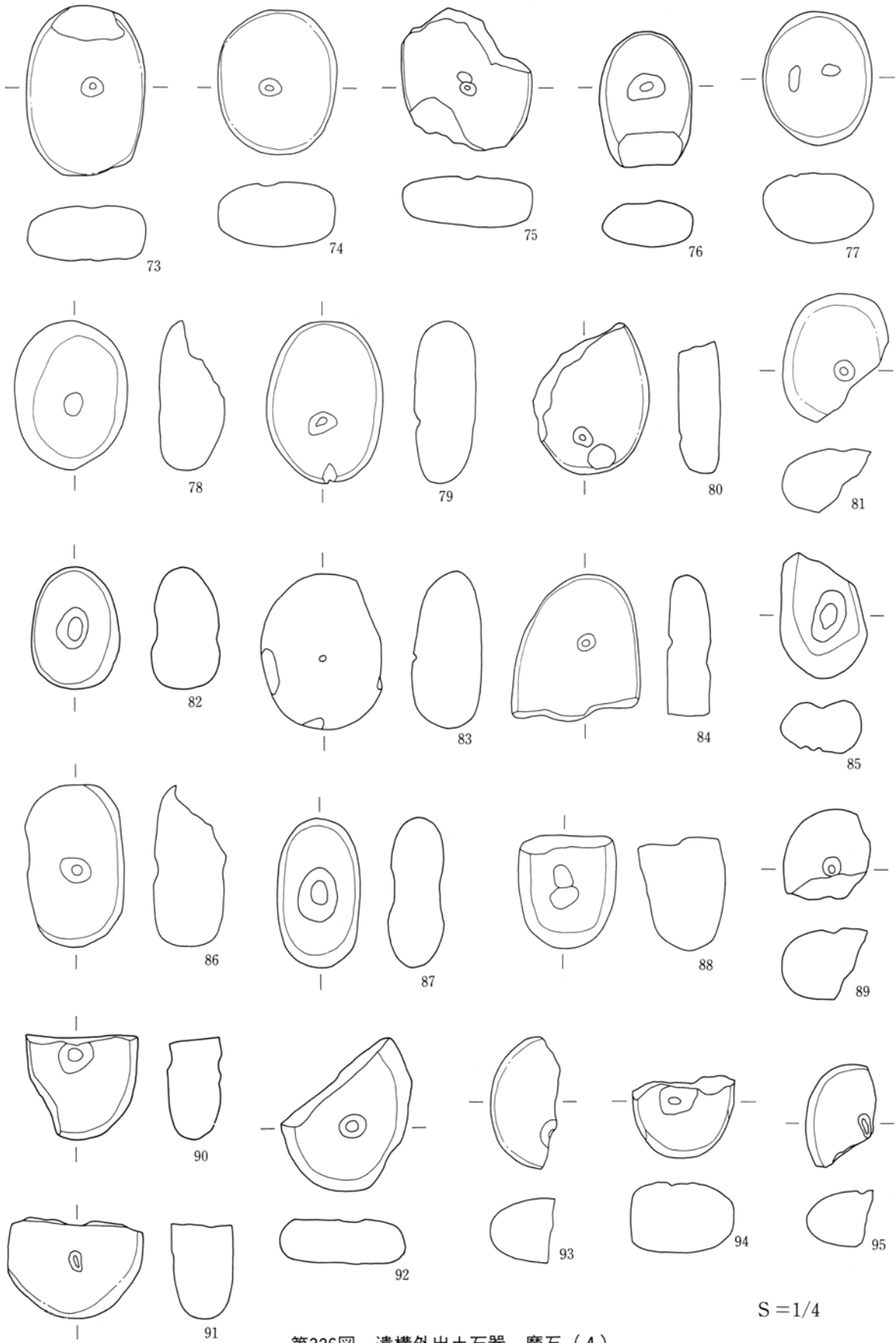
S=1/4

第3章 検出された遺構と遺物

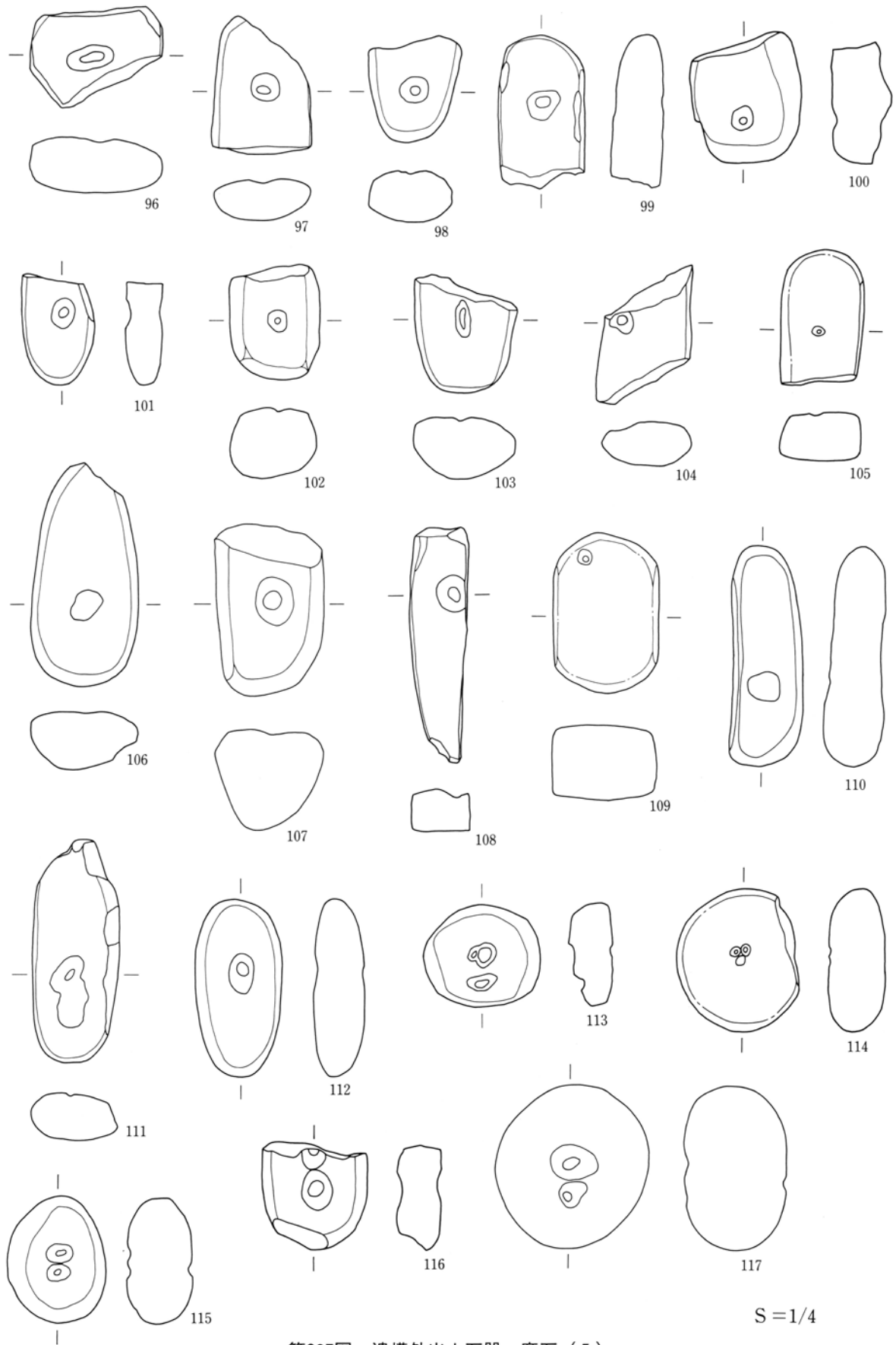


第325図 遺構外出土石器 磨石 (3)

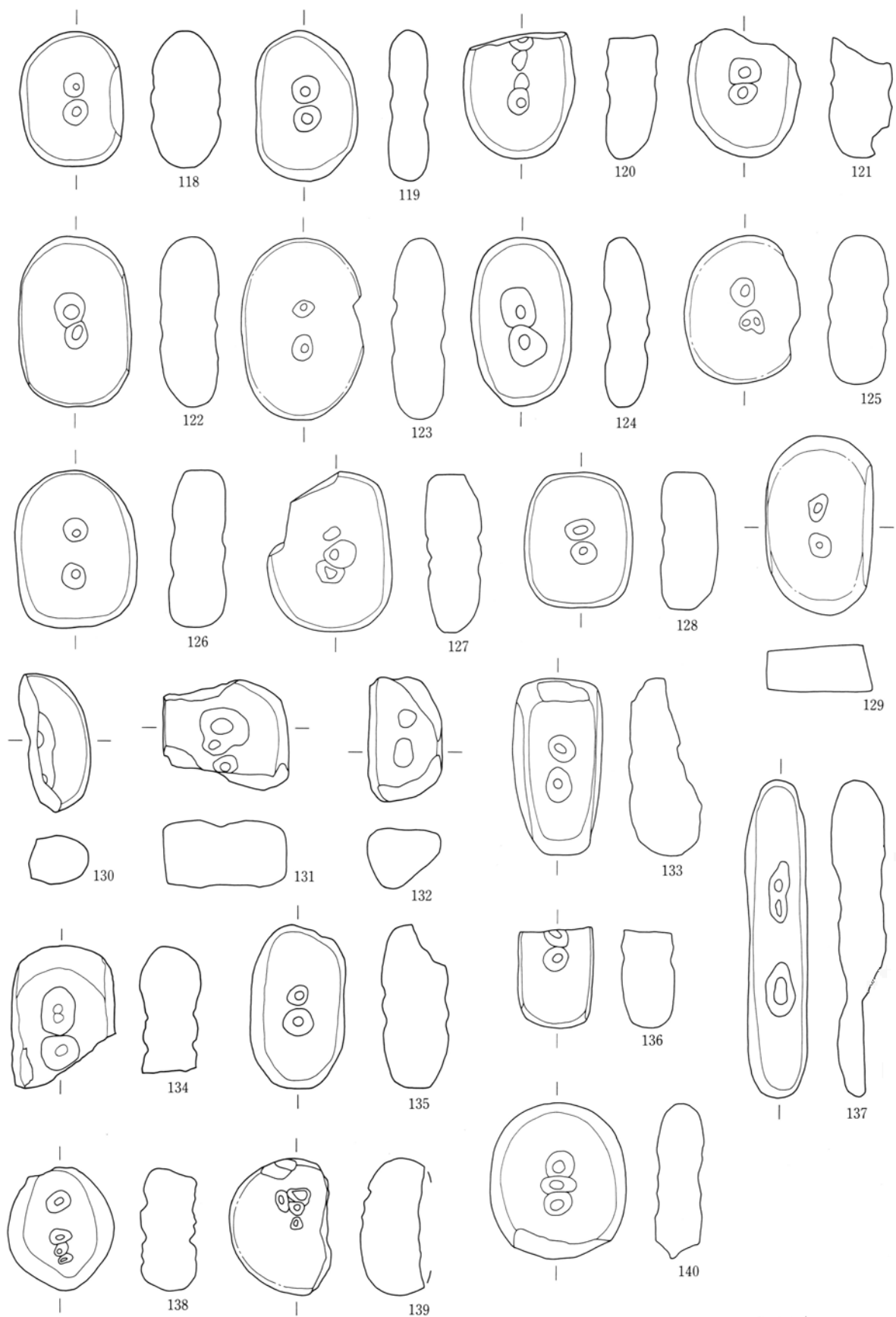
S=1/4



第326図 遺構外出土石器 磨石（4）

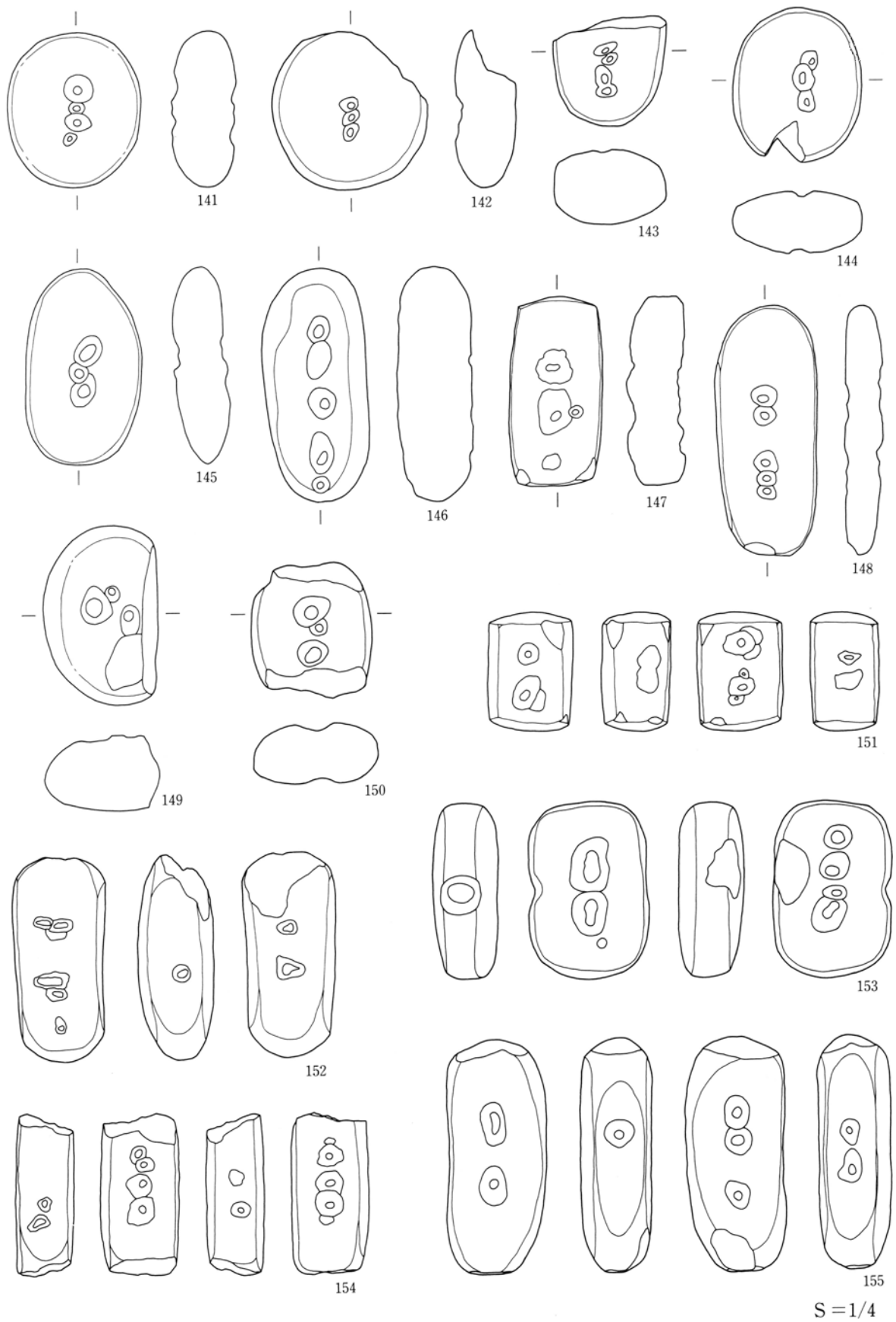


第327図 遺構外出土石器 磨石 (5)

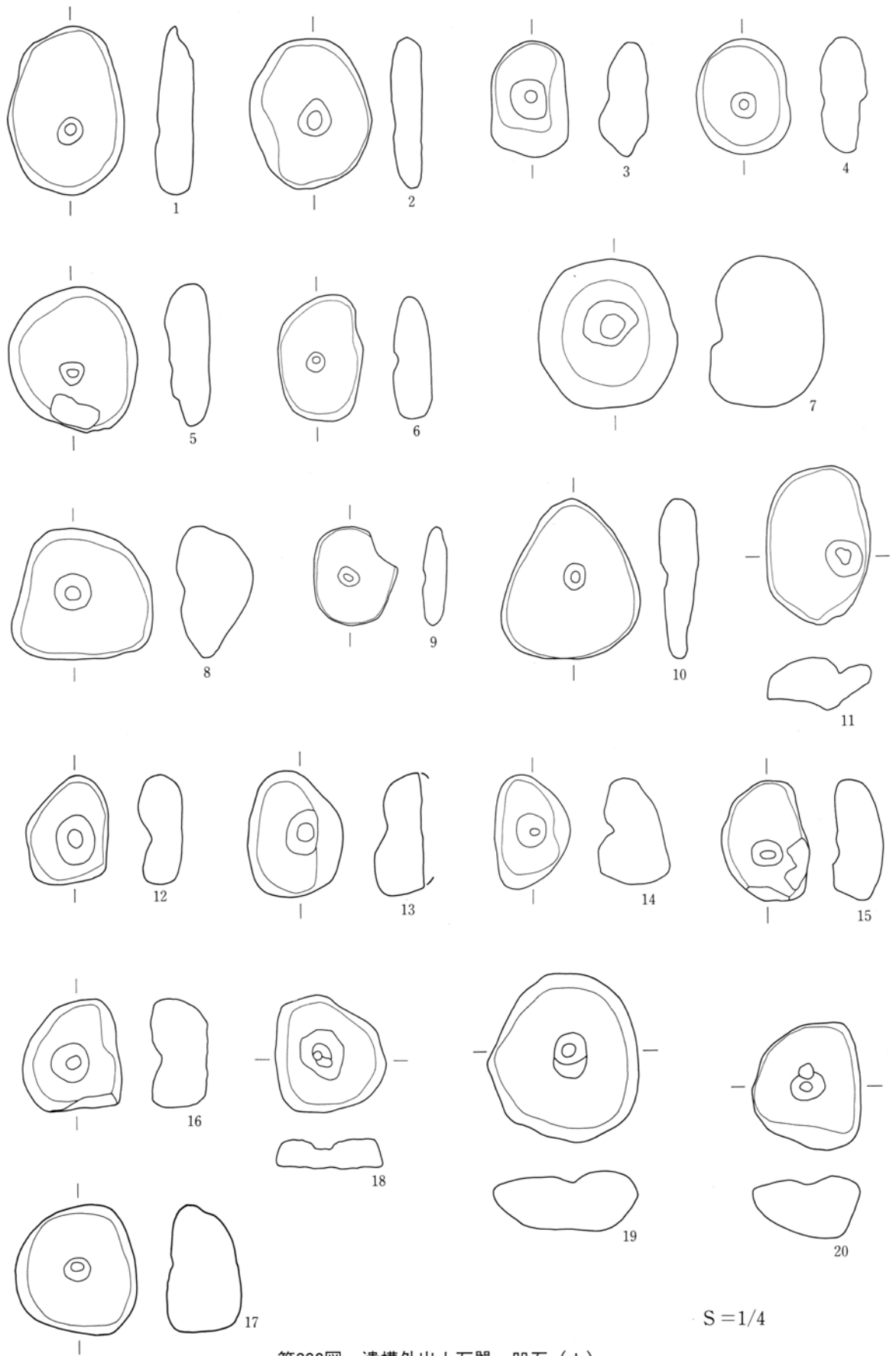


S = 1/4

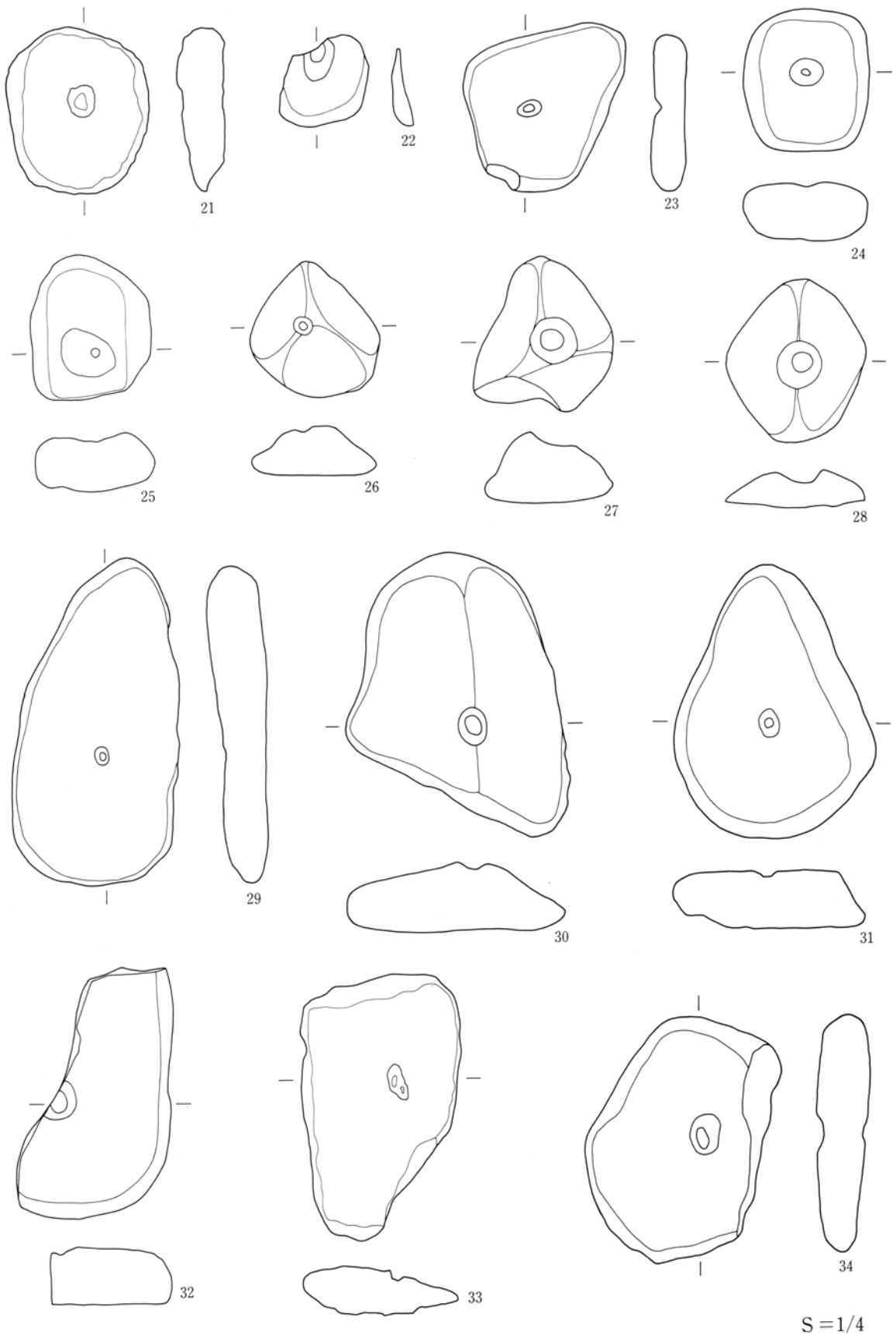
第328図 遺構外出土石器 磨石 (6)



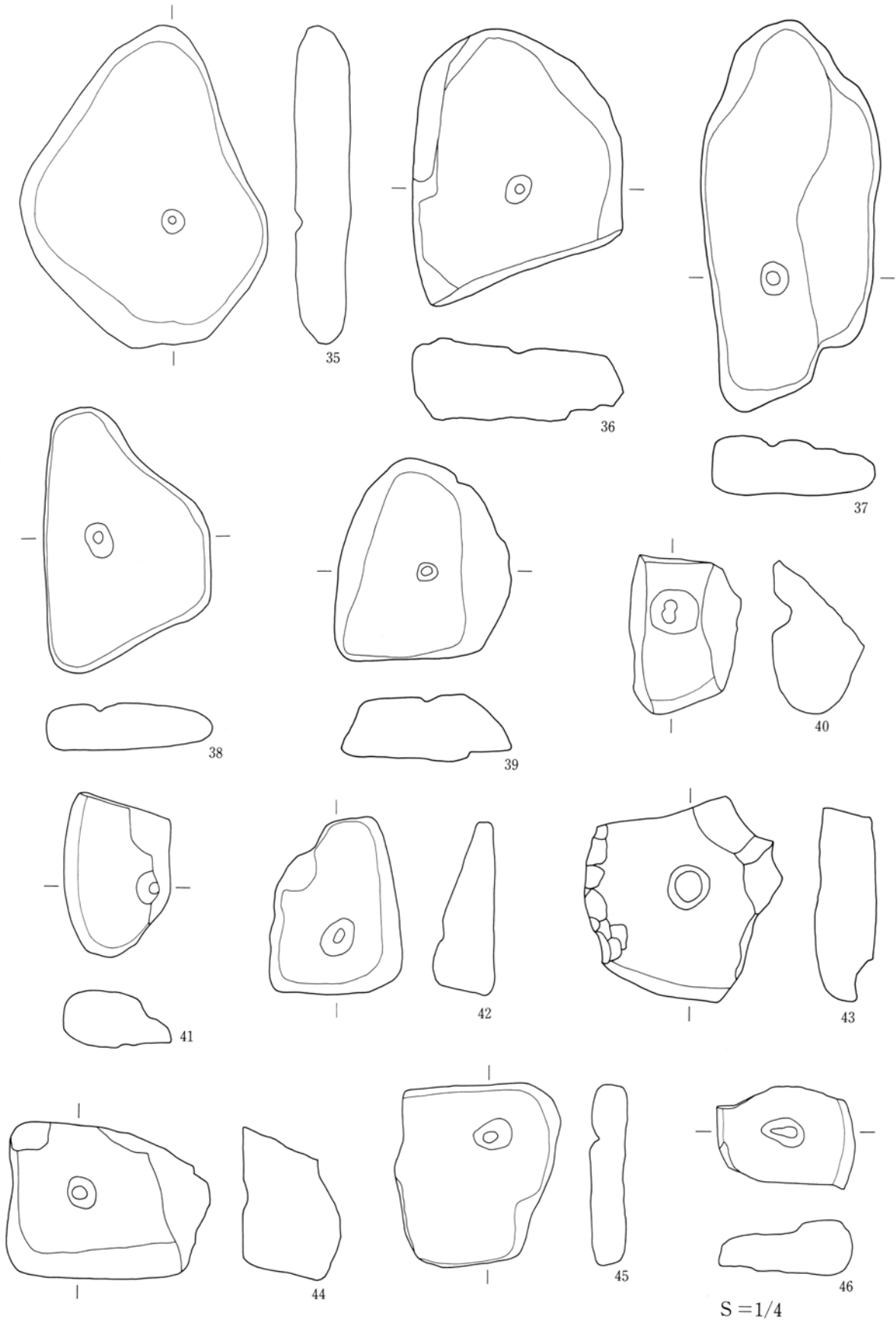
第329図 遺構外出土石器 磨石（7）



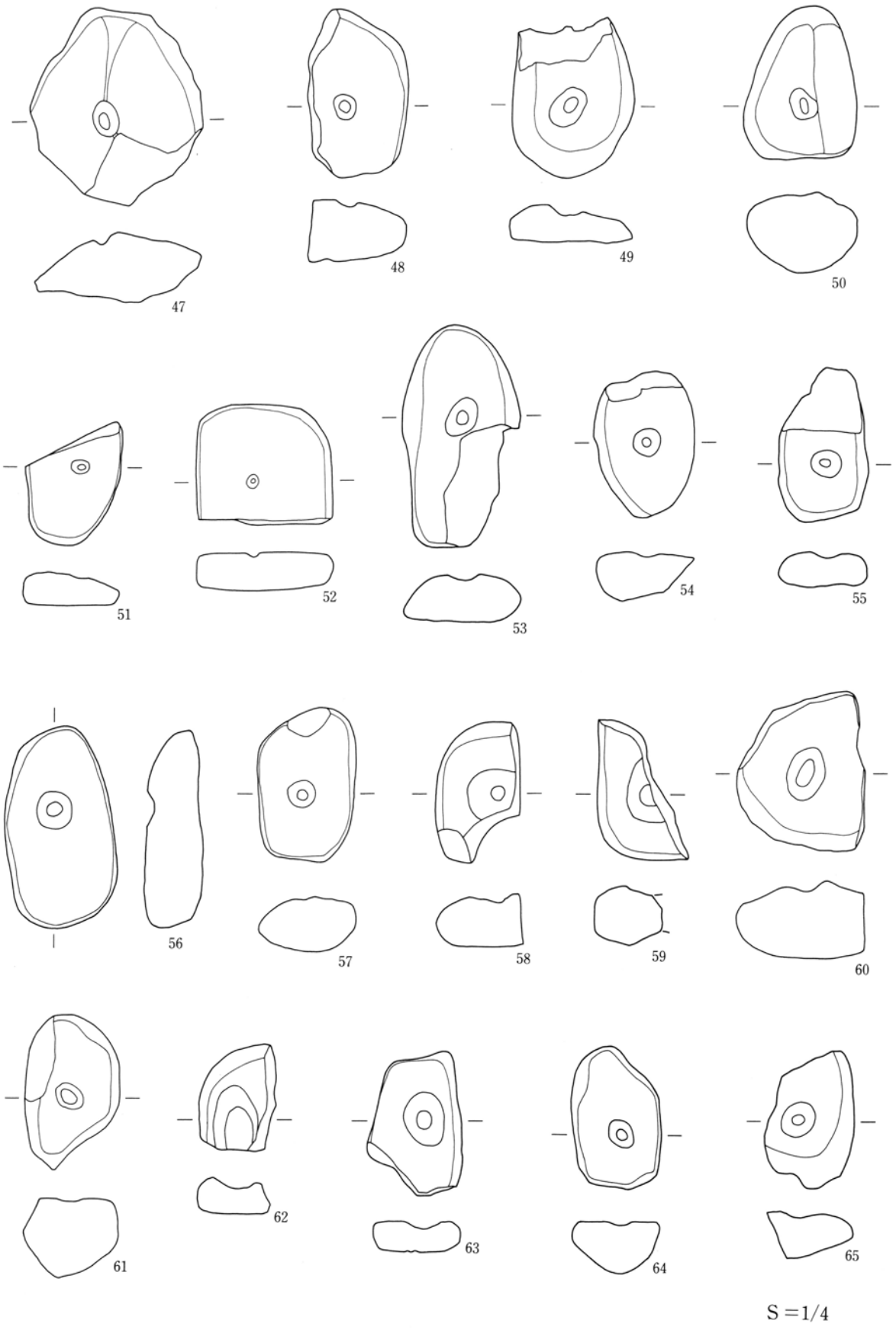
第330図 遺構外出土石器 凹石(1)



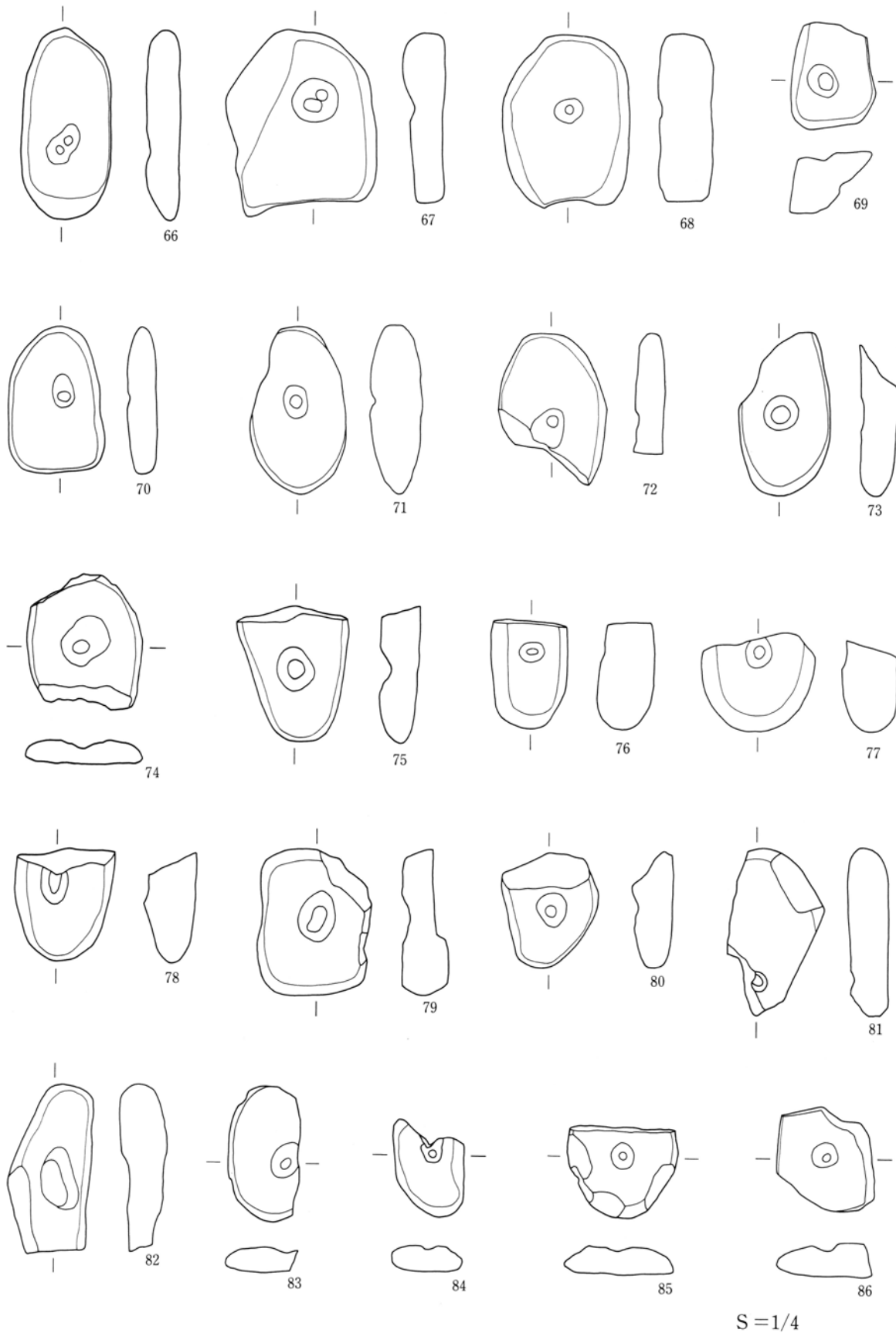
第331図 遺構外出土石器 凹石(2)



第332図 遺構外出土石器 凹石(3)

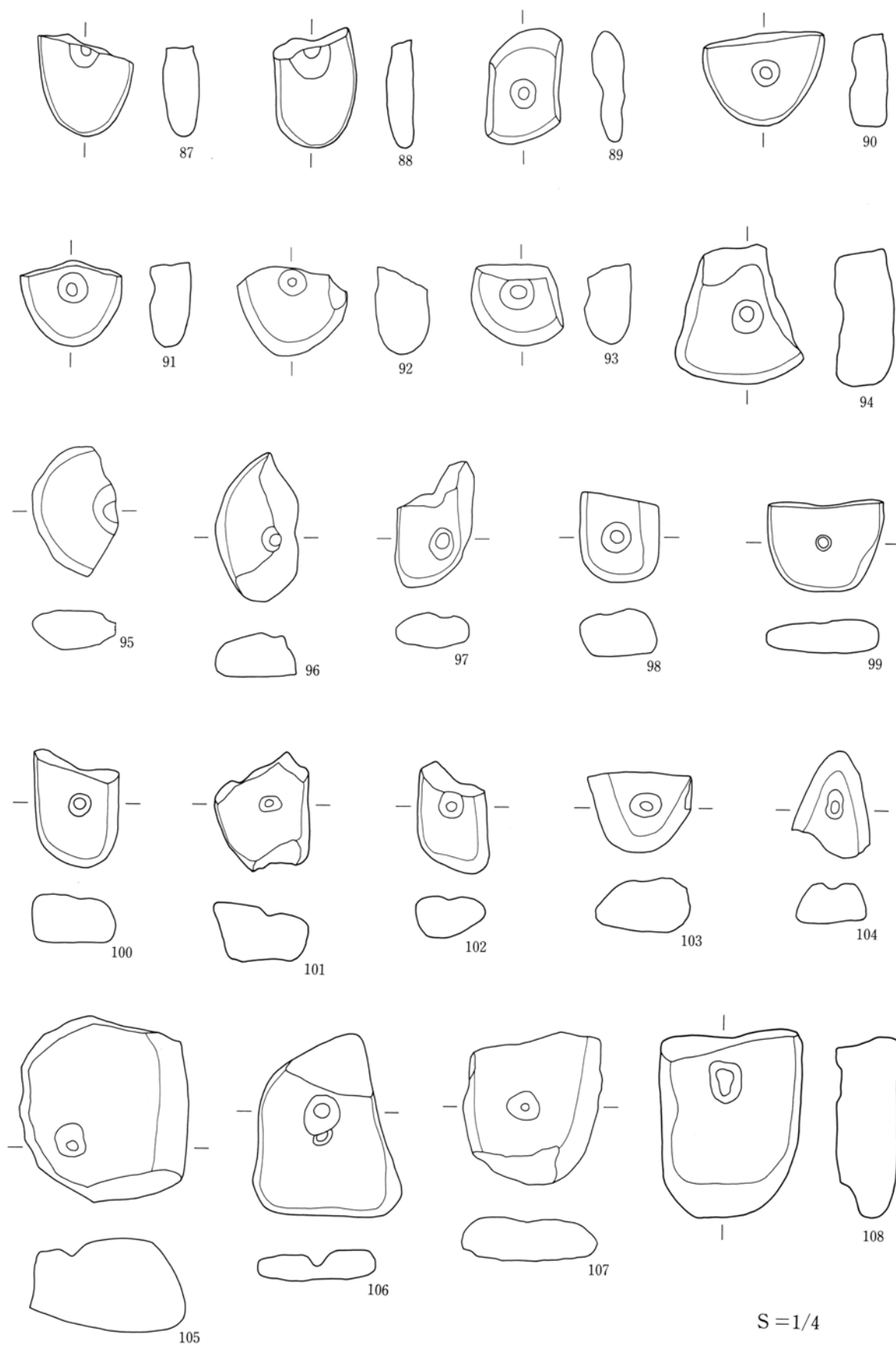


第333図 遺構外出土石器 凹石(4)

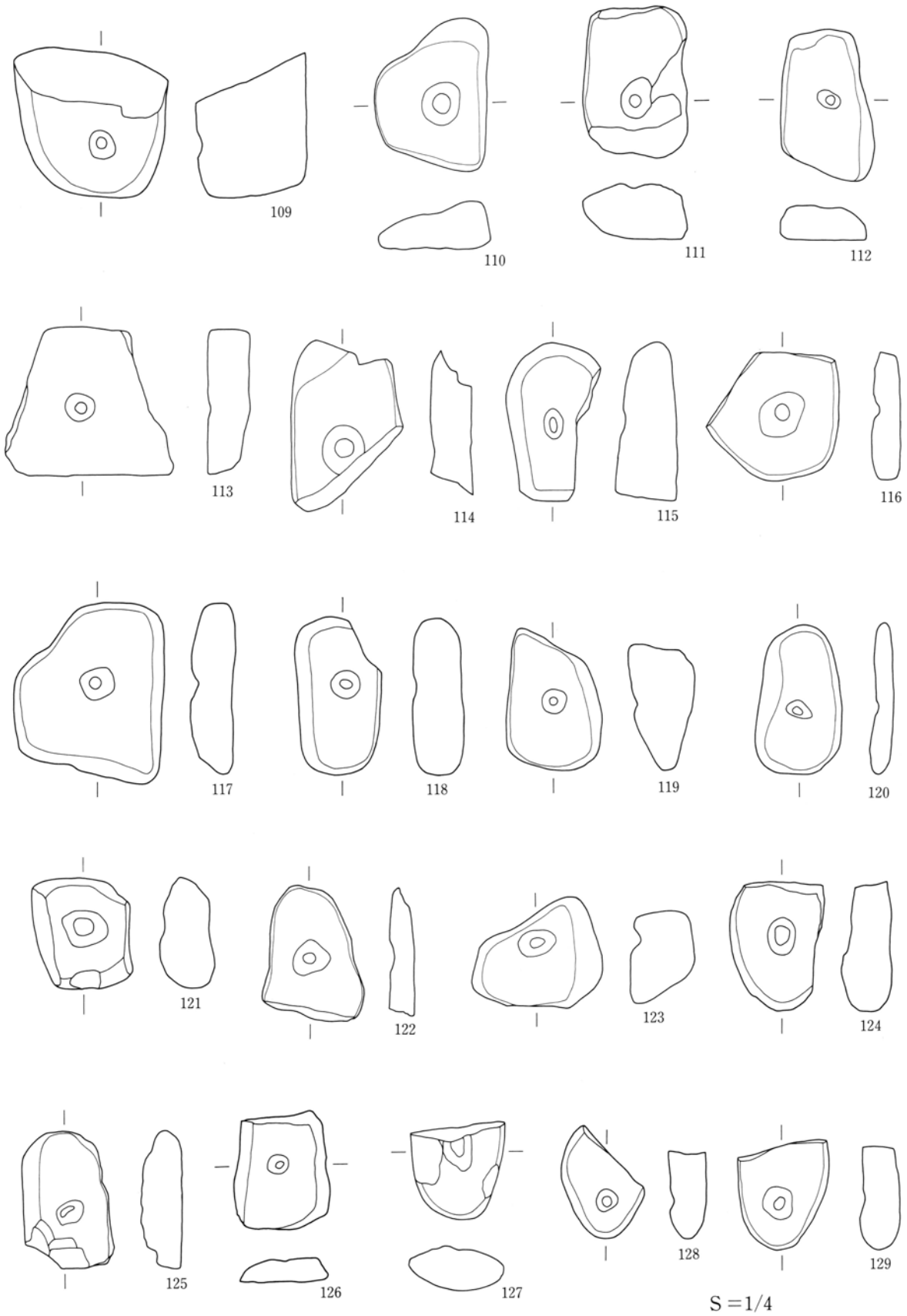


第334図 遺構外出土石器 凹石 (5)

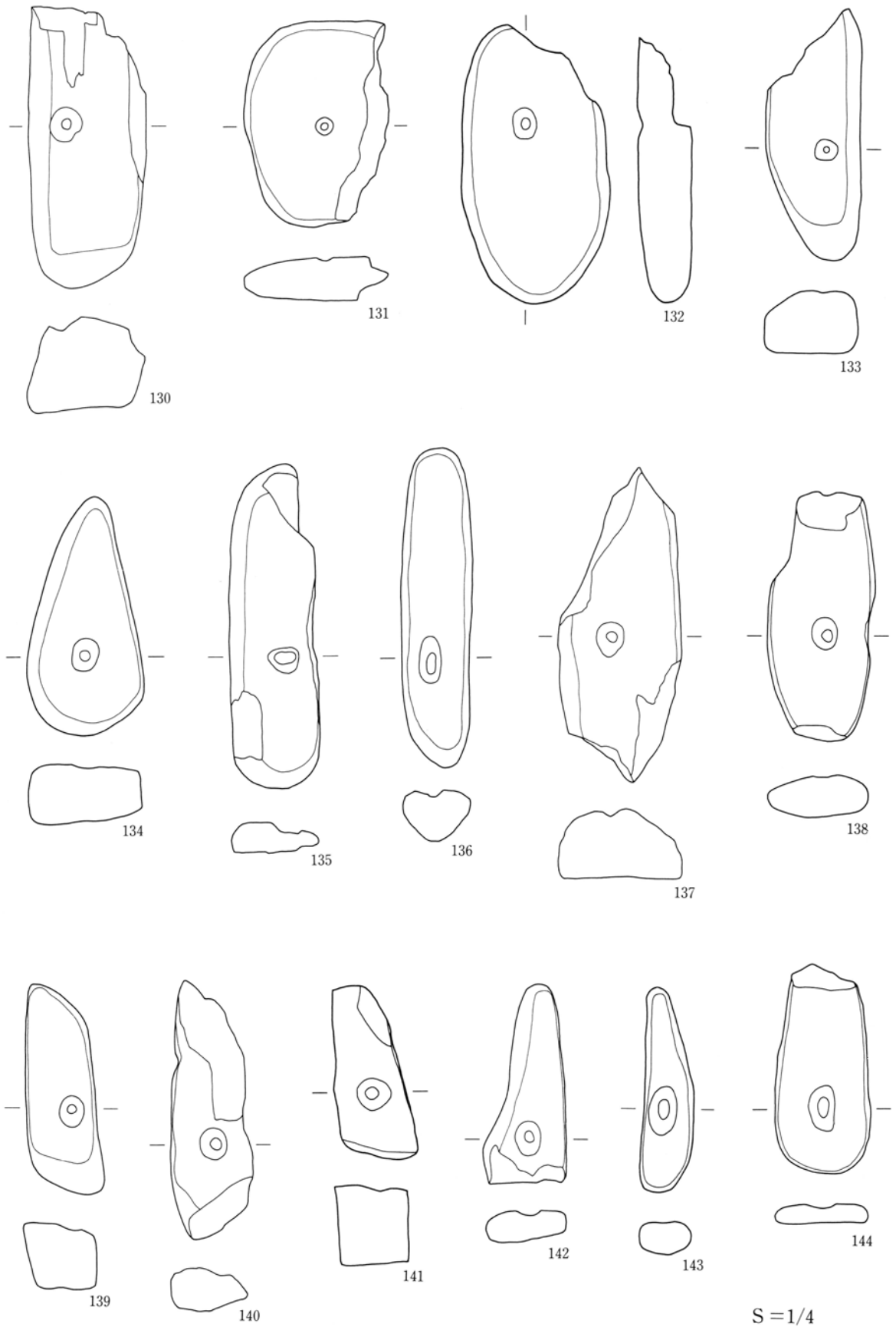
第3章 検出された遺構と遺物



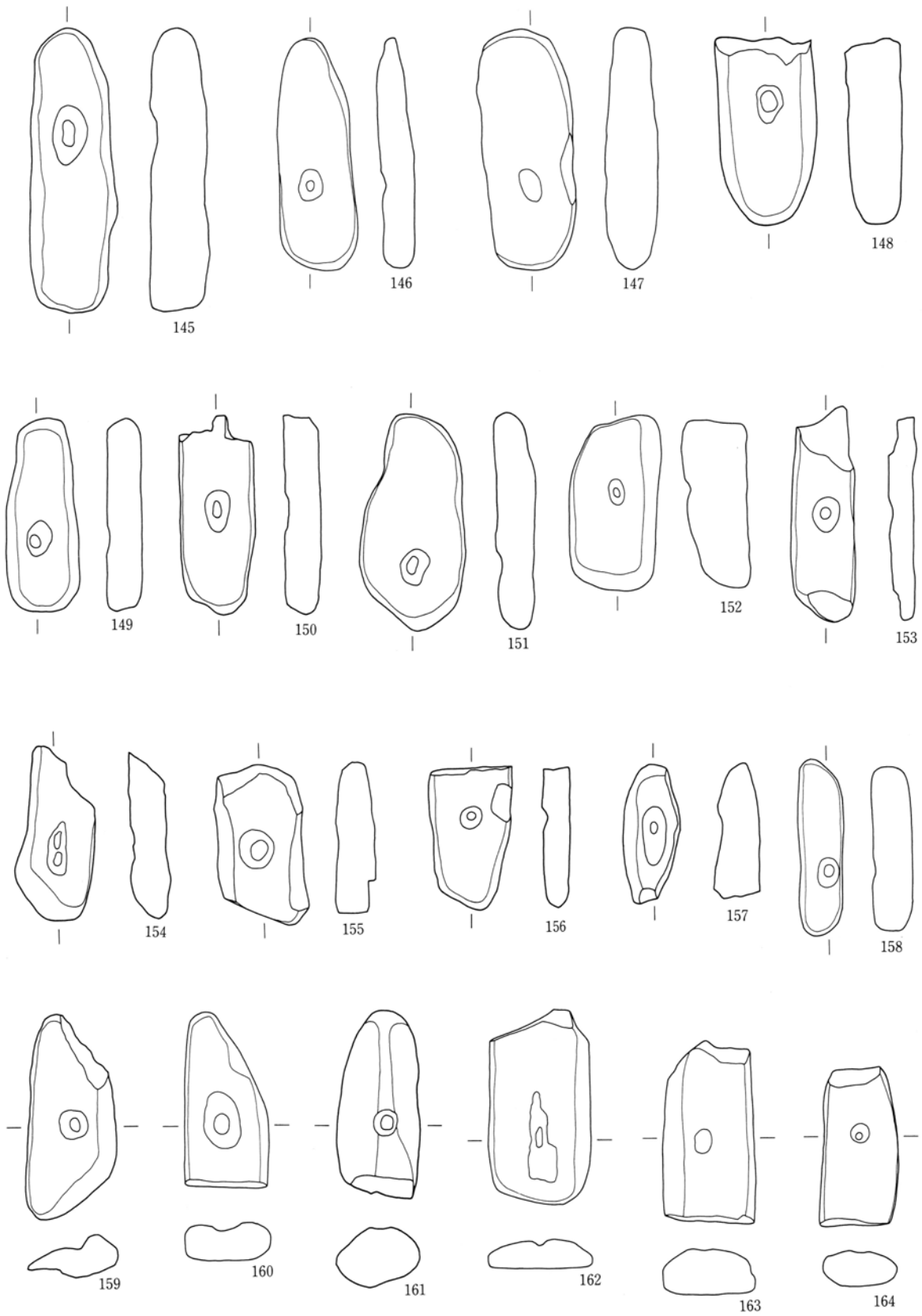
第335図 遺構外出土石器 凹石(6)



第336図 遺構外出土石器 凹石（7）



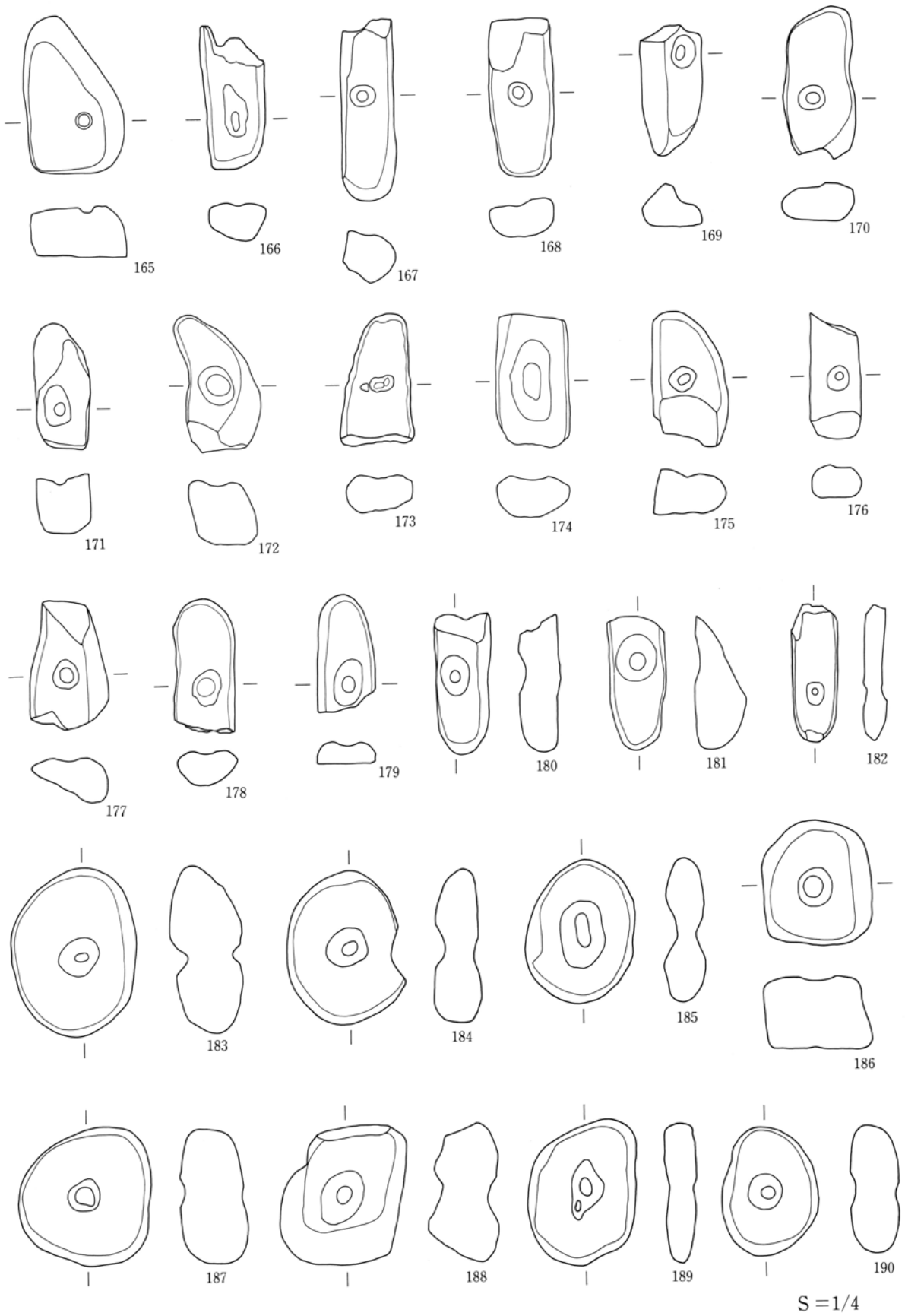
第337図 遺構外出土石器 凹石 (8)



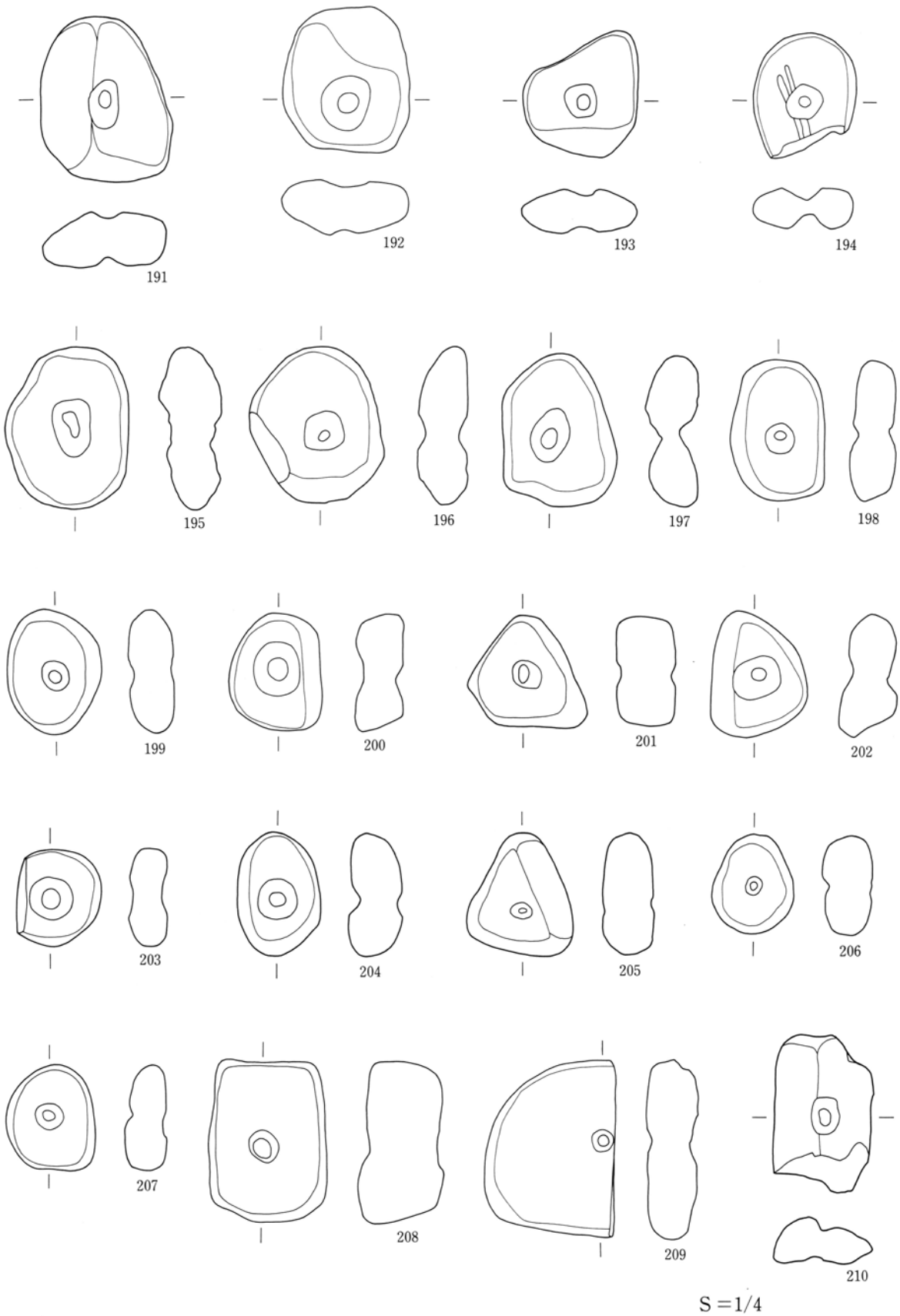
S = 1/4

第338図 遺構外出土石器 凹石 (9)

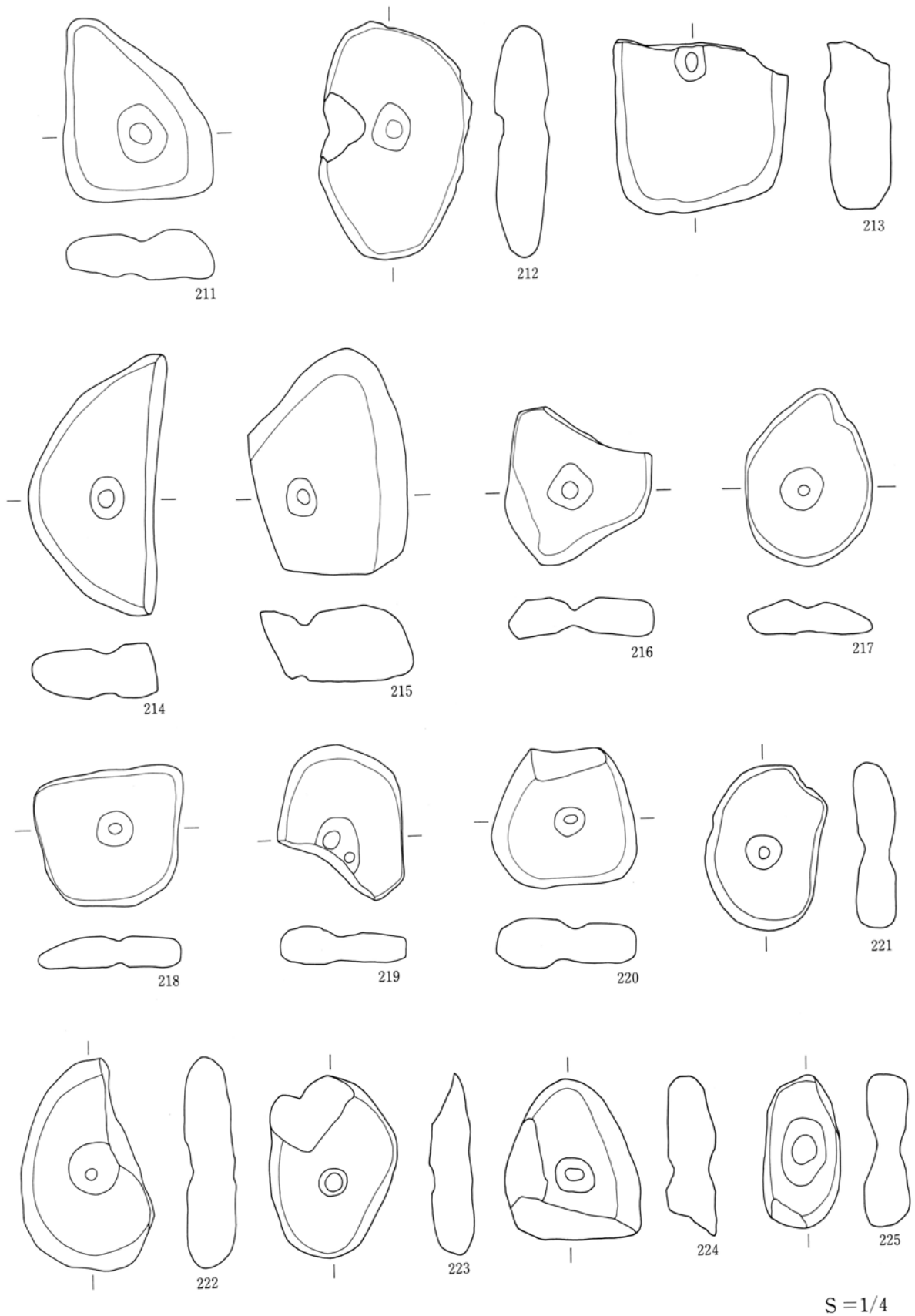
第3章 検出された遺構と遺物



第339図 遺構外出土石器 凹石 (10)



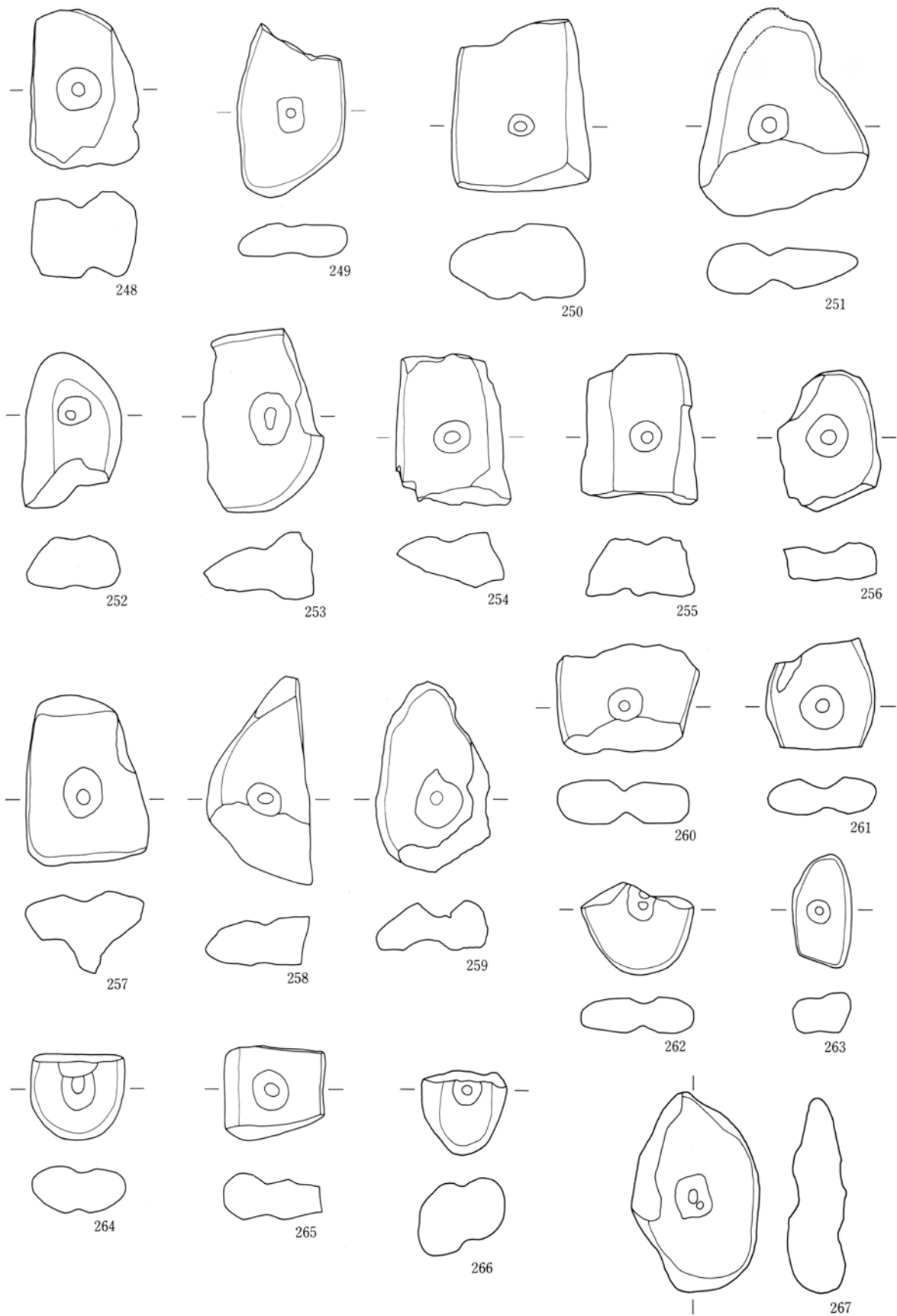
第340図 遺構外出土石器 凹石 (II)



第341図 遺構外出土石器 凹石 (12)

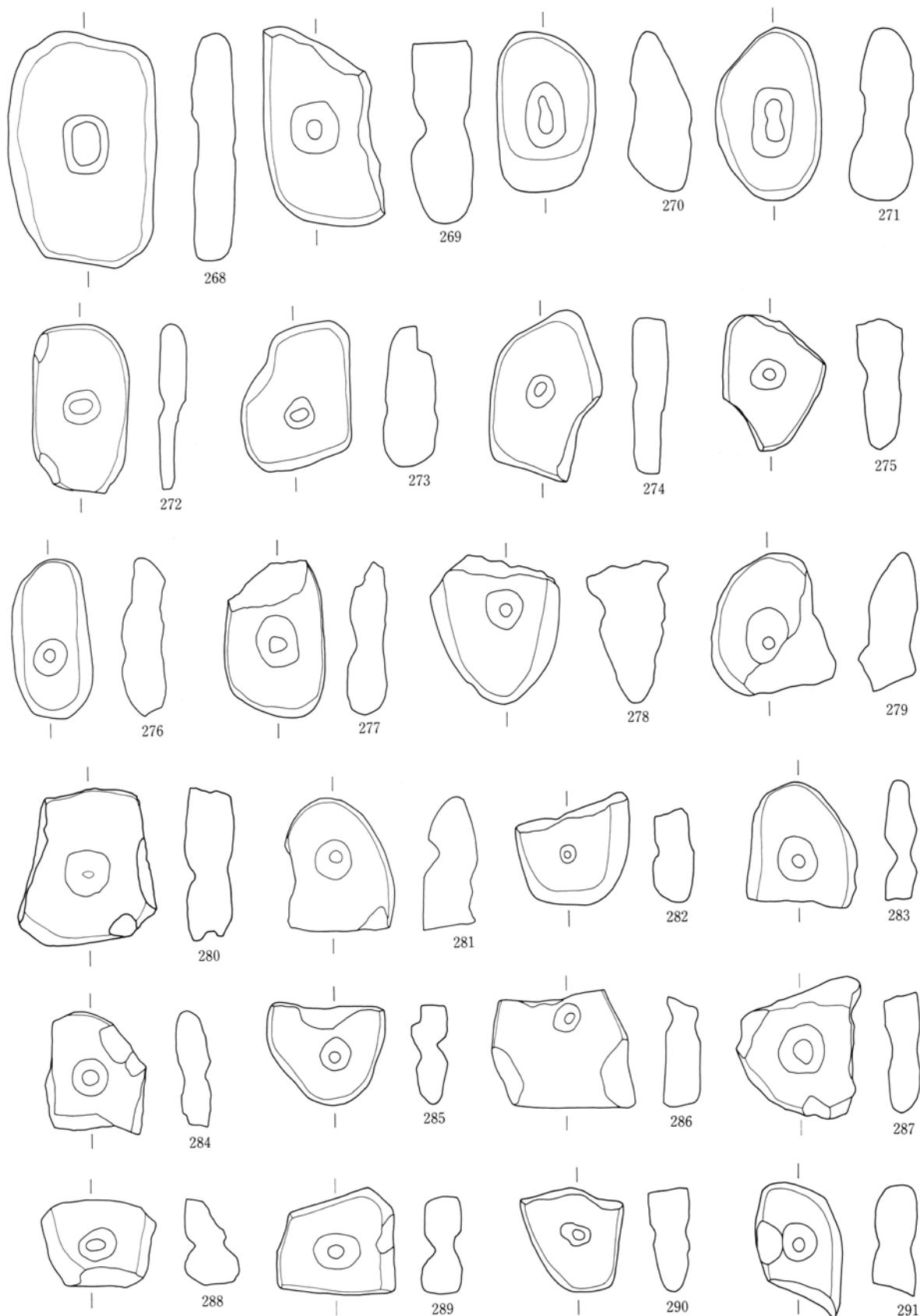


第342図 遺構外出土石器 凹石 (13)



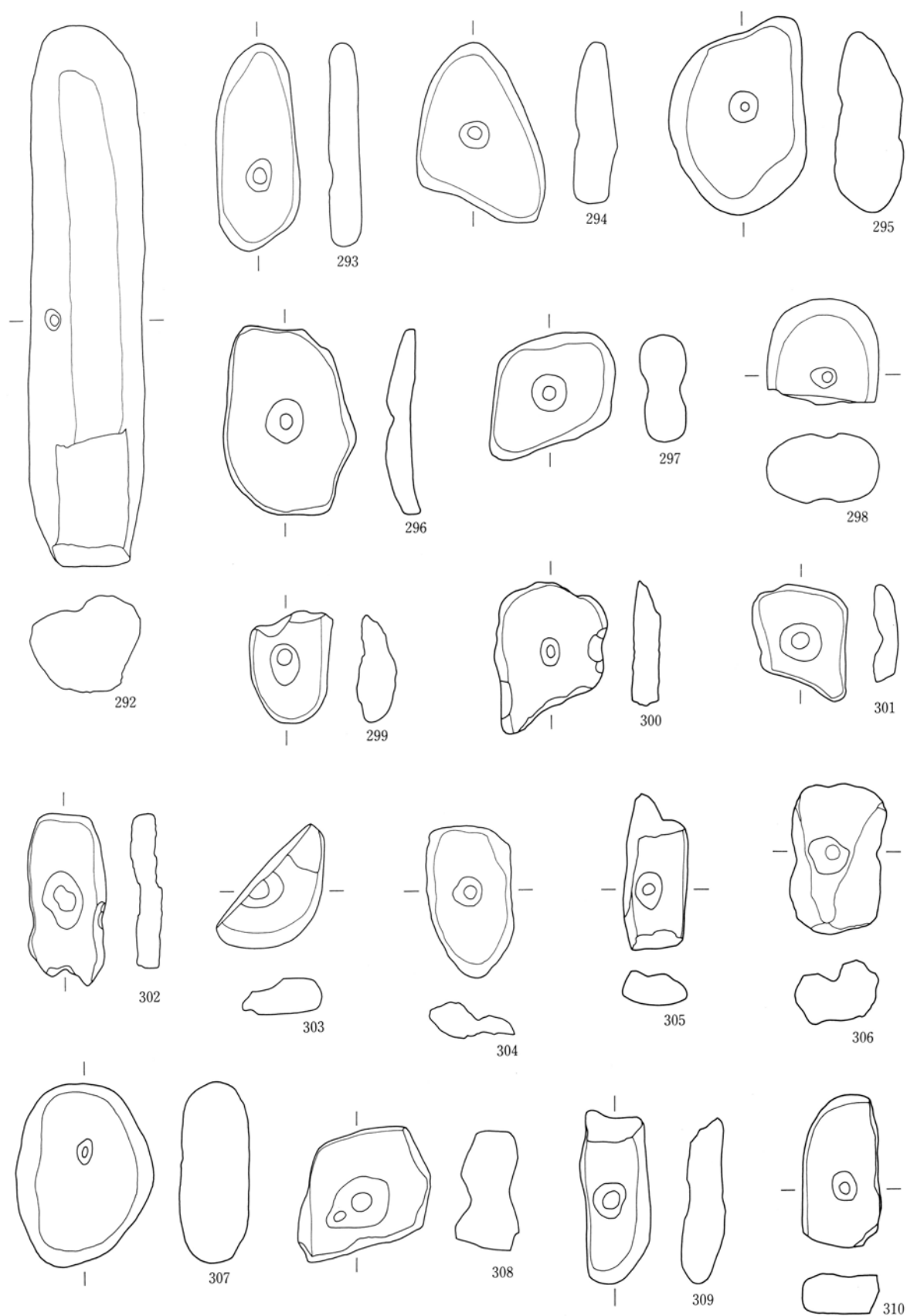
第343図 遺構外出土石器 凹石 (14)

S=1/4



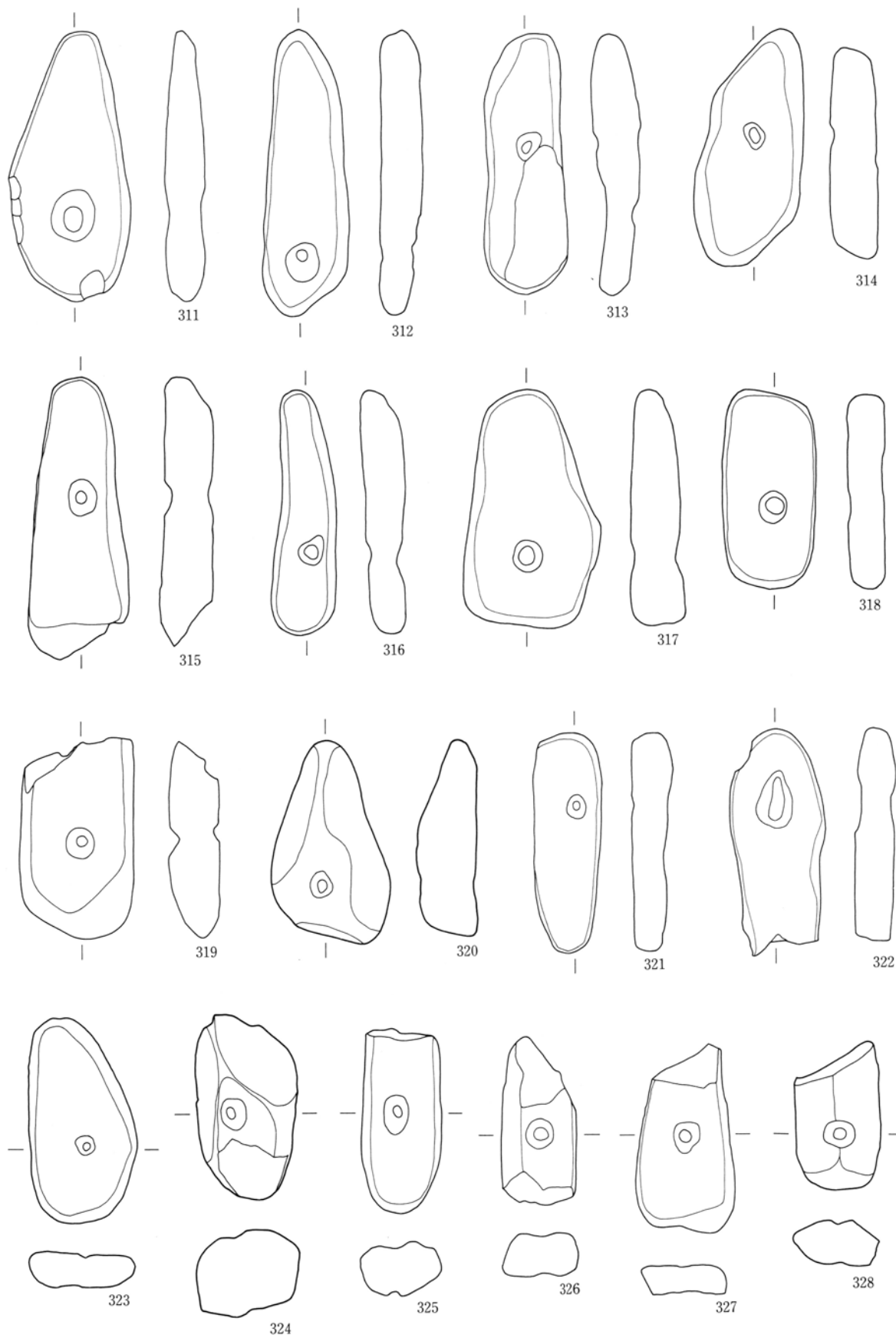
第344図 遺構外出土石器 凹石 (15)

S=1/4



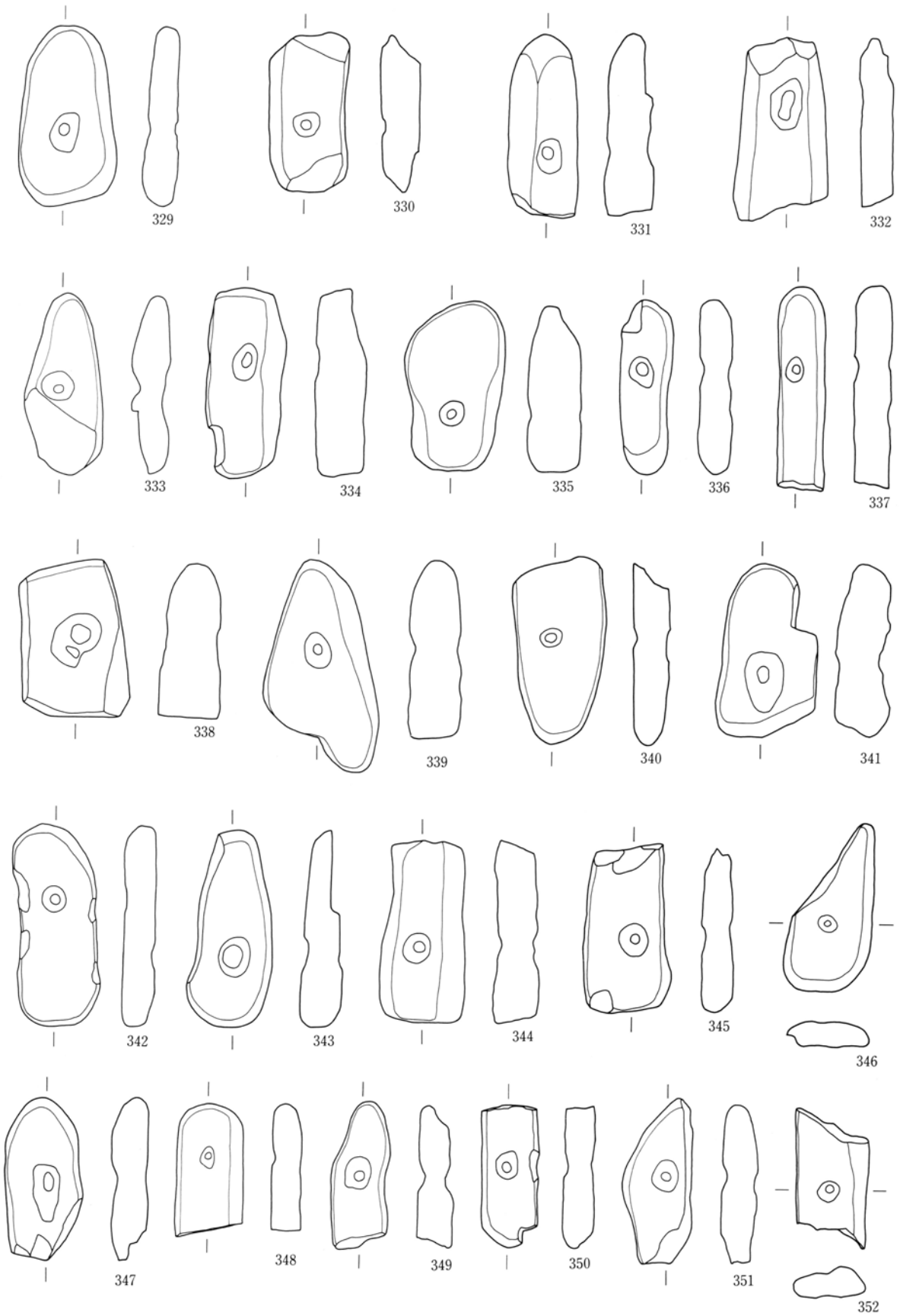
第345図 遺構外出土石器 凹石 (16)

S=1/4



第346図 遺構外出土石器 凹石 (17)

S=1/4



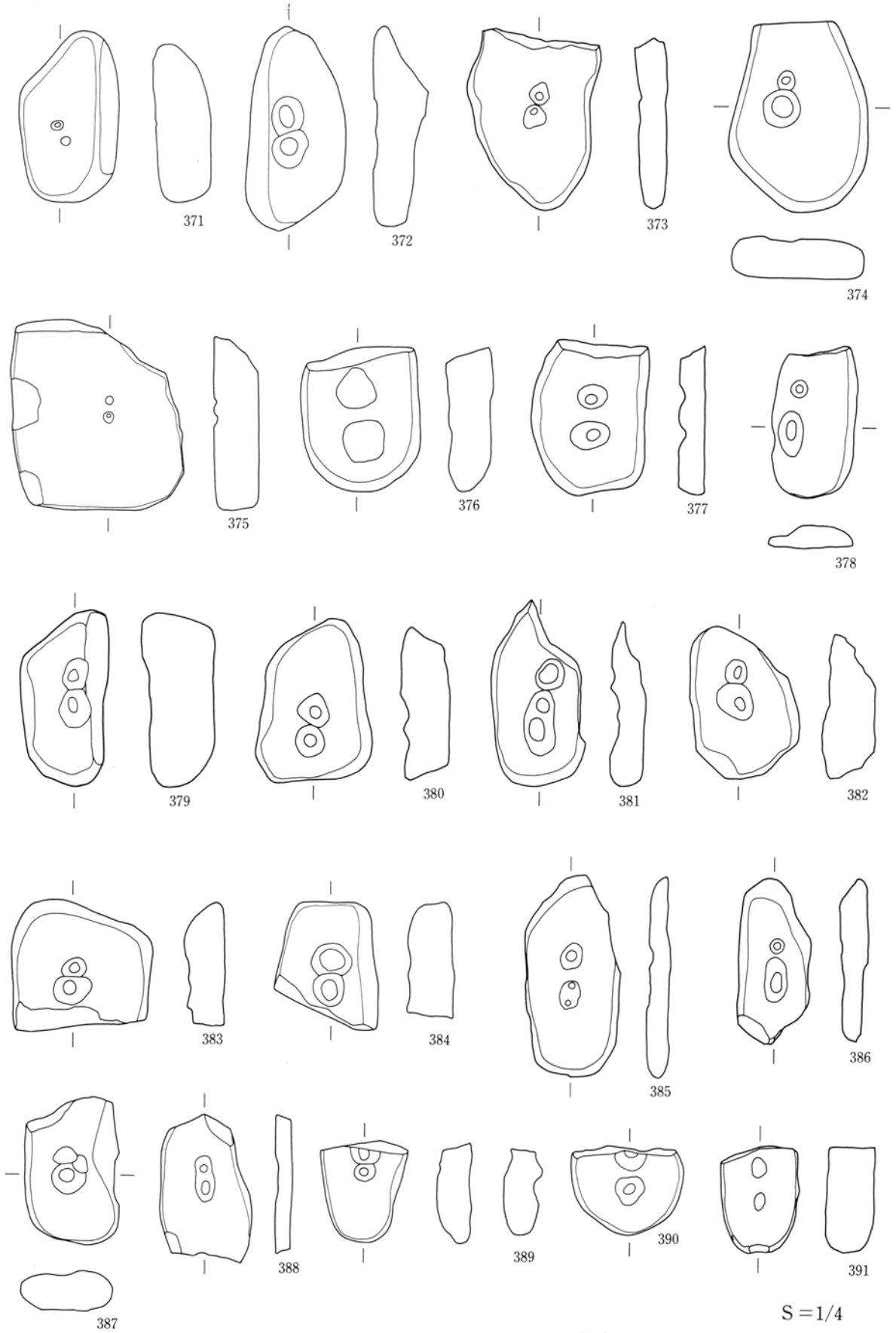
第347図 遺構外出土石器 凹石 (18)

S = 1/4

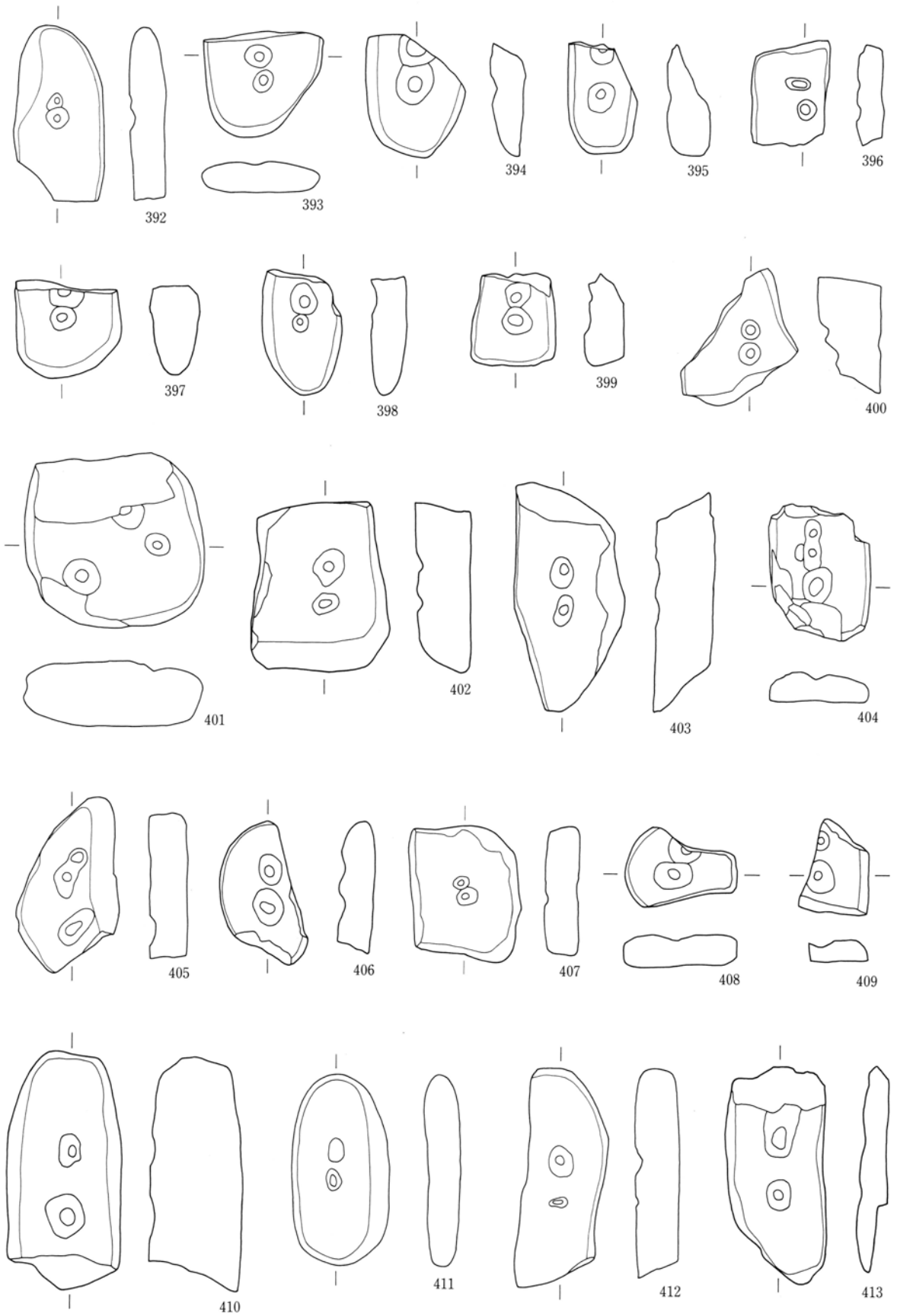


S = 1/4

第348図 遺構外出土石器 凹石 (19)

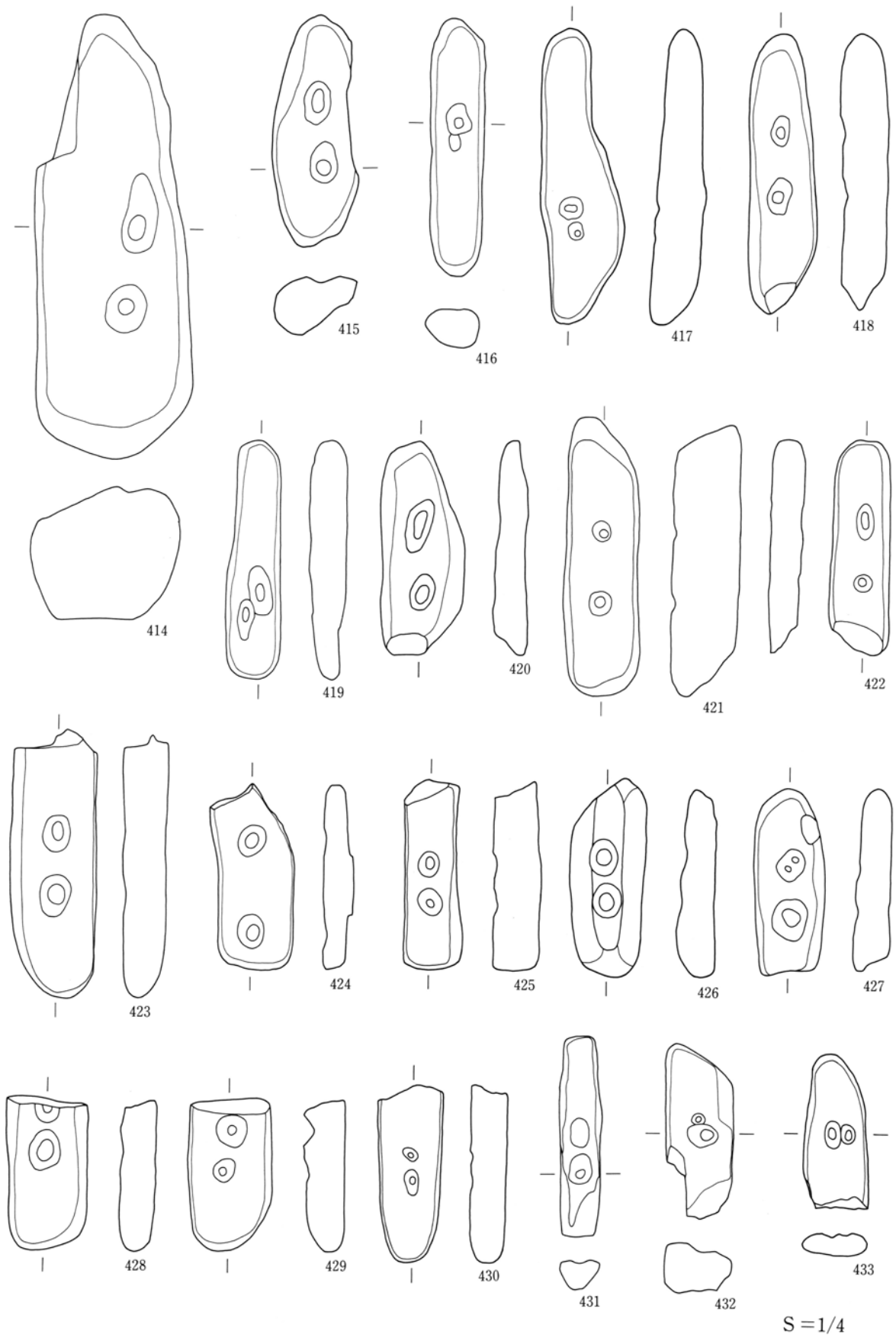


第349図 遺構外出土石器 凹石 (20)

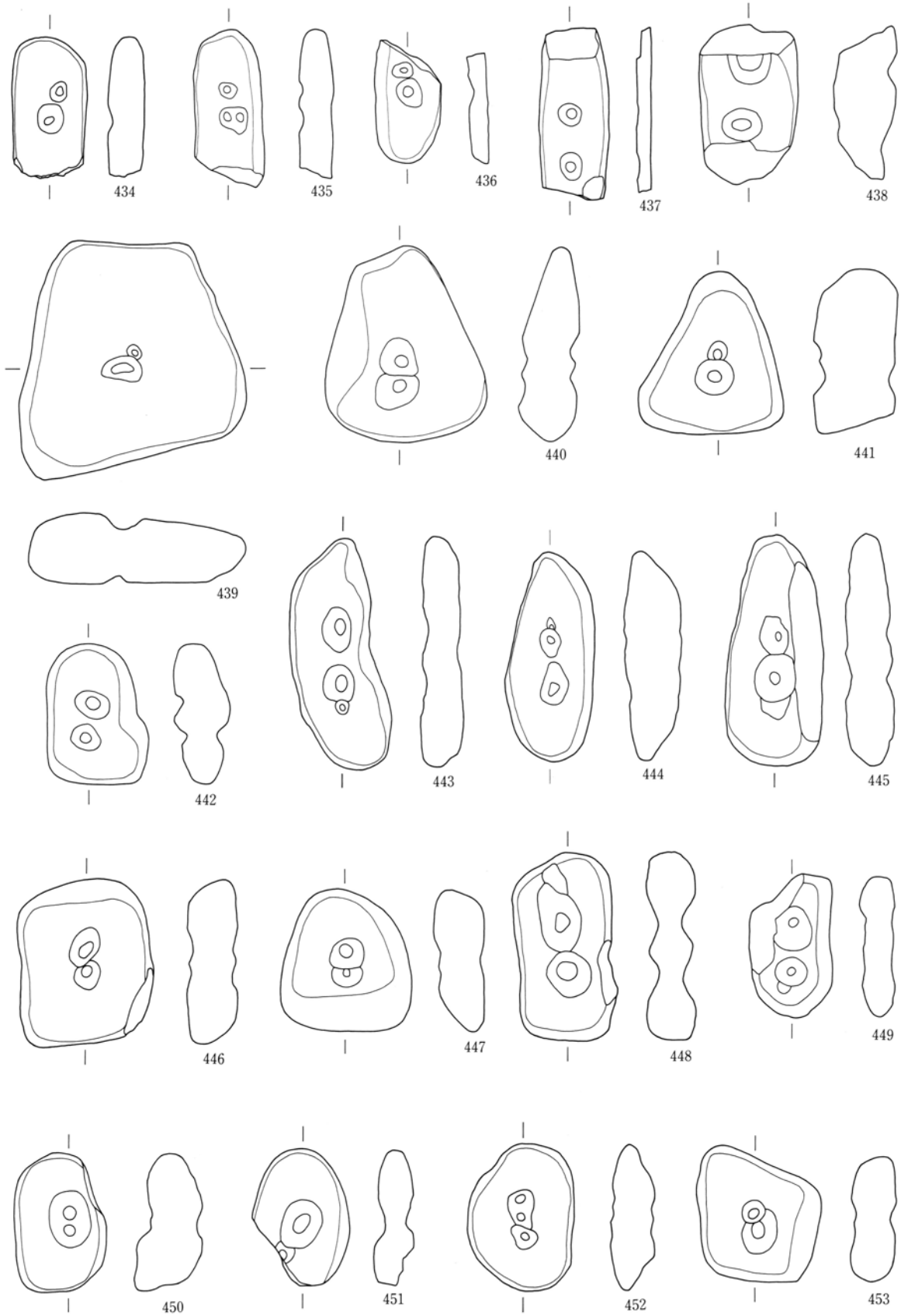


S=1/4

第350図 遺構外出土石器 凹石 (21)



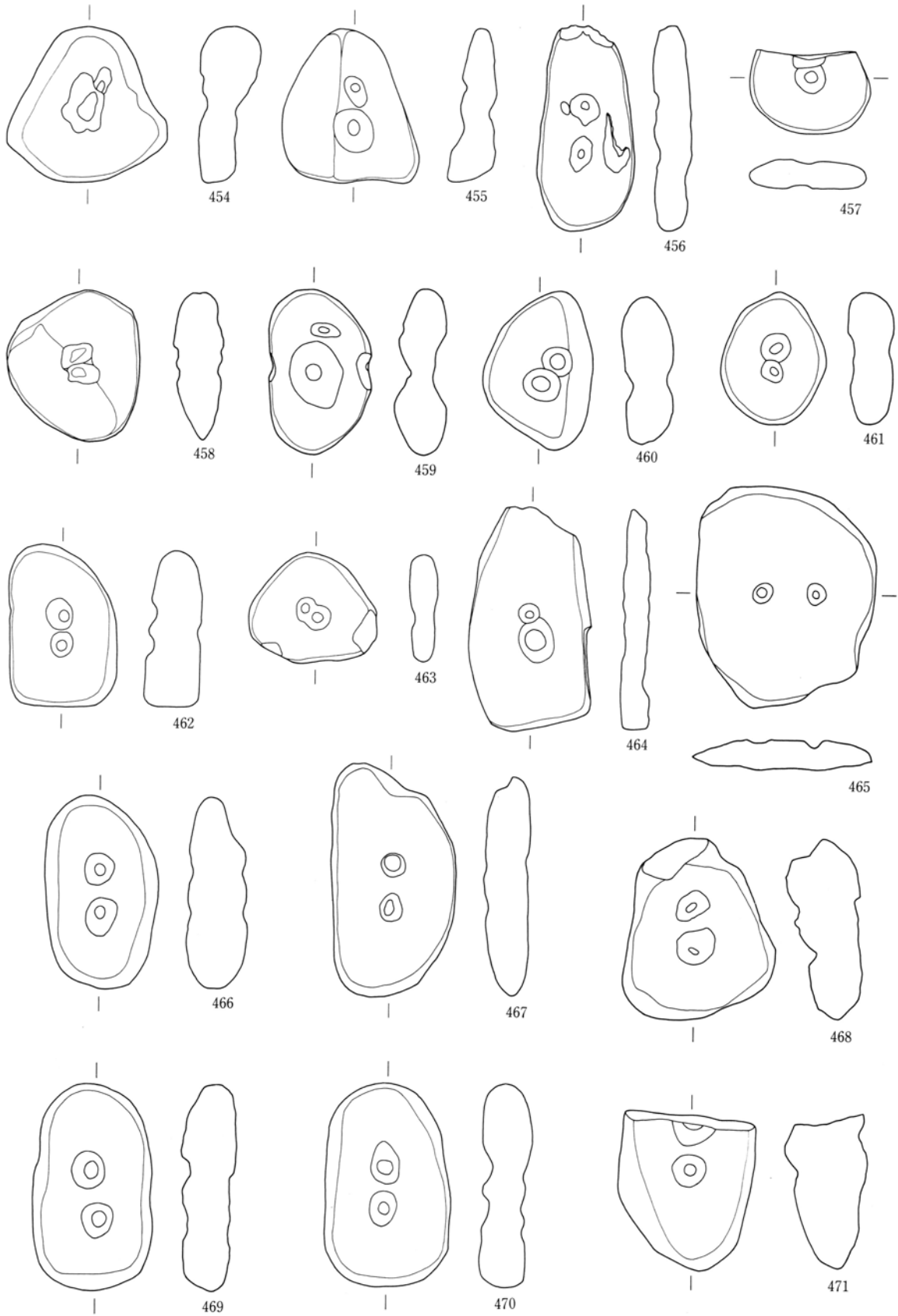
第351図 遺構外出土石器 凹石 (22)



S=1/4

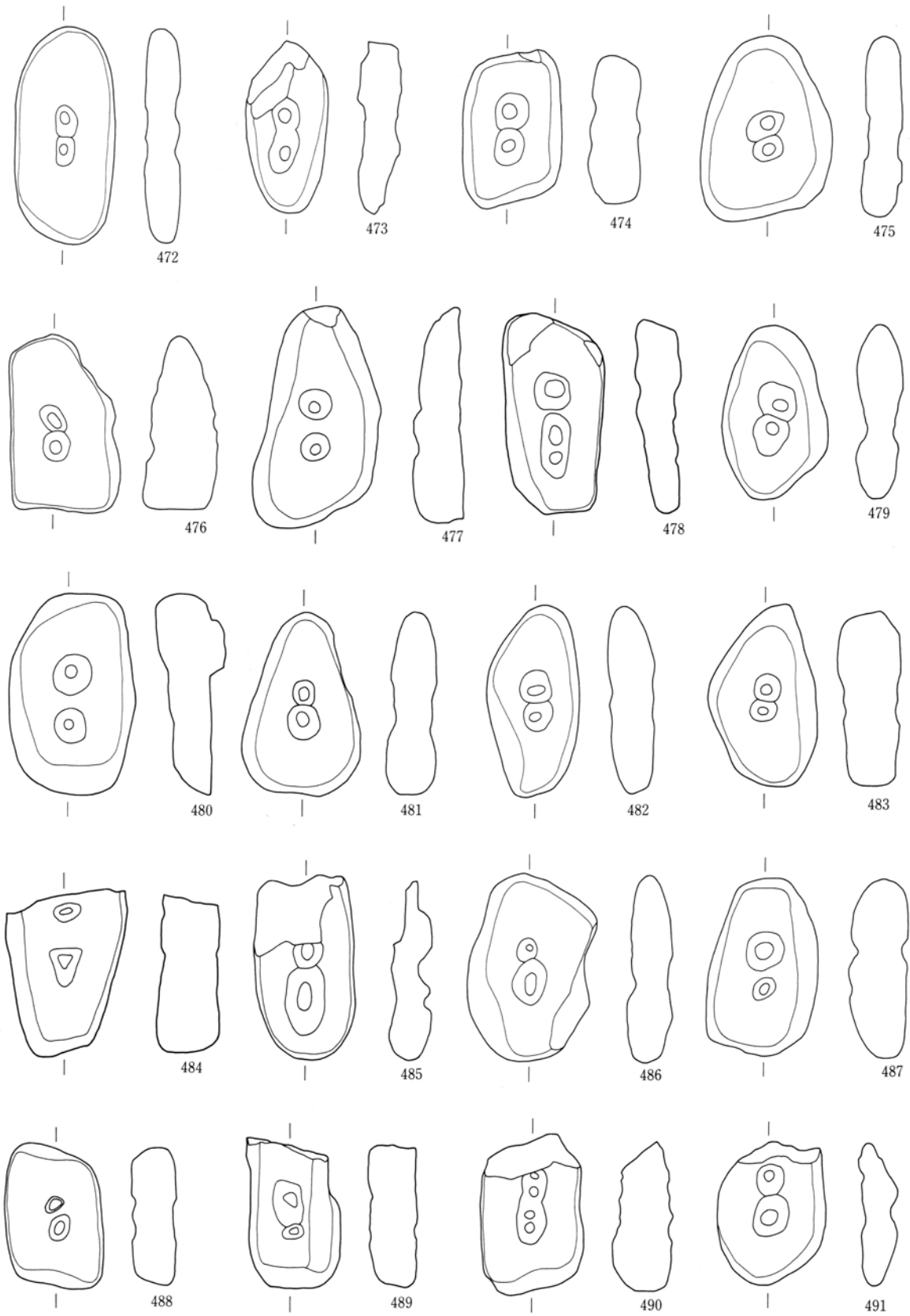
第352図 遺構外出土石器 凹石 (23)

第3章 検出された遺構と遺物



S=1/4

第353図 遺構外出土石器 凹石 (24)



S = 1/4

第354図 遺構外出土石器 凹石 (25)

第3章 検出された遺構と遺物



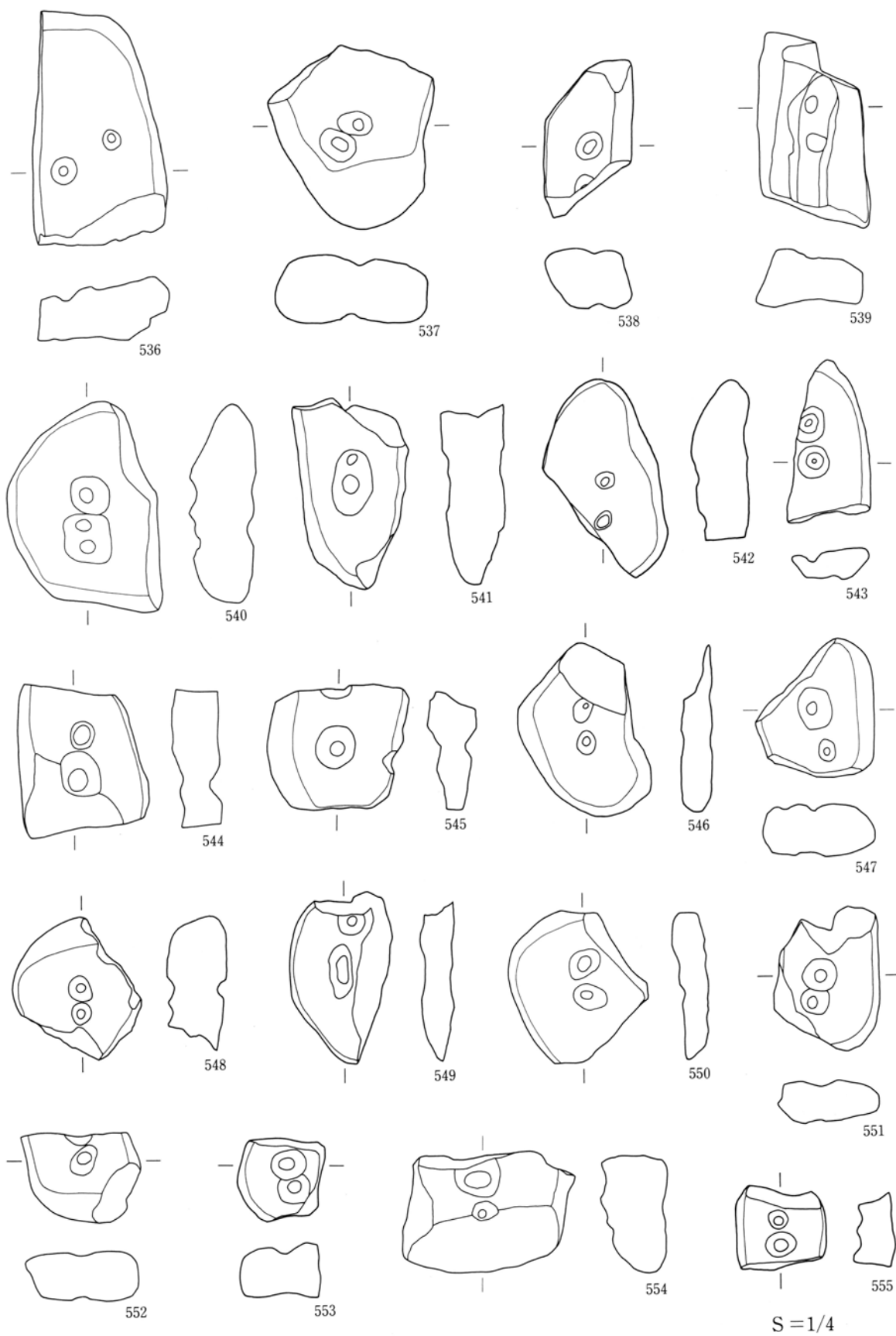
S=1/4

第355図 遺構外出土石器 凹石 (26)

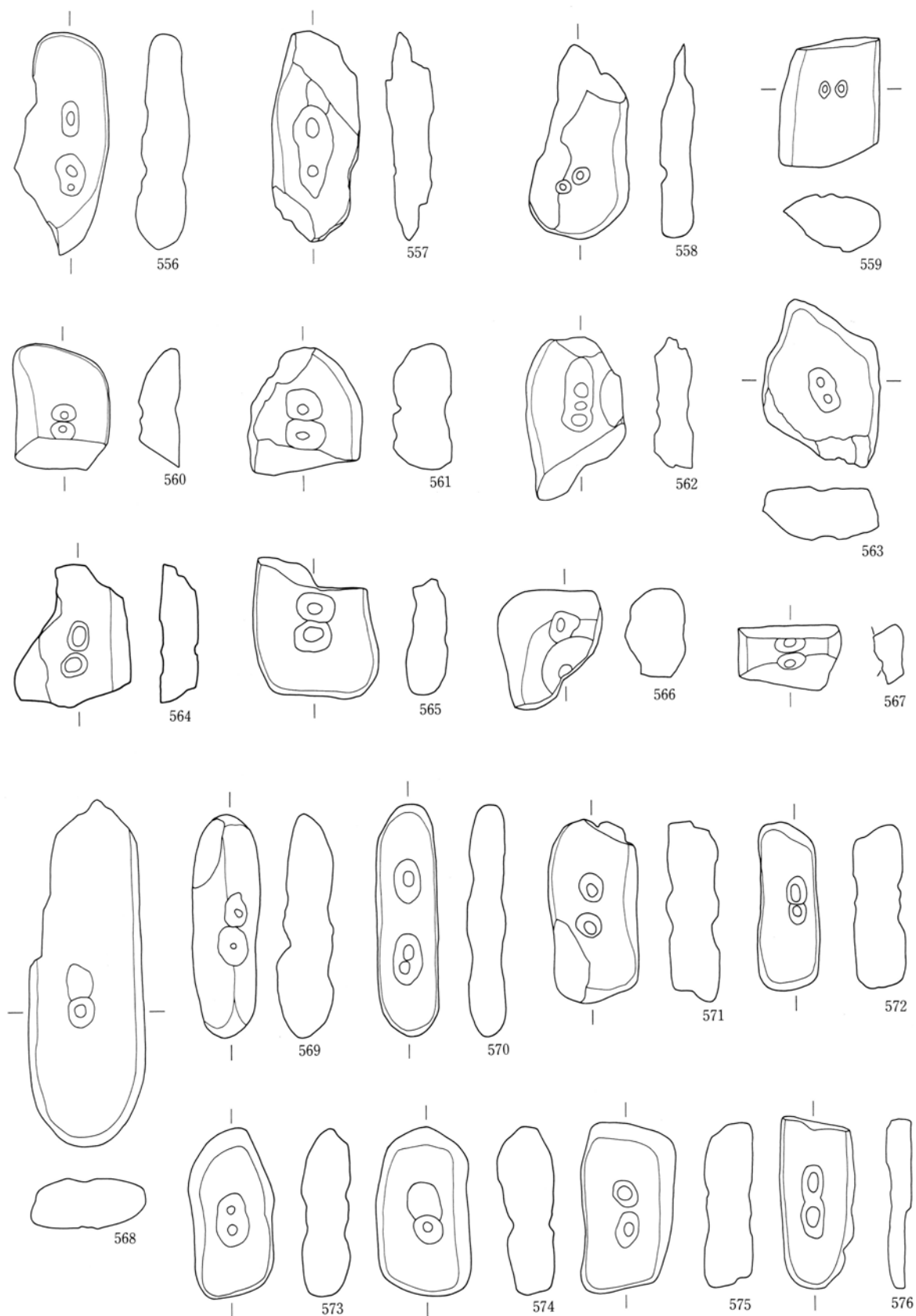


S=1/4

第356図 遺構外出土石器 凹石 (27)

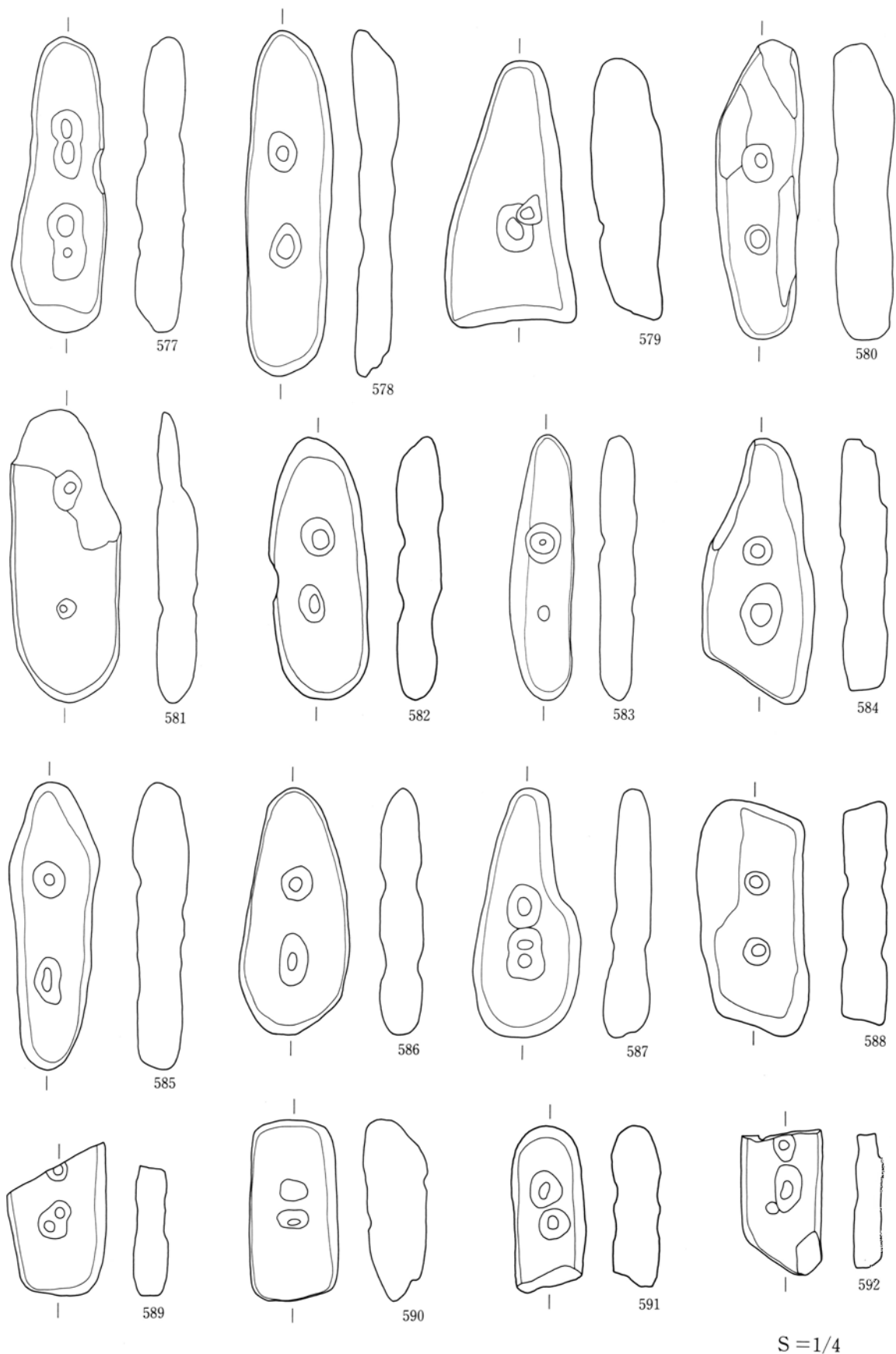


第357図 遺構外出土石器 凹石 (28)

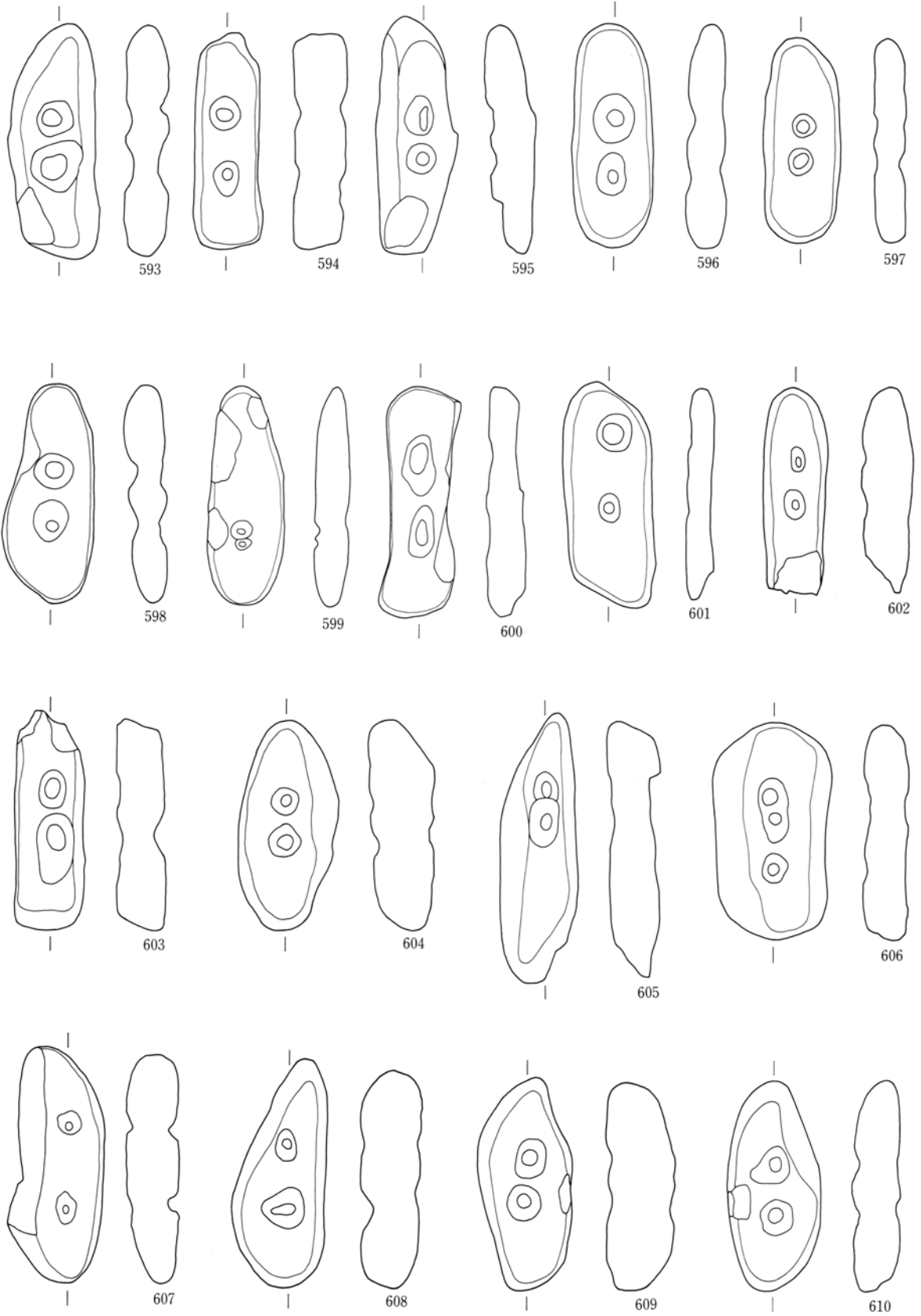


S = 1/4

第358図 遺構外出土石器 凹石 (29)



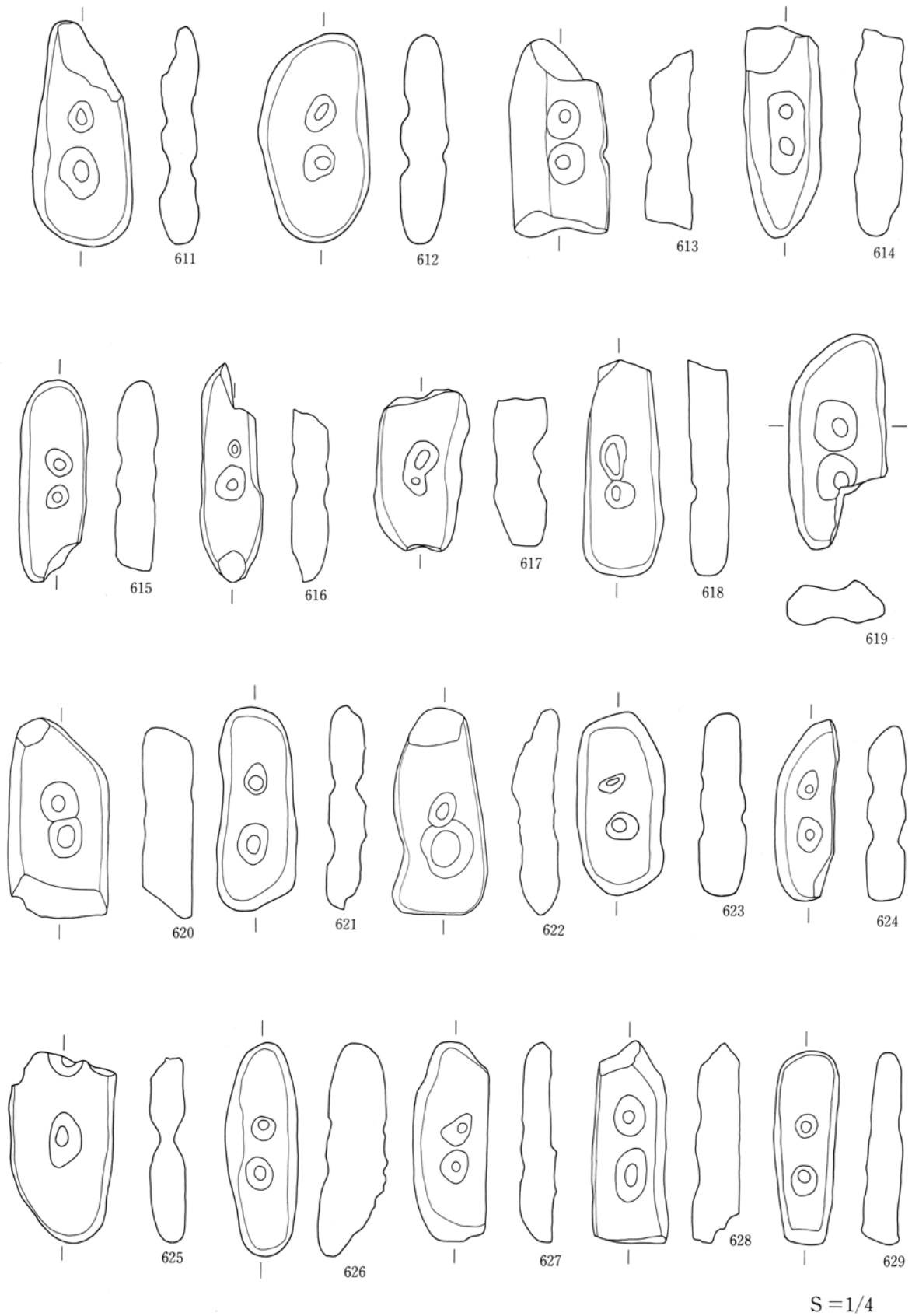
第359図 遺構外出土石器 凹石 (30)



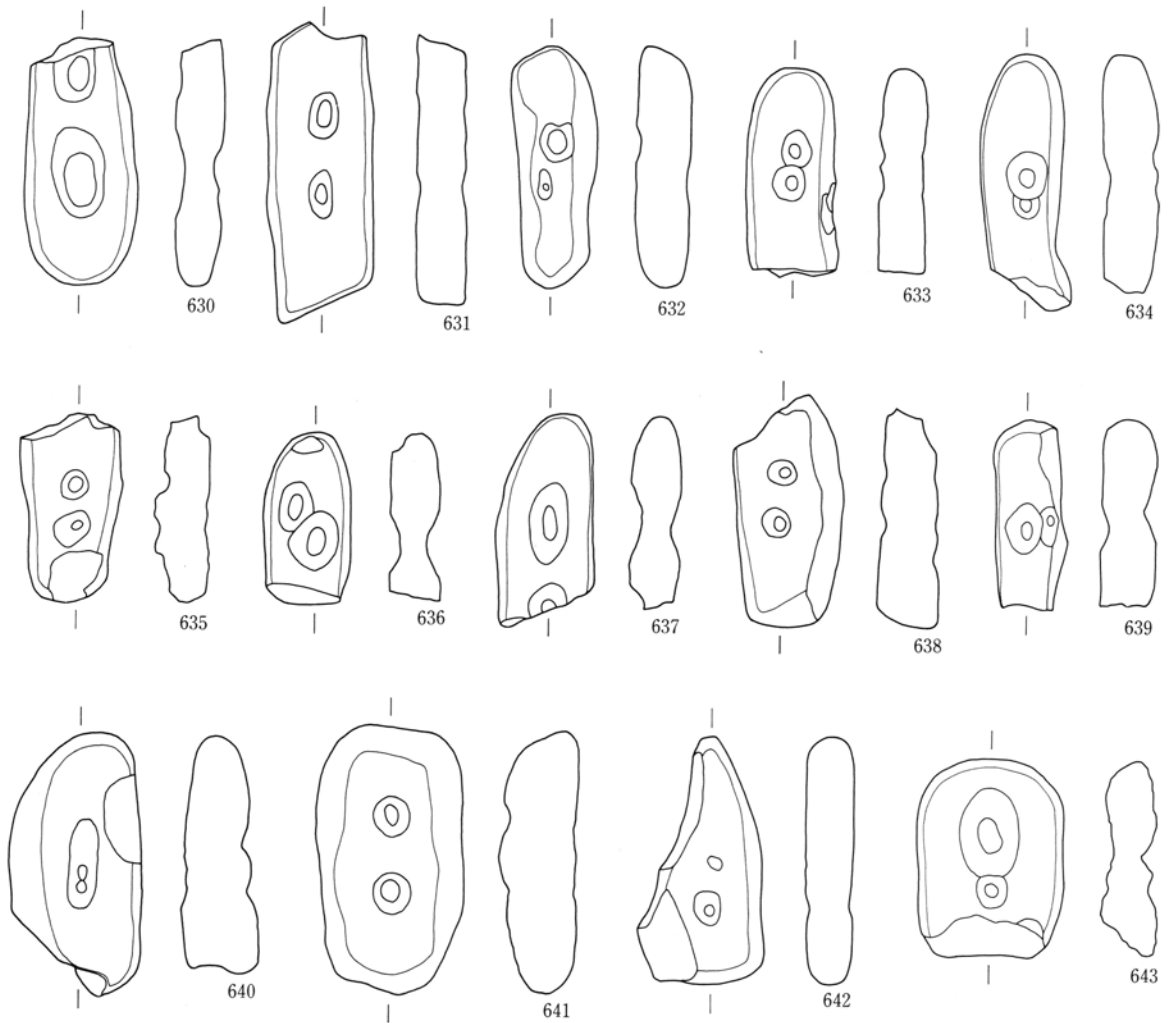
S=1/4

第360図 遺構外出土石器 凹石 (31)

第3章 検出された遺構と遺物

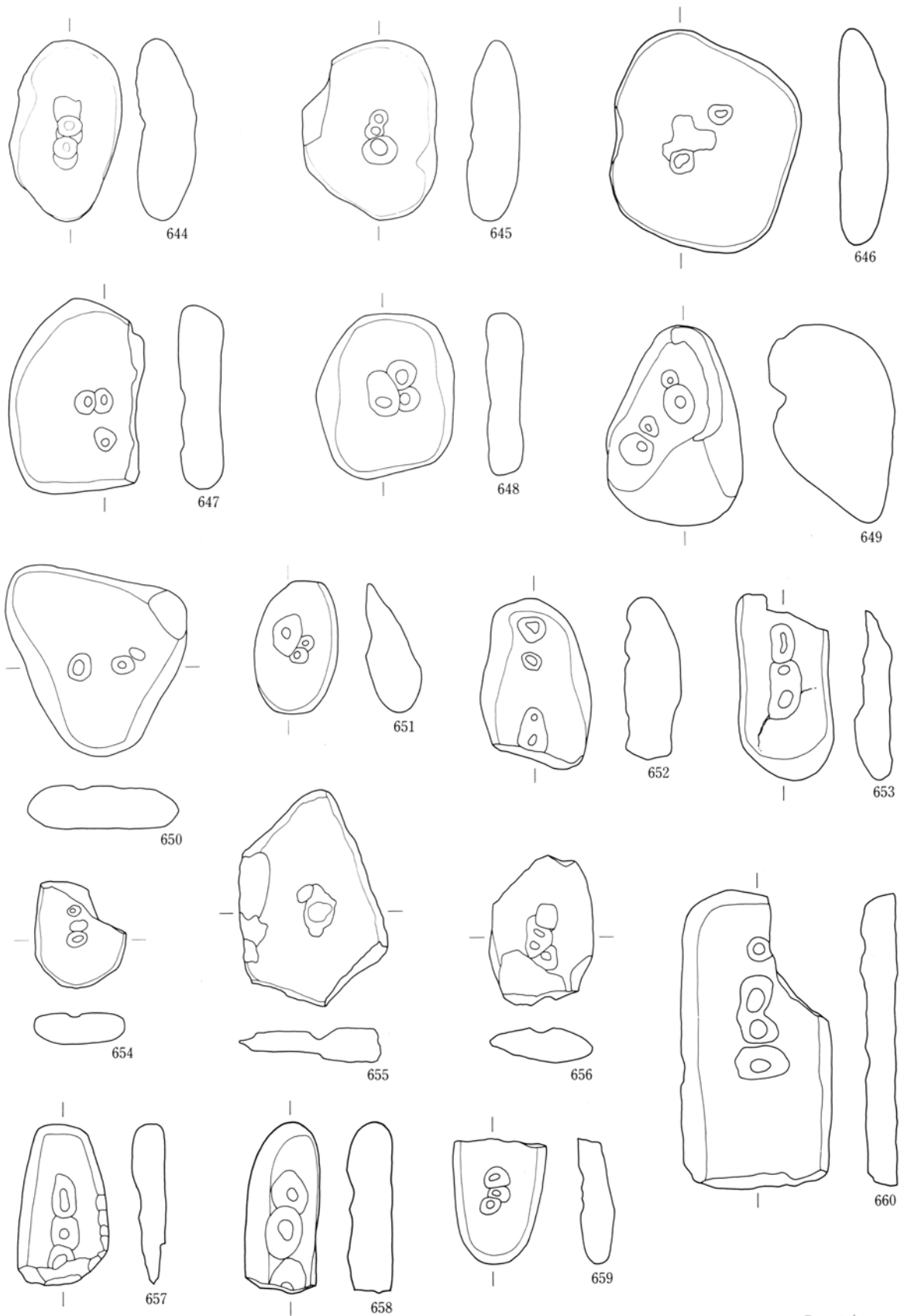


第361図 遺構外出土石器 凹石 (32)

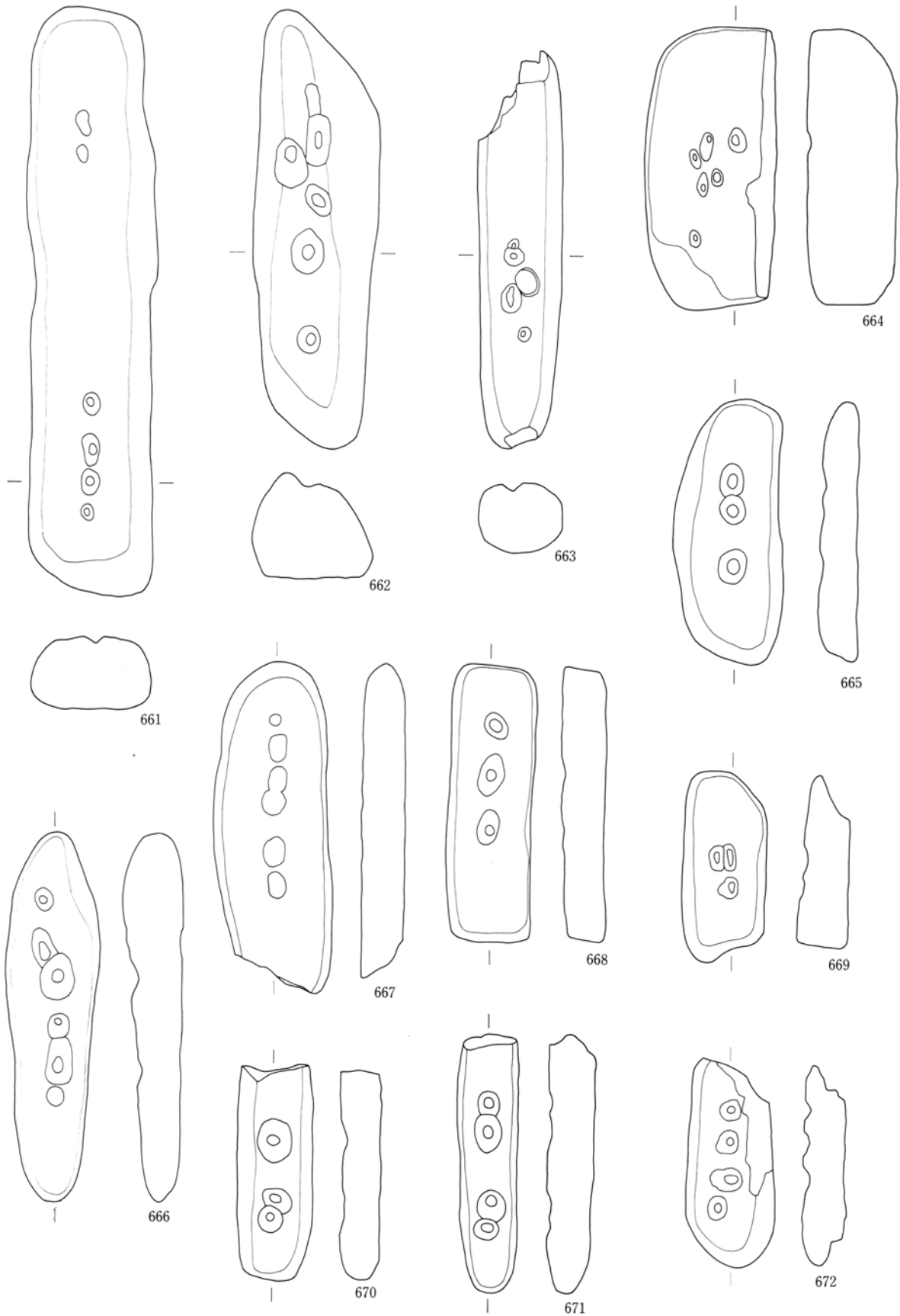


S=1/4

第362図 遺構外出土石器 凹石 (33)

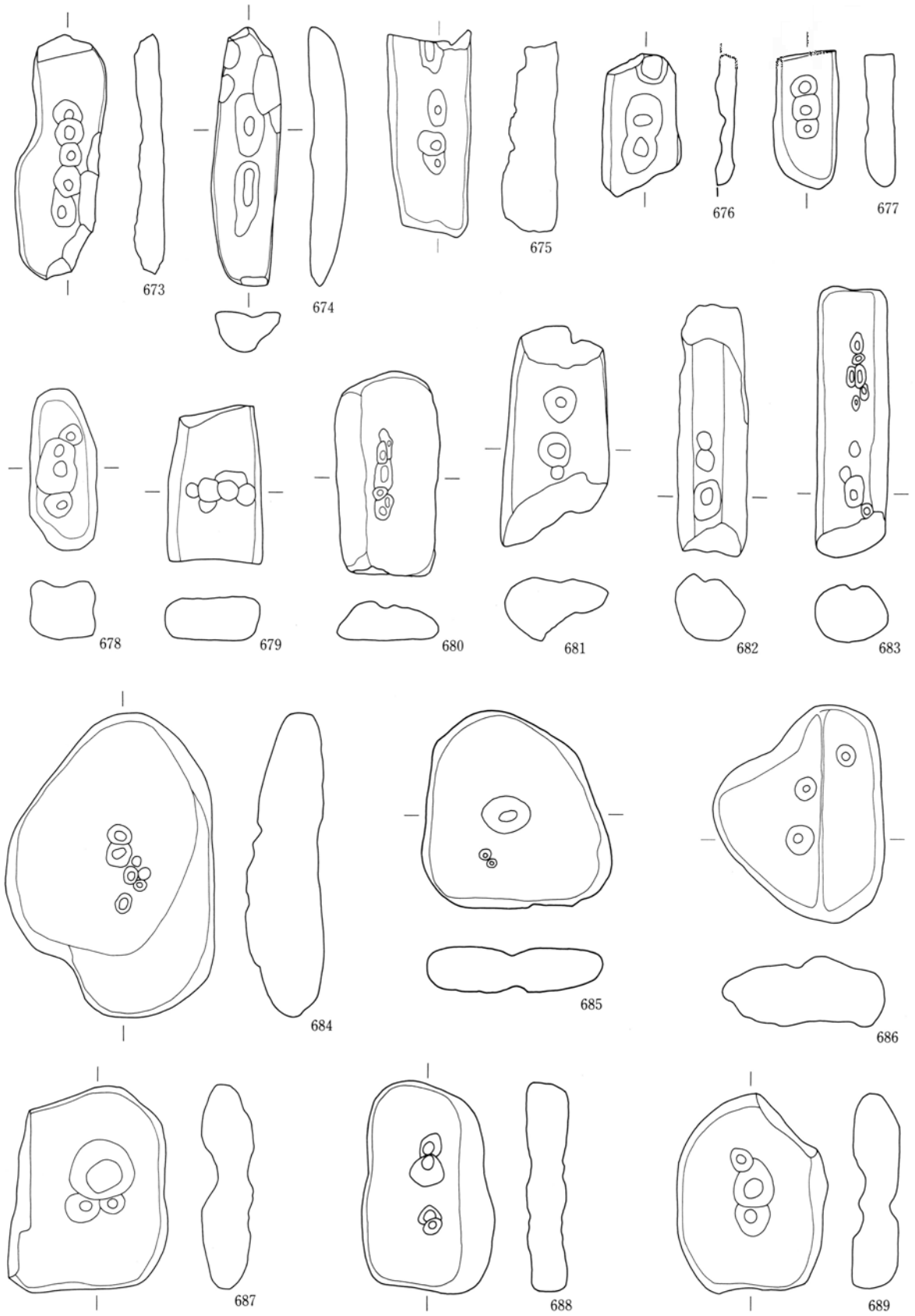


第363図 遺構外出土石器 凹石 (34)



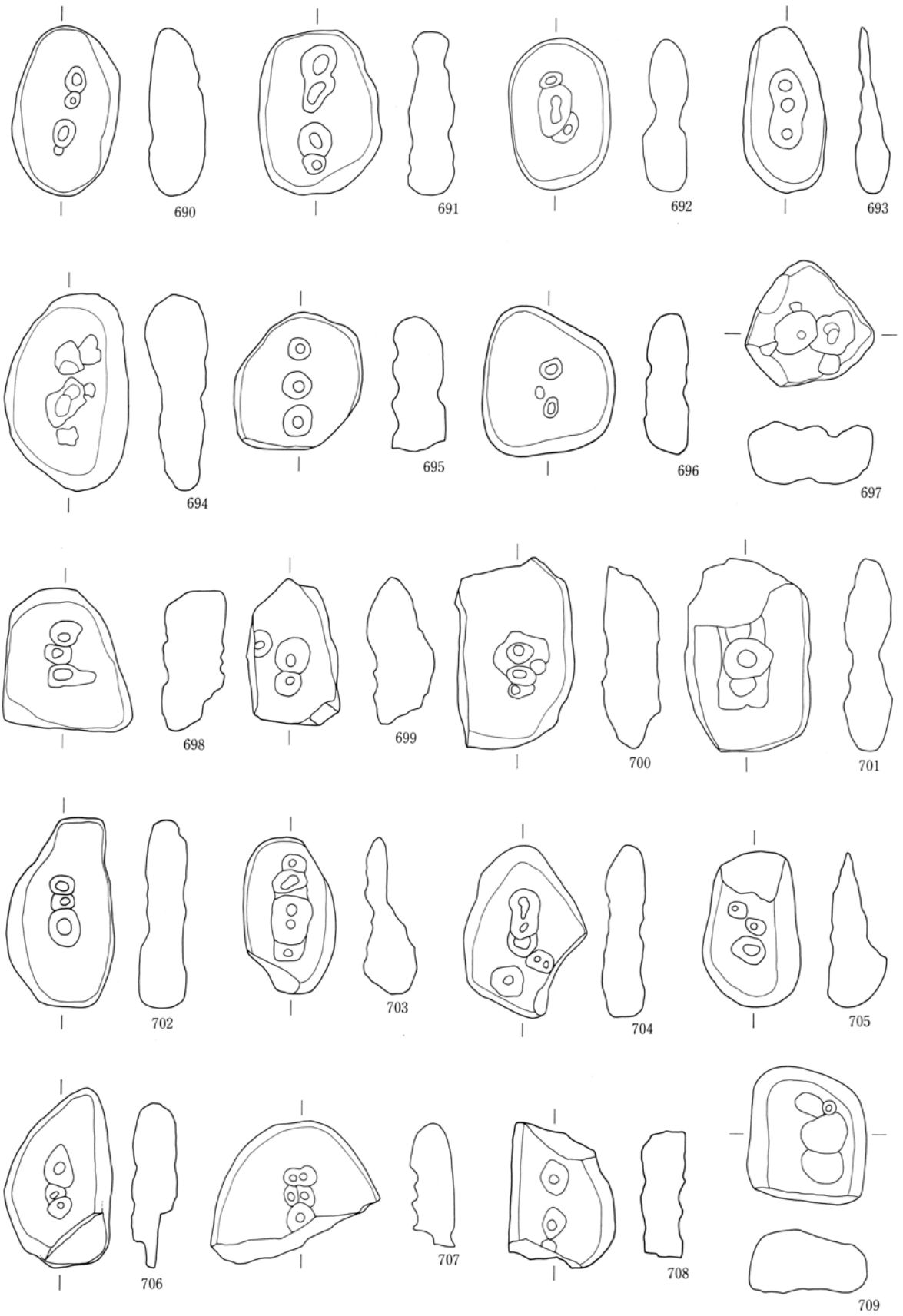
第364図 遺構外出土石器 凹石 (35)

S=1/4



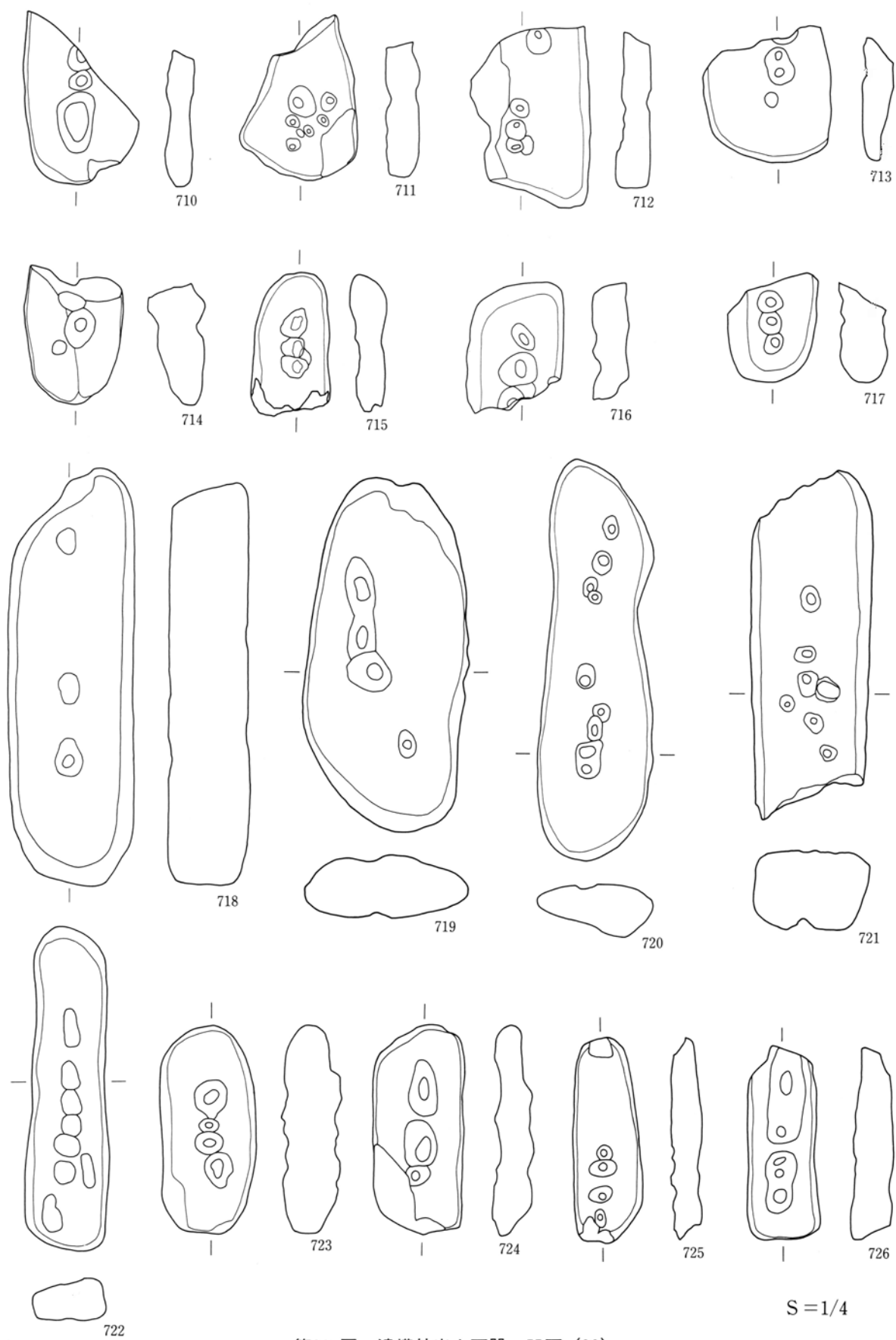
S=1/4

第365図 遺構外出土石器 凹石 (36)

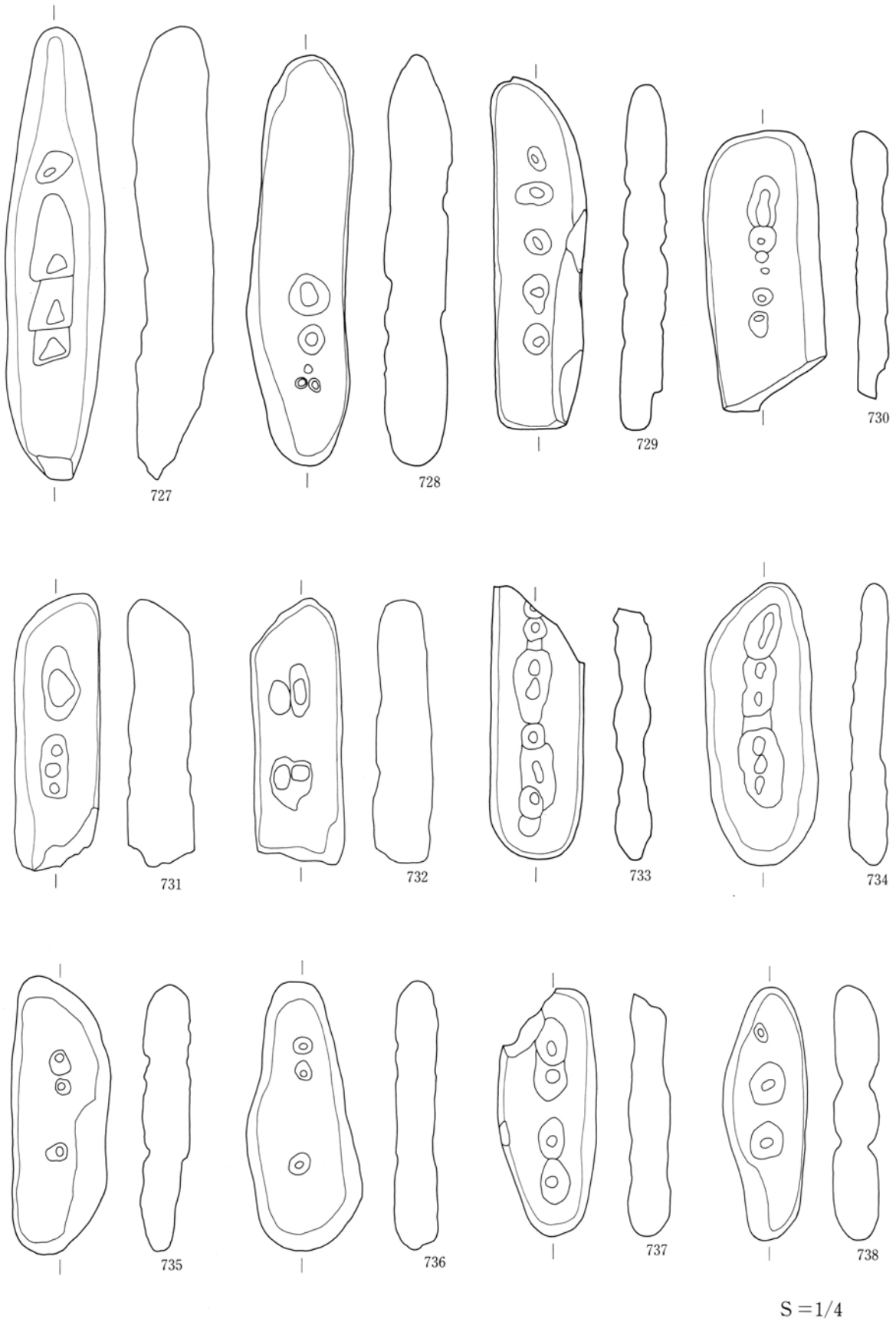


第366図 遺構外出土石器 凹石 (37)

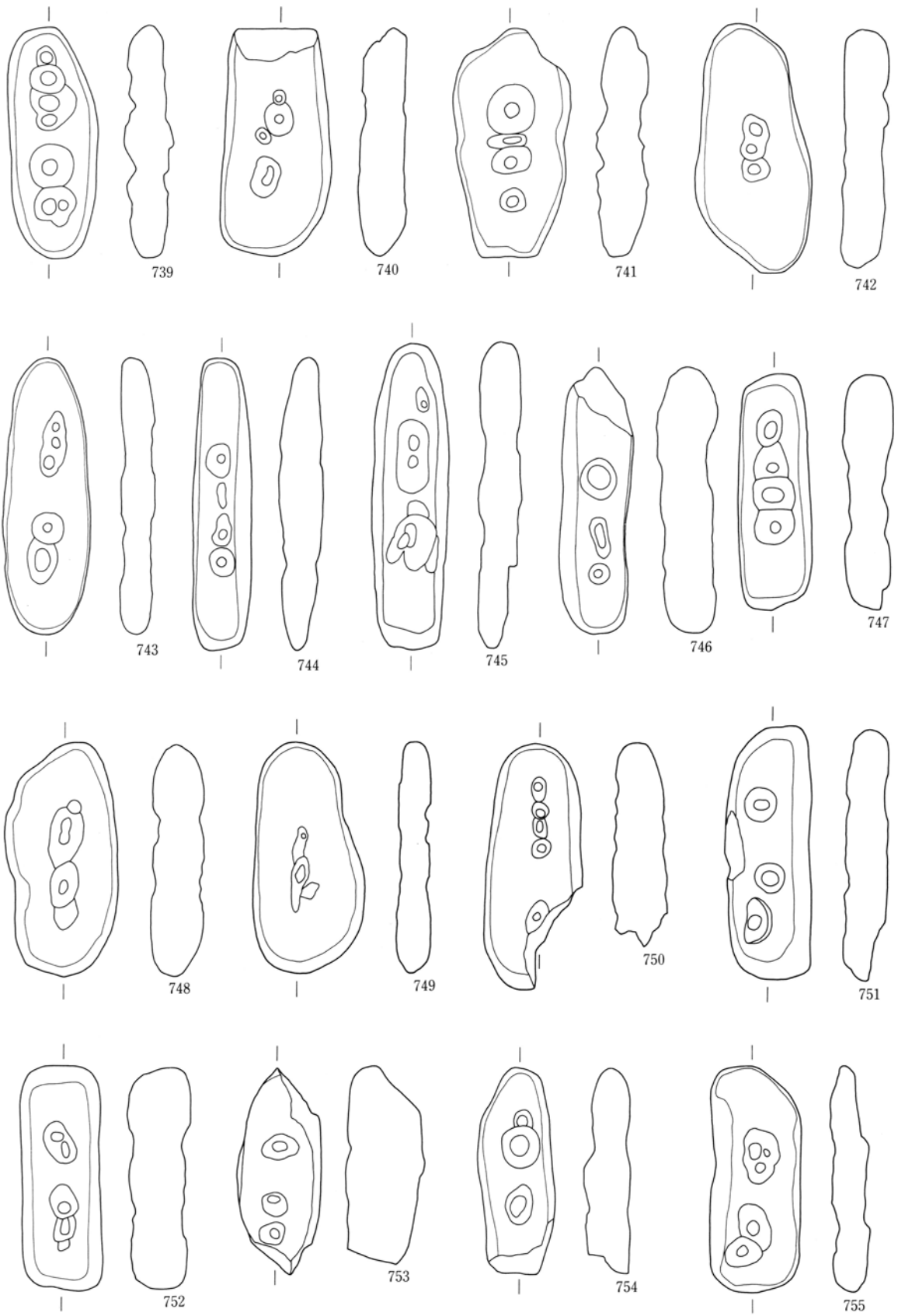
S = 1/4



第367図 遺構外出土石器 凹石 (38)

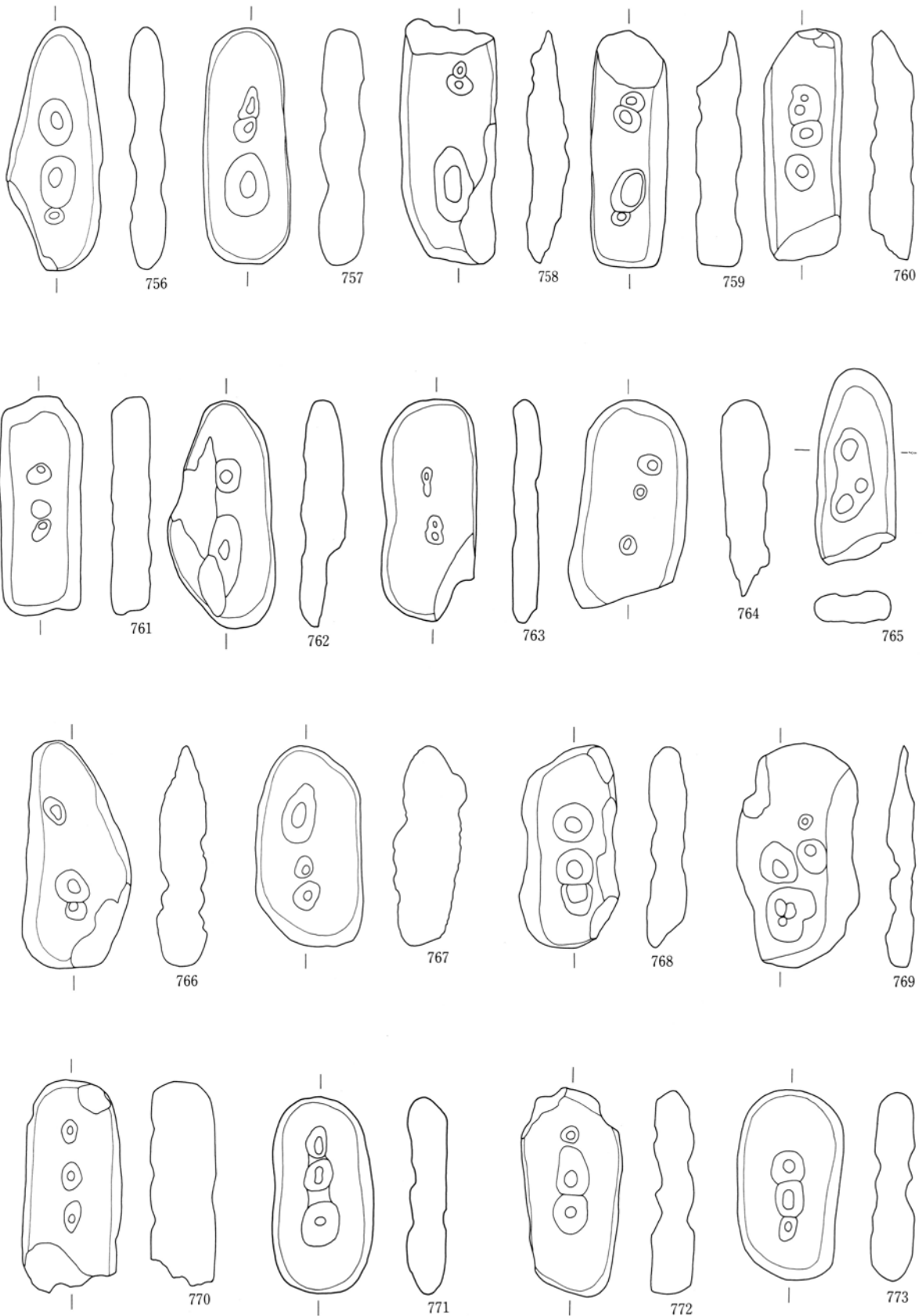


第368図 遺構外出土石器 凹石 (39)



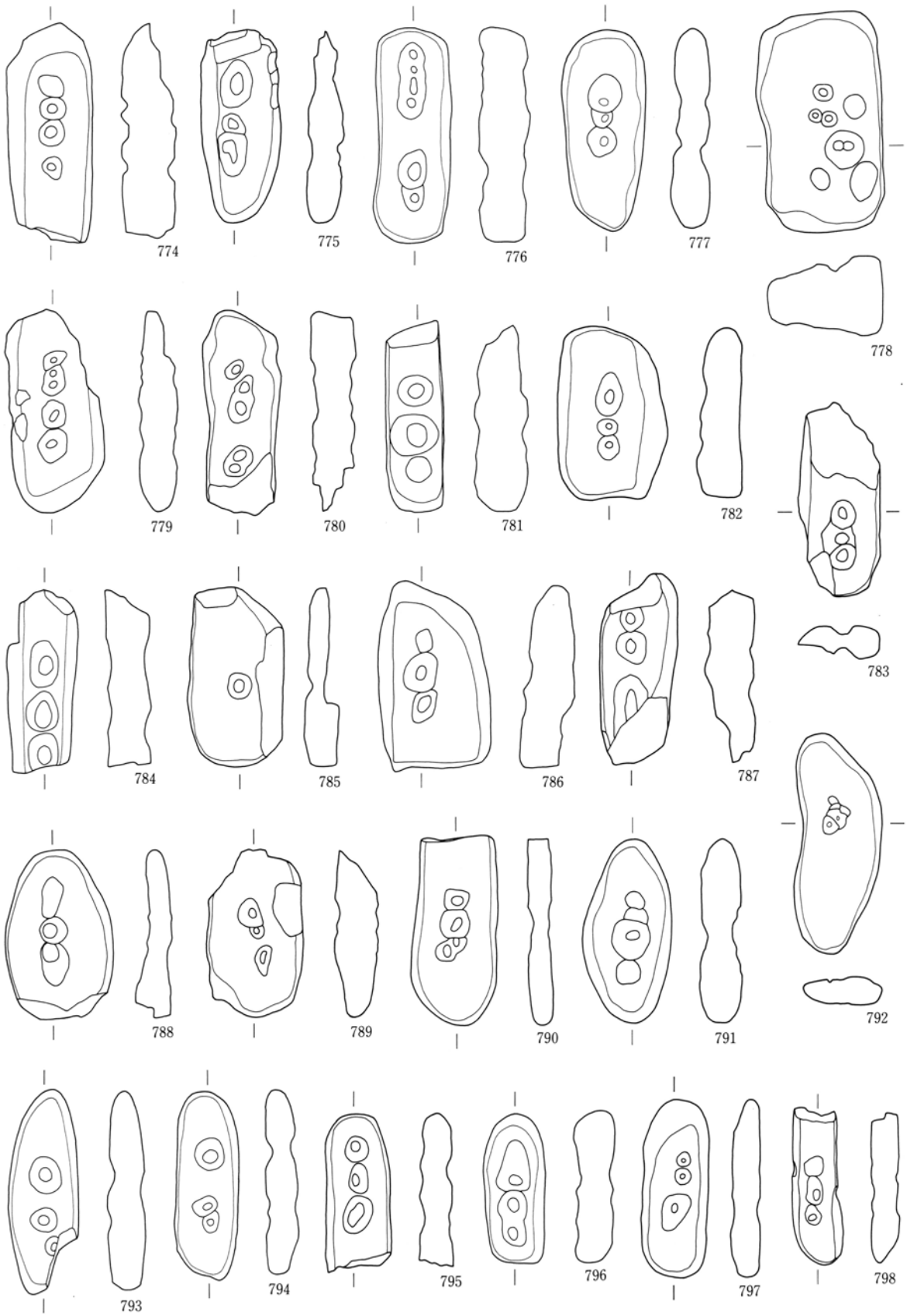
S = 1/4

第369図 遺構外出土石器 凹石 (40)



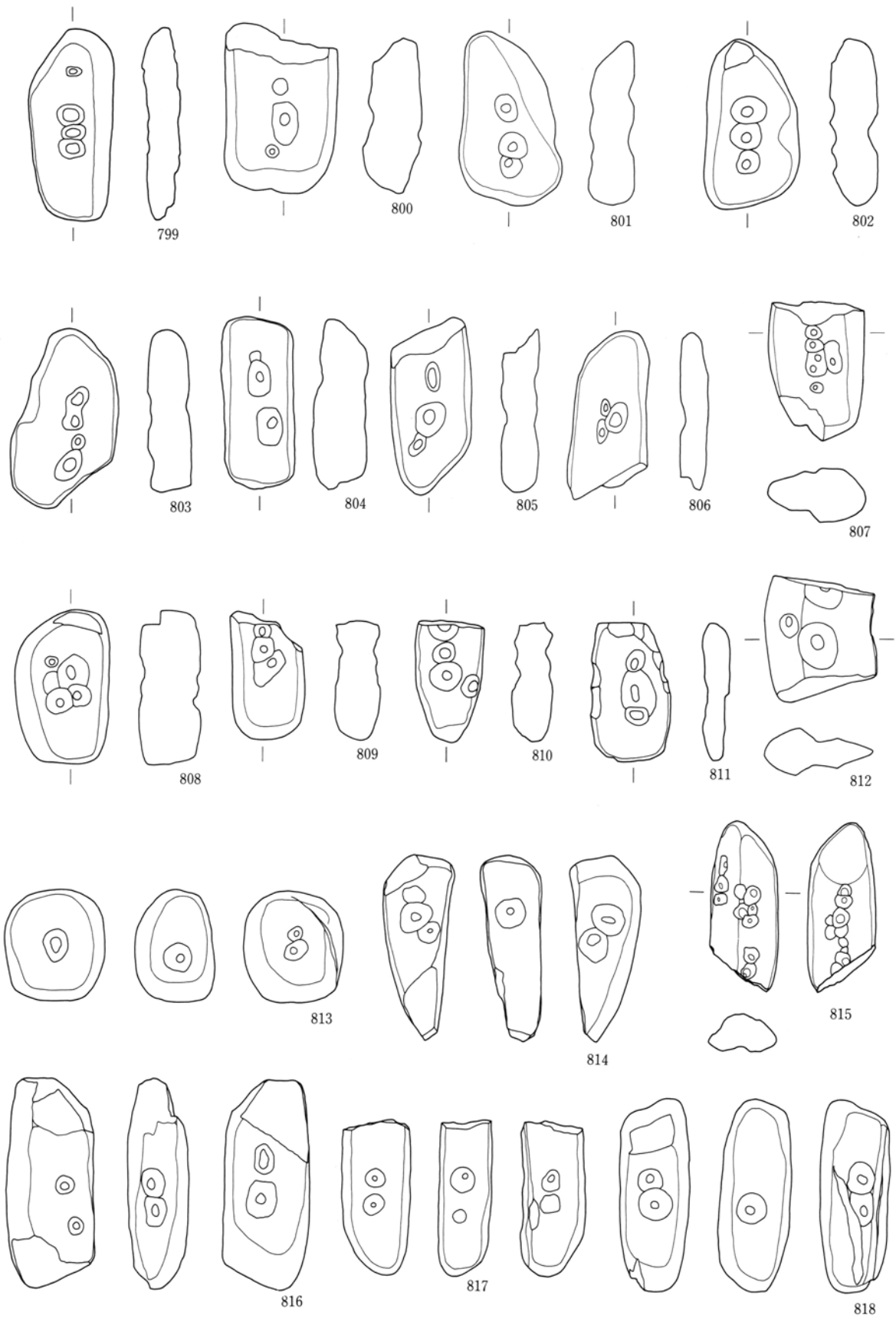
S=1/4

第370図 遺構外出土石器 凹石 (41)



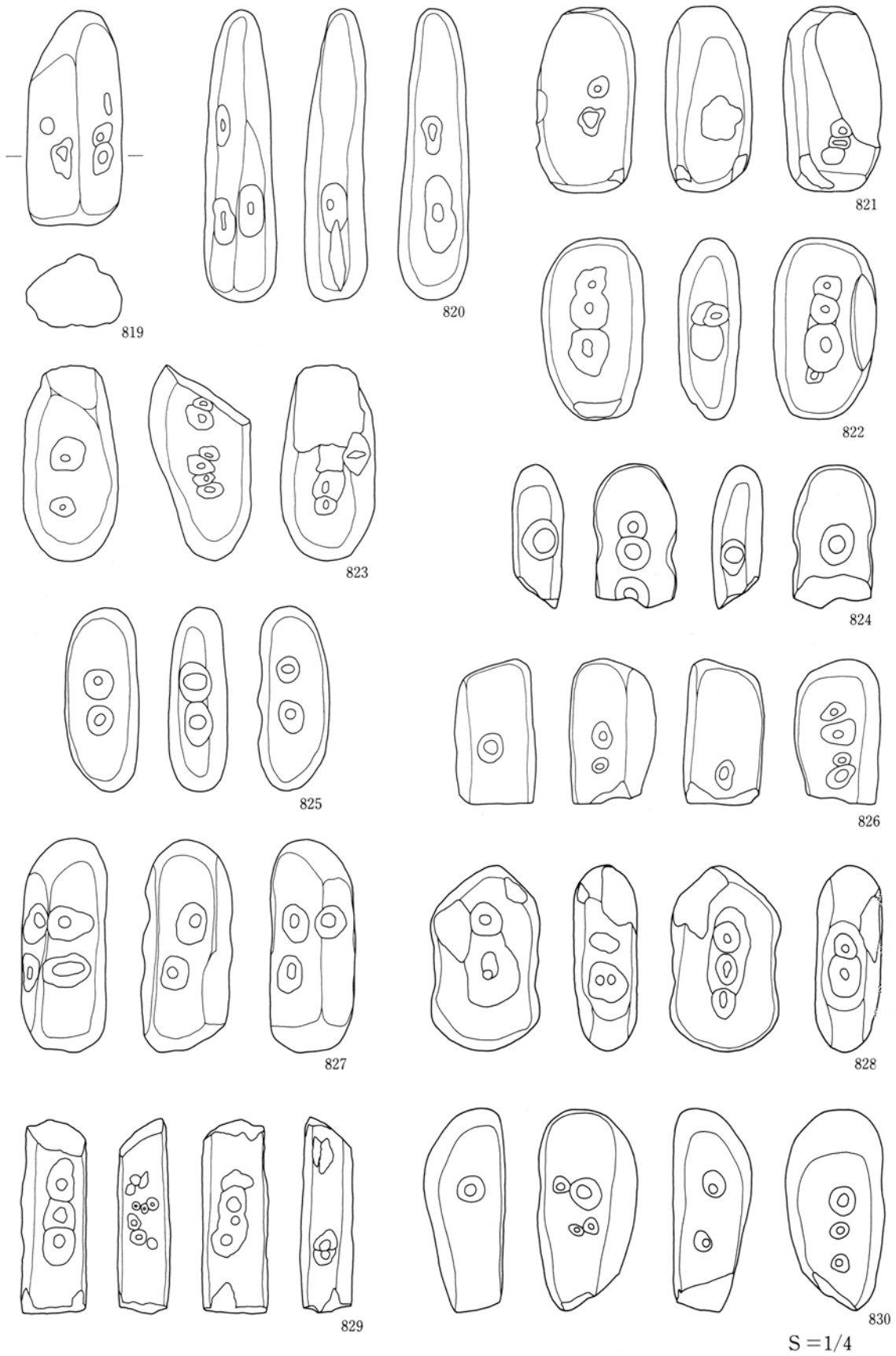
S = 1/4

第371図 遺構外出土石器 凹石 (42)

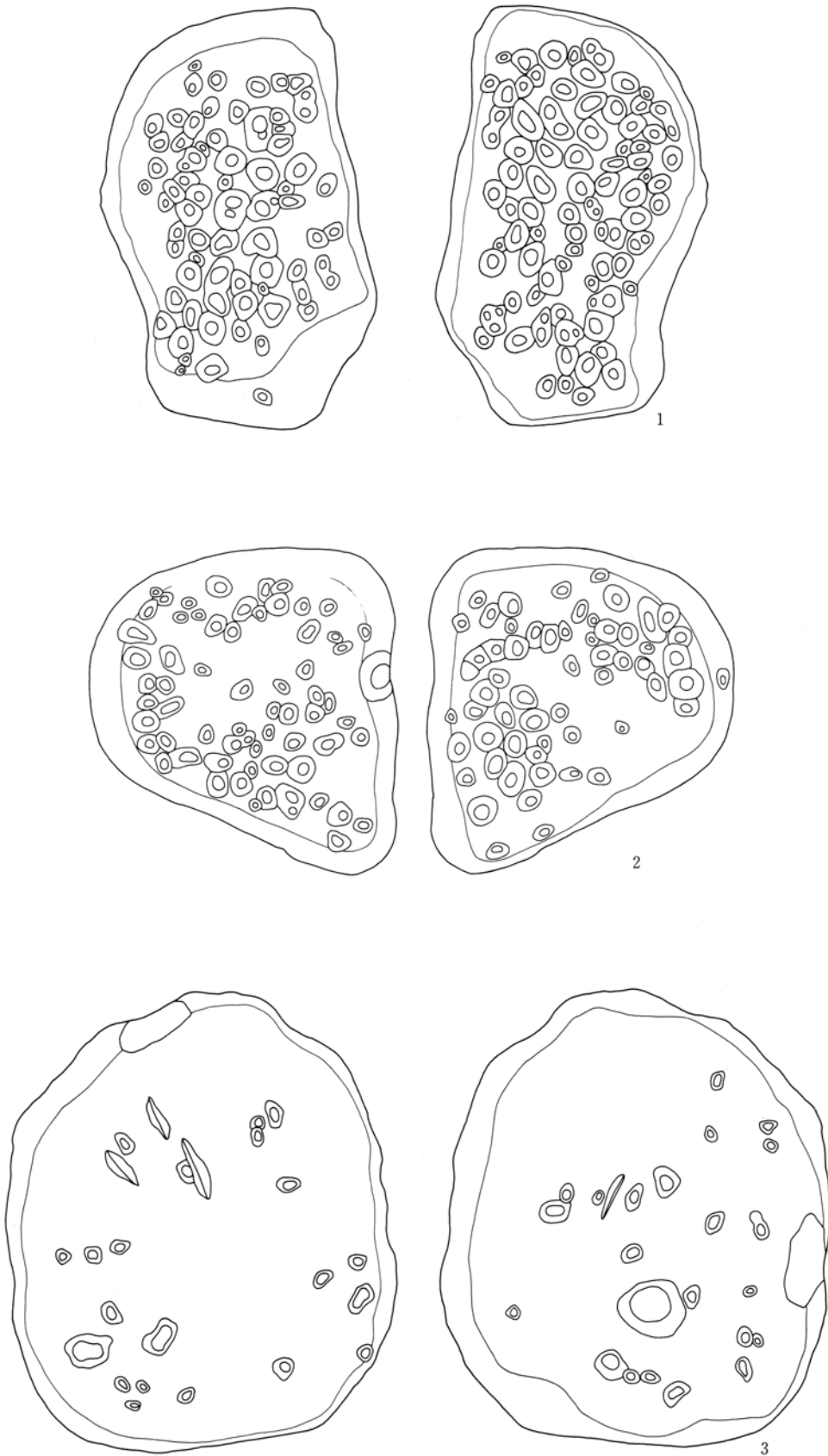


第372図 遺構外出土石器 凹石 (43)

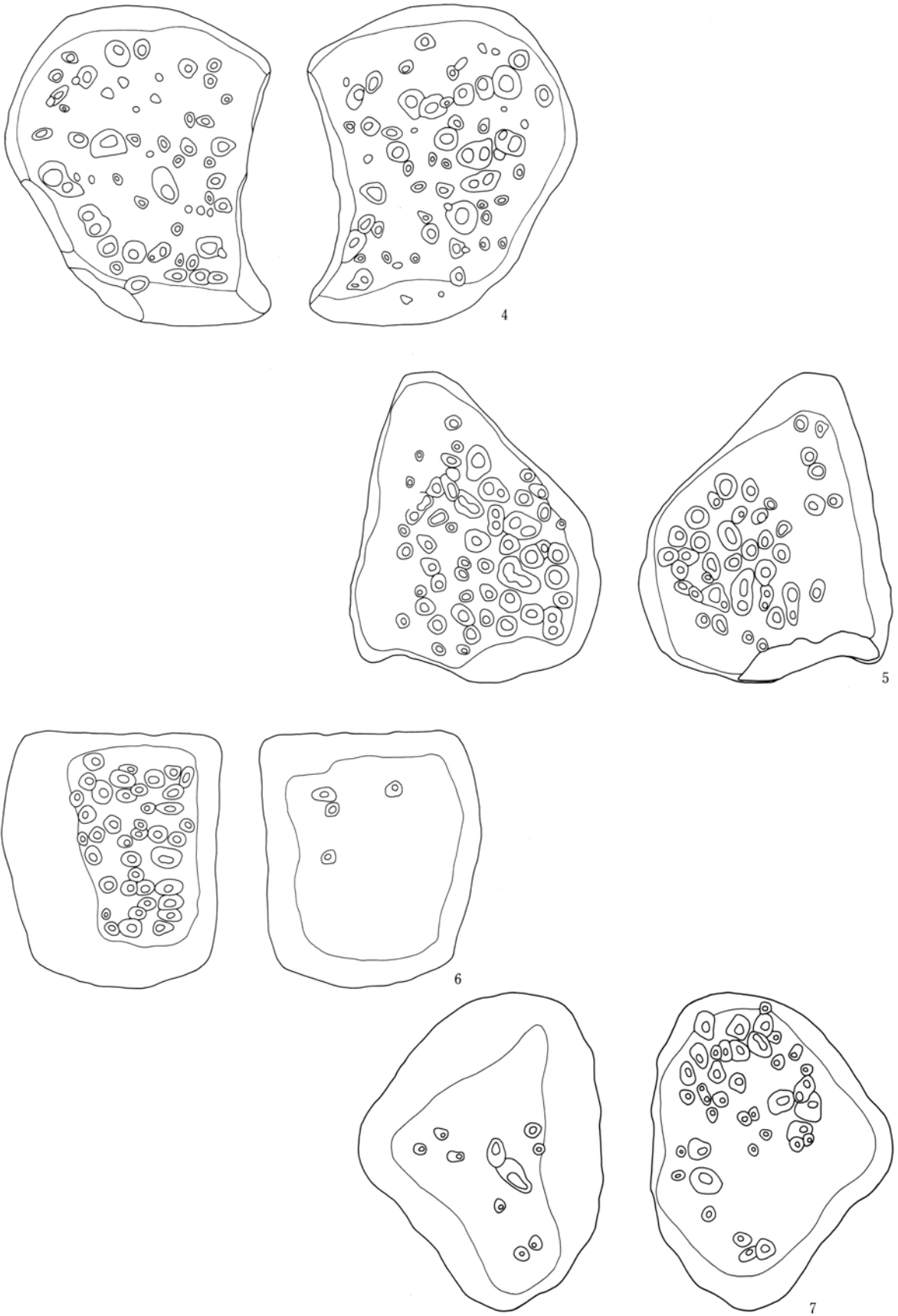
S=1/4



第373図 遺構外出土石器 凹石 (44)



第374図 遺構外出土石器 多孔隙石 (1) S=1/6



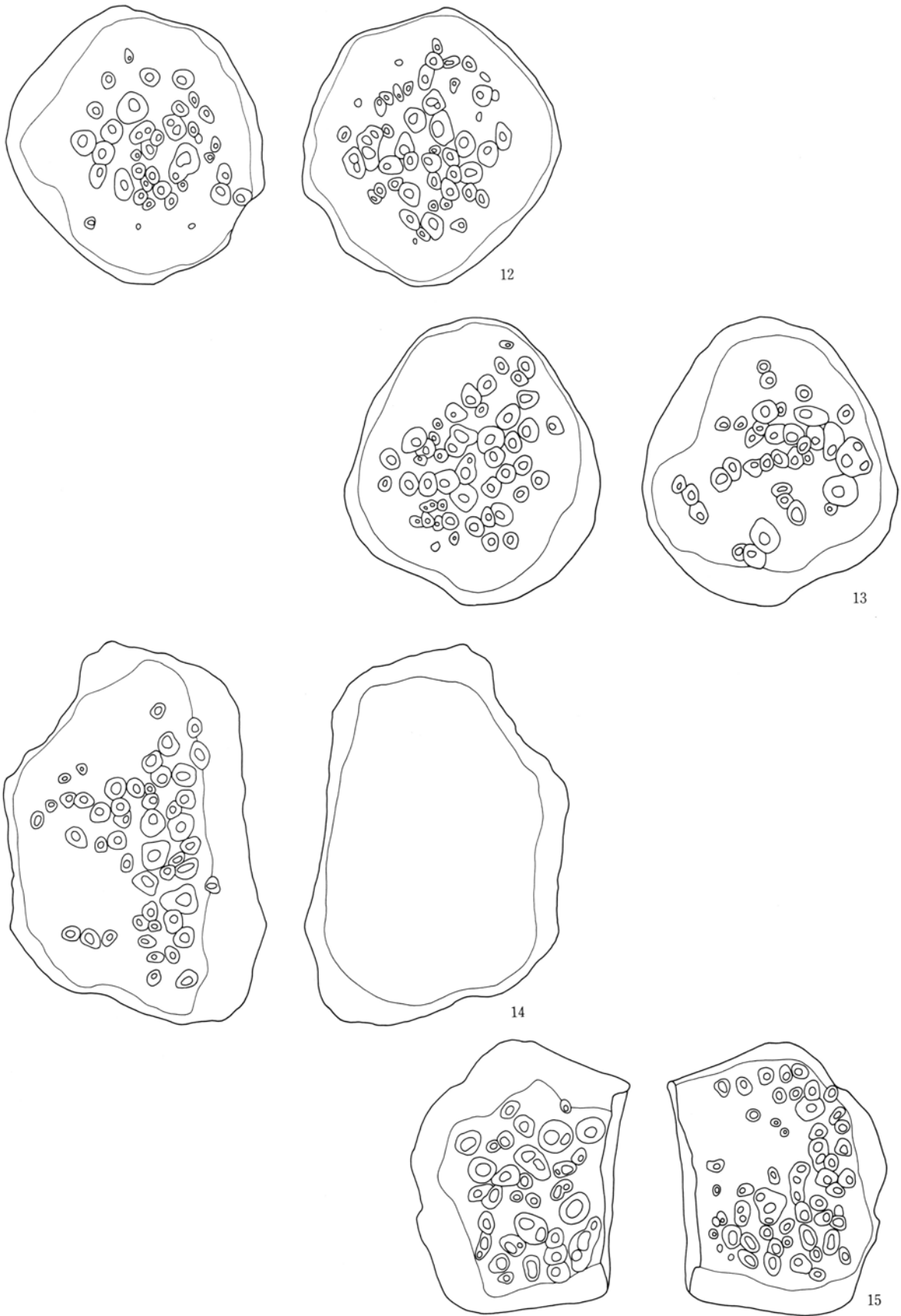
第375図 遺構外出土石器 多孔石 (2)

S=1/6



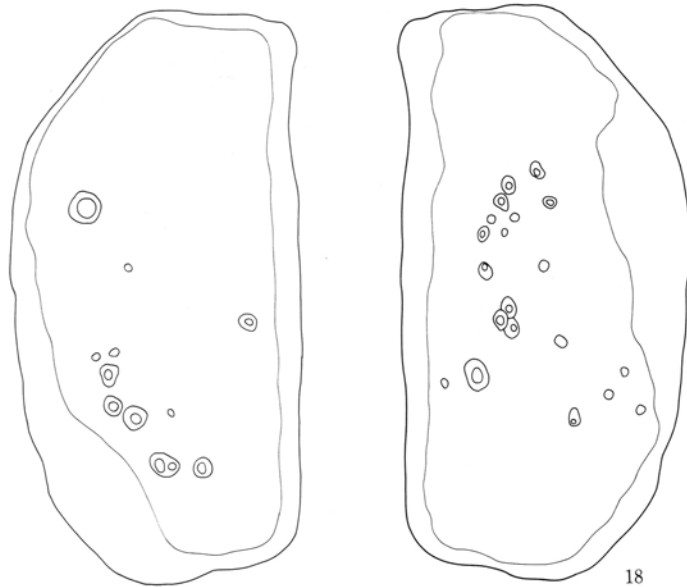
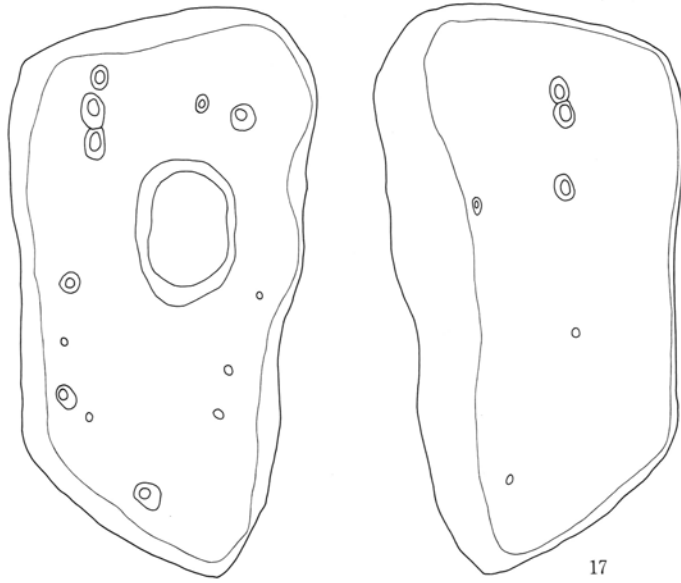
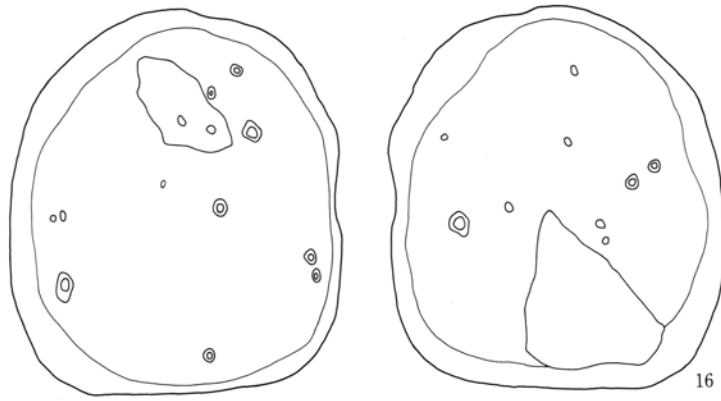
S=1/6

第376図 遺構外出土石器 多孔石(3)



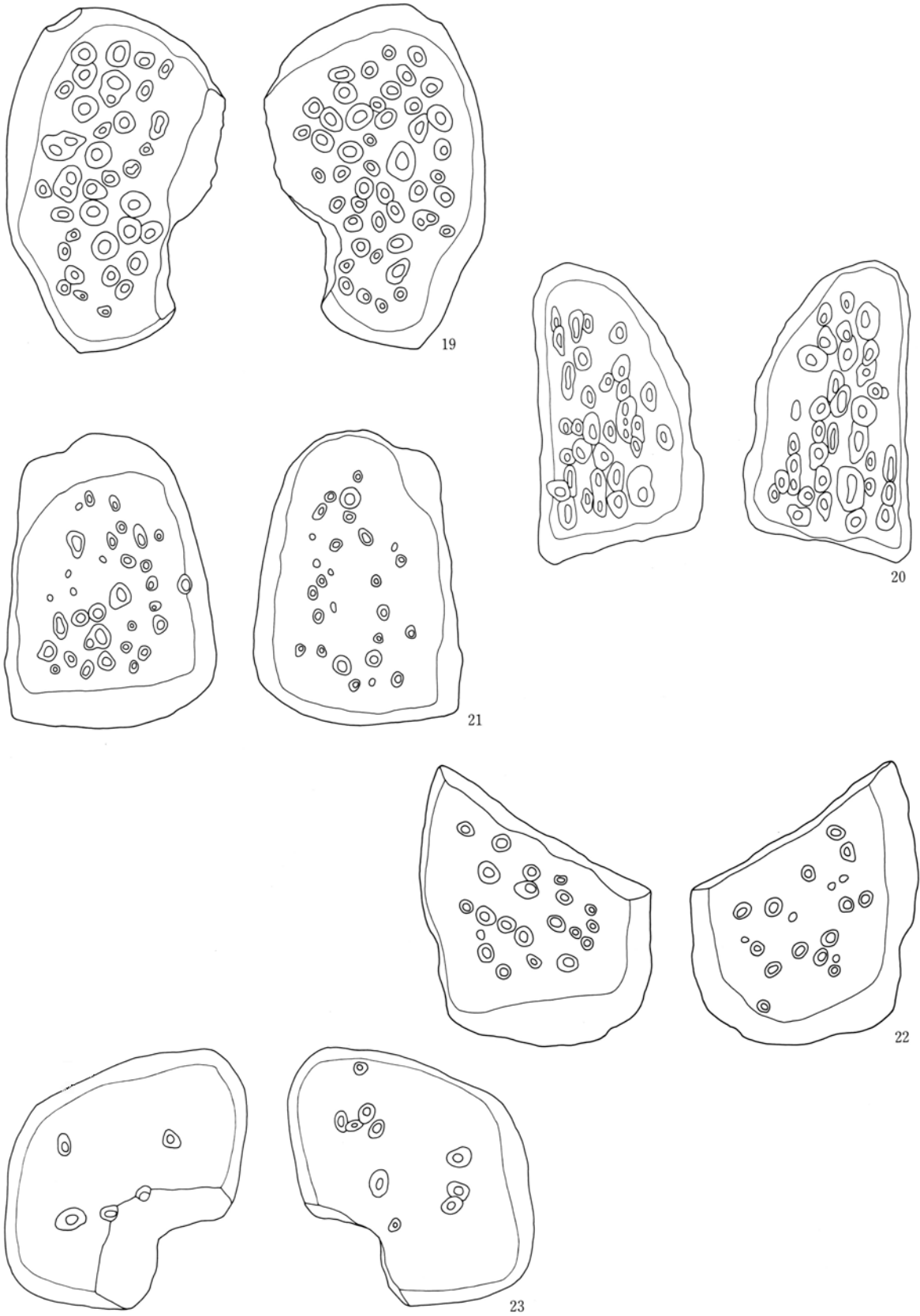
第377図 遺構外出土石器 多孔隙石（4）

S=1/6



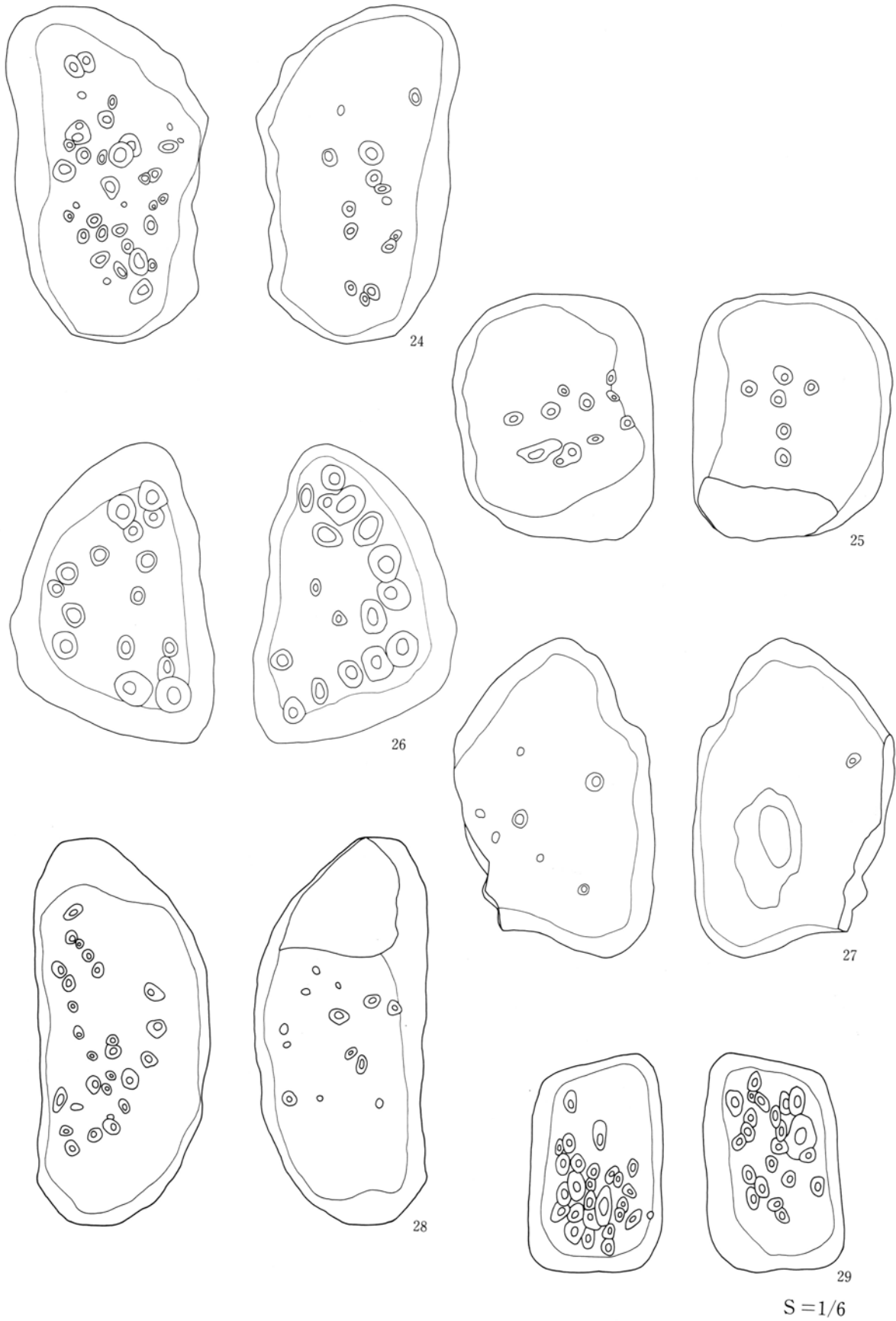
S = 1/6

第378図 遺構外出土石器 多孔石(5)

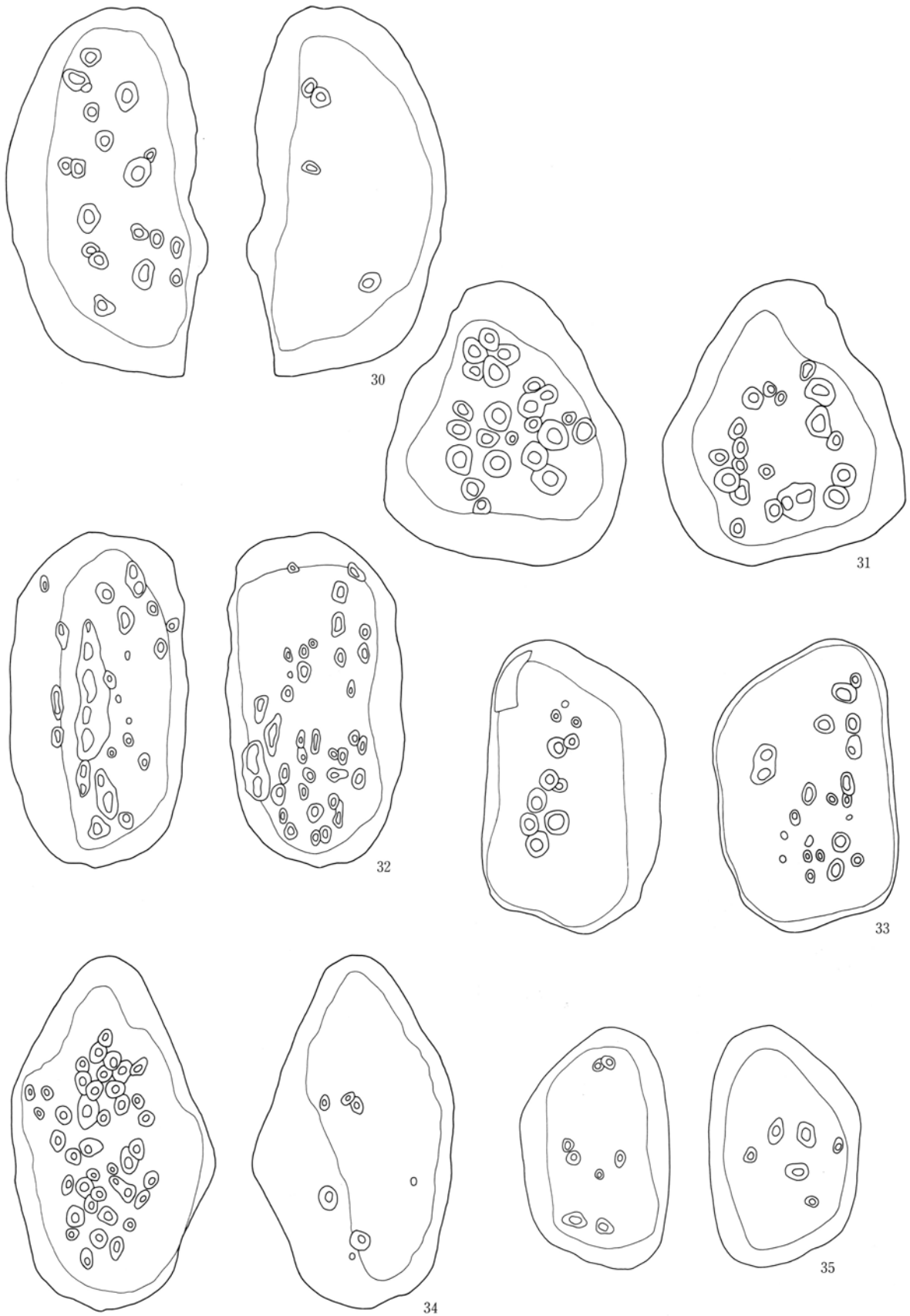


S=1/6

第379図 遺構外出土石器 多孔石(6)

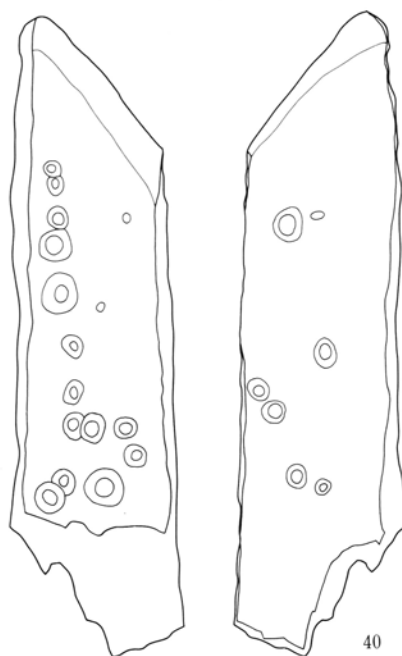
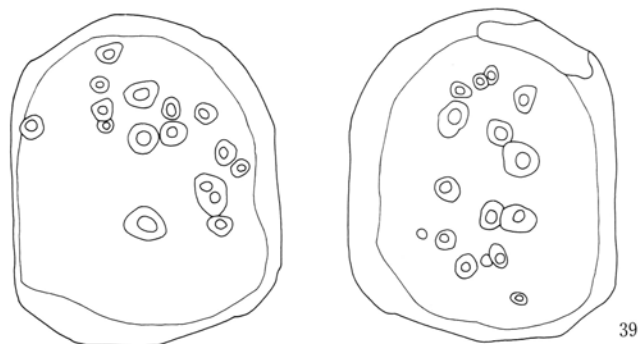
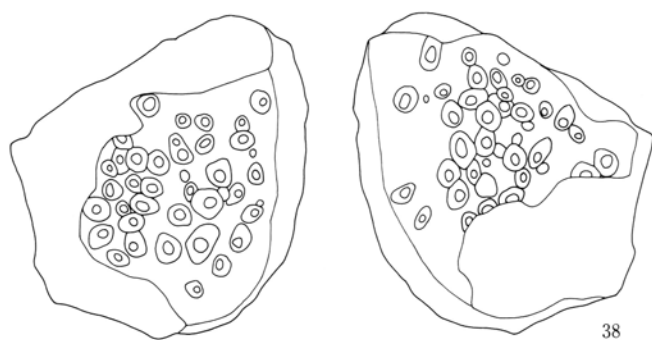
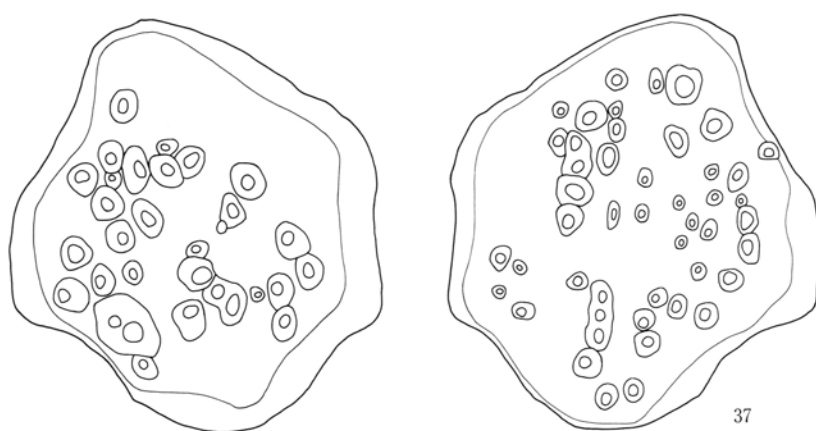
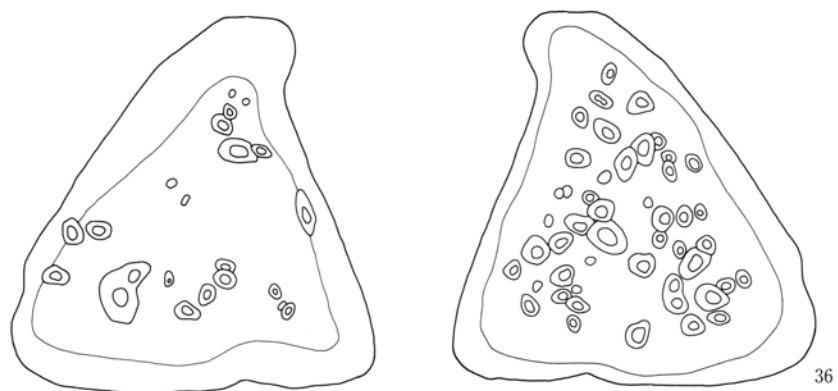


第380図 遺構外出土石器 多孔隙石 (7)



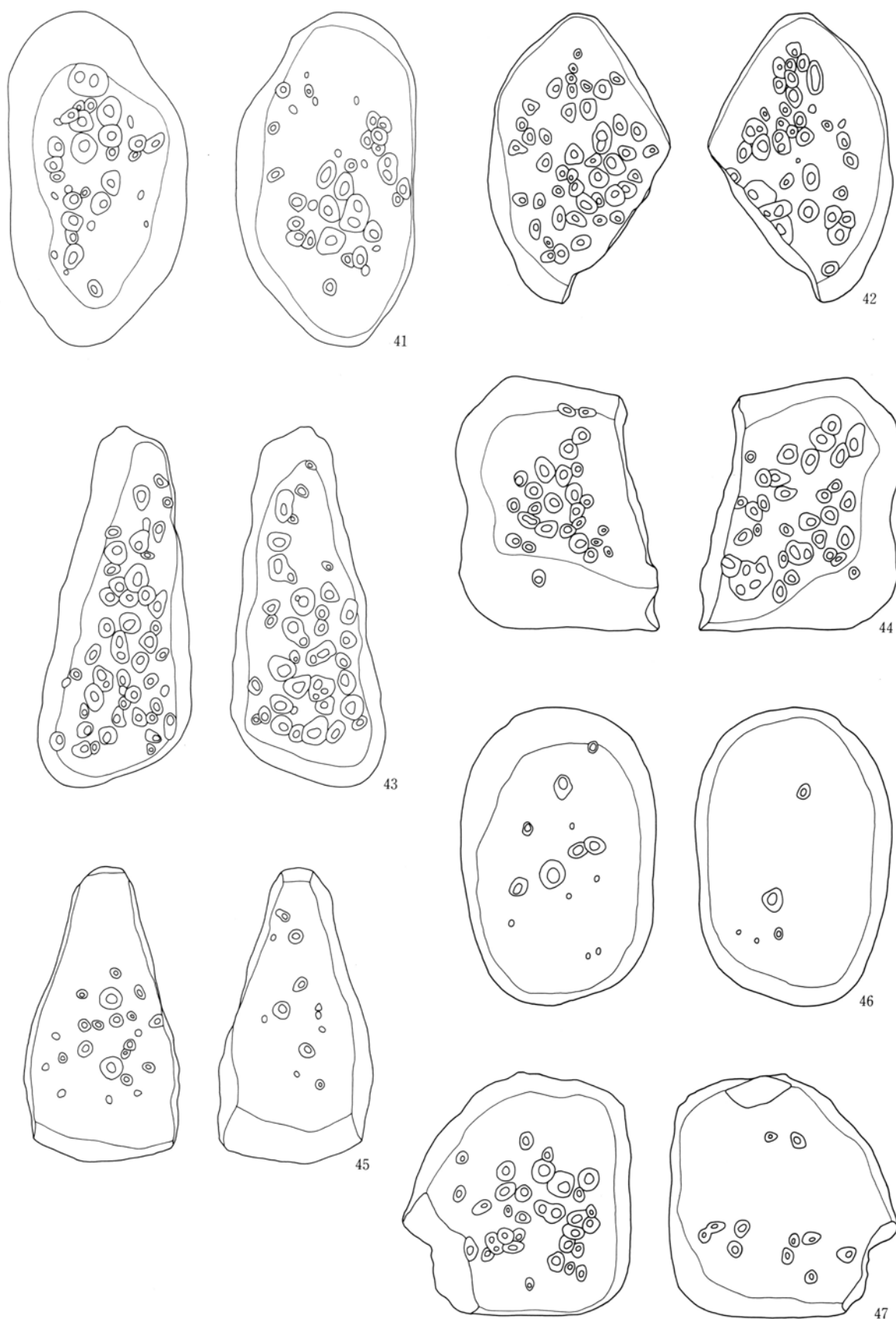
第381図 遺構外出土石器 多孔石 (8)

S = 1/6



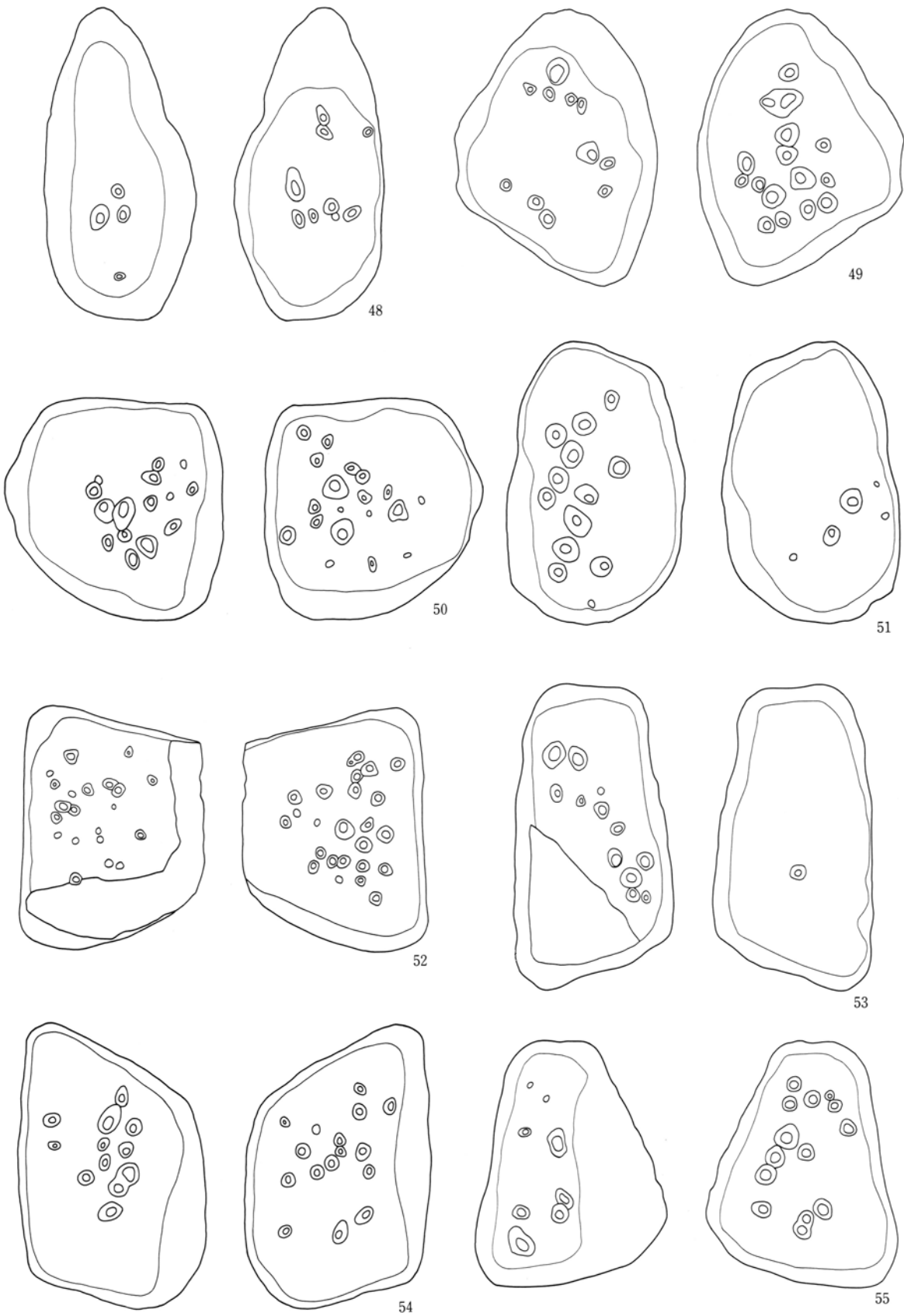
S=1/6

第382図 遺構外出土石器 多孔石(9)



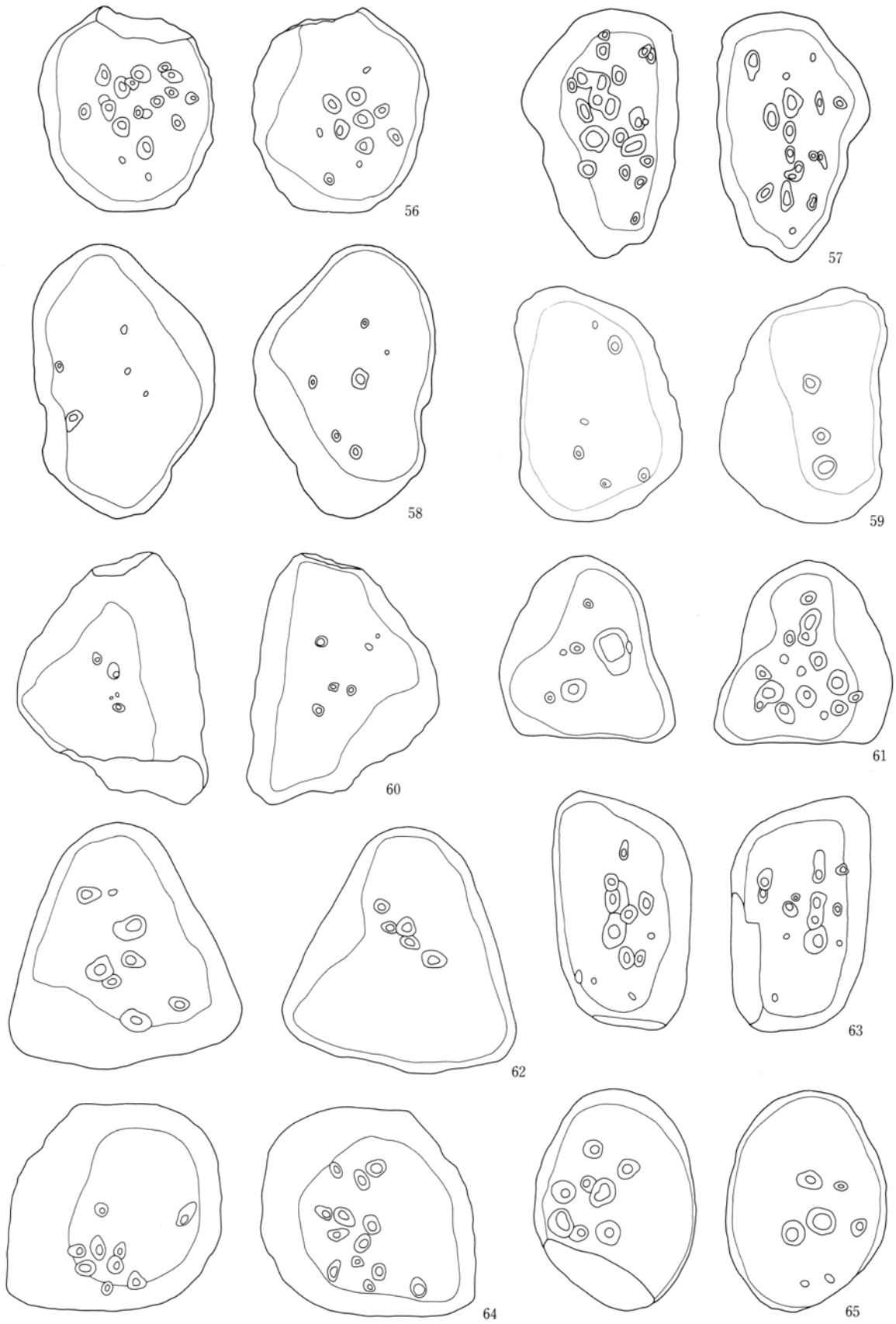
第383図 遺構外出土石器 多孔石 (10)

S = 1/6



第384図 遺構外出土石器 多孔石 (II)

S=1/6



第385図 遺構外出土石器 多孔隙石 (12)

S=1/6



第386図 遺構外出土石器 多孔石 (13)

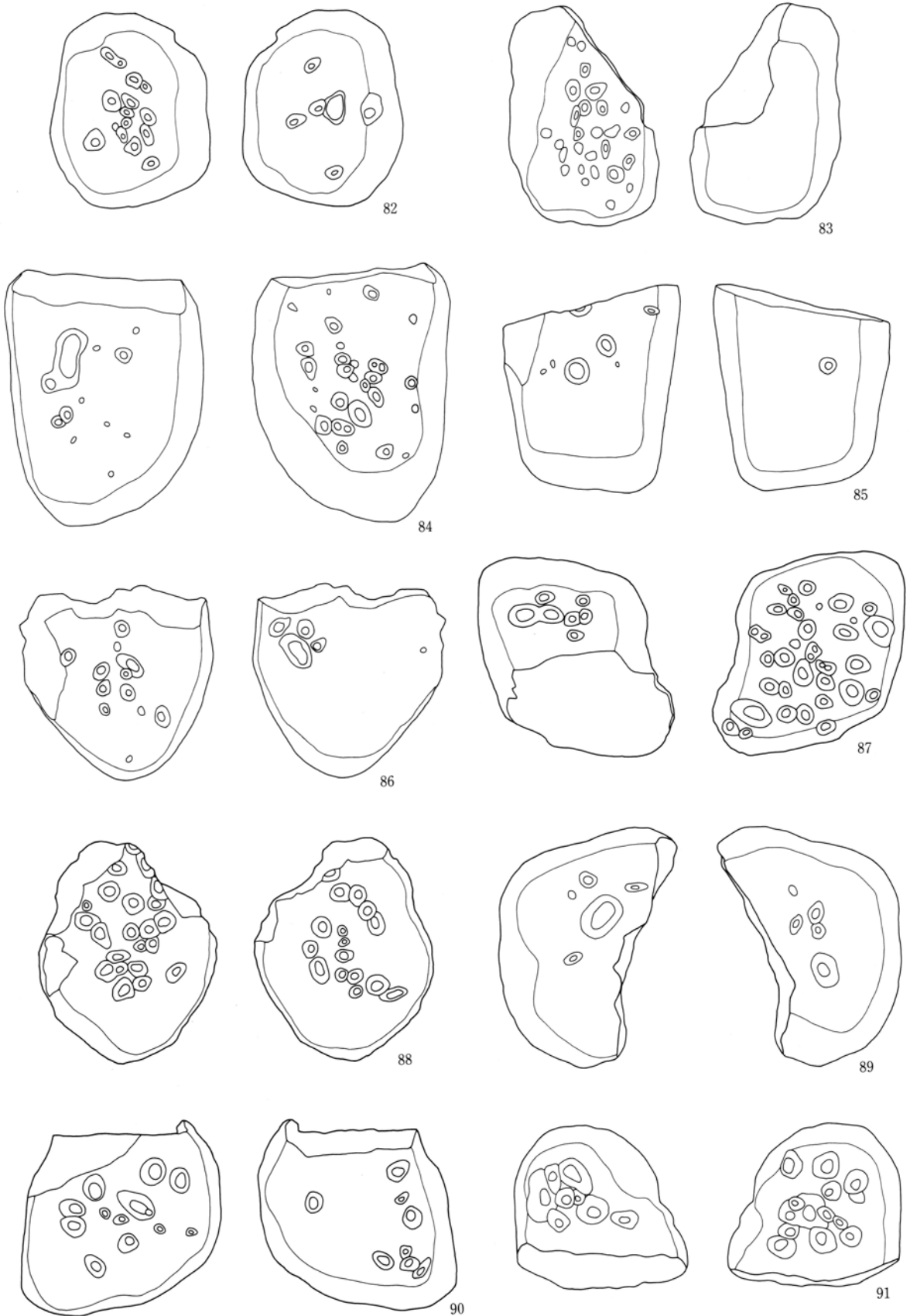
S = 1/6

第3章 検出された遺構と遺物



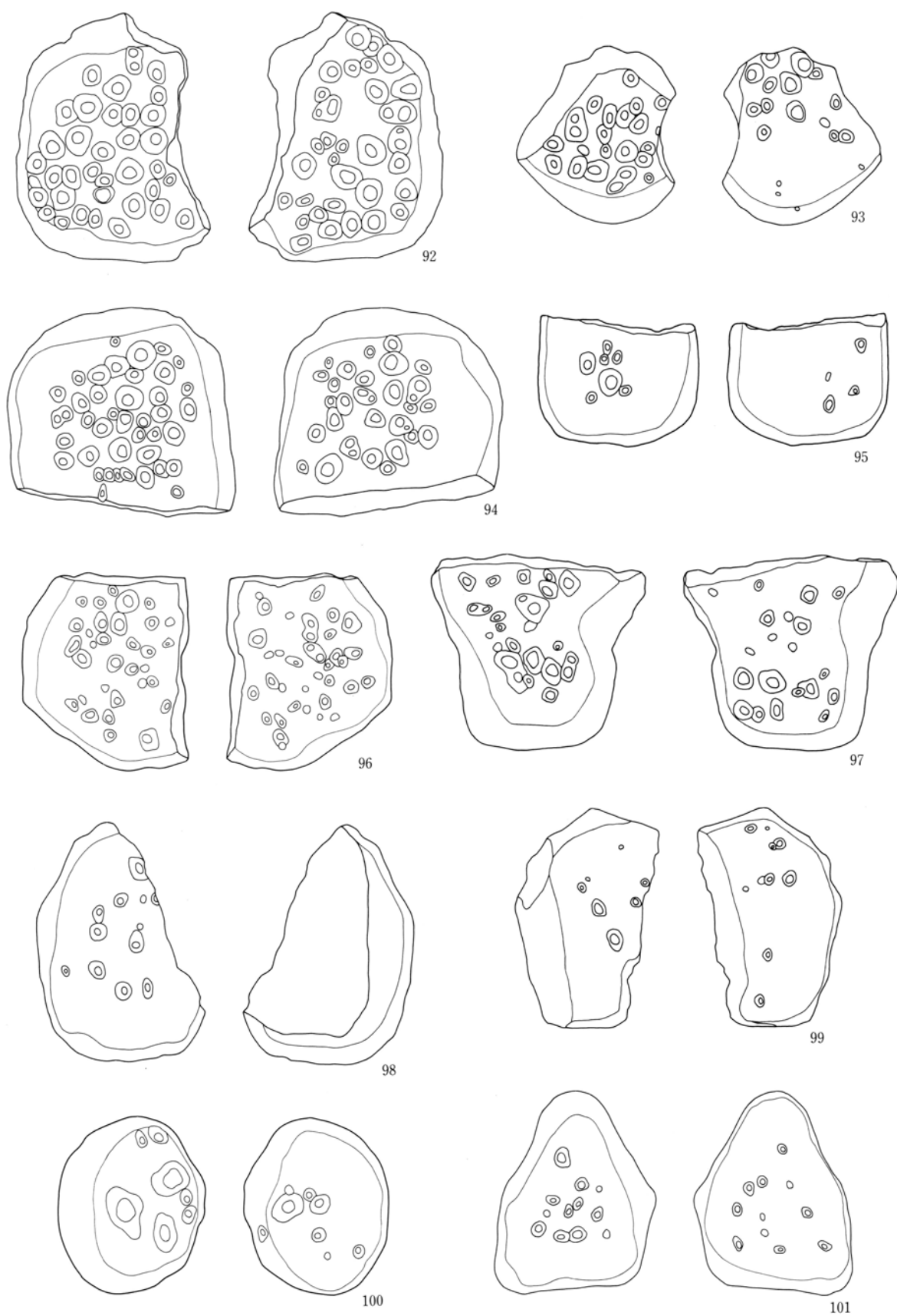
S=1/6

第387図 遺構外出土石器 多孔石 (14)



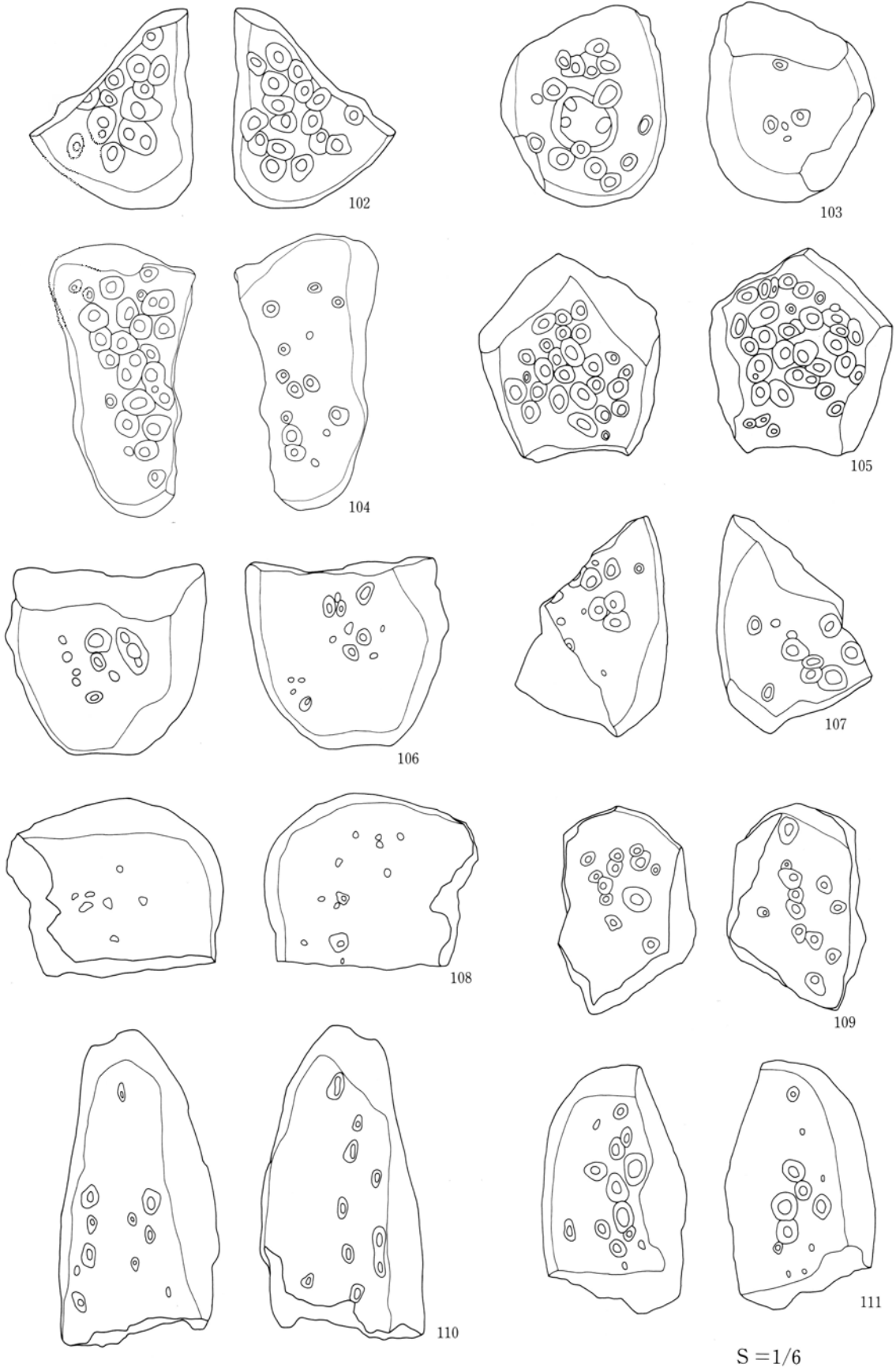
第388図 遺構外出土石器 多孔石 (15)

S=1/6

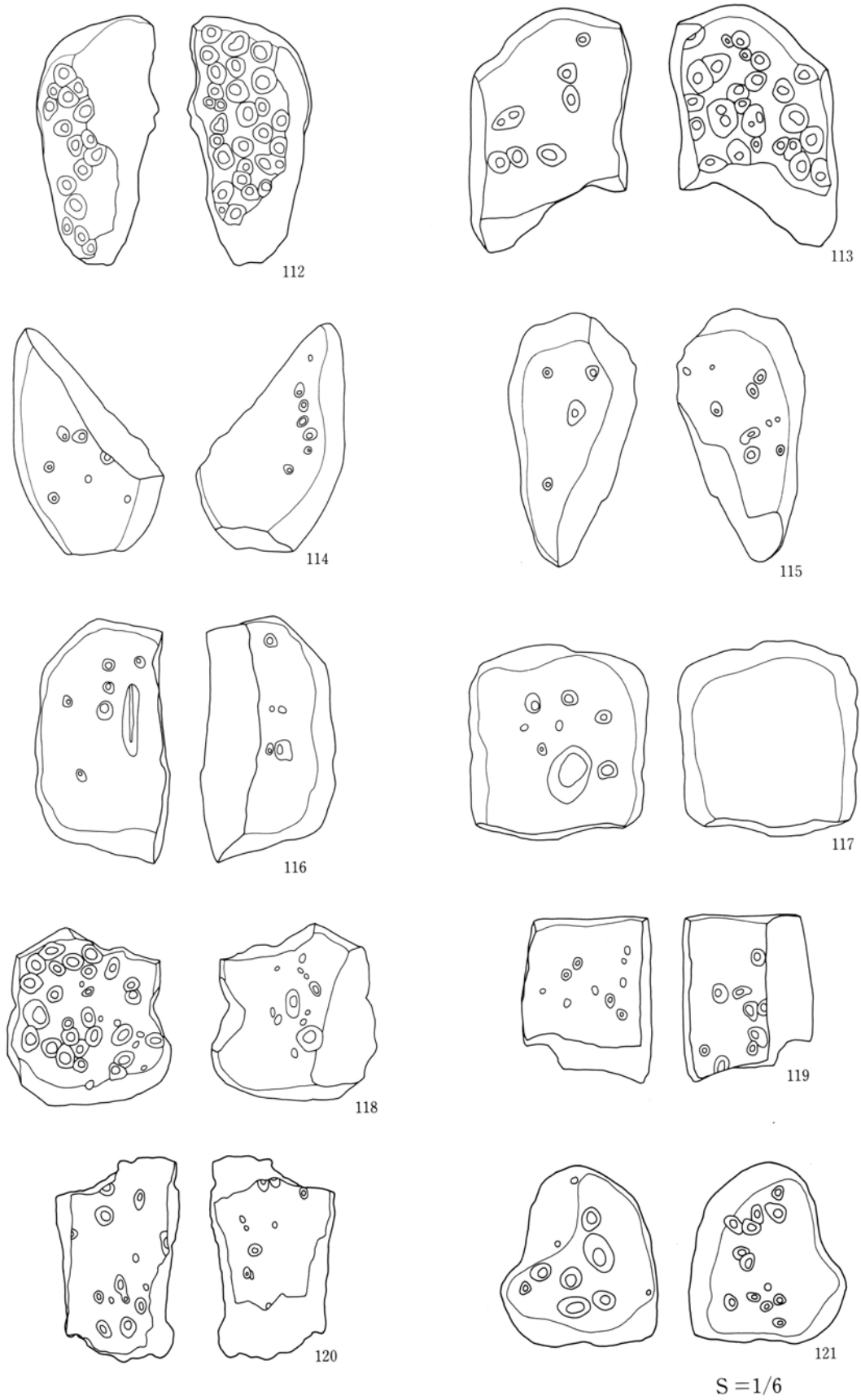


第389図 遺構外出土石器 多孔石 (16)

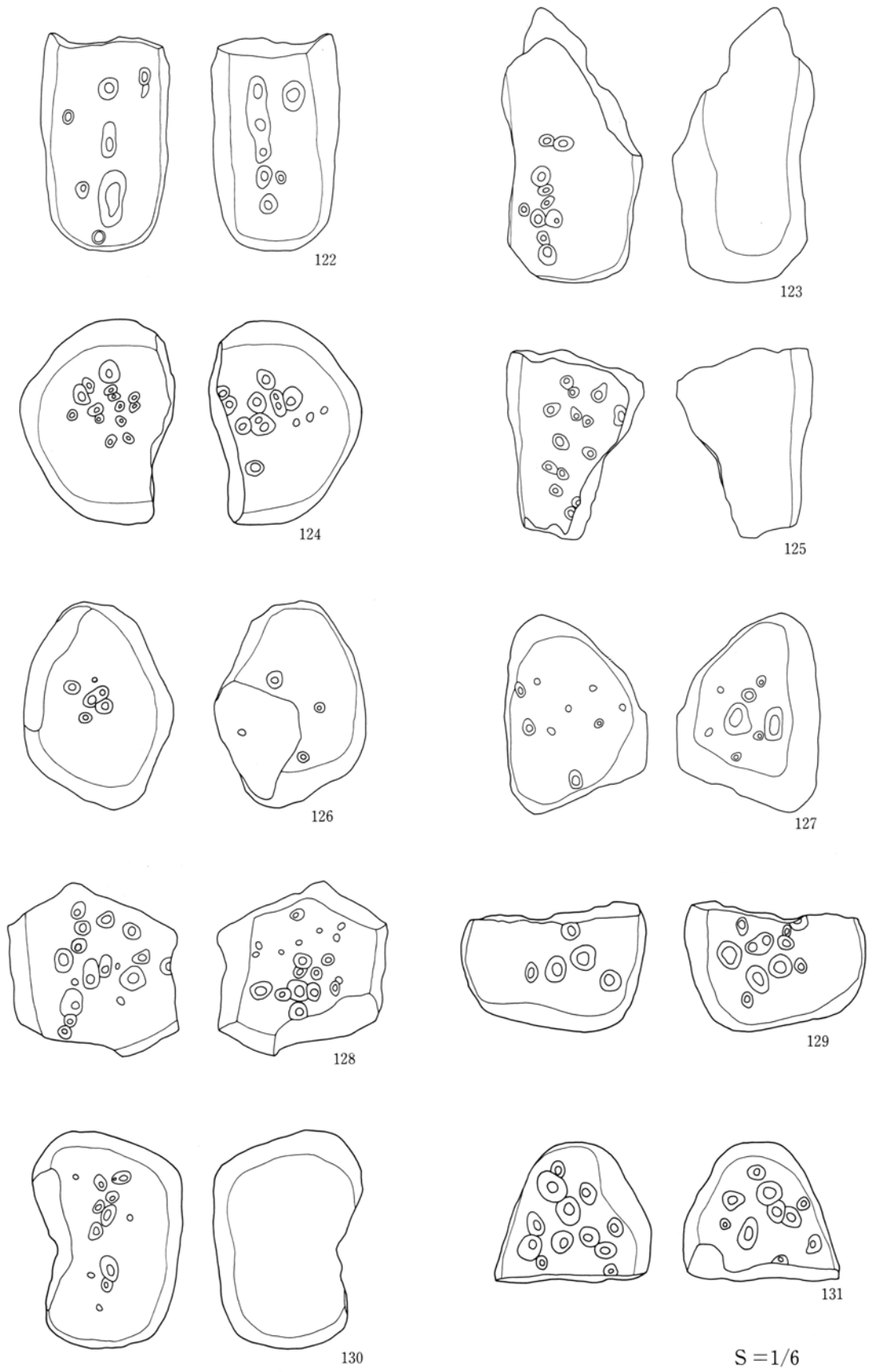
S=1/6



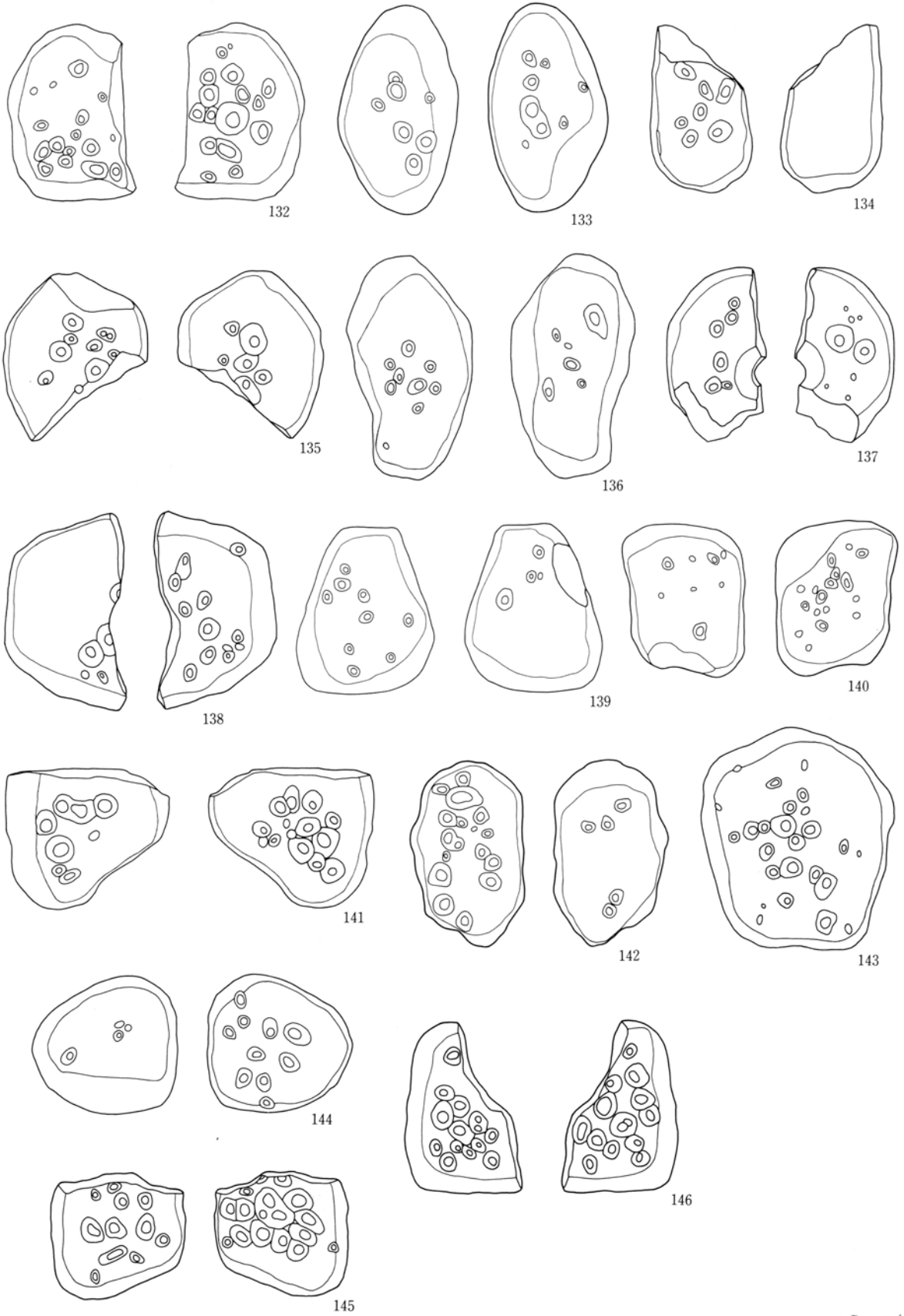
第390図 遺構外出土石器 多孔隙石 (17)



第391図 遺構外出土石器 多孔石 (18)



第392図 遺構外出土石器 多孔石 (19)



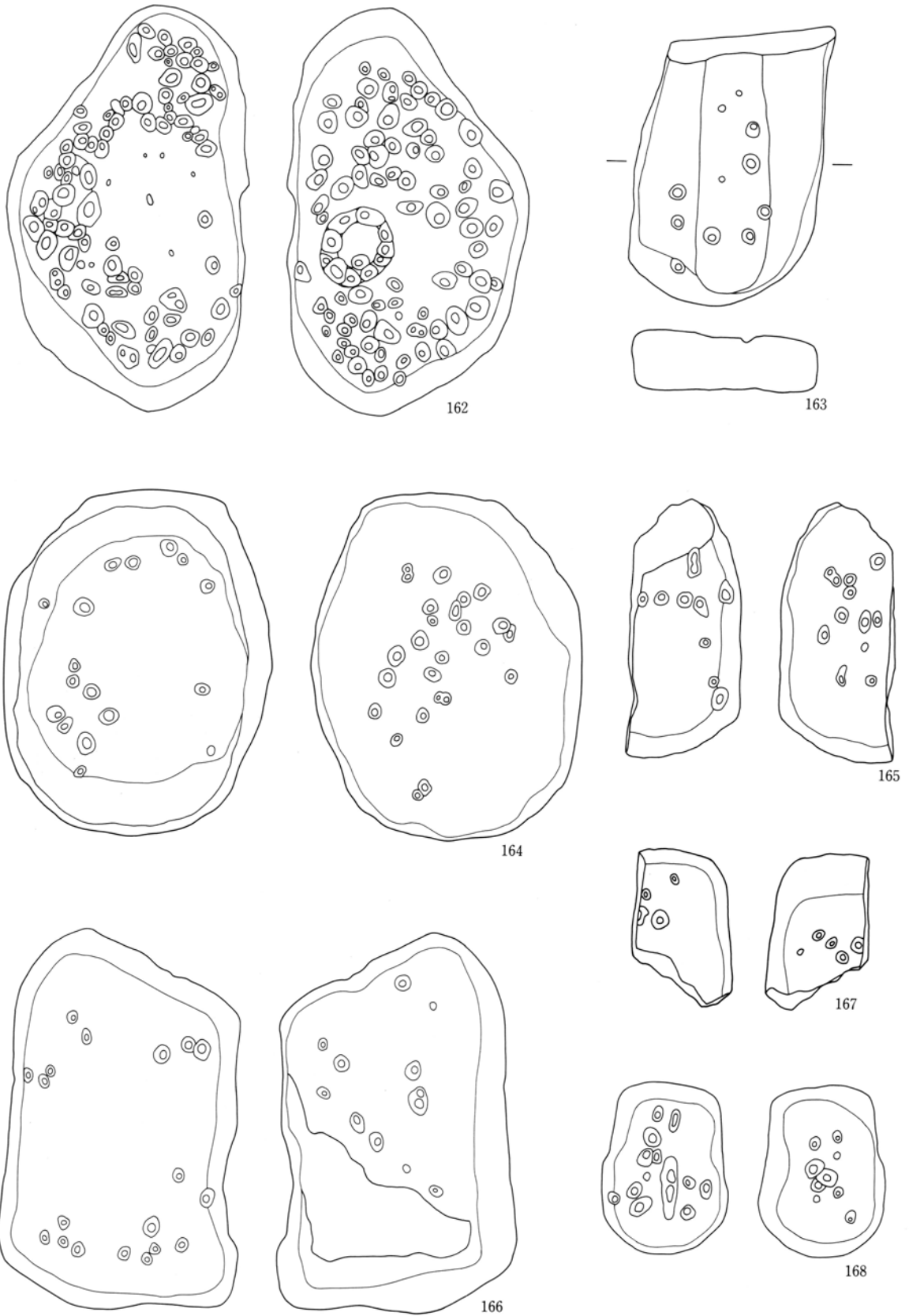
S = 1/6

第393図 遺構外出土石器 多孔石 (20)



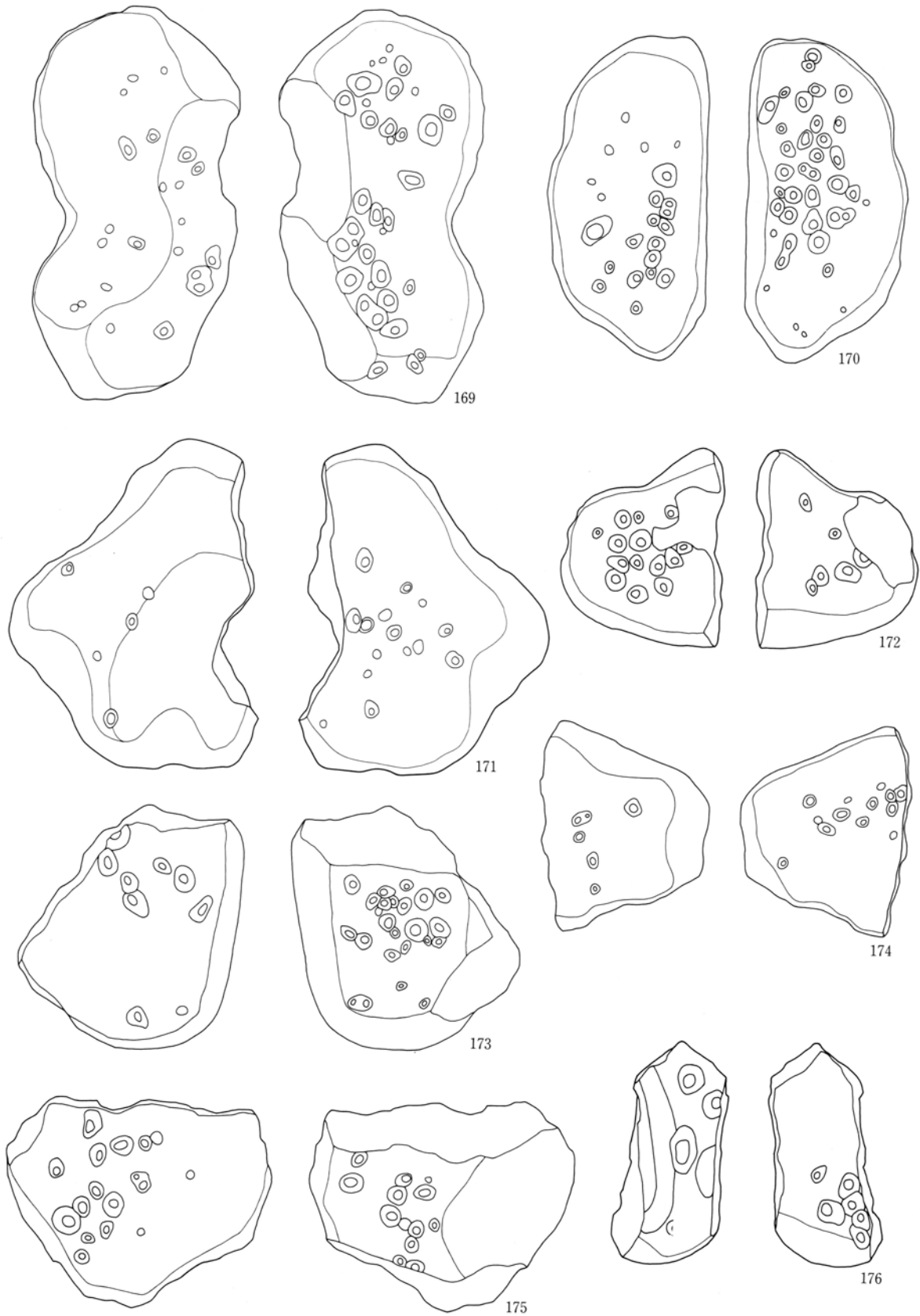
S = 1/6

第394図 遺構外出土石器 多孔石 (21)



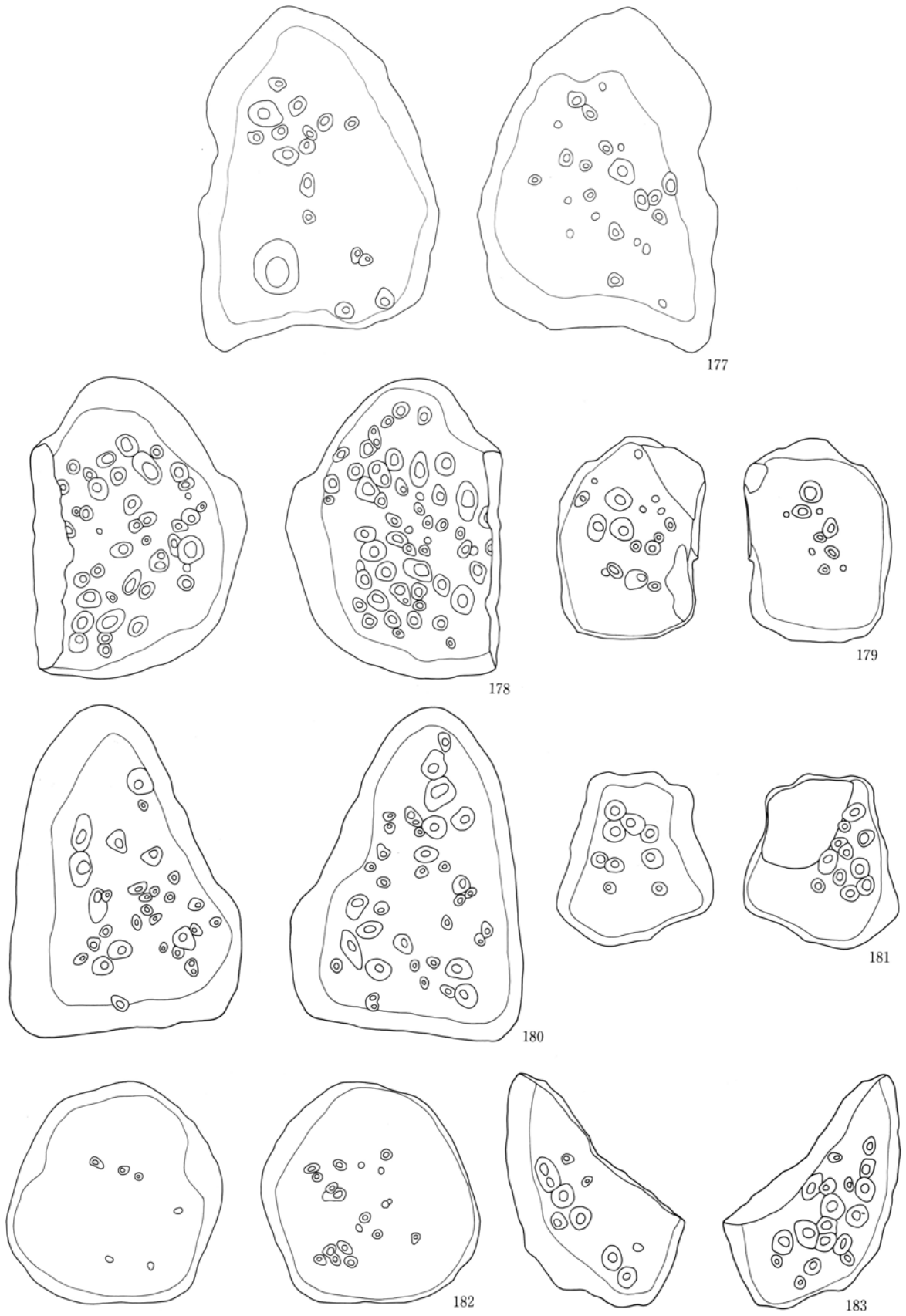
S=1/6

第395図 遺構外出土石器 多孔隙石 (22)



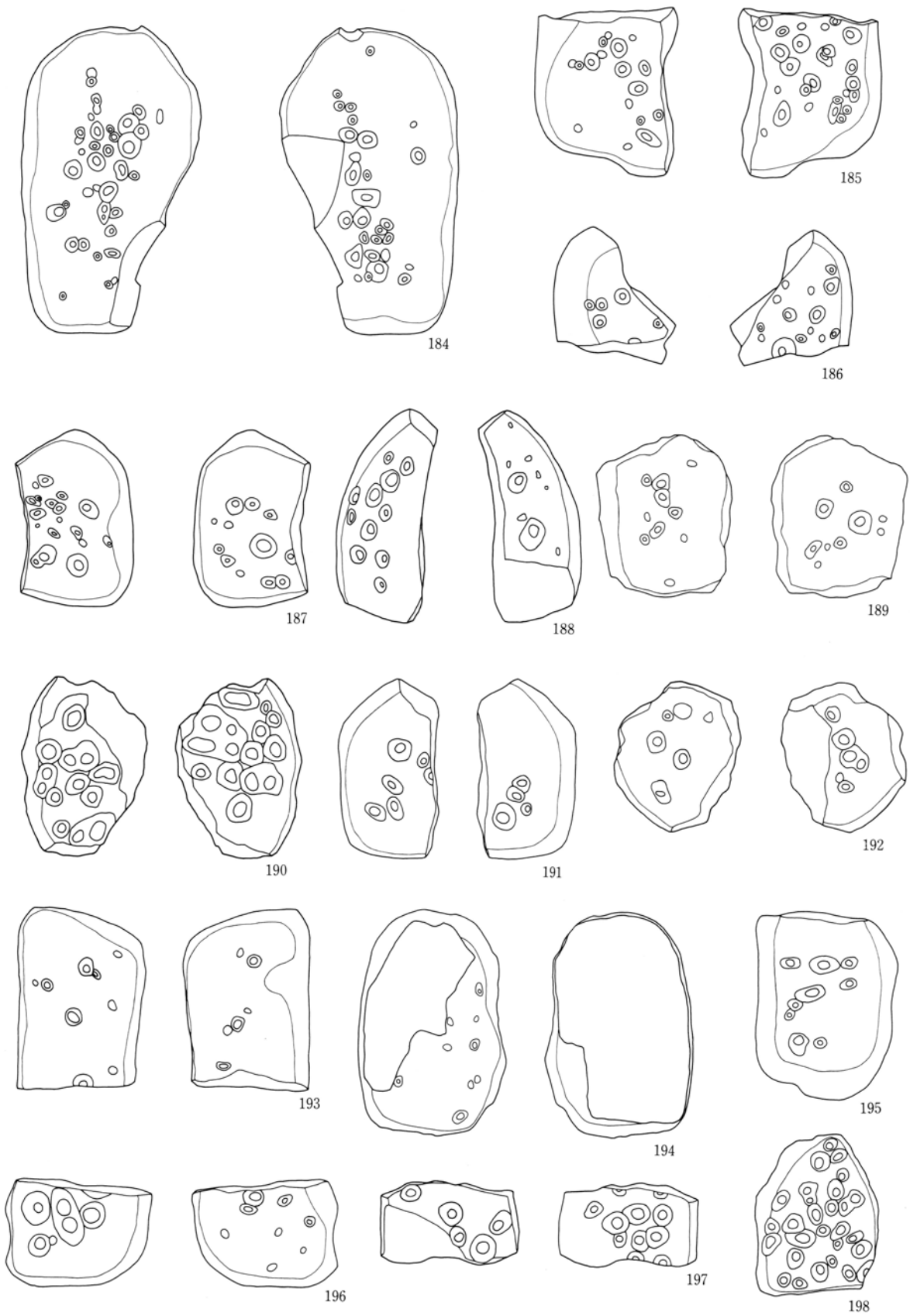
S = 1/6

第396図 遺構外出土石器 多孔石 (23)



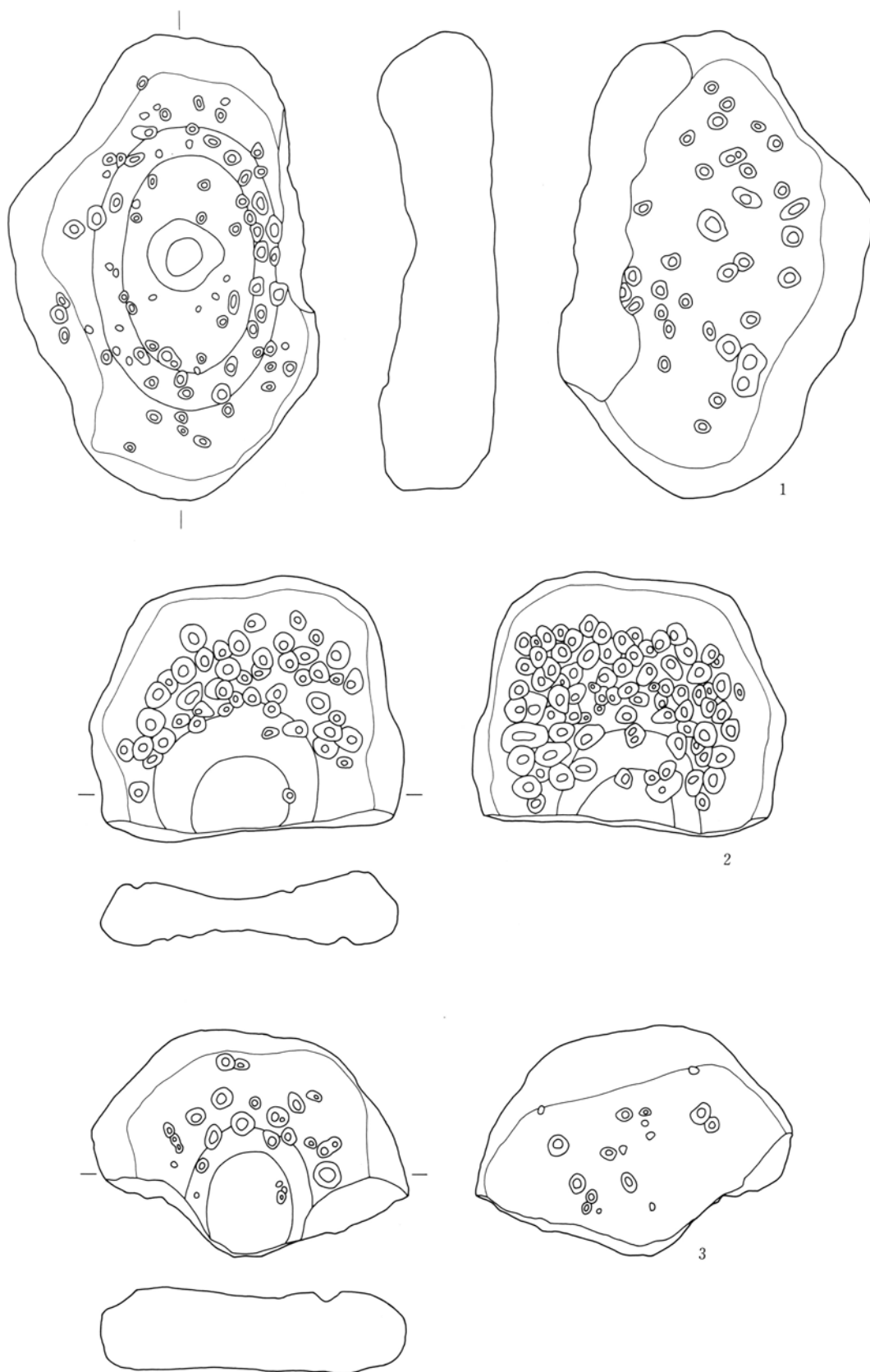
第397図 遺構外出土石器 多孔石 (24)

S = 1/6



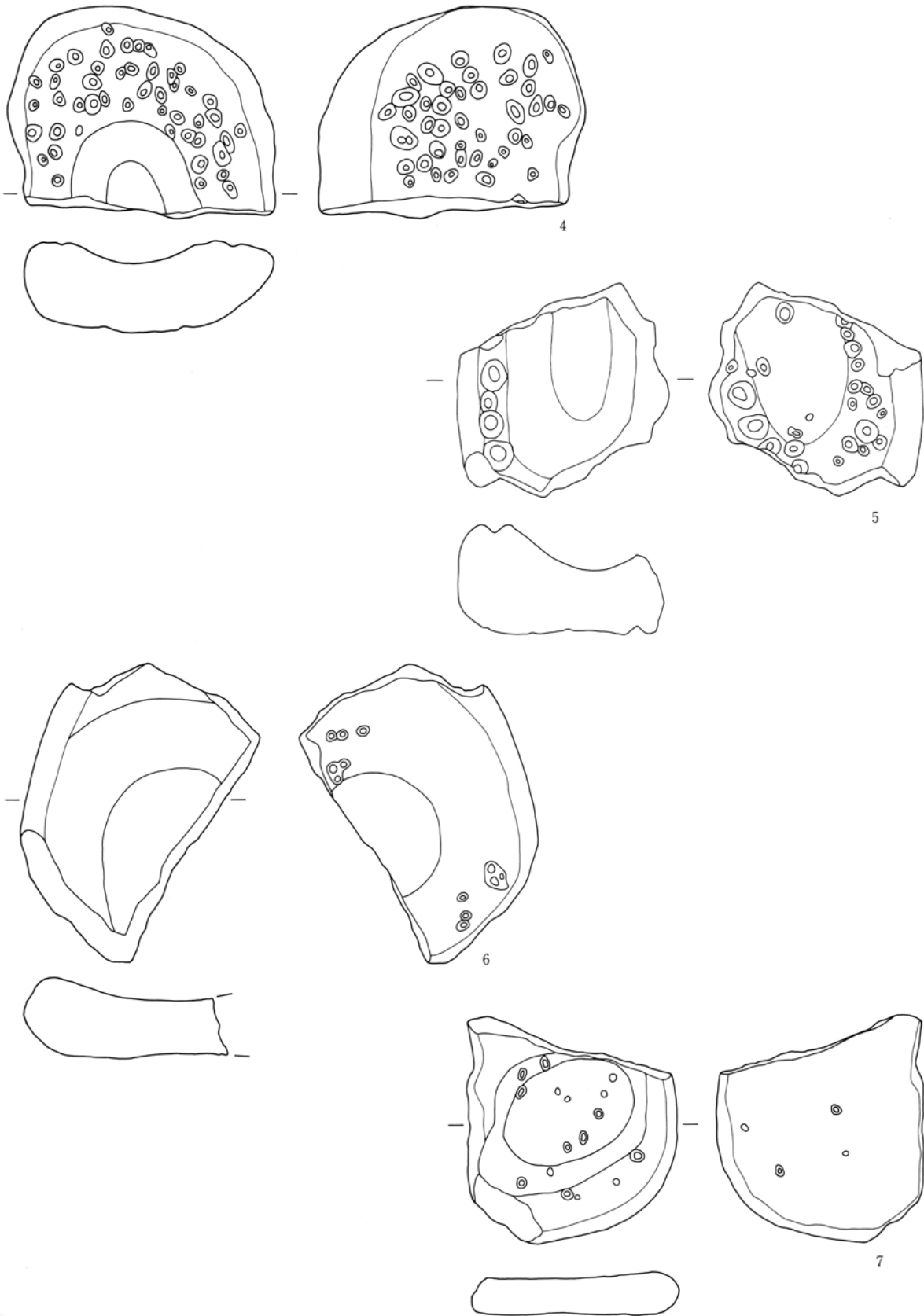
S = 1/6

第398図 遺構外出土石器 多孔石 (25)



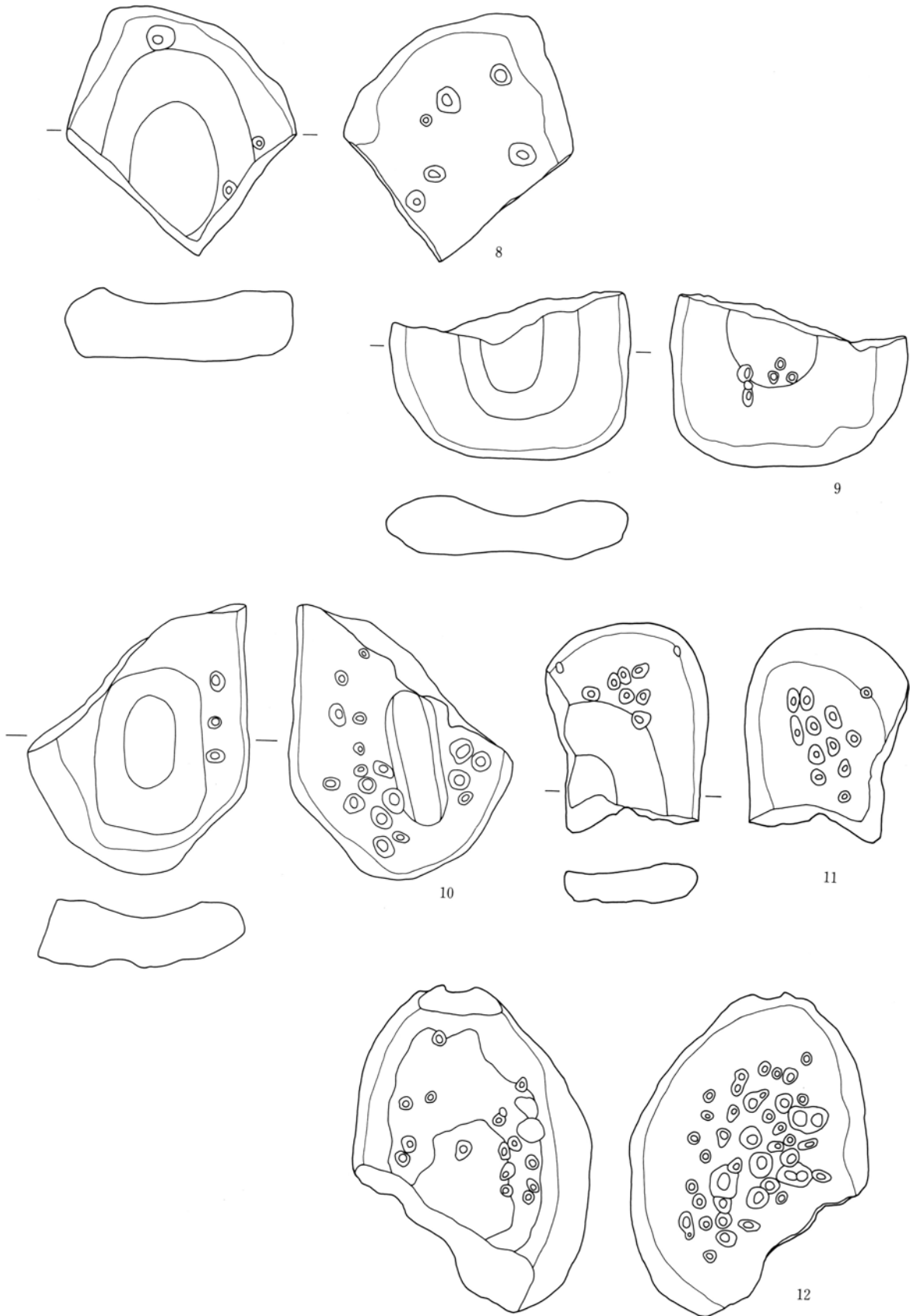
S=1/6

第399図 遺構外出土石器 石皿(1)



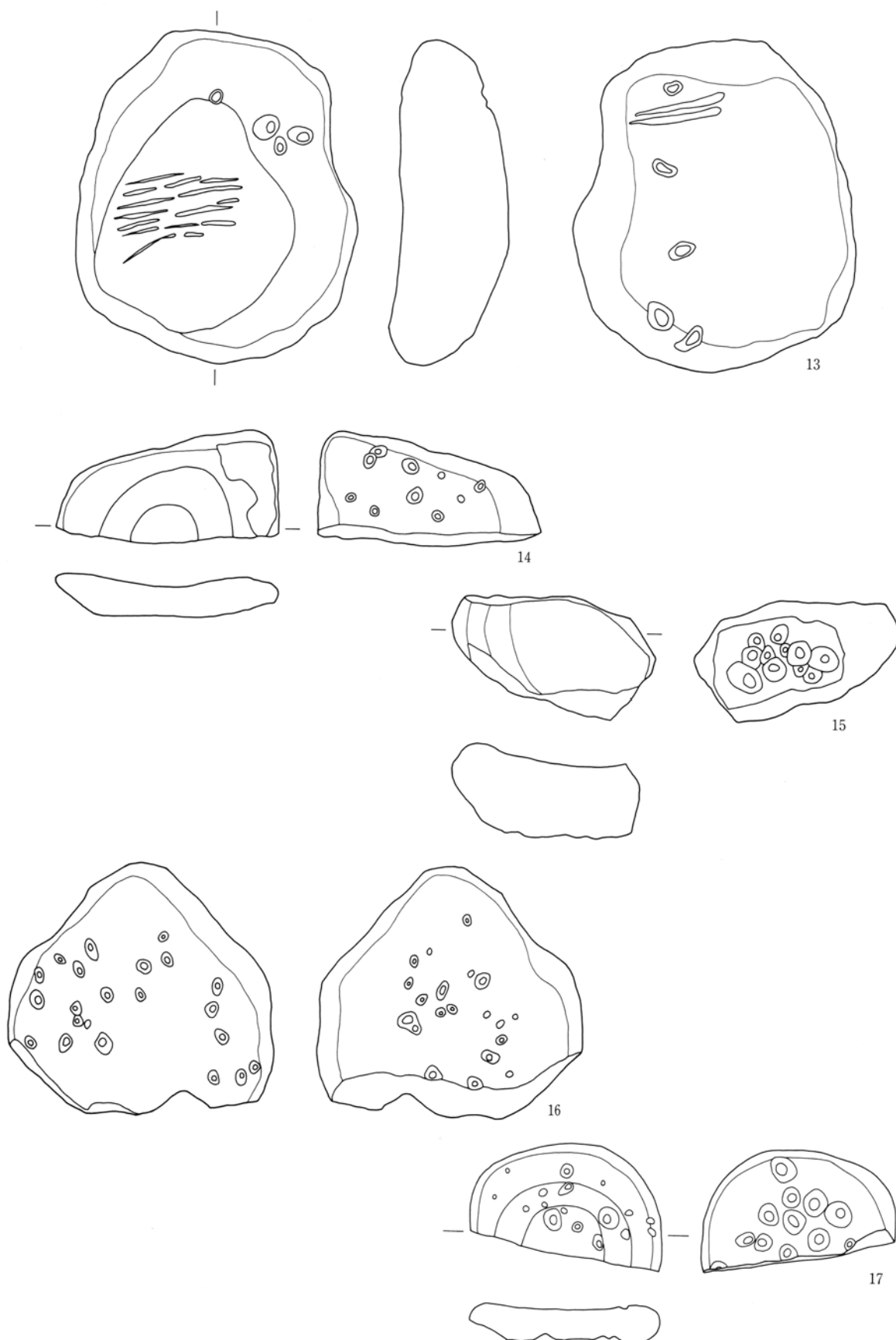
S=1/6

第400図 遺構外出土石器 石皿(2)



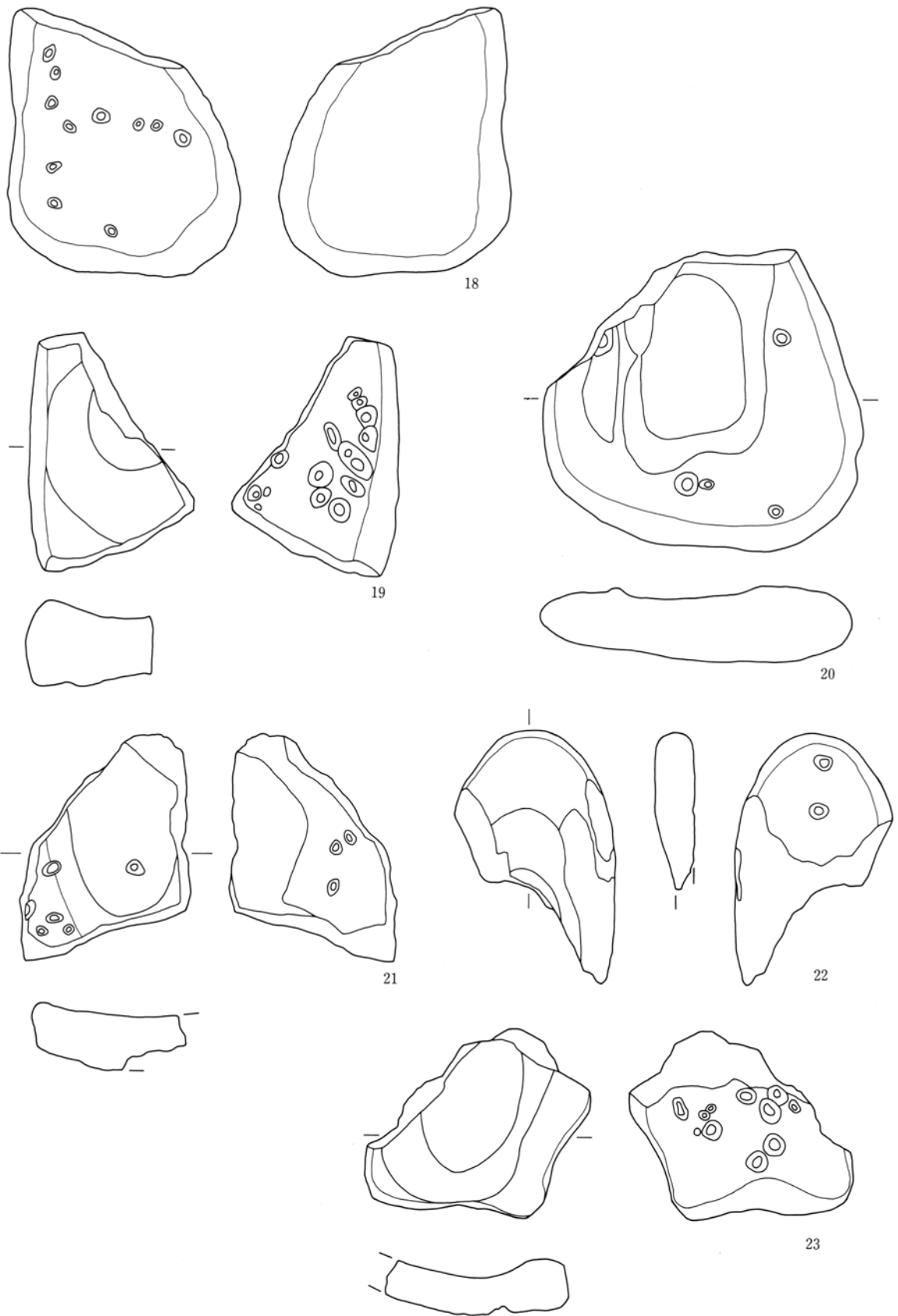
第401図 遺構外出土石器 石皿(3)

S=1/6



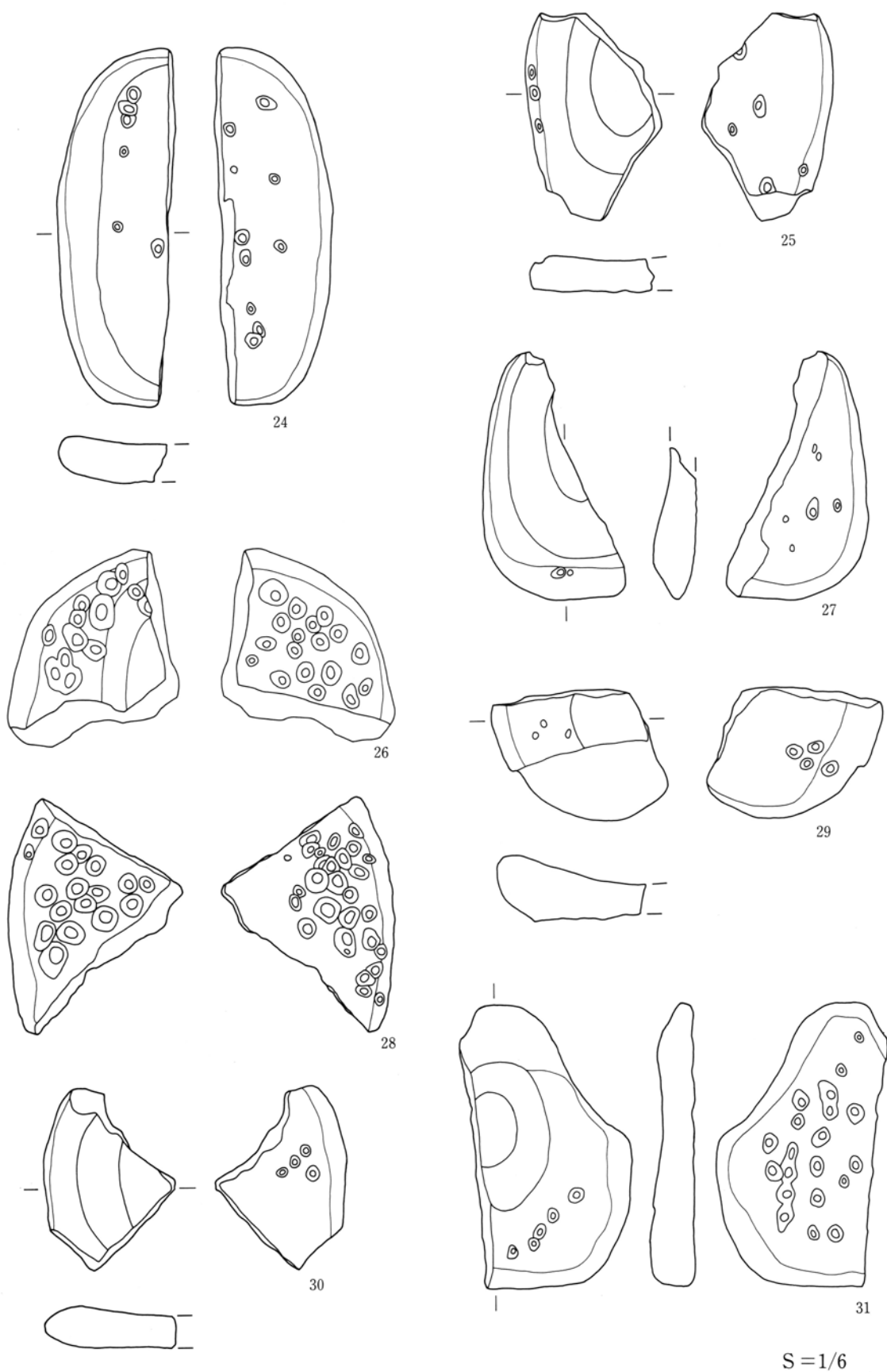
第402図 遺構外出土石器 石皿(4)

S=1/6



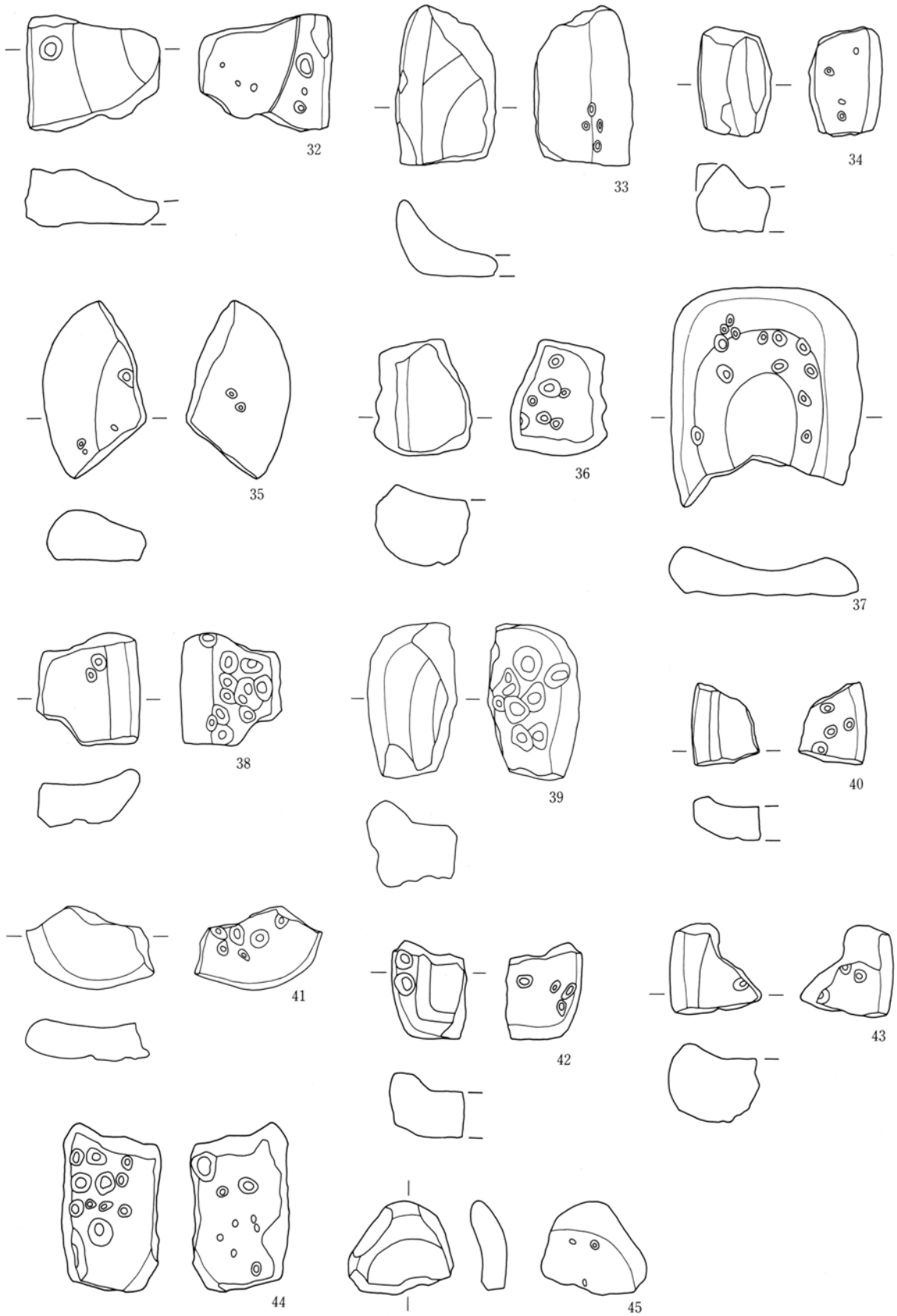
第403図 遺構外出土石器 石皿（5）

S=1/6



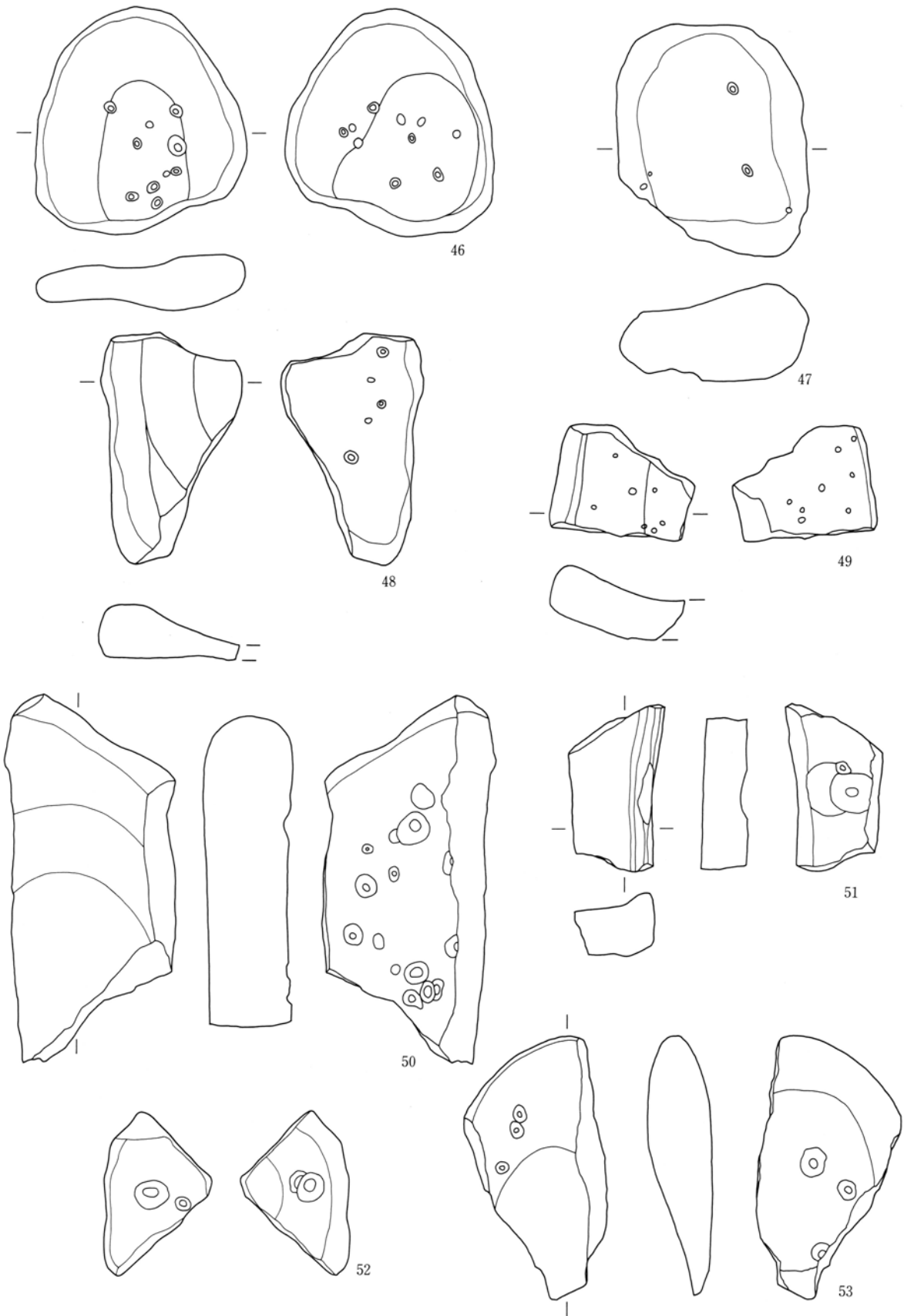
第404図 遺構外出土石器 石皿(6)

第3章 検出された遺構と遺物



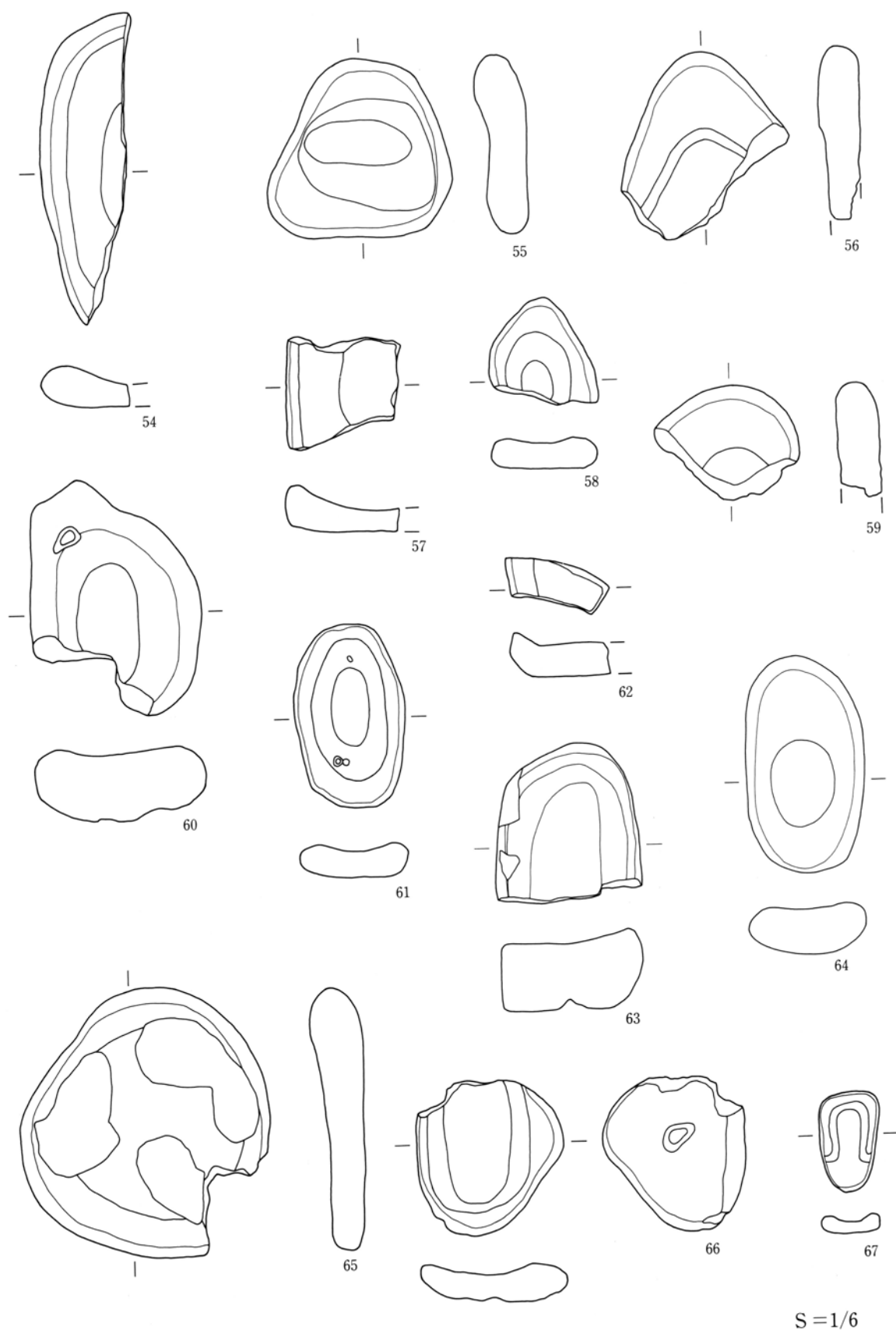
S=1/6

第405図 遺構外出土石器 石皿(7)

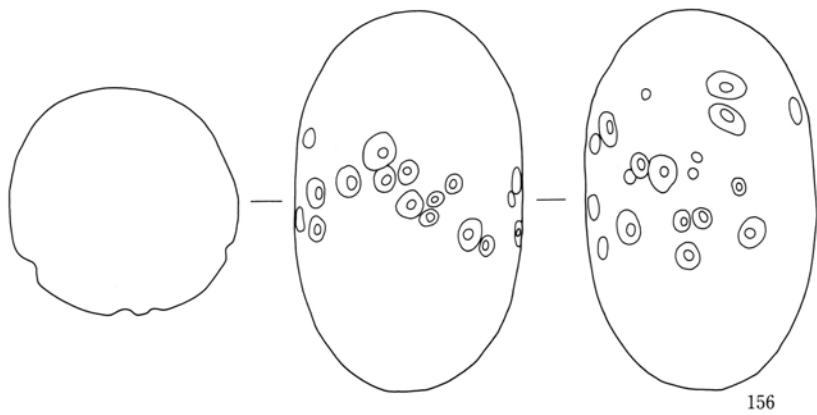
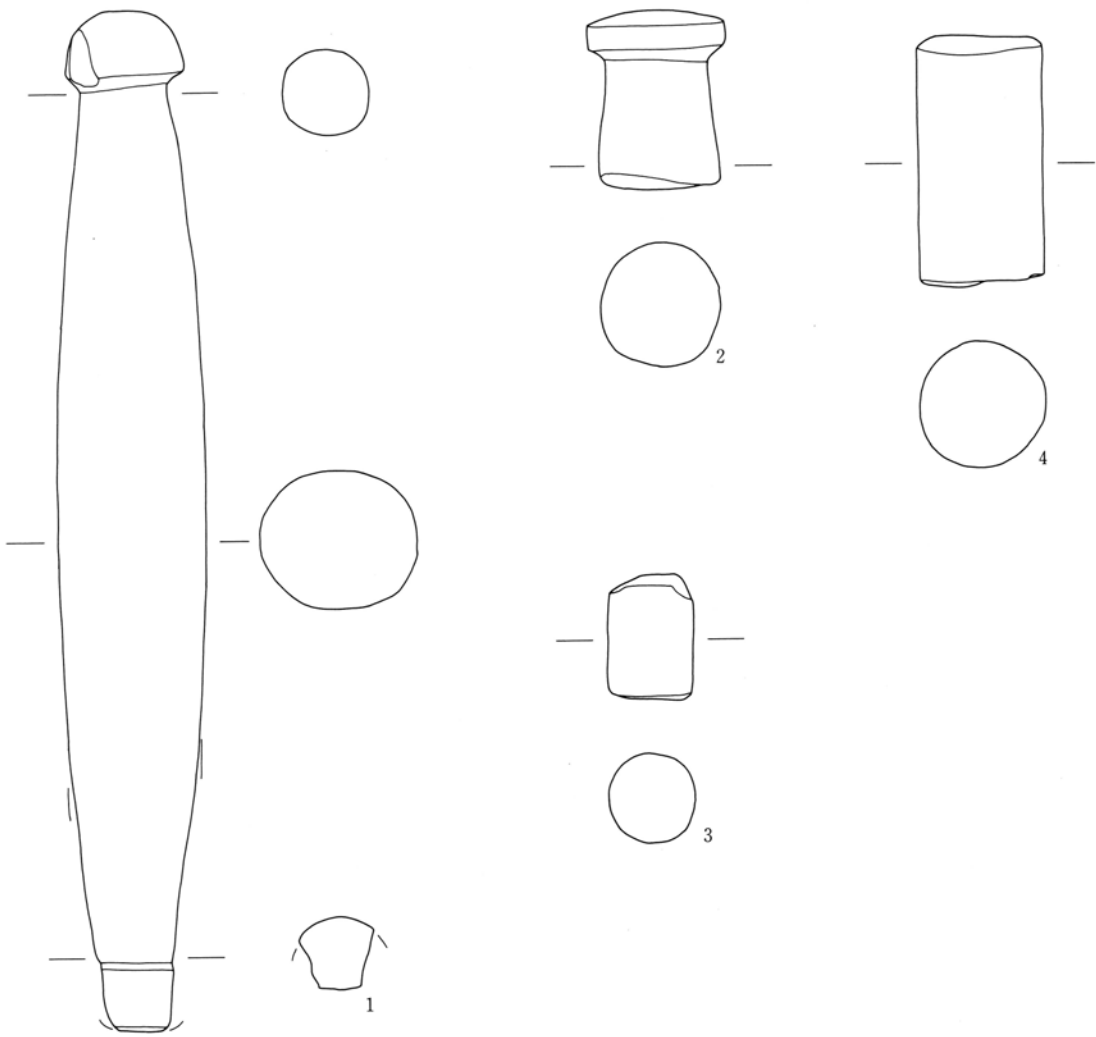


第406図 遺構外出土石器 石皿(8)

S=1/6



第407図 遺構外出土石器 石皿(9)



156

S=1/6

第408図 遺構外出土石器 石棒・磨石

第3章 検出された遺構と遺物

表35 遺構外出土石鏃計測表

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	E 区	黒曜石	2.0	1.5	0.3	0.7
2	C 区	黒曜石	1.7	1.4	0.4	0.5
3	C 区	黒曜石	1.4	1.4	0.4	0.6
4	C 区	黒曜石	1.7	1.2	0.4	0.6
5	C 区	黒曜石	1.7	1.5	0.3	0.7
6	B 区	黒曜石	1.6	1.6	0.3	0.6
7	C 区	黒曜石	1.5	1.6	0.3	0.3
8	C 区	黒曜石	1.4	1.5	0.3	0.5
9	A 区	黒曜石	1.7	1.4	0.3	0.5
10	C 区	黒曜石	1.2	1.4	0.3	0.3
11	C 区	黒曜石	1.5	1.4	0.3	0.4
12	C 区	黒曜石	1.3	1.6	0.3	0.5
13	C 区	黒曜石	2.0	1.8	0.4	0.8
14	C 区	黒曜石	1.9	2.3	0.5	1.5
15	C 区	黒曜石	1.5	1.5	0.4	0.6
16	C 区	黒曜石	2.1	1.8	0.3	0.5
17	C 区	黒色安山岩	1.5	1.8	0.3	0.7
18	C 区	黒曜石	1.5	1.8	0.4	0.8
19	C 区	黒曜石	1.9	1.6	0.3	0.8
20	C 区	黒曜石	1.5	1.8	0.3	0.4
21	C 区	黒曜石	1.4	1.2	0.3	0.2
22	C 区	チャート	1.5	1.4	0.4	0.7
23	C 区	黒曜石	1.7	1.4	0.3	0.6
24	C 区	黒曜石	1.3	1.1	0.3	0.2
25	C 区	黒曜石	1.1	1.5	0.3	0.2
26	C 区	黒曜石	1.2	1.1	0.3	0.3
27	C 区	黒曜石	1.5	1.1	0.3	0.2
28	C 区	黒曜石	1.5	1.2	0.3	0.3
29	C 区	黒曜石	1.3	1.3	0.4	0.7
30	C 区	黒曜石	1.6	1.0	0.3	0.4
31	C 区	黒曜石	1.9	1.8	0.4	1.1
32	C 区	黒曜石	2.2	1.7	0.5	1.1
33	C 区	黒曜石	2.2	1.5	0.3	0.6
34	B 区	黒曜石	2.2	1.9	0.4	0.9
35	C 区	チャート	1.8	1.3	0.4	0.7
36	C 区	チャート	2.2	1.5	0.4	1.2
37	C 区	黒曜石	2.5	1.8	0.5	1.0
38	C 区	黒曜石	1.9	1.3	0.4	0.7
39	C 区	チャート	2.3	2.0	0.4	1.0
40	C 区	チャート	2.1	1.5	0.4	0.7
41	C 区	チャート	2.2	1.0	0.4	0.7
42	B 区	黒曜石	2.1	0.9	0.2	0.3
43	C 区	チャート	2.0	1.4	0.4	0.6
44	D 区	黒曜石	1.9	1.7	0.4	1.2
45	C 区	黒曜石	2.5	1.5	0.4	1.2
46	B 区	黒曜石	2.2	1.9	0.5	1.2
47	C 区	黒曜石	1.2	1.6	0.3	0.4
48	C 区	黒曜石	1.8	1.2	0.4	0.7
49	C 区	チャート	2.1	1.1	0.3	0.5
50	C 区	黒曜石	1.9	1.2	0.5	0.6
51	A 区	黒曜石	1.1	0.8	0.2	0.2
52	C 区	黒曜石	1.0	1.2	0.3	0.2
53	C 区	チャート	1.5	1.7	0.5	1.2
54	C 区	黒曜石	1.1	1.3	0.3	0.3
55	C 区	チャート	3.2	2.2	0.5	2.6
56	C 区	チャート	3.0	1.7	0.4	2.0
57	C 区	黒曜石	3.9	1.7	0.4	1.4
58	C 区	黒曜石	2.3	1.6	0.3	0.8
59	C 区	チャート	2.3	1.8	0.5	1.3
60	H 区	チャート	2.2	1.6	0.4	1.2
61	A 区	黒曜石	1.9	1.7	0.6	1.1
62	B 区	黒曜石	1.9	1.5	0.4	0.9
63	E 区	黒曜石	1.9	1.5	0.5	1.2
64	E 区	黒曜石	1.6	1.5	0.4	0.8
65	H 区	黒曜石	2.2	2.0	0.3	0.7
66	C 区	黒曜石	1.7	1.7	0.4	0.9
67	C 区	黒曜石	1.6	1.3	0.3	0.5
68	C 区	チャート	1.5	1.7	0.5	1.0
69	C 区	黒曜石	1.3	1.4	0.4	0.6
70	C 区	黒曜石	1.5	1.0	0.2	0.3
71	C 区	黒曜石	1.4	1.3	0.3	0.4
72	A 区	黒曜石	1.5	1.5	0.5	0.8
73	C 区	黒曜石	1.8	1.2	0.4	0.6
74	C 区	黒曜石	2.1	1.6	0.7	1.7
75	B 区	チャート	2.8	2.1	0.8	3.9
76	C 区	チャート	2.7	1.4	0.3	0.8
77	C 区	黒曜石	2.2	1.7	0.5	1.2
78	C 区	黒曜石	1.8	1.2	0.4	0.7
79	C 区	黒曜石	1.7	1.2	0.4	0.5
80	C 区	黒曜石	1.9	1.8	0.4	0.9
81	C 区	黒曜石	1.8	1.1	0.4	0.7
82	C 区	黒曜石	2.2	1.4	0.4	0.8
83	C 区	黒曜石	1.8	1.3	0.3	0.7
84	C 区	黒曜石	1.9	1.4	0.3	0.7
85	C 区	チャート	1.7	1.9	0.5	1.6
86	C 区	チャート	2.1	2.0	0.5	1.5
87	C 区	黒色安山岩	2.1	1.6	0.5	1.6
88	A 区	チャート	1.7	1.4	0.2	0.4
89	C 区	黒曜石	1.5	1.3	0.4	0.5
90	C 区	黒曜石	2.6	1.7	0.5	1.4
91	H 区	チャート	2.1	1.4	0.3	0.8
92	C 区	黒曜石	1.6	1.1	0.3	0.3
93	C 区	黒曜石	2.0	1.6	0.5	1.0
94	C 区	黒曜石	1.1	1.4	0.3	0.3
95	C 区	黒曜石	1.6	0.8	0.3	0.3
96	C 区	黒曜石	2.1	2.6	0.6	3.0
97	C 区	チャート	2.7	2.3	0.6	3.3
98	C 区	チャート	2.5	2.4	0.7	4.0
99	C 区	黒曜石	1.8	2.2	0.4	1.5
100	C 区	黒曜石	1.9	1.5	0.4	0.6
101	C 区	黒曜石	1.5	2.0	0.5	1.3
102	C 区	黒曜石	1.9	1.7	0.5	1.2
103	C 区	黒曜石	1.8	2.2	0.5	1.7
104	C 区	黒曜石	1.5	1.9	0.3	0.9
105	C 区	黒曜石	1.8	1.7	0.3	1.3
106	C 区	黒曜石	2.5	1.8	0.4	1.3
107	A 区	チャート	2.7	1.7	0.6	2.9
108	C 区	黒曜石	2.4	2.0	0.6	1.9
109	C 区	黒曜石	1.6	1.8	0.4	0.7
110	C 区	黒曜石	1.5	1.3	0.5	0.9
111	C 区	黒曜石	1.4	1.0	0.2	0.3
112	C 区	黒曜石	1.3	1.3	0.5	0.5

第2節 縄文時代の遺構と遺物

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
113	C 区	黒曜石	1.7	1.3	0.4	0.6
114	C 区	黒曜石	1.3	1.0	0.3	0.4
115	C 区	黒曜石	1.0	1.0	0.2	0.1
116	C 区	黒曜石	1.5	1.3	0.4	0.4
117	C 区	黒曜石	1.7	0.8	0.3	0.3
118	C 区	黒曜石	1.5	1.8	0.6	1.2
119	C 区	黒曜石	1.6	1.1	0.3	0.3
120	C 区	黒曜石	1.8	1.1	0.4	0.3
121	C 区	黒曜石	1.5	1.2	0.4	0.5
122	C 区	チャート	1.4	1.8	0.4	1.1
123	C 区	黒曜石	1.7	1.9	0.4	1.0
124	C 区	黒曜石	1.3	1.8	0.4	0.7
125	C 区	黒曜石	1.7	2.2	0.5	1.2
126	C 区	黒曜石	1.8	1.4	0.4	1.1
127	C 区	黒曜石	1.7	1.1	0.3	0.5
128	C 区	黒曜石	1.4	0.9	0.3	0.3
129	C 区	黒曜石	2.0	2.0	0.9	3.3
130	C 区	チャート	2.4	1.8	0.7	2.8
131	C 区	黒曜石	2.5	1.8	0.6	2.6
132	A 区	チャート	2.3	1.9	0.5	2.1

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
133	C 区	黒曜石	2.1	1.9	0.5	1.9
134	C 区	黒曜石	2.2	1.6	0.2	0.8
135	A 区	黒曜石	2.2	1.1	0.3	0.6
136	C 区	黒曜石	1.7	1.5	0.3	0.8
137	C 区	黒曜石	1.6	1.6	0.5	1.0
138	C 区	黒曜石	1.3	1.1	0.4	0.4
139	C 区	黒曜石	1.2	1.5	0.5	0.9
140	38 住	黒曜石	3.3	2.1	0.5	2.0
141	39 住	チャート	2.0	1.9	0.4	1.4
142	19 住	黒曜石	1.8	1.4	0.6	1.5
143	11 住	黒曜石	2.2	1.9	0.7	2.3
144	63 住	黒曜石	3.0	2.2	0.9	3.9
145	C 区	黒曜石	1.3	1.6	0.3	0.7
146	C 区	黒曜石	1.2	1.7	0.3	0.4
147	14 住	黒曜石	1.3	1.4	0.4	0.6
148	E 区	チャート	1.8	1.4	0.4	0.6
149	E 区	黒曜石	2.4	1.9	0.4	0.9
150	C 区	黒曜石	2.0	1.3	0.4	0.7
151	A 区	黒曜石	2.5	2.1	0.9	3.2
152	C 区	黒曜石	1.6	1.1	0.3	0.4

表36 遺構外出土石錐計測表

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	C 区	チャート	2.7	1.9	0.7	2.2
2	C 区	黒曜石	2.3	1.2	0.6	1.0
3	C 区	珪質頁岩	2.7	2.1	0.4	2.1
4	C 区	黒曜石	3.6	1.2	0.7	2.8
5	C 区	黒曜石	2.5	1.2	0.5	0.8
6	C 区	チャート	3.6	2.6	0.8	2.7
7	C 区	黒曜石	2.2	1.2	0.4	1.4
8	C 区	黒曜石	2.1	1.2	0.6	1.1
9	B 区	黒曜石	2.1	1.2	0.6	1.1

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
10	C 区	黒曜石	2.4	1.1	0.4	1.0
11	A 区	黒曜石	1.9	0.9	0.5	0.9
12	C 区	黒曜石	2.3	0.8	0.5	0.7
13	C 区	黒曜石	2.2	0.9	0.4	0.6
14	C 区	黒曜石	3.1	1.1	0.7	1.3
15	C 区	黒曜石	2.9	0.9	0.4	1.8
16	C 区	黒曜石	2.9	1.0	0.4	1.0
17	C 区	黒曜石	2.0	0.9	0.5	1.0
18	C 区	黒曜石	4.1	1.2	0.6	3.2

表37 遺構外出土石匙計測表

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	C 区	黒色頁岩	10.1	3.5	1.2	43.1
2	C 区	珪質粘板岩	7.4	2.8	0.6	10.6
3	C 区	硬質泥岩	5.7	5.7	1.3	36.2
4	C 区	黒曜石	2.5	2.4	1.1	3.4
5	C 区	チャート	4.2	2.4	0.6	6.2
6	C 区	硬質泥岩	9.2	5.8	1.2	54.4
7	C 区	黒色安山岩	2.2	2.4	0.5	2.1

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
8	C 区	黒曜石	2.5	1.4	0.6	1.7
9	C 区	チャート	2.3	4.2	0.7	4.0
10	C 区	チャート	2.4	4.5	1.1	9.3
11	H 区	黒曜石	2.8	2.8	0.6	3.0
12	C 区	珪質頁岩	2.6	4.4	0.7	6.1
13	C 区	黒色頁岩	4.6	8.0	1.0	23.4
14	C 区	細輝安山岩	5.9	8.0	1.0	40.1

第3章 検出された遺構と遺物

表38 遺構外出土スクレイパー計測表

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	C 区	黒曜石	2.2	0.8	0.3	0.4
2	C 区	黒曜石	2.2	1.0	0.4	0.7
3	C 区	黒曜石	2.2	1.1	0.5	0.8
4	C 区	黒曜石	2.6	1.4	0.6	1.7
5	C 区	黒曜石	2.6	1.1	0.6	0.9
6	C 区	黒曜石	3.0	1.3	0.5	1.4
7	C 区	黒曜石	3.3	1.5	0.8	2.5
8	C 区	黒曜石	3.0	1.1	0.6	1.3
9	C 区	黒曜石	3.5	1.0	0.4	1.4
10	C 区	黒曜石	3.5	1.2	0.4	1.6
11	B 区	黒曜石	3.1	1.4	0.5	1.4
12	C 区	黒曜石	2.8	1.0	0.4	1.3
13	C 区	黒曜石	3.2	2.0	0.9	4.4
14	C 区	黒曜石	3.5	1.6	0.9	1.9
15	C 区	黒曜石	3.2	1.5	0.7	3.3
16	C 区	黒曜石	2.8	1.5	0.7	2.1
17	C 区	黒曜石	2.6	1.5	0.4	1.5
18	C 区	黒曜石	2.8	1.9	0.5	2.0
19	C 区	黒曜石	3.2	1.5	0.8	2.2
20	C 区	黒曜石	2.4	1.3	0.6	1.5
21	C 区	黒曜石	2.9	1.8	0.4	1.3
22	C 区	黒曜石	2.2	1.4	0.3	0.8
23	C 区	黒曜石	2.0	1.3	0.4	0.9
24	C 区	黒曜石	2.2	1.9	0.5	1.9
25	C 区	黒曜石	1.8	1.3	0.4	1.0
26	C 区	黒曜石	1.7	1.7	0.3	0.6
27	C 区	黒曜石	2.2	1.7	0.6	2.0
28	C 区	黒曜石	2.5	1.2	0.4	1.3
29	C 区	黒曜石	1.9	1.4	0.4	0.7
30	C 区	黒曜石	2.5	1.5	0.9	2.0
31	C 区	黒曜石	2.0	2.1	0.6	2.1
32	C 区	黒曜石	2.6	0.8	2.1	2.2
33	C 区	黒曜石	2.4	1.7	0.9	3.0
34	C 区	チャート	2.1	1.4	1.0	2.0
35	A 区	黒曜石	2.3	2.4	0.8	3.6
36	C 区	硬質泥岩	9.3	6.0	1.1	54.6
37	A 区	硬質泥岩	8.1	4.2	1.1	42.3
38	C 区	珩質頁岩	8.0	4.3	1.0	33.7
39	26 住	細輝安山岩	7.8	3.7	1.8	64.3
40	C 区	珩質粘板岩	11.3	4.1	1.1	55.5
41	C 区	硬質泥岩	8.9	5.1	1.1	53.6
42	3 古墳	珩質頁岩	7.2	5.2	1.4	64.7
43	26 住	細輝安山岩	7.8	4.7	1.1	49.7
44	6 堀	硬質泥岩	5.4	8.2	1.5	56.7

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
45	26 住	硬質泥岩	4.4	7.8	1.1	27.7
46	A 区	珩質頁岩	5.8	9.3	0.9	51.2
47	C 区	硬質泥岩	7.6	10.9	2.0	198.8
48	B 区	硬質泥岩	8.5	10.4	1.9	166.1
49	C 区	黒曜石	2.0	1.5	0.7	2.0
50	C 区	黒曜石	2.1	1.5	0.5	1.2
51	C 区	チャート	2.9	2.5	1.0	8.0
52	C 区	チャート	3.4	2.3	1.0	6.4
53	C 区	黒曜石	3.5	2.1	1.3	5.2
54	C 区	チャート	4.3	3.8	1.4	24.7
55	C 区	黒曜石	1.9	2.1	0.4	2.3
56	C 区	チャート	2.4	2.3	0.8	4.0
57	C 区	チャート	4.8	3.2	1.5	1.9
58	C 区	チャート	3.5	3.2	0.6	7.3
59	A 区	チャート	3.8	3.6	1.1	10.7
60	C 区	黒曜石	3.4	1.7	0.5	1.4
61	C 区	黒曜石	2.3	1.3	0.3	0.9
62	C 区	黒曜石	2.3	1.9	0.5	1.4
63	C 区	黒曜石	1.8	1.7	0.7	1.5
64	B 区	黒曜石	2.9	1.5	0.8	3.9
65	B 区	黒曜石	2.2	1.6	0.7	2.2
66	C 区	黒曜石	2.8	2.4	0.9	1.8
67	C 区	黒曜石	2.3	2.3	0.5	1.6
68	C 区	黒曜石	2.3	2.0	0.6	2.2
69	C 区	黒曜石	1.9	1.0	0.4	0.7
70	C 区	黒曜石	2.2	1.5	0.5	1.2
71	C 区	硬質泥岩	7.3	3.3	1.1	23.1
72	A 区	珩質頁岩	6.7	3.6	0.9	21.9
73	C 区	硬質泥岩	9.2	3.1	0.8	19.9
74	C 区	硬質泥岩	6.7	4.6	0.8	31.9
75	C 区	珩質頁岩	10.3	5.4	1.6	98.2
76	C 区	珩質頁岩	11.1	5.4	1.1	92.7
77	2 堀	硬質泥岩	10.4	4.7	1.3	63.3
78	26 住	珩質頁岩	8.9	5.3	1.0	49.2
79	38 住	硬質泥岩	8.2	5.3	1.1	48.3
80	6 堀	硬質泥岩	8.2	3.0	1.2	34.0
81	C 区	硬質泥岩	7.9	8.4	2.0	129.6
82	C 区	珩質粘板岩	7.0	6.3	0.9	47.6
83	F 区	硬質泥岩	6.1	5.5	1.8	55.0
84	C 区	硬質泥岩	6.4	5.5	2.0	63.5
85	C 区	硬質泥岩	7.3	7.5	1.6	68.7
86	C 区	硬質泥岩	4.1	7.1	1.0	15.6
87	C 区	硬質泥岩	5.2	7.8	2.2	54.4

表39 遺構外出土打製石斧計測表

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	C 区	硬質泥岩	8.8	4.8	2.3	108.0
2	C 区	珩質頁岩	8.3	4.5	1.4	63.2
3	C 区	変玄武岩	10.8	4.8	2.0	135.2
4	C 区	硬質泥岩	11.0	4.8	1.9	105.1
5	C 区	硬質泥岩	9.7	4.2	1.3	78.7

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
6	C 区	珩質頁岩	8.7	4.4	1.8	71.3
7	C 区	硬質泥岩	8.3	4.8	1.5	81.5
8	C 区	硬質泥岩	9.0	4.5	2.0	84.4
9	C 区	硬質泥岩	7.2	4.3	1.9	56.3
10	C 区	硬質泥岩	9.1	4.1	2.0	88.0

第2節 縄文時代の遺構と遺物

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 量 (g)
11	C 区	硬質泥岩	6.7	4.1	1.3	33.4
12	C 区	珪質頁岩	8.0	3.0	0.7	19.5
13	C 区	硬質泥岩	9.8	4.1	1.2	57.5
14	C 区	黒色頁岩	6.3	4.6	1.4	60.4
15	C 区	珪質頁岩	8.1	4.9	1.0	60.3
16	C 区	硬質泥岩	7.3	4.6	1.4	50.6
17	C 区	硬質泥岩	9.0	4.2	1.9	80.7
18	C 区	硬質泥岩	9.7	4.4	1.8	72.6
19	C 区	珪質頁岩	7.7	4.6	2.3	81.2
20	A 区	珪質頁岩	8.5	4.0	1.3	49.9
21	C 区	硬質泥岩	9.7	5.3	2.0	120.9
22	C 区	硬質泥岩	10.5	4.8	2.0	129.0
23	C 区	細輝安山岩	9.8	4.0	1.4	77.8
24	C 区	硬質泥岩	10.6	4.9	2.0	120.7
25	C 区	黒色片岩	11.1	3.6	1.0	49.6
26	E 区	粗輝安山岩	12.2	6.3	1.5	122.4
27	C 区	硬質泥岩	11.5	5.3	2.7	129.9
28	C 区	珪質頁岩	10.6	4.2	1.2	50.9
29	C 区	硬質泥岩	10.9	4.2	1.9	125.5
30	C 区	珪質頁岩	9.6	3.0	1.0	43.9
31	C 区	珪質頁岩	8.3	5.2	1.6	111.4
32	3 堀	細輝安山岩	10.8	5.5	2.3	129.7
33	C 区	硬質泥岩	10.5	4.7	1.5	52.9
34	37 住	硬質泥岩	10.3	5.0	2.3	93.9
35	I 区	珪質頁岩	7.5	4.4	1.4	48.8
36	F 区	硬質泥岩	10.5	4.5	1.7	80.6
37	C 区	硬質泥岩	10.2	5.5	1.7	99.6
38	C 区	変玄武岩	11.7	3.9	2.2	150.8
39	C 区	珪質頁岩	12.5	5.2	1.6	108.0
40	C 区	雲母石英片岩	11.2	3.5	1.6	79.2
41	F 区	珪質頁岩	9.5	6.1	1.7	107.6
42	C 区	蛇紋岩	9.5	4.5	1.5	49.4
43	7 堀	硬質泥岩	10.3	4.2	1.8	93.4
44	C 区	珪質頁岩	8.2	3.7	1.1	42.5
45	A 区	粗輝安山岩	10.7	5.0	1.1	69.0
46	C 区	硬質泥岩	10.0	4.7	2.4	118.5
47	C 区	緑色片岩	9.4	2.9	1.2	54.9
48	C 区	珪質頁岩	7.3	4.5	2.2	76.5
49	I 区	粗輝安山岩	8.0	5.7	1.5	72.2
50	C 区	細輝安山岩	7.2	5.0	1.7	59.5
51	B 区	粗輝安山岩	10.4	4.4	2.1	98.0
52	A 区	硬質泥岩	8.7	5.8	2.2	104.4
53	E 区	硬質泥岩	12.8	4.9	3.0	173.1
54	C 区	雲母石英片岩	11.2	5.3	2.0	121.5
55	C 区	緑色片岩	10.3	4.6	1.7	100.8
56	C 区	硬質泥岩	11.8	5.4	2.0	118.5
57	C 区	硬質泥岩	11.8	5.3	1.8	114.6
58	2 堀	珪質頁岩	9.9	5.2	1.8	117.1
59	C 区	硬質泥岩	8.7	5.5	3.0	134.5
60	2 古墳	粗輝安山岩	8.3	5.2	2.5	125.0
61	C 区	粗輝安山岩	8.8	4.9	1.8	87.3
62	C 区	硬質泥岩	8.5	4.9	2.8	114.0
63	C 区	硬質泥岩	7.4	4.3	1.6	54.8
64	B 区	硬質泥岩	6.4	4.2	1.2	46.3
65	C 区	硬質泥岩	7.0	4.8	2.0	70.5
66	B 区	硬質泥岩	7.0	4.6	2.5	86.3

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 量 (g)
67	C 区	緑色片岩	8.3	2.7	0.6	19.5
68	C 区	硬質泥岩	7.0	5.7	1.7	60.1
69	E 区	硬質泥岩	9.7	5.3	2.5	129.2
70	F 区	硬質泥岩	8.1	4.8	2.7	109.0
71	C 区	硬質泥岩	8.3	5.3	2.3	115.3
72	C 区	硬質泥岩	9.9	5.0	1.2	80.9
73	C 区	細輝安山岩	8.7	5.8	2.2	141.1
74	C 区	粗輝安山岩	10.1	4.6	1.6	87.5
75	C 区	硬質泥岩	8.1	4.6	2.0	94.9
76	C 区	珪質頁岩	10.2	5.3	1.4	72.0
77	C 区	硬質泥岩	10.0	4.8	1.5	132.8
78	C 区	硬質泥岩	8.5	4.3	2.4	86.2
79	C 区	珪質頁岩	8.4	4.0	1.5	53.8
80	C 区	硬質泥岩	8.0	4.4	1.9	73.2
81	C 区	硬質泥岩	7.0	4.2	2.2	70.6
82	C 区	硬質泥岩	7.0	4.0	2.0	68.4
83	C 区	珪質頁岩	7.2	4.9	2.2	87.6
84	C 区	変玄武岩	7.6	5.4	1.7	97.7
85	C 区	緑色片岩	6.9	2.9	1.2	34.4
86	C 区	粗輝安山岩	7.2	5.0	3.1	145.0
87	C 区	硬質泥岩	7.2	5.9	3.5	152.4
88	C 区	硬質泥岩	7.5	5.4	2.0	80.4
89	C 区	変玄武岩	9.5	5.0	1.7	123.9
90	C 区	細輝安山岩	8.0	4.3	1.6	55.2
91	C 区	変質安山岩	8.5	5.2	1.1	53.7
92	I 区	硬質泥岩	6.7	4.0	1.9	60.2
93	C 区	硬質泥岩	7.8	4.8	2.6	120.6
94	E 区	粗輝安山岩	7.7	5.6	1.8	105.0
95	C 区	硬質泥岩	5.9	4.4	1.6	52.0
96	C 区	珪質頁岩	8.3	5.0	2.0	99.3
97	C 区	硬質泥岩	16.2	8.7	3.0	492.4
98	C 区	硬質泥岩	18.0	7.1	3.5	449.0
99	C 区	硬質泥岩	12.5	4.4	1.6	104.3
100	C 区	粗輝安山岩	13.1	6.0	2.8	283.5
101	C 区	硬質泥岩	13.9	5.6	3.1	249.7
102	E 区	黒色片岩	11.8	6.2	1.9	164.4
103	C 区	硬質泥岩	12.0	5.0	2.8	182.7
104	E 区	硬質泥岩	10.0	6.4	1.8	140.9
105	C 区	雲母石英片岩	13.8	5.0	1.2	101.4
106	B 区	変玄武岩	16.7	5.5	2.7	352.5
107	1 古墳	硬質泥岩	12.4	5.4	1.5	110.1
108	C 区	玢岩	13.5	5.3	2.0	164.7
109	A 区	硬質泥岩	13.6	5.1	2.5	170.4
110	C 区	硬質泥岩	15.3	5.3	2.8	288.7
111	C 区	黒色片岩	15.0	5.5	1.7	194.0
112	C 区	雲母石英片岩	14.4	6.1	2.0	192.6
113	C 区	雲母石英片岩	14.8	5.1	1.9	182.3
114	C 区	黒色片岩	15.4	6.7	2.0	193.8
115	E 区	粗輝安山岩	13.2	4.6	1.8	131.8
116	C 区	雲母石英片岩	16.0	6.6	1.8	245.0
117	C 区	緑色片岩	13.2	4.3	1.9	150.2
118	C 区	雲母石英片岩	9.6	5.8	1.5	108.3
119	C 区	硬質泥岩	11.3	6.1	2.6	128.0
120	C 区	粗輝安山岩	10.2	5.7	2.0	127.2
121	C 区	黒色片岩	10.0	6.6	1.7	179.0
122	C 区	緑色片岩	9.9	5.2	1.7	119.8

第3章 検出された遺構と遺物

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
123	C 区	硬質泥岩	11.1	5.7	3.3	194.1
124	C 区	硬質泥岩	10.7	5.6	2.2	127.6
125	C 区	硬質泥岩	9.0	6.0	3.3	166.0
126	A 区	珪質頁岩	8.1	6.4	2.5	123.9
127	C 区	粗輝安山岩	8.4	5.4	2.7	134.6
128	E 区	硬質泥岩	8.5	5.6	2.5	141.2
129	C 区	硬質泥岩	8.1	5.3	1.5	104.4
130	B 区	珪質頁岩	6.3	5.1	1.6	69.9
131	C 区	硬質泥岩	6.9	5.6	1.5	60.4
132	C 区	硬質泥岩	8.2	5.5	2.2	105.0
133	C 区	硬質泥岩	8.4	5.5	1.7	78.1
134	C 区	硬質泥岩	10.4	6.0	2.4	142.9
135	C 区	硬質泥岩	10.5	6.2	3.5	193.8
136	C 区	硬質泥岩	11.4	6.0	3.8	380.6
137	C 区	黒色片岩	8.9	4.9	1.8	87.0
138	C 区	硬質泥岩	9.8	5.5	2.5	134.9
139	C 区	雲母石英片岩	10.8	5.5	1.0	83.4
140	I 区	硬質泥岩	7.3	5.0	1.7	82.0
141	C 区	粗輝安山岩	9.0	5.8	1.7	134.2
142	C 区	緑色片岩	10.1	6.3	1.6	140.3
143	E 区	変質安山岩	11.3	6.5	2.1	194.5
144	B 区	雲母石英片岩	11.2	6.4	1.3	139.9
145	C 区	ホルン	9.9	6.5	2.0	172.1
146	2 堀	粗輝安山岩	16.1	9.0	3.0	382.1
147	1 古墳	硬質泥岩	13.5	7.1	3.2	233.6
148	B 区	硬質泥岩	14.3	7.3	3.0	402.7
149	C 区	硬質泥岩	11.8	6.4	2.6	192.0
150	C 区	硬質泥岩	13.0	7.3	3.6	412.3
151	1 堀	硬質泥岩	12.5	7.5	2.7	274.6
152	B 区	珪質頁岩	12.7	6.1	2.5	235.5
153	C 区	雲母石英片岩	12.2	7.4	2.2	217.9
154	C 区	雲母石英片岩	11.7	6.5	1.2	127.2
155	2 古墳	硬質泥岩	8.4	6.1	2.9	179.0
156	C 区	輝緑凝灰岩	13.0	7.6	2.3	291.8

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
157	B 区	硬質泥岩	11.0	6.1	3.0	229.3
158	1 堀	硬質泥岩	17.8	9.8	4.1	565.2
159	1 堀	硬質泥岩	8.4	5.4	1.8	74.0
160	C 区	緑色片岩	10.3	5.3	1.2	72.2
161	2 堀	珪質頁岩	8.5	6.5	1.4	75.9
162	C 区	硬質泥岩	9.3	5.5	1.5	77.3
163	1 堀	黒色頁岩	8.9	7.5	2.1	100.6
164	C 区	硬質泥岩	9.9	6.2	1.9	97.6
165	C 区	緑色片岩	10.1	4.3	1.5	76.4
166	A 区	硬質泥岩	8.7	6.3	3.1	169.5
167	C 区	硬質泥岩	10.7	7.8	2.5	236.6
168	C 区	硬質泥岩	12.0	8.0	3.0	333.3
169	H 区	硬質泥岩	13.0	7.7	3.3	253.8
170	C 区	硬質泥岩	12.7	8.5	3.1	289.6
171	C 区	硬質泥岩	10.0	6.4	3.3	251.7
172	C 区	硬質泥岩	10.3	6.3	1.3	94.2
173	F 区	緑色片岩	12.0	5.7	2.0	173.2
174	C 区	硬質泥岩	10.5	5.1	3.0	118.6
175	C 区	硬質泥岩	9.5	5.1	1.7	80.1
176	C 区	緑色片岩	16.1	6.1	2.6	311.5
177	C 区	硬質泥岩	8.9	6.1	1.5	83.1
178	A 区	黒色片岩	11.6	5.4	1.8	104.4
179	C 区	雲母石英片岩	10.6	4.4	0.9	57.9
180	E 区	雲母石英片岩	11.5	6.2	1.9	169.8
181	C 区	雲母石英片岩	9.7	5.5	1.5	83.2
182	C 区	緑色片岩	15.8	5.6	2.1	242.4
183	2 堀	細輝安山岩	10.5	6.4	1.7	115.9
184	A 区	硬質泥岩	10.6	5.0	1.4	82.0
185	C 区	粗輝安山岩	12.8	5.0	2.3	157.2
186	4 堀	硬質泥岩	13.2	6.0	2.2	188.1
187	F 区	硬質泥岩	16.4	6.0	3.9	364.4
188	C 区	粗輝安山岩	10.2	6.9	1.9	160.1
189	E 区	珪質頁岩	7.7	5.2	2.8	81.2
190	C 区	硬質泥岩	8.0	4.1	2.4	89.9

表40 遺構外出土磨製石斧計測表

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	C 区	変玄武岩	10.4	6.1	3.2	296.1
2	C 区	変玄武岩	15.1	5.1	2.8	310.0
3	C 区	変玄武岩	10.2	4.2	2.2	134.9
4	C 区	変玄武岩	9.6	4.1	2.0	128.1
5	C 区	変玄武岩	9.9	4.6	1.3	71.3
6	C 区	変玄武岩	11.9	4.2	2.2	145.7
7	C 区	変玄武岩	9.9	4.7	2.3	171.4
8	C 区	変玄武岩	8.4	4.6	2.3	130.2

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
9	6 堀	変玄武岩	4.7	3.1	2.5	37.0
10	C 区	変玄武岩	7.7	5.2	2.5	165.0
11	C 区	変玄武岩	10.5	5.1	2.6	213.1
12	C 区	変玄武岩	9.5	5.1	2.3	186.1
13	2 堀	変玄武岩	9.1	4.2	1.8	108.5
14	C 区	変玄武岩	6.5	10.4	3.1	268.7
15	C 区	変玄武岩	14.5	4.1	1.8	160.0

第2節 縄文時代の遺構と遺物

表41 遺構外出土石核計測表

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	A 区	黒 曜 石	2.2	2.5	1.6	7.9
2	C 区	黒 曜 石	2.0	2.0	2.1	7.8
3	C 区	黒 曜 石	1.3	1.9	2.0	3.1
4	C 区	黒 曜 石	2.6	4.0	2.5	19.1
5	C 区	黒 曜 石	2.5	2.3	2.2	8.8
6	C 区	黒 曜 石	2.2	1.7	2.0	4.7
7	C 区	黒 曜 石	4.7	2.3	1.9	19.0
8	C 区	黒 曜 石	1.8	1.6	1.4	3.9
9	C 区	黒 曜 石	5.5	4.0	3.4	67.6
10	C 区	黒 曜 石	3.8	3.5	2.3	22.8

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
11	C 区	黒 曜 石	2.7	2.7	2.4	18.4
12	C 区	黒 曜 石	3.2	5.7	2.8	57.2
13	C 区	硬 質 泥 岩	12.0	9.2	5.6	670.0
14	C 区	硬 質 泥 岩	10.2	11.4	5.1	530.9
15	A 区	硬 質 泥 岩	10.7	8.8	3.5	441.8
16	C 区	硬 質 泥 岩	9.8	6.6	3.2	203.2
17	C 区	硬 質 泥 岩	8.8	9.5	4.1	340.3
18	C 区	黒 曜 石	4.3	4.0	3.3	54.1
19	C 区	黒 曜 石	6.2	5.2	3.3	103.4
20	C 区	黒 曜 石	8.4	5.5	4.2	147.4

表42 遺構外出土磨石計測表

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	C 区	砂 岩	3.3	3.5	3.2	45.0
2	4 堀	変 質 安 山 岩	4.3	3.9	3.4	75.0
3	C 区	粗 輝 安 山 岩	4.1	4.0	4.0	80.0
4	C 区	粗 輝 安 山 岩	4.1	4.3	4.0	80.0
5	C 区	デ イ サ イ ト	5.2	4.6	3.4	100.0
6	C 区	牛 伏 砂 岩	5.1	4.9	1.5	50.0
7	C 区	緑 色 片 岩	5.3	5.1	1.1	40.0
8	A 区	粗 輝 安 山 岩	5.1	4.9	3.8	90.0
9	C 区	デ イ サ イ ト	4.9	4.8	4.2	90.0
10	C 区	デ イ サ イ ト	5.8	5.5	5.3	140.0
11	E 区	二 ツ 岳 軽 石	5.8	5.5	4.0	60.0
12	C 区	変 玄 武 岩	5.9	6.3	1.1	70.0
13	C 区	緑 色 片 岩	7.1	6.1	0.9	50.0
14	C 区	デ イ サ イ ト	5.8	6.2	4.9	200.0
15	C 区	粗 輝 安 山 岩	6.8	6.0	3.4	160.0
16	J 区	粗 輝 安 山 岩	7.6	6.8	5.9	400.0
欠番						
18	C 区	デ イ サ イ ト	8.3	7.7	4.2	340.0
19	B 区	粗 輝 安 山 岩	10.0	9.2	6.4	690.0
20	C 区	粗 輝 安 山 岩	8.7	8.2	6.0	630.0
21	C 区	デ イ サ イ ト	6.6	7.3	5.6	440.0
22	C 区	黒 色 片 岩	10.9	10.2	1.5	250.0
23	A 区	粗 輝 安 山 岩	11.6	9.0	4.7	730.0
24	C 区	閃 緑 岩	11.7	8.0	2.3	350.0
25	C 区	デ イ サ イ ト	12.3	9.3	4.0	780.0
26	A 区	粗 輝 安 山 岩	14.3	9.8	4.7	1,050.0
27	C 区	粗 輝 安 山 岩	5.3	4.5	2.9	100.0
28	C 区	粗 輝 安 山 岩	6.4	4.7	4.2	185.0
29	C 区	牛 伏 砂 岩	8.7	5.9	1.9	100.0
30	C 区	粗 輝 安 山 岩	8.0	6.7	4.4	360.0
31	C 区	牛 伏 砂 岩	8.7	7.3	3.3	220.0
32	C 区	石 英 閃 緑 岩	10.0	8.4	4.7	560.0
33	C 区	粗 輝 安 山 岩	10.5	7.7	5.6	540.0
34	C 区	粗 輝 安 山 岩	9.9	8.0	3.4	460.0
35	H 区	粗 輝 安 山 岩	9.8	7.7	5.0	540.0
36	C 区	粗 輝 安 山 岩	9.8	8.6	3.7	650.0
37	C 区	デ イ サ イ ト	8.4	6.0	4.5	290.0
38	C 区	粗 輝 安 山 岩	7.7	7.3	5.5	510.0

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
39	A 区	粗 輝 安 山 岩	7.3	7.2	4.0	300.0
40	C 区	粗 輝 安 山 岩	7.2	7.6	5.9	280.0
41	A 区	粗 輝 安 山 岩	5.2	6.3	4.5	240.0
42	A 区	粗 輝 安 山 岩	6.2	6.4	4.2	210.0
43	C 区	粗 輝 安 山 岩	5.3	7.1	3.6	190.0
44	I 区	粗 輝 安 山 岩	5.6	8.6	4.0	285.0
45	C 区	粗 輝 安 山 岩	5.4	7.9	1.7	100.0
46	C 区	粗 輝 安 山 岩	11.0	7.5	4.7	400.0
47	A 区	粗 輝 安 山 岩	12.0	7.5	4.0	270.0
48	C 区	デ イ サ イ ト	7.8	11.5	4.2	460.0
49	C 区	デ イ サ イ ト	15.1	10.9	5.4	1,060.0
50	C 区	粗 輝 安 山 岩	5.0	7.5	3.7	70.0
51	C 区	粗 輝 安 山 岩	5.3	6.8	4.2	170.0
52	C 区	粗 輝 安 山 岩	6.3	6.5	3.5	50.0
53	C 区	粗 輝 安 山 岩	6.4	7.6	4.4	260.0
54	C 区	流 紋 岩	5.5	7.3	5.8	240.0
55	C 区	砂 岩	4.8	5.0	2.0	70.0
56	C 区	雲 母 石 英 片 岩	8.0	6.1	1.5	70.0
57	C 区	砂 岩	9.8	5.6	2.2	260.0
58	A 区	粗 輝 安 山 岩	7.6	5.5	3.7	350.0
59	C 区	砂 岩	9.2	5.2	1.5	90.0
60	C 区	粗 輝 安 山 岩	9.2	6.7	6.6	490.0
61	C 区	粗 輝 安 山 岩	15.2	5.5	4.7	650.0
62	A 区	デ イ サ イ ト	11.3	8.1	4.5	650.0
63	C 区	砂 岩	10.1	3.9	2.2	100.0
64	E 区	粗 輝 安 山 岩	10.0	6.5	3.5	430.0
65	C 区	粗 輝 安 山 岩	10.5	10.2	5.7	1,010.0
66	1 古墳	粗 輝 安 山 岩	10.2	10.4	5.6	700.0
67	1 古墳	デ イ サ イ ト	8.9	8.9	3.4	440.0
68	1 古墳	閃 緑 岩	9.2	9.0	2.8	420.0
69	C 区	粗 輝 安 山 岩	8.2	6.9	5.2	415.0
70	B 区	粗 輝 安 山 岩	9.3	8.3	5.3	600.0
71	C 区	デ イ サ イ ト	10.1	9.4	5.0	625.0
72	H 区	デ イ サ イ ト	9.7	9.0	3.8	610.0
73	A 区	変 玄 武 岩	12.0	8.2	3.7	720.0
74	C 区	粗 輝 安 山 岩	10.2	8.2	4.5	660.0
75	C 区	玢 岩	9.8	9.0	3.5	450.0
76	B 区	変 質 安 山 岩	9.5	6.4	3.2	250.0

第3章 検出された遺構と遺物

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
77	F 区	粗輝安山岩	9.3	7.6	4.9	435.0
78	C 区	砂 岩	10.3	7.8	4.5	410.0
79	C 区	粗輝安山岩	11.2	8.0	4.2	550.0
80	C 区	粗輝安山岩	10.5	8.8	2.9	430.0
81	C 区	粗輝安山岩	9.0	7.4	4.3	370.0
82	B 区	変 玄 武 岩	8.5	6.1	4.8	400.0
83	B 区	粗輝安山岩	10.9	8.4	4.8	640.0
84	C 区	変質安山岩	10.2	8.8	3.0	390.0
85	C 区	牛 伏 砂 岩	8.7	6.0	3.7	185.0
86	1 古墳	粗輝安山岩	11.3	6.8	5.0	710.0
87	C 区	デイサイト	10.4	5.8	3.9	270.0
88	C 区	デイサイト	7.8	6.8	6.0	430.0
89	C 区	牛 伏 砂 岩	13.1	6.0	4.9	200.0
90	C 区	デイサイト	7.2	7.8	3.8	280.0
91	C 区	粗輝安山岩	7.0	9.2	4.3	420.0
92	C 区	牛 伏 砂 岩	10.7	9.1	3.0	340.0
93	C 区	粗輝安山岩	9.3	4.7	4.5	220.0
94	C 区	粗輝安山岩	5.7	7.1	4.9	260.0
95	C 区	粗輝安山岩	7.1	4.8	3.9	150.0
96	C 区	粗輝安山岩	7.1	9.3	3.9	365.0
97	C 区	牛 伏 砂 岩	9.7	7.1	2.9	225.0
98	C 区	粗輝安山岩	7.5	6.5	3.5	150.0
99	A 区	変 玄 武 岩	10.7	6.0	3.6	420.0
100	C 区	デイサイト	9.3	7.8	4.2	480.0
101	C 区	粗輝安山岩	7.8	5.1	2.9	160.0
102	C 区	粗輝安山岩	8.1	6.3	5.0	410.0
103	C 区	粗輝安山岩	8.2	7.3	4.3	260.0
104	C 区	変 玄 武 岩	9.6	6.5	3.0	310.0
105	C 区	粗輝安山岩	9.5	5.7	3.4	380.0
106	C 区	玢 岩	15.5	7.5	4.0	670.0
107	C 区	粗輝安山岩	11.8	7.7	7.0	1,000.0
108	C 区	牛 伏 砂 岩	16.5	4.1	3.0	240.0
109	C 区	粗輝安山岩	11.3	7.5	5.3	780.0
110	C 区	緑 色 片 岩	10.4	5.3	2.7	240.0
111	C 区	変 玄 武 岩	15.6	6.1	3.3	500.0
112	1 住	緑 色 片 岩	12.3	6.0	3.6	420.0
113	B 区	二ツ岳軽石	7.1	8.2	3.1	100.0
114	C 区	粗輝安山岩	10.0	8.5	4.0	470.0
115	C 区	粗輝安山岩	8.8	7.1	4.7	395.0
116	C 区	デイサイト	7.5	7.3	3.1	300.0

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
117	C 区	粗輝安山岩	11.4	10.6	7.3	1,320.0
118	C 区	粗輝安山岩	9.5	7.2	4.9	500.0
119	C 区	粗輝安山岩	10.6	7.1	2.8	490.0
120	C 区	粗輝安山岩	9.0	7.1	3.5	430.0
121	C 区	デイサイト	8.9	7.8	4.3	370.0
122	F 区	粗輝安山岩	12.0	7.9	4.2	625.0
123	2 古墳	デイサイト	12.6	8.4	3.7	630.0
124	C 区	粗輝安山岩	11.7	7.2	3.2	500.0
125	C 区	粗輝安山岩	10.4	8.1	4.2	520.0
126	C 区	デイサイト	11.0	8.6	4.0	565.0
127	C 区	デイ質凝灰岩	11.2	8.6	4.0	460.0
128	C 区	粗輝安山岩	9.5	7.8	4.0	485.0
129	C 区	粗輝安山岩	12.7	7.5	3.2	600.0
130	C 区	緑 色 片 岩	9.6	5.1	3.4	240.0
131	A 区	粗輝安山岩	7.6	8.7	4.7	420.0
132	C 区	デイサイト	8.7	5.2	4.3	250.0
133	C 区	デイサイト	12.3	6.4	5.2	540.0
134	C 区	流 紋 岩	9.9	7.4	4.3	460.0
135	C 区	蛇 紋 岩	11.4	6.5	4.6	620.0
136	C 区	粗輝安山岩	7.1	5.3	3.7	215.0
137	C 区	黒 色 片 岩	22.1	4.4	3.4	510.0
138	C 区	変質安山岩	8.5	7.3	3.8	320.0
139	C 区	粗輝安山岩	7.3	9.3	4.6	400.0
140	38 住	粗輝安山岩	10.8	9.5	3.3	540.0
141	C 区	牛 伏 砂 岩	10.8	9.4	4.6	700.0
142	C 区	粗輝安山岩	11.1	10.9	4.3	580.0
143	C 区	粗輝安山岩	7.6	8.0	5.0	440.0
144	C 区	粗輝安山岩	10.8	9.0	4.4	560.0
145	C 区	変質安山岩	13.7	8.2	4.0	610.0
146	A 区	黒 色 片 岩	16.2	7.3	5.3	1,010.0
147	C 区	粗輝安山岩	13.1	6.7	4.1	390.0
148	1 古墳	緑 色 片 岩	17.5	7.2	2.6	860.0
149	C 区	緑 色 片 岩	12.5	8.0	5.3	870.0
150	C 区	粗輝安山岩	9.7	8.4	4.4	550.0
151	C 区	牛 伏 砂 岩	8.3	6.1	5.0	435.0
152	C 区	粗輝安山岩	14.3	6.5	5.4	640.0
153	C 区	粗輝安山岩	12.4	8.3	4.6	610.0
154	C 区	粗輝安山岩	11.1	5.7	4.1	470.0
155	C 区	変 玄 武 岩	16.3	7.1	5.2	1,160.0
156	C 区	流 紋 岩	30.0	18.2	17.9	13,050.0

表43 遺構外出土凹石計測表

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	C 区	玢 岩	11.8	8.0	2.6	380.0
2	C 区	緑 色 片 岩	10.4	8.7	2.4	300.0
3	C 区	牛 伏 砂 岩	8.1	5.5	3.5	150.0
4	C 区	緑 色 片 岩	8.0	6.8	3.4	240.0
5	C 区	黒 色 片 岩	10.1	8.9	3.1	390.0
6	C 区	緑 色 片 岩	8.9	6.0	2.7	250.0
7	C 区	牛 伏 砂 岩	10.4	9.7	8.0	790.0
8	C 区	緑 色 片 岩	9.1	9.7	5.3	600.0

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
9	C 区	緑 色 片 岩	7.0	5.8	1.7	90.0
10	C 区	牛 伏 砂 岩	11.1	9.7	2.8	240.0
11	C 区	牛 伏 砂 岩	11.0	7.2	3.5	250.0
12	C 区	牛 伏 砂 岩	7.8	5.7	3.0	140.0
13	C 区	黒 色 片 岩	8.8	6.6	3.4	250.0
14	C 区	牛 伏 砂 岩	7.9	5.2	5.0	190.0
15	C 区	牛 伏 砂 岩	8.3	6.1	3.5	200.0
16	C 区	牛 伏 砂 岩	7.8	6.9	4.0	240.0

第2節 縄文時代の遺構と遺物

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
17	B 区	緑色片岩	9.0	8.4	5.2	515.0
18	C 区	牛伏砂岩	8.1	7.7	2.1	150.0
19	C 区	牛伏砂岩	11.7	10.5	4.1	515.0
20	C 区	牛伏砂岩	8.9	7.5	4.3	340.0
21	C 区	黒色片岩	11.3	9.7	3.8	560.0
22	C 区	緑色片岩	6.3	6.0	1.5	60.0
23	C 区	牛伏砂岩	11.5	11.0	2.5	310.0
24	A 区	粗輝安山岩	9.8	8.6	4.1	560.0
25	C 区	雲母石英片岩	9.9	8.1	4.0	450.0
26	C 区	牛伏砂岩	9.2	8.8	3.4	230.0
27	A 区	牛伏砂岩	10.6	19.3	4.9	400.0
28	C 区	牛伏砂岩	11.5	9.5	2.5	320.0
29	C 区	緑色片岩	22.4	11.5	4.1	1,285.0
30	C 区	雲母石英片岩	19.3	15.3	4.6	1,780.0
31	C 区	緑色片岩	18.6	14.0	4.0	1,250.0
32	C 区	緑色片岩	17.1	10.7	3.9	1,050.0
33	C 区	緑色片岩	18.1	11.2	3.4	885.0
34	C 区	牛伏砂岩	16.9	13.4	3.6	950.0
35	C 区	緑色片岩	22.4	17.3	3.9	2,280.0
36	C 区	雲母石英片岩	19.5	14.8	5.7	2,330.0
37	7 堀	緑色片岩	27.2	12.6	4.2	2,140.0
38	C 区	牛伏砂岩	18.2	11.7	3.2	710.0
39	C 区	黒色片岩	14.0	12.4	4.7	1,180.0
40	C 区	牛伏砂岩	11.0	7.7	6.3	500.0
41	C 区	デイ質凝灰岩	11.5	7.5	4.0	275.0
42	C 区	緑色片岩	12.3	9.2	4.4	665.0
43	C 区	玢 岩	14.5	13.6	4.3	1,135.0
44	C 区	緑色片岩	10.9	14.2	6.9	1,865.0
45	C 区	牛伏砂岩	12.8	11.4	2.5	470.0
46	C 区	牛伏砂岩	7.0	9.6	3.8	280.0
47	C 区	牛伏砂岩	13.8	12.0	5.0	750.0
48	C 区	緑色片岩	11.7	7.0	4.4	380.0
49	C 区	黒色片岩	11.1	8.6	2.6	290.0
50	C 区	雲母石英片岩	10.7	7.9	5.6	640.0
51	C 区	緑色片岩	8.6	6.7	2.3	160.0
52	C 区	牛伏砂岩	8.4	9.5	2.6	335.0
53	H 区	緑色片岩	15.4	8.2	3.3	690.0
54	C 区	変輝緑岩	10.3	7.0	3.5	300.0
55	C 区	黒色片岩	10.7	6.2	2.5	200.0
56	H 区	緑色片岩	13.9	7.8	4.0	600.0
57	C 区	牛伏砂岩	10.8	6.8	4.0	320.0
58	C 区	牛伏砂岩	9.8	5.9	3.6	215.0
59	C 区	牛伏砂岩	9.7	6.5	4.3	210.0
60	C 区	牛伏砂岩	11.0	9.0	5.3	630.0
61	C 区	黒色片岩	10.8	6.6	5.5	530.0
62	C 区	牛伏砂岩	7.5	5.5	2.5	100.0
63	C 区	牛伏砂岩	10.0	6.6	2.2	150.0
64	C 区	牛伏砂岩	10.0	6.3	3.6	260.0
65	C 区	緑色片岩	9.5	6.2	3.3	210.0
66	C 区	緑色片岩	13.2	6.0	2.8	320.0
67	C 区	牛伏砂岩	12.8	10.5	3.0	430.0
68	C 区	雲母石英片岩	11.9	8.8	3.7	650.0
69	C 区	牛伏砂岩	7.4	5.8	4.3	170.0
70	C 区	雲母石英片岩	10.1	6.6	2.0	210.0
71	C 区	黒色片岩	11.5	6.7	3.7	330.0
72	C 区	緑色片岩	10.3	7.5	2.0	190.0

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
73	C 区	黒色片岩	11.4	6.3	2.7	220.0
74	C 区	緑色片岩	9.3	8.0	1.6	180.5
75	C 区	牛伏砂岩	9.3	7.7	2.8	190.0
76	C 区	デイサイト	7.4	5.3	3.9	220.0
77	C 区	牛伏砂岩	6.7	7.8	3.8	190.0
78	C 区	牛伏砂岩	7.8	6.9	3.6	200.0
79	C 区	黒色片岩	10.0	7.8	3.2	420.0
80	C 区	牛伏砂岩	7.9	6.7	2.8	130.0
81	C 区	緑色片岩	11.3	6.5	3.0	380.0
82	C 区	黒色片岩	11.4	5.7	3.2	190.0
83	C 区	黒色片岩	9.3	5.0	1.8	100.0
84	C 区	緑色片岩	6.8	4.9	1.8	75.0
85	C 区	緑色片岩	6.3	7.6	2.0	130.0
86	C 区	牛伏砂岩	7.0	6.7	2.3	160.0
87	C 区	緑色片岩	7.0	6.4	2.5	175.0
88	C 区	緑色片岩	8.4	5.9	2.0	140.0
89	C 区	牛伏砂岩	5.3	7.8	2.3	90.0
90	C 区	牛伏砂岩	6.6	8.3	2.6	200.0
91	C 区	緑色片岩	3.7	7.0	2.8	185.0
92	C 区	緑色片岩	6.1	7.6	3.1	220.0
93	C 区	牛伏砂岩	5.7	6.5	3.3	130.0
94	C 区	牛伏砂岩	8.9	9.6	4.1	365.0
95	C 区	牛伏砂岩	9.0	6.0	2.7	150.0
96	C 区	牛伏砂岩	10.2	5.5	3.0	155.0
97	C 区	緑色片岩	8.8	5.3	2.5	140.0
98	C 区	緑色片岩	6.3	5.6	3.3	190.0
99	C 区	デイ質凝灰岩	6.5	8.0	2.5	120.0
100	C 区	粗輝安山岩	8.1	5.9	3.4	230.0
101	C 区	黒色片岩	8.3	6.5	4.0	275.0
102	C 区	緑色片岩	7.7	5.0	2.8	260.0
103	C 区	緑色片岩	5.5	7.2	3.7	210.0
104	C 区	緑色片岩	7.3	5.3	2.8	170.0
105	C 区	粗輝安山岩	12.7	11.5	6.5	1,400.0
106	C 区	牛伏砂岩	12.5	10.3	2.1	300.0
107	C 区	黒色片岩	10.4	9.5	3.1	390.0
108	7 堀	黒色片岩	13.1	9.9	4.3	930.0
109	H 区	緑色片岩	10.5	10.5	7.7	1,170.0
110	C 区	牛伏砂岩	10.5	7.8	3.4	260.0
111	C 区	牛伏砂岩	10.5	7.2	3.9	315.0
112	C 区	緑色片岩	10.3	6.5	2.3	240.0
113	C 区	緑色片岩	10.3	11.5	3.0	540.0
114	C 区	雲母石英片岩	11.8	7.8	2.9	340.0
115	C 区	粗輝安山岩	11.0	6.5	4.3	350.0
116	C 区	牛伏砂岩	8.9	9.1	2.1	195.0
117	C 区	牛伏砂岩	12.5	10.4	3.1	550.0
118	C 区	緑色片岩	11.0	6.0	3.6	350.0
119	C 区	緑色片岩	9.8	6.7	4.5	380.0
120	A 区	黒色片岩	10.3	5.9	1.5	135.0
121	C 区	牛伏砂岩	7.7	7.0	3.8	200.0
122	I 区	雲母石英片岩	9.3	7.0	1.7	180.0
123	1 古墳	牛伏砂岩	8.0	9.0	4.5	390.0
124	C 区	牛伏砂岩	8.9	6.4	3.5	190.0
125	C 区	緑色片岩	9.5	6.2	2.9	200.0
126	B 区	緑色片岩	8.0	6.6	1.6	150.0
127	C 区	粗輝安山岩	6.7	6.5	3.1	180.0
128	C 区	牛伏砂岩	7.8	5.8	2.6	90.0

第3章 検出された遺構と遺物

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
129	C 区	牛伏砂岩	7.5	6.2	2.7	140.0
130	C 区	緑色片岩	19.3	8.2	6.6	1,450.0
131	C 区	緑色片岩	14.3	10.0	3.0	690.0
132	C 区	黒色片岩	19.2	10.5	3.8	980.0
133	C 区	緑色片岩	17.2	6.8	4.4	880.0
134	C 区	粗輝安山岩	16.5	8.2	4.2	780.0
135	C 区	緑色片岩	22.4	6.2	2.2	450.0
136	C 区	黒色片岩	21.8	5.0	3.5	550.0
137	C 区	緑色片岩	21.5	8.5	4.6	1,290.0
138	C 区	緑色片岩	17.2	7.5	3.0	550.0
139	C 区	緑色片岩	14.6	5.6	4.6	640.0
140	C 区	緑色片岩	18.0	5.8	3.0	430.0
141	C 区	緑色片岩	12.0	6.0	5.6	550.0
142	C 区	緑色片岩	13.7	5.8	2.2	260.0
143	C 区	緑色片岩	14.2	3.6	2.3	200.0
144	C 区	緑色片岩	14.7	6.6	1.3	320.0
145	C 区	緑色片岩	19.1	6.0	4.0	800.0
146	C 区	緑色片岩	15.6	5.5	2.5	280.0
147	C 区	雲母石英片岩	16.2	6.5	3.5	460.0
148	7 堀	緑色片岩	12.8	6.8	3.8	570.0
149	C 区	黒色片岩	13.0	5.0	2.4	250.0
150	C 区	雲母石英片岩	13.5	5.0	2.4	225.0
151	C 区	黒色片岩	14.6	7.2	2.7	370.0
152	C 区	緑色片岩	11.9	6.2	4.7	550.0
153	C 区	黒色片岩	14.4	4.3	1.9	150.0
154	C 区	黒色片岩	11.8	5.3	2.7	250.0
155	C 区	緑色片岩	10.7	6.2	2.7	265.0
156	C 区	雲母石英片岩	9.7	5.7	1.9	170.0
157	E 区	緑色片岩	9.5	3.8	3.1	160.0
158	C 区	黒色片岩	12.0	3.0	2.7	190.0
159	C 区	黒色片岩	13.7	6.3	2.9	245.0
160	C 区	緑色片岩	11.7	5.7	2.6	250.0
161	C 区	緑色片岩	12.7	6.0	4.0	400.0
162	C 区	黒色片岩	13.0	7.1	2.0	280.0
163	C 区	雲母石英片岩	12.3	6.4	3.1	390.0
164	C 区	緑色片岩	10.7	5.3	2.5	210.0
165	C 区	牛伏砂岩	11.0	7.0	3.5	400.5
166	C 区	黒色片岩	10.0	4.5	2.7	160.0
167	F 区	緑色片岩	12.7	3.8	3.7	250.0
168	C 区	緑色片岩	11.0	4.5	2.8	235.0
169	C 区	雲母石英片岩	9.1	4.4	3.1	160.0
170	C 区	緑色片岩	10.7	5.1	2.6	220.0
171	C 区	緑色片岩	8.8	4.0	4.2	250.0
172	C 区	雲母石英片岩	9.5	6.2	4.4	260.0
173	C 区	牛伏砂岩	9.1	5.5	2.7	145.0
174	C 区	緑色片岩	9.3	5.2	2.9	195.0
175	C 区	牛伏砂岩	9.5	5.4	3.2	185.0
176	C 区	緑色片岩	8.9	3.7	2.4	130.0
177	C 区	緑色片岩	9.1	5.6	3.2	170.0
178	C 区	雲母石英片岩	9.0	4.2	2.3	170.0
179	C 区	緑色片岩	8.2	4.0	1.6	90.0
180	C 区	雲母石英片岩	9.9	3.8	2.9	190.0
181	C 区	緑色片岩	9.3	4.0	3.6	190.0
182	C 区	黒色片岩	9.7	3.2	1.7	75.0
183	C 区	黒色片岩	11.7	8.7	5.0	600.0
184	C 区	緑色片岩	10.7	8.2	3.4	400.0

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
185	C 区	緑色片岩	10.0	7.7	3.0	330.0
186	C 区	雲母石英片岩	8.7	7.7	5.1	580.0
187	C 区	黒色片岩	10.7	9.2	4.7	670.0
188	A 区	黒色片岩	9.7	8.6	4.9	560.0
189	C 区	雲母石英片岩	10.4	7.4	2.2	275.0
190	C 区	黒色片岩	9.0	6.8	3.4	310.0
191	C 区	牛伏砂岩	11.4	9.1	3.8	440.0
192	C 区	牛伏砂岩	10.0	8.7	3.8	400.0
193	H 区	雲母石英片岩	8.8	8.0	3.0	325.0
194	4 堀	牛伏砂岩	8.7	6.9	2.8	175.0
195	C 区	牛伏砂岩	11.1	8.5	4.4	460.0
196	C 区	牛伏砂岩	10.8	9.3	3.5	370.0
197	C 区	牛伏砂岩	10.6	7.9	3.6	340.0
198	C 区	牛伏砂岩	9.8	6.5	3.2	240.0
199	C 区	緑色片岩	8.7	6.6	3.2	270.0
200	C 区	緑色片岩	8.1	6.4	3.4	115.0
201	C 区	黒色片岩	8.8	8.2	4.1	395.0
202	C 区	牛伏砂岩	8.6	6.5	4.0	240.0
203	C 区	牛伏砂岩	6.7	5.8	2.7	115.0
204	B 区	牛伏砂岩	8.5	5.7	3.8	150.0
205	C 区	緑色片岩	8.5	7.4	3.6	300.0
206	C 区	牛伏砂岩	6.8	5.5	3.4	135.0
207	C 区	黒色片岩	7.3	6.2	3.0	180.0
208	C 区	緑色片岩	11.2	8.2	6.0	1,000.0
209	C 区	牛伏砂岩	12.2	8.9	3.6	525.0
210	C 区	黒色片岩	10.7	6.7	3.2	290.0
211	C 区	牛伏砂岩	12.5	10.3	3.5	470.0
212	C 区	牛伏砂岩	16.4	10.7	3.8	740.0
213	C 区	緑色片岩	12.2	11.7	4.5	1,110.0
214	C 区	牛伏砂岩	18.0	9.7	3.8	570.0
215	C 区	牛伏砂岩	15.3	11.0	5.2	1,080.0
216	C 区	牛伏砂岩	11.0	10.0	2.8	285.0
217	C 区	牛伏砂岩	12.3	8.7	2.4	270.0
218	C 区	牛伏砂岩	9.7	10.2	2.3	270.0
219	C 区	牛伏砂岩	10.7	8.6	2.7	240.0
220	C 区	牛伏砂岩	9.5	9.8	3.3	380.0
221	C 区	牛伏砂岩	11.3	8.3	2.4	300.0
222	C 区	牛伏砂岩	14.5	9.6	3.5	460.0
223	C 区	黒色片岩	12.7	8.9	3.0	510.0
224	C 区	雲母石英片岩	11.0	9.4	3.4	440.0
225	C 区	黒色片岩	10.5	5.4	3.2	240.0
226	C 区	粗輝安山岩	11.5	7.5	3.6	530.0
227	C 区	緑色片岩	11.1	7.9	4.5	615.0
228	C 区	雲母石英片岩	10.0	8.8	3.0	390.0
229	C 区	緑色片岩	10.2	6.5	2.5	280.0
230	C 区	緑色片岩	10.2	8.8	3.1	385.0
231	C 区	牛伏砂岩	9.2	8.4	2.0	160.0
232	C 区	牛伏砂岩	10.3	7.5	2.3	160.0
233	C 区	砂	11.2	5.2	2.5	180.0
234	C 区	黒色片岩	8.5	7.4	4.0	260.0
235	C 区	黒色片岩	9.5	5.2	2.5	220.0
236	C 区	牛伏砂岩	9.5	5.8	4.2	260.0
237	C 区	緑色片岩	8.0	7.7	2.1	235.0
238	C 区	黒色片岩	8.8	5.3	2.7	195.0
239	C 区	黒色片岩	5.8	9.2	3.2	250.0
240	C 区	牛伏砂岩	7.5	5.5	3.5	160.0

第2節 縄文時代の遺構と遺物

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
241	C 区	牛伏砂岩	6.5	8.5	3.5	200.0
242	C 区	牛伏砂岩	6.2	7.5	3.0	200.0
243	C 区	牛伏砂岩	11.3	8.3	4.8	520.0
244	C 区	牛伏砂岩	8.2	5.2	3.1	160.0
245	C 区	雲母石英片岩	7.8	7.8	3.7	280.0
246	C 区	緑色片岩	6.0	4.6	1.6	70.0
247	C 区	緑色片岩	7.9	5.4	2.2	150.0
248	C 区	牛伏砂岩	11.0	7.6	6.0	535.0
249	A 区	緑色片岩	12.1	7.5	2.3	330.0
250	C 区	牛伏砂岩	12.0	9.6	5.3	750.0
251	C 区	牛伏砂岩	14.3	11.6	3.5	595.0
252	E 区	緑色片岩	10.7	6.9	3.6	410.0
253	C 区	牛伏砂岩	12.7	8.3	4.7	440.0
254	A 区	緑色片岩	10.7	8.0	3.6	440.0
255	A 区	緑色片岩	10.4	8.0	4.1	510.0
256	E 区	牛伏砂岩	9.8	7.2	2.5	210.0
257	C 区	雲母石英片岩	12.0	8.5	5.8	620.0
258	C 区	雲母石英片岩	14.4	7.7	3.5	410.0
259	C 区	牛伏砂岩	13.3	7.9	3.4	350.0
260	C 区	牛伏砂岩	7.7	9.9	3.0	280.0
261	C 区	雲母石英片岩	7.7	7.6	2.6	210.0
262	C 区	牛伏砂岩	6.4	7.8	2.5	120.0
263	C 区	牛伏砂岩	7.8	4.2	2.8	90.0
264	C 区	牛伏砂岩	6.0	6.3	3.4	130.0
265	C 区	牛伏砂岩	6.7	7.0	3.2	160.0
266	C 区	黒色片岩	5.8	6.0	5.5	240.0
267	B 区	黒色片岩	13.9	8.9	4.0	570.0
268	A 区	雲母石英片岩	16.1	10.1	2.9	800.0
269	C 区	牛伏砂岩	13.5	8.0	4.2	1,060.0
270	E 区	黒色片岩	10.8	6.7	4.3	475.0
271	E 区	雲母石英片岩	11.9	7.2	4.3	510.0
272	1 古墳	緑色片岩	11.6	6.5	1.8	290.0
273	C 区	黒色片岩	10.2	7.4	3.7	400.0
274	A 区	緑色片岩	11.6	7.7	2.3	300.0
275	H 区	牛伏砂岩	9.3	7.0	3.1	160.0
276	C 区	緑色片岩	11.0	5.5	3.2	270.0
277	C 区	黒色片岩	10.6	7.0	2.8	275.0
278	C 区	牛伏砂岩	10.2	8.9	5.5	460.0
279	C 区	牛伏砂岩	9.6	8.3	4.0	360.0
280	C 区	緑色片岩	10.6	9.5	3.5	605.0
281	A 区	黒色片岩	9.0	7.5	3.7	350.0
282	C 区	牛伏砂岩	7.7	7.9	2.8	175.0
283	E 区	牛伏砂岩	8.7	7.5	2.2	150.0
284	C 区	牛伏砂岩	8.3	6.7	2.3	120.0
285	C 区	牛伏砂岩	7.0	8.0	2.4	130.0
286	1 古墳	牛伏砂岩	8.0	9.8	2.5	240.0
287	A 区	緑色片岩	9.7	8.4	2.5	260.0
288	C 区	牛伏砂岩	5.8	7.8	3.7	160.0
289	A 区	牛伏砂岩	8.0	7.2	2.8	200.0
290	C 区	牛伏砂岩	7.1	7.1	2.8	150.0
291	E 区	緑色片岩	9.2	6.0	3.0	210.0
292	57 住	黒色片岩	37.0	8.0	6.6	2,870.0
293	38 住	緑色片岩	14.2	5.6	4.2	290.0
294	39 住	牛伏砂岩	12.5	8.7	3.0	380.0
295	14 住	雲母石英片岩	13.6	9.5	4.8	815.0
296	14 住	牛伏砂岩	13.1	9.1	1.9	240.0

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
297	14 住	黒色片岩	8.8	8.6	3.2	370.0
298	37 住	粗輝安山岩	7.3	7.6	5.8	450.0
299	32 住	黒色片岩	7.8	5.3	2.6	140.0
300	14 住	緑色片岩	10.5	7.8	1.9	220.0
301	63 住	砂岩	8.4	6.6	1.6	95.0
302	32 住	雲母石英片岩	12.0	5.3	1.7	160.0
303	39 住	緑色片岩	8.6	7.0	2.5	210.0
304	57 住	黒色片岩	10.4	5.9	2.5	175.0
305	C 区	緑色片岩	10.6	4.3	2.4	170.0
306	C 区	牛伏砂岩	10.2	6.8	4.4	305.0
307	14 住	粗輝安山岩	12.6	9.5	4.8	840.0
308	C 区	牛伏砂岩	8.3	9.0	4.3	380.0
309	C 区	緑色片岩	12.6	5.0	3.0	260.0
310	C 区	緑色片岩	10.4	5.5	2.7	240.0
311	C 区	緑色片岩	18.6	8.5	2.9	610.0
312	C 区	緑色片岩	19.8	5.8	3.0	750.0
313	C 区	雲母石英片岩	18.0	5.9	3.5	480.0
314	C 区	緑色片岩	16.4	7.5	3.3	680.0
315	H 区	緑色片岩	19.4	6.9	3.7	710.0
316	C 区	黒色片岩	16.9	4.5	3.1	370.0
317	C 区	緑色片岩	16.6	9.7	3.8	950.0
318	C 区	黒色片岩	13.6	6.4	2.6	410.0
319	C 区	黒色片岩	14.0	7.8	3.5	640.0
320	C 区	緑色片岩	14.1	8.3	4.2	640.0
321	B 区	緑色片岩	15.4	4.9	2.8	325.0
322	B 区	緑色片岩	15.6	6.5	2.7	440.0
323	C 区	黒色片岩	14.2	7.5	2.5	410.0
324	C 区	緑色片岩	12.8	7.0	5.9	610.0
325	A 区	黒色片岩	12.7	5.5	3.7	350.0
326	C 区	緑色片岩	11.8	5.3	3.0	320.0
327	C 区	緑色片岩	13.1	6.8	2.1	290.0
328	C 区	黒色片岩	10.2	5.9	3.1	260.0
329	F 区	緑色片岩	12.6	6.9	2.5	310.0
330	C 区	緑色片岩	11.2	5.5	2.9	270.0
331	C 区	黒色片岩	12.7	4.9	3.5	330.0
332	C 区	緑色片岩	12.8	6.7	2.5	350.0
333	C 区	雲母石英片岩	12.7	5.5	2.5	200.0
334	C 区	黒色片岩	13.3	5.5	3.6	340.0
335	C 区	緑色片岩	11.8	7.0	3.8	510.0
336	C 区	雲母石英片岩	12.4	3.6	2.4	175.0
337	E 区	緑色片岩	14.6	3.3	2.7	275.0
338	A 区	牛伏砂岩	11.0	7.8	4.3	450.0
339	C 区	雲母石英片岩	14.5	8.0	3.7	575.0
340	C 区	黒色片岩	13.1	6.5	2.6	300.0
341	C 区	黒色片岩	12.0	7.2	4.0	490.0
342	C 区	緑色片岩	14.2	6.2	2.7	375.0
343	C 区	黒色片岩	13.7	5.7	3.0	310.0
344	C 区	緑色片岩	12.7	6.0	3.2	400.0
345	C 区	緑色片岩	11.8	6.2	2.3	390.0
346	C 区	緑色片岩	11.8	6.0	1.8	180.0
347	C 区	緑色片岩	11.2	5.3	2.5	230.0
348	C 区	緑色片岩	9.5	4.7	2.1	170.0
349	C 区	緑色片岩	10.5	4.1	2.5	125.0
350	C 区	黒色片岩	9.9	4.0	2.2	160.0
351	C 区	緑色片岩	11.5	4.8	2.5	250.0
352	C 区	雲母石英片岩	9.7	5.2	2.3	160.0

第3章 検出された遺構と遺物

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 量 (g)
353	C 区	牛伏砂岩	5.9	6.7	3.9	280.0
354	A 区	黒色片岩	10.7	8.5	3.2	420.0
355	C 区	緑色片岩	8.3	7.5	3.5	280.0
356	C 区	牛伏砂岩	10.0	7.6	2.0	160.0
357	C 区	黒色片岩	7.7	7.7	0.9	80.0
358	C 区	緑色片岩	8.0	7.1	2.2	190.0
359	C 区	黒色片岩	6.7	7.6	2.3	125.0
360	C 区	牛伏砂岩	9.7	8.8	1.6	220.0
361	C 区	黒色片岩	9.5	5.0	1.7	130.0
362	C 区	緑色片岩	10.9	5.5	4.5	285.0
363	C 区	緑色片岩	11.0	7.9	3.0	430.0
364	C 区	牛伏砂岩	6.8	7.0	2.9	190.0
365	C 区	黒色片岩	14.5	10.0	2.2	490.0
366	C 区	粗輝安山岩	13.1	10.0	7.8	1,320.0
367	C 区	緑色片岩	15.8	8.2	3.8	750.0
368	C 区	牛伏砂岩	17.5	12.2	4.0	580.0
369	C 区	黒色片岩	17.6	10.4	2.5	690.0
370	C 区	牛伏砂岩	14.7	9.0	3.3	520.0
371	C 区	粗輝安山岩	12.0	7.0	4.0	520.0
372	C 区	黒色片岩	14.3	7.0	3.8	450.0
373	C 区	緑色片岩	12.9	9.4	2.4	380.0
374	C 区	牛伏砂岩	13.4	9.8	3.0	510.0
375	C 区	緑色片岩	13.5	12.2	3.3	965.0
376	C 区	牛伏砂岩	10.2	8.5	3.5	380.0
377	C 区	雲母石英片岩	11.0	8.1	1.9	330.0
378	C 区	緑色片岩	10.7	5.8	1.6	150.0
379	C 区	緑色片岩	12.5	6.3	5.2	540.0
380	C 区	牛伏砂岩	11.6	8.2	3.4	375.0
381	C 区	緑色片岩	13.2	6.5	2.4	270.0
382	C 区	緑色片岩	10.7	7.7	3.7	400.0
383	C 区	緑色片岩	9.4	10.0	2.9	410.0
384	1 古墳	牛伏砂岩	9.1	7.3	3.3	260.0
385	C 区	黒色片岩	14.1	6.7	1.7	220.0
386	B 区	緑色片岩	11.6	5.1	2.0	170.0
387	C 区	雲母石英片岩	10.5	6.8	3.0	280.0
388	C 区	緑色片岩	10.4	6.5	1.1	110.0
389	C 区	牛伏砂岩	7.1	6.1	2.5	120.0
390	C 区	牛伏砂岩	6.4	7.8	2.7	180.0
391	C 区	デイサイト	7.5	5.6	3.5	210.0
392	E 区	雲母石英片岩	12.2	6.3	2.6	250.0
393	C 区	緑色片岩	7.4	8.5	2.2	220.0
394	C 区	緑色片岩	8.6	6.9	2.5	175.0
395	C 区	緑色片岩	7.8	5.0	3.0	150.0
396	C 区	緑色片岩	7.4	5.3	1.9	100.0
397	A 区	緑色片岩	6.9	7.3	3.5	220.0
398	C 区	緑色片岩	8.7	5.7	2.6	160.5
399	C 区	黒色片岩	6.5	6.0	2.8	160.0
400	C 区	牛伏砂岩	9.7	8.2	4.4	210.0
401	C 区	黒色片岩	12.3	12.6	4.7	1,120.0
402	C 区	緑色片岩	11.9	9.6	3.8	760.0
403	H 区	緑色片岩	16.0	7.7	4.1	850.0
404	C 区	緑色片岩	9.2	7.0	2.1	230.0
405	C 区	雲母石英片岩	12.4	7.2	2.6	280.0
406	C 区	緑色片岩	10.2	6.1	2.5	245.0
407	C 区	緑色片岩	9.5	7.6	2.5	310.0
408	C 区	牛伏砂岩	5.6	7.8	2.2	90.0

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 量 (g)
409	C 区	緑色片岩	6.7	4.8	1.6	70.0
410	H 区	牛伏砂岩	16.6	8.0	6.5	980.0
411	C 区	緑色片岩	13.3	6.8	2.5	330.0
412	C 区	雲母石英片岩	15.2	6.4	3.1	480.0
413	7 堀	緑色片岩	15.1	7.0	2.1	320.0
414	C 区	緑色片岩	30.7	10.9	9.3	3,900.0
415	B 区	黒色片岩	16.1	6.0	4.0	430.0
416	C 区	雲母石英片岩	17.9	3.9	2.7	310.0
417	C 区	緑色片岩	20.5	6.0	3.9	520.0
418	C 区	緑色片岩	19.4	4.8	3.5	570.0
419	C 区	緑色片岩	16.6	3.7	2.6	285.0
420	C 区	緑色片岩	14.8	5.9	2.5	300.0
421	C 区	緑色片岩	19.4	5.5	4.8	810.0
422	C 区	緑色片岩	15.0	4.2	2.3	345.0
423	C 区	緑色片岩	18.6	6.1	3.1	590.0
424	C 区	緑色片岩	13.0	5.8	2.2	260.0
425	C 区	雲母石英片岩	13.1	4.1	3.2	280.0
426	C 区	雲母石英片岩	13.9	5.3	2.7	250.0
427	A 区	緑色片岩	12.9	5.0	2.6	280.0
428	A 区	雲母石英片岩	10.6	5.8	2.5	250.0
429	C 区	牛伏砂岩	10.5	6.0	2.8	230.0
430	C 区	雲母石英片岩	12.3	4.6	2.5	200.5
431	C 区	雲母石英片岩	14.0	3.0	2.0	120.0
432	C 区	黒色片岩	12.1	4.8	3.1	285.0
433	C 区	緑色片岩	10.8	4.6	1.6	170.0
434	C 区	緑色片岩	9.6	5.3	2.6	210.0
435	C 区	緑色片岩	11.0	4.8	2.3	240.0
436	C 区	緑色片岩	8.4	4.7	1.5	80.0
437	C 区	緑色片岩	11.6	4.9	1.0	105.0
438	C 区	緑色片岩	10.9	6.6	4.3	410.0
439	C 区	牛伏砂岩	16.0	15.7	4.8	1,410.0
440	C 区	牛伏砂岩	13.7	11.0	4.2	600.0
441	C 区	黒色片岩	11.1	10.0	5.5	770.0
442	C 区	牛伏砂岩	9.5	7.0	3.9	280.0
443	C 区	緑色片岩	16.0	6.9	3.0	450.0
444	C 区	緑色片岩	14.3	6.1	4.0	480.0
445	C 区	緑色片岩	15.7	6.9	3.3	520.0
446	C 区	緑色片岩	11.7	9.4	3.5	580.0
447	A 区	緑色片岩	9.8	9.0	3.5	495.0
448	C 区	雲母石英片岩	12.8	7.3	3.3	460.0
449	C 区	緑色片岩	9.8	5.8	2.4	190.0
450	C 区	牛伏砂岩	9.5	6.3	4.5	220.0
451	C 区	牛伏砂岩	9.5	6.7	2.7	150.0
452	C 区	緑色片岩	10.2	7.3	3.1	360.0
453	C 区	黒色片岩	9.3	8.1	3.1	360.0
454	C 区	牛伏砂岩	10.5	10.9	4.3	440.0
455	C 区	牛伏砂岩	10.5	9.3	3.2	260.0
456	C 区	緑色片岩	14.0	6.8	2.5	355.0
457	C 区	緑色片岩	5.8	8.3	2.5	160.0
458	C 区	黒色片岩	10.2	9.1	3.4	425.0
459	C 区	牛伏砂岩	11.3	7.0	3.5	320.0
460	C 区	緑色片岩	11.0	7.3	3.4	430.0
461	C 区	牛伏砂岩	9.6	7.2	3.2	200.0
462	B 区	黒色片岩	11.2	7.4	3.3	670.0
463	C 区	緑色片岩	7.5	8.7	2.0	195.0
464	C 区	牛伏砂岩	15.4	8.2	2.0	270.0

第2節 縄文時代の遺構と遺物

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 量 (g)
465	C 区	黒色片岩	15.3	12.2	2.0	340.0
466	C 区	変玄武岩	13.2	7.9	4.2	670.0
467	C 区	緑色片岩	15.9	8.6	3.1	660.0
468	C 区	黒色片岩	12.3	10.7	5.2	755.0
469	C 区	黒色片岩	14.0	8.2	3.8	680.0
470	C 区	緑色片岩	14.0	8.5	3.5	840.0
471	C 区	牛伏砂岩	11.0	9.3	5.5	520.0
472	C 区	緑色片岩	14.7	6.7	2.5	490.0
473	C 区	黒色片岩	11.5	5.5	2.9	200.0
474	C 区	緑色片岩	10.8	6.8	3.6	450.0
475	C 区	黒色片岩	12.6	8.8	2.8	440.0
476	C 区	牛伏砂岩	12.0	7.5	5.0	500.0
477	E 区	黒色片岩	15.1	8.4	3.5	610.0
478	7 堀	緑色片岩	13.5	7.0	3.1	490.0
479	A 区	黒色片岩	11.7	7.1	3.2	360.0
480	C 区	黒色片岩	13.6	8.5	4.7	670.0
481	C 区	黒色片岩	12.4	8.0	3.4	460.0
482	C 区	黒色片岩	12.9	6.3	3.2	340.0
483	C 区	緑色片岩	12.3	7.4	4.3	650.0
484	C 区	緑色片岩	11.3	8.3	4.3	630.0
485	C 区	黒色片岩	12.5	6.8	2.8	305.0
486	C 区	牛伏砂岩	12.7	8.3	3.0	360.0
487	C 区	牛伏砂岩	12.0	7.5	3.9	450.0
488	C 区	緑色片岩	9.8	6.6	3.0	335.0
489	C 区	緑色片岩	10.2	6.3	3.2	360.0
490	C 区	緑色片岩	10.7	7.0	4.0	410.0
491	A 区	黒色片岩	9.6	7.2	2.4	220.0
492	C 区	牛伏砂岩	16.2	10.3	3.7	620.0
493	32 住	牛伏砂岩	19.2	7.5	3.2	595.0
494	C 区	緑色片岩	14.5	6.3	3.3	410.0
495	38 住	緑色片岩	10.6	9.5	3.5	800.0
496	C 区	牛伏砂岩	12.6	6.8	2.9	270.0
497	C 区	雲母石英片岩	12.3	7.4	3.3	650.0
498	C 区	雲母石英片岩	10.9	6.3	4.5	440.0
499	C 区	黒色片岩	10.8	7.0	4.0	550.0
500	C 区	緑色片岩	11.6	5.8	2.3	235.0
501	C 区	黒色片岩	11.4	7.8	4.0	500.0
502	C 区	緑色片岩	10.6	6.2	3.0	350.0
503	C 区	緑色片岩	11.8	7.4	3.4	510.0
504	C 区	緑色片岩	12.6	6.9	3.6	430.0
505	A 区	緑色片岩	10.4	7.2	4.0	330.0
506	H 区	緑色片岩	9.7	7.1	3.8	340.0
507	C 区	緑色片岩	12.4	7.0	2.9	330.0
508	H 区	牛伏砂岩	7.9	6.3	4.2	230.0
509	C 区	緑色片岩	12.1	10.1	3.2	610.0
510	C 区	牛伏砂岩	10.1	8.3	3.0	310.0
511	C 区	黒色片岩	8.0	9.2	3.5	400.0
512	C 区	牛伏砂岩	11.3	8.0	3.0	250.0
513	C 区	緑色片岩	9.6	6.0	2.9	280.0
514	A 区	牛伏砂岩	6.7	7.1	2.7	150.0
515	C 区	雲母石英片岩	11.7	7.8	4.3	470.0
516	A 区	牛伏砂岩	7.7	5.5	2.1	100.0
517	C 区	牛伏砂岩	8.4	10.1	2.9	320.0
518	14 住	黒色片岩	10.5	7.1	2.8	265.0
519	C 区	緑色片岩	9.0	6.8	2.4	220.0
520	C 区	黒色片岩	9.0	4.4	1.1	60.0

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 量 (g)
521	C 区	牛伏砂岩	8.1	7.9	2.0	150.0
522	C 区	緑色片岩	9.5	5.4	3.5	265.0
523	C 区	緑色片岩	13.1	5.7	3.3	270.0
524	C 区	緑色片岩	6.7	7.3	5.4	440.0
525	C 区	黒色片岩	8.7	4.6	2.8	170.0
526	C 区	緑色片岩	9.8	4.5	3.4	170.0
527	C 区	牛伏砂岩	8.4	6.0	3.9	220.0
528	C 区	黒色片岩	11.5	6.6	5.1	380.0
529	C 区	雲母石英片岩	12.6	6.8	3.2	380.0
530	C 区	黒色片岩	8.8	5.6	2.6	205.0
531	C 区	黒色片岩	5.7	6.6	2.4	185.0
532	C 区	黒色片岩	7.6	5.5	2.3	160.0
533	C 区	緑色片岩	7.6	5.0	2.9	150.0
534	C 区	牛伏砂岩	10.5	7.2	3.9	410.0
535	C 区	緑色片岩	8.0	5.8	3.0	220.0
536	C 区	緑色片岩	16.0	9.3	4.4	980.0
537	7 堀	牛伏砂岩	12.6	11.5	4.8	710.0
538	B 区	雲母石英片岩	10.8	6.1	4.1	310.0
539	C 区	緑色片岩	13.4	7.8	4.0	600.0
540	C 区	牛伏砂岩	10.6	14.3	4.5	820.0
541	C 区	黒色片岩	13.1	8.0	4.3	560.0
542	C 区	牛伏砂岩	13.5	8.5	4.0	400.0
543	C 区	緑色片岩	11.2	5.4	2.2	160.0
544	C 区	牛伏砂岩	10.6	9.0	3.4	400.0
545	C 区	牛伏砂岩	5.7	7.2	3.5	175.0
546	C 区	緑色片岩	11.8	9.1	2.2	400.0
547	A 区	牛伏砂岩	9.5	8.2	3.5	270.0
548	C 区	緑色片岩	9.0	9.7	4.1	520.0
549	C 区	黒色片岩	12.0	7.0	2.3	270.0
550	C 区	牛伏砂岩	10.5	9.5	2.3	190.0
551	C 区	緑色片岩	10.0	7.3	3.0	230.0
552	C 区	緑色片岩	6.2	8.3	3.5	280.0
553	C 区	牛伏砂岩	5.7	6.0	3.7	140.0
554	A 区	牛伏砂岩	11.8	8.3	4.6	530.0
555	C 区	牛伏砂岩	5.8	6.2	2.8	130.0
556	I 区	黒色片岩	15.2	6.4	3.4	460.0
557	C 区	緑色片岩	14.3	5.8	3.2	380.0
558	C 区	黒色片岩	13.1	6.8	2.3	220.0
559	C 区	緑色片岩	7.6	6.3	2.9	210.0
560	C 区	緑色片岩	8.5	6.4	2.7	270.0
561	C 区	牛伏砂岩	8.7	7.8	7.0	310.0
562	C 区	緑色片岩	11.0	6.7	2.7	265.0
563	C 区	緑色片岩	11.8	8.1	3.6	460.0
564	C 区	緑色片岩	9.7	7.8	2.5	240.0
565	D 区	牛伏砂岩	9.4	8.5	2.8	270.0
566	C 区	牛伏砂岩	8.1	7.2	4.0	210.0
567	C 区	緑色片岩	4.4	6.9	2.0	85.0
568	C 区	雲母石英片岩	23.5	8.2	3.5	940.0
569	C 区	緑色片岩	15.0	4.6	4.0	380.0
570	C 区	緑色片岩	15.6	4.2	2.6	280.0
571	C 区	緑色片岩	12.4	6.1	3.7	440.0
572	C 区	緑色片岩	11.4	4.3	3.5	350.0
573	C 区	緑色片岩	11.5	5.9	3.3	370.0
574	C 区	牛伏砂岩	11.4	6.5	3.8	330.0
575	C 区	緑色片岩	11.7	6.5	3.2	460.0
576	C 区	黒色片岩	11.8	5.2	1.8	150.0

第3章 検出された遺構と遺物

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 量 (g)
577	C 区	緑色片岩	20.0	6.3	3.3	580.0
578	C 区	黒色片岩	23.5	6.0	3.3	590.0
579	C 区	牛伏砂岩	18.3	9.1	5.0	760.0
580	C 区	黒色片岩	20.3	6.0	4.2	640.0
581	C 区	緑色片岩	20.0	7.6	2.8	640.0
582	C 区	黒色片岩	18.0	7.0	3.2	550.0
583	C 区	緑色片岩	18.0	4.2	2.6	290.0
584	A 区	緑色片岩	16.2	7.7	3.1	660.0
585	E 区	黒色片岩	19.5	6.2	4.0	610.0
586	C 区	緑色片岩	16.9	7.4	3.0	600.0
587	C 区	緑色片岩	16.8	7.2	3.2	550.0
588	C 区	緑色片岩	16.1	7.4	3.1	770.0
589	C 区	緑色片岩	10.4	6.8	2.4	280.0
590	C 区	雲母石英片岩	12.3	6.1	4.5	550.0
591	C 区	緑色片岩	11.5	5.0	3.5	320.0
592	C 区	緑色片岩	6.7	5.5	2.0	200.0
593	C 区	黒色片岩	15.9	6.2	3.0	400.0
594	C 区	緑色片岩	14.6	4.7	3.7	480.0
595	C 区	緑色片岩	16.0	5.6	3.6	350.0
596	C 区	緑色片岩	15.0	5.5	2.8	400.0
597	C 区	黒色片岩	13.8	5.2	2.1	230.0
598	C 区	黒色片岩	14.8	6.2	2.8	370.0
599	C 区	緑色片岩	14.8	5.2	2.5	270.0
600	E 区	黒色片岩	15.6	5.2	2.7	320.0
601	A 区	緑色片岩	15.7	6.2	2.0	290.0
602	E 区	黒色片岩	14.1	4.2	3.4	250.0
603	C 区	雲母石英片岩	14.8	4.7	3.4	375.0
604	C 区	黒色片岩	14.2	6.7	4.5	500.0
605	C 区	緑色片岩	18.2	5.2	3.6	415.0
606	C 区	緑色片岩	14.6	8.0	3.1	640.0
607	C 区	緑色片岩	15.8	6.5	3.6	540.0
608	C 区	緑色片岩	15.6	6.3	3.9	600.0
609	C 区	緑色片岩	14.4	6.4	4.7	630.0
610	C 区	黒色片岩	14.2	6.3	3.3	420.0
611	C 区	黒色片岩	15.4	7.0	2.8	400.0
612	C 区	緑色片岩	14.3	7.6	3.3	500.0
613	C 区	緑色片岩	13.5	6.9	3.4	460.0
614	E 区	緑色片岩	14.5	5.3	3.4	420.0
615	C 区	緑色片岩	13.8	4.6	2.7	285.0
616	C 区	緑色片岩	14.9	4.4	2.6	250.0
617	C 区	牛伏砂岩	11.0	6.4	3.7	280.0
618	C 区	雲母石英片岩	14.7	5.3	2.8	330.0
619	C 区	緑色片岩	14.7	6.8	2.9	370.0
620	C 区	緑色片岩	13.7	6.9	3.6	660.0
621	B 区	黒色片岩	13.9	5.4	2.8	310.0
622	C 区	牛伏砂岩	14.1	6.5	3.2	320.0
623	C 区	粗輝安山岩	12.6	6.0	3.1	385.0
624	C 区	雲母石英片岩	12.4	4.1	2.7	220.0
625	C 区	緑色片岩	13.0	7.1	2.5	285.0
626	C 区	緑色片岩	14.6	5.0	4.5	460.0
627	C 区	緑色片岩	13.5	5.0	2.5	280.0
628	C 区	緑色片岩	13.8	5.2	3.3	420.0
629	C 区	緑色片岩	13.3	4.3	2.7	260.0
630	C 区	黒色片岩	13.0	6.0	2.7	310.0
631	C 区	緑色片岩	16.1	5.6	2.7	440.0
632	C 区	黒色片岩	13.0	4.6	2.9	240.0

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 量 (g)
633	E 区	黒色片岩	11.1	4.9	2.6	180.0
634	C 区	緑色片岩	13.7	4.5	3.0	290.0
635	F 区	緑色片岩	10.1	6.5	3.1	205.0
636	H 区	緑色片岩	9.2	4.7	2.7	200.0
637	H 区	緑色片岩	11.5	5.2	2.7	210.0
638	C 区	緑色片岩	12.4	5.8	3.3	440.0
639	C 区	緑色片岩	10.0	4.0	3.0	210.0
640	14 住	緑色片岩	14.1	7.1	4.2	510.0
641	14 住	緑色片岩	14.2	7.9	4.1	750.0
642	C 区	緑色片岩	13.1	6.7	2.6	320.0
643	57 住	緑色片岩	10.5	7.7	3.0	410.0
644	C 区	黒色片岩	12.3	7.9	4.1	540.0
645	C 区	牛伏砂岩	12.3	9.2	3.5	420.0
646	C 区	黒色片岩	15.3	13.0	3.3	930.0
647	C 区	牛伏砂岩	13.3	9.0	3.3	500.0
648	C 区	牛伏砂岩	11.1	9.4	2.5	320.0
649	C 区	緑色片岩	13.7	9.3	8.8	1,340.0
650	C 区	牛伏砂岩	13.1	12.5	3.1	520.0
651	A 区	緑色片岩	9.0	5.7	3.8	260.0
652	C 区	牛伏砂岩	11.6	7.5	4.0	360.0
653	C 区	緑色片岩	12.7	6.7	2.7	295.0
654	A 区	牛伏砂岩	7.3	6.2	2.0	100.0
655	C 区	牛伏砂岩	14.9	10.2	2.4	360.0
656	C 区	黒色片岩	10.2	7.1	2.4	190.0
657	C 区	緑色片岩	11.0	6.4	2.3	240.0
658	C 区	黒色片岩	11.7	5.1	3.3	270.0
659	14 住	緑色片岩	8.7	6.5	2.4	190.0
660	E 区	緑色片岩	20.6	10.3	2.5	800.0
661	C 区	黒色片岩	40.3	8.9	5.0	3,500.0
662	C 区	雲母石英片岩	30.3	9.0	7.3	2,700.0
663	C 区	黒色片岩	27.6	6.0	4.9	1,270.0
664	H 区	黒色片岩	19.6	9.1	6.4	2,030.0
665	A 区	雲母石英片岩	18.4	7.6	2.8	600.0
666	C 区	緑色片岩	25.3	6.6	4.3	1,000.0
667	C 区	緑色片岩	22.9	8.4	3.2	1,100.0
668	C 区	緑色片岩	19.2	6.1	3.2	770.0
669	C 区	黒色片岩	13.3	5.9	3.6	435.0
670	C 区	緑色片岩	15.0	5.4	3.0	430.0
671	C 区	緑色片岩	18.0	4.3	3.3	450.0
672	A 区	黒色片岩	14.6	6.2	3.1	400.0
673	C 区	黒色片岩	16.5	6.4	2.3	310.0
674	C 区	緑色片岩	17.5	4.5	2.6	290.0
675	A 区	緑色片岩	14.1	5.6	3.3	420.0
676	C 区	黒色片岩	9.7	5.5	1.3	90.0
677	A 区	緑色片岩	9.4	4.4	2.1	170.0
678	C 区	緑色片岩	11.2	4.7	4.0	305.0
679	C 区	牛伏砂岩	10.8	6.7	3.0	280.0
680	C 区	雲母石英片岩	13.8	7.3	2.7	450.0
681	C 区	緑色片岩	15.0	7.4	4.3	560.0
682	C 区	緑色片岩	17.2	4.8	4.6	550.0
683	C 区	雲母石英片岩	18.4	5.0	3.8	620.0
684	C 区	牛伏砂岩	20.5	14.2	5.4	1,630.0
685	B 区	牛伏砂岩	13.4	12.9	3.1	590.0
686	A 区	牛伏砂岩	11.6	14.7	4.7	840.0
687	C 区	牛伏砂岩	14.1	10.8	3.5	650.0
688	C 区	緑色片岩	14.5	9.0	2.8	600.0

第2節 縄文時代の遺構と遺物

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
689	C 区	牛伏砂岩	13.5	10.2	3.2	510.0
690	C 区	緑色片岩	11.7	7.5	4.0	500.0
691	C 区	牛伏砂岩	11.3	8.5	3.2	390.0
692	C 区	牛伏砂岩	10.4	7.1	3.2	220.0
693	C 区	緑色片岩	11.4	5.6	2.4	180.0
694	C 区	牛伏砂岩	13.5	8.1	4.3	590.0
695	C 区	緑色片岩	9.5	8.7	3.7	480.0
696	B 区	黒色片岩	10.4	9.1	3.1	410.0
697	C 区	牛伏砂岩	8.6	8.7	4.4	315.0
698	A 区	緑色片岩	10.0	8.9	4.3	550.0
699	C 区	牛伏砂岩	10.2	6.6	4.8	280.0
700	C 区	緑色片岩	12.4	7.7	3.2	455.0
701	C 区	牛伏砂岩	13.3	8.7	3.2	480.0
702	C 区	緑色片岩	13.1	7.5	3.3	500.5
703	C 区	黒色片岩	10.7	6.4	3.7	250.0
704	C 区	黒色片岩	14.1	8.6	3.3	440.0
705	C 区	変質安山岩	10.8	6.8	4.1	365.0
706	C 区	牛伏砂岩	11.9	8.8	3.6	285.0
707	1 古墳	牛伏砂岩	9.7	11.2	3.0	360.0
708	C 区	黒色片岩	10.1	7.4	3.2	330.0
709	C 区	牛伏砂岩	9.5	8.3	4.4	470.0
710	A 区	緑色片岩	12.0	8.0	2.0	240.0
711	C 区	緑色片岩	11.7	8.3	2.3	350.0
712	A 区	牛伏砂岩	12.7	8.4	2.5	300.0
713	A 区	緑色片岩	9.4	9.0	2.2	250.0
714	F 区	砂岩	9.8	7.0	4.1	235.0
715	C 区	黒色片岩	9.5	5.5	2.6	210.0
716	3 方周	緑色片岩	9.3	6.7	2.5	260.0
717	C 区	緑色片岩	7.7	6.2	3.4	265.0
718	C 区	黒色片岩	29.2	9.0	5.8	2,460.0
719	7 堀	緑色片岩	24.6	11.7	4.5	1,820.0
720	C 区	緑色片岩	27.7	8.1	3.6	1,200.0
721	C 区	黒色片岩	24.5	8.5	5.6	1,760.0
722	C 区	雲母石英片岩	22.6	5.9	3.0	660.0
723	C 区	黒色片岩	14.5	6.5	4.0	610.0
724	C 区	緑色片岩	14.7	6.4	2.7	460.0
725	H 区	緑色片岩	14.5	4.7	2.2	280.0
726	C 区	緑色片岩	13.5	5.2	3.0	275.0
727	C 区	緑色片岩	30.8	6.9	5.5	1,970.0
728	C 区	緑色片岩	28.4	7.2	4.5	1,360.0
729	C 区	緑色片岩	24.3	6.5	3.3	900.0
730	C 区	緑色片岩	19.3	7.9	2.5	690.0
731	C 区	緑色片岩	19.0	5.9	4.5	890.0
732	C 区	雲母石英片岩	18.3	6.2	4.1	780.0
733	7 堀	緑色片岩	19.0	6.6	2.6	550.0
734	C 区	雲母石英片岩	19.5	7.7	2.8	610.0
735	C 区	黒色片岩	19.2	7.0	3.5	625.0
736	C 区	緑色片岩	18.6	8.1	3.1	740.0
737	A 区	緑色片岩	17.0	6.8	2.9	560.0
738	C 区	緑色片岩	17.5	5.8	3.2	480.0
739	C 区	緑色片岩	15.7	6.2	3.4	490.0
740	C 区	黒色片岩	15.3	7.5	3.3	600.0
741	C 区	牛伏砂岩	13.6	8.0	3.6	450.0
742	1 古墳	黒色片岩	17.4	8.0	3.1	730.0
743	1 古墳	緑色片岩	18.9	6.0	2.3	510.0
744	C 区	緑色片岩	20.0	4.1	3.2	430.0

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
745	C 区	黒色片岩	20.9	5.3	2.8	520.0
746	C 区	緑色片岩	18.3	5.0	4.2	600.0
747	C 区	緑色片岩	16.1	5.0	3.4	440.0
748	C 区	緑色片岩	16.0	7.8	3.8	760.0
749	B 区	緑色片岩	15.8	7.6	2.4	420.0
750	C 区	緑色片岩	16.7	6.7	3.7	570.5
751	C 区	黒色片岩	17.2	5.8	3.0	450.0
752	C 区	雲母石英片岩	15.3	5.5	4.5	640.0
753	A 区	黒色片岩	14.1	5.8	5.3	510.0
754	C 区	緑色片岩	14.0	5.4	3.2	350.0
755	C 区	緑色片岩	15.4	6.2	2.6	400.0
756	C 区	緑色片岩	16.6	6.5	2.5	350.0
757	2 古墳	緑色片岩	16.0	6.0	3.1	560.0
758	C 区	緑色片岩	16.7	6.5	2.9	420.0
759	C 区	緑色片岩	16.0	5.2	3.2	425.0
760	C 区	緑色片岩	15.8	5.8	3.0	440.0
761	C 区	緑色片岩	14.8	5.8	2.8	480.0
762	C 区	緑色片岩	15.3	7.5	3.2	460.0
763	B 区	黒色片岩	15.0	6.5	1.8	300.0
764	C 区	黒色片岩	14.1	8.6	3.3	440.0
765	32 住	黒色片岩	13.3	5.4	2.0	210.0
766	63 住	緑色片岩	15.5	7.4	3.5	535.0
767	63 住	黒色片岩	13.6	7.2	4.9	620.0
768	C 区	緑色片岩	13.7	6.9	2.7	400.0
769	C 区	牛伏砂岩	15.2	6.4	1.9	260.0
770	I 区	緑色片岩	14.5	6.6	4.5	690.0
771	B 区	緑色片岩	13.3	6.9	2.7	470.0
772	C 区	緑色片岩	14.3	6.8	3.0	440.0
773	38 住	緑色片岩	13.0	7.1	2.9	470.0
774	C 区	雲母石英片岩	15.0	6.0	3.7	510.0
775	C 区	緑色片岩	13.2	5.5	2.6	290.0
776	2 古墳	緑色片岩	14.7	5.2	3.5	460.0
777	C 区	緑色片岩	13.7	5.8	3.7	390.0
778	C 区	牛伏砂岩	15.0	8.8	5.5	830.0
779	C 区	緑色片岩	13.9	7.0	2.7	360.0
780	C 区	黒色片岩	14.0	5.4	3.1	340.0
781	C 区	雲母石英片岩	13.1	4.1	3.7	330.0
782	B 区	緑色片岩	11.8	7.5	3.1	390.0
783	H 区	黒色片岩	13.3	5.6	2.2	240.0
784	C 区	緑色片岩	12.7	4.8	3.0	315.0
785	C 区	緑色片岩	12.3	6.7	2.4	275.0
786	C 区	牛伏砂岩	13.1	7.8	3.7	450.0
787	C 区	牛伏砂岩	15.0	13.0	4.3	650.0
788	C 区	黒色片岩	11.5	7.5	2.5	340.0
789	C 区	緑色片岩	11.4	6.6	3.1	350.0
790	C 区	緑色片岩	13.0	5.8	1.8	250.0
791	F 区	黒色片岩	12.6	6.1	3.0	300.0
792	C 区	緑色片岩	14.9	6.0	2.4	270.0
793	C 区	緑色片岩	14.1	4.3	2.6	260.0
794	C 区	緑色片岩	13.0	4.4	2.2	185.0
795	C 区	緑色片岩	10.9	4.6	2.4	170.5
796	C 区	雲母石英片岩	12.1	4.6	2.1	205.0
797	C 区	緑色片岩	10.4	4.3	2.9	240.0
798	C 区	緑色片岩	10.8	3.7	1.9	120.0
799	C 区	緑色片岩	13.3	6.0	2.7	310.0
800	C 区	黒色片岩	11.8	7.8	4.1	550.0

第3章 検出された遺構と遺物

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
801	B 区	黒色片岩	12.2	7.2	3.2	460.0
802	H 区	緑色片岩	11.7	6.6	3.3	510.0
803	C 区	黒色片岩	12.6	7.3	3.2	320.0
804	C 区	雲母石英片岩	11.8	5.3	3.9	360.0
805	C 区	黒色片岩	12.5	5.7	2.7	360.0
806	C 区	緑色片岩	11.8	5.6	1.8	235.0
807	A 区	緑色片岩	9.6	6.7	3.7	300.0
808	C 区	黒色片岩	10.6	6.6	4.2	515.0
809	C 区	緑色片岩	8.8	5.0	3.2	210.0
810	C 区	緑色片岩	8.5	4.8	3.0	200.0
811	C 区	緑色片岩	9.5	5.3	2.0	160.0
812	C 区	牛伏砂岩	8.8	7.8	3.3	190.0
813	A 区	緑色片岩	7.7	7.0	5.5	400.0
814	C 区	緑色片岩	12.8	5.0	4.3	280.0
815	C 区	緑色片岩	10.4	4.8	2.6	200.0

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
816	C 区	雲母石英片岩	14.5	6.2	4.2	510.0
817	C 区	緑色片岩	10.7	4.8	3.7	310.0
818	C 区	緑色片岩	13.4	4.9	4.9	540.0
819	F 区	緑色片岩	14.5	6.5	4.9	760.0
820	C 区	黒色片岩	19.7	5.0	4.2	550.0
821	C 区	粗輝安山岩	12.5	6.7	5.9	700.0
822	C 区	緑色片岩	12.3	7.0	4.3	535.0
823	C 区	黒色片岩	13.2	6.9	6.4	670.0
824	C 区	雲母石英片岩	9.8	5.6	3.4	2,260.0
825	C 区	緑色片岩	12.4	4.1	5.0	370.0
826	C 区	緑色片岩	10.0	5.9	5.1	470.0
827	C 区	黒色片岩	14.5	5.7	6.2	770.0
828	C 区	緑色片岩	12.5	7.6	4.5	600.0
829	A 区	緑色片岩	13.0	4.5	3.6	400.0
830	C 区	雲母石英片岩	13.6	6.7	5.4	670.0

表44 遺構外出土多孔石計測表

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	C 区	牛伏砂岩	38.6	25.0		7,750.0
2	C 区	牛伏砂岩	29.7	28.5		8,700.0
3	1 堀	牛伏砂岩	42.0	35.5		22,300.0
4	C 区	牛伏砂岩	33.0	27.6		6,900.0
5	C 区	牛伏砂岩	32.0	26.0		8,250.0
6	1 堀	雲母石英片岩	26.4	23.0		11,600.0
7	C 区	牛伏砂岩	32.7	25.0		12,550.0
8	C 区	変輝緑岩	40.6	23.9		10,700.0
9	C 区	牛伏砂岩	32.7	24.4		5,100.0
10	C 区	牛伏砂岩	30.5	23.0		5,600.0
11	C 区	牛伏砂岩	24.8	21.0		4,600.0
12	C 区	牛伏砂岩	28.5	26.7		5,750.0
13	C 区	牛伏砂岩	29.7	26.5		8,100.0
14	C 区	牛伏砂岩	39.2	26.5		11,200.0
15	C 区	牛伏砂岩	28.1	22.7		8,700.0
16	C 区	粗輝安山岩	30.8	26.7		10,800.0
17	C 区	緑色片岩	45.4	24.4		11,300.0
18	C 区	緑色片岩	52.0	23.0		17,500.0
19	7 堀	牛伏砂岩	34.5	22.5		6,800.0
20	1 堀	雲母石英片岩	30.2	17.0		4,050.0
21	7 堀	牛伏砂岩	29.5	21.3		8,000.0
22	C 区	黒色片岩	28.4	23.4		6,350.0
23	F 区	緑色片岩	26.0	24.6		5,300.0
24	A 区	牛伏砂岩	34.7	21.2		6,650.0
25	C 区	緑色片岩	25.7	20.9		5,100.0
26	C 区	牛伏砂岩	31.0	21.3		6,900.0
27	C 区	雲母石英片岩	33.2	21.0		6,000.0
28	7 堀	牛伏砂岩	40.2	17.6		7,800.0
29	C 区	黒色片岩	22.3	14.4		4,400.0
30	C 区	牛伏砂岩	37.6	20.6		17,600.0
31	C 区	牛伏砂岩	29.0	25.0		13,800.0
32	C 区	緑色片岩	34.5	18.5		8,800.0
33	C 区	黒色片岩	30.0	19.0		5,500.0

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
34	C 区	黒色片岩	36.0	20.6		7,000.0
35	C 区	緑色片岩	24.7	15.5		4,350.0
36	7 堀	牛伏砂岩	30.0	29.0		7,300.0
37	C 区	牛伏砂岩	33.0	29.8		7,000.0
38	C 区	牛伏砂岩	25.1	24.0		8,300.0
39	C 区	黒色片岩	26.0	21.3		4,500.0
40	C 区	緑色片岩	50.8	13.3		9,800.0
41	C 区	牛伏砂岩	34.2	18.6		6,650.0
42	A 区	牛伏砂岩	29.5	19.0		3,390.0
43	C 区	牛伏砂岩	37.0	15.8		6,400.0
44	B 区	牛伏砂岩	26.0	20.5		6,600.0
45	A 区	緑色片岩	30.5	15.9		5,350.0
46	7 堀	雲母石英片岩	30.3	20.2		7,700.0
47	C 区	牛伏砂岩	25.0	23.6		3,520.0
48	1 堀	黒色片岩	31.8	15.2		3,600.0
49	C 区	牛伏砂岩	28.2	21.2		5,500.0
50	C 区	牛伏砂岩	22.5	22.5		4,100.0
51	C 区	牛伏砂岩	28.6	18.5		4,050.0
52	C 区	黒色片岩	24.8	19.1		4,050.0
53	C 区	牛伏砂岩	31.0	16.2		3,840.0
54	C 区	緑色片岩	29.0	19.2		5,500.0
55	C 区	牛伏砂岩	25.0	19.8		5,000.0
56	C 区	牛伏砂岩	21.0	18.1		2,410.0
57	C 区	雲母石英片岩	25.3	16.0		2,360.0
58	C 区	黒色片岩	27.7	18.7		4,650.0
59	C 区	牛伏砂岩	24.2	17.2		3,030.0
60	H 区	緑色片岩	25.7	19.3		6,700.0
61	C 区	牛伏砂岩	19.0	18.3		2,260.0
62	C 区	緑色片岩	25.2	24.1		6,100.0
63	C 区	黒色片岩	24.0	14.3		4,300.0
64	C 区	牛伏砂岩	21.0	22.1		6,900.0
65	C 区	牛伏砂岩	22.6	16.5		2,400.0
66	C 区	牛伏砂岩	20.5	15.2		2,120.0

第2節 縄文時代の遺構と遺物

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 量 (g)
67	C 区	黒色片岩	24.5	17.0		2,190.0
68	E 区	牛伏砂岩	20.7	17.5		3,100.0
69	C 区	牛伏砂岩	31.7	20.5		6,500.0
70	C 区	緑色片岩	32.0	17.2		6,500.0
71	A 区	牛伏砂岩	24.0	16.7		3,660.0
72	C 区	牛伏砂岩	24.4	22.6		3,170.0
73	C 区	緑色片岩	25.5	21.0		6,150.0
74	C 区	牛伏砂岩	22.8	18.5		3,670.0
75	1 堀	牛伏砂岩	24.5	18.3		2,810.0
76	C 区	牛伏砂岩	22.4	20.0		3,720.0
77	C 区	牛伏砂岩	26.7	15.0		2,540.0
78	A 区	牛伏砂岩	30.5	15.5		3,200.0
79	A 区	牛伏砂岩	25.8	18.5		2,870.0
80	A 区	牛伏砂岩	29.5	13.8		3,000.0
81	F 区	緑色片岩	28.5	17.7		5,400.0
82	2 堀	黒色片岩	20.0	16.4		3,380.0
83	C 区	牛伏砂岩	22.5	15.3		2,280.0
84	C 区	牛伏砂岩	26.5	20.4		8,350.0
85	A 区	緑色片岩	21.5	18.4		3,900.0
86	A 区	緑色片岩	20.0	19.8		3,040.0
87	7 堀	雲母石英片岩	20.4	20.0		5,050.0
88	7 堀	牛伏砂岩	22.8	18.3		2,220.0
89	4 堀	砂岩	24.5	18.7		3,250.0
90	1 堀	牛伏砂岩	19.5	20.5		2,860.0
91	1 堀	牛伏砂岩	16.7	17.8		3,100.0
92	C 区	牛伏砂岩	25.5	20.2		5,400.0
93	B 区	牛伏砂岩	18.4	16.3		1,880.0
94	C 区	牛伏砂岩	21.4	23.8		4,800.0
95	7 堀	牛伏砂岩	13.5	16.6		1,510.0
96	C 区	牛伏砂岩	20.4	16.8		3,400.0
97	C 区	牛伏砂岩	20.3	22.3		6,900.0
98	C 区	黒色片岩	24.6	17.2		2,800.0
99	A 区	雲母石英片岩	22.7	14.8		3,220.0
100	C 区	牛伏砂岩	18.2	15.6		3,520.0
101	C 区	緑色片岩	20.8	16.6		3,350.0
102	F 区	牛伏砂岩	20.0	16.4		2,250.0
103	B 区	牛伏砂岩	20.2	16.7		2,710.0
104	C 区	牛伏砂岩	27.5	14.8		4,050.0
105	C 区	牛伏砂岩	20.8	18.5		2,650.0
106	7 堀	牛伏砂岩	18.8	19.9		2,400.0
107	C 区	牛伏砂岩	22.0	15.4		2,330.0
108	H 区	黒色片岩	17.8	21.7		4,400.0
109	A 区	牛伏砂岩	20.8	14.0		2,180.0
110	C 区	緑色片岩	31.5	16.5		6,600.0
111	A 区	緑色片岩	25.0	15.0		4,900.0
112	C 区	牛伏砂岩	24.5	12.1		2,300.0
113	C 区	牛伏砂岩	23.4	15.7		3,230.0
114	A 区	雲母石英片岩	22.4	14.4		1,740.0
115	1 古墳	黒色片岩	24.5	12.5		2,390.0
116	H 区	雲母石英片岩	24.0	13.0		2,800.0
117	C 区	牛伏砂岩	19.0	17.5		2,500.0
118	C 区	牛伏砂岩	17.5	16.0		2,280.0
119	C 区	雲母石英片岩	16.2	12.6		2,900.0
120	C 区	黒色片岩	19.7	12.3		3,000.0
121	E 区	牛伏砂岩	17.8	15.3		2,510.0
122	A 区	緑色片岩	21.6	21.5		2,900.0

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 量 (g)
123	C 区	牛伏砂岩	27.3	14.7		3,340.0
124	A 区	牛伏砂岩	20.5	15.4		2,250.0
125	C 区	牛伏砂岩	19.1	13.8		1,500.0
126	A 区	牛伏砂岩	21.0	15.2		1,800.0
127	C 区	牛伏砂岩	19.7	14.3		2,520.0
128	E 区	牛伏砂岩	17.2	16.8		1,960.0
129	C 区	牛伏砂岩	12.9	18.3		2,200.0
130	C 区	牛伏砂岩	21.7	14.8		1,940.0
131	C 区	牛伏砂岩	13.8	15.6		1,450.0
132	A 区	牛伏砂岩	18.2	13.3		2,240.0
133	C 区	牛伏砂岩	21.4	12.5		1,960.0
134	C 区	牛伏砂岩	17.3	10.2		930.0
135	A 区	牛伏砂岩	17.4	14.7		1,030.0
136	A 区	雲母石英片岩	23.0	12.7		3,150.0
137	C 区	牛伏砂岩	18.0	10.3		990.0
138	2 堀	牛伏砂岩	20.5	12.4		1,590.0
139	C 区	牛伏砂岩	17.2	14.5		1,320.0
140	C 区	牛伏砂岩	16.0	12.5		1,250.0
141	C 区	牛伏砂岩	14.6	16.9		1,600.0
142	C 区	牛伏砂岩	19.3	12.0		1,430.0
143	C 区	牛伏砂岩	23.0	19.8		3,500.0
144	C 区	牛伏砂岩	14.2	15.0		1,240.0
145	7 堀	牛伏砂岩	13.0	14.0		1,000.0
146	C 区	牛伏砂岩	17.5	11.7		1,520.0
147	C 区	牛伏砂岩	16.8	13.2		940.0
148	C 区	黒色片岩	14.5	11.0		1,230.0
149	A 区	雲母石英片岩	21.3	9.5		2,030.0
150	E 区	牛伏砂岩	12.8	13.2		1,240.0
151	C 区	牛伏砂岩	9.5	12.3		520.0
152	A 区	緑色片岩	16.9	11.5		1,670.0
153	C 区	牛伏砂岩	14.5	11.5		1,240.0
154	C 区	緑色片岩	18.6	12.5		940.0
155	C 区	牛伏砂岩	18.9	12.8		2,570.0
156	A 区	牛伏砂岩	19.7	12.8		1,570.0
157	C 区	緑色片岩	17.3	13.7		2,700.0
158	C 区	牛伏砂岩	15.1	13.1		1,450.0
159	C 区	牛伏砂岩	18.3	15.2		1,400.0
160	A 区	緑色片岩	23.5	10.0		1,990.0
161	C 区	牛伏砂岩	32.5	7.8	8.8	2,430.0
162	C 区	牛伏砂岩	41.2	24.4		13,800.0
163	C 区	緑色片岩	28.4	20.8	6.2	4,900.0
164	C 区	変玄武岩	34.5	27.3		15,900.0
165	C 区	緑色片岩	26.0	11.5		2,160.0
166	C 区	緑色片岩	38.0	24.2		16,500.0
167	C 区	牛伏砂岩	16.0	10.2		980.0
168	C 区	牛伏砂岩	17.5	12.6		1,070.0
169	C 区	牛伏砂岩	39.3	21.0		9,400.0
170	1 古墳	牛伏砂岩	32.7	16.0		4,600.0
171	C 区	牛伏砂岩	33.2	24.8		4,450.0
172	A 区	牛伏砂岩	20.3	16.5		2,090.0
173	C 区	牛伏砂岩	24.5	23.0		6,700.0
174	C 区	牛伏砂岩	21.2	17.7		1,820.0
175	B 区	牛伏砂岩	20.7	26.7		5,450.0
176	C 区	牛伏砂岩	22.5	10.9		1,830.0
177	C 区	牛伏砂岩	35.0	25.0		7,400.0
178	C 区	牛伏砂岩	30.8	22.3		8,600.0

第3章 検出された遺構と遺物

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
179	1 古墳	牛伏砂岩	21.0	15.2		2,610.0
180	C 区	牛伏砂岩	34.0	24.0		7,700.0
181	C 区	牛伏砂岩	18.2	16.1		1,210.0
182	C 区	緑色片岩	22.7	22.5		3,530.0
183	C 区	牛伏砂岩	24.0	18.5		2,400.0
184	34 住	牛伏砂岩	31.0	18.0		3,600.0
185	34 住	牛伏砂岩	17.2	14.3		3,130.0
186	47 住	牛伏砂岩	13.2	12.6		920.0
187	63 住	牛伏砂岩	18.0	11.5		1,400.0
188	C 区	牛伏砂岩	21.6	9.2		1,940.0

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
189	A 区	牛伏砂岩	16.5	14.0		1,780.0
190	7 堀	牛伏砂岩	18.7	12.7		1,560.0
191	B 区	牛伏砂岩	18.4	9.9		1,490.0
192	B 区	牛伏砂岩	15.3	12.5		1,350.0
193	B 区	牛伏砂岩	18.5	13.0		1,300.0
194	C 区	黒色片岩	32.4	15.3		2,670.0
195	F 区	雲母石英片岩	19.4	14.5		3,430.0
196	C 区	牛伏砂岩	11.0	15.0		1,180.0
197	E 区	牛伏砂岩	8.6	14.1		920.0
198	B 区	牛伏砂岩	12.7	17.2		960.0

表45 遺構外出土石皿計測表

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	1 堀	牛伏砂岩	45.3	30.0	12.0	15,700.0
2	C 区	牛伏砂岩	25.5	30.3	7.2	7,200.0
3	E 区	牛伏砂岩	22.2	30.8	8.0	5,150.0
4	C 区	牛伏砂岩	21.2	27.0	9.2	6,600.0
5	C 区	牛伏砂岩	21.5	21.5	11.0	4,600.0
6	C 区	粗輝安山岩	29.8	14.3	8.3	6,000.0
7	E 区	牛伏砂岩	22.7	21.2	4.2	2,500.0
8	C 区	牛伏砂岩	25.3	23.6	7.2	4,300.0
9	C 区	緑色片岩	17.3	24.5	6.0	3,810.0
10	C 区	牛伏砂岩	27.8	23.0	6.7	3,900.0
11	C 区	緑色片岩	21.2	16.5	3.8	2,570.0
12	C 区	牛伏砂岩	32.7	24.7		5,800.0
13	C 区	牛伏砂岩	33.8	29.3	12.5	15,100.0
14	C 区	緑色片岩	11.0	23.0	4.0	1,730.0
15	C 区	牛伏砂岩	12.5	21.1	9.5	2,680.0
16	C 区	牛伏砂岩	25.6	27.2		5,900.0
17	C 区	牛伏砂岩	13.6	20.0	4.0	1,500.0
18	C 区	牛伏砂岩	27.4	24.0		5,750.0
19	C 区	牛伏砂岩	24.0	17.0	8.8	3,270.0
20	C 区	牛伏砂岩	30.9	32.7	8.7	8,500.0
21	B 区	牛伏砂岩	22.8	17.5	7.0	2,200.0
22	B 区	緑色片岩	25.5	16.4	4.0	1,760.0
23	H 区	牛伏砂岩	19.3	23.0	5.3	2,100.0
24	C 区	黒色片岩	35.8	11.8	4.7	2,830.0
25	C 区	黒色片岩	20.5	13.4	3.7	1,270.0
26	1 堀	牛伏砂岩	18.4	17.4		2,330.0
27	C 区	緑色片岩	24.5	14.5	4.3	1,460.0
28	C 区	牛伏砂岩	23.5	17.3		2,350.0
29	H 区	粗輝安山岩	13.0	17.6	6.7	1,100.0
30	C 区	牛伏砂岩	18.2	13.0	4.4	920.0
31	B 区	緑色片岩	28.3	17.2	4.5	3,430.0
32	C 区	砂 岩	12.0	13.5	6.0	1,020.0
33	C 区	粗輝安山岩	16.0	10.2	7.7	570.0
34	C 区	粗輝安山岩	11.1	7.5	7.0	570.0
35	C 区	牛伏砂岩	18.0	10.4	5.2	1,030.0

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
36	C 区	牛伏砂岩	12.0	9.7	8.4	1,030.0
37	B 区	緑色片岩	22.1	19.5	4.7	2,530.0
38	1 堀	牛伏砂岩	11.2	10.5	5.7	640.0
39	C 区	牛伏砂岩	15.7	9.4	8.7	1,220.0
40	J 区	粗輝安山岩	8.4	6.8	4.6	230.0
41	A 区	牛伏砂岩	8.5	13.0	4.1	390.0
42	C 区	粗輝安山岩	10.0	7.5	6.8	580.0
43	C 区	牛伏砂岩	9.2	9.0	8.0	580.0
44	C 区	牛伏砂岩	16.8	10.2		1,640.0
45	C 区	緑色片岩	9.4	10.7	3.8	400.0
46	C 区	牛伏砂岩	23.0	21.8	5.7	2,730.0
47	C 区	粗輝安山岩	23.7	19.8	9.8	6,500.0
48	C 区	牛伏砂岩	23.5	14.5	5.7	1,760.0
49	7 堀	粗輝安山岩	11.6	14.8	7.5	1,260.0
50	2 堀	緑色片岩	25.2	12.2	6.3	2,860.0
51	C 区	粗輝安山岩	11.6	6.8	4.3	250.0
52	C 区	黒色片岩	18.5	13.2	6.7	2,410.0
53	7 堀	緑色片岩	18.0	10.1	4.6	1,040.0
54	C 区	黒色片岩	31.5	9.5	5.4	1,780.0
55	C 区	牛伏砂岩	18.3	18.7	5.3	1,870.0
56	C 区	緑色片岩	19.3	17.5	4.2	1,580.0
57	C 区	粗輝安山岩	18.7	11.5	5.0	620.0
58	C 区	牛伏砂岩	11.3	11.2	3.4	460.0
59	C 区	牛伏砂岩	11.8	14.6	4.5	870.0
60	B 区	牛伏砂岩	24.3	17.5	7.5	3,220.0
61	A 区	黒色片岩	18.5	11.5	3.5	1,130.0
62	C 区	粗輝安山岩	5.8	10.4	4.7	210.0
63	A 区	牛伏砂岩	10.8	9.9	5.4	675.0
64	A 区	粗輝安山岩	15.0	8.0	3.2	880.0
65	C 区	変質安山岩	27.5	25.8	5.5	5,150.0
66	A 区	緑色片岩	15.6	15.0	3.7	1,150.0
67	C 区	砂 岩	10.3	6.2	1.8	140.0

表46 遺構外出土石棒計測表

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	1 堀	緑色片岩	80.5	9.5	11.6	13,750.0
2	C 区	デイサイト	14.3	11.1	9.6	1,550.0

No.	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
3	1 堀	デイサイト	10.0		7.0	650.0
4	B 区	変質安山岩	19.8		10.0	3,000.0

土・石製品

出土した土製品には、ミニチュア土器、粘土塊、土偶、耳飾り等があり、石製品には岩偶、未製品を含む扶状耳飾り、玉類を含め垂れ飾り、形を整えた擦り石等が多くみられる。これらのほとんどが、C区の包含層中から出土したものであり、時期の特定はできないものの、多くが縄文時代に伴うものと考えられることから、本項で扱うこととした。

ミニチュア土器類 (第409図 1～8 表47)

1は深鉢形を呈するもので、上げ底となり、口端部に4個の隆帯を貼付する。2は底部が平底となり、胴部が大きくくびれ、口縁部が朝顔状に開く器形となるものである。3は丸底となり、頸部がくびれる器形を呈する。4は底部のみの破片で、丸底となるもの。5・6は浅鉢の器形を呈するが、5は平底となり、6の底部形状は不明である。7は土器の把手とも考えられるが、ここではスプーン状の土製品として扱う。スプーンの匙の部分であり、全体に研磨が施されている。柄の部分の形状については不明。8はスタンプ状の土製品となるものである。

粘土塊 (第409図 9 表47)

煎餅状の円形に近い、厚みのないものであり、表裏両面に植物の繊維痕がみられる。

土偶 (第410図 1・2 表48)

出土した土偶は、2点だけである。1は頭部、左腕、右肩部、腹部下半を欠くもので、残存するのは腹部上半の5cm程である。赤褐色を呈し、胸部に乳房をもち、表面は丁寧に研磨されている。時期は不明。2は、肩から腕の部分である。1と2は、おそらく同時期のものと考えられるが、同一個体ではない。

岩偶 (第410図 3・4 表48)

出土した岩偶は2点であるが、共に完形品である。3は牛伏砂岩を石材とし、高さ10.4cm、肩部の幅3.9cm、腰部の幅4.3cm、最大厚3.2cmを計り、頭部がやや小さく、胴部がくびれるもので、丁寧に研磨が施されている。頭部と肩部の境となる頸部には、1条の沈線状の刻線が巡る。前期後半から中期初頭にかけての所産によるものと考えられるが、時期は不明。4は牛伏砂岩を石材とし、高さ7.6cm、肩部の幅2.8cm、腰部の幅3.5cm、最大厚1.5cmを計り、偏平な素材の両側をえぐる様に研磨を施すことで頸部と胴部のくびれを作り出し、下端部にも同様な研磨で両脚を作り出している。全体的に1より小振りで、研磨もやや粗い。1と同時期のものと考えられるが、時期は不明である。

なお、3については、「群馬文化」220号(1989)で、諸磯b式に伴うものとして藤巻幸男氏が紹介したも

のである。

土製耳飾り (第411図1 表49)

出土した土製耳飾りは、1点だけである。径が3.4cm程のもので、中央に孔を有し、表裏面が大きくくぼむ。側面は垂直である。

挾状耳飾り (第411図2～5 表49)

出土した挾状耳飾りは4点であるが、製作途中の未製品も含まれている。2は砂岩を石材に、円盤状に研磨し、中央に孔をもつもので、下端部は擦り切っている。3は滑石を石材に、円盤状に研磨し、中央に孔をもつもので、現存部での擦り切り部は見あたらない。4は砂岩を石材に、円盤状に研磨し、中央に孔をもつもので、下端部は擦り切っているが、切れてはいない未製品である。5は滑石を石材に、円盤状に研磨し、中央に孔をもつもので、下端部の擦り切部の破片である。

玉・垂れ飾り類 (第411・412図6～33 表49)

ここで扱う玉・垂れ飾り類としたものは、孔を有するものを指している。大別すると、挾状耳飾りからの転用と考えられるものⅠ類、玉状のものⅡ類、管玉状のものⅢ類、縦長状のものⅣ類、円盤状のものⅤ類に分別することができる。

Ⅰ類 6・7は挾状耳飾りを転用したものと考えられ、6は変質蛇紋岩を石材とし、孔を有するもの。7は蛇紋岩を石材とし、孔を有するものである。

Ⅱ類 玉状のもので、8～10・28～30をこの類とする。これらの孔は、大方表裏両面から穿孔されている。8は滑石を石材とし、径1.3cm、厚さ0.6cm程の円形を呈し、孔を有する。9は滑石を石材とし、径2.4cm、厚さ1.2cm程の円形を呈し、孔を有する。10は泥岩を石材とし、径2.2cm、厚さ0.7cm程の円形を呈し、孔を有する。28は、図では挾状耳飾りにみえるが、これは欠損しているため、下端部への擦り切りは認められない。滑石を石材とし、縦1.9cm、横2.3cm、厚さ0.3cm程の方形を呈し薄く、孔を有する。29は滑石を石材とし、径2.2cm、厚さ0.8cm程の円形を呈し、孔を有する。30は滑石を石材とし、径2.5cm、厚さ0.6cm程の円形を呈し、裏面がくぼみ、孔を有する。

Ⅲ類 管状に長いもので、11～13をこの類とする。これらは、いずれも欠損品である。11は滑石を石材とし、径1.0cmで、孔を有する。12は葉ろう石を石材とし、径1.2cmで、孔を有する。13は葉ろう石を石材とし、径1.3cmで、孔を有する。

Ⅳ類 縦長となるもので、15～24・31・32をこの類とした。これらは、長方形状となるものと、三角形状となるものとの2タイプがあり、側縁に切り込み状の刻線を有するものもある。長方形状を呈するものには、16・18・20・21・23・24・31・32が上げられ、16・31の上部側面には刻線を有する。全体に丁寧な研磨が施され、長軸方向上部に孔を有するものが多いが、20・21のように中央部に孔を有するものもある。また24のように、下端部が尖るものもみられる。三角形状を呈するものには、15・17・19・22が上げられ、15の上部側面には刻線を有する。全体に丁寧な研磨が施され、長軸方向上部に孔を有するものが多い。

Ⅴ類 円盤状を呈するもので、14・25～27・33をこの類とした。25はやや楕円状となるもので、長軸上部に孔を有しているが、それ以外は中央部に位置する。26・27は未製品と考えられるもので、穿孔していないものである。14については、挾状耳飾りとして扱うべきものと考えられるが、挾状となる擦り切り部が確認

できないことと、表面にX字状の刻線を有することから本類に含めた。

土製円盤（第413図1～5 表50）

土器の胴部破片を利用したもので、周縁を擦り込んで円形に形状を整えたものである。

石製円盤（第413図6～17 表50）

砂岩を石材としたものがほとんどで、表裏面および周縁を研磨し、円形に形状を整えたものである。それ以外の加工は施されていない。

その他の石製品類（第414～420図 表51～53）

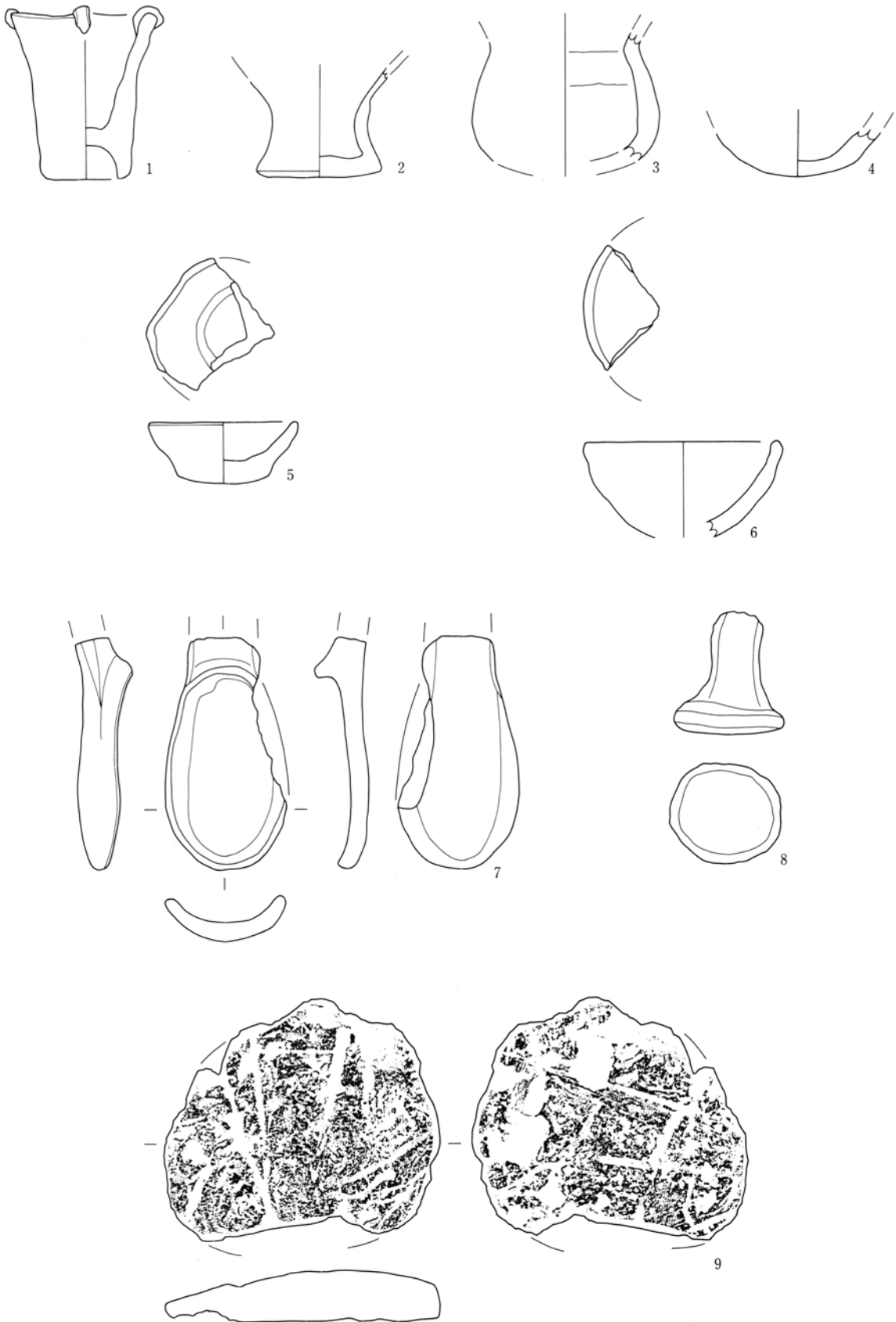
ここで扱う石製品としたものについては、次のように大別できる。

I類（第414～416図1～23） 全体に丁寧な研磨が施されるもので、その形状が比較的整っているものである。形状としては、長方形を呈するもの、楕円状を呈するもの、三角形状を呈するもの、さらに棒状を呈するものがある。これらの内、1・2のように側縁部に刻線で側縁の装飾をつものや、3のように上部に刻線を巡らせるもの、5のような周縁部に刻線を巡らせるものなどがある。また、10のように下端部を大きくえぐるように研磨しているものもあり、岩偶の下半部に近いとも思われるものもある。4については、垂れ飾りの下端部と考えることもできようが、とりあえずこの類に含めた。20は、棒状に研磨した片面を、さらに平に研磨が施されている。これらの石材には、細輝安山岩、流紋岩、緑色片岩が各1点で、牛伏砂岩・砂岩が多く使用されており、地元で産出する石材であるとともに、加工のしやすさという点で、多用されているものと考えられよう。但し、いずれのものもその時期については、前期後半とおもわれるが不明である。

II類（第417・418図1～16） 表面に大きくくぼみをもつものである。これらの石材のほとんどが、牛伏砂岩によるものであり、拳大ほどの大きさの素材を用いて、片面に研磨による大きなくぼみをもつ。一見、小形の石皿のようにも見えるが、くぼみの形状から石皿とは異なるものと考えこの類とした。12・13の周縁部には、やや太めの刻線が施されている。

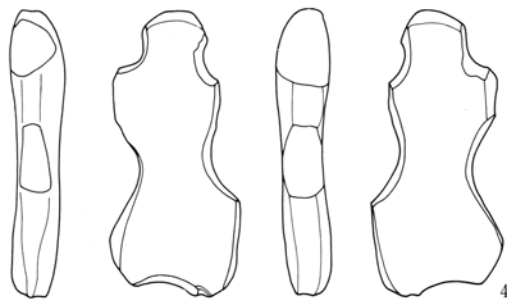
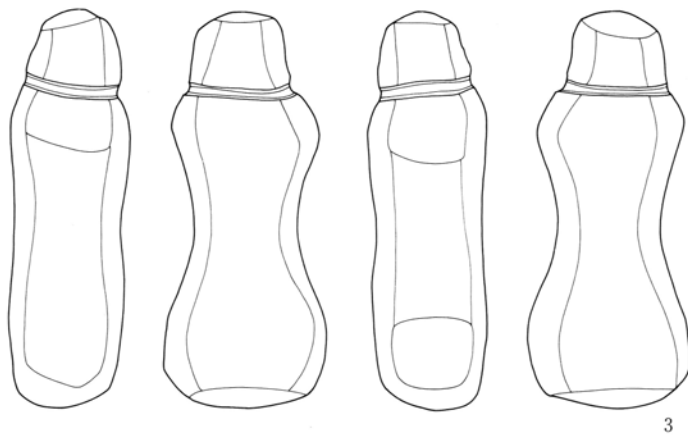
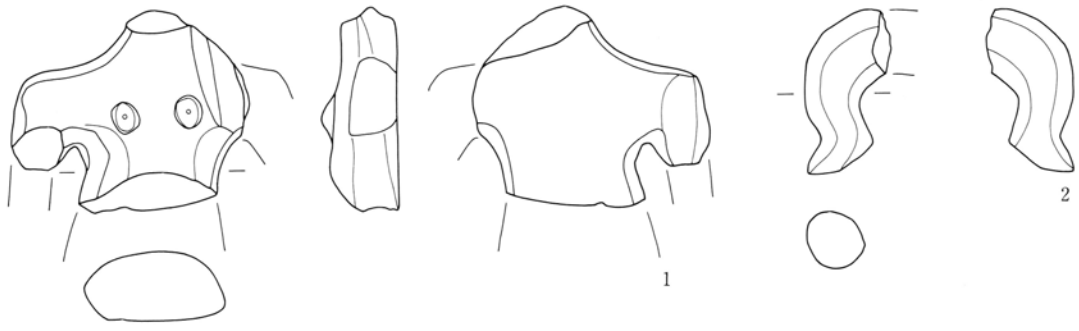
III類（第418～420図1～33） 片面ないし両面に溝状の擦り痕をもつもので、これらは一見矢柄研磨器のようにも見えるが、施されている溝は素材となる石の両端部にまで達しておらず、比較的浅いものや、交差するものが目につく。この種の石器の類例は、鎭川流域のいくつかの遺跡に散見できるが、群馬県内全体では多くはない。素材となる石の大きさは、大小様々で、硬質泥岩や牛伏砂岩・砂岩が石材として用いられ、砂岩系の石材が最も多く用いられている。また、4や15に代表されるように、凹石のようなくぼみを併せもつものもあり、時期的には縄文時代のものと考えられる。しかし、その用途等については、不明である。

第3章 検出された遺構と遺物



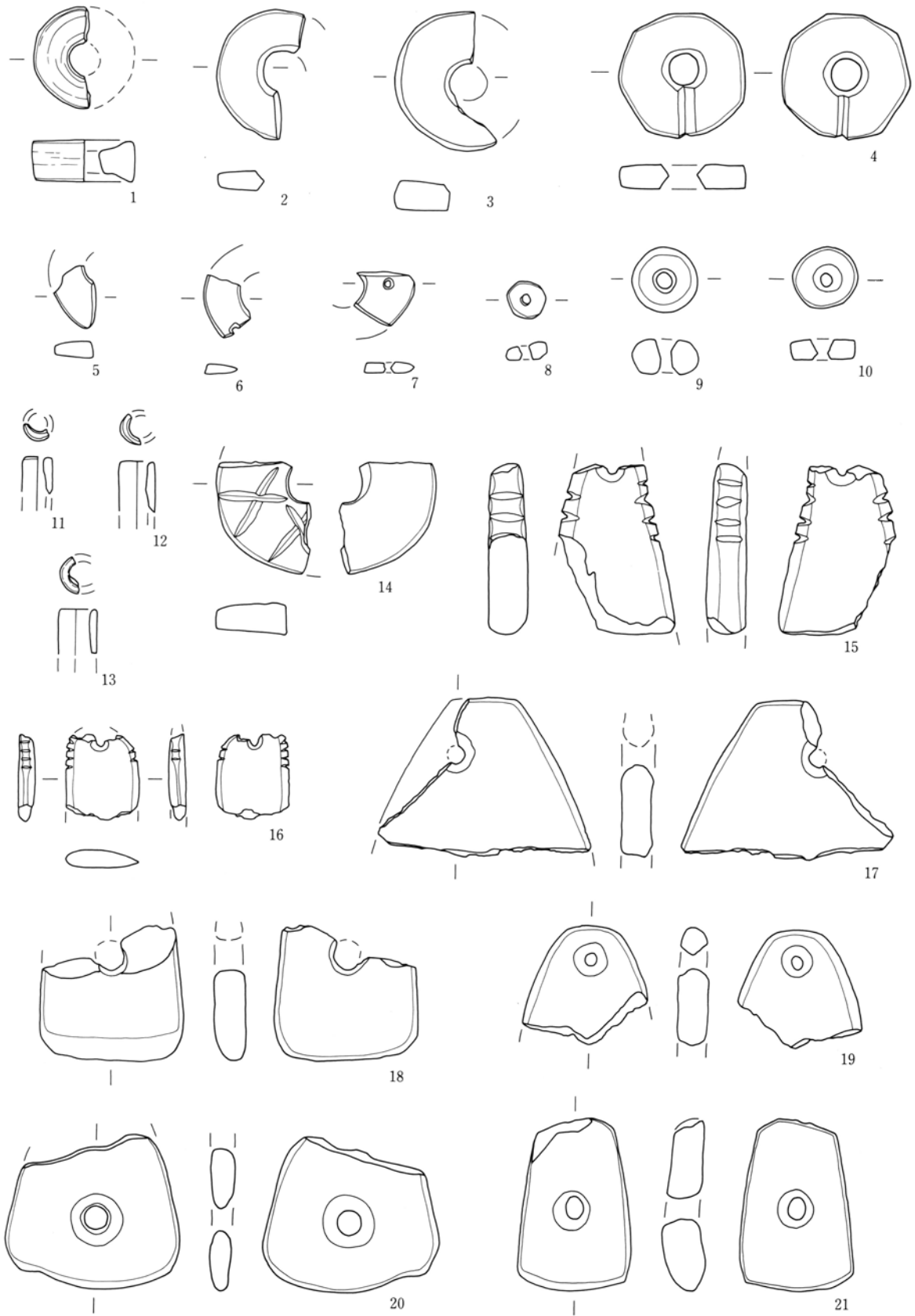
第409図 遺構外出土遺物 ミニチュア土器・土製品

S=1/2



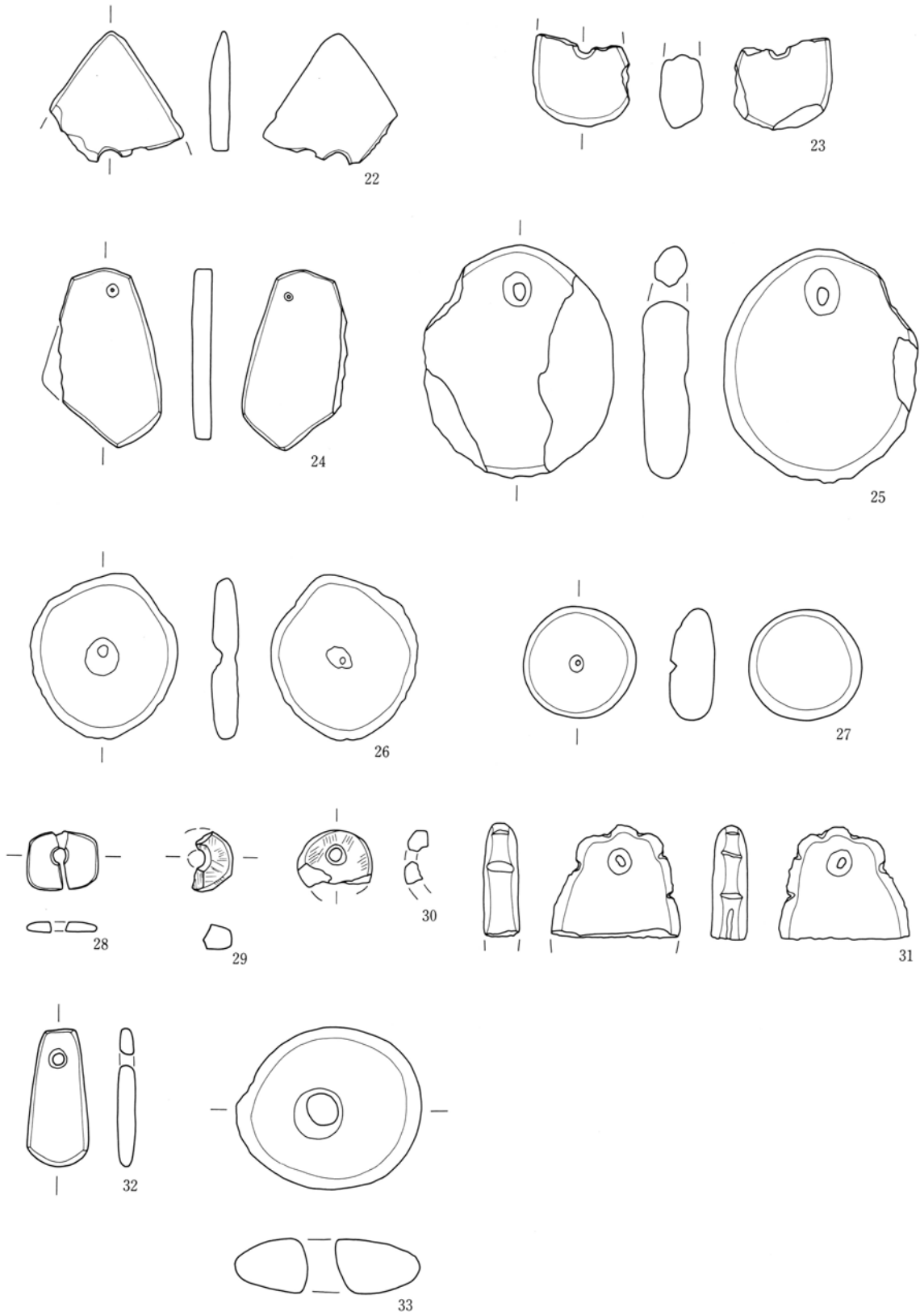
S=1/2

第410図 遺構外出土遺物 土偶・岩偶



S=1/2

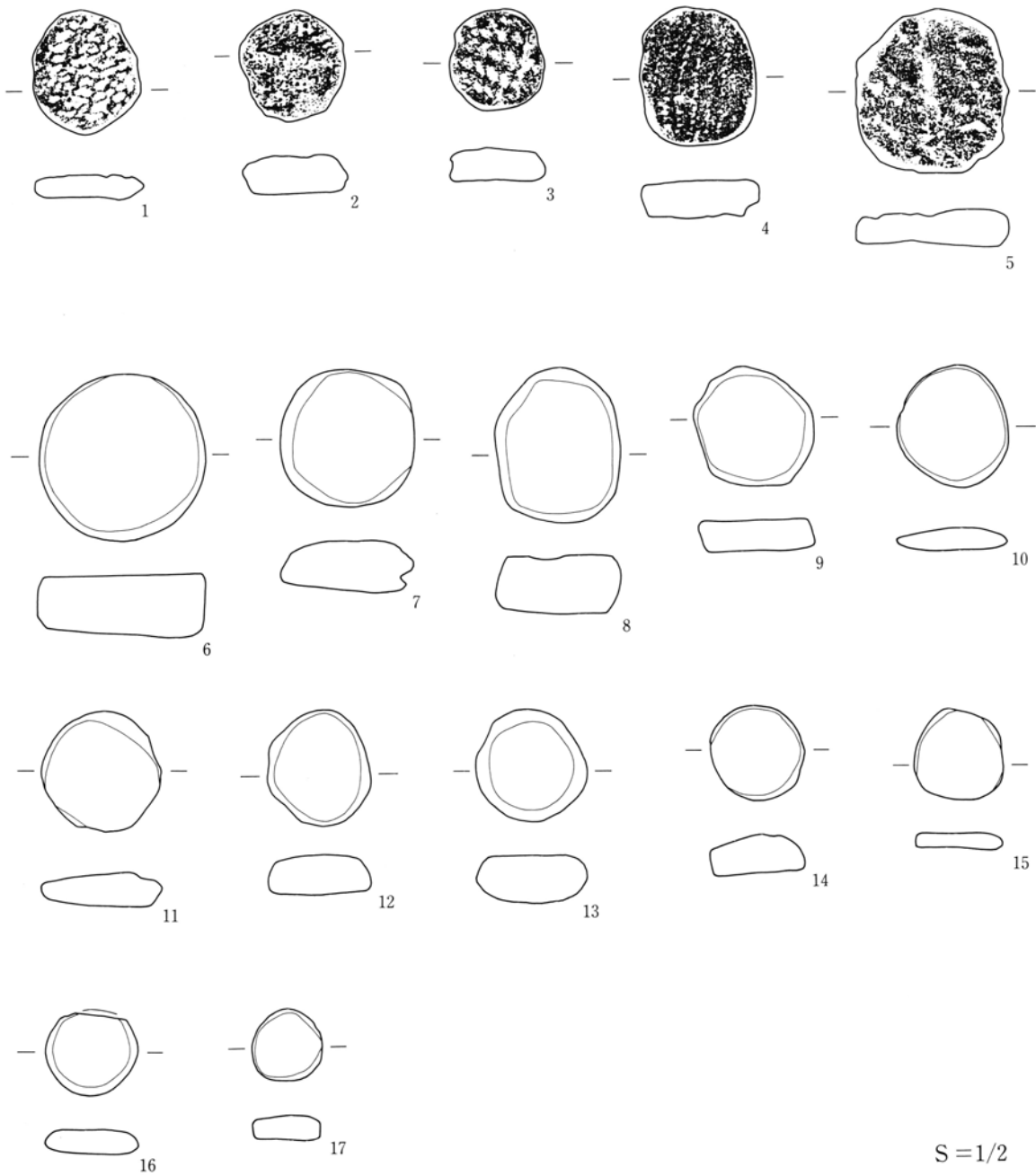
第411図 遺構外出土遺物 耳飾り・玉・垂飾り



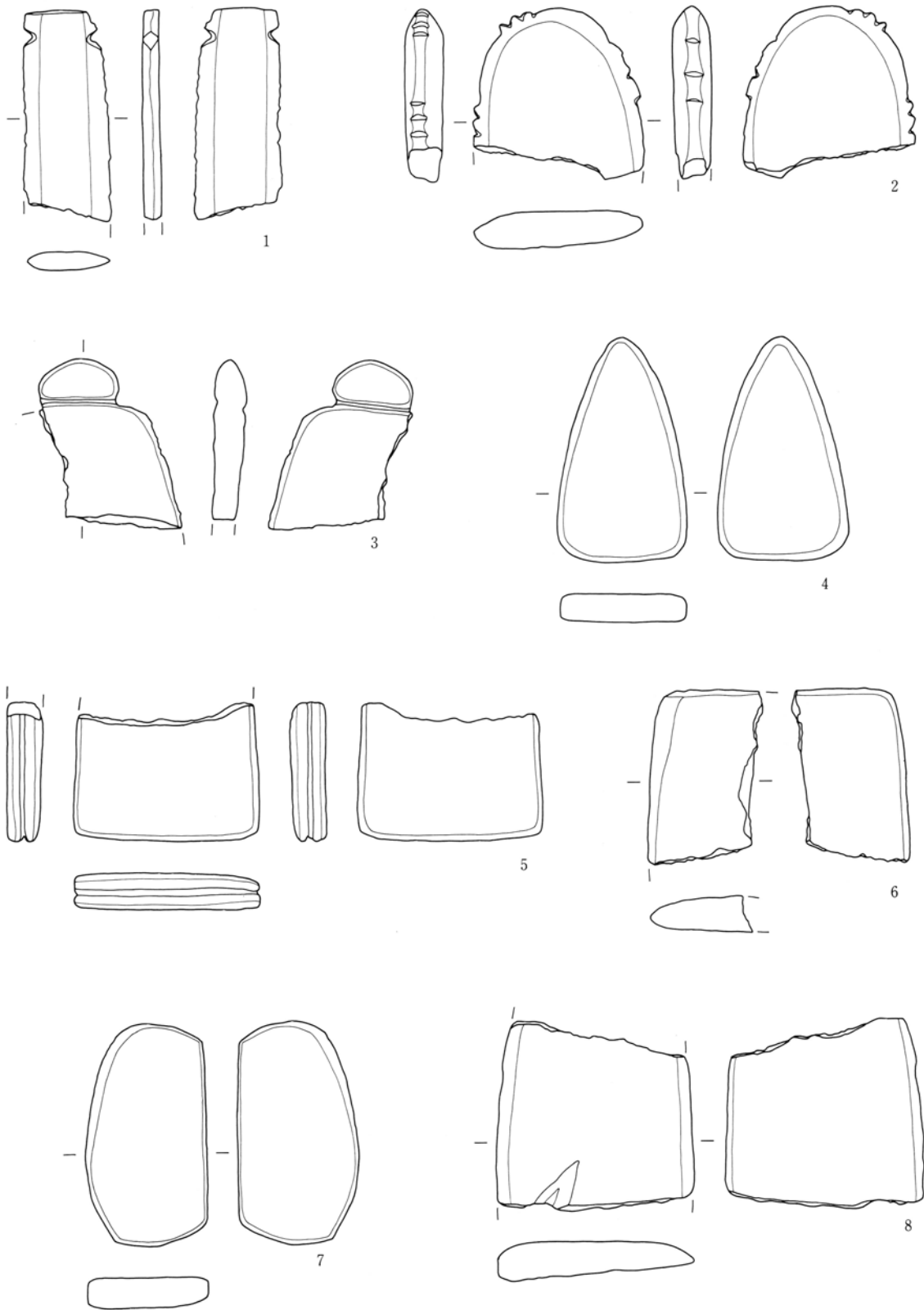
S=1/2

第412図 遺構外出土遺物 垂飾り

第3章 検出された遺構と遺物



第413図 遺構外出土遺物 土製・石製円盤



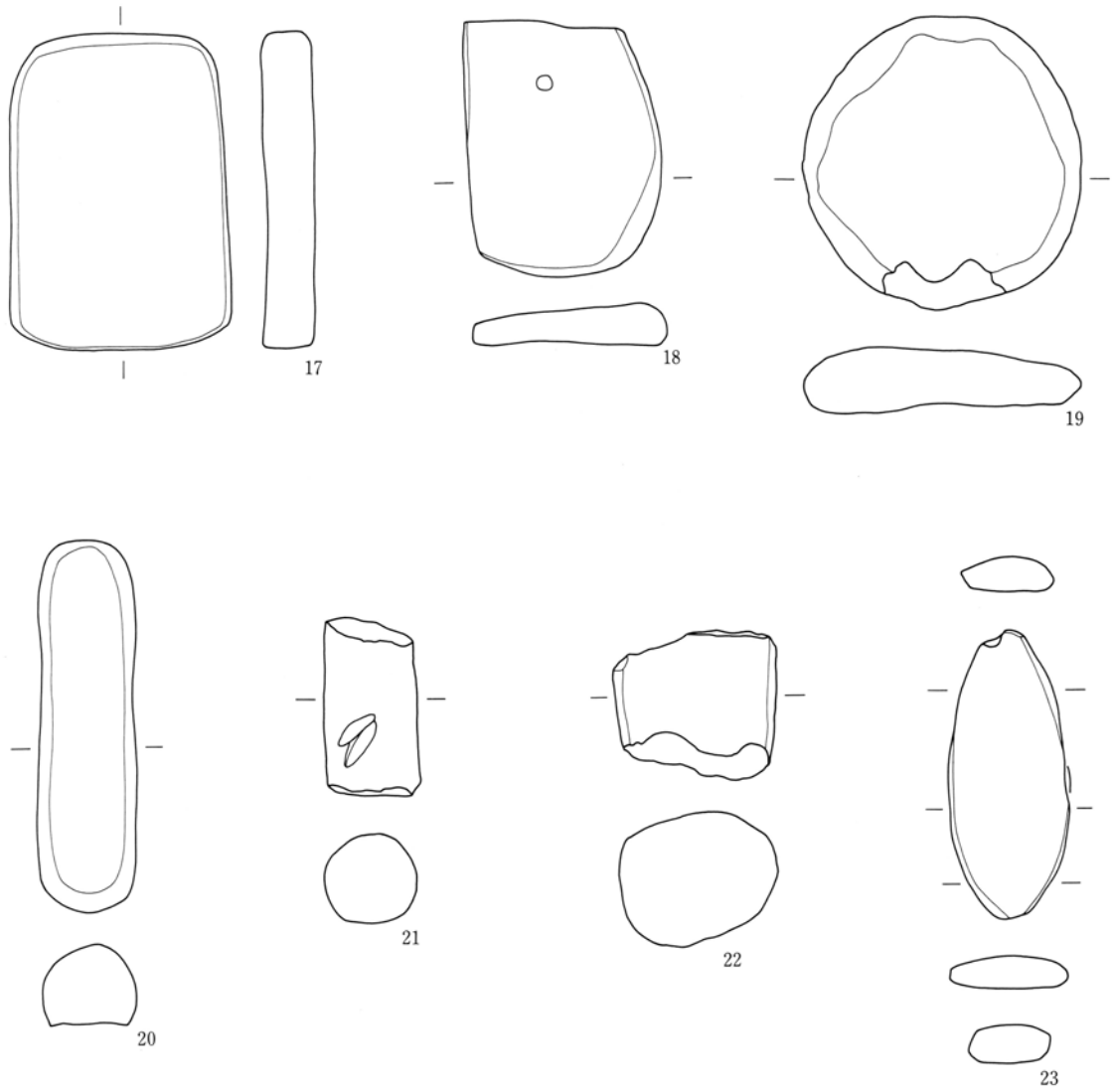
S=1/2

第414図 遺構外出土遺物 石製品(1)



S=1/2

第415図 遺構外出土遺物 石製品(2)



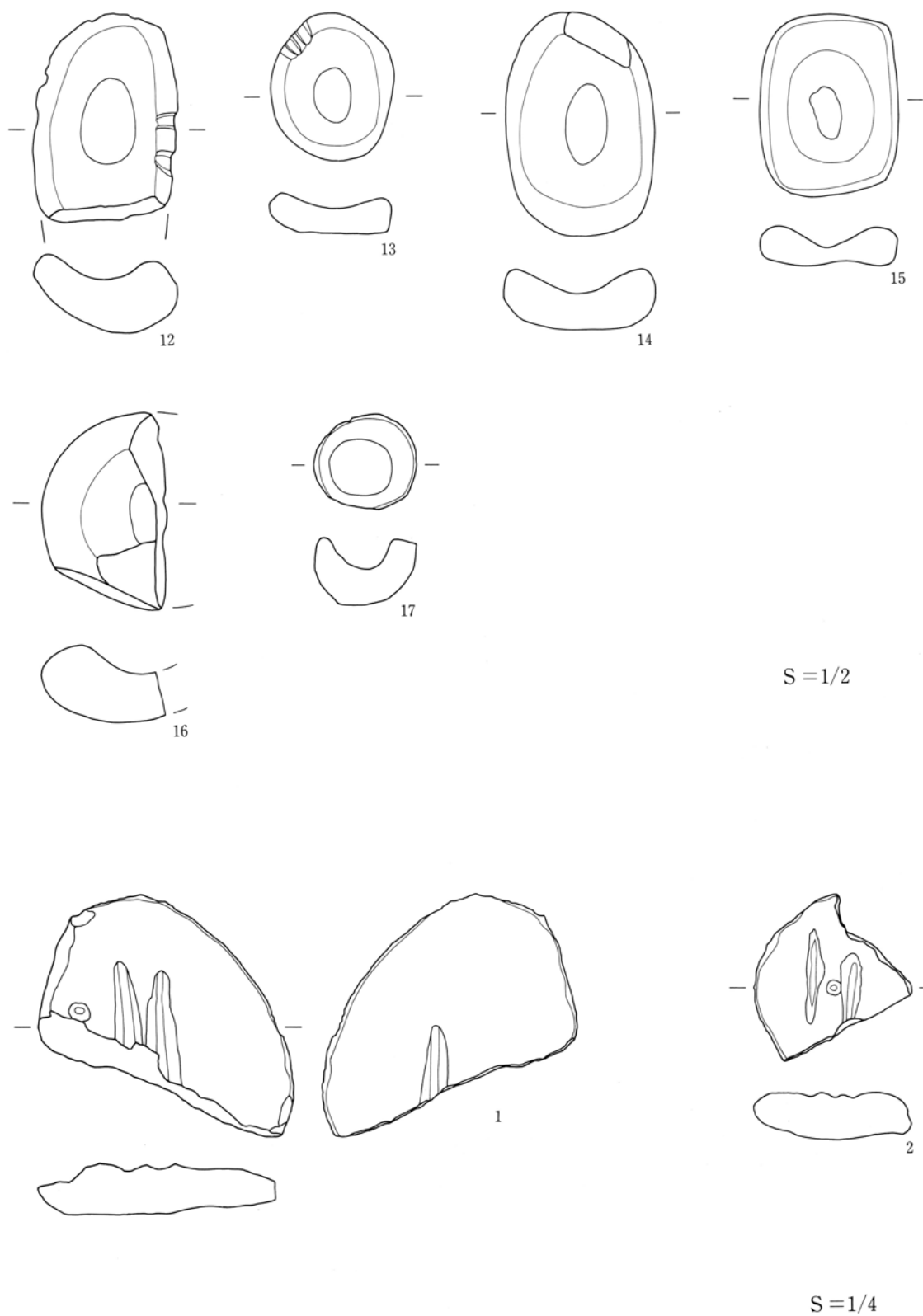
S=1/2

第416図 遺構外出土遺物 石製品(3)

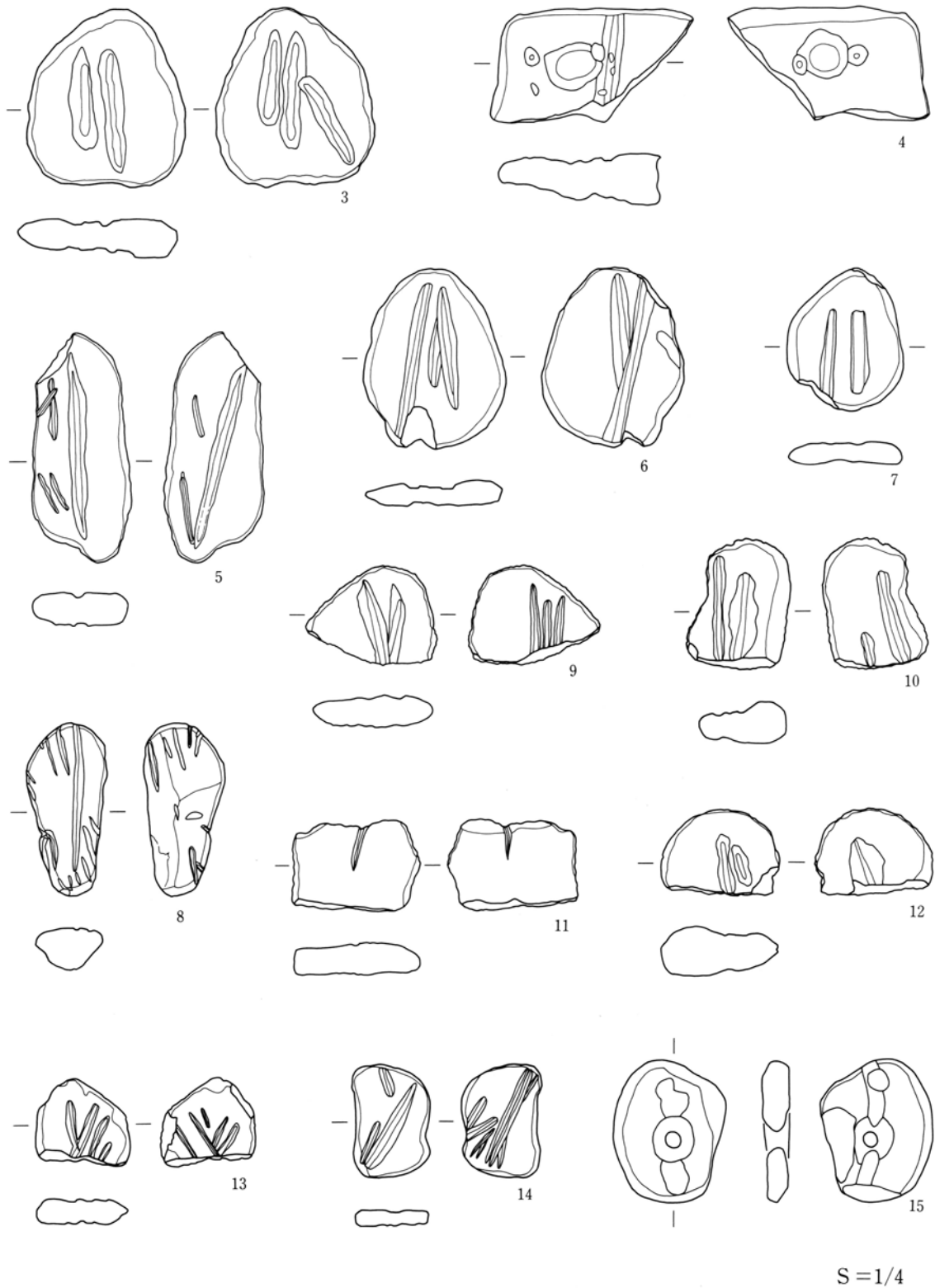


S=1/2

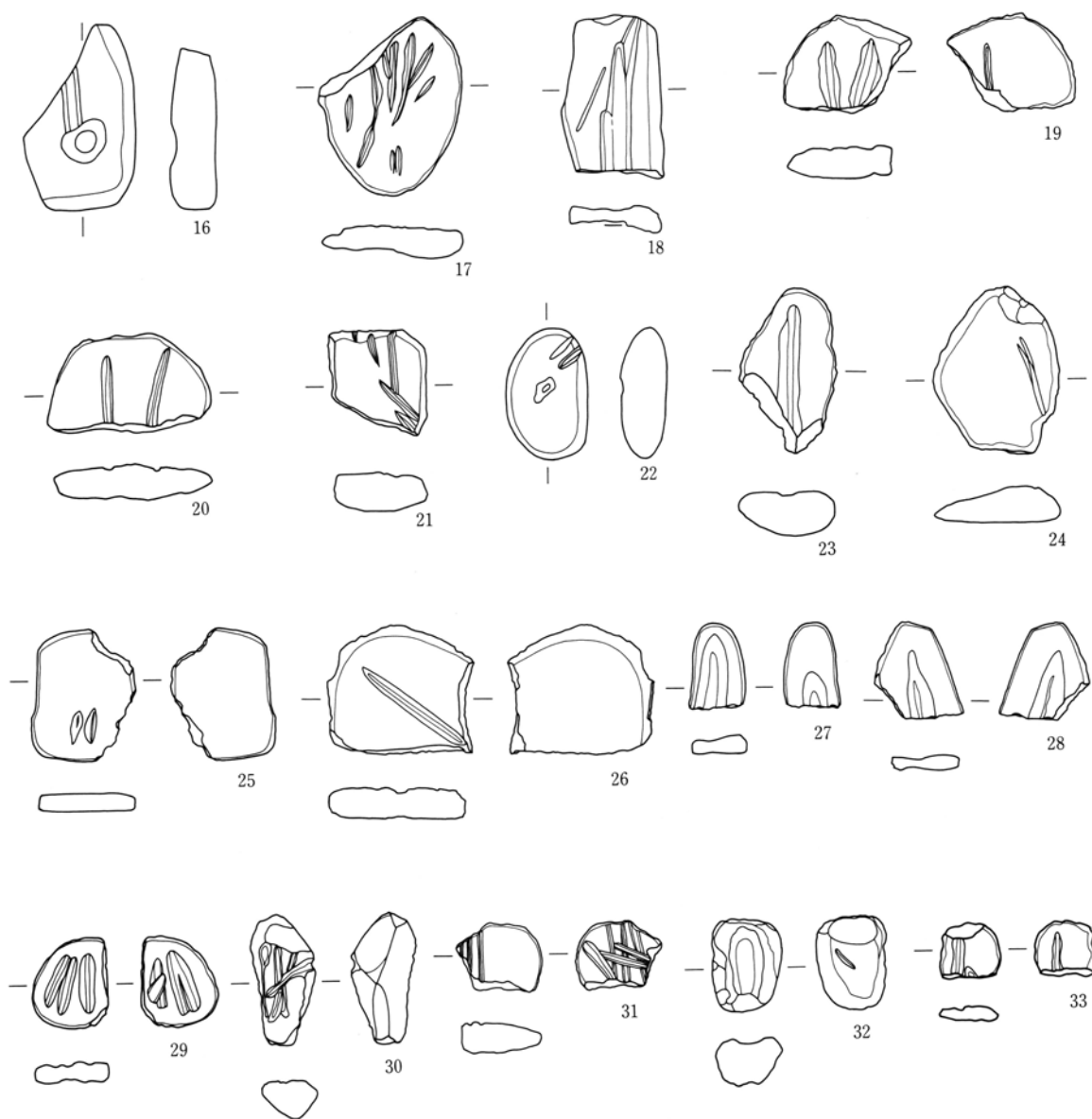
第417図 遺構外出土遺物 石製品(4)



第418図 遺構外出土遺物 石製品 (5)



第419図 遺構外出土遺物 石製品(6)



S=1/4

第420図 遺構外出土遺物 石製品(7)

表47 遺構外出土ミニチュア土器計測表

No.	出土位置	材質	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	C 区	土製	5.8	5.4	3.1	33.8
2	C 区	土製	3.7	—	4.2	38.0
3	C 区	土製	4.3	—	—	22.2
4	C 区	土製	2.1	—	—	26.0
5	C 区	土製	2.1	5.1	3.0	12.7

No.	出土位置	材質	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
6	C 区	土製	3.3	6.5	—	11.9
7	66 住	土製	7.8	4.0	1.9	32.2
8	C 区	土製	4.2	3.8	—	29.1
9	C 区	土製	8.2	9.3	1.7	119.4

第3章 検出された遺構と遺物

表48 遺構外出土土・岩偶計測表

No	出土位置	材 質	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	C 区	土 製	5.3	6.4	2.0	53.3
2	C 区	土 製	4.3	-	-	13.8

No	出土位置	材 質	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
3	C 区	牛伏砂岩	10.5	4.3	3.1	157.0
4	C 区	牛伏砂岩	7.6	3.5	1.4	34.3

表49 遺構外出土耳飾り・玉・垂飾り計測表

No	出土位置	材 質	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	C 区	土 製	3.5	2.0	1.5	8.5
2	C 区	砂 岩	4.5	3.0	0.7	8.0
3	B 区	滑 石	4.7	3.4	1.0	15.4
4	C 区	砂 岩	4.2	4.3	0.9	15.4
5	C 区	滑 石	2.1	1.5	0.5	1.9
6	C 区	変質蛇紋岩	2.1	1.3	0.3	1.2
7	C 区	蛇 紋 岩	1.4	1.7	0.4	1.9
8	H 区	滑 石	1.3	1.3	0.6	1.3
9	A 区	滑 石	2.2	2.2	1.2	9.1
10	C 区	泥 岩	2.0	2.2	0.7	3.9
11	C 区	滑 石	1.2	-	-	0.6
12	A 区	葉 ろ う 石	1.7	-	-	0.7
13	C 区	葉 ろ う 石	1.5	-	-	1.1
14	H 区	砂 岩	3.8	3.2	1.1	13.4
15	C 区	デイ質凝灰岩	5.7	4.0	1.4	31.7
16	C 区	滑 石	2.9	2.0	0.6	6.4
17	C 区	砂 岩	5.4	7.2	1.1	35.9

No	出土位置	材 質	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
18	E 区	砂 岩	4.6	4.9	1.0	27.3
19	C 区	砂 岩	4.0	4.2	1.0	17.2
20	C 区	砂 岩	5.2	6.0	0.8	28.8
21	1 古墳	砂 岩	5.8	3.9	1.6	35.0
22	H 区	砂 岩	4.3	4.5	0.7	12.0
23	24 住	砂 岩	3.0	3.2	1.5	15.8
24	A 区	砂 岩	5.9	3.4	0.6	16.3
25	C 区	砂 岩	7.7	6.3	1.6	80.6
26	C 区	砂 岩	5.4	4.9	0.9	27.4
27	C 区	砂 岩	3.7	3.7	1.5	23.0
28	C 区	滑 石	2.0	2.3	0.4	2.4
29	E 区	滑 石	2.0	1.3	0.8	3.0
30	C 区	滑 石	1.8	2.5	0.9	4.7
31	C 区	砂 岩	3.7	4.3	1.2	21.9
32	C 区	蛇 紋 岩	4.5	2.0	0.6	8.7
33	C 区	滑 石	5.3	6.1	1.8	64.5

表50 遺構外出土土・石製円盤計測表

No	出土位置	材 質	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	C 区	土 製	3.6	3.2	0.7	9.0
2	C 区	土 製	3.3	3.1	1.1	13.3
3	C 区	土 製	3.0	2.8	0.9	9.4
4	A 区	土 製	4.1	3.5	1.1	18.9
5	C 区	土 製	4.8	4.5	1.1	26.7
6	C 区	砂 岩	5.0	4.9	1.8	66.2
7	C 区	雲母石英片岩	4.0	4.0	1.5	40.0
8	C 区	砂 岩	4.5	3.7	1.7	32.0
9	6 堀	砂 岩	3.5	3.6	0.9	14.1

No	出土位置	材 質	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
10	C 区	砂 岩	3.6	3.3	0.6	8.7
11	26 住	砂 岩	3.6	3.6	1.0	13.3
12	C 区	デイ質凝灰岩	3.5	3.1	1.2	12.3
13	C 区	砂 岩	3.3	3.2	1.4	16.0
14	C 区	砂 岩	2.8	2.8	1.1	10.2
15	C 区	砂 岩	2.7	2.6	0.5	4.7
16	C 区	砂 岩	2.5	2.7	0.7	5.9
17	C 区	砂 岩	2.1	2.1	0.8	3.9

表51 遺構外出土石製品I類計測表

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	E 区	細輝安山岩	6.8	2.9	0.6	14.2
2	E 区	砂 岩	5.5	5.6	1.3	39.9
3	C 区	砂 岩	5.5	4.7	1.1	24.6
4	C 区	砂 岩	7.3	4.3	1.2	41.5
5	C 区	砂 岩	4.5	6.0	1.2	40.1
6	C 区	砂 岩	5.7	3.8	1.2	28.2
7	C 区	砂 岩	7.2	3.9	1.0	43.5
8	C 区	砂 岩	6.1	6.5	1.4	66.9
9	C 区	牛伏砂岩	7.1	6.8	1.5	92.6
10	C 区	砂 岩	5.7	4.1	0.8	23.8
11	C 区	砂 岩	7.3	4.6	1.2	50.1
12	C 区	砂 岩	4.8	2.9	0.9	12.9

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
13	D 区	牛伏砂岩	9.1	5.5	1.5	80.0
14	C 区	砂 岩	10.5	6.0	1.1	80.0
15	C 区	砂 岩	7.7	3.7	1.1	40.0
16	C 区	牛伏砂岩	10.3	6.0	1.0	60.0
17	1 堀	砂 岩	8.6	5.8	1.4	125.0
18	C 区	牛伏砂岩	6.8	5.2	1.0	—
19	C 区	牛伏砂岩	7.8	7.5	1.8	110.0
20	C 区	砂 岩	9.9	2.7	2.1	60.0
21	C 区	砂 岩	4.8	2.2	2.4	40.0
22	C 区	流 紋 岩	3.9	4.5	3.6	70.0
23	C 区	緑 色 片 岩	7.8	3.3	0.9	30.0

表52 遺構外出土石製品II類計測表

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	C 区	牛伏砂岩	9.5	8.0	2.7	220.0
2	C 区	牛伏砂岩	10.6	9.4	2.7	300.0
3	C 区	牛伏砂岩	9.6	7.0	3.0	260.0
4	C 区	牛伏砂岩	6.2	6.0	3.8	150.0
5	C 区	泥 岩	6.6	6.7	3.1	110.0
6	C 区	砂 岩	7.9	6.3	1.0	60.0
7	C 区	砂 岩	8.3	5.7	3.2	200.0
8	C 区	砂 岩	4.1	5.8	2.1	55.0
9	C 区	砂 岩	5.2	10.0	2.1	40.0

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
10	C 区	砂 岩	6.4	3.2	2.8	50.0
11	C 区	砂 岩	7.0	6.5	1.6	80.0
12	C 区	牛伏砂岩	6.6	4.6	2.1	75.7
13	C 区	砂 岩	4.3	4.0	1.1	24.5
14	C 区	砂 岩	7.2	4.8	1.9	65.8
15	C 区	砂 岩	5.9	4.5	1.2	41.0
16	C 区	砂 岩	6.4	4.0	2.3	58.7
17	C 区	牛伏砂岩	3.1	3.2	—	20.8

表53 遺構外出土石製品III類計測表

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	C 区	砂 岩	15.5	16.4	3.3	730.0
2	26 住	硬質泥岩	10.7	10.2	3.0	90.0
3	C 区	牛伏砂岩	11.4	10.3	2.5	300.0
4	C 区	砂 岩	7.3	13.1	3.3	280.0
5	C 区	牛伏砂岩	14.7	6.4	2.1	240.0
6	C 区	牛伏砂岩	11.6	9.2	1.6	180.0
7	C 区	砂 岩	9.1	7.4	1.3	100.0
8	C 区	砂 岩	10.1	5.2	2.6	130.0
9	C 区	砂 岩	6.4	8.5	2.1	100.0
10	C 区	牛伏砂岩	8.4	6.7	2.6	130.0
11	C 区	砂 岩	5.8	8.4	2.1	125.0
12	C 区	砂 岩	5.5	7.5	3.2	120.0
13	C 区	牛伏砂岩	5.6	6.0	1.7	60.0
14	C 区	牛伏砂岩	7.2	5.0	1.1	50.0
15	C 区	牛伏砂岩	9.1	7.3	1.8	110.0
16	C 区	牛伏砂岩	10.4	6.3	2.6	180.0
17	C 区	砂 岩	10.0	8.1	2.0	120.0

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
18	C 区	牛伏砂岩	9.2	5.8	1.5	75.0
19	C 区	砂 岩	5.4	7.5	1.8	70.0
20	C 区	牛伏砂岩	5.5	9.2	2.0	90.0
21	C 区	砂 岩	5.9	5.5	2.1	80.0
22	C 区	砂 岩	7.3	4.6	2.6	85.0
23	C 区	牛伏砂岩	9.2	5.5	2.6	110.0
24	C 区	牛伏砂岩	9.3	7.1	2.0	120.0
25	C 区	砂 岩	7.4	5.9	1.1	58.3
26	B 区	牛伏砂岩	7.2	8.3	1.8	132.0
27	C 区	砂 岩	4.8	3.3	1.0	17.8
28	C 区	砂 岩	5.4	4.1	1.1	28.2
29	C 区	砂 岩	5.1	4.3	1.3	25.0
30	C 区	砂 岩	7.3	3.6	2.1	40.0
31	C 区	砂 岩	3.9	4.8	1.8	30.0
32	C 区	砂 岩	5.3	3.9	2.5	60.0
33	C 区	砂 岩	3.1	3.5	0.9	5.0

第3節 弥生時代の遺構と遺物

本遺跡で検出された弥生時代の遺構は、住居跡3軒と77基を数える多くの土坑、さらには中央台地と西台地間の谷地部の遺物集中地点からなる。これらの遺構は、調査区の南側に位置する稲荷山の北斜面、ないしは稲荷山から延びる馬の背状の台地に分布している。この稲荷山一帯は、弥生時代中期の遺物散布地として周知の遺跡であると共に、同年に調査された本遺跡の西に隣接する神保富士塚遺跡（小野 1993）においても、本遺跡寄りの台地上に環状に配された26基の土坑が検出されている。つまり、稲荷山を中心とする周囲一帯が、弥生時代中期の遺跡地であるものと考えられる。

検出された各遺構は、弥生時代以降の古墳や中世城郭の築造、さらには近年までの耕作等により、その遺存状態は極めて悪く、出土した土器についても同様の状況である。本来は、かなり多くの遺構・遺物が存在していたものと推察できる。

1. 住居跡

検出された住居跡は、3軒である。先にも述べたように、他時期の遺構との重複等により、2軒ともに残存状態は悪い。

51号住居跡（第421図）

本住居跡は、西側台地のやや傾斜きつい北斜面にあり、1—87・88グリッドに位置し、50号住居跡の南東側にある。斜面地にある住居のため、住居の北側は調査できなかった。

平面形は、東西4.2mを測る隅丸の長方形を呈しているものと想定される。炉跡の位置から長軸方向は、南南東を示す可能性が高い。北斜面に位置するため、覆土は南側部分しか残存せず、残存する南壁の壁高は30cmほどを測る。床面は北側部分を欠くが、硬くしまった平坦な面を確認することができた。掘り方は、検出できなかった。住居内に検出された施設には、住居の中央やや東寄りに焼土を伴う円形に掘り窪められた炉跡があり、炉跡の南側には2基のピットが検出されている。この2基のピットは、本住居跡の南側に位置する支柱穴と考えられる。掘り方は、検出されていない。

出土遺物は、炉跡の南側の床面上に散在し、破片資料が主体である。また南側の壁近くからは、大形の礫が出土している。

出土遺物

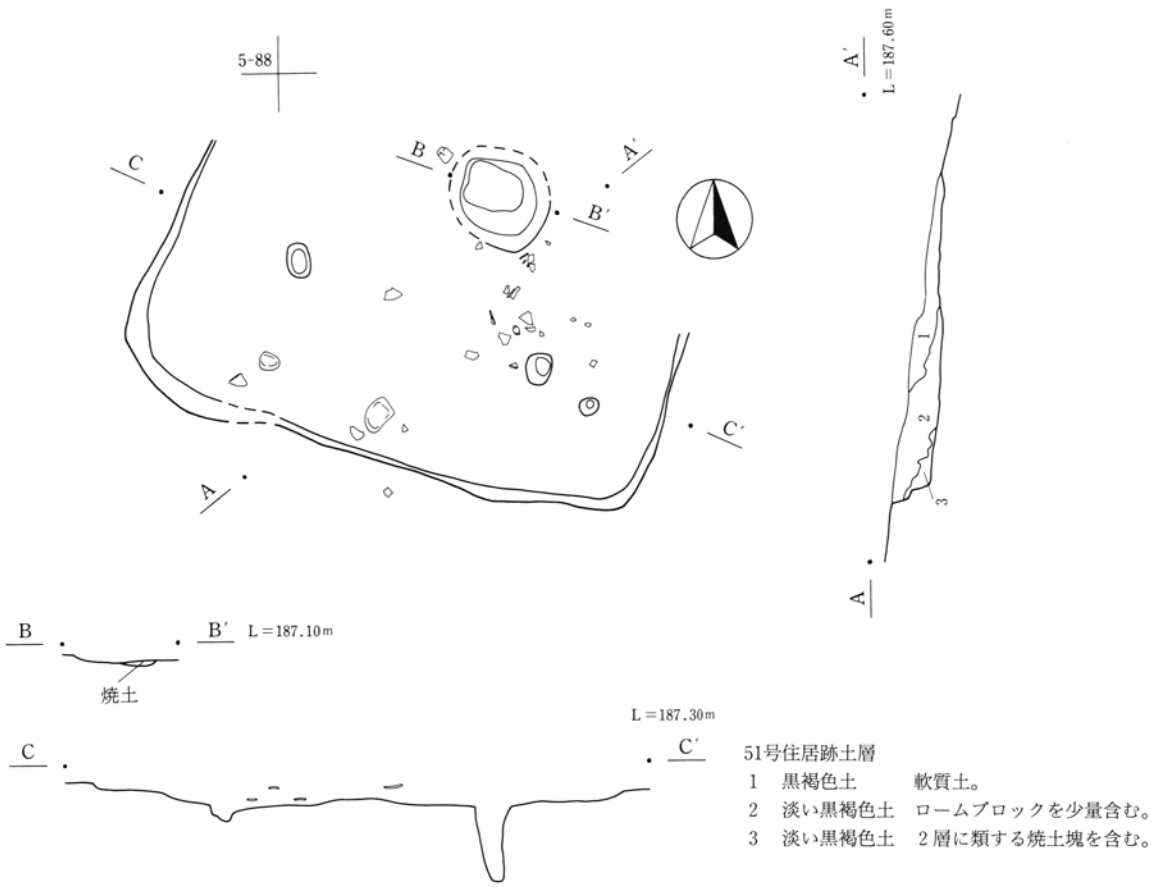
1は口縁下に孔を有する無文の土器で、2は無文の浅鉢である。3は壺形土器の頸部であり、5～7は胴部に沈線等により文様を描くもの。8は胴部に条痕を施すものであり、4・9は底部。石器は、出土していない。

65号住居跡（第422図）

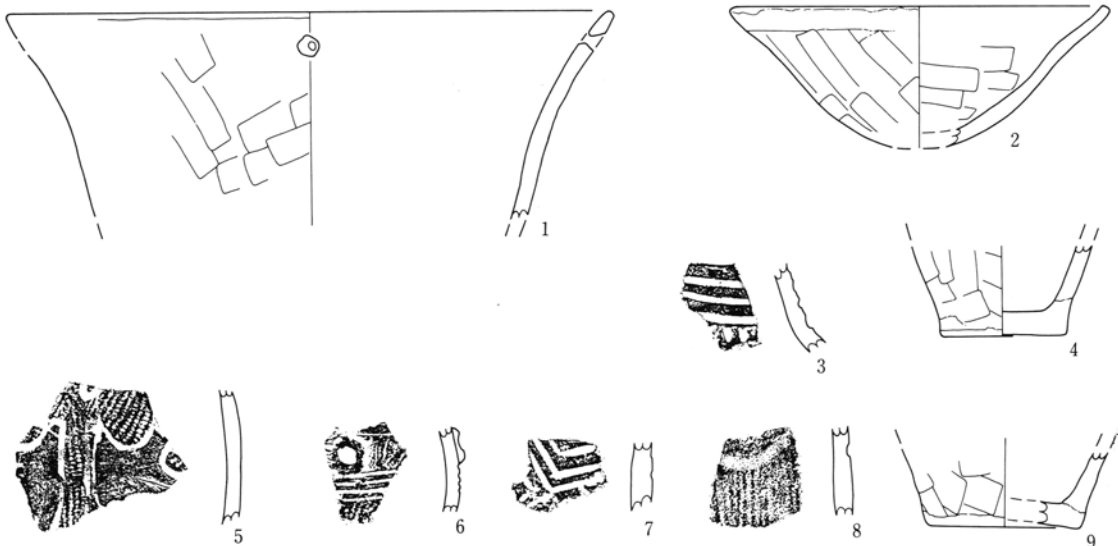
本住居跡は、東側台地の西寄りの平坦面にあり、9・10—41・42グリッドに位置し、住居中央から西側を37号住居跡、南側を36号住居跡と重複し、33・34号住居跡の西側、66号住居跡の南にある。重複する36・37号住居跡との新旧関係は、覆土の堆積状況および出土遺物等から、本住居が最も古い。36・37号住居跡は、平安時代のものである。

平面形は、36・37号住居跡との重複から判断しづらいが、西側にわずかに残る壁から、東西4.2m、南北4.

第3節 弥生時代の遺構と遺物

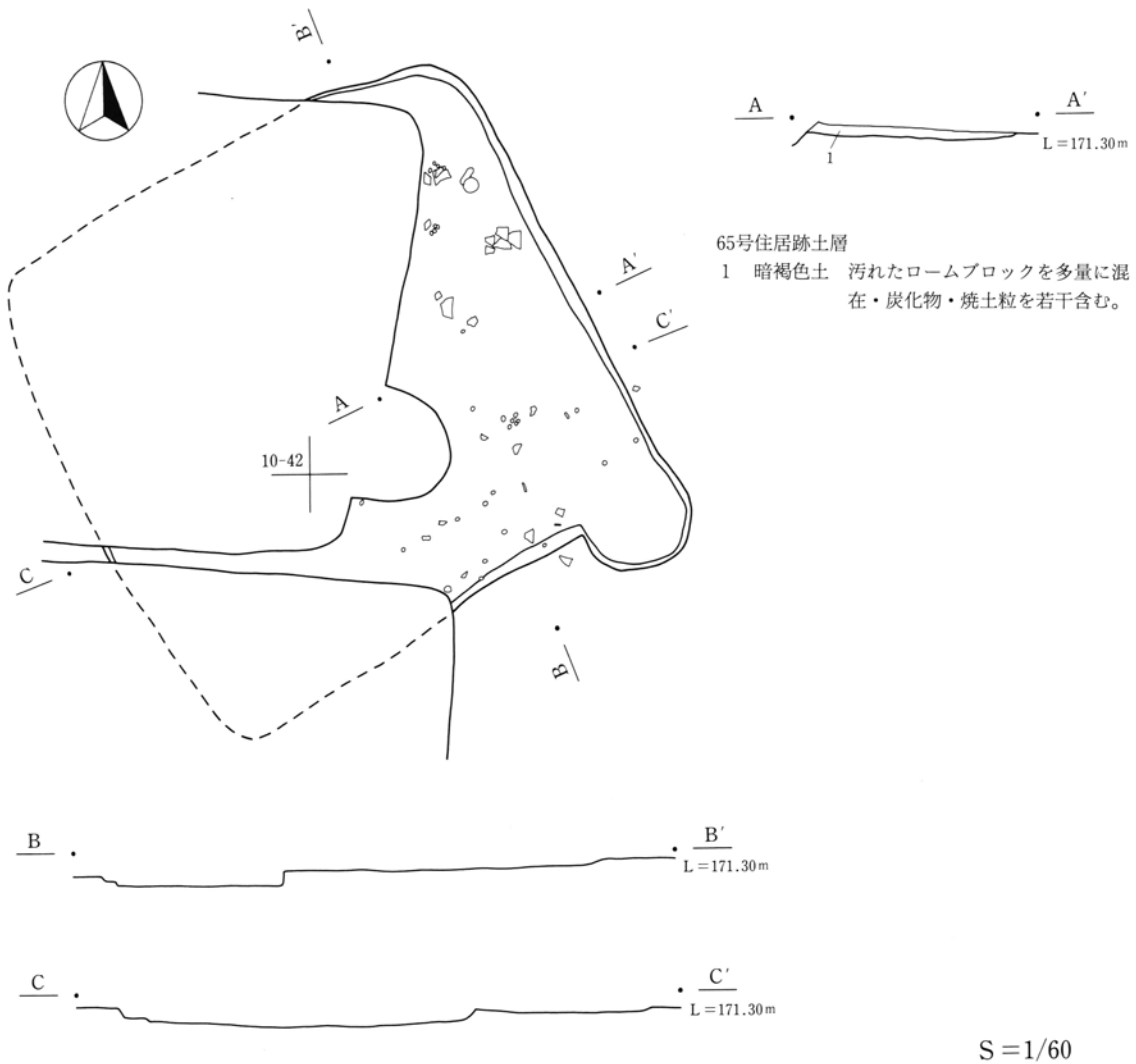


S=1/60



S=1/3

第421図 51号住居跡平面図・出土遺物



第422図 65号住居跡平面図

1mを測るほぼ正方形を呈しているものと考えられる。東側隅が円形に張り出しているが、本住居には伴わない別の土坑と考えられる。主軸方向は、不明。中世城郭造成時の整地に伴う削平をうけているため覆土は薄く、壁高は最大で4cmを測るのみであった。床面は比較的平坦ではあるが、住居中央にかけてやや下がり気味となるようで、中央部にかけてしまった面を確認することができたが、壁際はやや弱い。炉跡および柱穴等については、検出することはできなかった。

出土遺物は住居全体に散在し、量は少ないが、器形復元のできる土器である。

出土遺物 (第423図 表54)

1は壺形土器となるもので、頸部から胴部上半にかけて、縦位に「ハ」字状の文様を描き、その間に横位の平行沈線を充填する。2は口縁に植物の茎による回転圧痕が施され、平行沈線を巡らせて頸部は無文となる。3～5は胴部に平行沈線ないし曲線的な文様を描き、区画内に縄文を施すもの。6～8は胴部に条痕を施すものである。

石器には、両面に凹孔をもつ凹石が1点出土している。

第3節 弥生時代の遺構と遺物

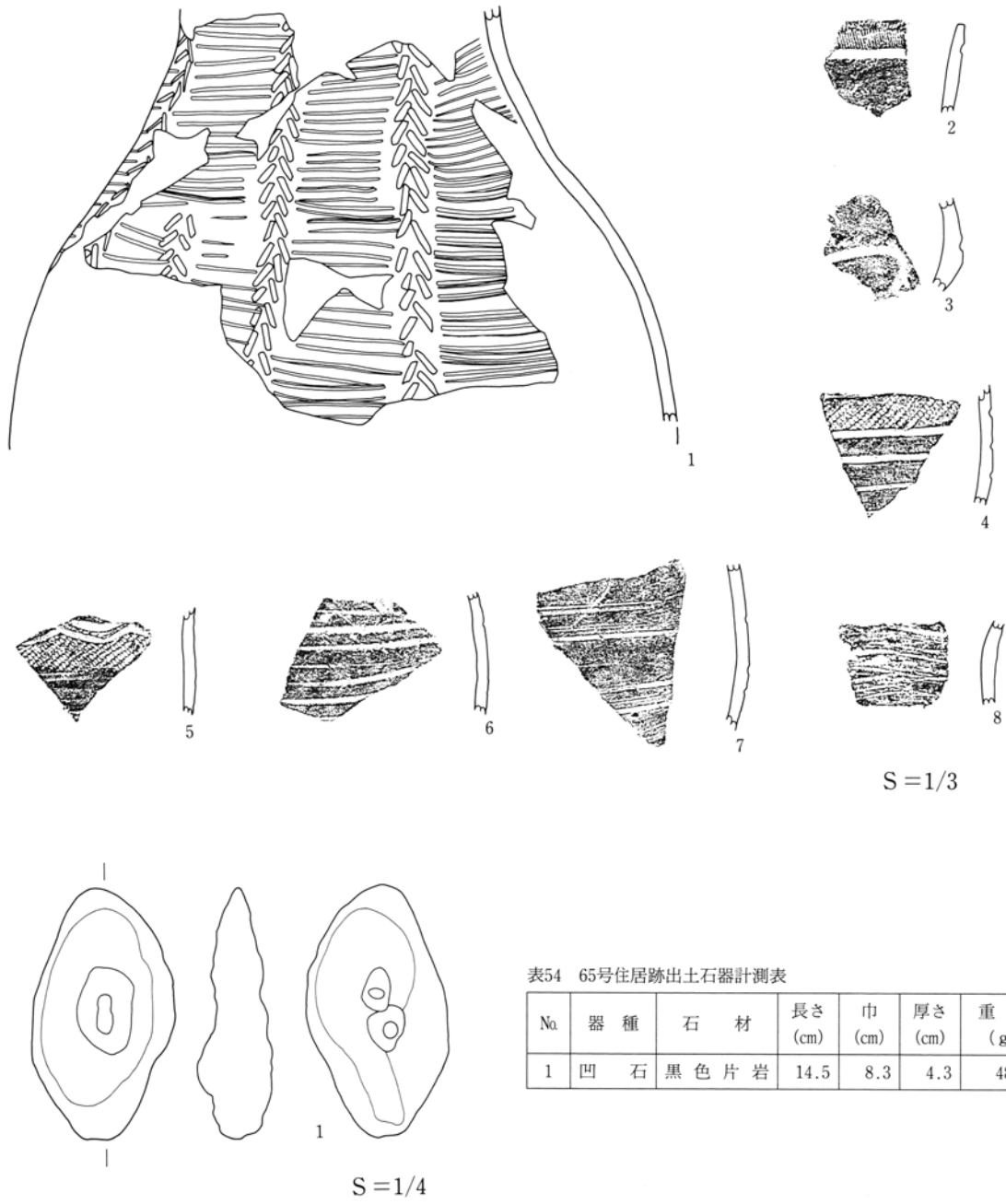


表54 65号住居跡出土石器計測表

No.	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	凹石	黒色片岩	14.5	8.3	4.3	485.0

第423図 65号住居跡出土遺物

67号住居跡 (第424図)

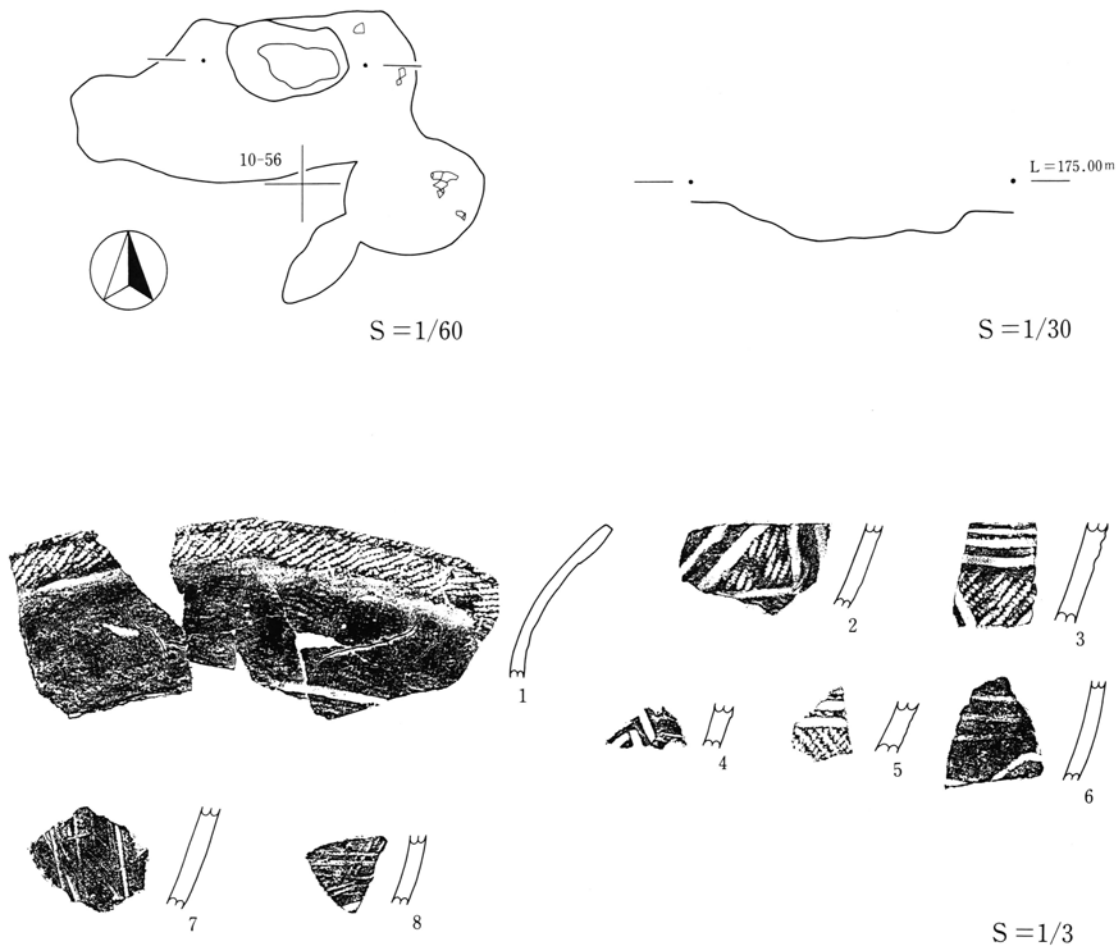
本住居跡は、中央台地の中央部にあり、10-55・57グリッドに位置し、2号古墳の墳丘下にある。周辺には、同時期の705・706号土坑等の土坑が点在する。この2号古墳により住居の大半が破壊をうけており、僅かに炉跡周辺だけが残存するのみで、極めて残存状態は悪い。

平面形等は不明であるが、炉跡は若干掘り窪められて、中央に焼土が検出されている。また炉跡周辺は、黄色土ロームによる張り床が認められ、床面は硬く締まっている。

遺物は、この床面上に少量出土している。

出土遺物

1は外反する折り返し口縁の甕形土器で、口唇および口縁部に縄文を施し、頸部が無文となり、頸部下に沈線を巡らせるもの。2～6は胴部に沈線で文様を描き、区画内に縄文を施すもの。7・8は胴部に斜位の条痕を施すものである。石器は、出土していない。



第424図 67号住居跡平面図・出土遺物

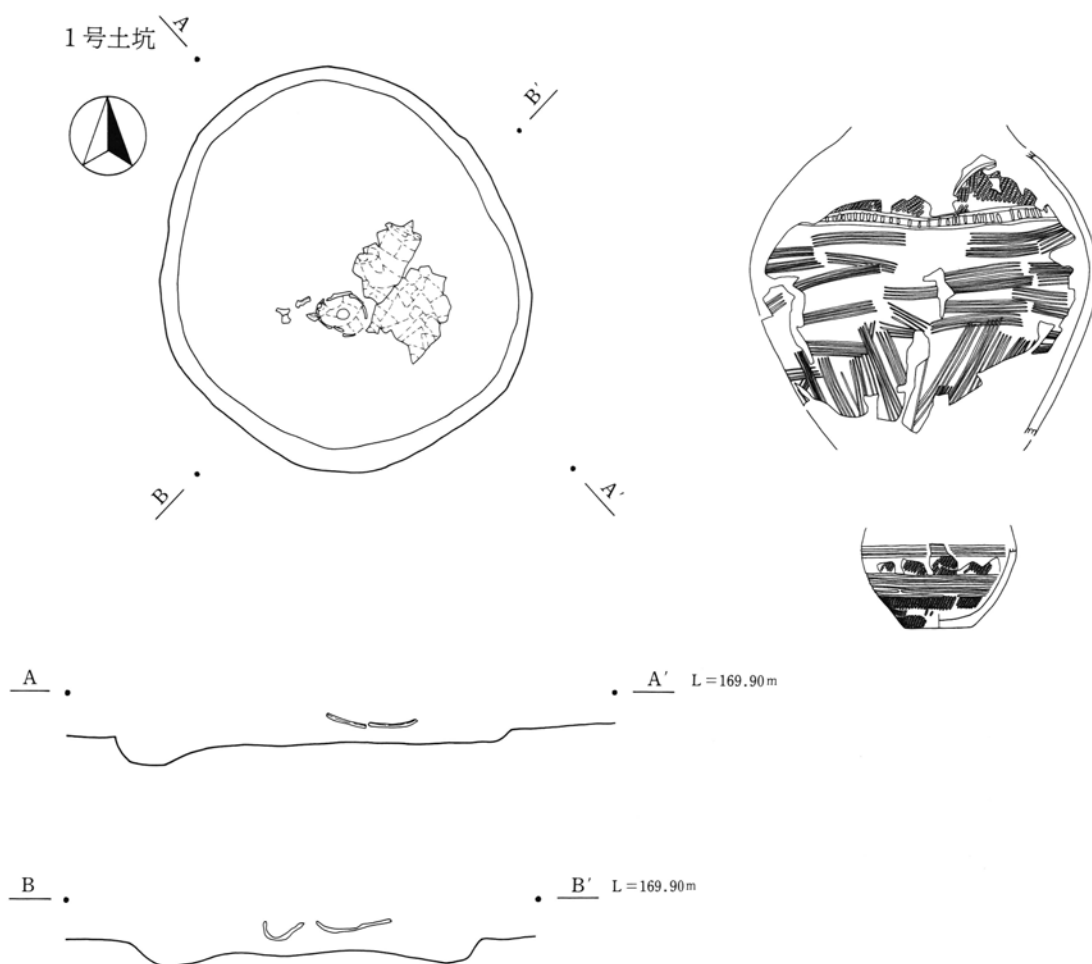
2. 土 坑

検出された土坑は、全体で800基余を数えるが、このうち堆積土・出土遺物等から明らかに弥生時代の所産と考えられるものは77基である。後述する不明土坑として扱った中にも、弥生時代の遺物を出土させている土坑が存在するが、共伴する遺物に明らかに異なる時代のものを含むため、本項とは分別して扱うこととした。また、遺物を出土させていない弥生時代の土坑の存在も考えられるが、他の時代のものとの区別が難しい為、不明土坑の項で扱っている。

なお、各土坑の遺構説明については、土坑一覧表として表55に示す通りであり、ここでは主な土坑についての記載にとどめ、各土坑出土の遺物について記すこととする。

1号土坑（第425図）

東側台地の中央部（B区）で、41号土坑の西側に隣接し、16-30グリッドに位置する。中世城郭により削平され、残存状態は良くないが、平面形状は円形を呈する。断面形状は不明。出土した遺物には、第443図1・2に示した大形の壺形土器と小形土器があり、土坑の中央に潰れた状態で2個体が出土している。



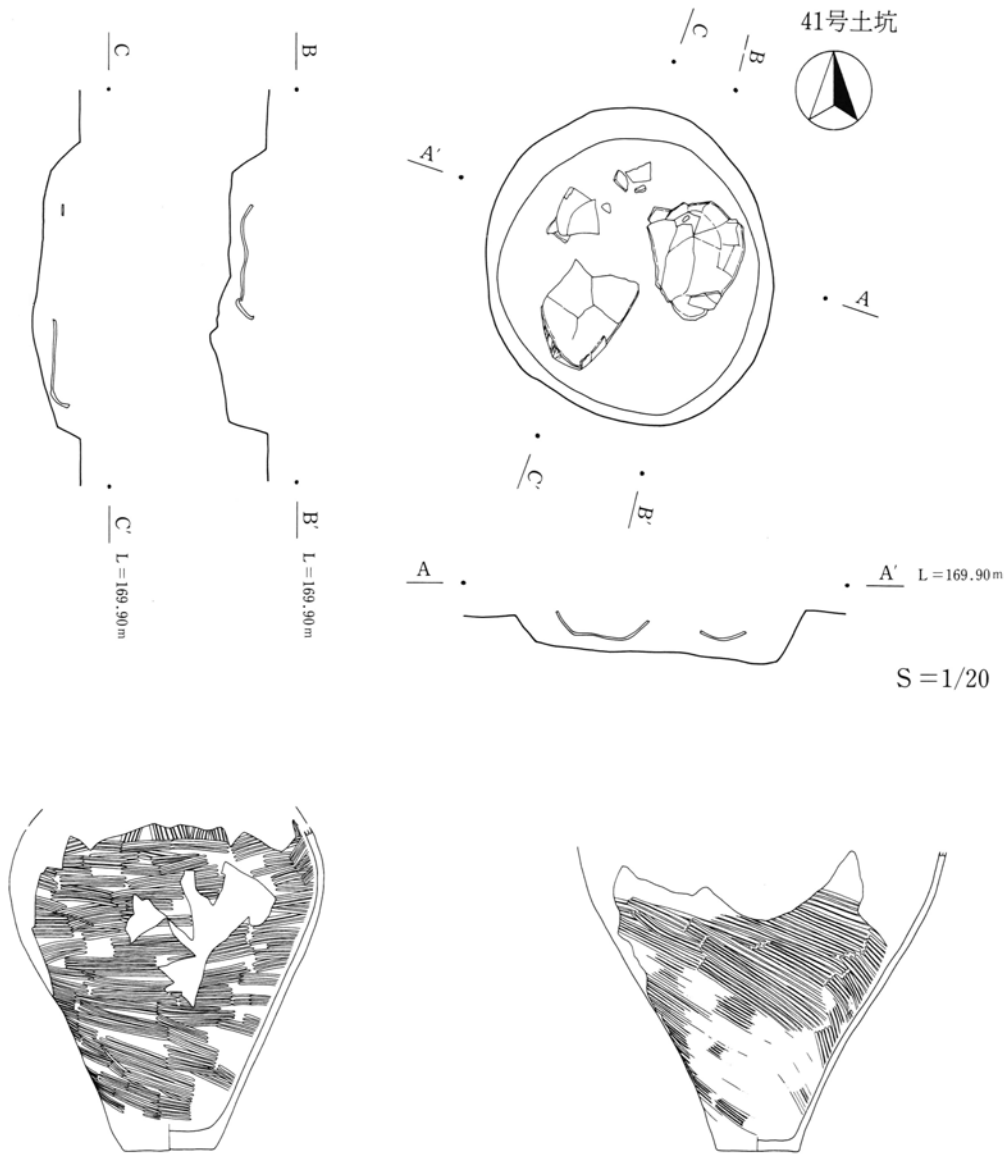
第425図 1号土坑平面図

41号土坑 (第426図)

東側台地の中央部 (B区) で、1号土坑の東側に隣接し、16-30グリッドに位置する。1号土坑と同様に、中世城郭により削平され、残存状態は良くないが、平面形状は円形を呈する。断面形状は不明。出土した遺物には、第443図3・4に示した大形の壺形土器と大形土器の胴部下半部があり、土坑の中央に並列し、潰れた状態で2個体が出土している。

159号土坑 (第427図)

中央台地の西側 (E区) で、14-59グリッドに位置する。中世城郭により削平され、残存状態は良くないが、平面形状は不整な円形を呈する。断面形状は不明。出土した遺物には、第445図9に示した大形の甕形土



第426図 41号土坑平面図

器があり、土坑内に潰れた状態で出土している。

245号土坑 (第428図)

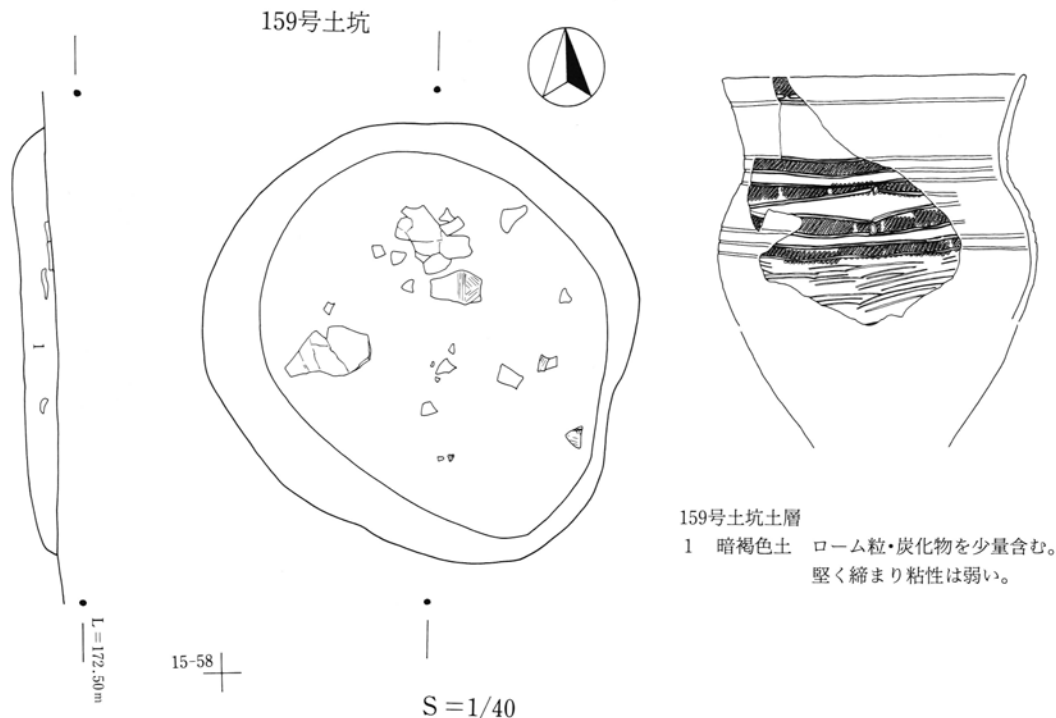
中央台地の東側 (E区) で、9-50グリッドに位置する。中世城郭により削平されているが、残存状態は比較的に良好で、平面形状 (底面) は円形を呈する。断面形状は、フラスコ状を呈する。出土した遺物には、第444図5-8に示した大形の甕形土器や台付土器等があり、土坑内の覆土中より出土している。

495号土坑 (第429図)

西側台地の北東斜面 (I区) で、3-87グリッドに位置する。残存状態は比較的に良好で、平面形状 (底面) は円形を呈する。断面形状は、フラスコ状を呈する。出土した遺物には、第445図10に示した壺形土器があり、土坑内の覆土中の上部から出土している。土器の半面は、耕作等により欠損したと思われる。

669号土坑 (第430図)

中央台地の西側 (E区) で、670号土坑の西側に隣接し、7-62グリッドに位置する。6号方形周溝墓と重複しているため、残存状態は悪く、土坑の西側半分ほどを欠く。平面形状 (底面) は円形を呈する。断面形状は、ほぼ垂直に掘られたものと思われる。出土した遺物には、第447図19・20に示した大形の甕形土器があり、土坑内覆土中の下部から出土している。



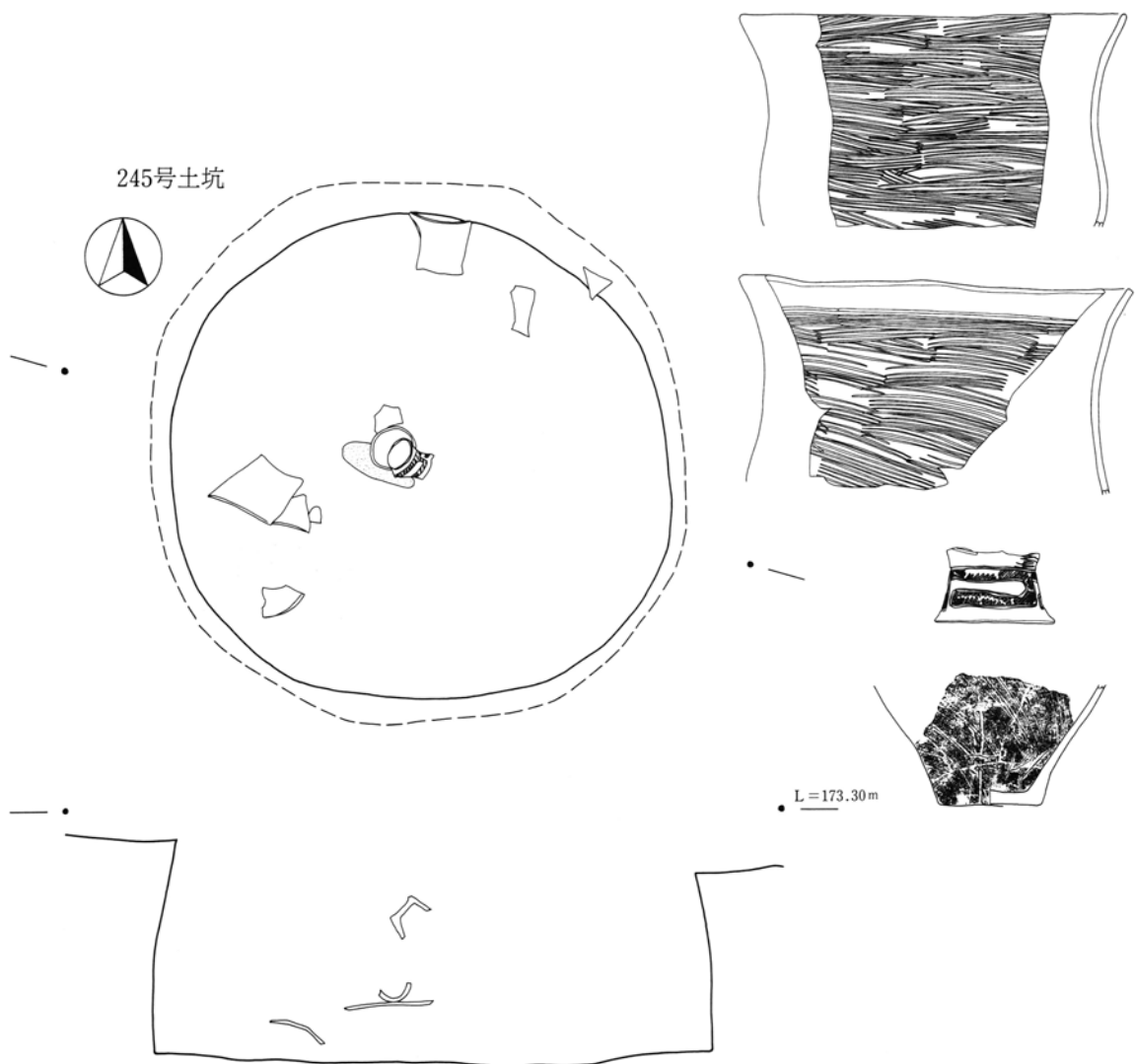
第427図 159号土坑平面図

670号土坑（第431図）

中央台地の西側（E区）で、669号土坑の東側に隣接し、7-62グリッドに位置する。残存状態は比較的に良好である。平面形状（底面）は円形を呈し、断面形状はフラスコ状となる。出土した遺物には、第445図11に示した土器があり、土坑内覆土中から出土している。

683号土坑（第432図）

中央台地の東側（E区）で、7-49グリッドに位置する。残存状態は比較的に良好である。平面形状（底面）はほぼ円形を呈し、断面形状はフラスコ状となるものと思われる。出土した遺物には、第446図17に示した大形の甕形土器があり、土坑内覆土中の下部から出土している。



S = 1/20

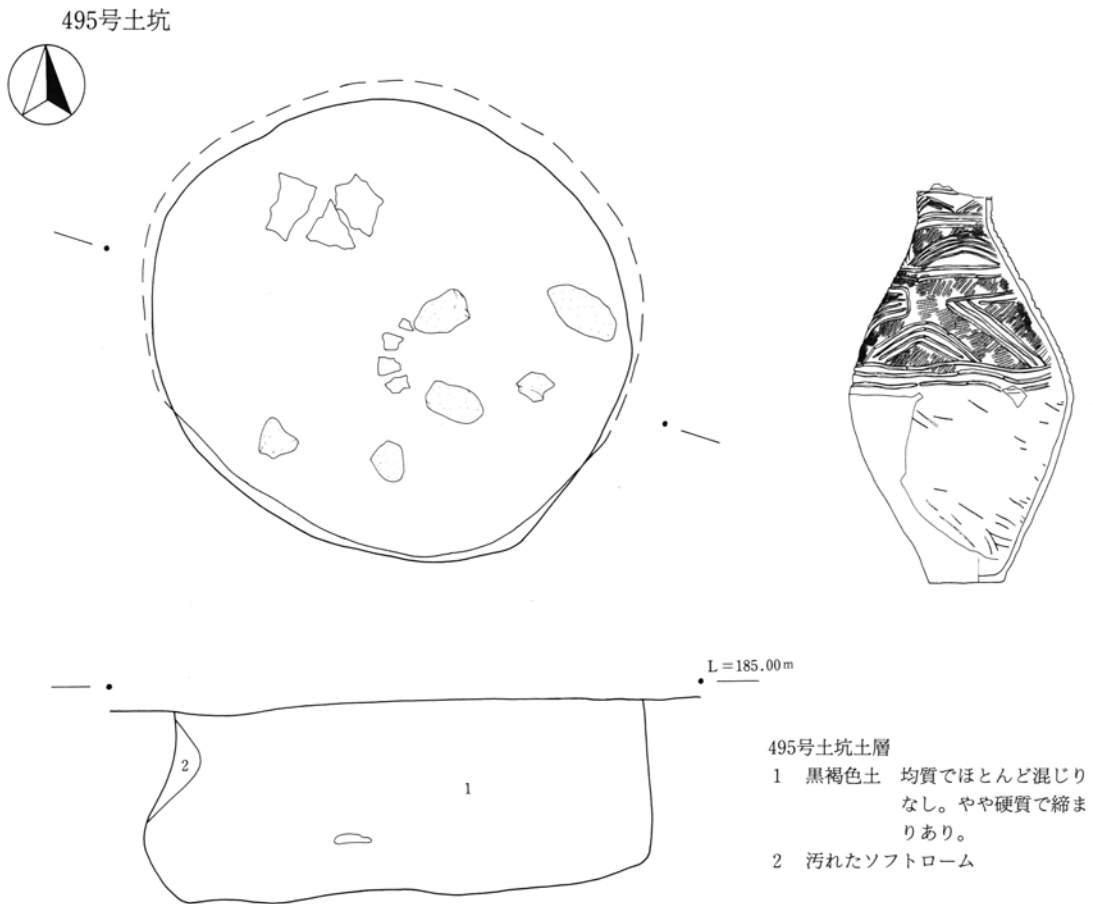
第428図 245号土坑平面図

688号土坑 (第433図)

中央台地の中央部 (E区) で、11-58グリッドに位置する。2号古墳の墳丘下で、周堀と重複しているが、残存状態は比較的に良好である。平面形状 (底面) は円形を呈し、断面形状はフラスコ状を呈している。出土した遺物には、第445図13に示した小形土器があり、土坑内の底面近くから出土している。また、大形の打製石斧等も多く出土させている。

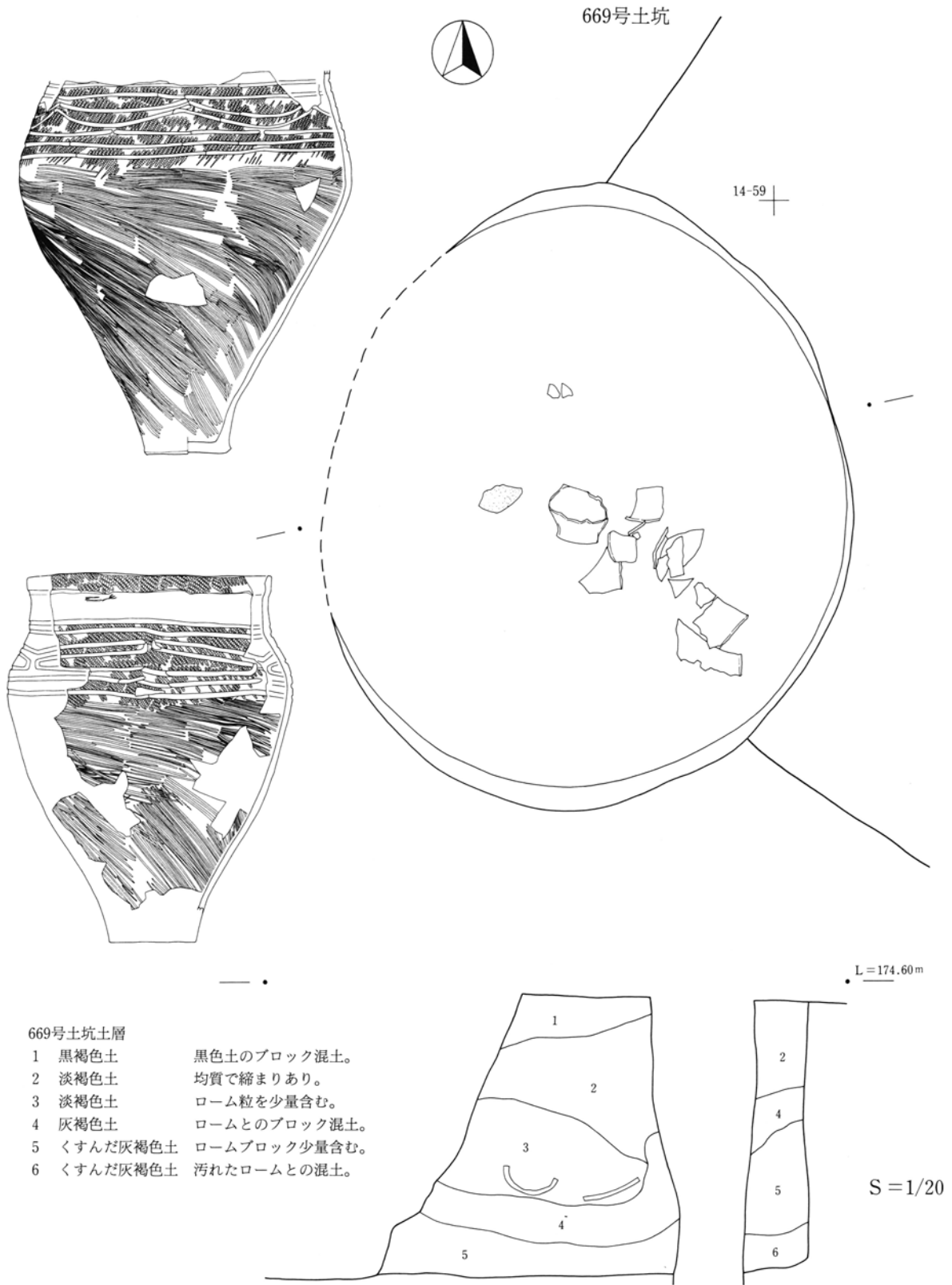
705号土坑 (第434図)

中央台地の中央部 (E区) で、706号土坑の西側に重複するように隣接し、7-54グリッドに位置する。2号古墳の墳丘下で、周堀と重複しているため、残存状態は悪く、土坑の南側を欠く。平面形状 (底面) は円形を呈するものと思われるが、断面形状は覆土が薄く不明。出土した遺物には、第449図23~26に示した大形の壺形土器と小形土器の3点があり、土坑内の底面近くからまとめて出土している。なお、土坑上部が破壊されているため、大形土器の遺存状態も悪い。



S = 1/20

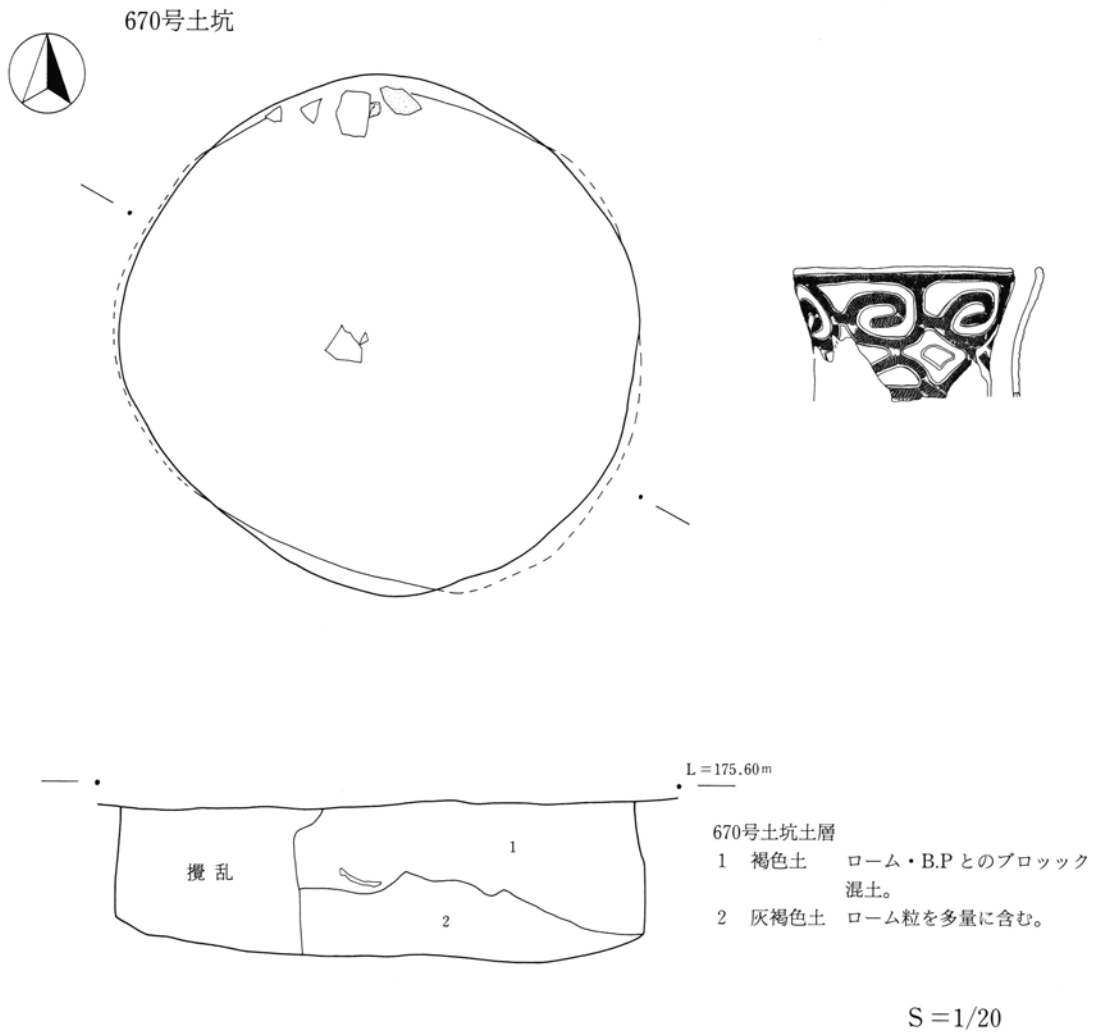
第429図 495号土坑平面図



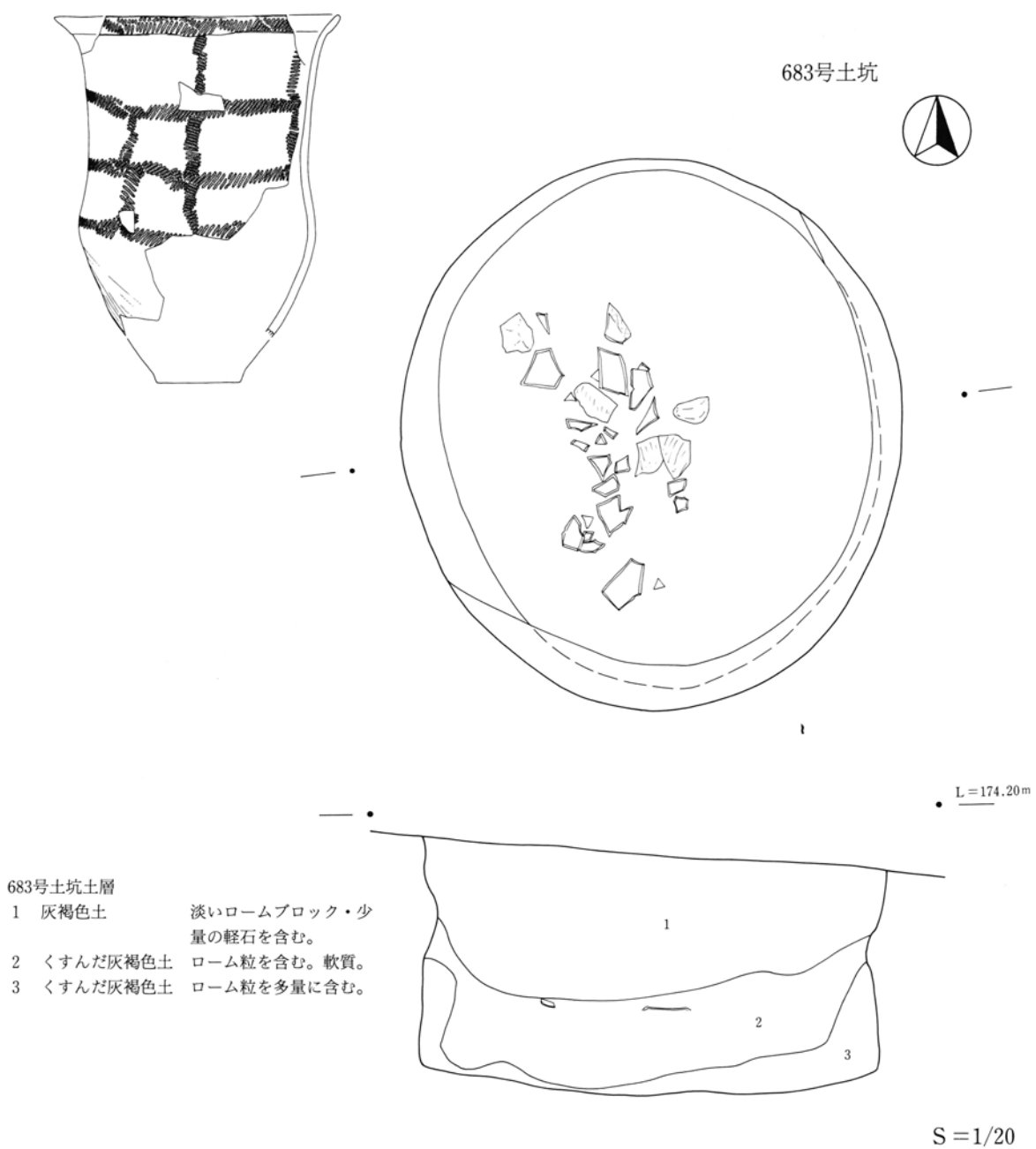
第430図 669号土坑平面図

706号土坑 (第434図)

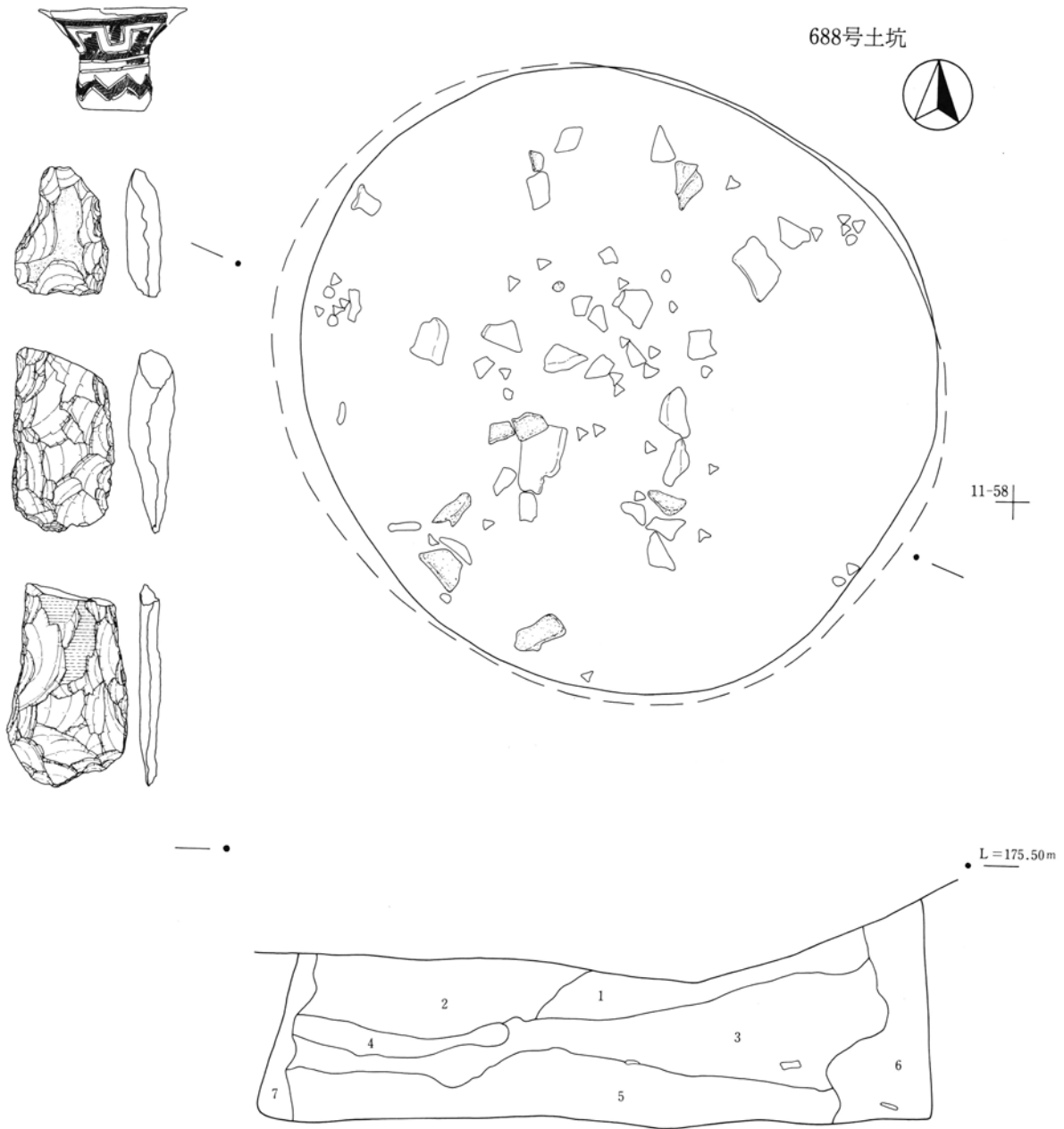
中央台地の中央部 (E区) で、705号土坑の東側に重複するように隣接し、8-54グリッドに位置する。2号古墳の墳丘下で、周堀と重複しているため、残存状態は悪く、土坑の南側を欠く。平面形状 (底面) は円形を呈するものと思われるが、断面形状は覆土が薄く不明。出土した遺物には、第448図21・22に示した大形の壺形土器の2点があり、土坑内の底面近くから並んで潰れた状態で出土している。なお、土坑上部および南側が破壊されているため、大形土器の遺存状態も悪い。



第431図 670号土坑平面図



第432図 683号土坑平面図

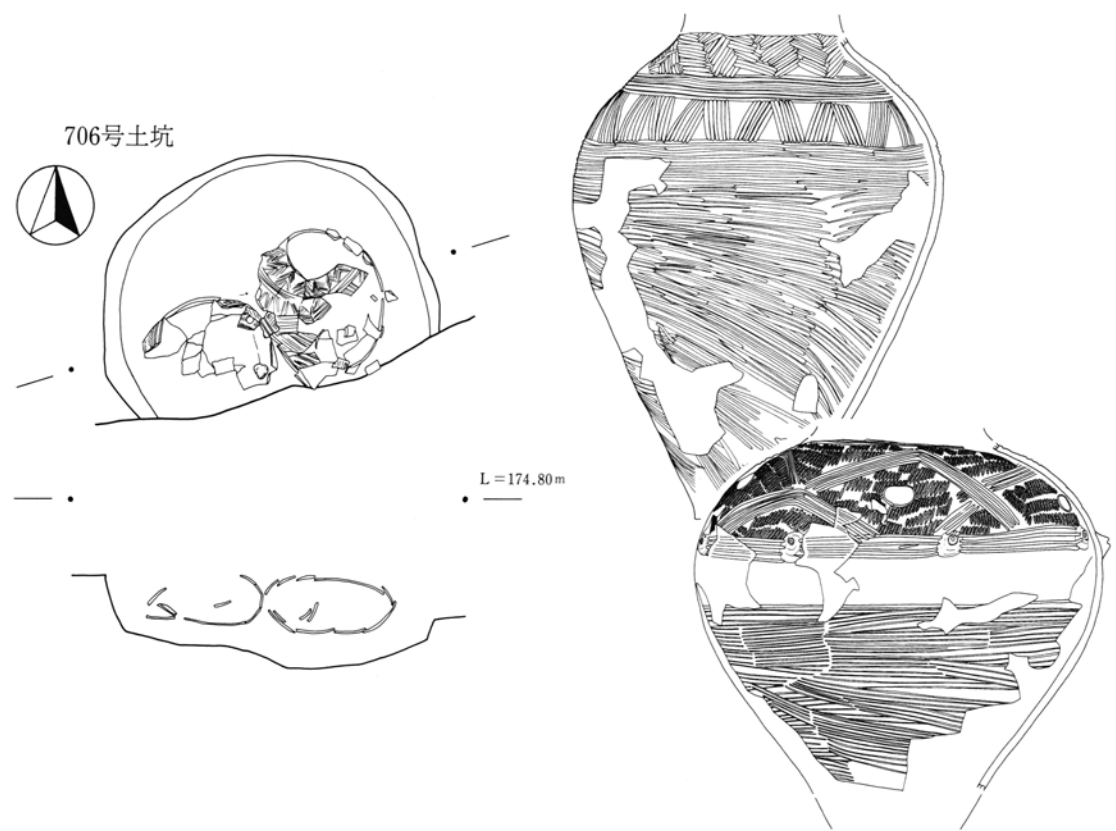
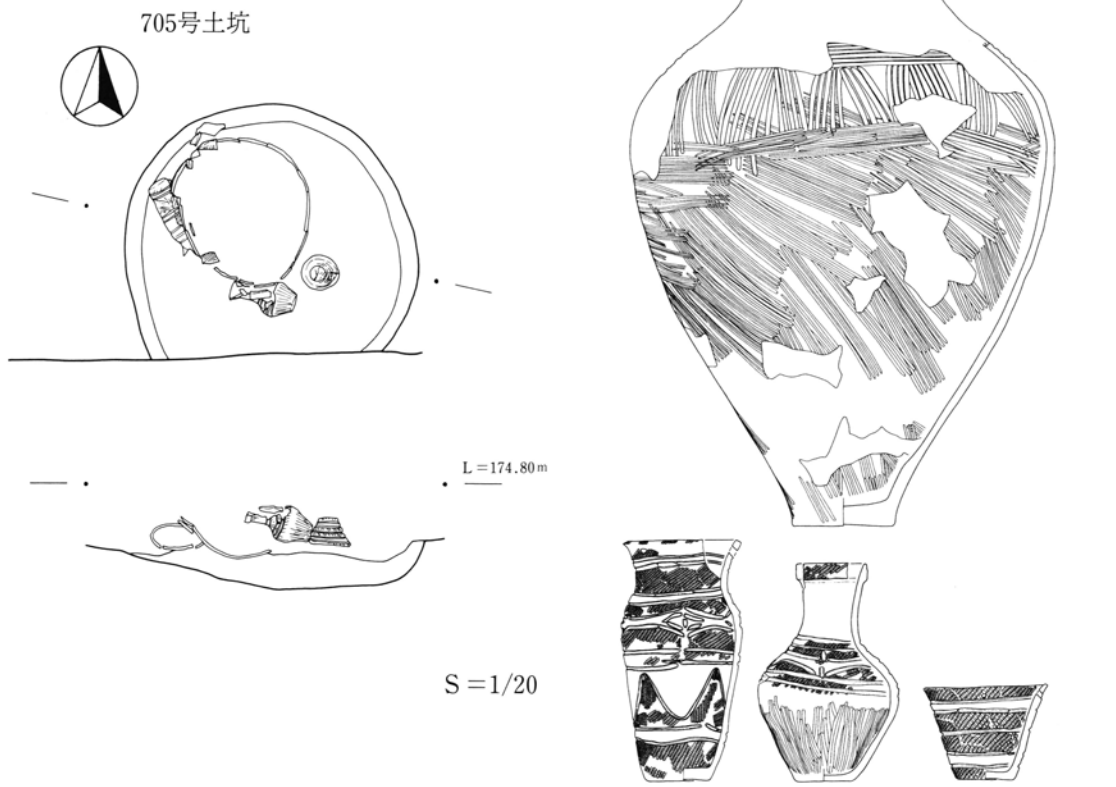


688号土坑土層

- | | |
|------------|-------------------|
| 1 灰褐色土 | ローム粒を含む。 |
| 2 くすんだ灰褐色土 | 淡いロームブロックを含む。 |
| 3 くすんだ灰褐色土 | ローム粒を少量含む。やや軟質。 |
| 4 淡い灰褐色土 | ロームブロックを多量に含む。軟質。 |
| 5 黒褐色土 | 極く少量のローム粒を含む。 |
| 6 灰褐色土 | ローム粒を含む。軟質。 |
| 7 灰褐色土 | ロームブロックを含む。軟質。 |

第433図 688号土坑平面図

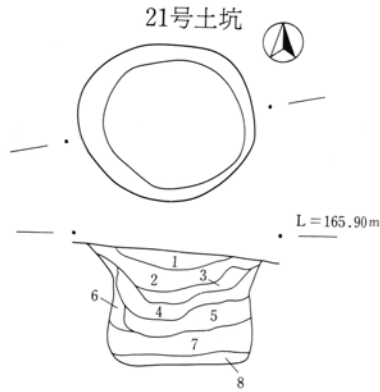
S=1/20



第434図 705・706号土坑平面図

S = 1/20

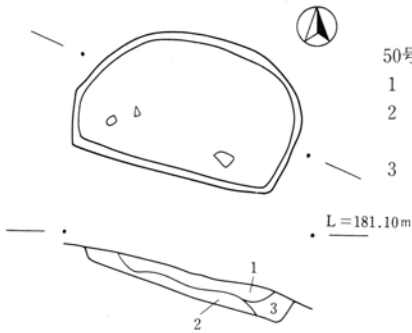
第3節 弥生時代の遺構と遺物



21号土坑土層

- 1 黒褐色土 やや硬質。
- 2 淡褐色土 ロームブロックを含む。軟質。
- 3 黒褐色土 1層と同質。
- 4 淡褐色土 2層と同質。
- 5 褐色土 ロームブロックを含む。軟質。
- 6 淡褐色土 2層と同質。
- 7 黄褐色土 ロームとのブロック混土。軟質。
- 8 黒褐色土 ローム粒を含む。軟質。

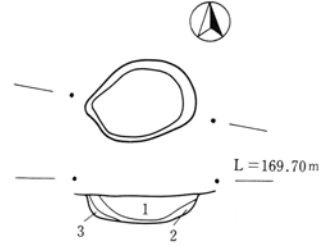
50号土坑



50号土坑土層

- 1 褐色土 やや締まる。
- 2 明褐色土 ロームブロック混土。
- 3 明褐色土 軟質。

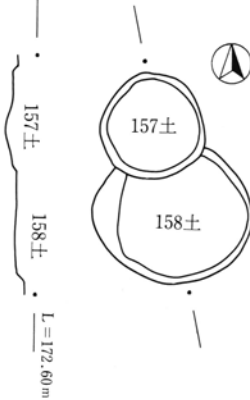
49号土坑



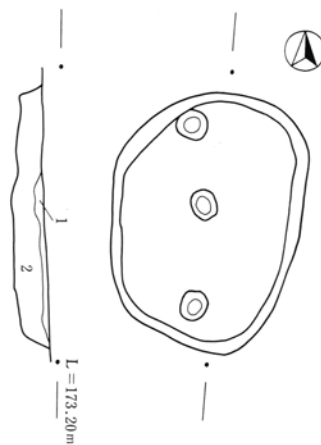
49号土坑土層

- 1 褐色土 ローム小粒混在。
- 2 明褐色土 ロームブロック混在。
- 3 明褐色土 ローム・粘質土が混在。

157・158号土坑



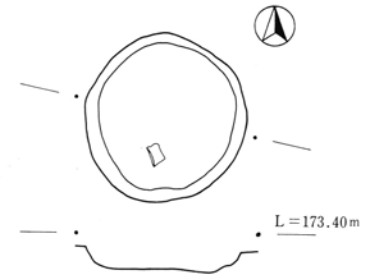
160号土坑



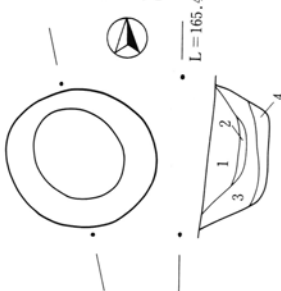
160号土坑土層

- 1 暗黒褐色土 炭化物微量に含む。黒く粘性弱い。
- 2 黒褐色土 1層よりやや明るい。Y.P少量含む。

244号土坑



297号土坑

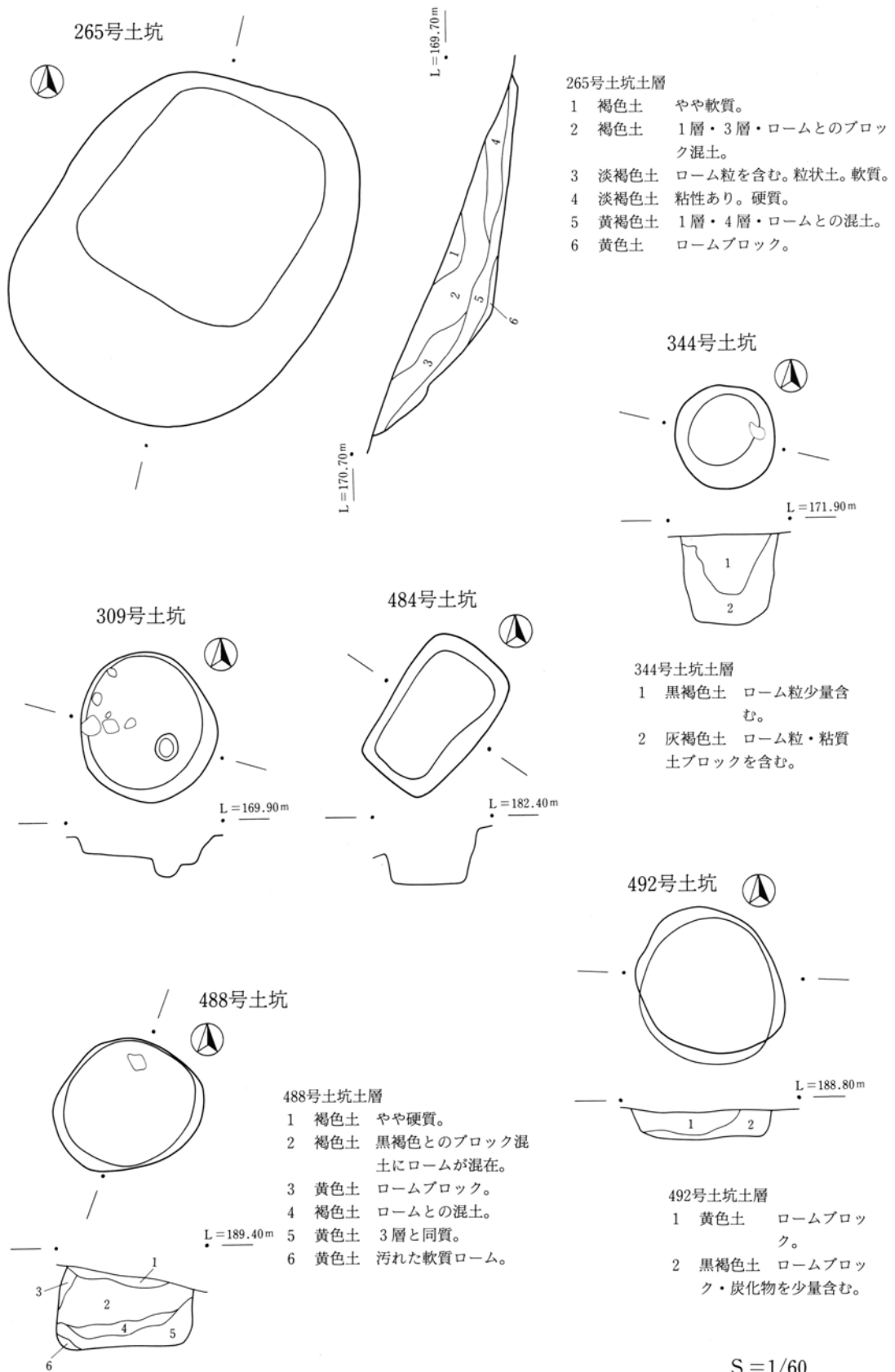


297号土坑土層

- 1 黒褐色土 混入物少ない。軟質。
- 2 赤褐色土 焼土ブロック主体。
- 3 暗褐色土 ローム粒を多量に含み明るい。
- 4 黒褐色土 黒褐色土・ローム土との混土。

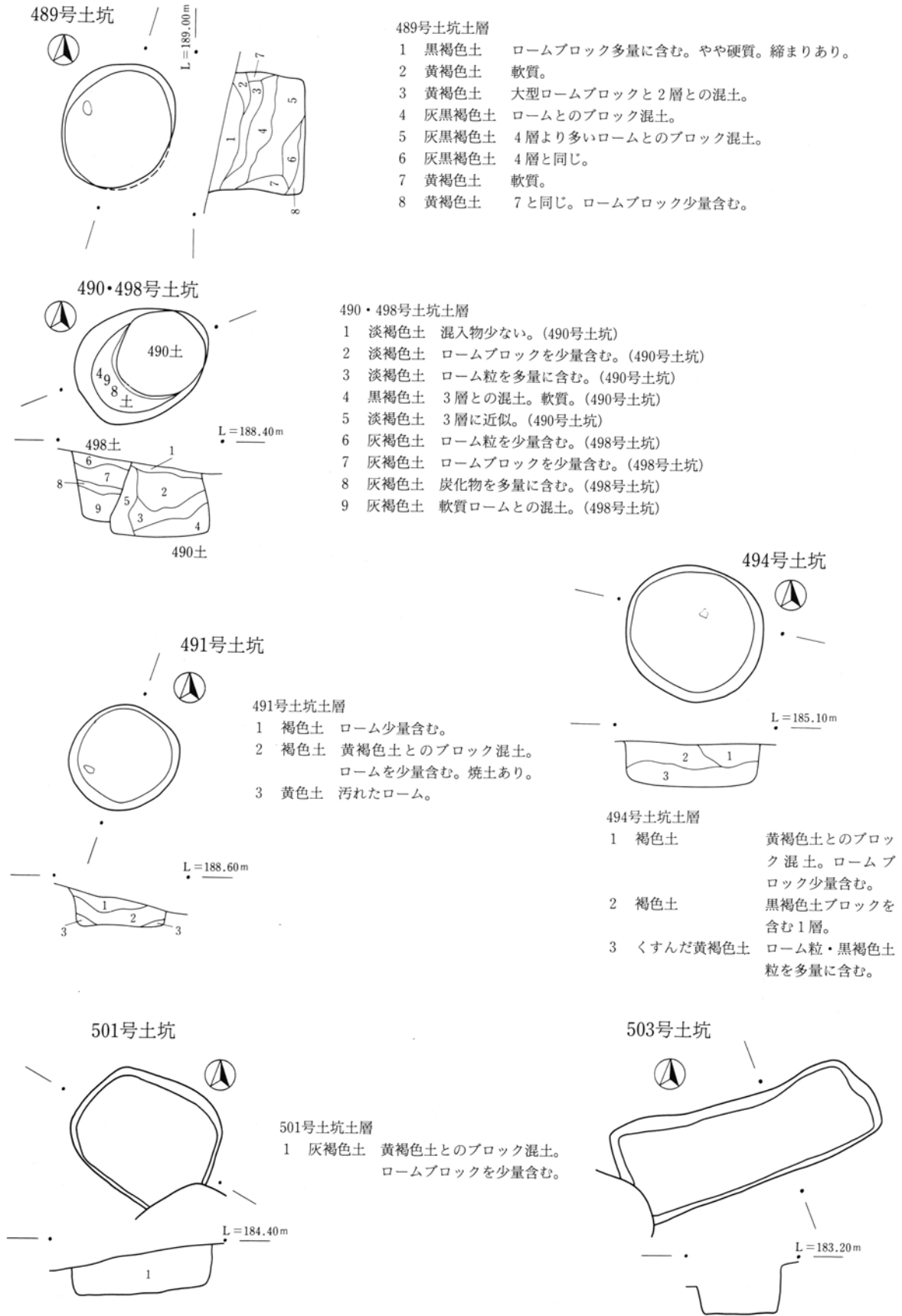
S=1/60

第435図 弥生時代土坑平面図(1)



S = 1/60

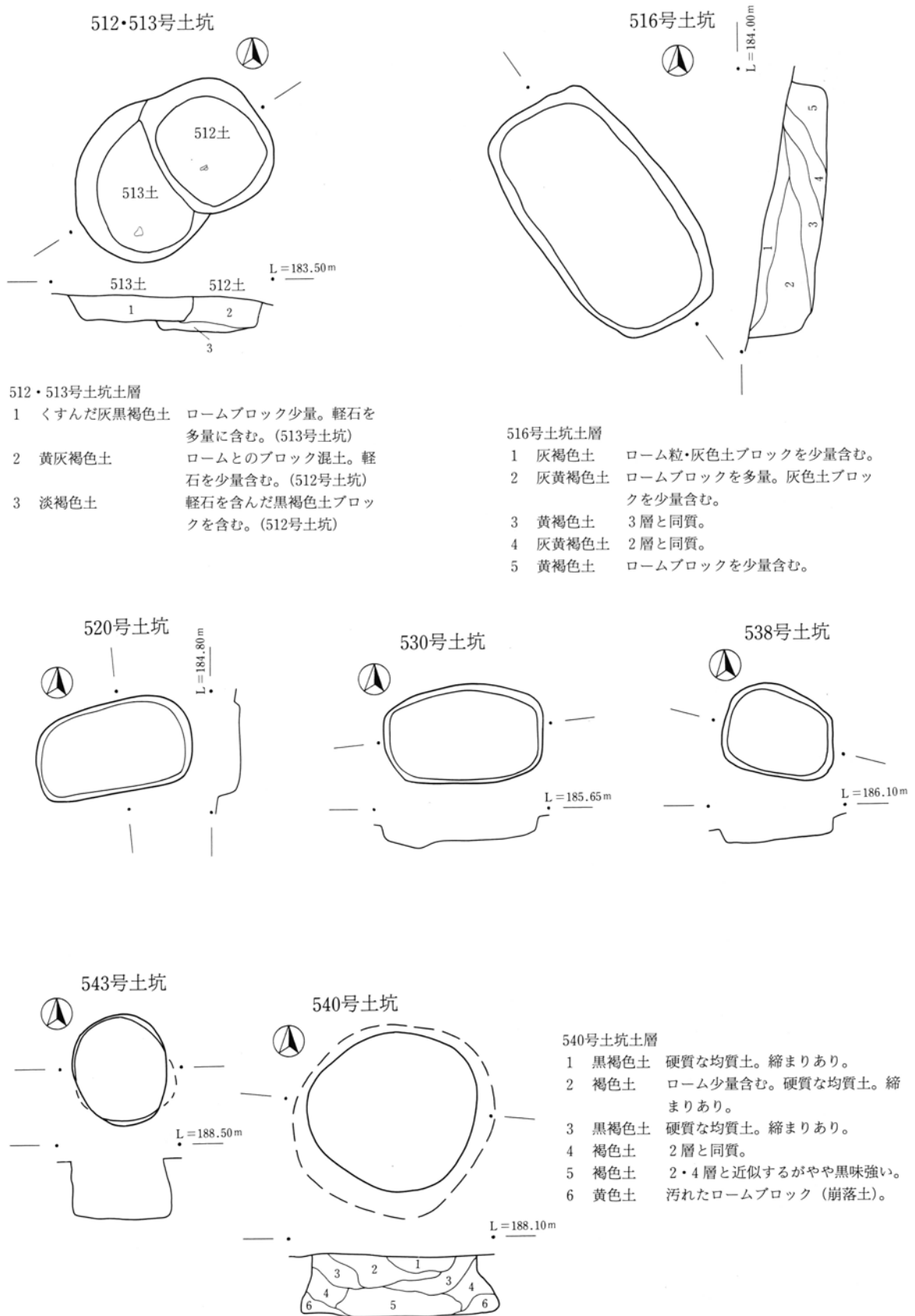
第436図 弥生時代土坑平面図(2)



第437図 弥生時代土坑平面図(3)

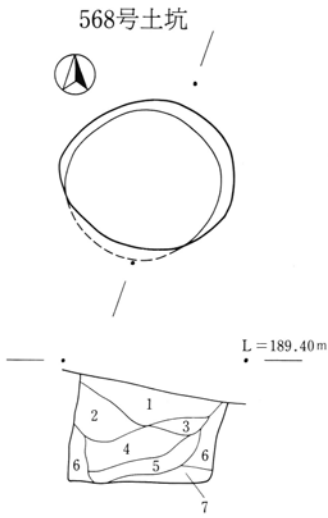
S = 1/60

第3章 検出された遺構と遺物



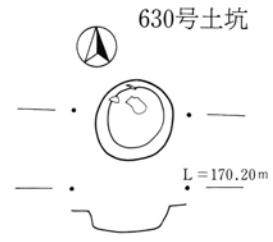
第438図 弥生時代土坑平面図(4)

S = 1/60

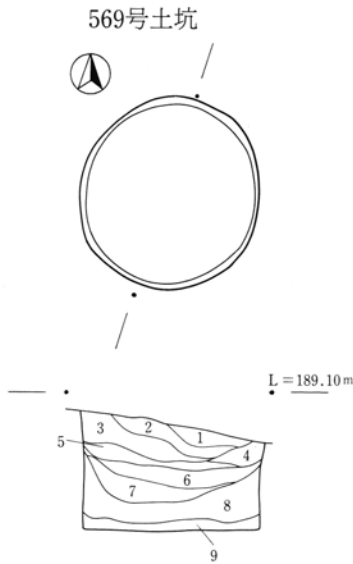


568号土坑土層

- 1 褐色土 黄褐色土を斑状に含む。
- 2 褐色土 ロームを少量含む。
- 3 褐色土 ロームとのブロック混土。
- 4 黄褐色土 ロームを斑状に含む。
- 5 黒褐色土 ロームとのブロック混土。
- 6 暗褐色土 4層と5層との混土。
- 7 黄色土 軟質ローム。



630号土坑



569号土坑

569号土坑土層

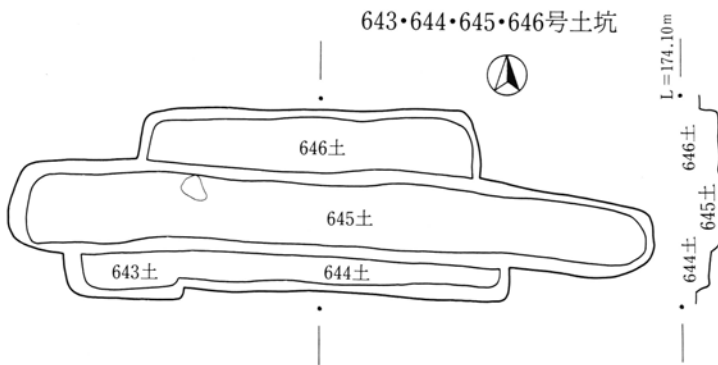
- 1 くすんだ黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 2 くすんだ黄褐色土 ロームブロックを多量に含む。
- 3 淡褐色土 炭化物を含む。
- 4 淡褐色土 焼土を含む。
- 5 褐色土 炭化物を多量に含む。上面硬化。
- 6 淡褐色土 ロームブロックを少量含む。
- 7 淡褐色土 ローム粒・黒褐色土ブロックを少量含む。
- 8 淡褐色土 黒褐色土とのブロック混土。
- 9 くすんだ黄褐色土 軟質ロームとの混土。



666号土坑

666号土坑土層

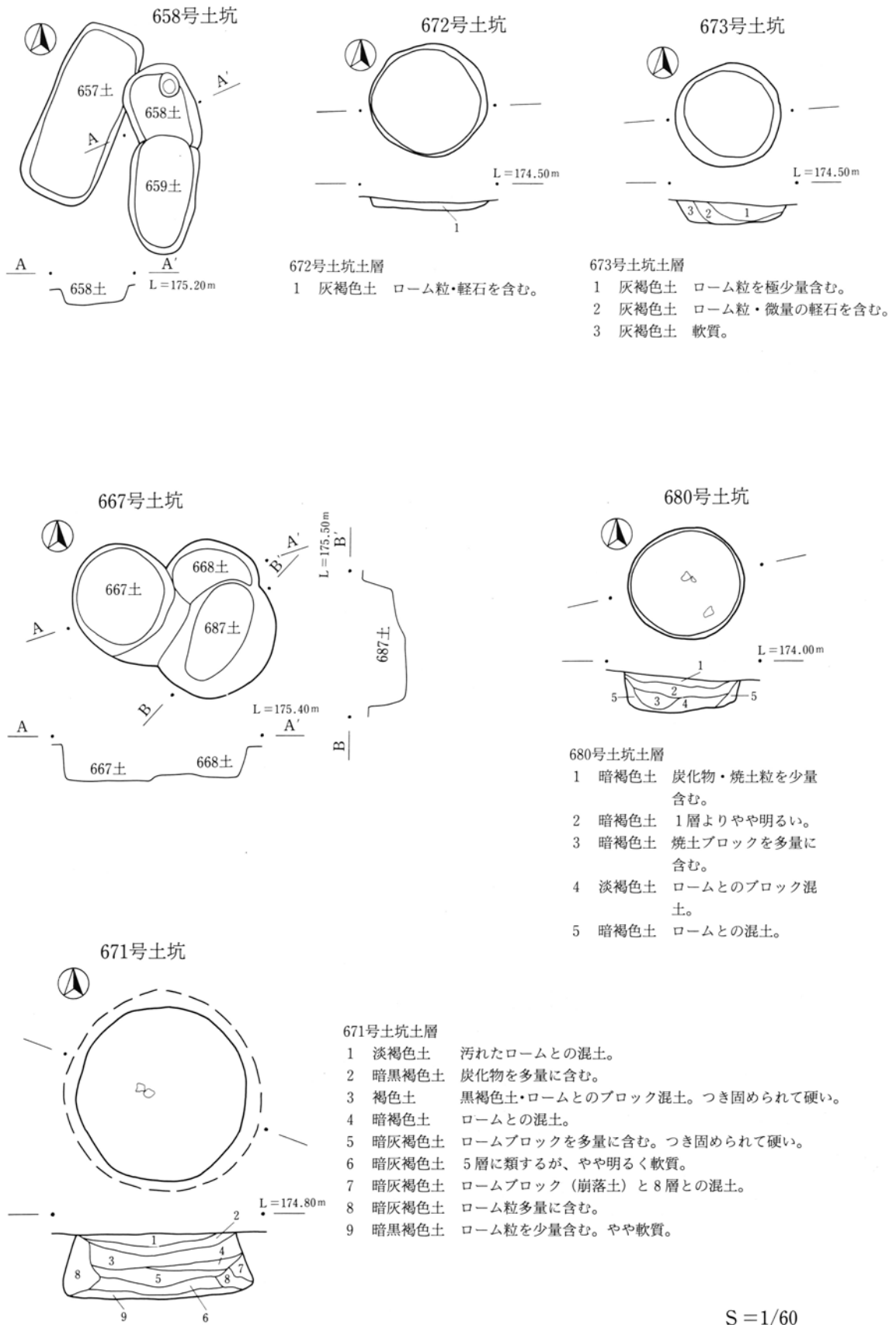
- 1 淡褐色土 ローム粒を少量含む。
- 2 淡褐色土 ロームブロックを極少量含む。



643・644・645・646号土坑

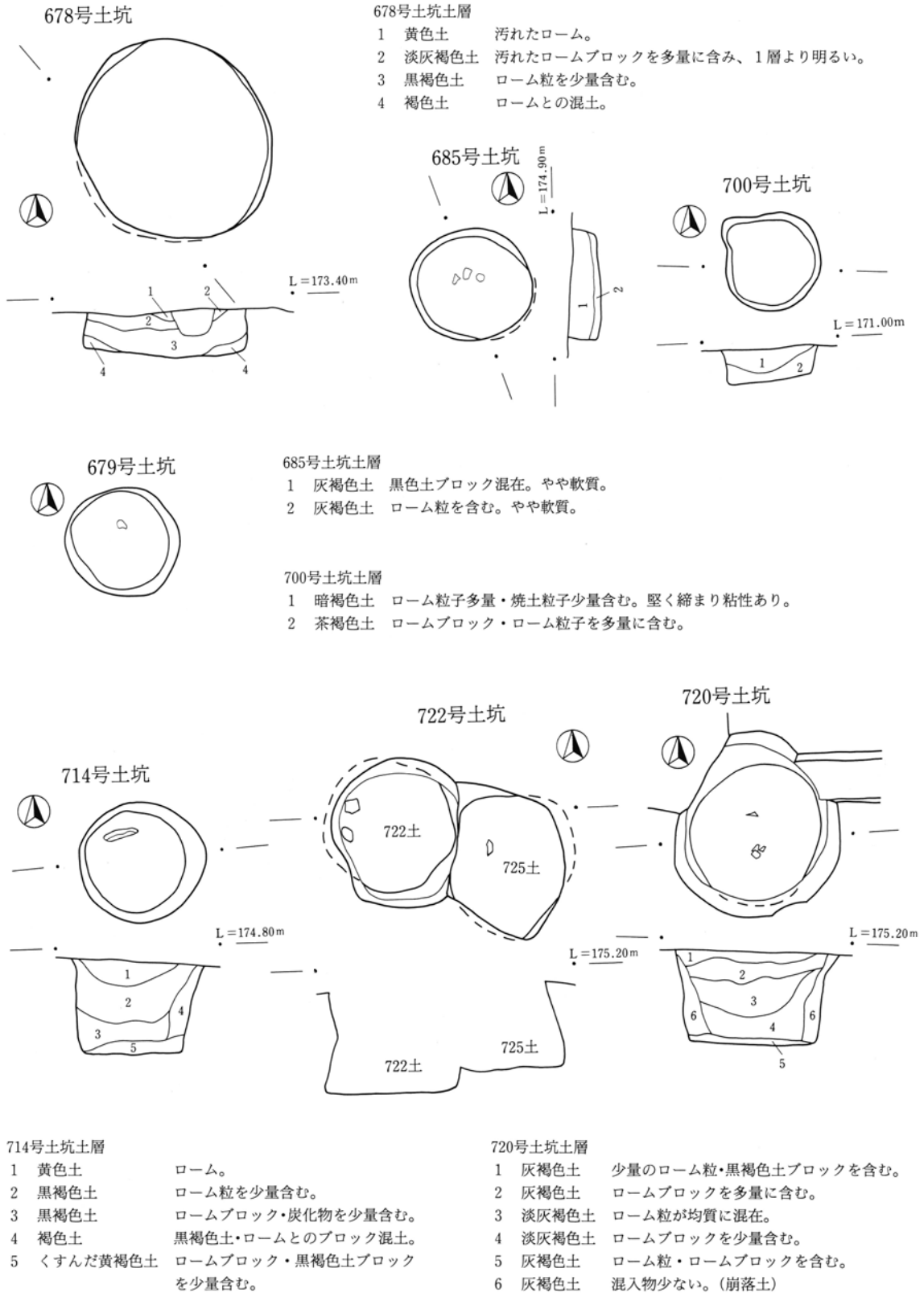
S=1/60

第439図 弥生時代土坑平面図(5)



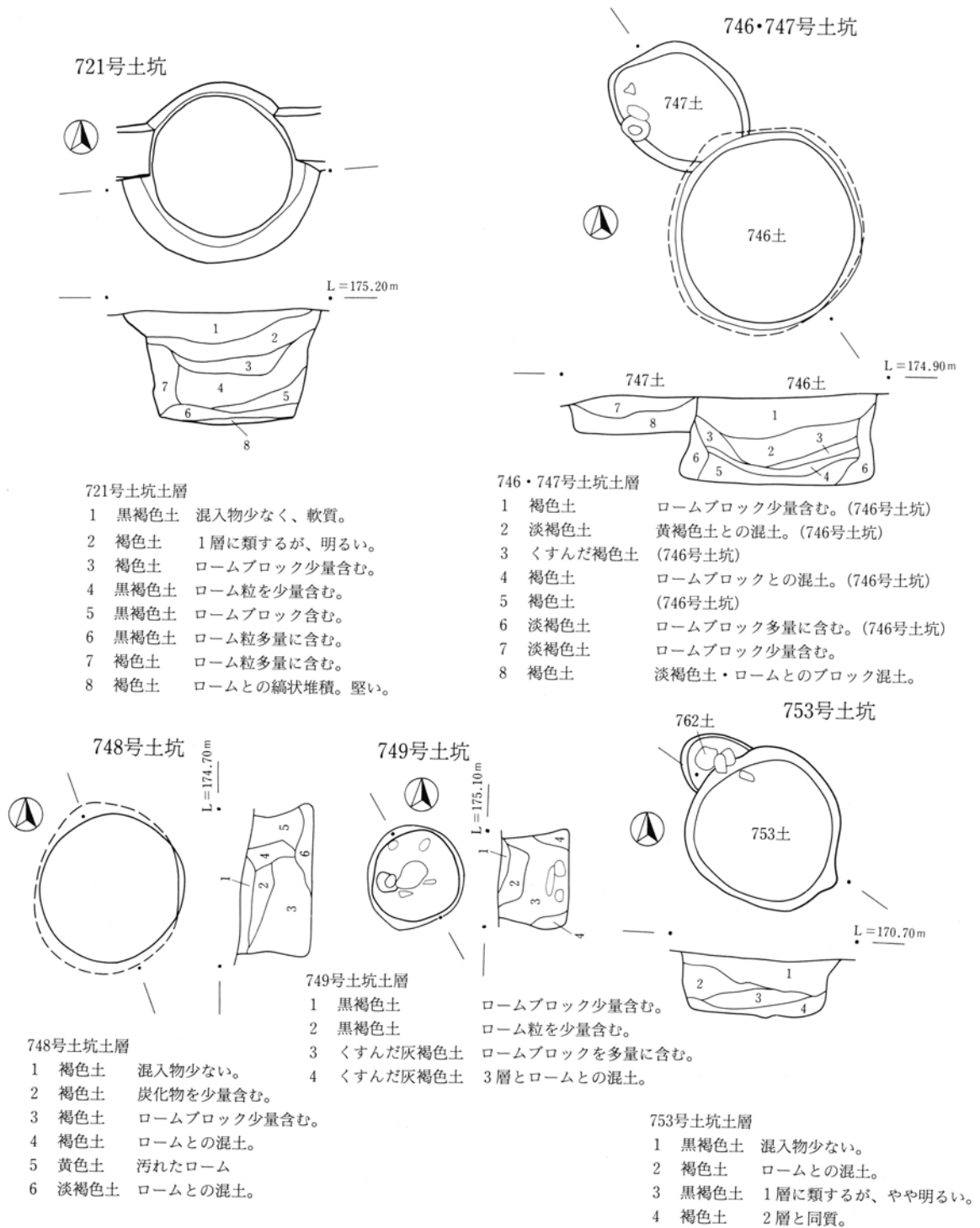
S=1/60

第440図 弥生時代土坑平面図（6）



S=1/60

第441図 弥生時代土坑平面図(7)



第442図 弥生時代土坑平面図(8)

第3節 弥生時代の遺構と遺物

表55 弥生時代土坑一覧表

土坑 No	グリッ ト位置	平面形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (cm)	備 考
1	16-30	円 形	1.50	0.94	9	
20	28-18	円 形	1.52	0.82	25	
21	28-18	円 形	1.36	1.22	96	
41	16-30	円 形	1.58	1.54	16	
49	17-36	円 形	0.80	0.62	24	
50	4-91	不整楕円	1.70	1.12	27	
157	14-59	円 形	0.83	0.80	9	
158	14-59	円 形	1.22	(0.86)	10	
159	14-59	楕 円	2.28	2.32	10	
160	15-57	楕 円	2.07	1.55	31	
164	15-57	楕 円	(1.58)	0.60	16	
244	9-49	円 形	1.32	1.27	20	
245	9-50	円 形	1.46	1.44	41	フラスコ状
265	16-51	方 形	2.01	1.41	156	
297	28-19	円 形	1.19	1.10	49	
309	14-39	円 形	1.41	1.33	39	
344	11-40	円 形	1.00	0.96	86	
356	14-39	円 形	0.84	0.64	68	
484	4-96	長 方 形	1.52	0.95	52	
488	0-89	円 形	1.31	1.31	80	フラスコ状
489	0-89	円 形	1.92	1.12	101	フラスコ状
490	1-89	円 形	0.95	1.04	(77)	フラスコ状
491	0-90	円 形	1.10	1.08	38	
492	1-90	円 形	1.39	1.37	44	
494	4-90	円 形	1.39	1.36	59	
495	3-87	円 形	1.24	1.17	67	フラスコ状
496	1-89	円 形	1.74	1.74	109	
498	0-89	楕 円	1.06	0.40	72	
501	5-95	楕 円	1.50	1.30	41	
503	5-94	長 方 形	2.74	1.06	50	
512	6-92	円 形	1.38	(1.14)	44	
513	6-92	円 形	1.48	(0.98)	36	
516	5-95	長 楕 円	2.64	1.50	87	
520	4-93	長 楕 円	1.60	0.90	20	
530	3-93	長 楕 円	1.62	1.00	47	
538	3-93	楕 円	1.18	0.94	25	
540	1-91	円 形	2.08	1.90	62	フラスコ状
543	0-92	円 形	1.15	1.00	61	
568	0-89	円 形	1.43	1.38	83	フラスコ状

土坑 No	グリッ ト位置	平面形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (cm)	備 考
569	0-91	円 形	1.50	1.43	96	フラスコ状
596	7-58	長 楕 円	(3.00)	1.12	35	
630	13-30	円 形	0.62	0.60	20	
643	7-52	方 形	(0.94)	(0.36)	24	
644	7-51	長 方 形	(2.60)	(0.28)	6	
645	7-51	長 方 形	5.10	0.72	33	
646	7-51	長 方 形	2.66	(0.60)	30	
649	9-51	楕 円	2.78	0.60	24	
650	9-52	楕 円	2.72	0.60	22	
658	7-57	楕 円	(1.00)	0.70	17	
666	8-62	円 形	1.34	1.30	33	
667	8-62	円 形	1.10	(0.98)	31	
669	7-62	円 形	2.06	1.64	84	フラスコ状
670	7-61	円 形	1.38	1.30	27	フラスコ状
671	7-61	円 形	1.80	1.74	72	フラスコ状
672	6-56	円 形	1.22	1.12	14	
673	6-56	円 形	1.10	1.08	27	
678	7-52	円 形	2.02	1.84	45	フラスコ状
679	7-52	円 形	1.14	1.08	32	
680	7-51	円 形	1.20	1.14	40	
683	7-49	円 形	1.66	1.50	78	フラスコ状
685	9-58	円 形	1.16	1.04	30	
688	11-58	円 形	1.88	1.76	64	フラスコ状
695	8-56	円 形	0.96	0.90	9	
700	12-40	不整円形	1.08	1.00	32	
705	7-54	円 形	0.79	0.62	9	
706	8-54	円 形	0.89	0.62	11	
714	9-53	円 形	1.25	1.16	95	
720	9-56	円 形	1.82	1.62	89	
721	9-55	円 形	1.96	1.70	104	
722	9-56	円 形	1.44	(1.34)	102	フラスコ状
723	9-54	楕 円	1.20	0.52	46	
746	9-57	円 形	1.96	1.92	89	フラスコ状
747	9-57	楕 円	1.10	(1.01)	31	
748	10-56	円 形	1.62	1.50	76	フラスコ状
749	8-55	円 形	0.98	0.98	65	フラスコ状
750	9-55	長 楕 円	1.06	0.38	33	
753	12-38	円 形	1.52	1.43	61	

土坑出土遺物

1号土坑(第433図1・2)

1は胴部上半が大きく膨らむ壺形土器で、口縁部から頸部および胴部下半が欠損する。最大径のやや上に沈線を2条巡らせ、沈線間に刻み条の沈線を施すことで文様帯区画を行い、肩部には弧状の沈線で文様を描き、区画内に縄文を充填させる。胴部文様には、4本を1単位とする条痕が施され、上半は横位に、下半は斜位ないし縦位に施されている。2は小形の壺形土器を呈するものと考えられる土器で、胴部下半のみ残存している。数条の平行沈線を2段巡らせ、沈線間にはLRの縄文を充填させている。底部には、網代痕をもつ。

20号土坑 (第450図)

胴部下半に、斜位の条痕が施されるもの。

21号土坑 (第463図 表56)

出土した石器は、大形の打製石斧1点と、両面に凹孔をもつ凹石1点である。

41号土坑 (第443図3・4、第450図)

第443図4は胴部上半に最大径をもつ壺形土器で、口縁から肩部にかけて欠損している。肩部には鋸歯状の沈線が施され、胴部には3本を1単位とする条痕が施され、上半は横位に、下半はやや斜位に施す。底部には、網代痕を施す。第443図3は4と同様の壺形土器で、胴部下半が残存し、5本を1単位とする条痕を斜位に施すもの。第450図1・2・4は同一個体で、口唇部に刻みをもつ平口縁の甕形土器である。口縁下に1条の沈線を巡らせてLRの縄文を施し、頸部は無文となる。3は甕の胴部片で、平行沈線と崩れた変形工字文を施し、区画内にLRの縄文を施す。5・6・8は胴部に条痕を施すものであり、7は胴部下半に4本1単位の条痕を斜位に施し、底部に木葉痕をもつものである。

159号土坑 (第445図9、第450図)

第445図9は外反する平口縁の甕形土器で、口唇部は平に整形され、口縁下には1条の沈線を巡らせるとともにLRの縄文を施す。頸部は無文となり、頸部下には平行沈線と崩れた変形工字文を施し、区画内にLRの縄文を施す。胴部には、横位の条痕が施されている。第450図1・2・4～6は同一個体のもので、外反する平口縁の甕形土器である。口唇部は平に整形され縄文が施され、口縁下には2条の沈線を巡らせるとともにLRの縄文を施す。頸部は無文となり、頸部下には4～6のように沈線が数条巡らされ、沈線間に縄文が施される。3は甕の頸部片で、口縁部に縄文をもち、頸部が無文となるものである。7は胴部下半に、斜位の条痕を施すものである。

160号土坑 (第450図)

胴部片で、沈線下にLRの縄文を施すもの。

164号土坑 (第450図)

胴部に、縄文を施すもの。

244号土坑 (第450図)

1は外反する平口縁の甕形土器で、口唇部は平に整形され、口縁直下を無文帯とし、それ以下の胴部には数条を1単位とする条痕を、横位に施す。2は胴部下半に、斜位の条痕が施されるもの。

245号土坑 (第444図5・6・7・8、第451・463図 表57)

第444図5・6は外反する平口縁の甕形土器で、口唇部は平に整形されている。5は口縁直下を無文帯とし、口縁部下に1条の沈線を巡らせ、以下の胴部には数条を1単位とする条痕を、横位ないし斜位に施す。6は口縁以下に数条を1単位とする条痕を、横位ないし斜位に施すもの。第451図1～3は口縁部片で、1は浅鉢

となるもの。1・2の口縁部には1条の沈線を巡らせてLRの縄文を施し、胴部には沈線で工字文を描き、区画内に縄文を施す。3は口唇部に刻みをもち、口縁に沈線を巡らせるもの。4は胴部に崩れた変形工字文を描くもので、地文に縄文を施している。5～9は胴部に横位ないし斜位の条痕を施すもの。10・11は底部片であり、10には木葉痕が、11には網代痕が施されている。第444図7は甕の高台部で、沈線により工字文が描かれ、区画内に縄文を施すものであり、8は胴部下に斜位の条痕が施されるもので、底部に網代痕をもつ。

出土した石器は、片面に凹孔をもつ凹石2点と、両面に凹孔をもつ凹石1点、裏面が多孔となる石皿が1点である。

265号土坑（第451図）

胴部片で、一部に条痕がみられる。

309号土坑（第451図）

1は外反する平口縁の甕形土器で、口唇部には縄文が施され、口縁下にはLRの縄文を帯状に施す。頸部は無文となり、頸部下には平行沈線が数条みられる。4は頸部下に沈線が巡らされ、胴部上半に横位の矢羽根状沈線が、胴部下半には条痕が施される。2・3・5・6は胴部に条痕が施されるもの。

344号土坑（第451図）

1は外反する平口縁の甕形土器で、口唇部には刻みが施され、口縁下には3条の沈線で鋸歯状の文様が描かれ、頸部以下には斜位の条痕が施されている。2は頸部に沈線による文様が描かれ、区画内に0段多条のLRの縄文が施されている。4は無文となる胴部下半である。3は縄文時代の土器で、加曽利E式の胴部片である。

484号土坑（第452図）

胴部に沈線でロ字状の文様を描き、区画内にLRの細かな縄文を施す。

488号土坑（第452図）

胴部に、斜位の条痕が施されるもの。

489号土坑（第452図）

1・2は胴部に数条の沈線を巡らせるもの。4は胴部に蛇行する沈線を描き、地文に縄文を施すもの。3・5・6は胴部片で、斜位の条痕を施すものである。

490号土坑（第452図）

胴部に、条痕が施されるもの。

491号土坑（第452図）

1～3は胴部に横位ないし斜位の条痕が施されるもので、3の上部には縄文がみられる。4は胴部に沈線を巡らせるもので、地文には縄文が施されている。

第3章 検出された遺構と遺物

492号土坑 (第452・463図 表58)

口縁下に縄文を施し、以下に数条を単位とする条痕が施される。

出土した石器は、表皮を残す剥片素材の大形の打製石斧1点である。

494号土坑 (第452図)

1は口縁部に沈線と刺突で文様を描くもので、円形刺突を有する小瘤を貼付する。3は頸部に縄文と、縦位の沈線をもつもの。4は無文の胴部片。2・5・6は胴部に斜位の条痕を施すものである。

495号土坑 (第445図10、第452図)

1は壺形土器の口縁で、緩やかな波状口縁を呈し、口縁部に縄文を施し沈線で区画し、頸部は無文となる。2・3・9は同一個体の土器で、胴部に沈線により文様を描き、区画内に縄文を施すとともに朱を塗布する。4は無文の口縁部片であるが、裏面には縄文が施されている。5は口唇部に刻みをもつ有段口縁で、口縁部に縄文が施される。6・7・8は頸部片で、波状の沈線が描かれ、その下部に縄文が施されるものであり、6・8は同一個体。10は頸部に数条の沈線を巡らせ、その下に集合状の沈線を縦位に施す。11～14は胴部片で、横位ないし斜位の条痕を施すもの。

496号土坑 (第453図)

1は口縁部に数条の沈線を巡らせるもの。2は頸部に数条の沈線を巡らせるもの。3～5は頸部ないし胴部に沈線で直線・曲線的な文様を描くもの。6は口縁がやや外反する甕形土器で、口唇部に刻みをもち、口縁以下に格子状の沈線を施すもの。7は無文となる高台の脚部である。8は網代痕をもつ底部片。

498号土坑 (第453図)

外反する平口縁の甕形土器で、口唇部には刻みをもち、口縁部が無文となるもの。

501号土坑 (第453図)

1・2は口縁部片で、1の口唇部には縄文が施され、口縁下には2条の沈線により鋸歯状の文様が描かれ、地文にLRの縄文が施される。2は口縁部に単沈線による鋸歯状の文様が描かれ、地文にはLRの縄文が施される。3は壺形土器の頸部で、2条の沈線が巡らされ、細かな縄文がみられる。

513号土坑 (第463図 表59)

出土した石器は、表皮を残す剥片素材の大形打製石斧の器体中央部1点である。

516号土坑 (第453図)

1は頸部に沈線で文様が描かれ、区画内にLRの縄文が施される。2は網代痕をもつ底部である。

520号土坑 (第453図)

胴部に、斜位の条痕を施す。

530号土坑 (第453図)

1・2は口縁部の小片で、1は口唇部に刻みをもち、口縁下に条痕状の沈線を施すもの。2は口縁に細かなLRの縄文を施すもの。

538号土坑 (第453図)

胴部に、条痕の施されるもの。

540号土坑 (第453図)

1は頸部に沈線による文様が描かれ、区画内にLRの縄文が施される。2・3は胴部に横位の条痕が施されるもので、2は沈線により胴部文様が区画されている。

568号土坑 (第464図 表60)

出土した石器は、表皮を残す剥片素材の大形打製石斧が2点で、1は上半部が欠損し、2は下半部が欠損している。

569号土坑 (第453・464図 表61)

1・2ともに、無文の胴部片である。

出土した石器は、表皮を残す剥片素材の大形打製石斧が1点、両面に多孔をもつ多孔石が1点である。

596号土坑 (第453図)

1は口縁部の小片で、口唇部に縄文を施し、口縁部には1条の沈線を巡らせてLRの縄文を施すもの。2は刷毛目痕をもつ埴輪片である。

630号土坑 (第453図)

1は口縁部が輪積み痕による有段状を呈し、口縁部に縄文を施すものであり、2は無文の底部で、古墳時代初頭の土器と考えられる。

646号土坑 (第454図)

1は胴部に曲線的な文様を描き、区画内に縄文を施す。2・3は胴部片で、斜位の条痕を施すものである。

649号土坑 (第454図)

1は口唇部に縄文を施し、折り返しによる有段口縁となるもので、頸部に1条の沈線が巡る。2は胴部に条痕が施されるもの。

658号土坑 (第454図)

頸部に数条の沈線を巡らせ、その下に集合状の沈線を縦位に施すもの。

667号土坑（第454図）

1は壺形土器の頸部で、沈線により長方形の文様を描き、区画内に縄文を施す。2は胴部に数条の沈線で、波状等の文様を施すもの。

669号土坑（第447図19・20、第454図）

第447図19・20は胴部上半に最大径をもち、頸部がくびれ、口縁が外反する甕形土器で、19は口縁部から頸部を欠き、20は半面のみが遺存する。19は胴部上半に太い沈線で崩れた変形工字文を描き、地文にLRの縄文を施す。胴部下半には、4条が1単位となる条痕が斜位に施され、底部には網代痕が施される。20は有段となる口縁部に前前段反撚りの縄文が施され、頸部が無文となり、胴部上半には太い沈線で崩れた変形工字文を描き、地文には口縁部と同様のLRの縄文を施す。胴部下半には、4条が1単位となる条痕が斜位に施されている。第454図1・5は同一個体で、口唇部に縄文を施し、口縁部には縄文を施した後に2本単位の短沈線で横・縦位に文様を描き、頸部を無文とし、胴部には4条の沈線を巡らせるとともに縄文を施す。2・7も同一個体で、頸部から胴部にかけて波状・平行沈線を描き、LRの細かい縄文を施す。3は壺形土器の頸部で、縄文を地文とし、沈線によるL字状、T字状のモチーフを組み合わせた文様を描き、区画内の縄文を磨り消している。4・6は数条を単位とする条痕を、胴部に施すもの。8は網代痕をもつ底部片で、胴部下半にも太い沈線が斜位に施されている。

670号土坑（第445図11、第454・464図 表62）

第445図11と第454図1・2は同一個体で、口縁がやや膨らみ内反し、胴部が僅かに膨らむ器形を呈し、口縁下に1条の沈線を巡らせ、その下に沈線で逆「の」字状、菱状の文様を組み合わせ描き、区画内に細かい縄文を充填させる。3は胴部に条痕が施されたものである。

出土した石器は、片面に凹孔をもつ凹石が1点である。

671号土坑（第445図12・14、第455・464図 表63）

第445図12は口唇部に刻みをもち、口縁部に縄文を施すとともに沈線で区画し、頸部は無文となり、胴部には地文に縄文を施し、沈線で文様を描く。14は網代痕をもつ底部で、胴部下半には斜位の条痕が施されている。第455図1は口唇部に刻みをもち、口縁下に数条の平行沈線を巡らせるもの。2は口唇部に縄文を施し、有段となる口縁部にLRの縄文を施すもの。3は壺形土器の口縁部で、口縁部にLRの縄文を施し、下部に沈線を巡らせるもの。4・5は胴部片で、縄文と沈線条の条痕が施されるもの。6・7は甕の頸部に数条の平行沈線を巡らせ、その下に縦位の沈線を施す。8は壺形土器の頸部で、地文に縄文を施し、数条の平行沈線を巡らせる。12・14・15は壺形土器となる同一個体で、頸部に横位の集合状沈線を施した後に弧状の文様を描き、区画内に縦位の集合状沈線を施し、頸部下に2条の太い沈線を巡らせる。その沈線下の胴部には、地文にLRの縄文をもち、太い沈線でX字状の文様を描き、区画内に集合条沈線を施す。13は胴部に4本を単位とする沈線で波状文を描くもので、地文にLRの縄文を施している。9～11・16～25は胴部片で、横位ないし斜位の条痕を施すもの。26は網代痕をもつ底部であり、27は小形台坏土器の縄文を施す脚部である。

出土した石器は、表裏面と側面の3面に凹孔をもつ凹石が1点である。

672号土坑（第454図）

胴部に、条痕を施すもの。

673号土坑（第454図）

胴部に、条痕を施すもの。

678号土坑（第455図）

1・2は同一個体の壺形土器の胴部で、沈線によりL字状、T字状のモチーフを組み合わせた文様を描き、区画内に縄文を施す。3は胴部に4条の太い沈線を巡らせ、その下に斜位の集合状の沈線を施す。5は口縁下に横位の条痕を施す。6・7は胴部に斜位ないし縦位の条痕を施すもの。4は網代痕をもつ底部である。

679号土坑（第446図15・16、第456図）

第446図15は小形壺形土器となるもので、頸部に2条の沈線を巡らせ、胴部に沈線で文様を描き、地文に縄文を施す。16は底部に網代痕をもつもので、胴部下半に斜位の条痕を施している。第456図1は胴部に沈線および縄文を施す。2～4は胴部に横位ないし斜位の条痕を施すもの。

680号土坑（第456・464図 表64）

1・2は壺形土器の頸部に、縦位の矢羽根状沈線が施される。3は壺形土器の口縁部で、口縁部に鋸歯状および縦位の沈線が描かれ、地文に縄文をもち、数条の平行沈線を巡らせるもの。4～8は胴部に沈線による曲線的、平行、波状等の文様を描くもので、地文には縄文が施される。9は胴部に細かな縄文を縦位に施すものであり、10は口縁下に縦位の条痕を施す。11は口唇部に刻みをもち、やや有段となる口縁部にLRの縄文が施され、頸部が無文となり、以下に沈線が巡る。12・16は同一個体の口縁部で、口唇部に縄文を施し、口縁下に4条を単位とする条痕を横位に施すもの。13は口縁下に斜位の条痕を施すもの。14・15・17～21は胴部に横位ないし斜位の条痕を施すもの。22～24は網代痕をもつ底部である。

出土した石器は、方形で偏平に研磨された磨き石が1点で、刻線状の溝を有する。

683号土坑（第446図17・18、第457・464図 表65）

第446図17は胴部が膨らみ、頸部がくびれ、口縁が外反する器形を呈し、口縁部は折り返し口縁となる。口縁部から頸部にかけて、方形区画を描くように横位ないし縦位に前前段反撚りの縄文を施し、胴部下半には薄く斜位の条痕がみられる。18は底部片で、胴部下半に斜位の条痕を施すもの。第457図1・2・6は縄文時代の土器で、1は口縁に小突起をもち、口縁部に平行沈線、角押し文等により文様を描くものであり、2は胎土に繊維を含む胴部に、縄文を施すもの。6は口縁部以下に縄文を施すものである。3・4・12～14は同一個体のとなるもので、先の第446図17と同様の器形を呈し、口唇部に縄文を施し、口縁部および頸部に横位の縄文を4段巡らせ、その間に条痕状の沈線を巡らせる。上から3段目の沈線は、やや波状気味に施される感がある。施される縄文は、前前段反撚りの縄である。胴部下半には斜位の条痕が施されている。5は口唇部に刻みをもち、口縁下に条痕を施すものであり、7は口縁下に縄文を施すもの。8～10は胴部に沈線で文様を描き、地文に縄文をもつもの。11は先の第446図17と同一個体のもので、頸部に縄文が带状に施されるもの。15は胴部に沈線により波状等の文様を描くもの。16～31は胴部に横位ないし斜位の条痕を施すものであ

第3章 検出された遺構と遺物

る。

出土した石器は、打製石斧が1点である。

685号土坑（第456図）

1～3は縄文時代の土器で、1・2は結節浮線文で文様を描くものであり、3は縄文を施すもの。4・5は同一個体で、4は内反する口縁部片。口縁部に1条の沈線を巡らせ縄文を施し、胴部に沈線で縦長の方形状の文様を描き、区画内に縄文を施すとともに器面を研磨する。また、器面全体に朱を塗布している。7は網代痕をもつ底部。8は表裏面に刷毛目痕をもつ埴輪片である。

688号土坑（第445図13、第458・464・465図 表66）

第445図13は胴部が僅かに膨らみ、頸部がくびれ、口縁が朝顔状に大きく外反する小形土器で、口縁下および頸部に沈線を巡らせ、口縁部にはクランク状のモチーフを連続させる文様を、胴部には鋸歯状の文様を描き、区画内に縄文を施す。第458図1は外反する口縁の口唇部に縄文を施し、口縁部は無文の折り返し口縁で、頸部に沈線で鋸歯状の文様を描くもの。2は口唇部および口縁部に縄文を施し、頸部に太い沈線を数状巡らせるもの。3は口縁に2状の沈線を巡らせ、その間に縄文を施すもので、頸部は無文となる。4は口縁に2状の沈線を巡らせ、頸部は無文となるもの。5～7は壺形土器の頸部で、5・6は頸部および頸部下に太い沈線を巡らせ、区画内に細かい縄文を施し、胴部に横位の条痕をもつ。7は頸部に太い沈線で鋸歯状の文様を描くとともに刺突を施し、胴部には細かな縄文を施している。8は胴部に平行沈線を施し、区画内に細かな縄文をもつもの。9は胴部に平行ないし鋸歯状の沈線を施し、区画内に縄文をもつもの。10～12は胴部にT字状、L字状等のモチーフを組み合わせた文様を描き、区画内に縄文を施すもので、10の無文部には朱が塗布されている。13は胴部に蛇行する沈線等の文様を描くもの。14は壺形土器の頸部下の胴部上半に、縦位の矢羽根状の沈線を施すもの。15は口縁以下に条痕を施すもので、16～24は胴部に横位ないし斜位の条痕を施すもの。25は口唇部に押圧痕をもち、折り返し口縁となる無文のもので、26～33は無文の胴部片である。34は胴部に4条の波状沈線を描くもので、地文に縄文が施されている。35は小形の壺形土器となるもので、胴部に縄文を帯状に施し、朱を塗布するもの。36は胴部上半に縄文が施される小形土器。37は台付土器の脚部で、外面に朱が塗布されている。

出土した石器は、大形の打製石斧が3点と、片面に凹孔をもつ凹石が1点である。

695号土坑（第459図）

1～5は同一個体の壺形土器で、1・2は頸部下半から胴部上半の土器で、3～5は胴部下半のものである。頸部下には太い1条の沈線が巡らされ、頸部下半に縦位の短い沈線を連続させ、その下に横位の矢羽根状の沈線を施す。胴部上半には沈線で文様を描き、地文に細かなLRの縄文を施す。胴部下半には、横位ないし斜位の条痕を施している。

700号土坑（第459図）

1・2は縄文時代の土器で、1は口縁下に沈線をもち、2は胴部に縄文を施すもの。3は頸部に沈線を巡らせ、胴部にLRの縄文を施す。4は胴部に斜位の条痕を施すものであり、5は無文となる胴部片である。

705号土坑 (第449図23~26)

23は胴部上半に最大径をもつ大形の壺形土器で、口縁から頸部を欠損する。施文される文様は、頸部下に太い沈線を数条巡らせ、その下に同様の太い沈線で集合状に鋸歯状の文様を描き、その下部に条痕状の沈線を横位に施すことで文様区画をなす。胴部下半には4本を単位とする斜位の条痕を施すが、胴部上半の鋸歯文等を描く以前に、地文として施されている。底部には網代痕をもつ。24は小形の壺形土器で、ほぼ完形である。胴部のやや上半に最大径をもち、頸部はくびれながら長頸となる器形を呈し、口縁は折り返し口縁となる。施文される文様は、口縁部に縄文を施し、頸部は無文で、胴部上半には平行沈線で文様帯を区画し、その間に崩れた変形工字文を描くと共に縄文を施す。胴部下半には縦位の条痕状の沈線を施している。25は完形の小形土器で、胴部に平行沈線を数条巡らせ、区画内に縄文を施す。底部には木葉痕をもつ。26はほぼ完形の近い小形の壺形土器で、胴部の上半に最大径をもち、頸部はくびれ、口縁は外反する。口唇部に縄文を施し、口縁部に2個の孔を有する。口縁部下および胴部には、2条の平行沈線を4段巡らせて文様帯の区画を行い、胴部上半には崩れた変形工字文が、下半には鋸歯状の文様を描かれ、区画内を研磨すると共に地文には縄文を施している。

706号土坑 (第448図21・22)

21・22は共に胴部上半に最大径をもつ大形の壺形土器で、口縁から頸部、底部を欠損する。21に施文される文様は、頸部下に数条の太い沈線を巡らせ、その下に4条を基本とする沈線で山形ないしは菱形、円形の文様を描き、その下に頂部に刺突をもつ瘤条突起を貼付させて平行沈線を施す形で胴部上半の文様帯を区画し、無文帯を挟んで1条の太い沈線を巡らせ、以下に条痕を施している。22へ施文される文様は、頸部に縦位の矢羽根状の沈線を施し、頸部下に太い沈線を数条巡らせ、その下に同様の太い沈線で集合状に鋸歯状の文様を描き、その下部に条痕状の沈線を横位に施すことで文様区画をなす。胴部下半には4本を単位とする斜位の条痕を施している。

714号土坑 (第459図)

1~4は胴部に斜位の条痕を施すもの。

720号土坑 (第460図)

1は壺形土器の外反する口縁で、口縁下に横位の矢羽根状沈線を施す。2は折り返し口縁となる口縁下に、横位の条痕が施される。3は壺形土器の頸部で、頸部下に太い沈線を巡らせると共に頸部に鋸歯状の文様を描き、区画内に縄文を施すものであり、裏面には明瞭な整形痕が残されている。4も壺形土器の頸部で、上部に太い沈線が数条巡り、その下は無文となる。5は朝鉢の口縁部で、L字状の文様を描かれ、細かなLRの縄文が施される。6・7は口縁部に沈線で文様を描かれ、区画内に縄文が施されるものであり、7は器面に朱が塗布されている。8~10は胴部に沈線で鋸歯状ないし曲線的な文様を描き、区画内に縄文を施すもの。11・12は壺形土器の頸部に、縄文を施しているもの。13は口唇部に刻み状の押圧痕をもち、口縁下に条痕を施す。14~19・21は胴部に斜位の条痕が施されるものであり、18は無文の胴部の表裏面に朱を塗布しているもの。22は小形土器の胴下半部で、沈線により楕円や8字状の文様を描かれ、大きく2単位の文様が構成されている。地文には細かな縄文が施され、一部には朱がみられる。23は縄文時代の土器で、胴部に縄文が施されるもの。

第3章 検出された遺構と遺物

721号土坑 (第460・465図 表67)

2は壺形土器に頸部で、頸部下に太い沈線を巡らせると共に頸部に鋸歯状の文様を描き、区画内に縄文を施すものであり、裏面には明瞭な整形痕が残されている。3は胴部に沈線および縄文が施されるもの。4は胴部に数条の沈線で、鋸歯状の文様を描くもの。6～10は胴部に条痕を施すもの。11は折り返し口縁となる口縁部にLRの縄文を施し、頸部が無文となる。12は壺形土器の口唇部および口縁下に縄文を施すもの。13～16は胴部に横位の縄文を施すもの。1は縄文時代前期の土器で、口縁部に半裁竹管による集合沈線を施すもの。5は表裏両面に刷毛目痕をもつ埴輪片である。

出土した石器は、大形の打製石斧が1点である。

722号土坑 (第461・465図 表68)

1は胴部に沈線を数条巡らせ、沈線間に縄文を施すもの。2は網代痕をもつ底部片である。

出土した石器は、表裏・両側面の4面に凹孔をもつ凹石が1点である。

723号土坑 (第461図)

2～3は胴部にU字状、平行、縦位の沈線で文様を描き、地文に縄文を施すものであり、2の器面には朱が塗布されている。6は鋸歯状に集合状の沈線を施すもの。8は胴部に条痕を施すもの。1・7は縄文時代の土器で、1は口縁部に三角印刻文をもつものであり、7は胴部に半裁竹管による集合沈線を施すものである。

746号土坑 (第461図)

3は壺形土器の胴部上半に、集合状の沈線で鋸歯状に文様を描くもの。5・6・8・9は胴部に平行沈線ないしは曲線的な沈線で文様を描き、地文に縄文を施すもの。10は胴部に細かな縄文を施す。11～19・21～24は胴部に条痕を施すもの。20は木葉痕をもつ底部である。1・2・4・7は縄文時代の土器で、1は格子状の沈線と三角文を施すものであり、2・4・7は半裁竹管による集合沈線を施すものである。

747号土坑 (第462図)

2は無文の胴部片。1・3は表裏面に刷毛目痕をもつ埴輪片である。

748号土坑 (第462図)

1・2は胴部上半に沈線を数条巡らせ、その下にLRの縄文を施すもの。3は胴部に曲線的な文様を描き、区画内に縄文を施すもの。

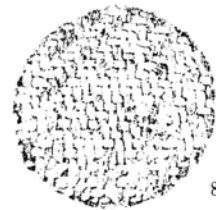
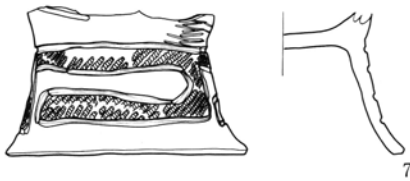
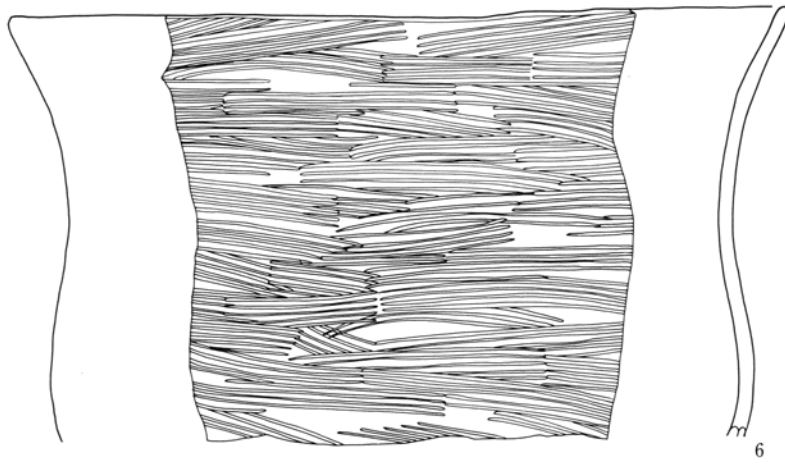
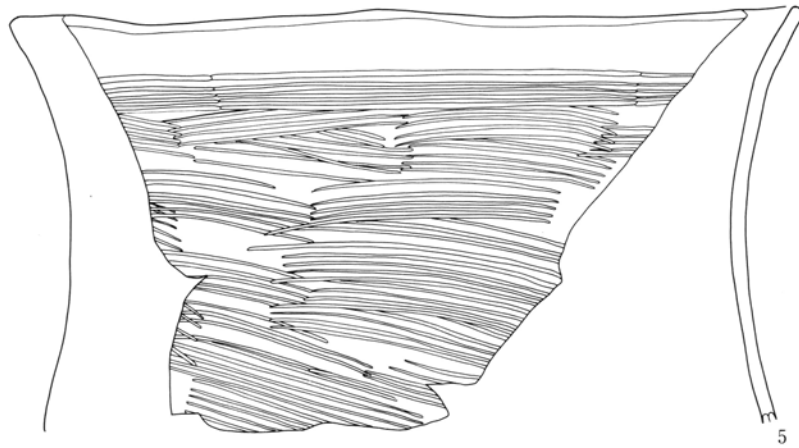
749号土坑 (第462・465図 表69)

1は口唇および口縁部に縄文を施し、頸部に数条の平行沈線を巡らせるもの。2は口唇および口縁部に縄文を施し、頸部が無文となる。3は口縁部に平行沈線と縄文を施すもの。4～8は同一個体となるもので、口唇および口縁部に縄文を施し、4条の沈線で波状文が2段巡らされ、頸部は無文となる。9・10は胴部に条痕が施されるもの。11・12は同一個体の壺形土器の口縁部で、口縁部に縦位穿孔をもつ縦長の瘤状突起を貼付し、口縁下に縄文を施すもの。13は頸部に太い沈線で鋸歯状の文様を描くとともに刺突を施す。14は口



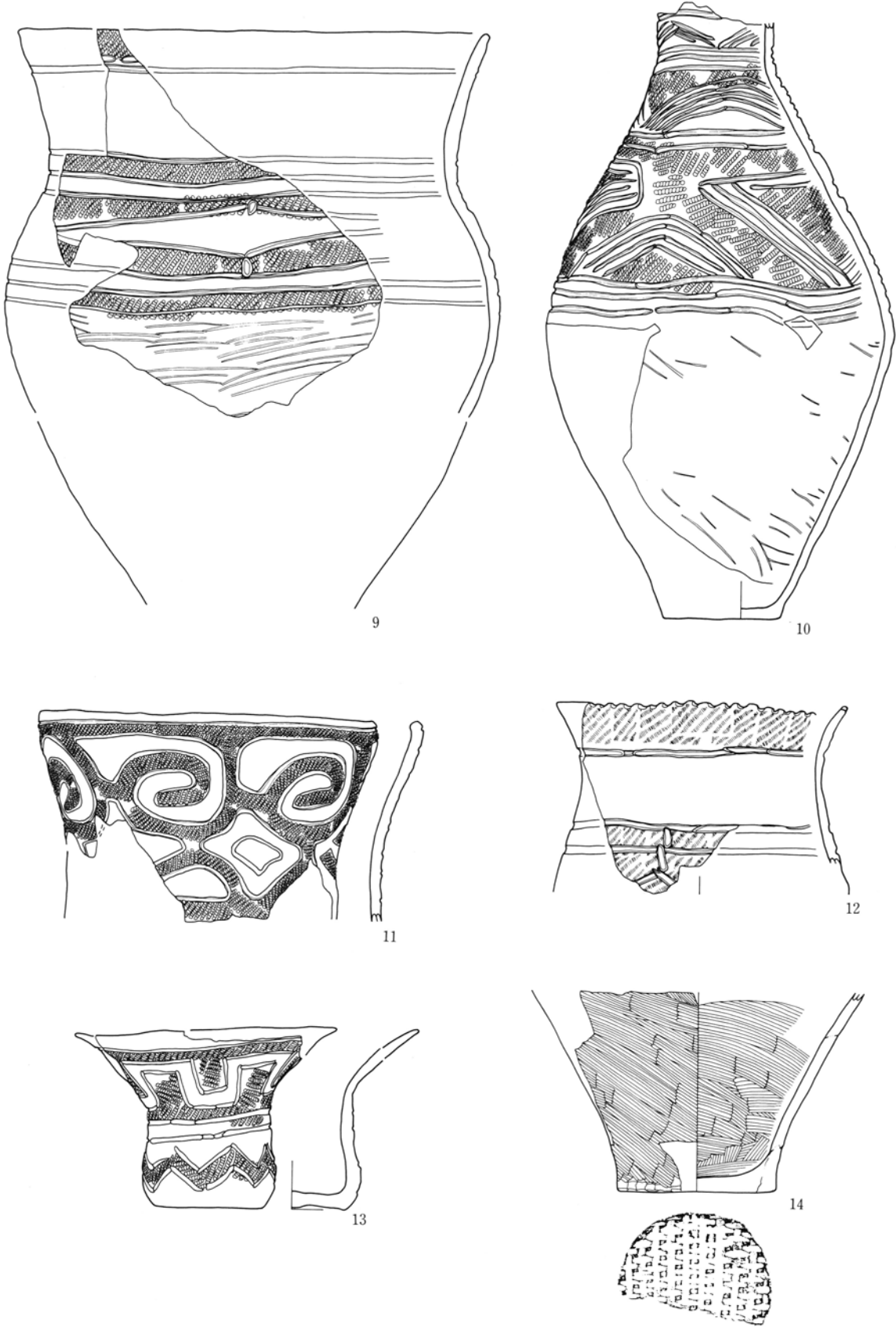
第443図 土坑出土土器 (1)

S=1/3



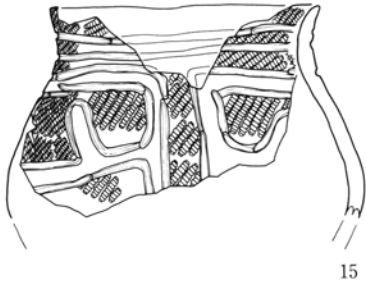
S = 1/3

第444図 土坑出土土器 (2)

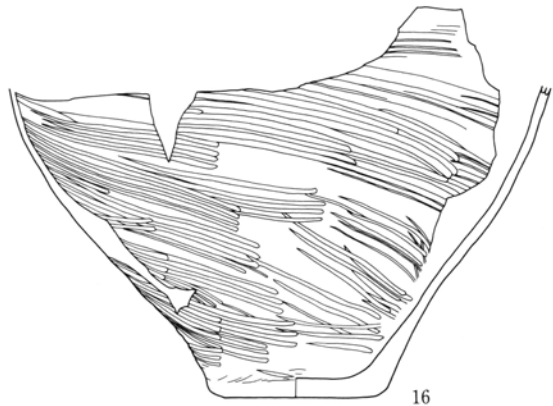


第445図 土坑出土土器 (3)

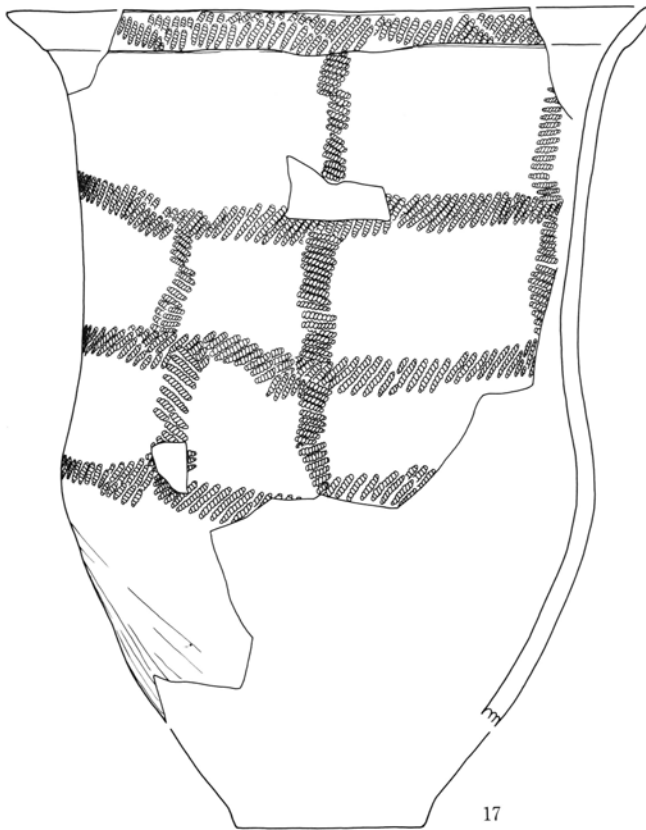
S=1/3



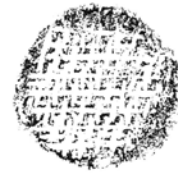
15



16

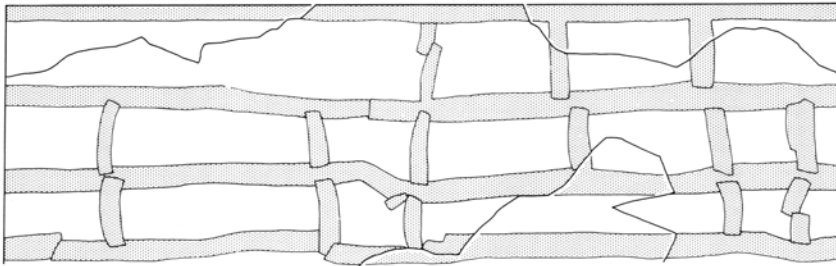


17

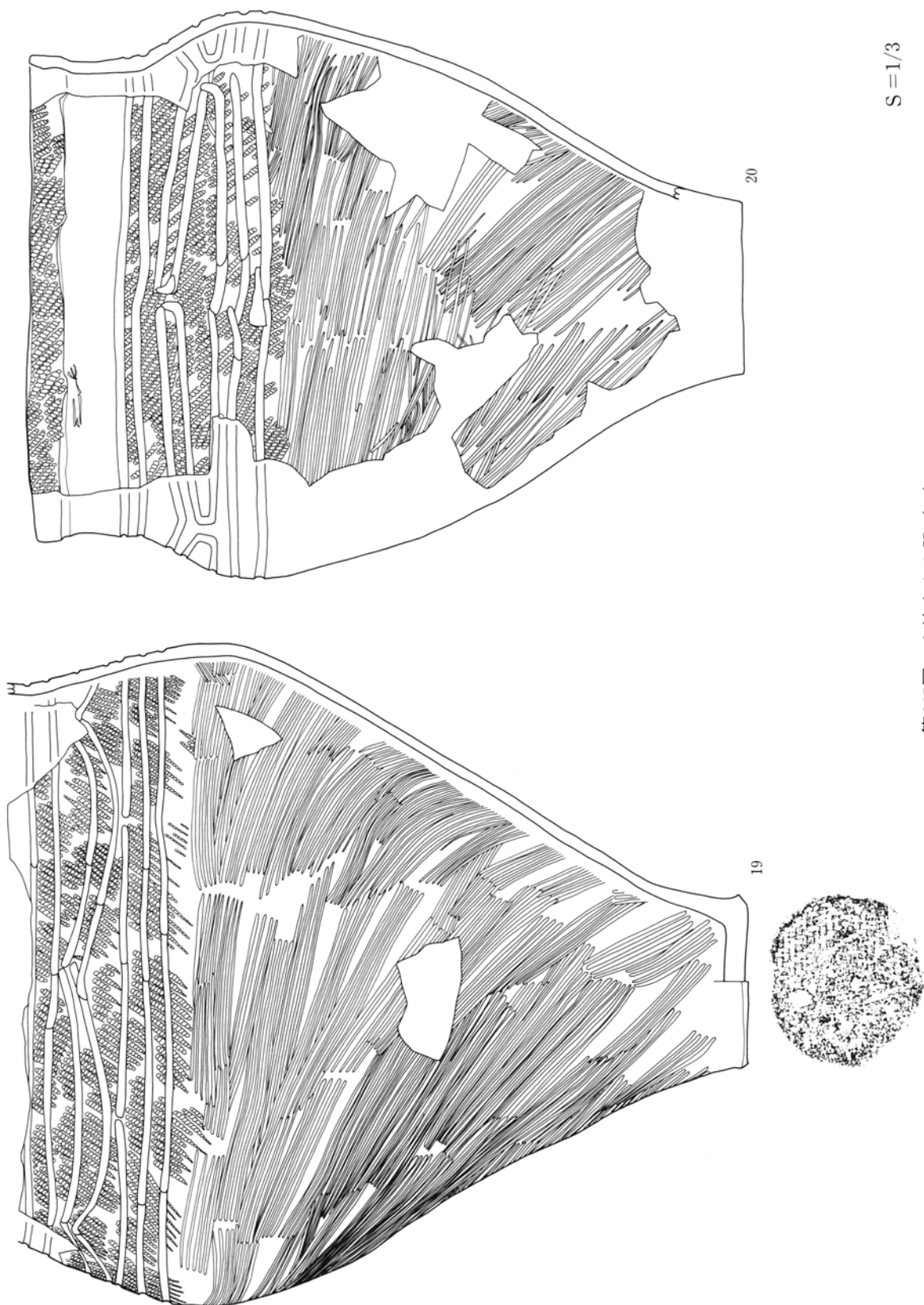


18

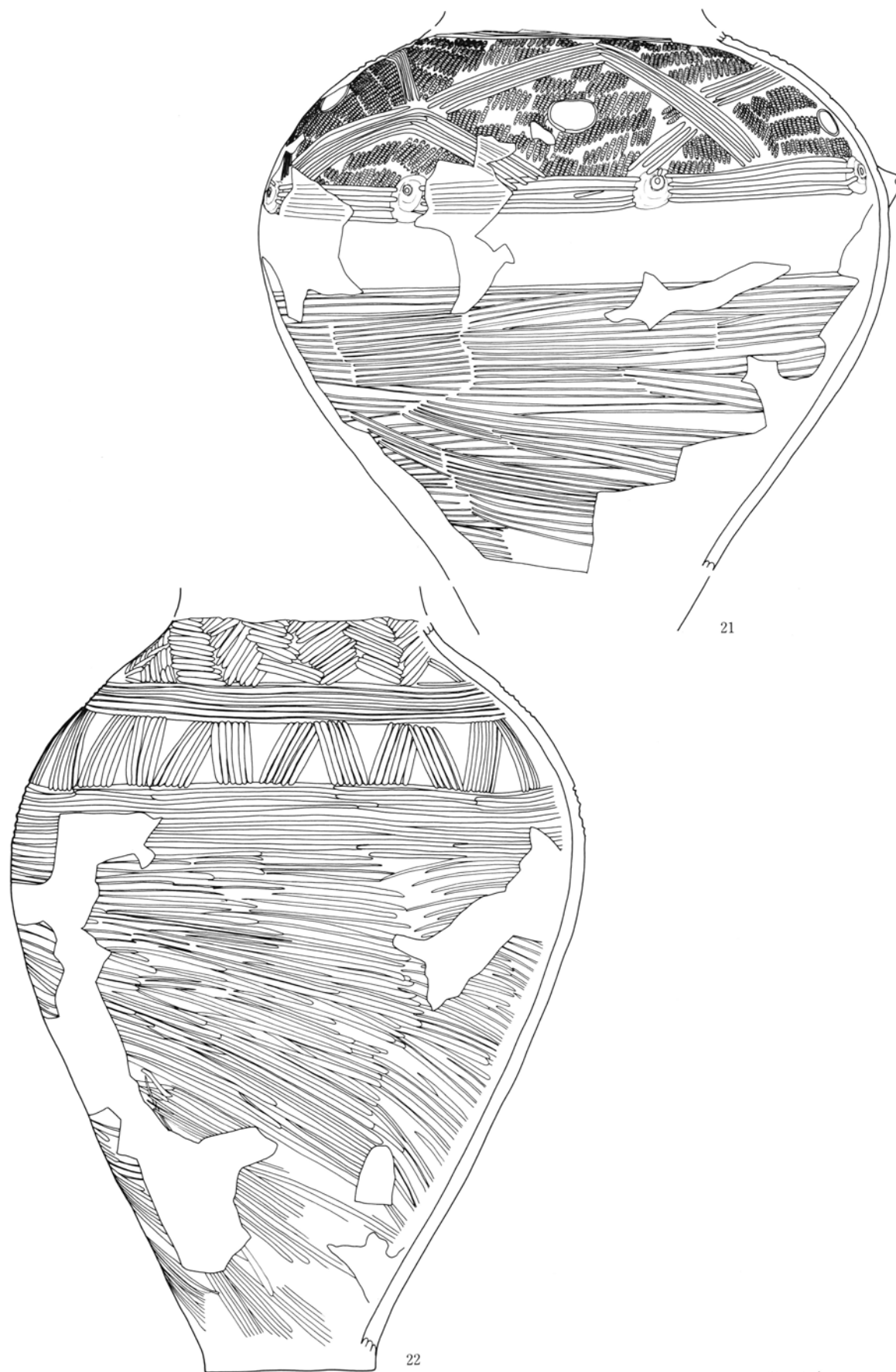
S=1/3



第446図 土坑出土土器(4)

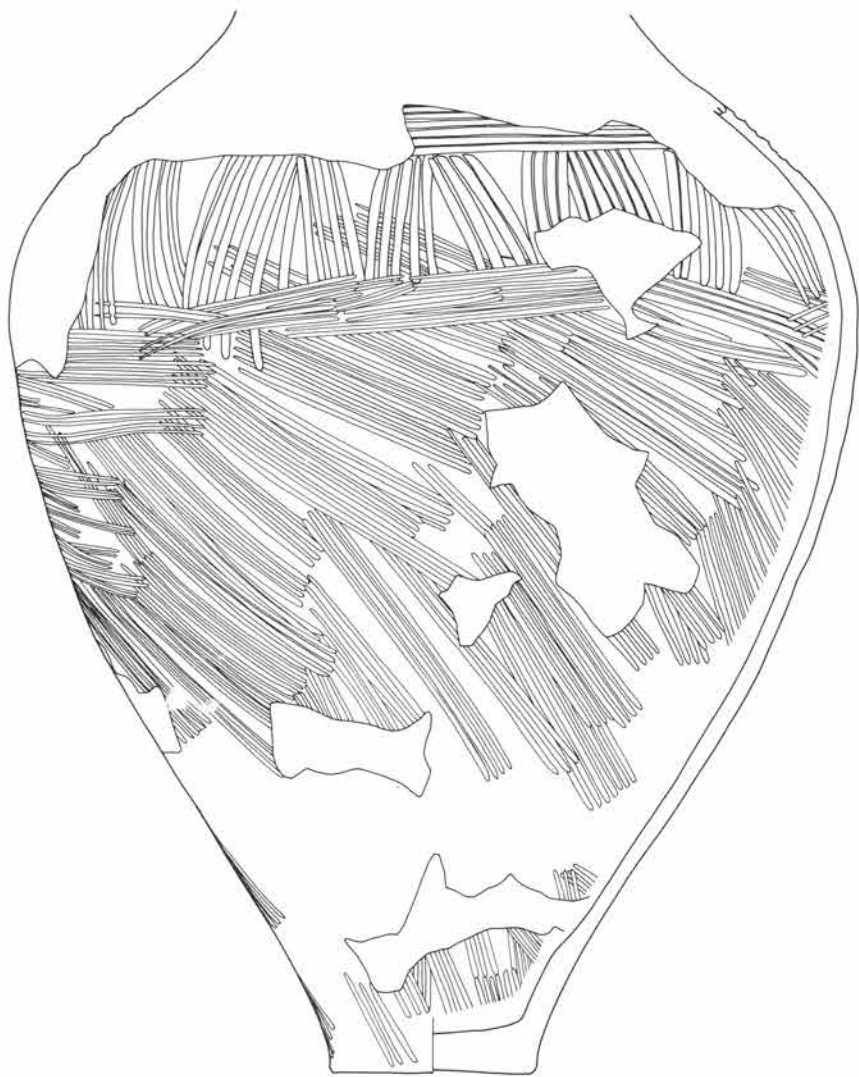


第447図 土坑出土土器（5）

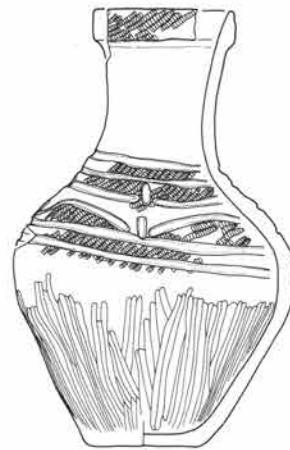
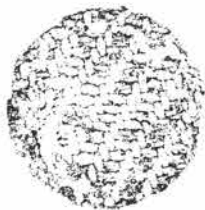


第448図 土坑出土土器(6)

S=1/3



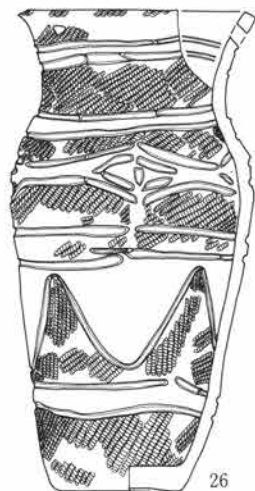
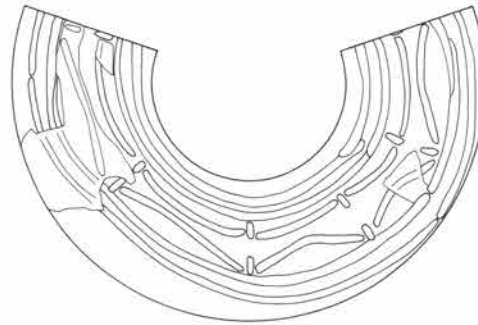
23



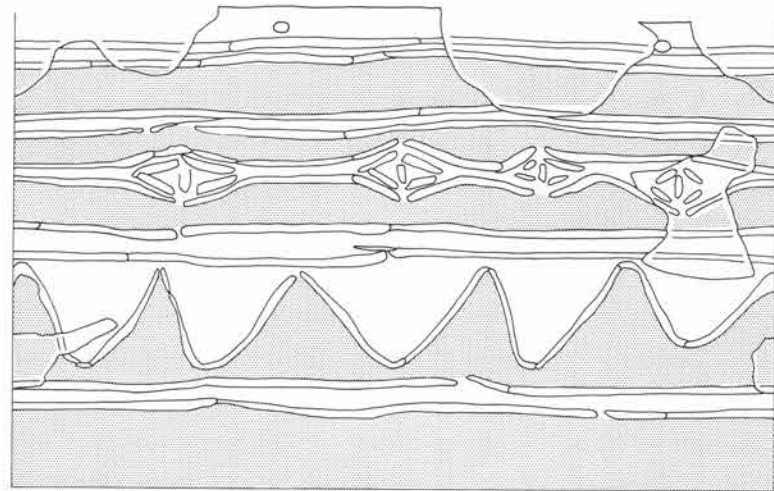
24



25

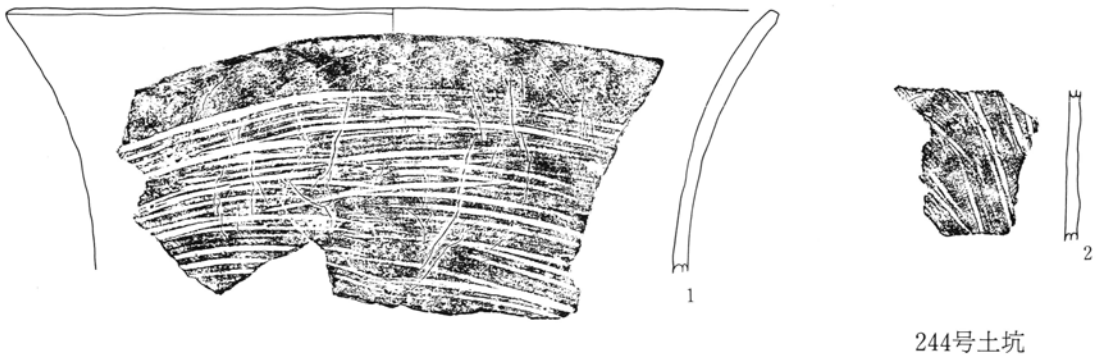
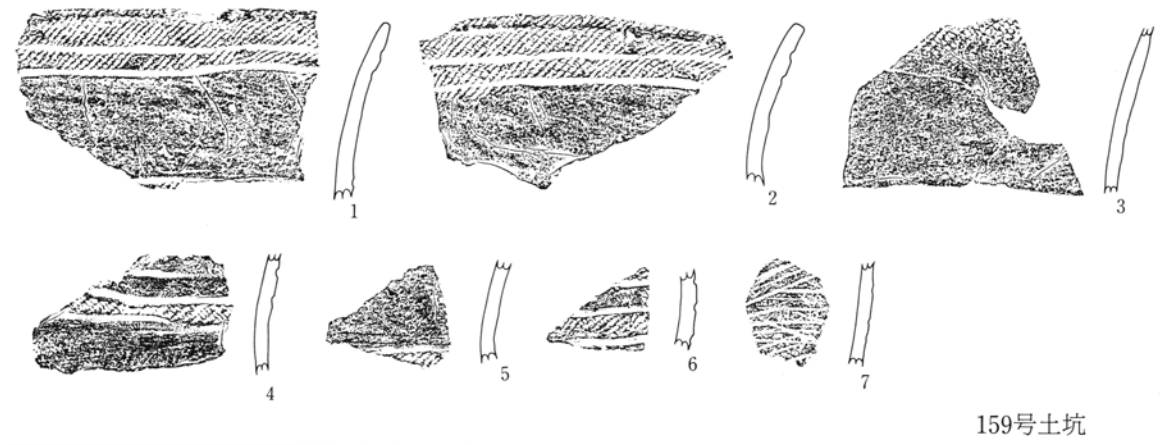
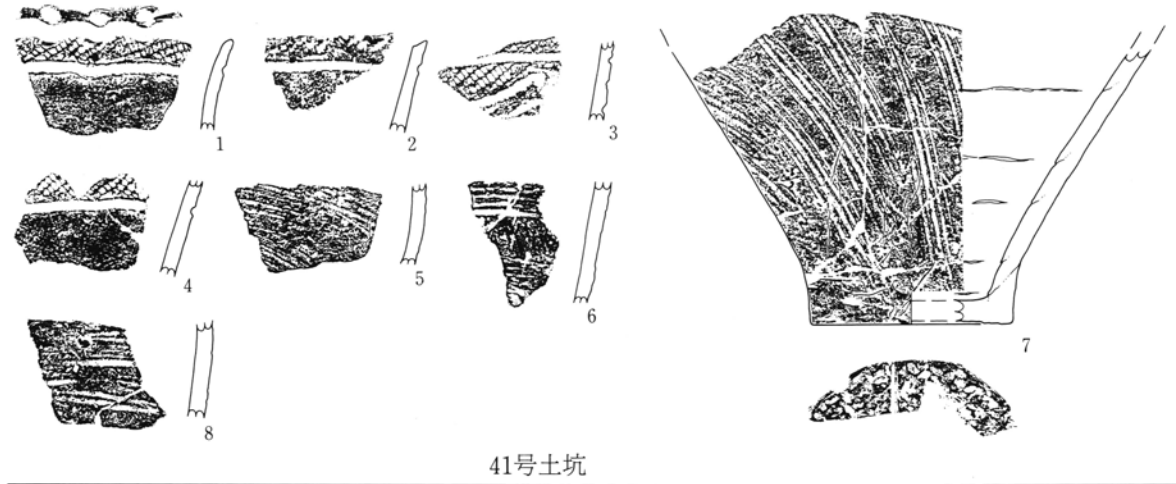
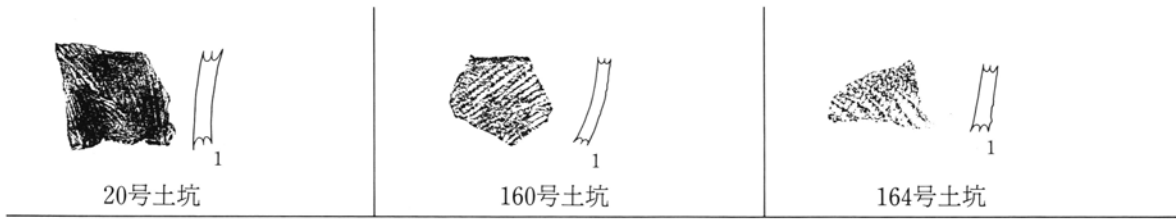


26



S=1/3

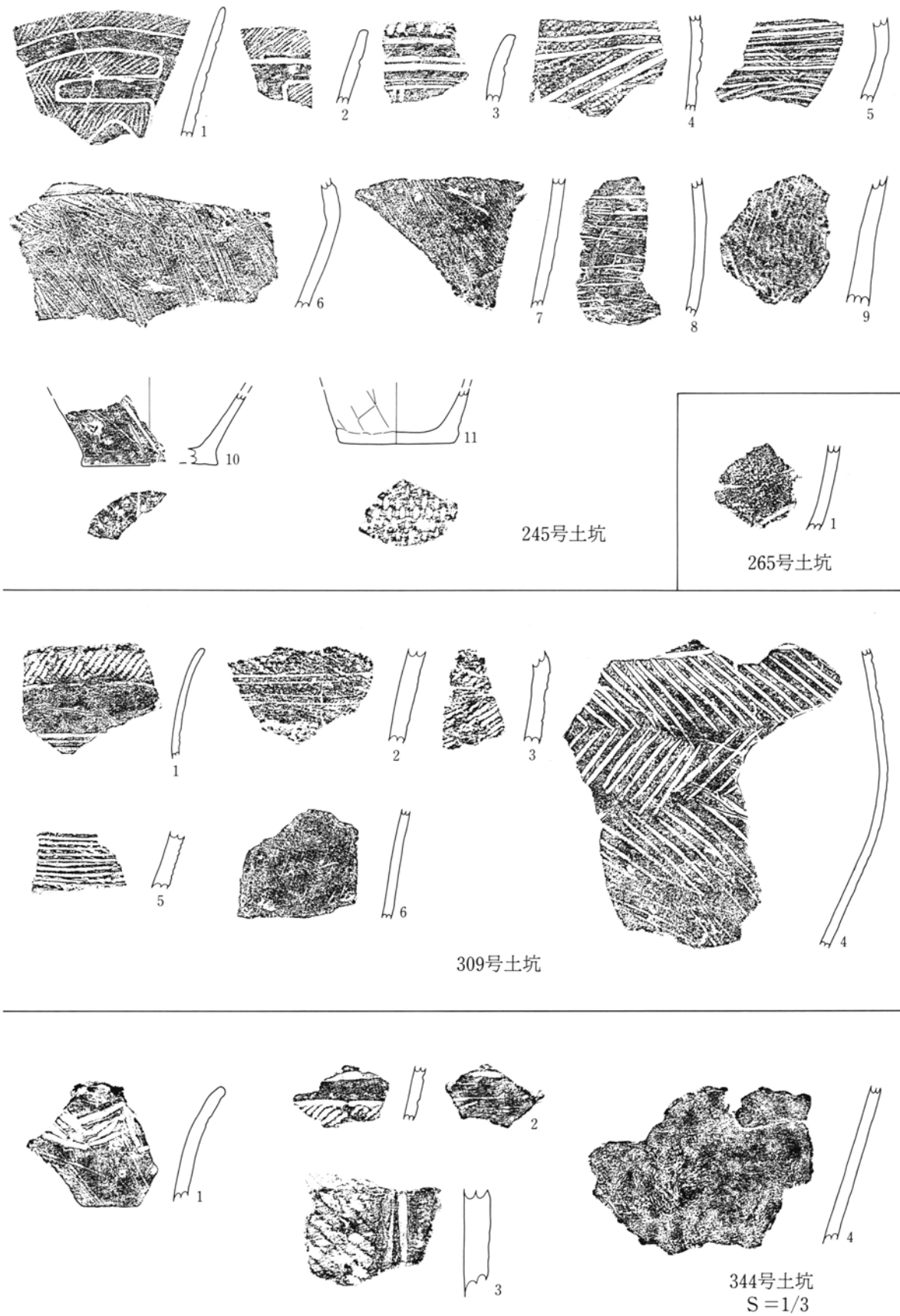
第449图 土坑出土土器 (7)



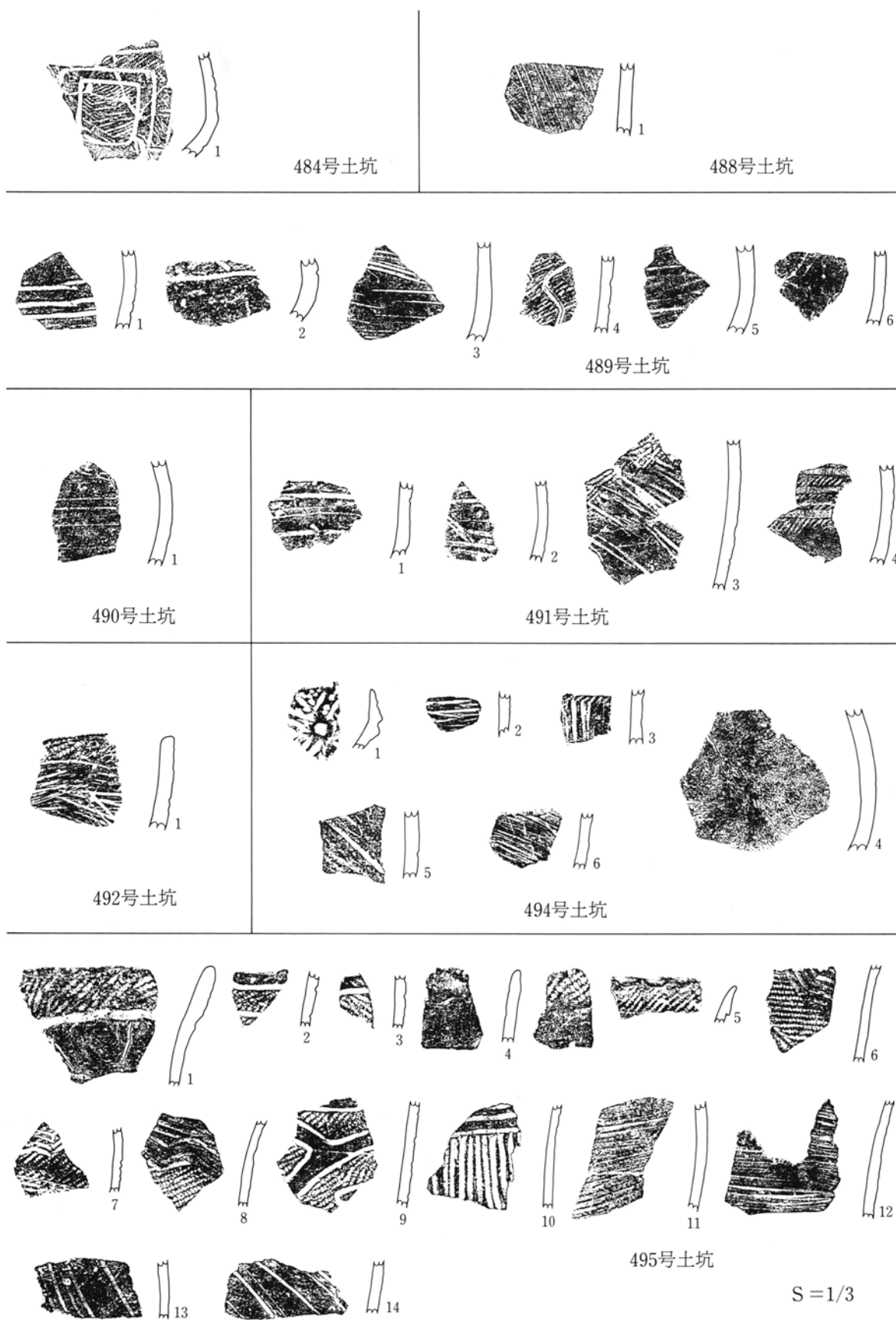
第450図 土坑出土土器 (8)

S=1/3

第3章 検出された遺構と遺物

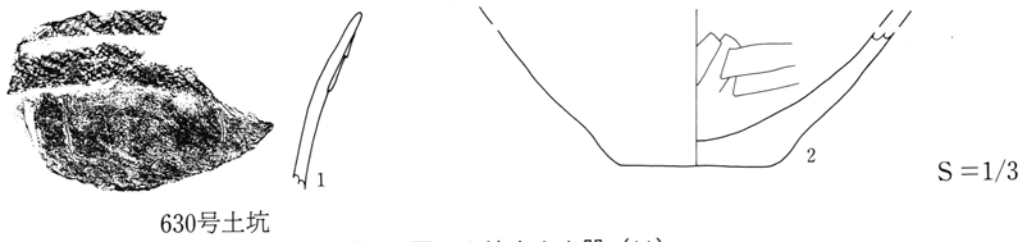
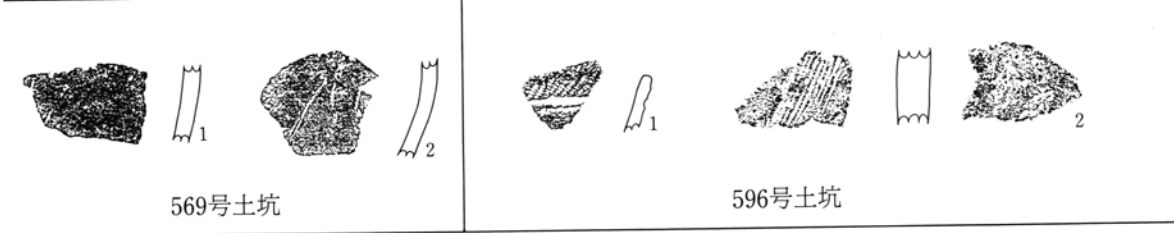
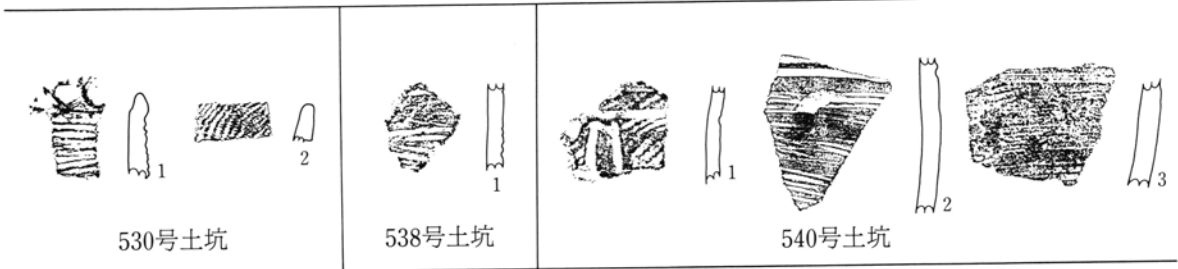
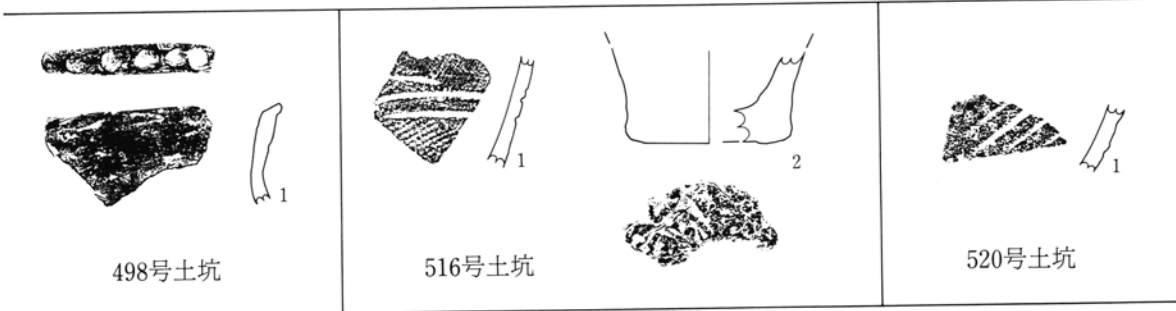
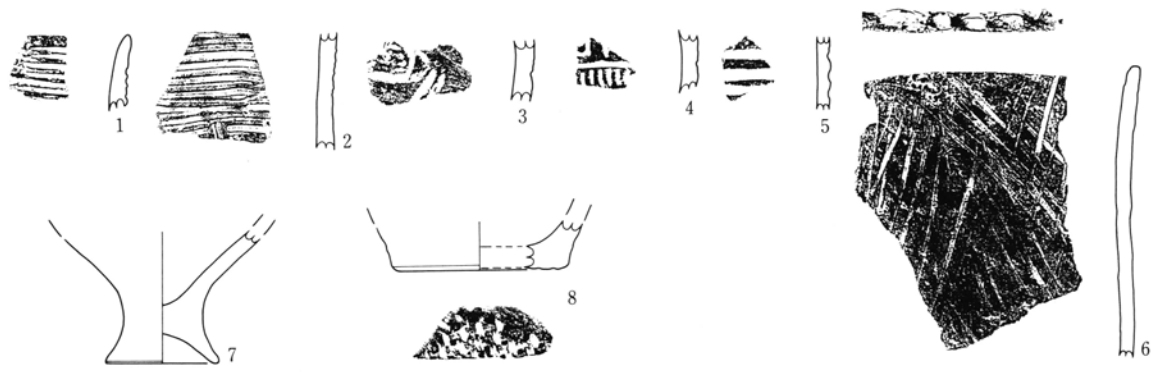


第451図 土坑出土土器 (9)

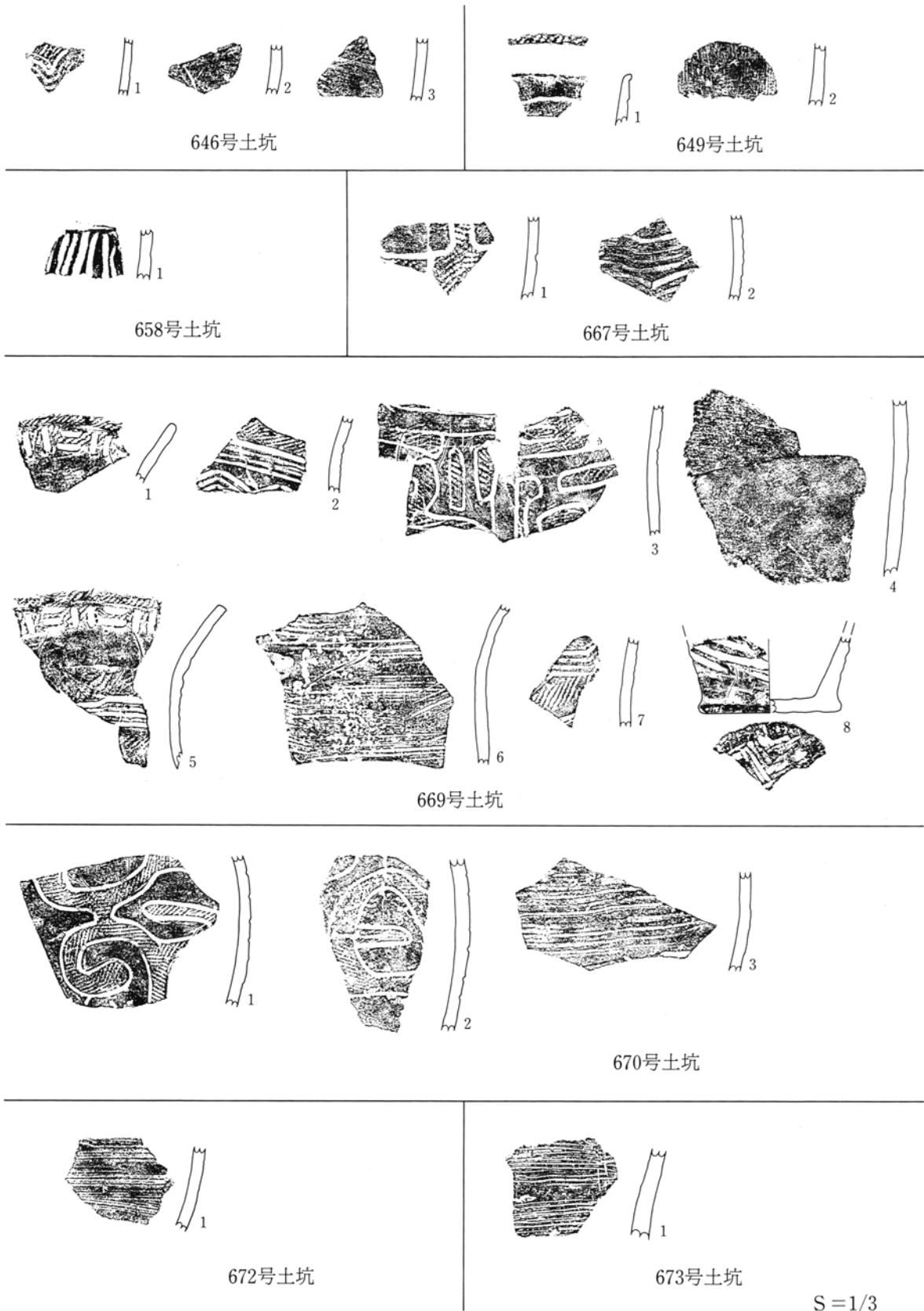


第452図 土坑出土土器 (10)

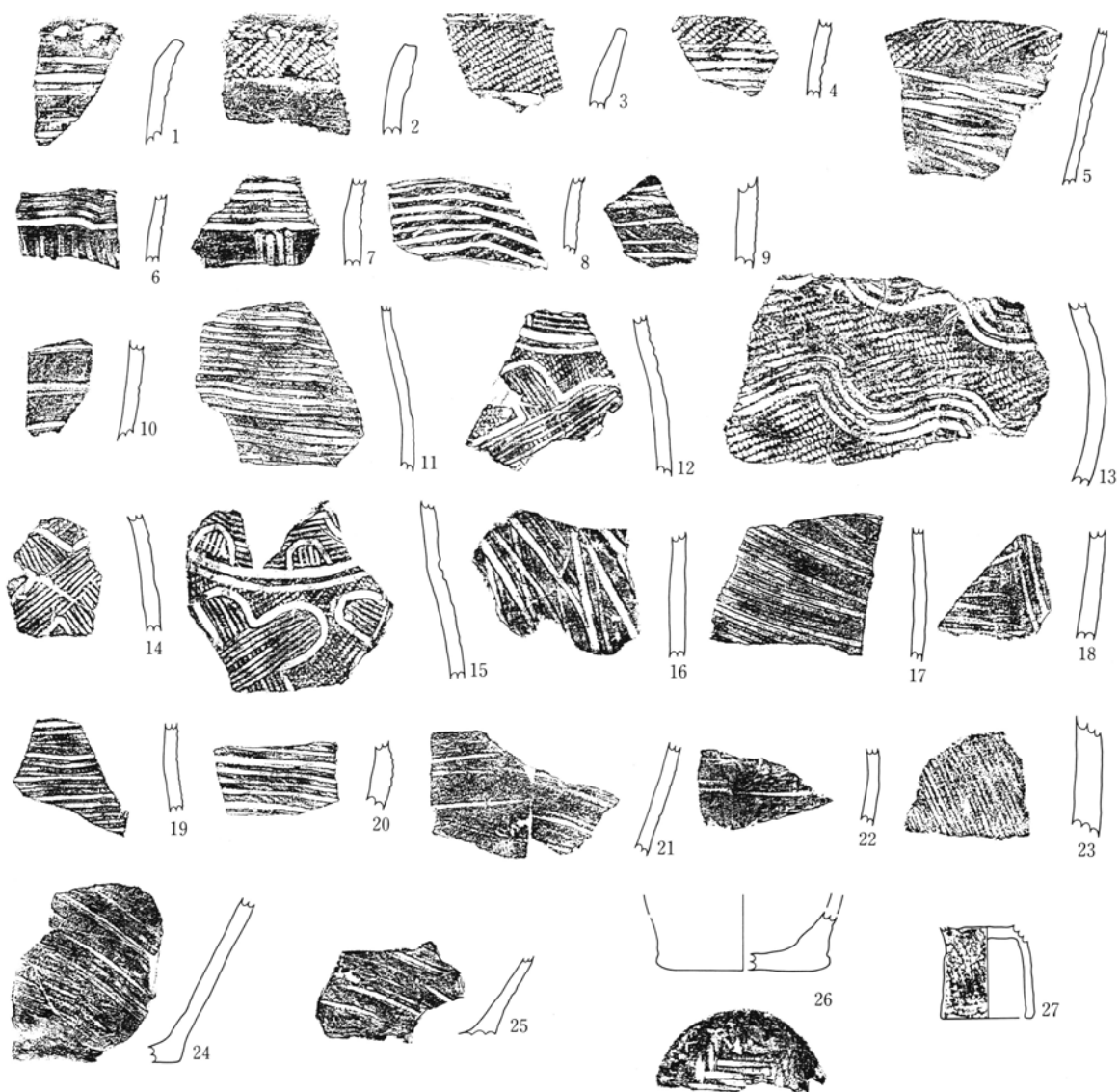
第3章 検出された遺構と遺物



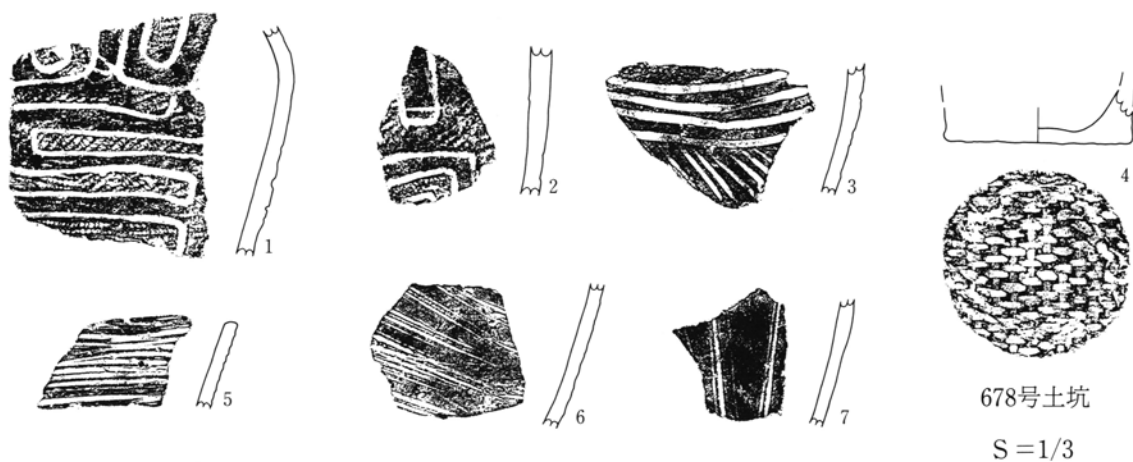
第453図 土坑出土土器 (II)



第454図 土坑出土土器 (12)



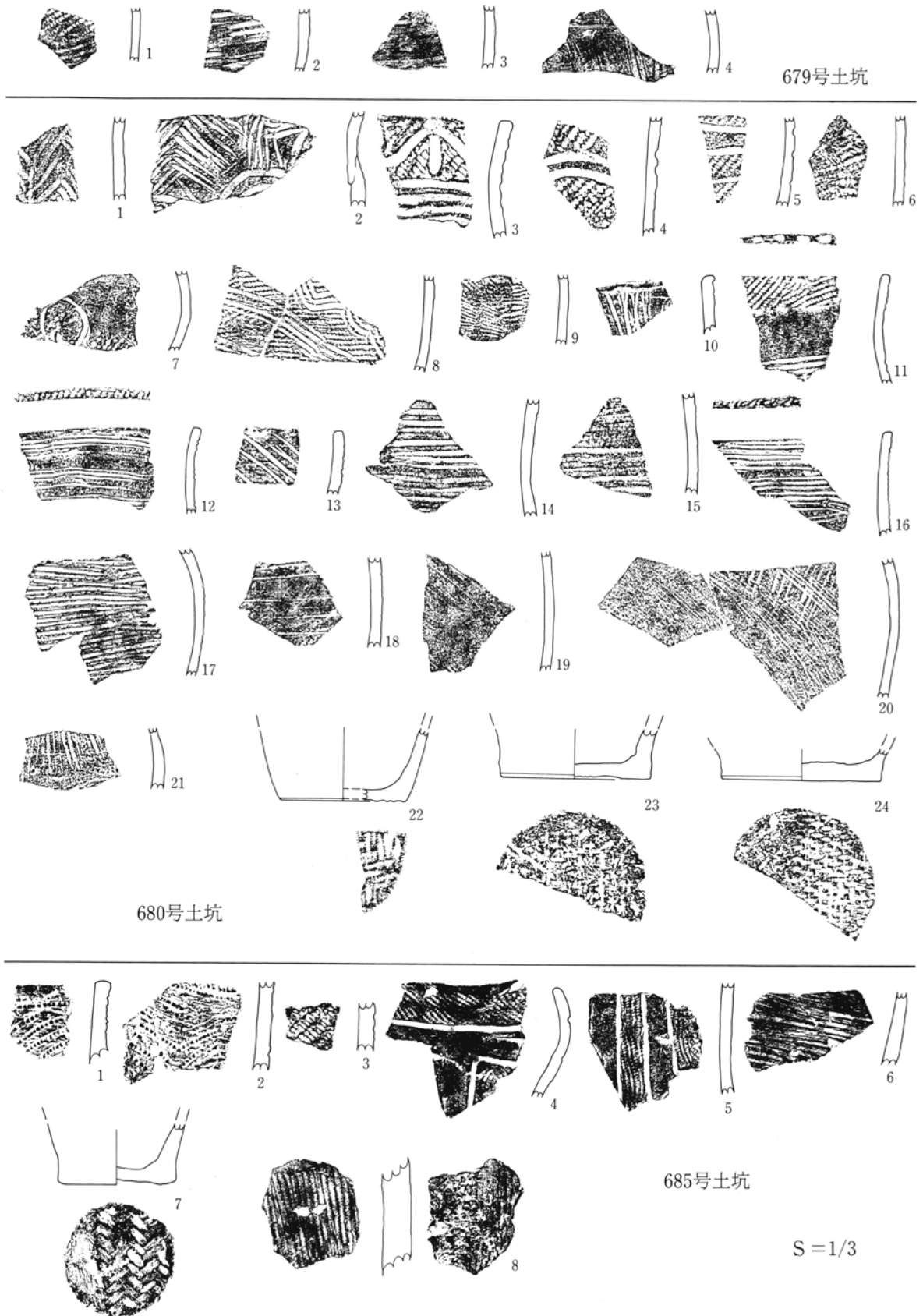
671号土坑



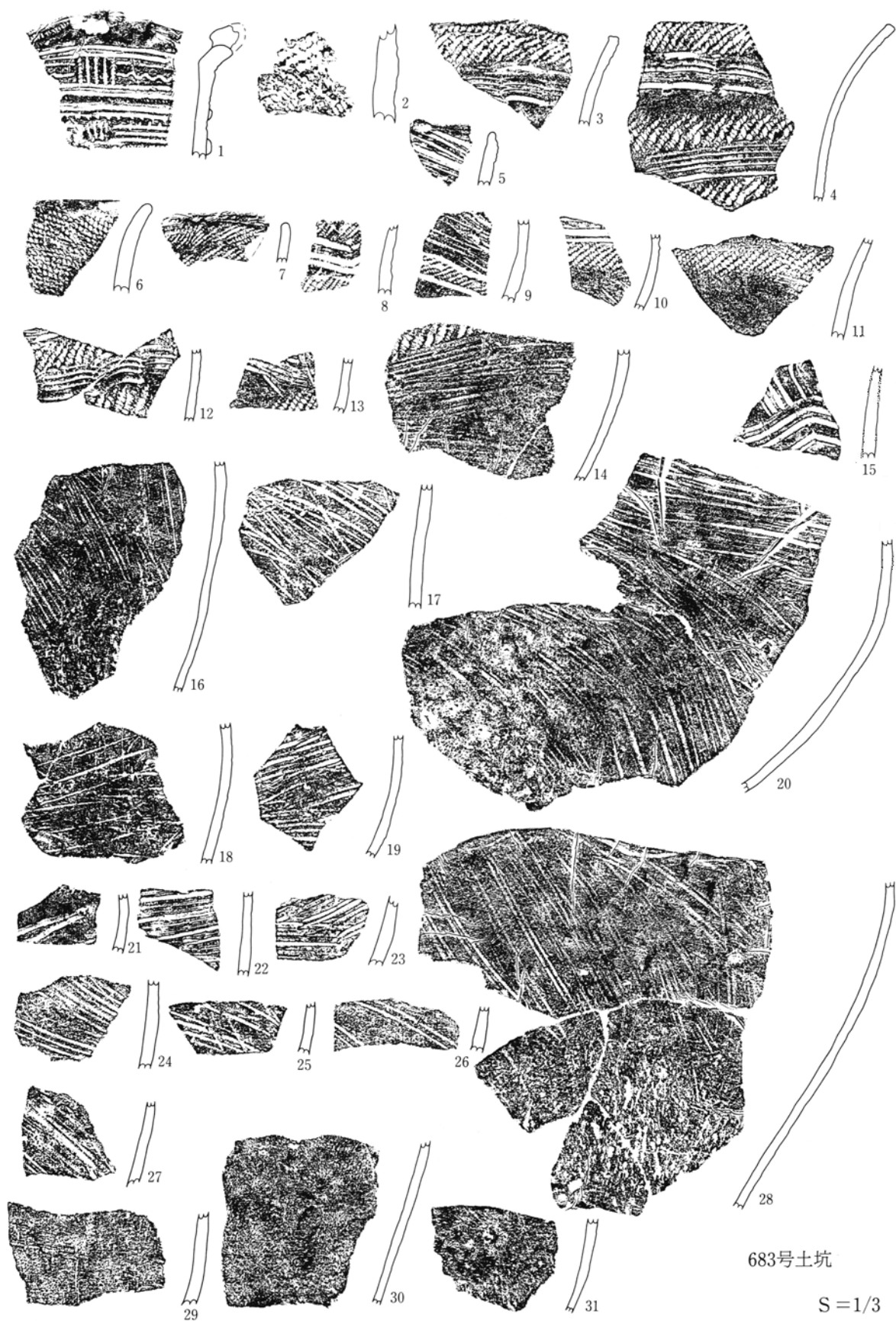
678号土坑

S=1/3

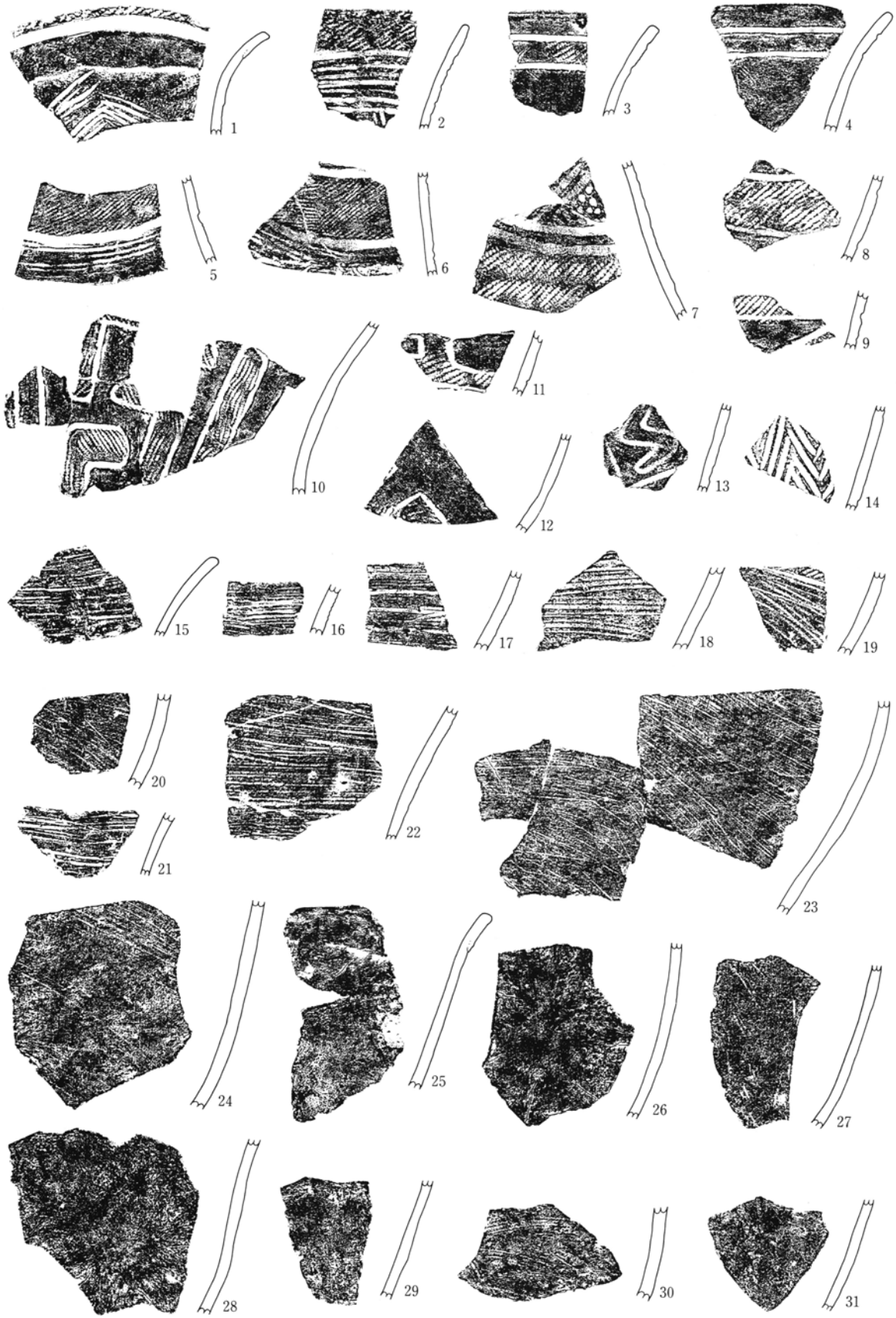
第455図 土坑出土土器 (13)



第456図 土坑出土土器 (14)



第457図 土坑出土土器 (15)

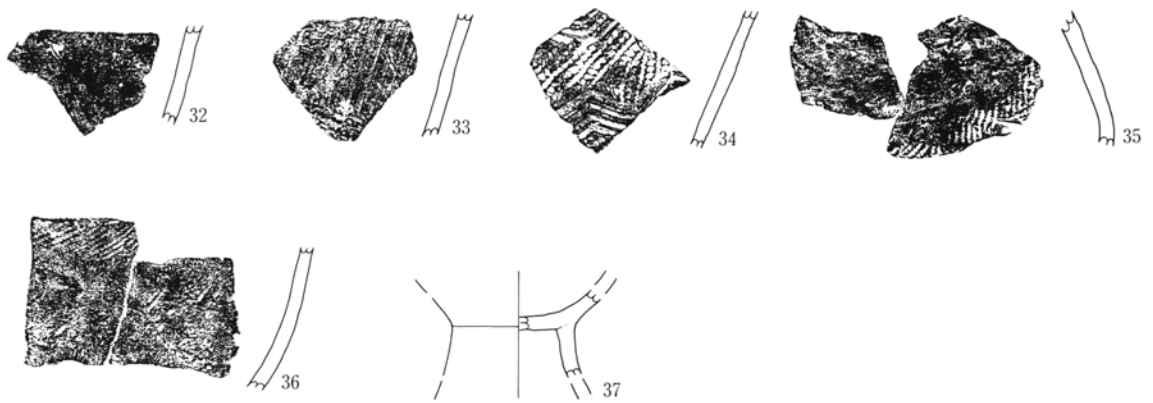


688号土坑

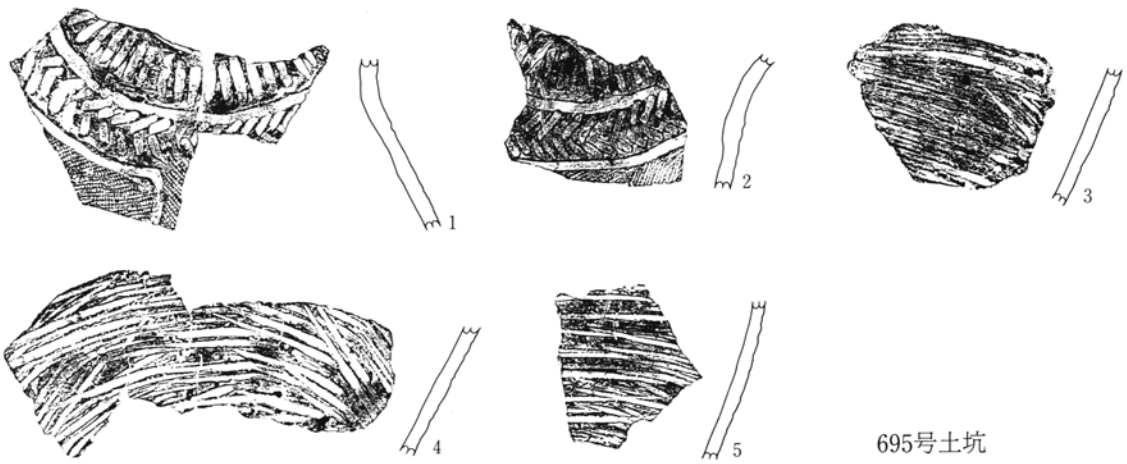
第458図 土坑出土土器 (16)

S=1/3

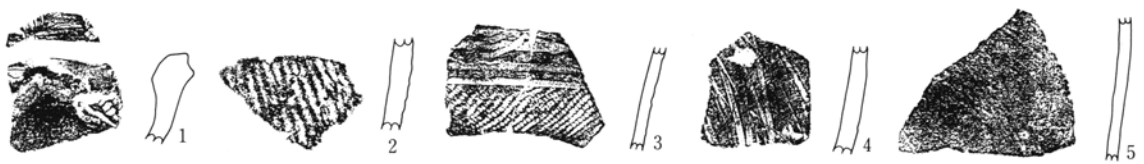
第3章 検出された遺構と遺物



688号土坑



695号土坑



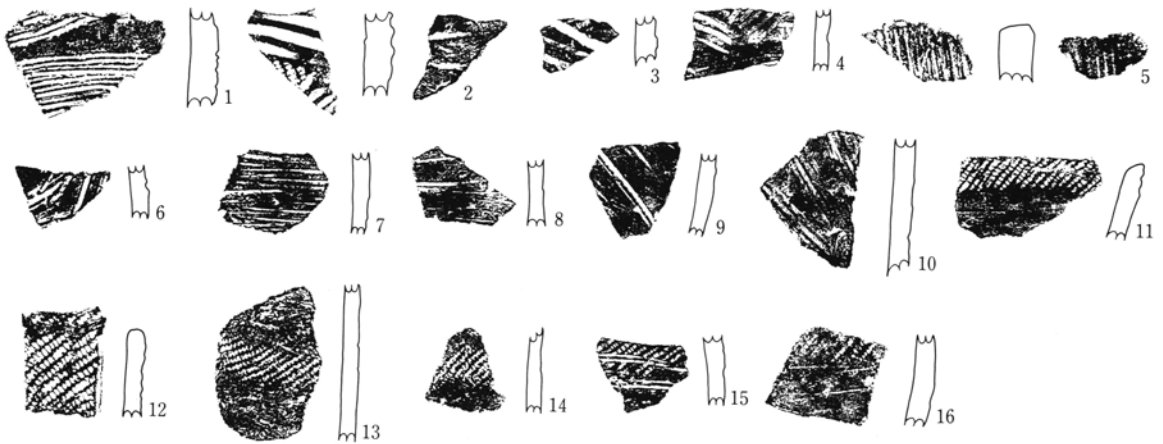
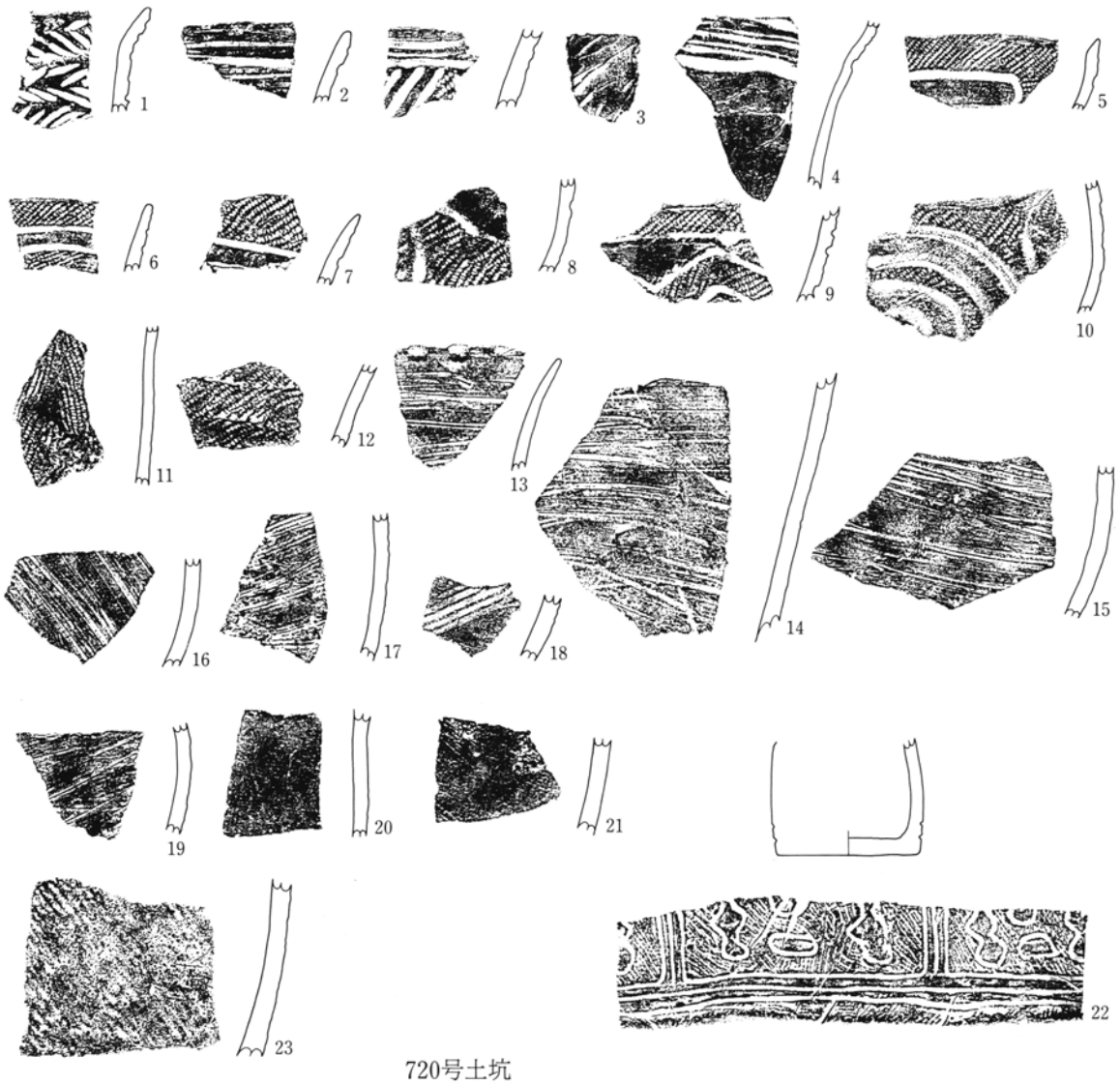
700号土坑



714号土坑

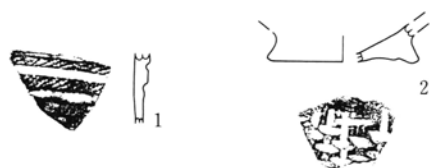
S=1/3

第459図 土坑出土土器 (17)

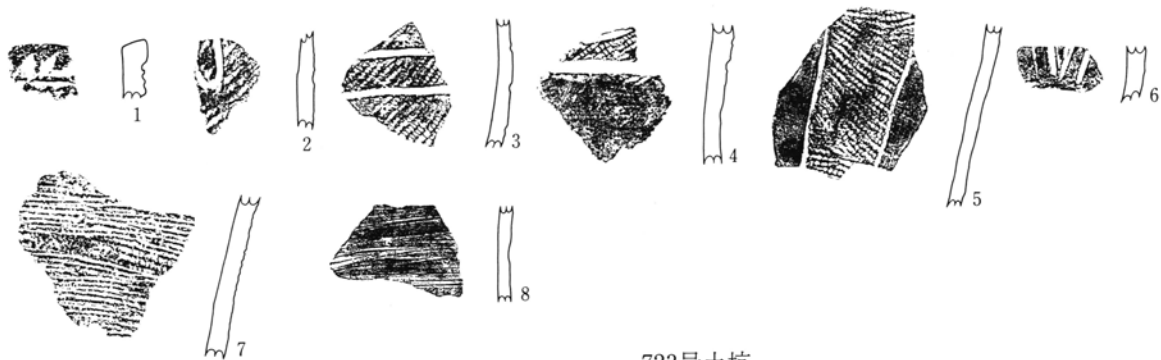


S=1/3

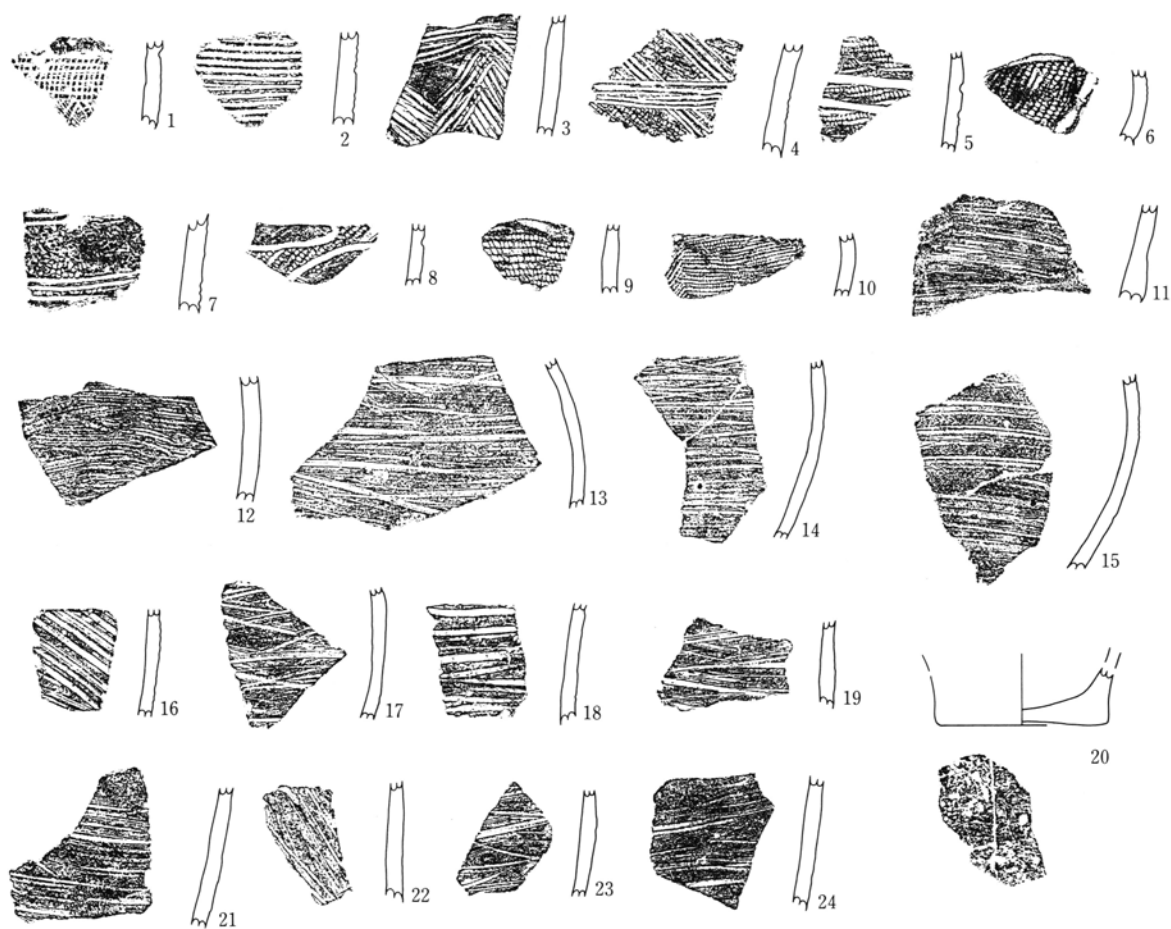
第460図 土坑出土土器 (18)



722号土坑



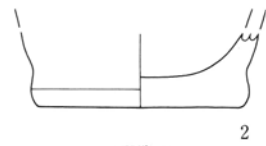
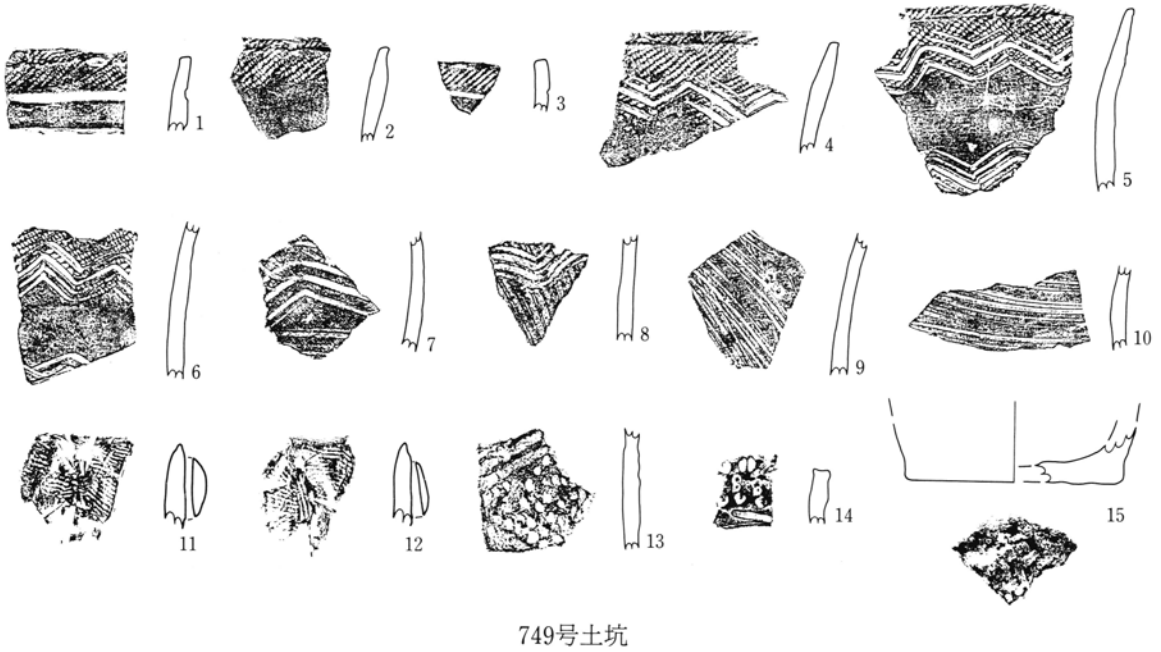
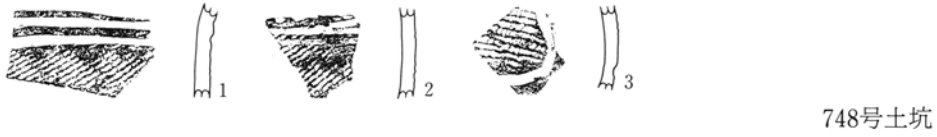
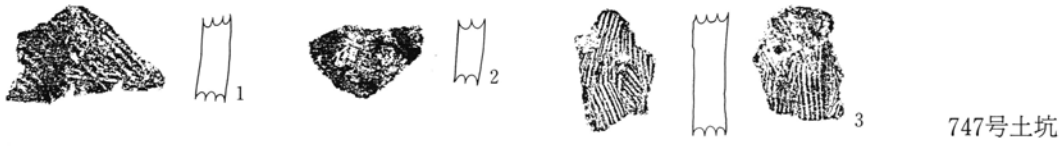
723号土坑



746号土坑

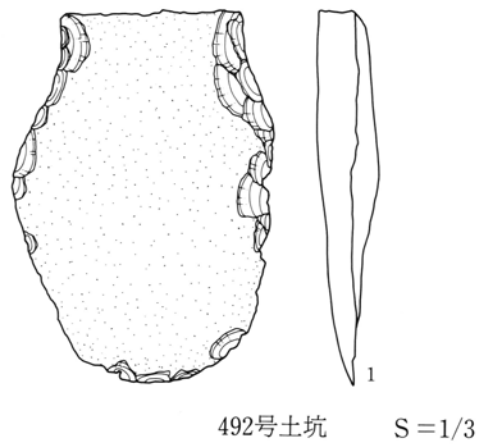
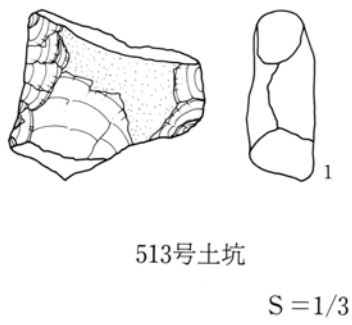
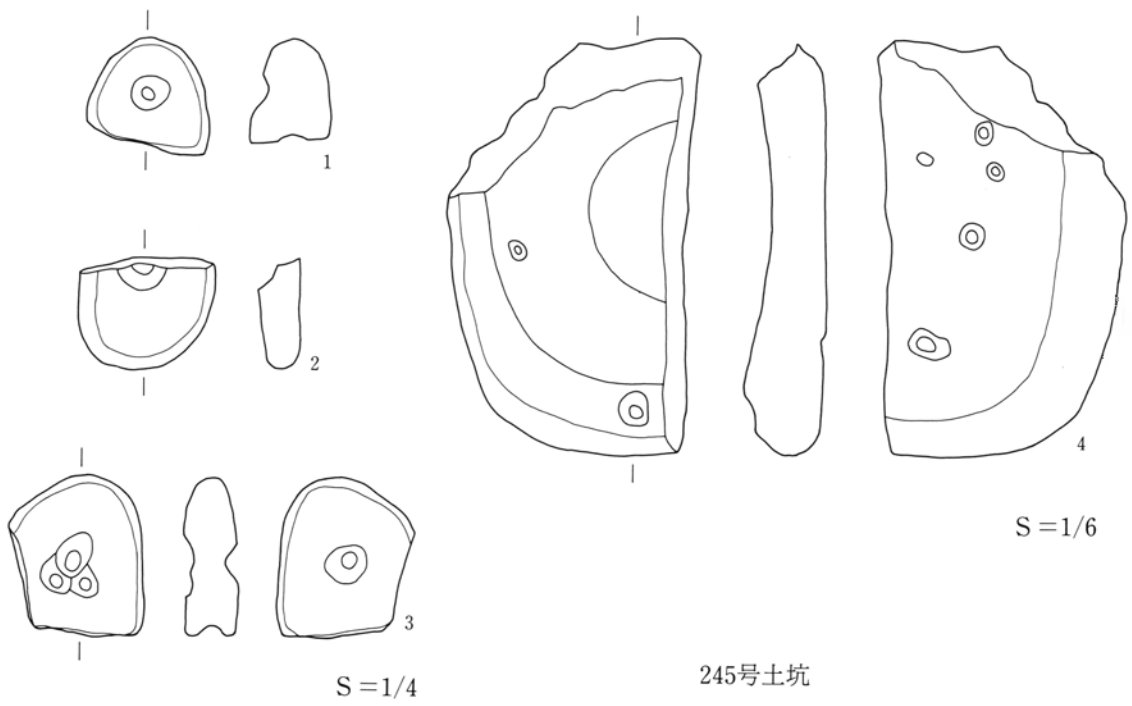
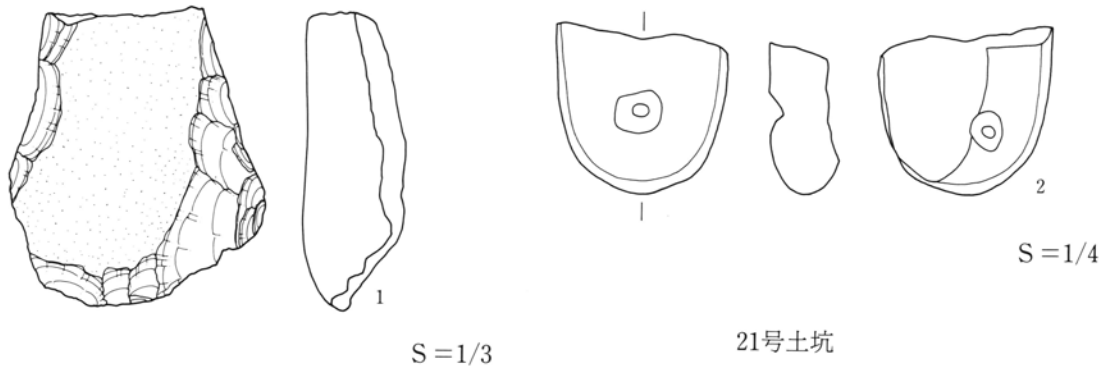
S=1/3

第461図 土坑出土土器 (19)

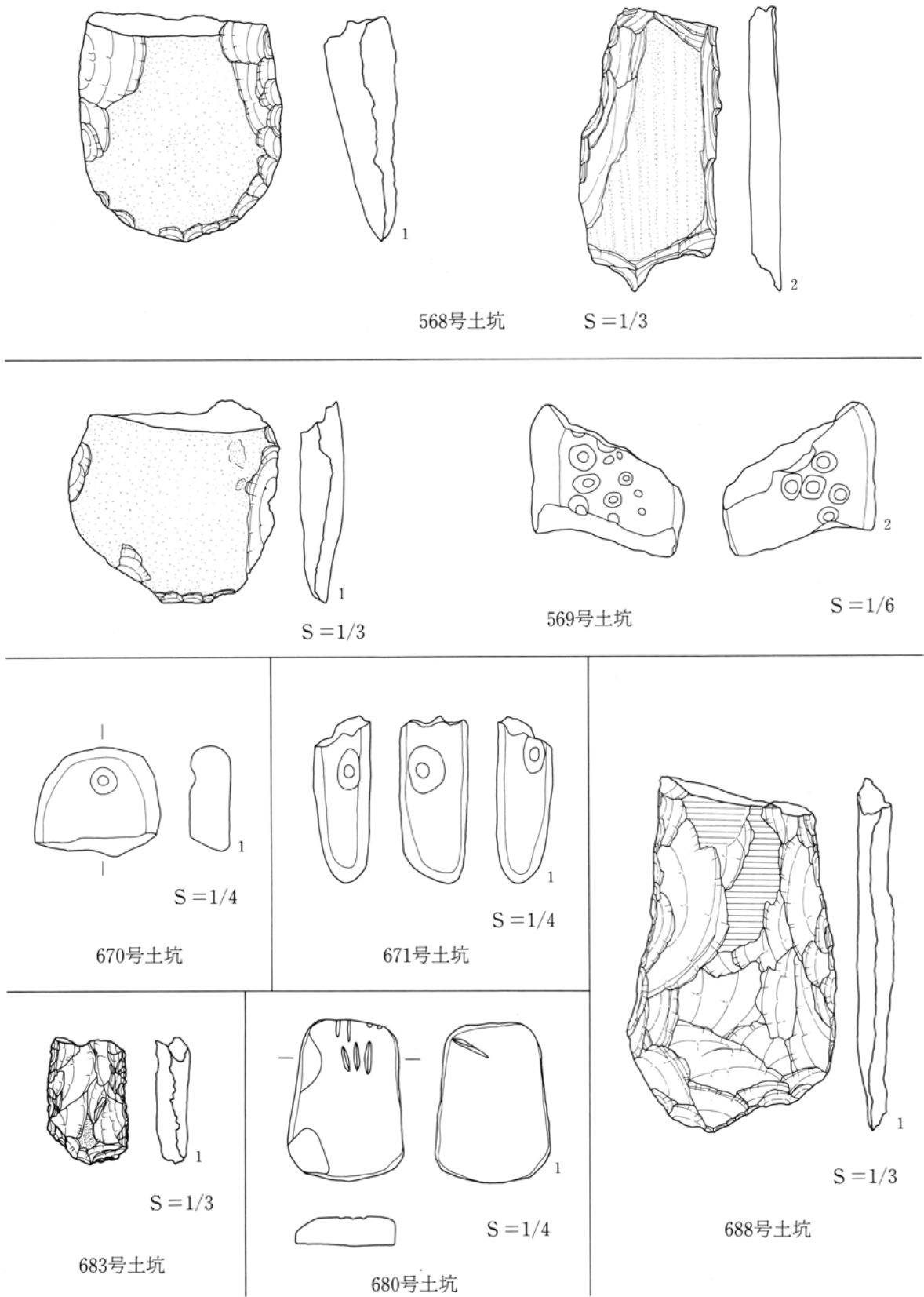


第462図 土坑出土土器 (20)

第3章 検出された遺構と遺物

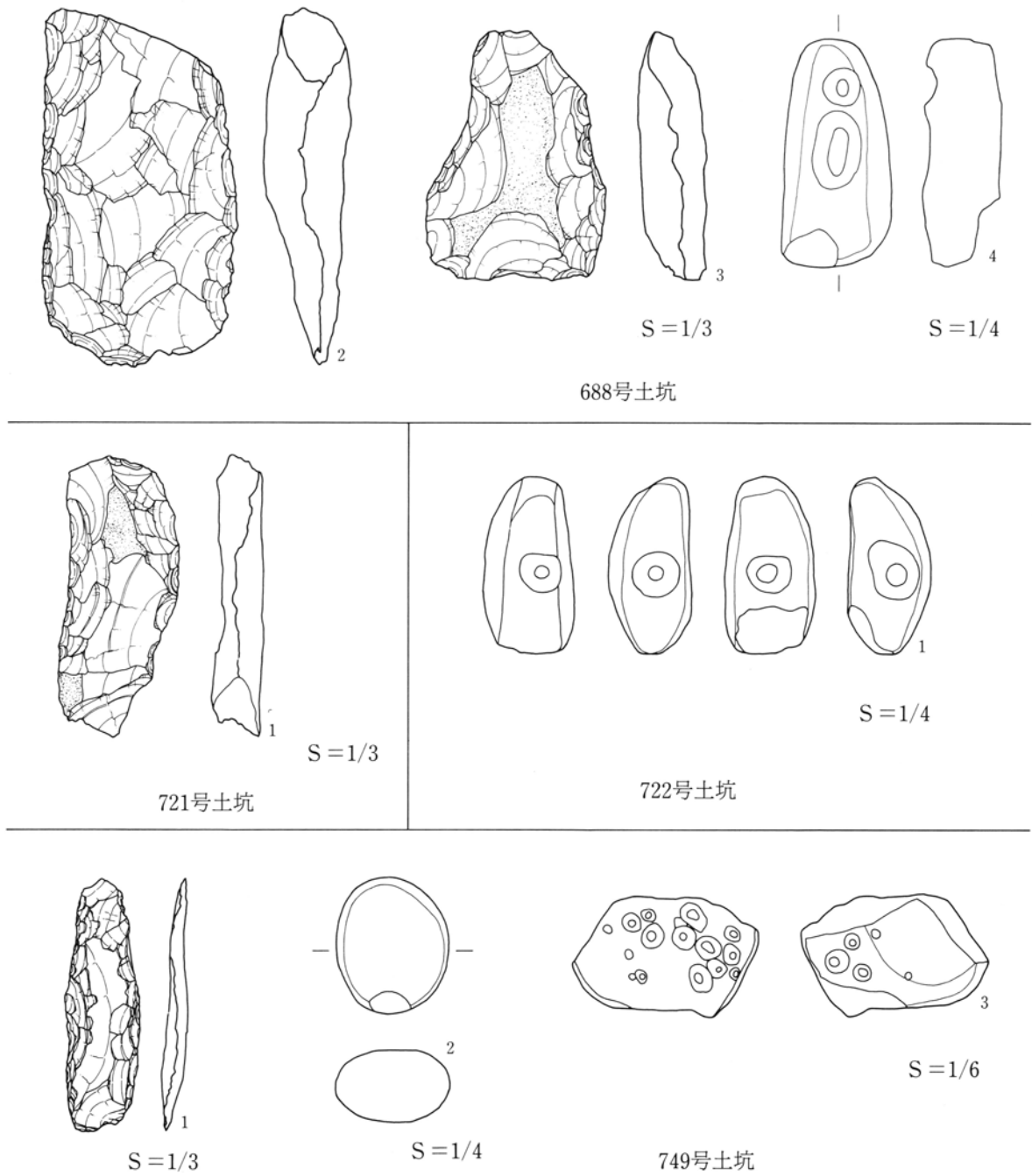


第463図 土坑出土石器 (1)



第464図 土坑出土石器 (2)

第3章 検出された遺構と遺物



第465図 土坑出土石器（3）

表56 21号土坑出土石器計測表

No	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	打製石斧	粗輝安山岩	11.5	10.2	4.0	537.3
2	凹石	牛伏砂岩	9.0	9.1	3.8	350.0

表57 245号土坑出土石器計測表

No	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	凹石	牛伏砂岩	6.7	6.4	4.3	150.0
2	凹石	牛伏砂岩	6.0	7.2	2.2	150.0
3	凹石	牛伏砂岩	6.5	7.0	2.8	220.0
4	凹石	雲母石英片岩	22.0	12.8	4.3	1,750.0

第3節 弥生時代の遺構と遺物

表58 492号土坑出土石器計測表

No.	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	打製石斧	粗輝安山岩	14.6	10.3	2.5	340.3

表64 680号土坑出土石器計測表

No.	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	磨石	牛伏砂岩	10.8	7.8	1.9	240.0

表59 513号土坑出土石器計測表

No.	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	打製石斧	変質安山岩	6.7	7.8	2.7	134.2

表65 683号土坑出土石器計測表

No.	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	打製石斧	硬質泥岩	6.4	4.1	1.7	50.4

表60 568号土坑出土石器計測表

No.	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	打製石斧	粗輝安山岩	11.3	10.2	3.7	439.7
2	打製石斧	雲母石英片岩	14.2	6.9	1.5	202.4

表66 688号土坑出土石器計測表

No.	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	打製石斧	変玄武岩	17.8	10.6	1.9	495.7
2	打製石斧	硬質泥岩	20.2	8.9	4.0	670.0
3	打製石斧	珪質頁岩	11.2	8.1	3.0	343.8
4	凹石	緑色片岩	13.8	6.5	4.6	720.0

表61 569号土坑出土石器計測表

No.	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	打製石斧	変質安山岩	10.1	10.6	2.2	245.3
2	多孔石	牛伏砂岩	19.7	15.8		1,290.0

表67 721号土坑出土石器計測表

No.	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	打製石斧	硬質泥岩	12.7	5.0	2.2	163.6

表62 670号土坑出土石器計測表

No.	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	凹石	牛伏砂岩	7.5	8.5	2.7	230.0

表68 722号土坑出土石器計測表

No.	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	凹石	牛伏砂岩	10.7	5.5	5.0	335.0

表63 671号土坑出土石器計測表

No.	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	凹石	緑色片岩	11.2	3.8	4.6	300.0

表69 749号土坑出土石器計測表

No.	器種	石材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)
1	打製石斧	珪質頁岩	11.4	3.4	1.2	42.6
2	磨石	粗輝安山岩	8.3	6.8	4.5	350.0
3	砥石	牛伏砂岩	11.0	17.4		1,070.0

第3章 検出された遺構と遺物

唇部に刻みをもち、口縁部に縦位の刺突を施すもの。15は網代痕をもつ底部である。

出土した石器は、打製石斧が1点、卵状に研磨された磨き石が1点、両面に多孔をもつ多孔石が1点である。

750号土坑（第462図）

胴部に太い沈線で渦巻き状の曲線的な文様を描き、区画内に縄文を施す。

753号土坑（第462図）

2は木葉痕をもつ底部である。1は縄文時代の土器で、無文となる口縁部下に刺突を巡らせ、胴部に逆U字状の文様を描き、地文に縄文を施すものである。

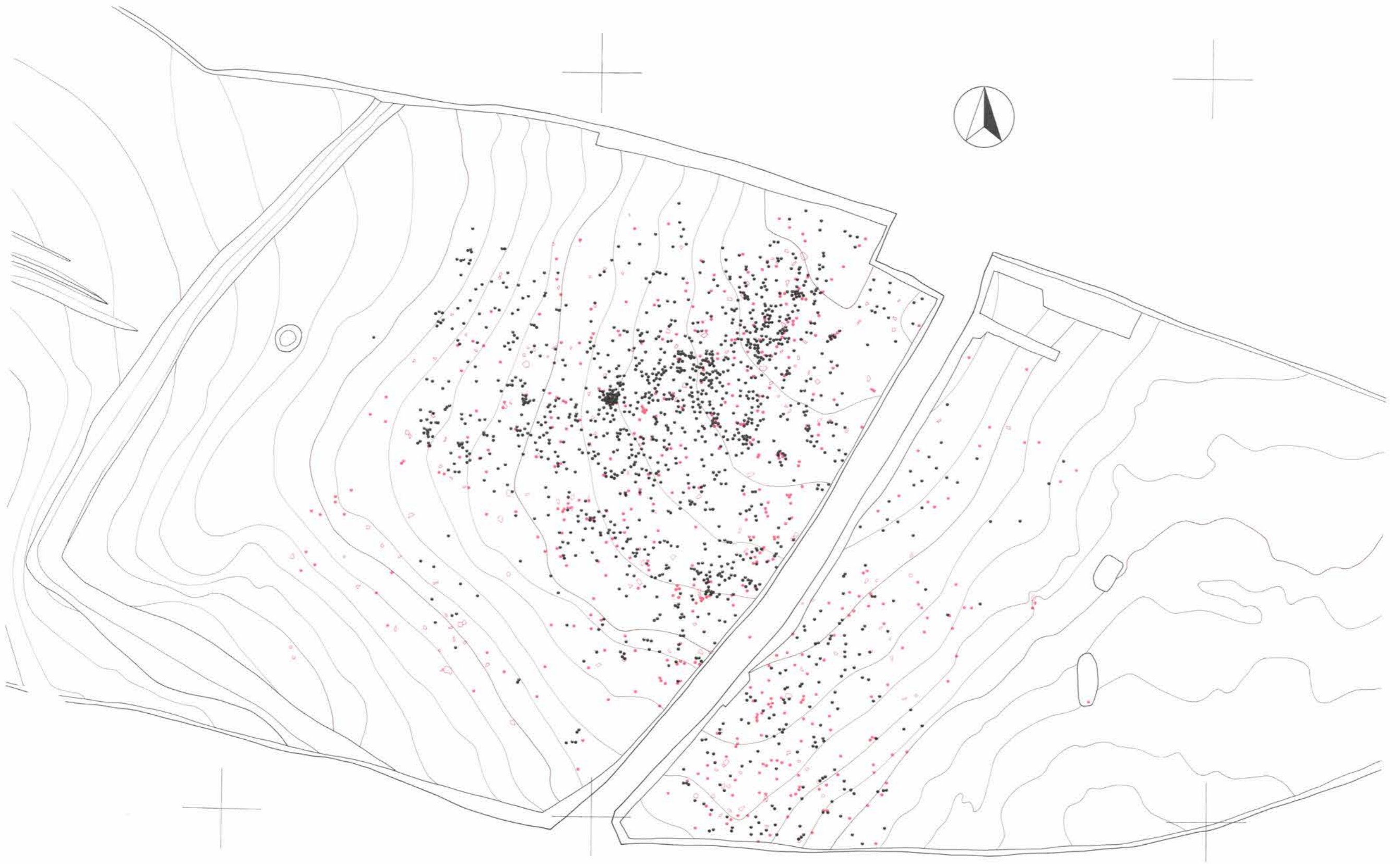
3. 遺構外出土遺物

本遺跡から出土した弥生時代中期の遺構外出土遺物は、調査区全体に散布している。先述した住居跡・土坑等の遺構が検出された、東側台地（A・B・C区）および中央台地（E区）、西側台地（J区）はもとより、中央台地と西側台地の間の低地部となるH区からは、遺物が集中する包含層が検出されている。

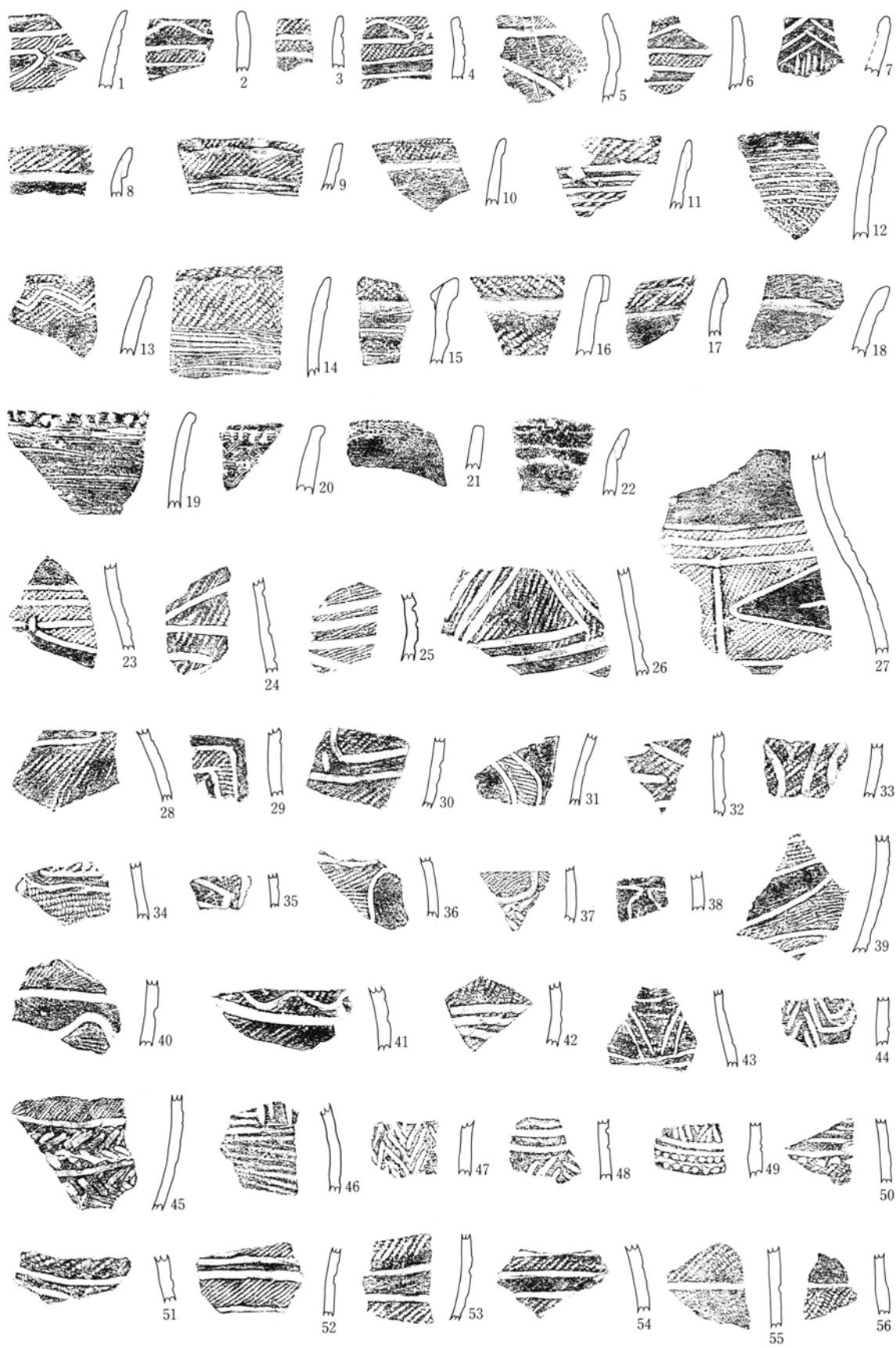
このH区は、耕作土およびA軽石混土層下に181号土坑とした中世火葬墓が検出され、その下層のB軽石混土層下面で平安時代および古墳時代の遺物等を出土させている。この面は、F区で検出されたB軽石下の畠状遺構（第675図）の面に対比される。さらに、白色の軽石（C軽石と思われる）を混入させる硬質な褐色土を挟んだ下層に、明褐色土・茶褐色土が堆積し、この層中より多量の弥生時代中期の遺物が出土した。この包含層の厚さは、最も厚い谷中央部で約30cmほどであった。遺物の分布状況は、第466図に示すごとくであり、浅い谷地の斜面部から中央部にかけて、遺物が集中している状況が解る。また、この包含層中より出土した遺物には、縄文時代を含めた他の時期の遺物は混在しておらず、弥生時代中期の遺物のみで構成されている。なお、出土した遺物には、土器の他に大形打製石斧等をも含まれている。

土器

出土した土器の量は、遺物収納箱で20箱余を数える。これらの土器は、先述した東側台地、中央台地、西側台地、さらには低地部から出土したものであり、ほぼ遺跡全体に散布する状況である。以下、各出土地区ごとに、記すこととする。なお、図化にあたっては、口縁部および胴部の主文様の施された破片を主に掲載し、小・細片については割愛した。条痕が主体となる胴部下半の土器片については、条痕のバリエーションが解る程度に掲載したため、多くの条痕施文の胴部片は割愛した。底部片についても、底面に網代痕ないしは木葉痕をもつものを中心に掲載している。



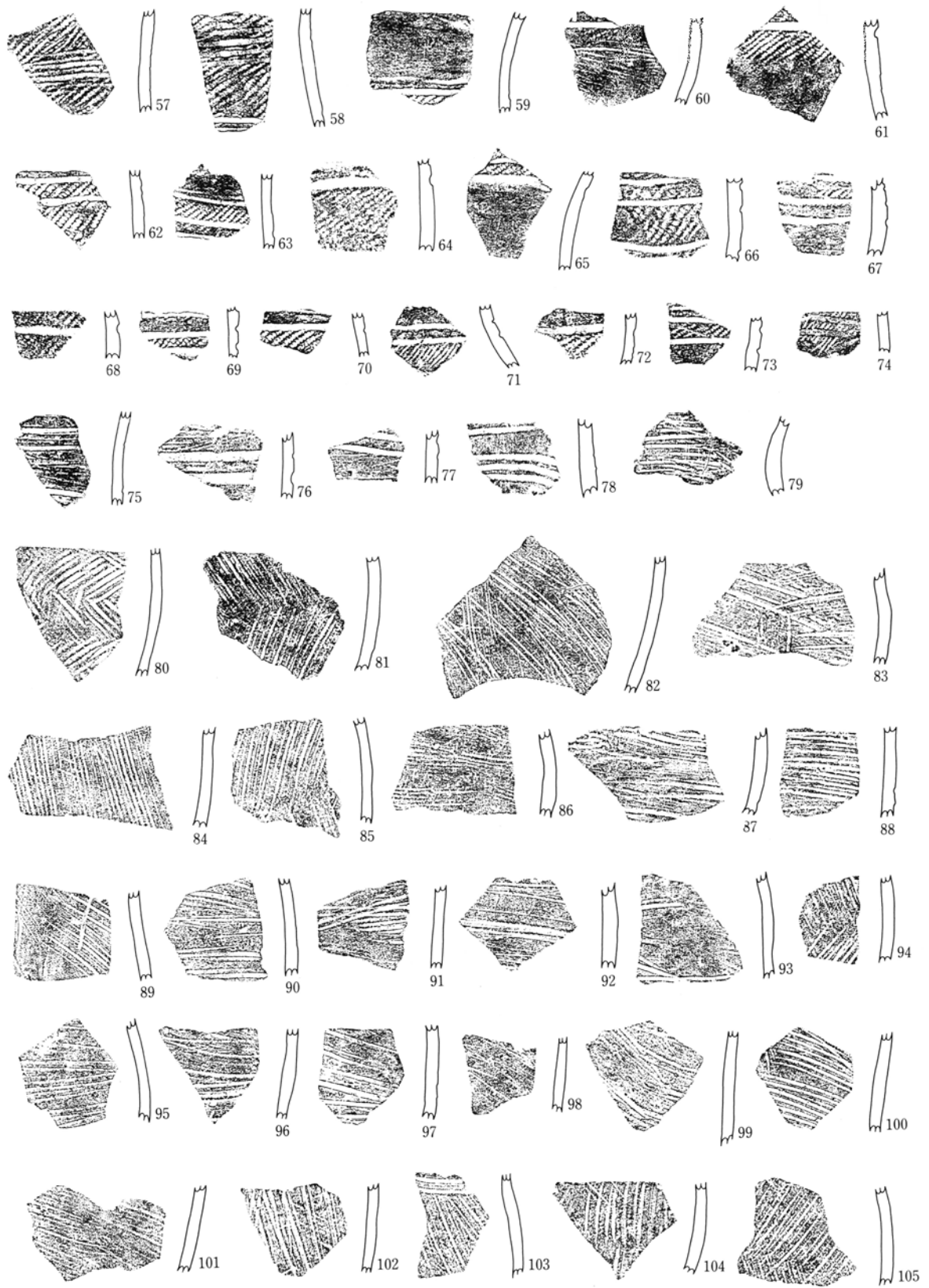
第466図 H区弥生時代遺物分布図



S=1/3

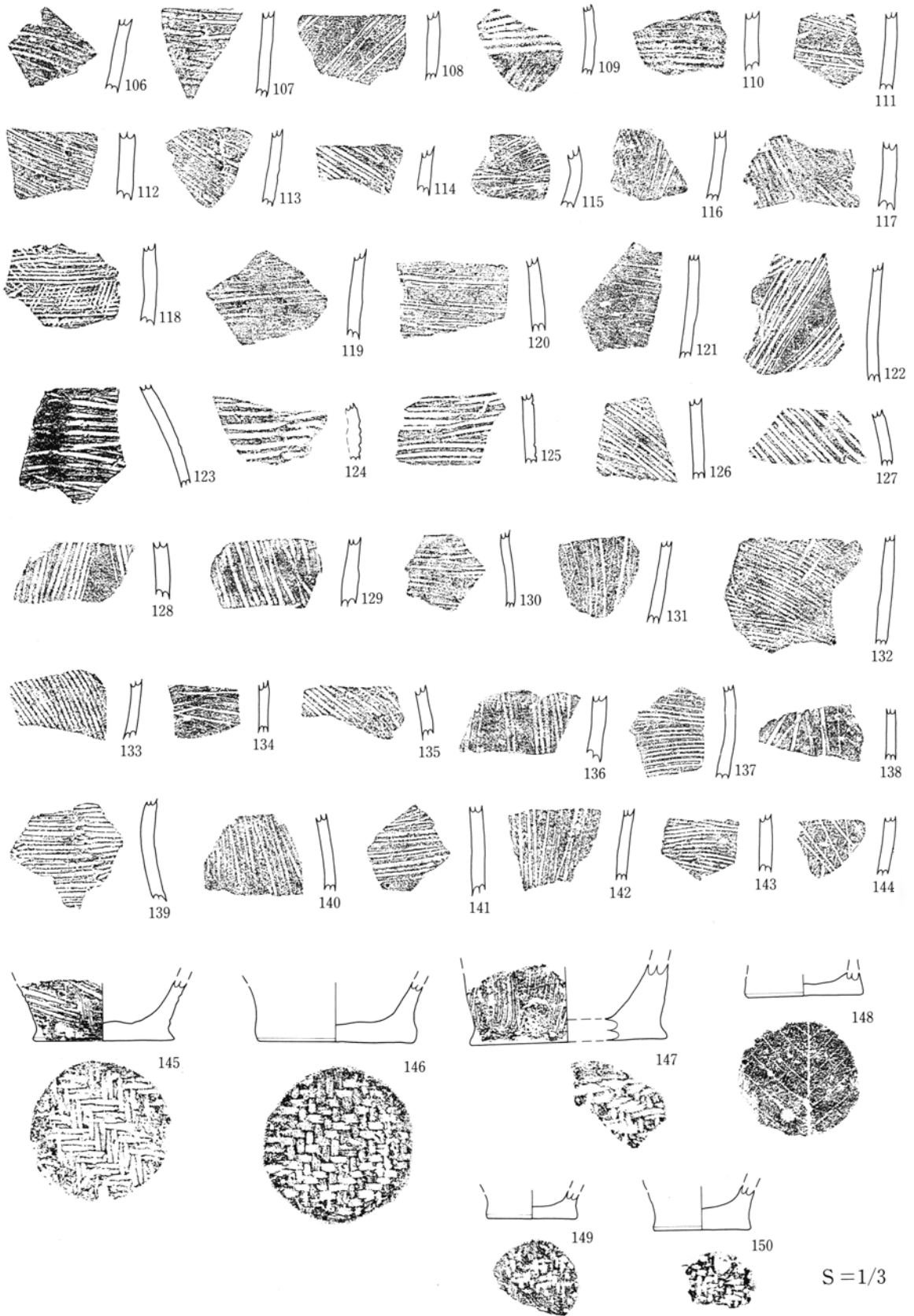
第467図 遺構外 A・B・C区出土土器 (1)

第3章 検出された遺構と遺物

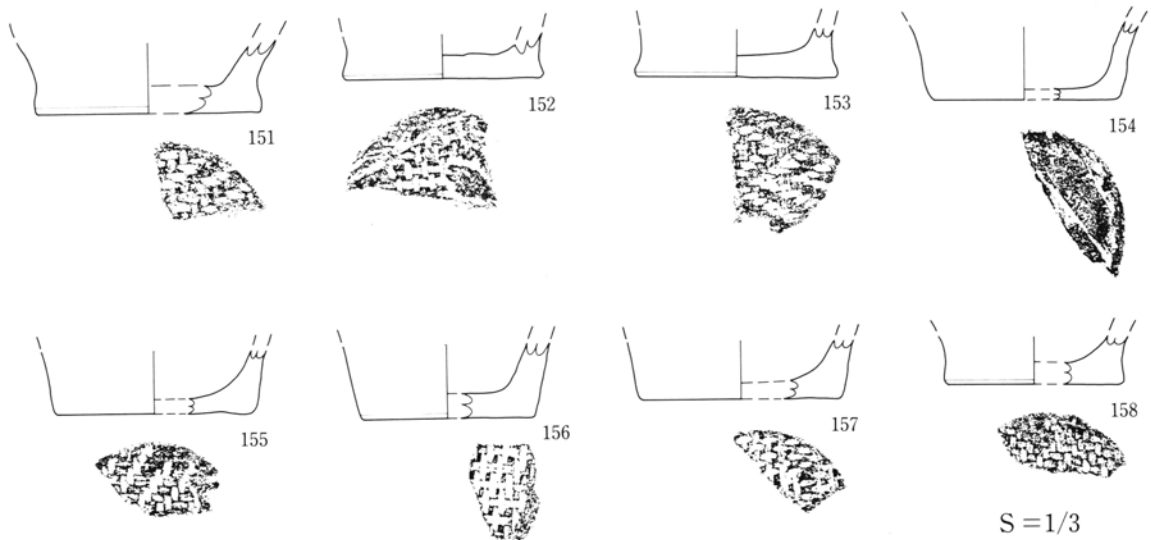


S=1/3

第468図 遺構外 A・B・C区出土土器(2)



第469図 遺構外 A・B・C区出土土器(3)



第470図 遺構外 A・B・C区出土土器(4)

A・B・C区出土土器(第467~470図)

東側台地から出土した土器である。

1から22は口縁部片で、1・3は直立ぎみの口縁下に沈線を1条巡らせ、その下に三角状の文様を施し、地文にRLの縄文を施す。2・4~6は口縁が内反し、2・4・6は口縁下に三角状および平行の文様を描き、文様区画内に細かな縄文を施す。5は口縁下に1状の沈線を巡らせ、その下に三角ないしは波状の文様を描く。7は直立ぎみの口縁に、鋸歯状および縦位の沈線で文様を描く。8から11・17・18は甕形土器の外反する平口縁で、口縁下に沈線を巡らせ、口縁部に縄文を施す。8・11・17・18は折り返し口縁となる。12は口縁下に横位方向の条線をもち、地文に縄文を施す。13は口舌および口縁部に縄文を施し、口縁部に鋸歯状の文様を描き、口縁部文様下が無文帯となる。14は口舌および口縁部にLRの縄文を施し、口縁部文様下に横位方向の条線を施す。15・16は口縁部が折り返し口縁となり、口縁以下に縄文を施すもの。19は口舌部に刻みをもち、口縁以下に条痕を施すもの。20・21は口縁部に条線ないし鋸歯状の文様を描くもの。22は壺形土器の口縁部で、折り返し口縁となる無文の土器。

23~79は、甕ないし壺形土器の頸部から胴部上半の破片である。施文される文様には、変形工字文や三角等の幾何学文、T字やL字等の文様を組み合わせた構成をもつもの、波状ないし鋸歯状文、縦位および横位の「ハ」字状の文様等がみられ、文様の区画内には縄文が施される。これらの土器の代表されるものとして、27は壺形土器となるもので、頸部が無文となり胴部上半に変形工字文等の文様が施されている。26は壺形土器の頸部で、三角状の文様が施され、器面は赤色塗彩されている。51~79は胴部に平行沈線を施すものをまとめたが、地文ないし区画内に縄文を施すものが多くみられる。

80~144は胴部ないし胴部下半の破片で、条痕が主体に施されているものである。条痕は横位方向に施されるものもみられるが、斜位に施されるものが多く、80・81・85・105のように左右に方向を変えた羽状となるものもみられる。

145~158は底部片であり、底面に文様をもたないものは割愛し、文様をもつものを掲載した。底面にもつ文様には、網代痕と木葉痕との2種類がみられ、網代痕には145・146・153・156に見られるようにいくつか

のバリエーションが認められる。

E・F区出土土器（第471・472図）

中央台地から出土した土器である。

159～165・184～190は、壺ないし甕形土器の口縁部片で、直立ぎみないしは外反するものが主体である。159は口縁下に1条の沈線を巡らせ、胴部にコ字状の文様を描き、区画内にLRの縄文を施す。160も同様に、口縁下に1条の沈線を巡らせ、区画内にLRの縄文を施す。161は口舌部に縄文をもち、口縁部に2条の沈線で文様を描き、区画内に縄文を施す。162は口縁部に沈線で文様を区画し、区画内に縄文を施した後、区画内上端に凹凸状の刺突を施している。163は口縁部に孔を有し、半裁竹管具による四角ないし楕円状の文様を描く。164は口縁部地文にLRの縄文を施し、波状の沈線を1状巡らせている。165は口縁下にのみ、縄文を施すもの。184は口舌部に縄文をもち、口縁部に5条1単位とする沈線で波状の文様を描く。185は口縁に凹凸条の隆帯を巡らせ、以下に細かな波状沈線を施す。186は口縁部に2条の平行沈線を巡らせ、以下に鋸歯状の文様を描く。187は口縁部に、横位沈線を数条巡らせるもの。188・189は口縁下に1条の沈線を巡らせるもので、189は内反する口縁である。190は外反する口舌部に、刻みをもつものである。

166～183は、甕形土器ないし小形土器等の胴部片である。施文される文様には、曲線的な文様、鋸歯状文、波状文、変形工字文および平行沈線等が描かれ、区画内には縄文が施される。172は変形工字文が施されるものであり、176は2条1単位の工具により4条の波状文を描く。183は平行沈線下の胴部下半に、横位方向の条痕が施されている。180は底面を区画するように、円形に沈線が施されたものである。

191～201は、壺形土器の頸部である。施文される文様には、縦位の矢羽根状沈線が主体に施される。191は3条の縦位沈線で区画した間に、矢羽根条沈線を施すもの。193は渦状の曲線的な文様の間に、矢羽根状沈線を施す。195・198・200・201は頸部の途中ないし頸部下に、2条の沈線で文様帯を区画する。

202～216は、壺形土器の胴部上半である。201～207は胴部上半の文様帯を、上下に数条の沈線を巡らせて区画し、区画内に数条を単位とする沈線で鋸歯条の文様を施す。208・210・215は区画内に、横位の矢羽根状沈線を施すものである。209・211～213は区画内に、縦位の沈線を施すもの。216は2条を単位とする沈線で、三角等の幾何学文を描き、その幾何学文内および隙間に沈線を充填している。

217～242は、壺形ないしは甕形土器の胴部上半と思われるものである。223・224・228に見られるような、条痕とは異なる横位の沈線を施すものがある。235・240は太い短沈線で、変形工字文的な文様を描くものもある。218は2条を単位とし、渦巻状の弧状沈線を施す。242は沈線で文様を描くと共に、瘤状の貼付文を有する。

243～255は条痕が施されるものであり、243は甕形土器の口縁部片である。244～255は胴部下半に、横位ないし斜位の条痕を施すものである。

256～259は底部片であり、底面に文様をもたないものは割愛し、文様をもつものを掲載した。底面には網代痕がみられ、いくつかのバリエーションが認められる。

H区出土土器（第473～479図）

中央台地と西台地間の低地部（谷地部包含層）から出土した土器である。施文される文様から、縄文を施す類（260～425）、沈線を主に施す類（426～471）、条痕を主体とする類（472～482）に大別できる。

260～320は、口縁部片である。260・261は同一個体となる甕形土器で、外反する平口縁の口縁下に1条の

第3章 検出された遺構と遺物

太い沈線を巡らせて文様帯を区画し、区画内に RL の縄文を施し、頸部は無文となる。262も同様に、外反する口縁下に RL の縄文を施した後、1条の沈線を巡らせて区画し、頸部は無文となる。264は外反する口縁部の口舌部に、縄文と刻み状の凹凸をもち、口縁下に RL の縄文を施すと共に2条の沈線を巡らせて区画し、頸部を無文とする。266～268も同様に、口縁下に縄文を施すと共に沈線で区画し、頸部を無文とするものである。271～273は甕形土器の口縁部に、縄文ではなく、クワ科の植物でカナムグラの茎と考えられる回転圧痕による疑似縄文的な文様が施され、1ないし2条の沈線を巡らせて区画し、頸部は無文とする。271・272の口舌部にも、カナムグラの回転圧痕が施されている。269は小突起をもつ平口縁の小形土器となるもので、口縁および胴部に、平行沈線を巡らせて数段の文様区画を行い、区画内に縄文を施す。276～278は浅鉢となる直線的に立ち上がる口縁で、276・277は口縁下に2条の平行沈線を巡らせ細かな縄文を施し、278はカナムグラの回転圧痕によるものである。279・280は浅鉢となる内反する口縁で、口縁下に数条の平行沈線を巡らせて区画し、区画内にカナムグラによる回転圧痕が施されている。281～28は浅鉢となるもので、口縁下に1条の沈線を巡らせ、胴部に直線および曲線による文様を描き、281・282は区画内に細かな縄文を施し、283は口舌部および口縁部には縄文を施し、胴部にはカナムグラの回転圧痕を施している。284はカナムグラの回転圧痕を施す。285は口縁部に縄文を施し、太い沈線を縦位にもつ。286～292は外反ないし内反する口縁部で、平行沈線と共に鋸歯状ないし波状の沈線を描き、区画内に縄文を施すが、290はカナムグラの回転圧痕を施している。293・295は壺形土器となる外反する口縁部で、縄文を地文に、293は曲線的な沈線をもち、295は鋸歯状ないし三角状の文様を描く。295の口舌部にも、縄文をもつ。297も壺形土器となるもので、口舌部に刻み状の凹凸をもち、口縁下に縄文を施した後、平行沈線を巡らせ区画する。296・298・299は口舌部に刻みをもち、口縁下に縄文を施すと共に、平行沈線で区画する。300は壺形土器となるもので、折り返し口縁となり、口舌部には刻み状の凹凸をもち、口縁部には縄文を施すと共に指頭圧痕による凹凸をもち、頸部には横位の矢羽根状沈線を施している。301は折り返し口縁となる口縁部に、縄文を施した後に短沈線を施し、頸部は無文となる。302は口舌部に刻みをもち、折り返し口縁となる口縁部に縄文を施し、頸部は無文となるもの。305・306は折り返し口縁となる口縁部である。307は口縁が外反し、頸部は無文のくびれる短頸となり、胴部に縄文を施すもの。308・310は壺形土器となるもので、308は口舌部および口縁部に縄文を施すものであり、310は口縁部に縄文のみを施すもの。309は甕形土器となる口縁部で、口舌部および口縁下に縄文を施し、頸部が無文となるもの。311も甕形土器となるもので、口舌部及び口縁以下にカナムグラの回転圧痕を施すものである。321～320は口縁部に縄文を施すもので、318・319の頸部は無文となるものである。なお、319の内外面には、赤色塗彩が施されている。

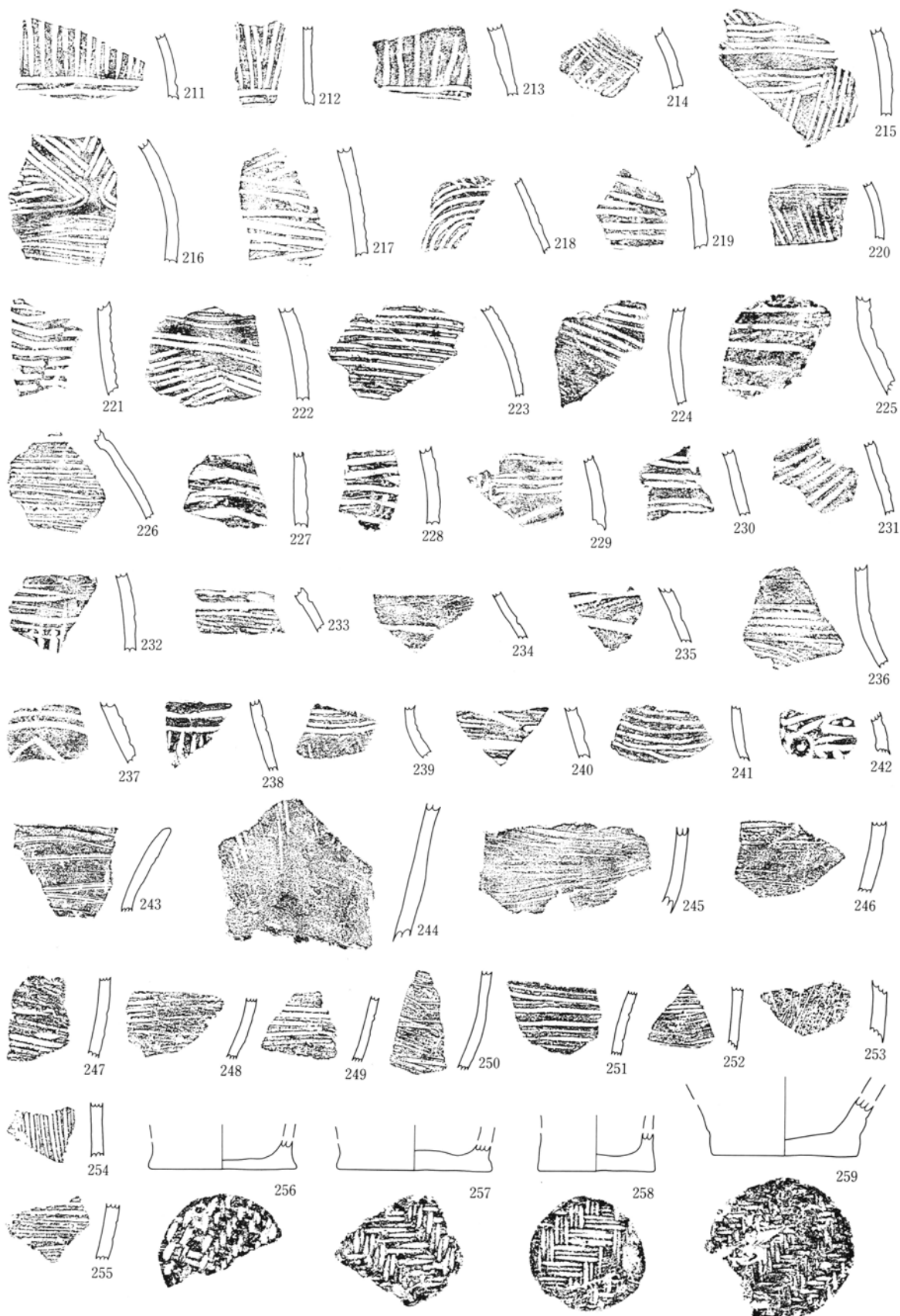
321～425は、胴部片である。321～327・333・336・338・347・348・352～356は同一個体となる壺形土器と考えられ、LR の縄文を地文とし、太い沈線による崩れた菱状の変形工地文にを描き、さらに円形文を加える。343から、胴部文様は胴部上半に施され、下半は無文となるようである。349・350は同一個体となるもので、L字状の文様が描かれ、区画内に縄文が施される。358～405は平行沈線および幾何学文、波状文、円形文、L字状やT字状を組み合わせた文様等を描くもので、358～375の区画内にはカナムグラの回転圧痕が施され、それ以外には縄文が施されている。406～408は壺形土器の頸部ないし胴部上半であり、406は頸部に地文縄文に幾何学文を描き、瘤状突起を貼付する。407は縦位の貫通する孔を有する、縦長の瘤状突起を貼付するもの。408は頸部下端に平行沈線を巡らせ区画し、胴部に4条を単位とするコンパス文を施すものである。409～424は胴部に縄文を施すものであり、425はカナムグラの回転圧痕を施すものである。

426・428～433は、沈線を主体に文様を施す土器群の口縁部片である。426・440・442は同一個体となる甕



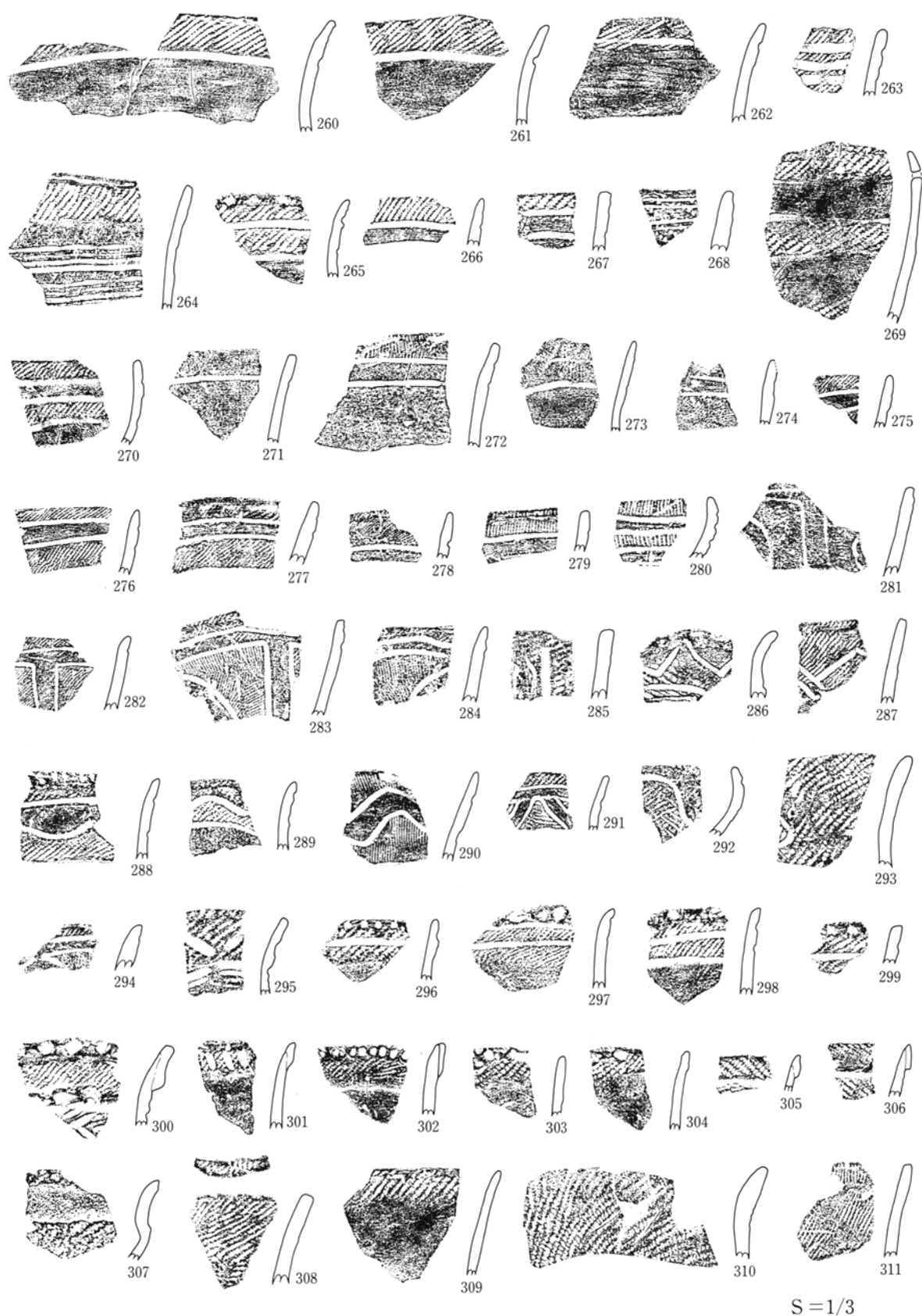
S=1/3

第471図 遺構外 E・F区出土土器 (I)



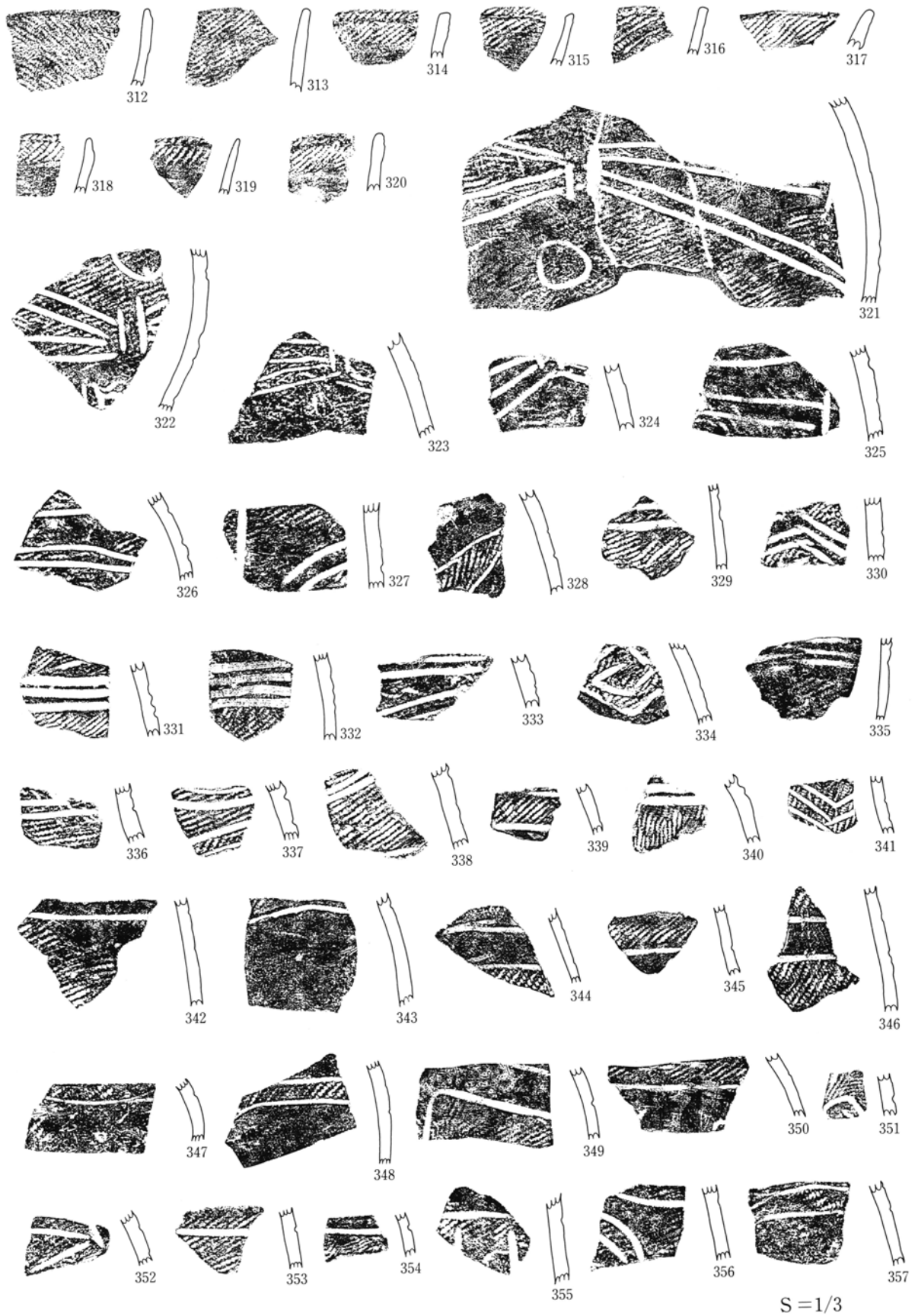
S=1/3

第472図 遺構外 E・F区出土土器(2)

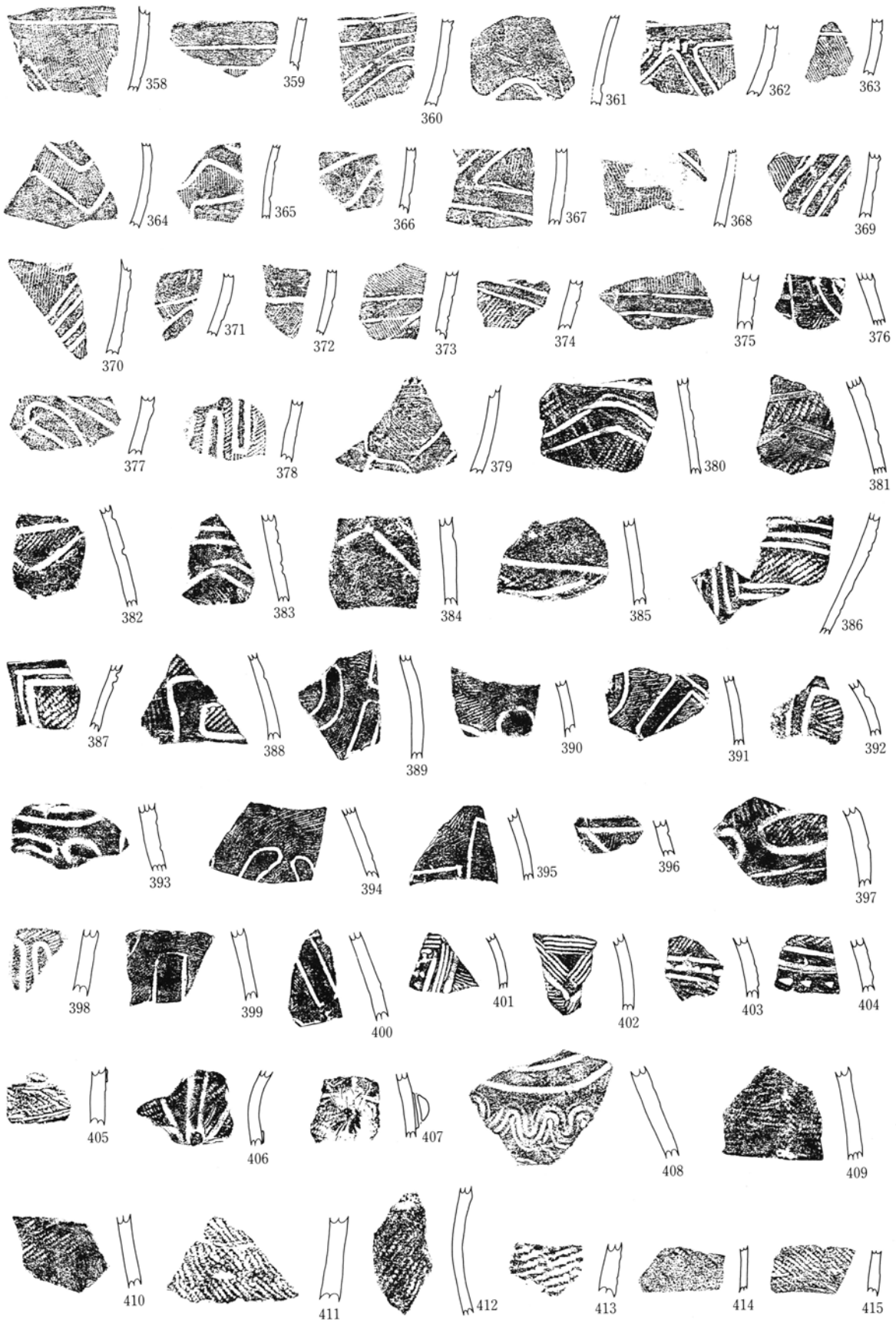


第473図 遺構外 H・H区B下出土土器 (I)

第3章 検出された遺構と遺物



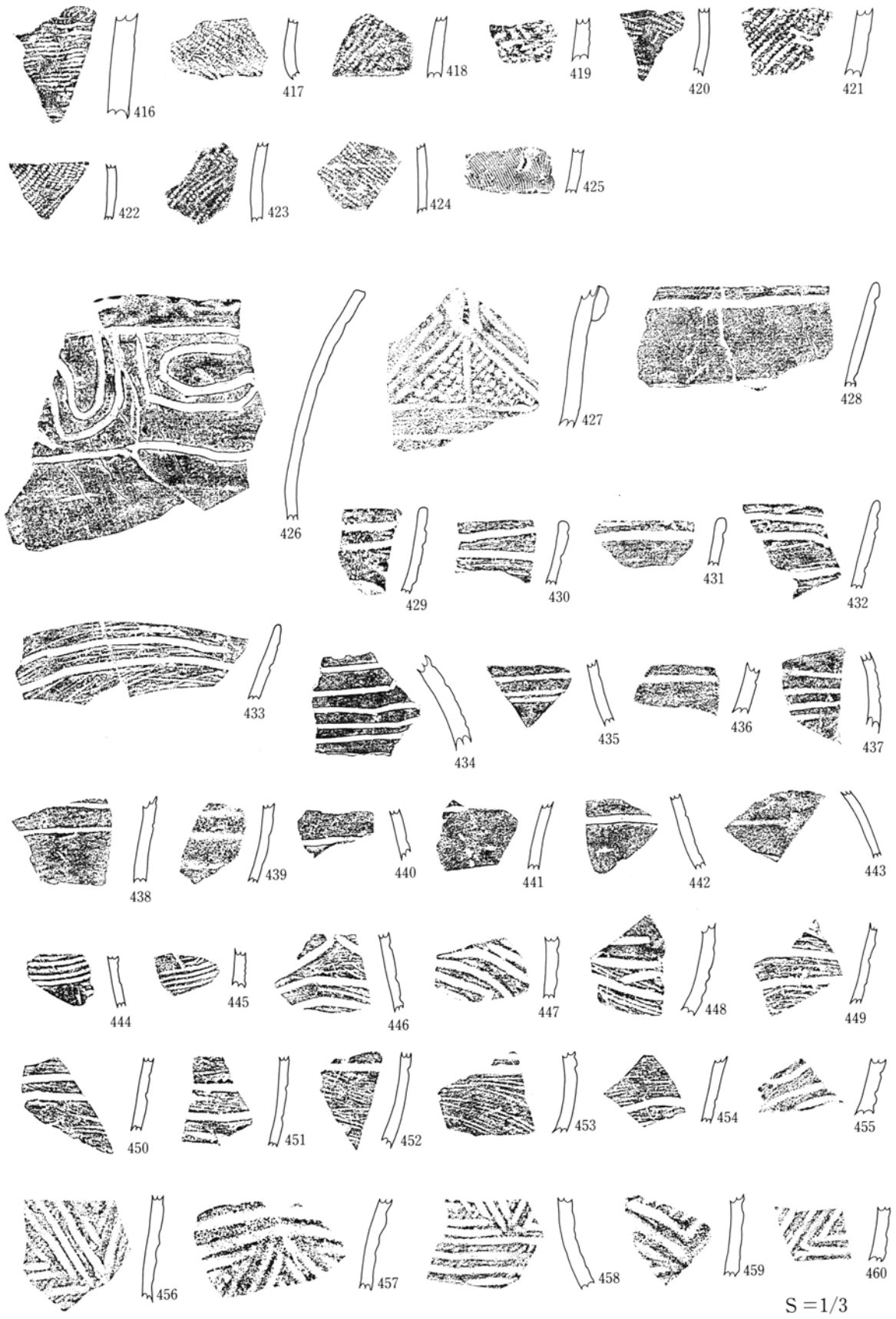
第474図 遺構外 H・H区B下出土土器(2)



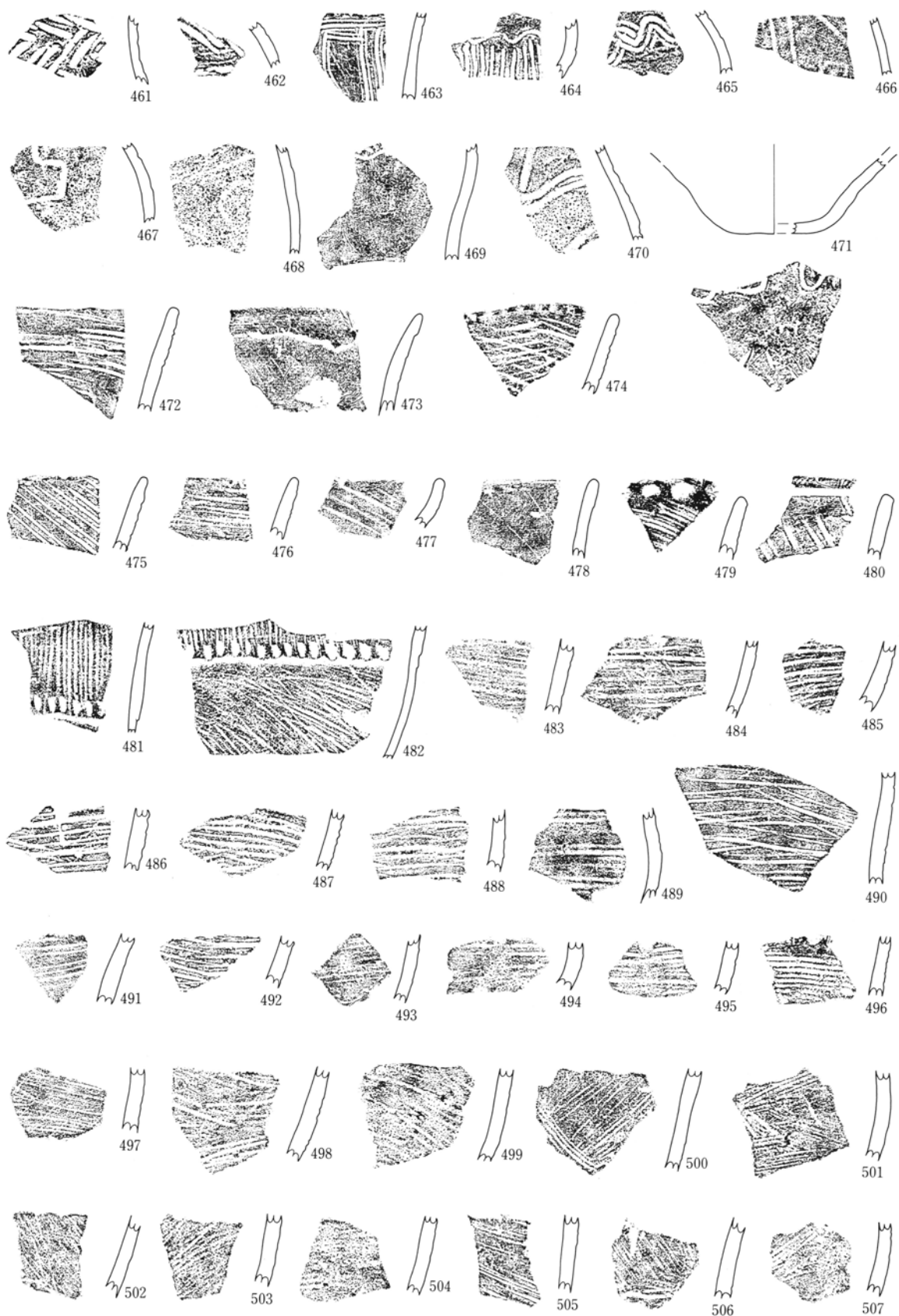
第475図 遺構外 H・H区B下出土土器(3)

S=1/3

第3章 検出された遺構と遺物



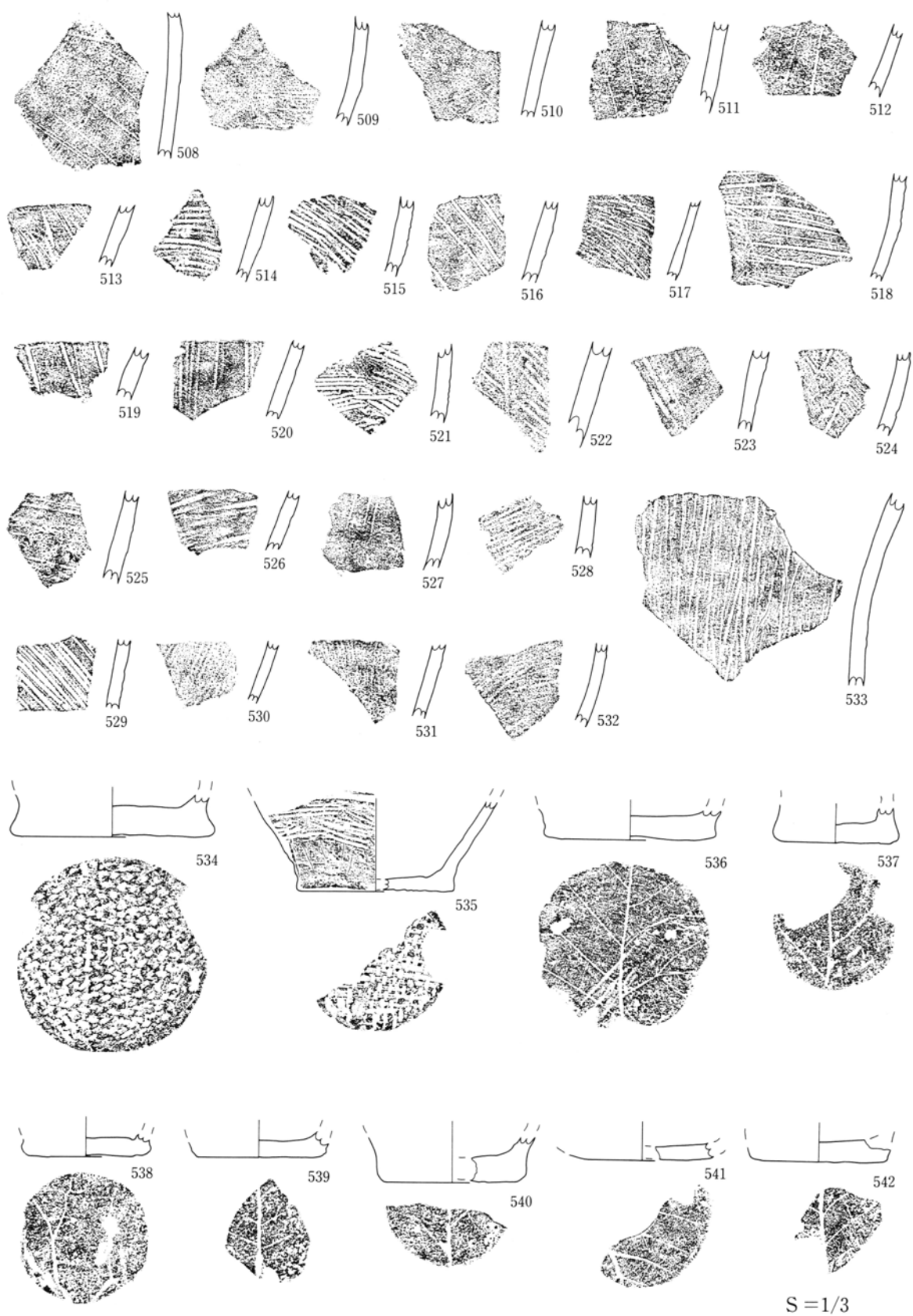
第476図 遺構外 H・H区B下出土土器(4)



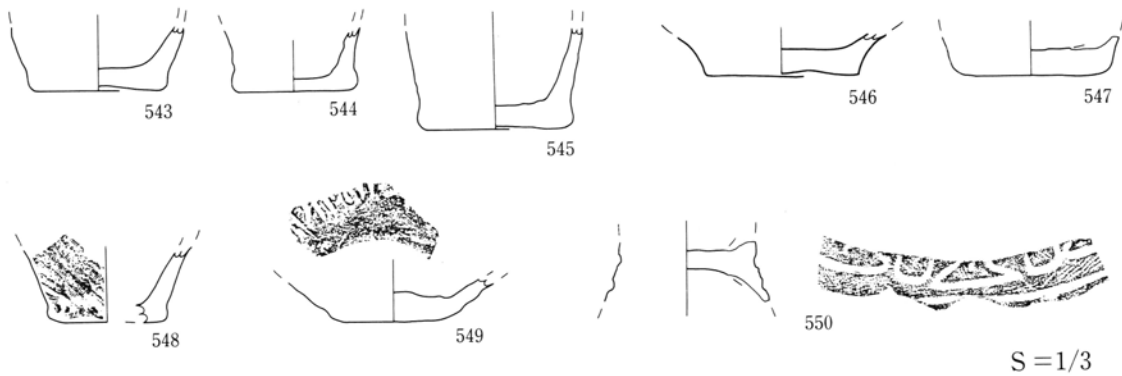
S = 1/3

第477図 遺構外 H・H区B下出土土器 (5)

第3章 検出された遺構と遺物



第478図 遺構外 H・H区B下出土土器(6)



第479図 遺構外 H・H区B下出土土器(7)

形土器で、口舌部に粗い刻みをもち、口縁部文様帯の上下を平行沈線で区画し、区画内にU字・J字状の文様を描き、頸部は無文となる。428は甕形土器の口縁部で、口縁下に1条の平行沈線を巡らせる。429は口縁部に2条の平行沈線を巡らせ、その下に曲線的な文様を描く。430・432・433・446・449～454は同一個体となる浅鉢土器で、地文に条痕状の擦痕をもち、文様には平行沈線および変形工地文等を施す。

434～471は、胴部片である。434～443は平行沈線が施されるものである。444・445は数条を単位とする工具により、文様が描かれるものである。448・449は胴部上半に平行沈線等の文様を描き、下半に条痕を施すもの。427・447・456～461は壺形土器の頸部で、427は縦長の瘤上突起をもち、太い沈線で幾何学文を描き、区画内には列点状刺突を充填させ、頸部下方に平行沈線を施す。456・458・460は同一個体となるもので、先の427とほぼ同様の文様をもつが、瘤上突起や列点状刺突はみられない。457・459は同一個体となるもので、先の427と同様の文様が描かれ、区画内には列点状刺突をも施している。461は横位の矢羽根状沈線を施すものである。464には波状沈線と、その下に縦位の沈線が施されるもの。465は数条を単位とし、波状文を描くもの。468は平行沈線や円形文を描き、円形文内には列点状刺突が充填されている。469・470は波状文が施されている。471は浅鉢の底部となるもので、底部付近まで文様が描かれている。

472～480は、条痕を施す口縁部片である。473は折り返し口縁となるもので、無文地に近いが、薄く条痕が施されている。474・479の口舌部には、刻みをもつ。480は口舌部に縄文が施され、沈線状の条痕が斜位に施されるもので、拓図の右側上方の口縁下には稲の粃圧痕が明確に観察できる。481・482は同一個体となるもので、口縁部から頸部には条痕状の沈線が縦位に施し、頸部下には爪形状の刺突が施され、胴部には斜位の条痕が施されるものである。また内面には、整形による擦痕が横位にみられる。

483～533は、条痕が施される胴部片である。施される条痕は、横位、斜位、縦位に近いものであり、500・501のように施文方向を大きく変えるものもみられる。また、条痕の幅が密なもの、疎なものも存在する。

534～550は、底部である。534・535の底面には網代痕がみられ、536～542の底面には木葉痕が認められる。543～549の底面には文様はない。550は高台付土器の高台部片で、幾何学文や楕円等の曲線的な文様が描かれ、区画内には縄文ないしはカナムグラの回転圧痕が施されている。

第3章 検出された遺構と遺物



第480図 遺構外 J区出土土器

J区出土土器 (第480図)

西台地から出土した土器である。

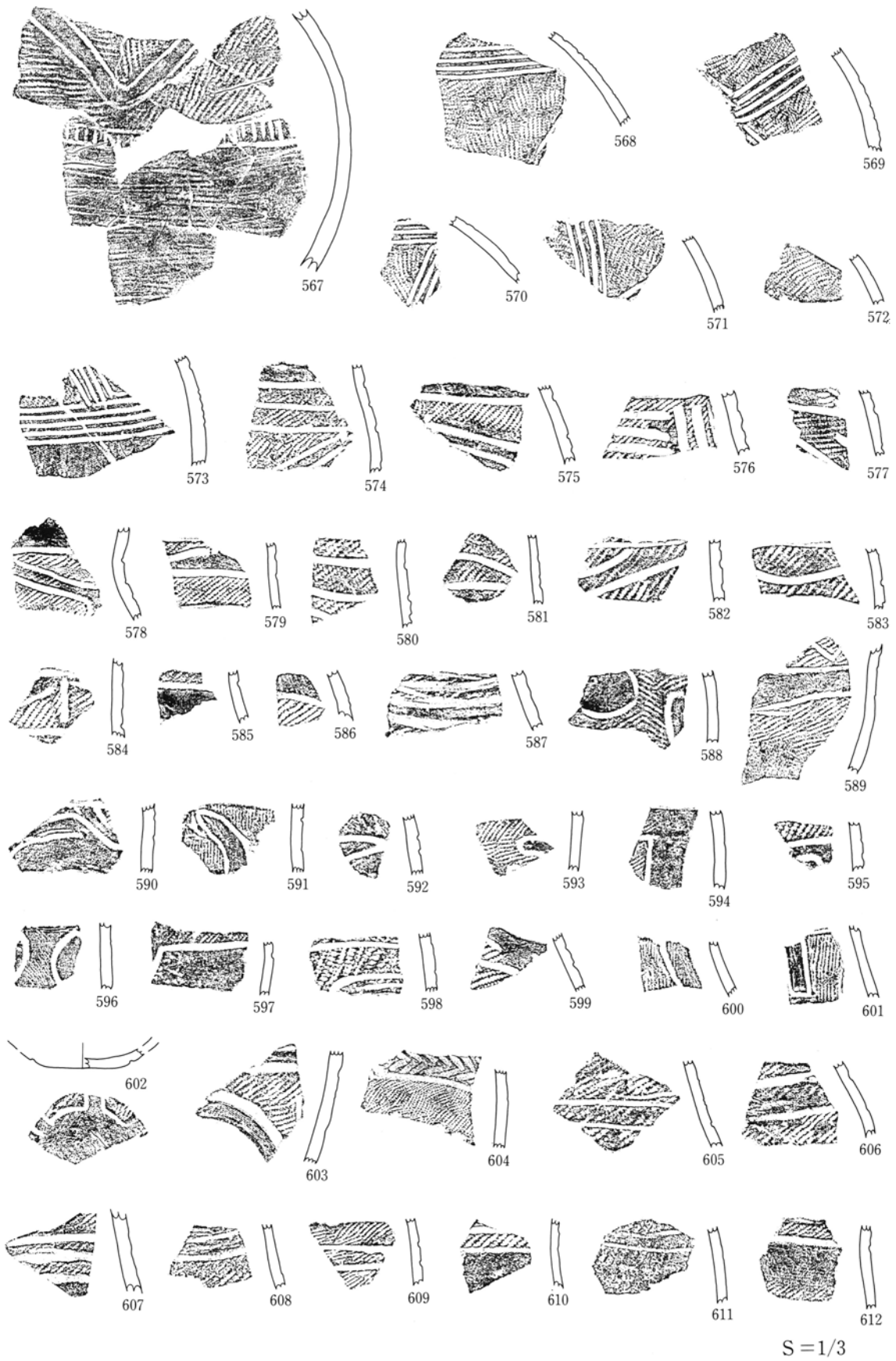
551～555は口縁部片で、551は口縁部に沈線による曲線的な文様が描かれ、区画内に縄文が施される。552は口縁下に RL の縄文を施し、平行沈線で区画する。553は口舌部に刻みをもち、口縁下に数珠の沈線を施す。554は口縁下に LR の縄文を施し、頸部が幅狭な無文帯となり、以下に条痕を施すもの。555は口舌部に列点状の刺突をもち、口縁以下に斜位の条痕を施すもので、口縁下に孔を有する。

556～566は胴部片で、556は平行沈線と曲線的な文様を描き、区画内に LR の縄文を施すもの。557は壺形土器の頸部で、頸部下に数条の平行沈線を巡らせて文様帯を区画し、頸部には RL の縄文が施される。558は平行沈線で区画された内部に、LR の縄文を施すもの。559・560は沈線で文様を描き、区画内に縄文を施すもの。561は壺形土器の胴部上半で、数条の平行沈線を巡らせ、区画内に縦位の沈線を施す。562は羽状ないし菱状に、斜位の沈線を施すもの。563は底部近くなるもので、曲線的な文様を描くもの。564・565は条痕を施すものである。566は壺形土器の頸部で、RL の縄文を施すものである。

出土位置不明土器 (第481～487図)

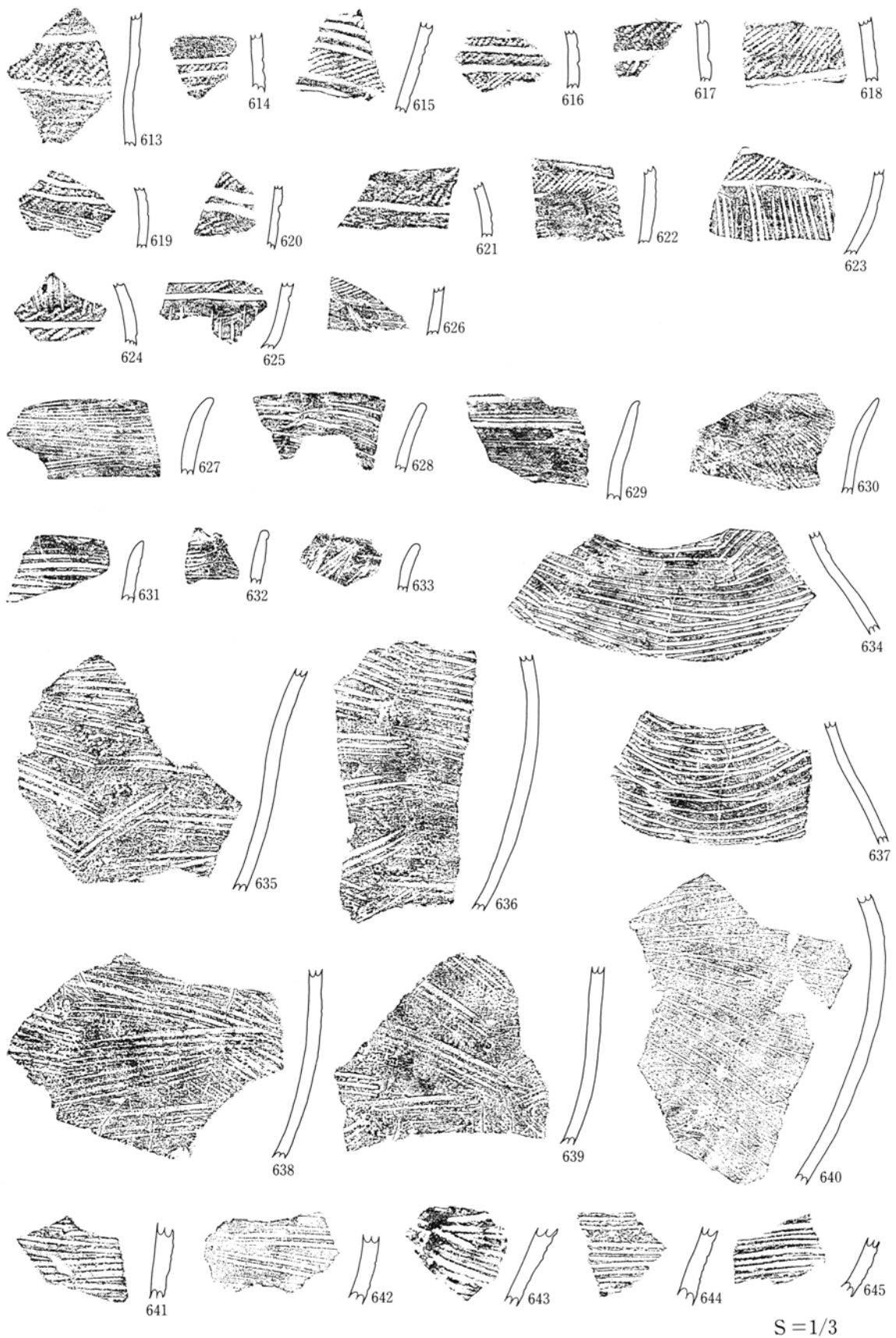
調査区およびその周辺から出土した土器で、出土位置の不明なものをまとめた。

567～626は、壺形ないし甕形土器等の胴部片である。567は球胴状となる胴部の上半と下半を刻み状沈線を有する平行沈線で文様帯区画し、胴部上半には菱状となると思われるV字状の文様が描かれ、RL の縄文が施されている。胴部下半には、横位方向の条痕が施される。568～572は同一個体となる壺形土器の胴部上半で、4条からなる沈線で菱状の文様を描き、細かな LR の縄文を施している。573も壺形土器の胴部で、胴部上半と下半を7条の平行沈線で区画し、上半には4条からなる沈線で菱状の文様を描くと思われる、区画内には縄文が施される。574～584は甕形土器の胴部上半で、平行沈線および崩れた変形工字文等により文様を描き、

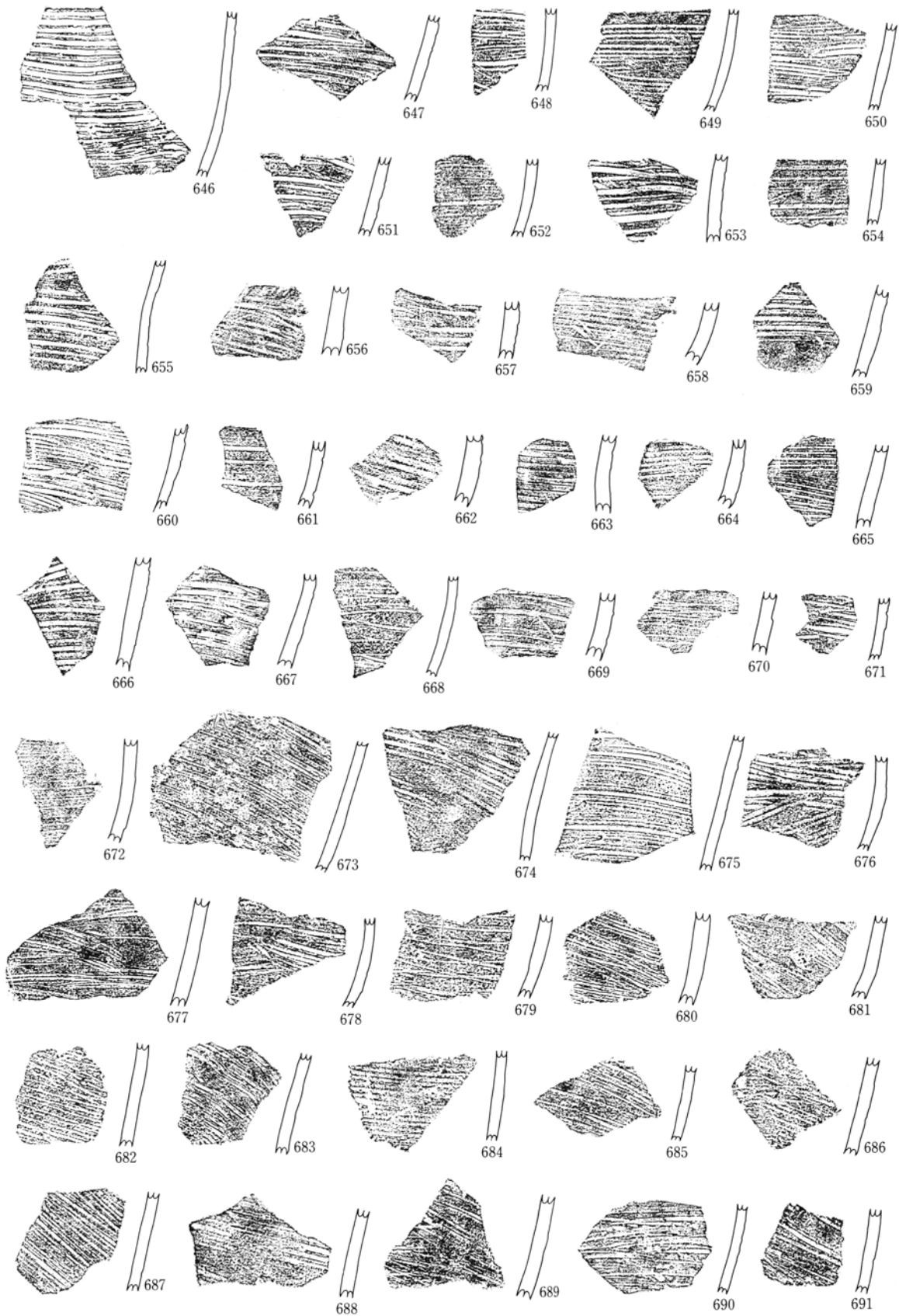


第481図 遺構外表採出土土器 (I)

第3章 検出された遺構と遺物



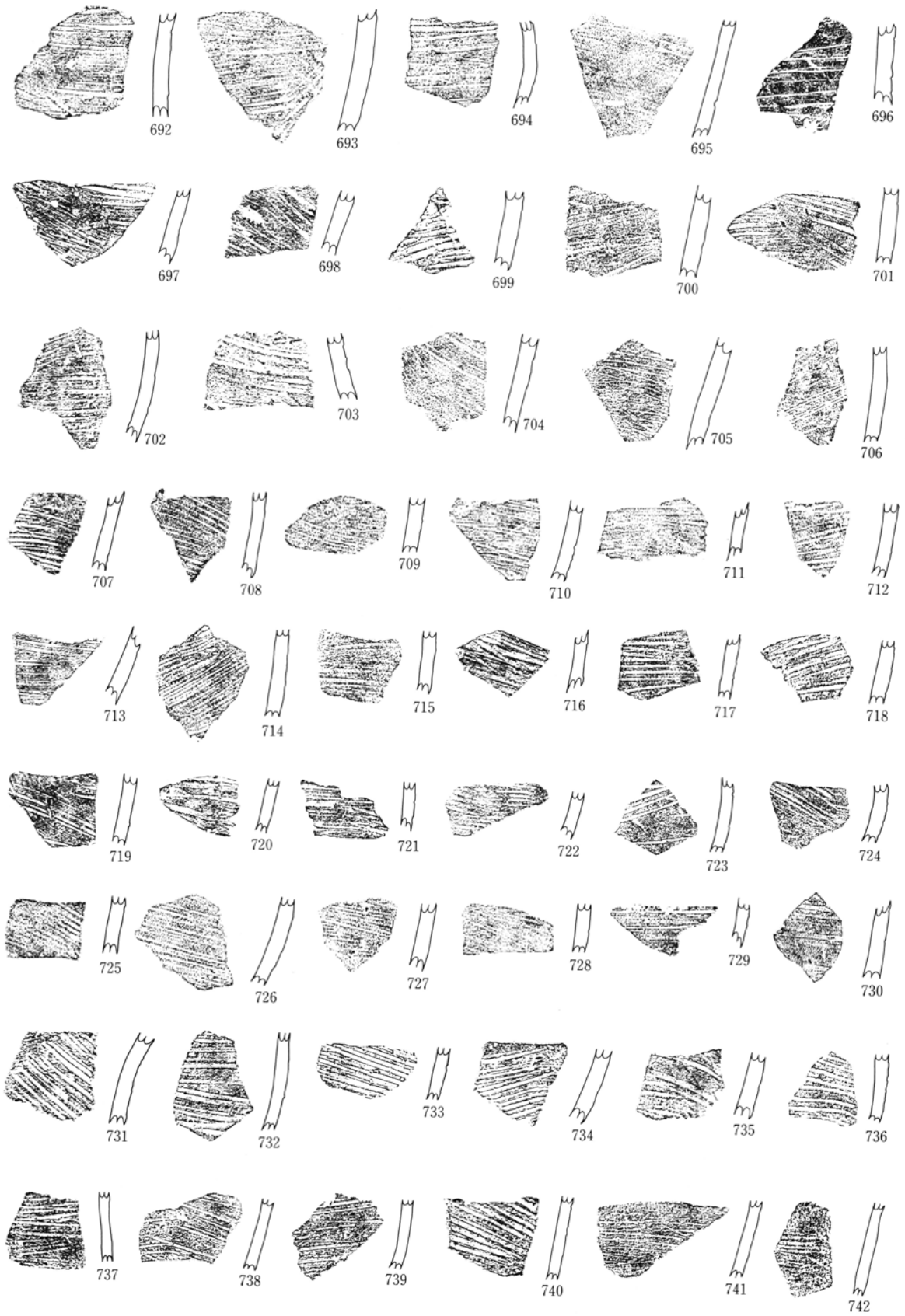
第482図 遺構外表採出土器(2)



S = 1/3

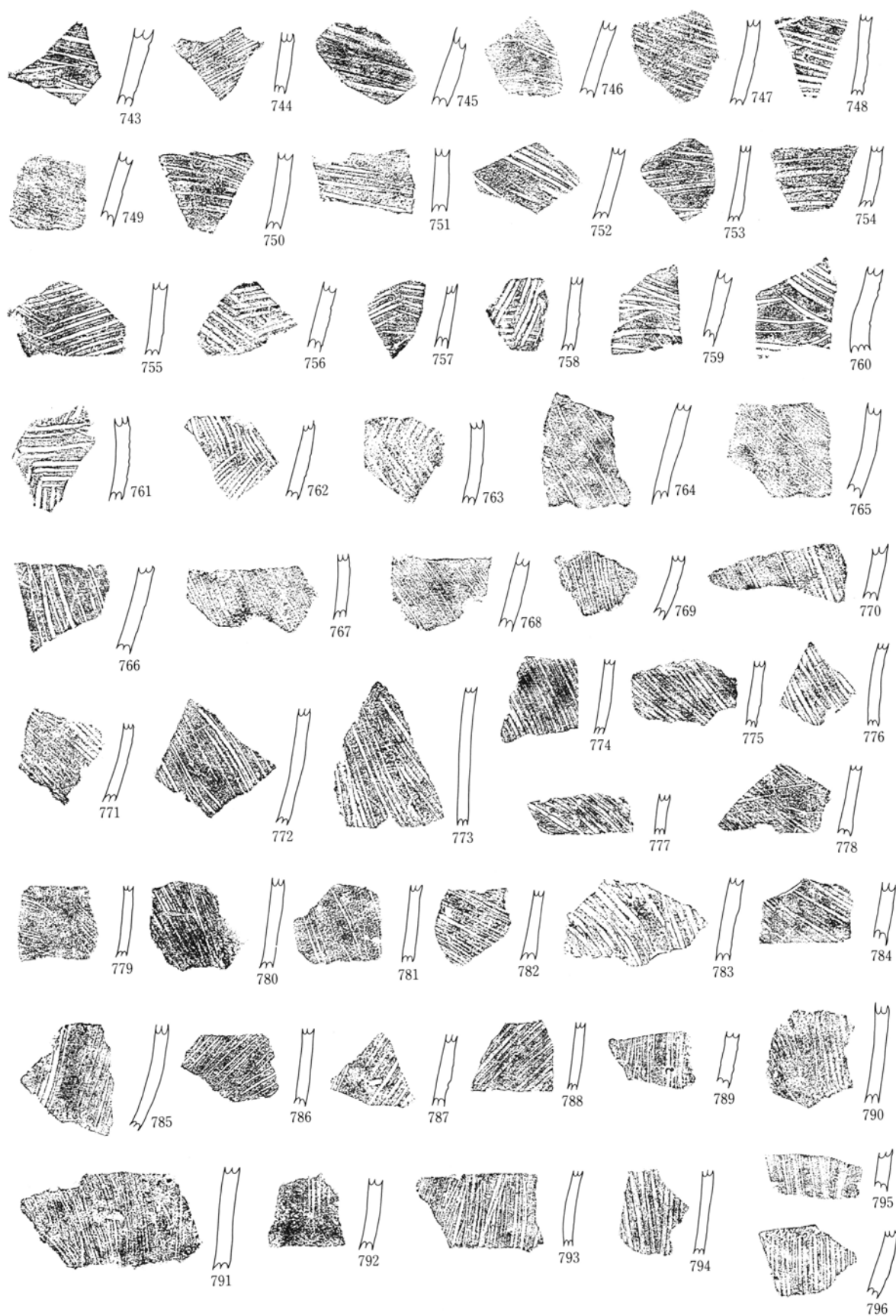
第483図 遺構外表採出土器 (3)

第3章 検出された遺構と遺物



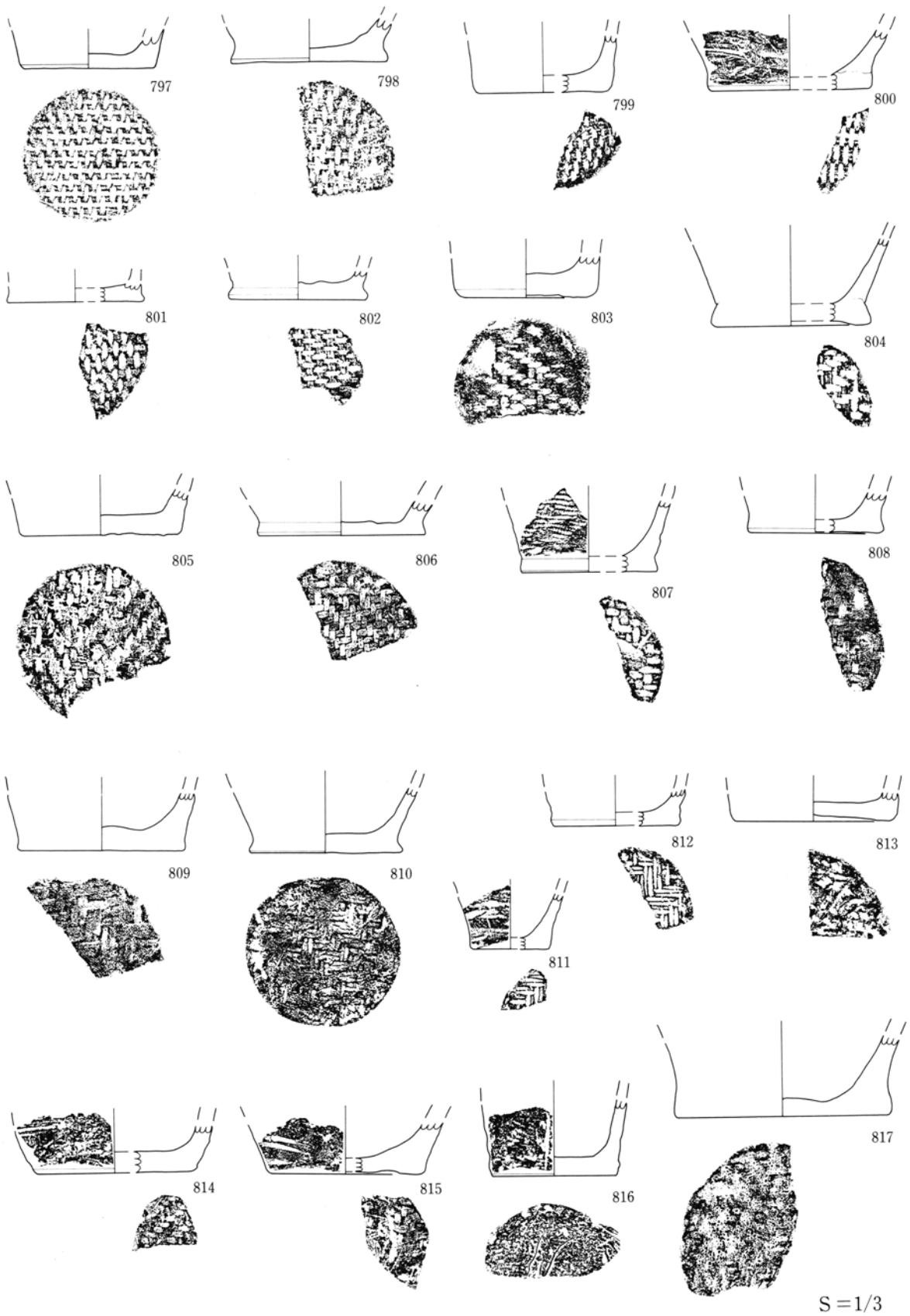
S = 1/3

第484図 遺構外表採出土器 (4)

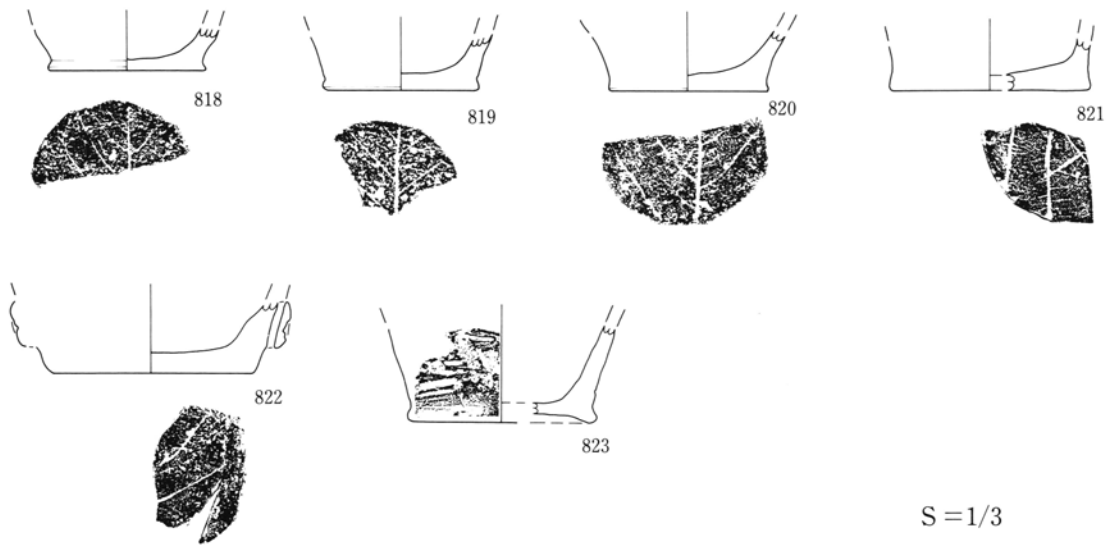


第485図 遺構外表採出土器(5)

第3章 検出された遺構と遺物



第486図 遺構外表採出土器 (6)



第487図 遺構外表採出土土器（7）

文様の区画内には縄文が施されているものである。587は太い3条の沈線が巡るものであり、603も同様の沈線で曲線的な文様が描かれ、区画内にLRの縄文を施している。588は曲線的な文様や円形文を沈線で描き、縄文を施すもの。509は平行沈線で文様帯区画を行い、鋸歯状等の文様を描くと共に縄文を施すもので、内面には条痕条の整形痕がみられる。590～601は曲線的ないしは直線的な沈線で文様を描くもので、区画内には縄文が施されるが、591・601にはカナムグラの回転圧痕が施されている。602は浅鉢となる丸底風の底部辺で、底部付近まで文様が描かれ、区画内には縄文が施されている。604は壺形土器の胴部上半で、平行沈線と横位の矢羽根状沈線が施され、地文に細かな縄文をもつ。605～626は数条の平行沈線が施されるもので、平行沈線で区画された区画内に縄文を施すものである。623～625では、平行沈線で区画された胴部下半に、縦位の条痕が施されている。

627～633は口縁部以下に条痕を施すもので、627～629・631・632は横位方向に、630・633は斜位方向に施されているものである。このうち、628・632の口舌部には、刻みを有する。

634～796は、条痕が施される胴部片である。634・637は同一個体となる壺形土器の胴部上半で、横位方向に沈線状の条痕が施されているもの。646も壺形土器の胴部上半となるもので、横位方向に沈線状の条痕が施されている。635・636・638・639は同一個体となる甕形土器で、635は頸部にあたり、孔を有する。それ以外のもは胴部下半のものと思われ、施される条痕は、647～672にみられる横位方向、673～788にみられる斜位方向、789～796にみられる縦位方向に近いものがある。このうち、斜位方向の中でも、761～763のように施文方向を大きく変えて、羽状となるような条痕を施すものもある。また、条痕の幅が密なもの、疎らなものも存在する。

797～823は、底部である。797～817の底面には網代痕がみられ、818～822の底面には木葉痕が認められる。823の底面には文様はない。このうち、網代痕には797・803・810に代表されるように、いくつかのパリエーションが認められる。なお、816・817にも、薄く網代痕が認められる。822の底部側面には、上下に貫通する孔を有する縦長の瘤上突起が貼付されている。

石器

ここで扱う石器は、第488～495図に示す、大形で石鍬状となる打製石斧である。この時代に伴う他器種の石器が存在すると思われるが、縄文時代の石器の項でも触れたように、縄文時代と弥生時代の分別は難しく、弥生時代の石器とされる特徴のある石器を分別した結果、ここに示す大形で石鍬状の打製石器のみであった。この大形打製石器は、調査地のほぼ全域から出土しており、特にH区とした低地部の弥生時代中期の土器を多量に出土させた包含地から、26点が出土している。また、各遺構から出土した石器は、各遺構の項で掲載しているが、そうした出土のあり方をみると、弥生時代中期から弥生時代終末ないし古墳時代初頭までの石器と思われ、その中でも弥生時代中期に出土量が多くあることからすれば、弥生時代でも古い時期に主体をもつ石器と考えられよう。

石器に使用される石材には、緑色片岩、雲母石英片岩、黒色片岩の片岩系、変質安山岩、粗粒輝石安山岩、角閃石安山岩の安山岩系、硬質泥岩、珪質頁岩、デイサイト、ホルンフェルス、砂岩があり、ここに示す78点中のうち6割近い43点は片岩系、3割近い25点は安山岩系となっている。この石材のあり方は、縄文時代の打製石斧の石材に比べ、片岩系の石材の使用頻度がかなり高くなっていることが解る。安山岩系の石材についても、同様なことが言えよう。なお、石材による形状の違いも見受けられる。

石器は、長さ20cm前後を測る大形のものが多く、縄文時代の石器に比べるとかなり大きさが異なっており、その形状から以下のように分けられる。

I類 (1～38・41～50)

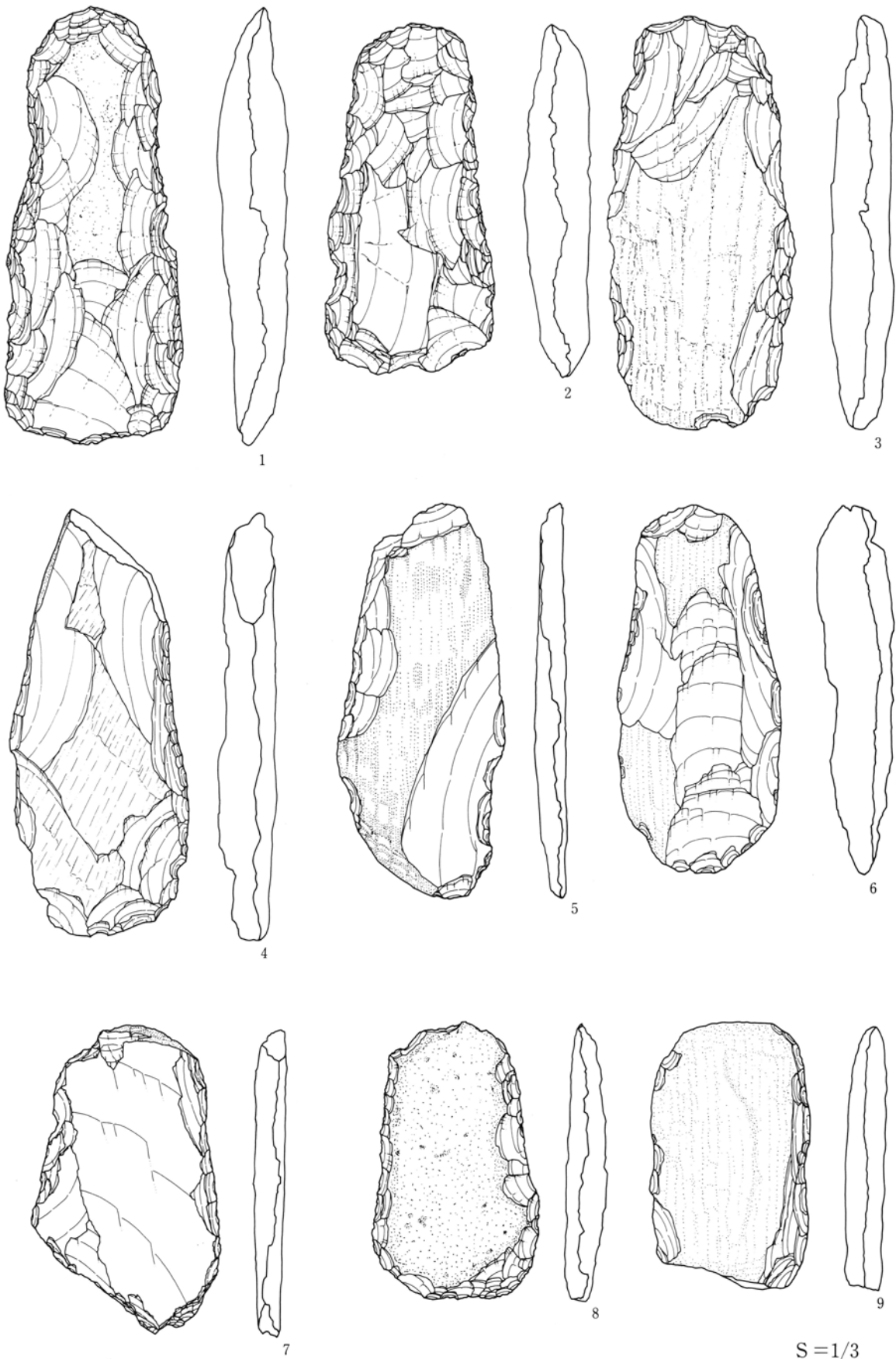
短冊形というよりは、撥形に近い形状となる類である。片岩系の石材を用いるものが大半を占め、側面が直線的なものを主に、44・46のようにややくびれるものがある。頭部は、1・2に見られるように円身をもつ形状が多く、刃部は比較的平坦となる1・16や、円身をもつ6・14、尖り気味となる11・15等に代表される形状が認められる。製作方法を見ると、片岩系の石材を使用するものは、表皮および節理面を大きく残すように周縁に剝離を施すだけであり、取り立てて刃部に特別な調整は施していない。12・18・28は安山岩系ないしホルンフェルスによるもので、片面に表皮を残す横長剝片を素材とするものであり、27は珪質頁岩で器体全体に剝離を施すように製作されている。

II類 (39・40)

分銅形に近いもので、両側縁に大きく抉り状のくびれをもつ類。39は緑色片岩によるものであり、40は硬質泥岩によるものである。両者の抉入部には、やや丁寧な剝離が施されている。他の石器に比べるとやや小振りであるが、共にH区の弥生時代中期包含地から出土したものであり、縄文時代以降にもこの種の石器が存続していたことを考えられよう。

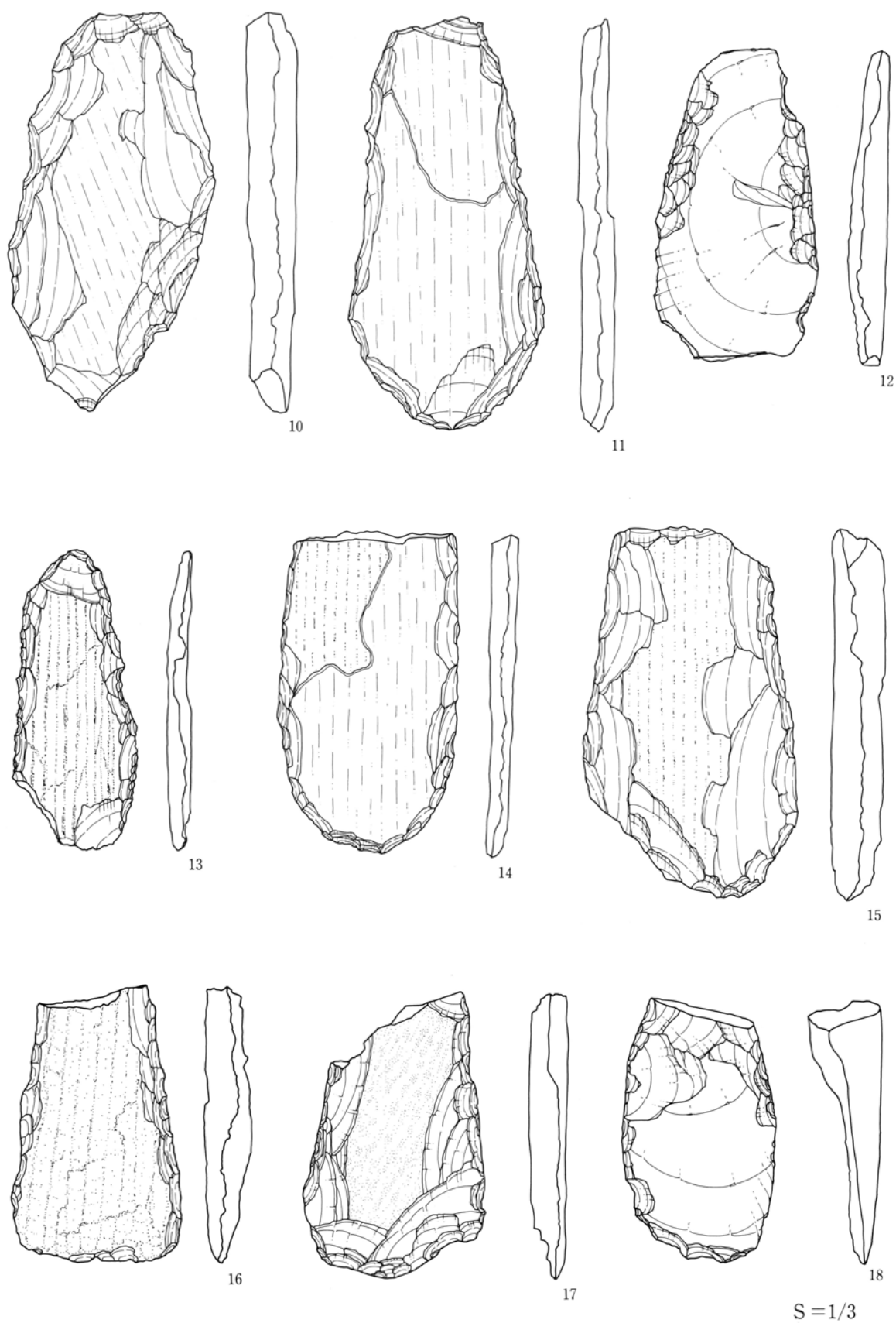
III類 (51～78)

撥形となる類で、I類よりは頭部が幅狭となるものである。使用される石材には、片岩系のものも僅かにみられるが、安山岩系のものが圧倒的な割合を占めている。この安山岩系のもは、片面に表皮を残す大形の横長剝片を素材とするものであり、表皮面を石器の表面とするものが多く、刃部への剝離調整よりも、側縁から頭部にかけての剝離調整を多く施す特徴をもつ。刃部は幅広で円身をもち、側縁がややくびれる形状となるものが目立つ。

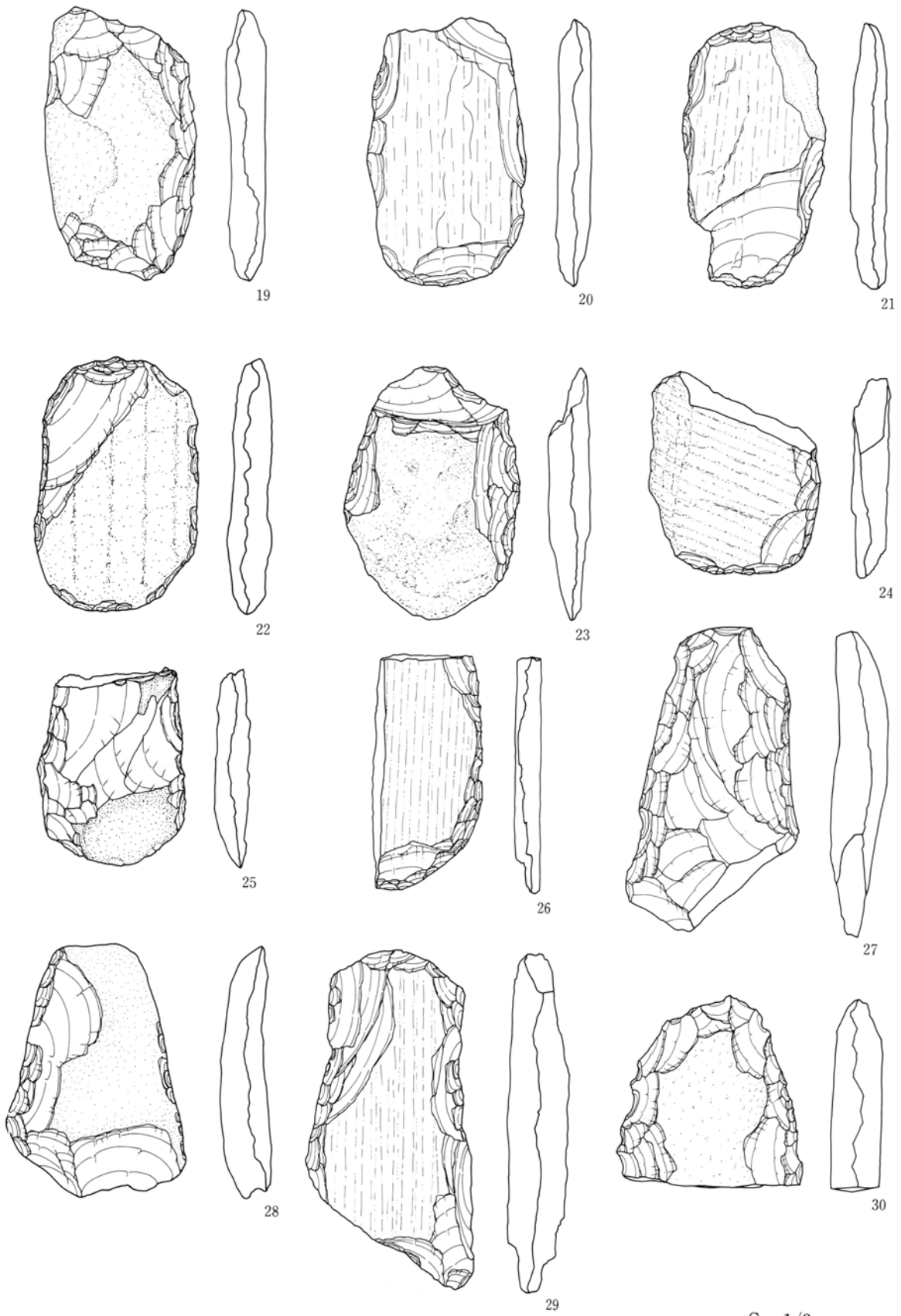


第488図 遺構外出土石器 打製石斧 (1)

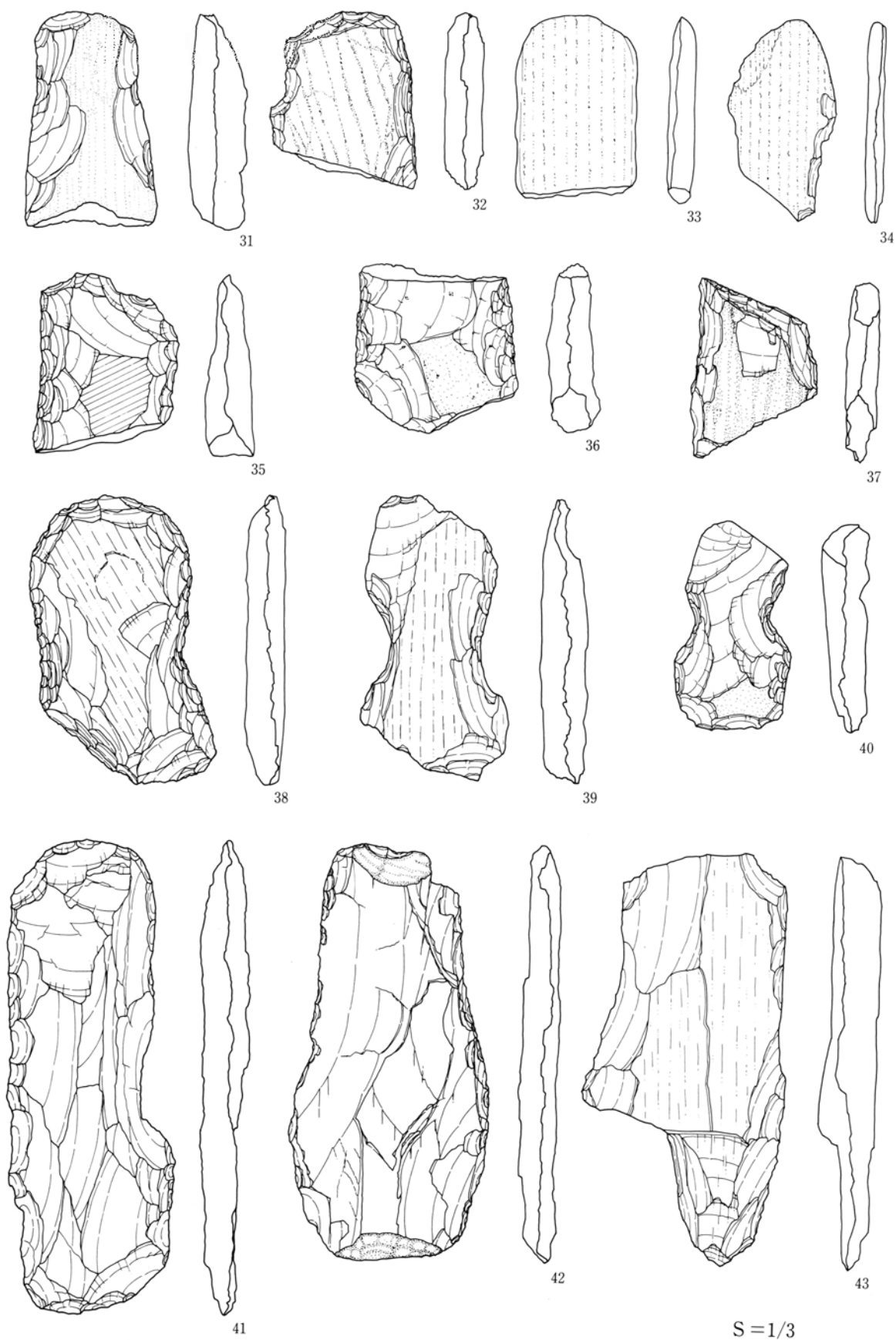
S=1/3



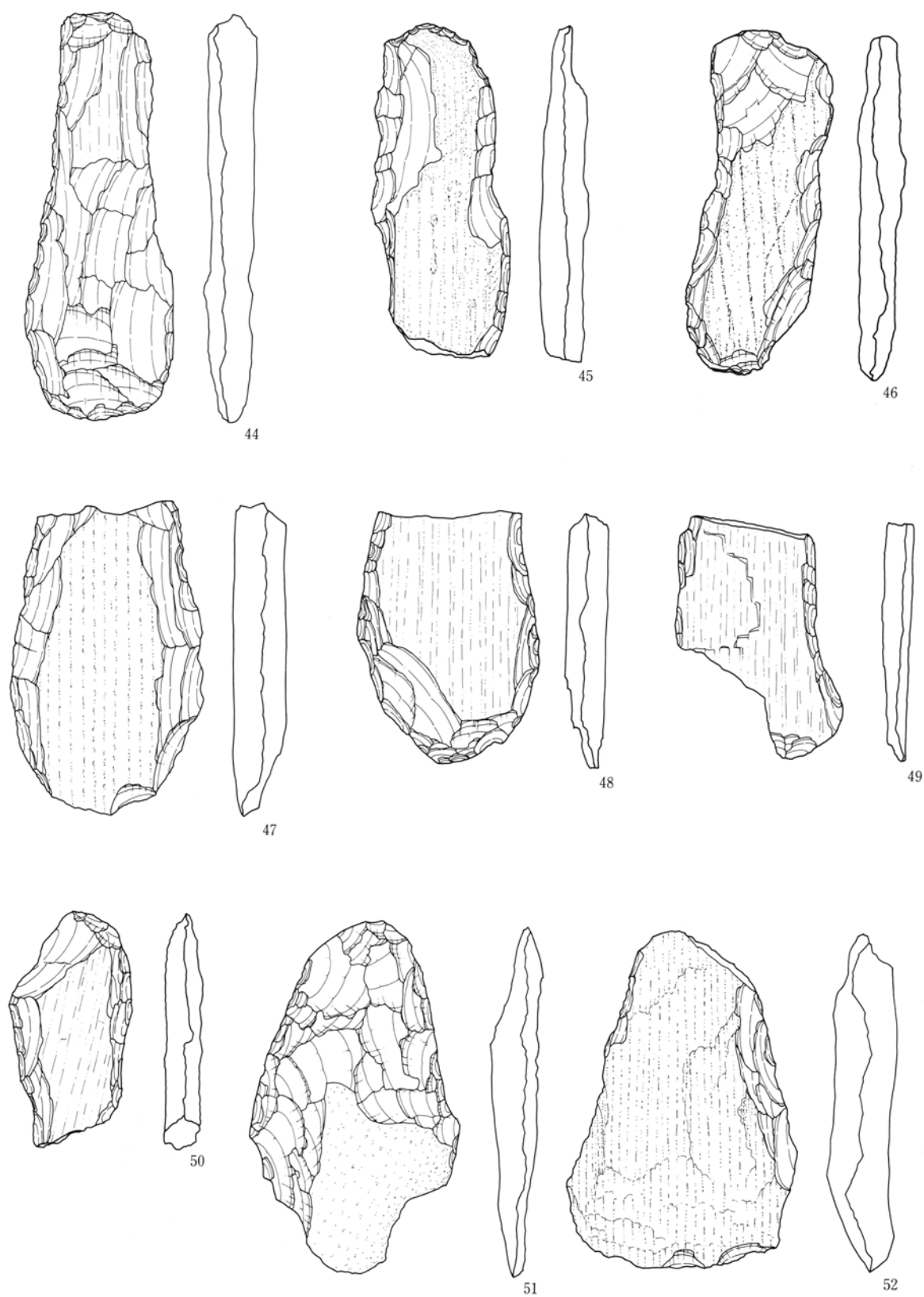
第489図 遺構外出土石器 打製石斧（2）



第490図 遺構外出土石器 打製石斧 (3)

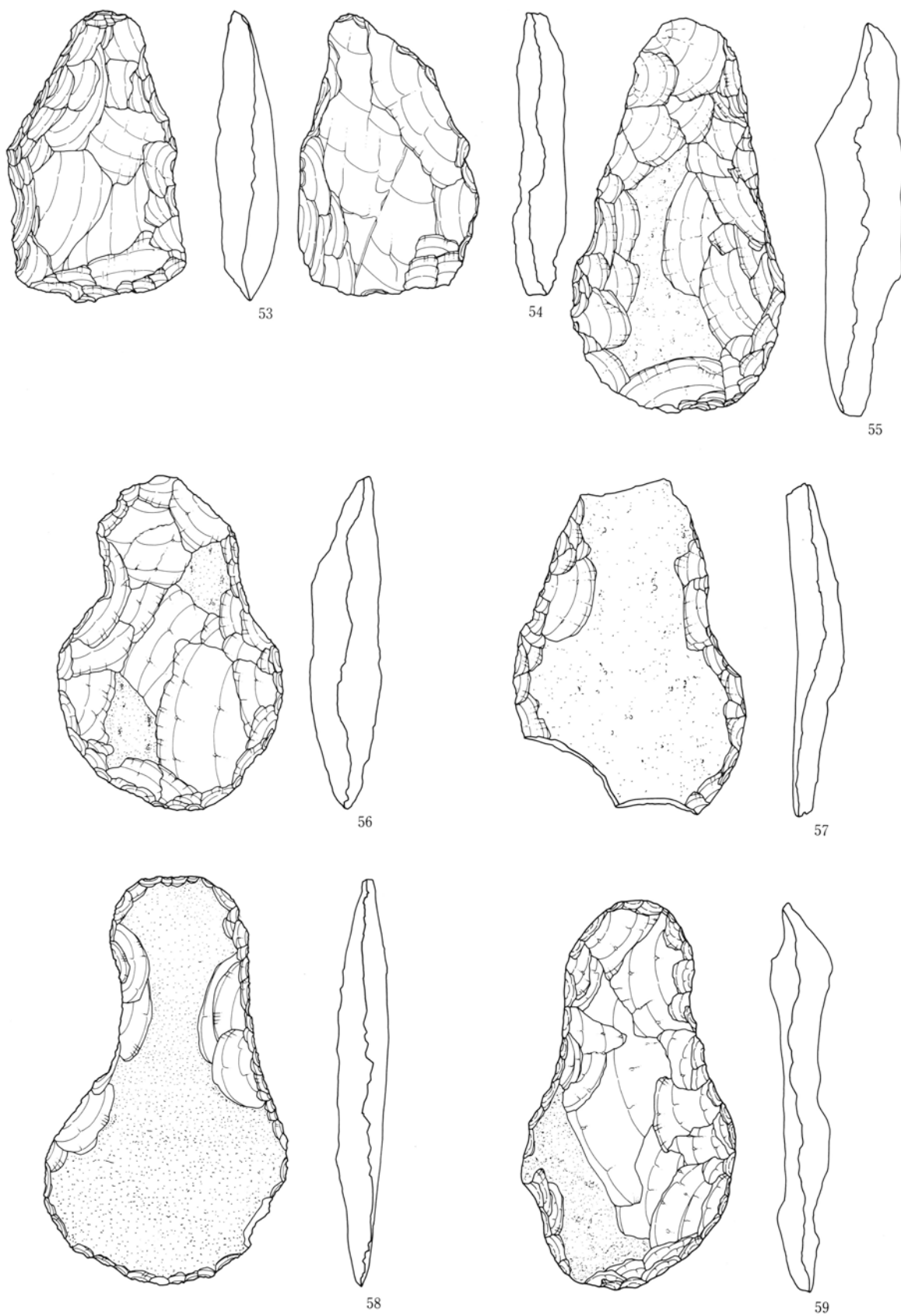


第49図 遺構外出土石器 打製石斧（4）



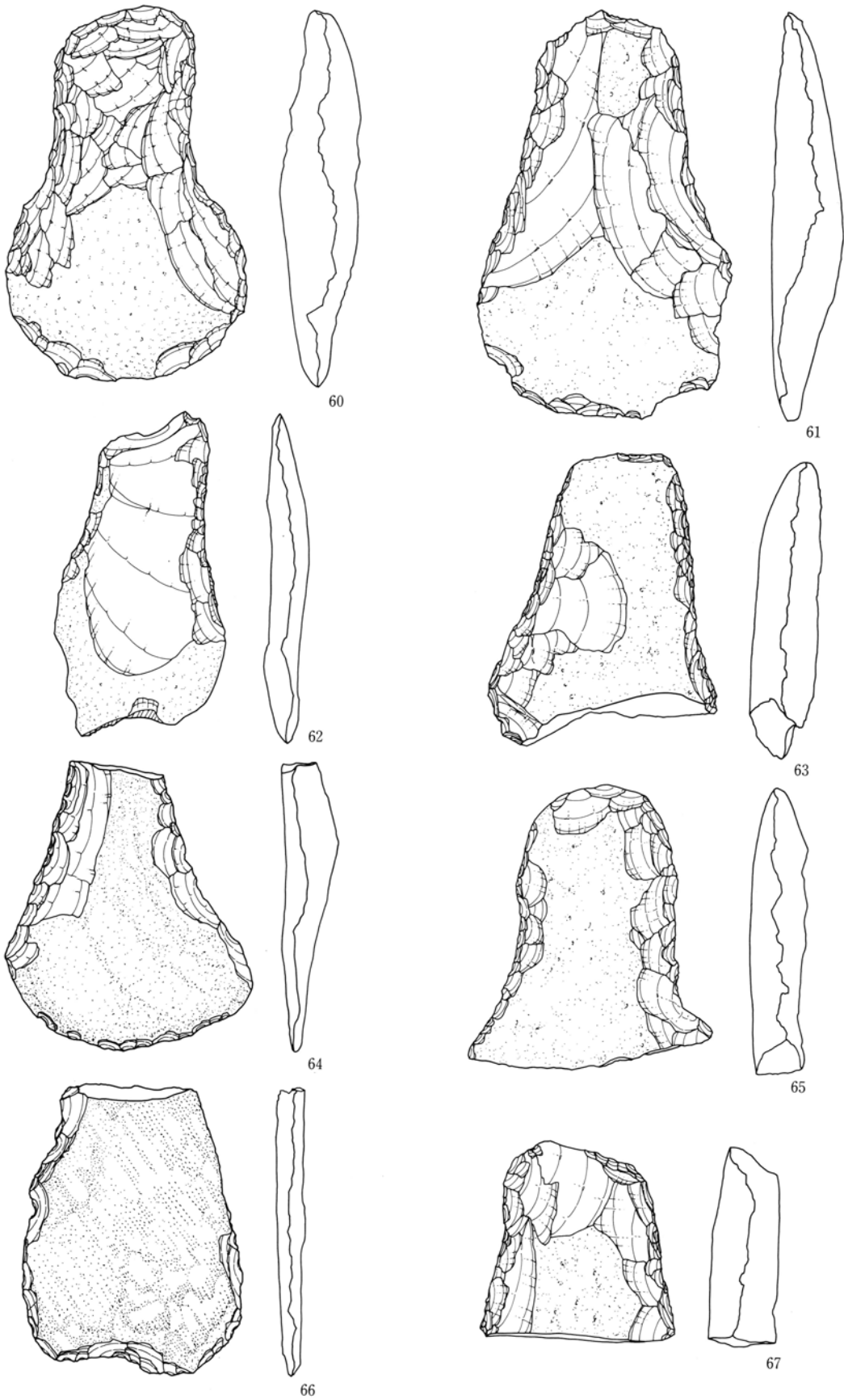
S=1/3

第492図 遺構外出土石器 打製石斧（5）



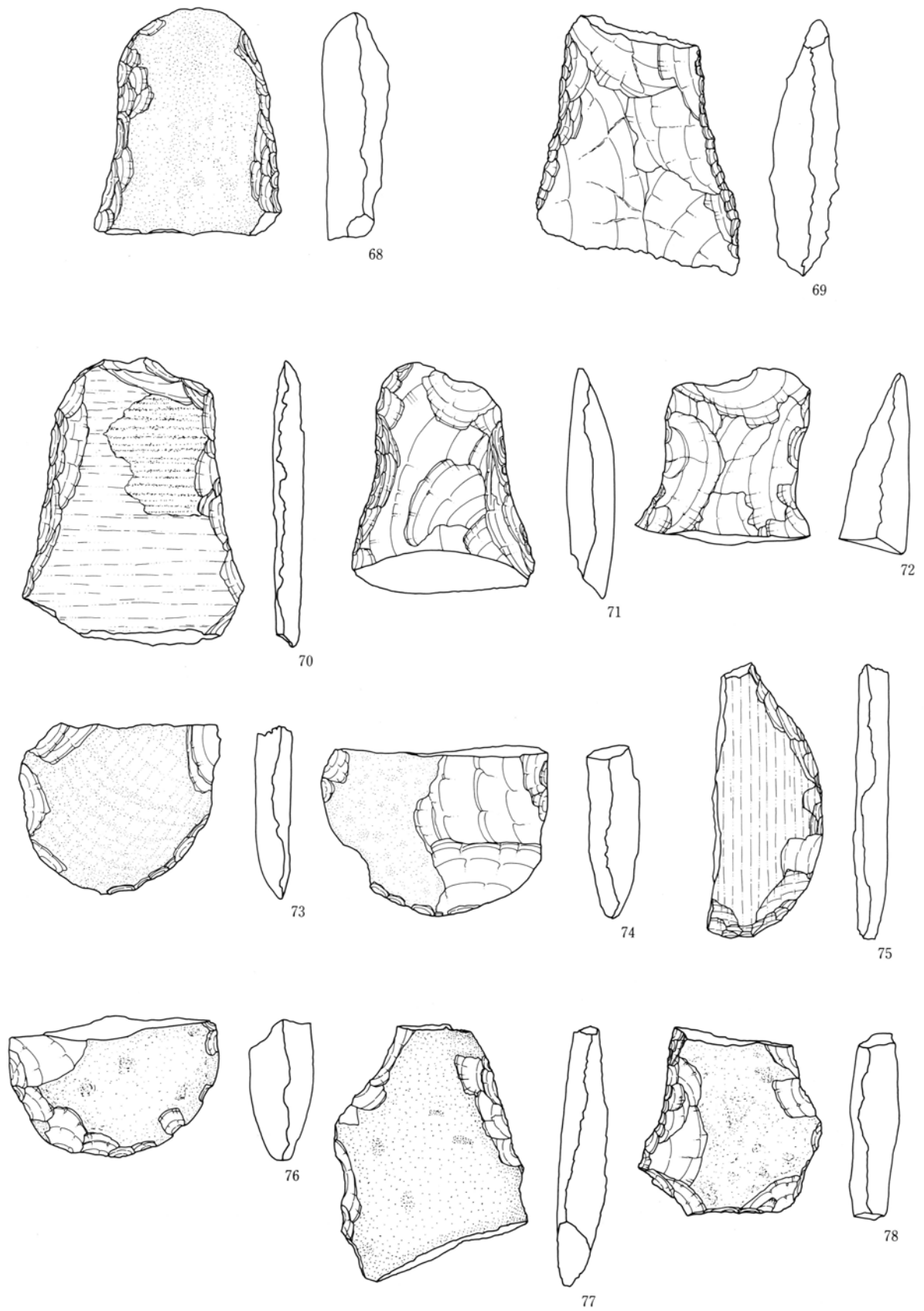
S=1/3

第493図 遺構外出土石器 打製石斧 (6)



第494図 遺構外出土石器 打製石斧 (7)

S=1/3



S = 1/3

第495図 遺構外出土石器 打製石斧 (8)

第3節 弥生時代の遺構と遺物

表70 遺構外出土打製石斧計測表

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
1	1 古墳	硬質泥岩	22.5	9.1	3.6	790.0
2	H 区	デイサイト	17.9	8.7	3.6	572.0
3	H 区	緑色片岩	21.0	9.8	3.3	900.0
4	B 区	緑色片岩	22.0	8.9	3.0	730.0
5	B 区	緑色片岩	20.4	8.6	1.7	337.2
6	1 古墳	緑色片岩	18.8	8.4	4.0	650.0
7	H 区	雲母石英片岩	15.6	9.8	1.7	308.6
8	1 古墳	粗輝安山岩	14.1	8.5	2.1	302.5
9	F 区	緑色片岩	13.5	8.2	2.0	306.2
10	F 区	雲母石英片岩	20.5	10.0	2.6	690.0
11	H 区	緑色片岩	22.0	10.0	1.7	452.6
12	H 区	粗輝安山岩	16.0	8.5	2.0	336.9
13	F 区	雲母石英片岩	15.2	6.4	1.2	145.3
14	H 区	雲母石英片岩	16.5	9.3	1.5	319.1
15	F 区	緑色片岩	19.0	10.8	2.7	760.0
16	C 区	雲母石英片岩	14.0	8.8	2.5	361.4
17	C 区	雲母石英片岩	14.5	9.3	2.0	338.5
18	E 区	変質安山岩	13.4	8.0	3.8	334.4
19	F 区	砂 岩	13.8	7.7	2.1	232.9
20	H 区	雲母石英片岩	13.7	8.2	1.8	261.5
21	H 区	緑色片岩	13.5	7.5	1.9	228.4
22	H 区	雲母石英片岩	12.5	9.5	2.3	367.8
23	E 区	硬質泥岩	12.8	9.0	2.1	266.1
24	C 区	黒色片岩	10.2	8.9	1.9	215.2
25	H 区	硬質泥岩	10.2	7.7	1.8	189.4
26	D 区	雲母石英片岩	12.0	5.7	1.4	167.5
27	C 区	珪質頁岩	15.5	8.0	2.8	400.3
28	F 区	ホルン	12.9	9.0	2.7	307.2
29	C 区	緑色片岩	17.3	8.6	3.2	510.6
30	F 区	角閃石安山岩	9.8	9.5	2.6	340.0
31	F 区	緑色片岩	11.0	6.7	3.0	242.2
32	H 区	雲母石英片岩	9.0	7.6	2.0	182.1
33	1 古墳	黒色片岩	9.5	6.3	1.5	158.2
34	H 区	黒色片岩	10.2	5.6	1.0	66.4
35	I 区	変質安山岩	8.8	7.1	2.5	202.2
36	I 区	変質安山岩	8.6	8.5	2.6	225.1
37	H 区	雲母石英片岩	9.2	6.5	1.7	114.0
38	C 区	緑色片岩	14.8	9.7	2.1	370.5
39	H 区	緑色片岩	14.5	7.7	2.5	313.8

No	出土位置	石 材	長さ (cm)	巾 (cm)	厚さ (cm)	重 さ (g)
40	H 区	硬質泥岩	10.7	6.0	2.4	146.7
41	F 区	雲母石英片岩	24.5	8.7	2.5	580.0
42	2 古墳	雲母石英片岩	21.6	10.2	2.1	485.4
43	C 区	緑色片岩	21.3	10.5	2.9	594.4
44	E 区	緑色片岩	20.5	7.4	2.5	421.2
45	E 区	緑色片岩	16.4	6.8	2.5	352.1
46	I 区	雲母石英片岩	17.1	7.0	2.5	339.1
47	H 区	雲母石英片岩	15.6	9.6	2.7	521.5
48	F 区	雲母石英片岩	12.7	9.2	2.0	276.9
49	C 区	雲母石英片岩	11.9	7.1	1.5	121.0
50	H 区	雲母石英片岩	11.8	5.7	1.9	174.7
51	1 古墳	粗輝安山岩	17.5	10.5	2.5	393.3
52	H 区	緑色片岩	16.7	11.2	3.2	700.2
53	H 区	黒色片岩	14.7	9.2	3.2	457.4
54	I 区	緑色片岩	14.4	9.3	2.8	373.6
55	F 区	変質安山岩	14.9	11.0	4.5	920.0
56	E 区	粗輝安山岩	16.9	11.7	3.7	660.5
57	F 区	変質安山岩	16.9	12.0	3.2	514.4
58	1 掘	変質安山岩	20.7	12.6	2.6	605.3
59	54 住	変質安山岩	19.9	10.7	3.2	640.0
60	B 区	変質安山岩	18.5	11.8	3.7	740.0
61	1 古墳	粗輝安山岩	19.9	12.5	3.5	800.0
62	C 区	砂 岩	16.0	8.5	2.0	277.5
63	I 区	変質安山岩	14.5	11.3	3.2	533.0
64	H 区	変質安山岩	13.9	11.9	2.6	346.5
65	H 区	変質安山岩	14.0	12.0	2.8	524.9
66	B 区	緑色片岩	14.1	10.9	1.5	311.5
67	C 区	硬質泥岩	9.7	9.6	3.3	398.5
68	C 区	粗輝安山岩	11.6	9.7	3.5	460.7
69	H 区	粗輝安山岩	13.1	10.5	3.4	460.5
70	I 区	緑色片岩	14.7	11.5	1.6	403.0
71	H 区	硬質泥岩	11.7	9.4	2.5	294.1
72	H 区	粗輝安山岩	9.0	9.0	3.5	263.7
73	H 区	雲母石英片岩	8.7	10.2	1.9	196.2
74	C 区	変質安山岩	8.8	11.7	2.7	263.2
75	H 区	雲母石英片岩	14.0	5.4	1.8	199.9
76	C 区	変質安山岩	7.2	10.7	3.3	322.5
77	I 区	変質安山岩	13.2	10.1	2.5	373.4
78	C 区	変質安山岩	9.5	8.5	2.5	256.0

群馬県埋蔵文化財調査事業団
調査報告第214集

神保植松遺跡

《本文編 I》

関越自動車道(上越線)地域埋蔵
文化財発掘調査報告書第41集

平成9年3月20日 印刷
平成9年3月25日 発行

編集/群馬県埋蔵文化財調査事業団
勢多郡北橘村大字下箱田784-2
電話 (0279) 52-2511(代表)

発行/群馬県考古資料普及会
勢多郡北橘村大字下箱田784-2
電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷/朝日印刷工業株式会社